一次評価

No.	 分野	事業名	担当部署	一次評価	二次評価	三次評価
1	都市経営	電子入札運用事業	財政課	継続	_	_
2	都市経営	契約管理システム運用事業	財政課	継続	_	_
3	都市経営	航空写真撮影及び地番図作成事業	課税課	継続	_	_
4	都市経営	家屋評価システム運用事業	課税課	継続	_	_
5	都市経営	電子申告システム運用事業	課税課	継続	_	_
6	都市経営	固定資産台帳管理システム運用事業	課税課	継続	_	_
7	都市経営	証明書等コンビニ交付事業	課税課・市民課	継続	_	_
8	都市経営	文書共有システム運用事業	議会事務局	継続	_	_
9	都市経営	会議録インターネット公開事業	議会事務局	継続	_	_
10	都市経営	さかど市議会だより発行事業	議会事務局	継続	_	_
11	都市経営	議会インターネット中継事業	議会事務局	継続	_	_
12	都市経営	広報さかど発行事業	広報広聴課	継続	_	_
13	都市経営	ホームページ運営事業	広報広聴課	継続	改善・効率化	改善提案
14	都市経営	シティプロモーション推進事業	広報広聴課	継続	_	_
15	都市経営	マイナンバーカード取得促進事業	市民課	改善・効率化	_	_
16	都市経営	住民基本台帳ネットワークシステム整備事業	市民課	継続	_	_
17	都市経営	地区集会所等整備支援事業	市民生活課	継続	_	_
18	都市経営	坂戸駅前集会施設管理事業	市民生活課	改善・効率化	_	_
19	都市経営	市民活動普及支援事業	市民生活課	継続	_	_
20	都市経営	都市交流事業	市民生活課	継続	_	_
21	都市経営	多文化共生事業	市民生活課	継続	_	_
22	都市経営	庁舎施設等改修事業	施設管理課	継続	_	_
23	都市経営	例規システム等運用事業	庶務課	改善・効率化	_	_
24	都市経営	選挙啓発事業	庶務課	継続	_	_
25	都市経営	平和行政事業	庶務課	継続	_	_
26	都市経営	ICT・データ活用推進事業	情報政策課	拡充	_	_
27	都市経営	庁内ネットワーク基盤整備事業	情報政策課	改善・効率化	_	_
28	都市経営	公共施設予約サービス事業	情報政策課	継続	_	_
29	都市経営	統合型地理情報システム管理運用事業	情報政策課	継続	_	_
30	都市経営	パソコン等管理運用事業	情報政策課	継続	_	_
31	都市経営	庁内ポータルサイト管理運用事業	情報政策課	継続	_	_
32	都市経営	基幹系業務システム管理運用事業	情報政策課	継続	_	_
33	都市経営	情報セキュリティ対策事業	情報政策課	継続	_	_
34	都市経営	電子申請システム運用事業	情報政策課	継続	_	_
35	都市経営	職員研修・啓発事業	職員課	改善・効率化	_	_
36	都市経営	人事給与システム運用事業	職員課	継続	_	_
37	都市経営	男女共生社会促進事業	人権推進課	継続	_	_
38	都市経営	人権啓発事業	人権推進課	統合	_	

No.	分野	事業名	担当部署	一次評価	二次評価	三次評価
39	都市経営	人権擁護推進事業	人権推進課	統合	_	_
40	都市経営	移住定住促進事業	政策企画課	継続	改善・効率化	改善提案
41	都市経営	総合計画推進事業	政策企画課	継続	_	_
42	都市経営	まちづくり応援寄附金推進事業	政策企画課	継続	_	_
43	都市経営	北坂戸団地にぎわい再生事業	政策企画課	継続	_	_
44	都市経営	広域連携推進事業	政策企画課	継続	_	_
45	都市経営	行政改革推進事業	政策企画課	統合	_	_
46	都市経営	産学官連携事業	政策企画課	継続	_	_
47	都市経営	総合政策調査研究事業	政策企画課	継続	_	_
48	都市経営	土木積算システム運用事業	道路河川課	継続	_	_
49	都市経営	入西地域交流センター運営事業	入西地域交流センター	継続	_	_
50	都市経営	収納率向上対策事業	納税課	継続	_	_
51	都市経営	戦没者遺族援護事業	福祉総務課	改善・効率化	_	_
52	健康・福祉、 安全・安心	婚活支援事業	こども支援課	継続	_	_
53	健康・福祉、安全・安心	交通安全施設等整備事業	維持管理課	継続	_	_
54	健康・福祉、安全・安心	国民健康保険事業(国民健康保険特別会計繰出 金)	健康保険課	継続	_	_
55	健康・福祉、安全・安心	後期高齢者医療事業	健康保険課	継続	_	_
56	健康・福祉、安全・安心	埼玉土建・埼玉県建設国民健康保険組合補助事業	健康保険課	継続	_	_
57	健康・福祉、安全・安心	交通安全対策推進事業	交通対策課	継続	_	_
58	健康・福祉、 安全・安心	放置自転車対策推進事業	交通対策課	継続	_	_
59	健康・福祉、 安全・安心	市民後見推進事業	高齢者福祉課	改善・効率化	_	_
60	健康・福祉、 安全・安心	老人クラブ活動支援事業	高齢者福祉課	継続	_	_
61	健康・福祉、 安全・安心	高齢者生きがい対策事業	高齢者福祉課	統合	_	_
62	健康・福祉、 安全・安心	老人福祉センター運営管理事業	高齢者福祉課	継続	_	_
63	健康・福祉、 安全・安心	要介護高齢者生活支援事業	高齢者福祉課	統合	_	_
64	健康・福祉、 安全・安心	高齢者福祉サービス事業	高齢者福祉課	統合	_	_
65	健康・福祉、 安全・安心	老人福祉施設入所事業	高齢者福祉課	継続	_	_
66	健康・福祉、 安全・安心	介護保険事業(介護保険特別会計繰出金)	高齢者福祉課	継続	_	_
67	健康・福祉、 安全・安心	低所得者利用者負担金補助事業	高齢者福祉課	継続	_	_
68	健康・福祉、 安全・安心	児童センター講座等開催事業	こども支援課	継続	改善・効率化	改善提案
69	健康・福祉、 安全・安心	こども医療費支給事業	こども支援課	継続	_	_
70	健康・福祉、 安全・安心	児童相談事業	こども支援課	継続	_	_
71	健康・福祉、 安全・安心	つどいの広場事業	こども支援課	継続	_	_
72	健康・福祉、 安全・安心	子育て世代包括支援推進事業(基本型)	こども支援課	継続	_	_
73	健康・福祉、 安全・安心	ファミリー・サポート・センター運営事業	こども支援課	継続	_	_
74	健康・福祉、 安全・安心	児童虐待防止事業	こども支援課	継続	_	_
75	健康・福祉、 安全・安心	言語発達遅滞児支援事業	こども支援課	継続	_	_
76	健康·福祉、 安全·安心	母子家庭等自立支援事業	こども支援課	継続	_	_

No.	 分野	事業名	担当部署	一次評価	二次評価	三次評価
77	健康・福祉、 安全・安心	子どもの貧困対策推進事業	こども支援課	継続	_	_
78	健康·福祉、 安全·安心	児童手当等支給事業	こども支援課	継続	_	_
79	健康・福祉、安全・安心	児童扶養手当支給事業	こども支援課	継続	_	_
80	健康·福祉、 安全·安心	ひとり親家庭等医療費支給事業	こども支援課	継続	_	_
81	健康・福祉、安全・安心	子育て短期支援事業	こども支援課	継続	_	_
82	健康・福祉、安全・安心	誕生祝いメモリアル事業	市民課	継続	継続	_
83	健康・福祉、安全・安心	不妊治療費等助成事業	市民健康センター	縮小	改善・効率化	_
84	健康・福祉、安全・安心	成人健康教育・相談事業	市民健康センター	継続	_	_
85	健康・福祉、 安全・安心	地域医療助成事業	市民健康センター	継続	_	_
86	健康・福祉、安全・安心	乳幼児健診事業	市民健康センター	継続	_	_
87	健康・福祉、安全・安心	子育て世代包括支援推進事業(母子保健型)	市民健康センター	拡充	_	_
88	は東・福祉、 健康・福祉、 安全・安心	成人健診事業	市民健康センター	継続	_	_
89	健康・福祉、 安全・安心	後期高齢者医療事業(健康診査)	市民健康センター	継続	_	_
90	健康・福祉、 安全・安心	自殺対策推進事業	市民健康センター	拡充	_	_
91	は東・福祉、 健康・福祉、 安全・安心	予防接種実施事業	市民健康センター	継続	_	_
92	健康・福祉、安全・安心	歯科口腔保健推進事業	市民健康センター	継続	_	_
93	健康・福祉、 安全・安心	公的病院等救急医療体制支援事業	市民健康センター	改善・効率化	_	_
94	健康・福祉、安全・安心	未熟児養育医療給付事業	市民健康センター	継続	_	_
95	健康・福祉、安全・安心	坂戸飯能地区病院群輪番制事業	市民健康センター	継続	_	_
96	健康・福祉、 安全・安心	坂戸鶴ヶ島医師会立休日急患診療所運営補助事業	市民健康センター	継続	_	_
97	健康・福祉、 安全・安心	献血推進事業	市民健康センター	継続	_	_
98	は東・福祉、 健康・福祉、 安全・安心	骨髄移植ドナー助成事業	市民健康センター	継続	_	_
99	健康・福祉、 安全・安心	葉酸プロジェクト(認知症予防等)推進事業	市民健康センター	継続	_	_
100	健康・福祉、 安全・安心	健康なまちづくり事業	市民健康センター	継続	_	_
101	ままます。 健康・福祉、 安全・安心	自動体外式除細動器(AED)普及推進事業	市民健康センター	継続	_	_
102	ままり また また は は また	消費生活推進事業	市民生活課	継続	継続	改善提案
103	健康・福祉、 安全・安心	市民相談事業	市民生活課	継続	_	_
104	健康・福祉、 安全・安心	住宅耐震改修促進事業	住宅政策課	継続	_	_
105	健康・福祉、 安全・安心	障害児給付費等支給事業	障害者福祉課	継続	_	_
106	健康・福祉、 安全・安心	障害者成年後見事業	障害者福祉課	継続	改善・効率化	_
107	健康・福祉、 安全・安心	障害福祉補助事業	障害者福祉課	継続	_	_
108	### ### ### #########################	福祉であいの広場開催事業	障害者福祉課	継続	_	_
109	健康・福祉、 安全・安心	障害者就労支援センター運営事業	障害者福祉課	継続	_	_
110	健康・福祉、 安全・安心	自立支援給付費等支給事業	障害者福祉課	継続	_	_
111	健康・福祉、 安全・安心	障害者援護事業	障害者福祉課	継続	_	_
112	健康・福祉、 安全・安心	手話通訳者派遣事業	障害者福祉課	継続	_	_
113	健康・福祉、 安全・安心	地域生活支援事業	障害者福祉課	継続	_	_
114	健康・福祉、 安全・安心	福祉作業所整備事業	障害者福祉課	継続	_	_
	女王・女心	<u> </u>				

No.	分野	事業名	担当部署	一次評価	二次評価	三次評価
115	健康・福祉、 安全・安心	障害者計画等推進事業	障害者福祉課	継続	_	_
116	健康・福祉、 安全・安心	障害者スポーツ振興事業	障害者福祉課・スポーツ推進課	改善・効率化	_	_
117	健康·福祉、 安全·安心	更生保護活動支援事業	福祉総務課	継続	_	_
118	健康・福祉、 安全・安心	災害救助事業	福祉総務課	継続	_	_
119	健康・福祉、 安全・安心	社会福祉協議会活動補助事業	福祉総務課	改善・効率化	_	_
120	健康・福祉、 安全・安心	福祉センター指定管理事業	福祉総務課	継続	_	_
121	健康・福祉、 安全・安心	民生委員・児童委員活動支援事業	福祉総務課	継続	_	_
122	健康・福祉、 安全・安心	社会福祉法人指導監査事業	福祉総務課	継続	_	_
123	健康・福祉、 安全・安心	生活保護等事業	福祉総務課	継続	_	_
124	健康・福祉、 安全・安心	生活保護適正実施推進事業	福祉総務課	継続	_	_
125	健康・福祉、 安全・安心	生活困窮者自立支援事業	福祉総務課	継続	_	_
126	健康・福祉、 安全・安心	地域福祉計画推進事業	福祉総務課	継続	_	_
127	健康・福祉、 安全・安心	安心生活創造事業	福祉総務課	継続	_	_
128	健康・福祉、安全・安心	行旅病人救護等事業	福祉総務課	継続	_	_
129	健康・福祉、安全・安心	すくすく保育推進事業	保育課	継続	_	_
130	健康・福祉、安全・安心	学童保育所指定管理事業	保育課	統合	_	_
131	健康・福祉、安全・安心	幼稚園預かり保育支援事業	保育課	休止	_	_
132	健康・福祉、安全・安心	幼児教育無償化事業	保育課	継続	_	_
133	健康・福祉、安全・安心	学童保育所整備事業	保育課	統合	_	_
134	健康・福祉、安全・安心	民間保育所等運営委託事業	保育課	継続	_	_
135	健康・福祉、安全・安心	民間保育所運営補助事業	保育課	継続	_	_
136	健康・福祉、安全・安心	地域型保育事業	保育課	継続	_	_
137	健康・福祉、安全・安心	認可外保育施設等一時預かり事業	保育課	継続	_	_
138	健康・福祉、安全・安心	子育て支援センター事業	保育課	継続	_	_
139	健康・福祉、安全・安心	病児保育事業	保育課	継続	_	_
140	健康・福祉、安全・安心	保育園給食調理業務委託事業	保育課	継続	_	_
141	健康・福祉、安全・安心	公立保育園障害児加配保育士等採用事業	保育課	継続	_	_
142	健康・福祉、安全・安心健康・福祉	認定こども園整備等事業	保育課	継続	_	_
143	健康・福祉、安全・安心	公立保育園改修等事業	保育課	継続	_	_
144	健康・福祉、安全・安心	家庭保育室措置委託事業	保育課	継続	_	_
145	健康・福祉、安全・安心	地域防災計画推進事業	防災安全課	統合	_	_
146	健康・福祉、安全・安心	防犯灯設置・管理事業	防災安全課	統合	_	_
147	健康・福祉、安全・安心	自主防災組織整備事業	防災安全課	統合	_	_
148	健康・福祉、安全・安心	災害用備蓄品等整備事業	防災安全課	統合	_	_
149	健康・福祉、安全・安心	防災訓練実施事業	防災安全課	統合	_	_
150	健康・福祉、安全・安心	自動体外式除細動器(AED)配備事業	防災安全課	統合	_	_
151	健康・福祉、安全・安心	水防事業	防災安全課	継続	_	_
152	健康・福祉、 安全・安心	消防・救急事業(常備消防費負担金)	防災安全課	継続		_

No.	 分野	事業名	担当部署	一次評価	二次評価	三次評価
153	健康・福祉、 安全・安心	消防·救急事業(非常備消防費·消防施設費負担金)	防災安全課	継続	_	_
154	健康・福祉、安全・安心	安全で安心なまちづくり推進事業	防災安全課	統合	_	_
155	都市環境·経済	環境学館いずみ運営事業	環境学館いずみ	継続	_	_
156	都市環境・経 済	ミツバチプロジェクト推進事業	環境学館いずみ	拡充	拡充	_
157	都市環境・経 済	環境美化清掃等事業	環境政策課	継続	_	_
158	が 都市環境・経 済	特定外来生物等防除事業	環境政策課	継続	_	_
159	都市環境・経 済	浄化槽維持管理推進事業	環境政策課	継続	_	_
160	都市環境・経 済	浄化槽台帳推進事業	環境政策課	統合	_	_
161	都市環境・経 済	河川水質汚濁状況等調査事業	環境政策課	継続	_	_
162	都市環境・経 済	省エネルギー機器等普及推進事業	環境政策課	統合	_	_
163	都市環境・経 済	浄化槽設置等整備事業	環境政策課	継続	_	_
164	都市環境・経 済	ごみ不法投棄監視等事業	環境政策課	継続	_	_
165	都市環境・経 済	し尿処理事業(坂戸地区衛生組合負担金)	環境政策課	継続	_	_
166	都市環境・経 済	地球温暖化対策事業	環境政策課	統合	_	_
167	都市環境・経 済	犬の適正飼養対策事業	環境政策課	継続	_	_
168	都市環境・経 済	空き地等適正管理指導事業	環境政策課	継続	_	_
169	都市環境・経 済	飼い主のいない猫対策事業	環境政策課	継続	_	_
170	都市環境・経 済	商店街活性化推進事業	商工労政課	継続	_	_
171	都市環境・経 済	中小企業融資事業	商工労政課	継続	_	_
172	都市環境・経 済	シルバー人材センター支援事業	商工労政課	継続	_	_
173	都市環境・経 済	ワークプラザ指定管理事業	商工労政課	継続	_	_
174	都市環境・経 済	観光振興事業	商工労政課	継続	改善・効率化	改善提案
175	都市環境・経 済	商工会支援事業	商工労政課	継続	_	_
176	都市環境・経 済	商店街等対策事業	商工労政課	継続	_	_
177	都市環境・経 済	創業経営発達支援事業	商工労政課	継続	_	_
178	都市環境・経 済	商店街環境施設整備等補助事業	商工労政課	継続	_	_
179	都市環境・経 済	工場誘致奨励事業	商工労政課	継続	_	_
180	都市環境・経 済	ワークプラザ改修事業	商工労政課	休止	_	_
181	都市環境・経 済	坂戸よさこい支援事業	商工労政課	継続	_	_
182	都市環境・経 済	雇用促進事業	商工労政課	継続	_	_
183	都市環境・経 済	勤労者住宅資金貸付事業	商工労政課	廃止	_	_
184	都市環境・経 済	特産品推進事業	商工労政課	継続	_	_
185	都市環境・経 済	産業まつり支援事業	商工労政課	継続	_	_
186	都市環境・経 済	勤労者支援事業	商工労政課	継続	_	_
187	都市環境・経 済	ごみ収集・運搬事業	西清掃センター	継続	_	_
188	都市環境・経 済	粗大ごみ収集事業	西清掃センター	継続	_	_
189	都市環境・経 済	焼却施設等整備事業	西清掃センター	継続	_	_
190	都市環境・経 済	容器包装分別収集事業	西清掃センター	継続	_	_

No.	分野	事業名	担当部署	一次評価	二次評価	三次評価
191	都市環境・経 済	一般廃棄物処分事業	西清掃センター	継続	_	_
192	都市環境・経 済	4 R推進事業	西清掃センター	継続	_	_
193	が 都市環境・経 済	かんがい排水事業	農業振興課	継続	_	_
194	都市環境・経 済	ほ場整備事業	農業振興課	継続	_	_
195	都市環境・経 済	農業活性化事業	農業振興課	継続	_	_
196	が 都市環境・経 済	農業振興事業	農業振興課	継続	_	_
197	都市環境・経 済	市民農園事業	農業振興課	継続	_	_
198	都市環境・経 済	畜産振興事業	農業振興課	継続	_	_
199	都市環境・経 済	4 R推進事業	廃棄物対策課	拡充	_	_
200	都市環境・経 済	ごみ・資源物分別マニュアル改訂事業	廃棄物対策課	継続	_	_
201	都市環境・経 済	家庭用生ごみ処理器等購入補助事業	廃棄物対策課	継続	_	_
202	教育・文化	スポーツフェスティバル実施事業	スポーツ推進課	改善・効率化	_	_
203	教育・文化	市民総合運動公園指定管理事業	スポーツ推進課	統合	_	_
204	教育・文化	市民総合運動公園管理事業	スポーツ推進課	統合	_	_
205	教育・文化	健康増進施設指定管理事業	スポーツ推進課	統合	_	_
206	教育・文化	運動公園施設管理事業	スポーツ推進課	継続	_	_
207	教育・文化	関東古希・還暦野球大会実施事業	スポーツ推進課	継続	_	_
208	教育・文化	坂戸市民チャリティマラソン実施事業	スポーツ推進課	継続	_	_
209	教育・文化	健康增進施設管理事業	スポーツ推進課	継続	_	_
210	教育・文化	学校体育施設開放事業	スポーツ推進課	継続	_	_
211	教育・文化	オリンピック・パラリンピック聖火リレー実施事 業	スポーツ推進課	終了	_	_
212	教育・文化	ニュースポーツ等普及事業	スポーツ推進課	継続	_	_
213	教育・文化	各種スポーツ大会出場費補助事業	スポーツ推進課	継続	_	_
214	教育・文化	子ども文化・スポーツ団体健全育成補助事業	スポーツ推進課	継続	_	_
215	教育・文化	児童生徒安全対策事業	学校教育課	継続	_	_
216	教育・文化	学校図書館整備事業	学校教育課	継続	継続	_
217	教育・文化	学校支援員配置事業	学校教育課	統合	_	_
218	教育・文化	中学校部活動推進事業	学校教育課	継続	_	_
219	教育・文化	学校・地域等連携推進事業	学校教育課	継続	_	_
220	教育・文化	特別支援教育推進事業	学校教育課	継続	_	_
221	教育・文化	学力向上推進事業	学校教育課	継続	_	_
222	教育・文化	体力向上推進事業	学校教育課	継続	_	_
223	教育・文化	学校読書活動支援事業	学校教育課	統合	_	_
224	教育・文化	英語指導推進事業	学校教育課	継続	_	_
225	教育・文化	教育研究事業	学校教育課	統合	_	_
226	教育・文化	不登校解消事業	学校教育課	拡充	_	_
227	教育・文化	インターナショナルアシスト事業	学校教育課	継続	_	_
228	教育・文化	小中一貫教育推進事業	学校教育課	継続	_	_

No.	分野	事業名	担当部署	一次評価	二次評価	三次評価
229	教育・文化	学校コンピュータ整備事業	学校教育課	継続	_	_
230	教育・文化	就学援助事業	学校教育課	継続	_	_
231	教育・文化	スチューデント・インターンシップ事業	学校教育課	継続	_	_
232	教育・文化	多子世帯学校給食費軽減事業	教育総務課	継続	_	_
233	教育・文化	学校トイレ改修事業	教育総務課	継続	_	_
234	教育・文化	学校体育振興事業	教育総務課	継続	_	_
235	教育・文化	市立幼稚園園児送迎バス運行事業	教育総務課	縮小	_	_
236	教育・文化	学校施設整備事業	教育総務課	拡充	_	_
237	教育・文化	学校エアコン整備事業	教育総務課	拡充	_	_
238	教育・文化	学校給食調理業務委託事業	教育総務課	継続	_	_
239	教育・文化	給食施設·設備整備事業	教育総務課	継続	_	_
240	教育・文化	学校給食システム運用事業	教育総務課	継続	_	_
241	教育・文化	入学準備金貸付事業	教育総務課	継続	_	_
242	教育・文化	学校プレハブ借上事業	教育総務課	継続	_	_
243	教育・文化	幼稚園特別支援職員等採用事業	教育総務課	継続	_	_
244	教育・文化	小・中学校就学援助事業(給食費)	教育総務課	継続	_	_
245	教育・文化	私立幼稚園等特別支援教育費補助事業	教育総務課	拡充	_	_
246	教育・文化	小・中学校就学援助事業(医療費)	教育総務課	継続	_	_
247	教育・文化	文化施設管理事業	市民生活課	継続	_	_
248	教育・文化	文化振興事業	市民生活課	改善・効率化	_	_
249	教育・文化	文化財調査事業	社会教育課	継続	改善・効率化	_
250	教育・文化	青少年健全育成活動推進事業	社会教育課	継続	_	_
251	教育・文化	青少年地域ふれあい事業	社会教育課	継続	_	_
252	教育・文化	地域人材を活用した学習支援事業	社会教育課	継続	_	_
253	教育・文化	指定文化財保護事業	社会教育課	継続	_	_
254	教育・文化	人権教育推進事業	社会教育課	継続	_	_
255	教育・文化	社会教育施設整備事業	社会教育課	継続	_	_
256	教育・文化	社会教育団体支援事業	社会教育課	継続	_	_
257	教育・文化	文化財案内板設置事業	社会教育課	継続	_	_
258	教育・文化	図書館運営事業	図書館	継続	_	_
259	教育・文化	図書館資料整備事業	図書館	継続	_	_
260	教育・文化	図書館電算システム整備事業	図書館	継続	_	_
261	教育・文化	図書館企画講座等開催事業	図書館	継続	_	_
262	教育・文化	図書館ボランティア推進事業	図書館	継続	_	_
263	教育・文化	子ども読書活動推進事業	図書館	継続	_	_
264	教育・文化	体育祭・文化祭・成人式開催事業	中央公民館	継続	_	_
265	教育・文化	各種教室・講座等開催事業	中央公民館	継続	_	_
266	教育・文化	公民館施設整備事業	中央公民館	継続	_	_

No.	分野	事業名	担当部署	一次評価	二次評価	三次評価
267	都市基盤	道路維持管理事業	維持管理課	継続	_	_
268	都市基盤	都市公園等整備事業	維持管理課	改善・効率化	_	_
269	都市基盤	橋りょう維持管理事業	維持管理課	継続	_	_
270	都市基盤	花のまちづくり推進事業	環境政策課	継続	_	_
271	都市基盤	緑の保全・創造事業	環境政策課	継続	_	_
272	都市基盤	火葬事業(広域静苑組合負担金)	環境政策課	継続	_	_
273	都市基盤	緑と花と清流基金積立事業	環境政策課	廃止	_	_
274	都市基盤	坂戸都市計画事業坂戸中央2日の出町土地区画整 理事業(繰出金)	区画整理事務所	継続	_	_
275	都市基盤	坂戸都市計画事業石井土地区画整理事業(特別会 計繰出金)	区画整理事務所	継続	_	_
276	都市基盤	坂戸都市計画事業関間四丁目土地区画整理事業 (特別会計繰出金)	区画整理事務所	継続	_	_
277	都市基盤	坂戸都市計画事業片柳土地区画整理事業(特別会 計繰出金)	区画整理事務所	継続	_	_
278	都市基盤	地域公共交通運行事業	交通対策課	継続	継続	改善提案
279	都市基盤	市営住宅改修事業	施設管理課	継続	_	_
280	都市基盤	住宅対策事業	住宅政策課	継続	_	_
281	都市基盤	大谷川流域浸水対策事業	都市計画課	継続	_	_
282	都市基盤	開発推進地区推進事業	都市計画課	継続	_	_
283	都市基盤	入西東部地区環境影響評価事後調査実施事業	都市計画課	終了	_	_
284	都市基盤	坂戸、鶴ヶ島下水道整備事業	都市計画課	継続	_	_
285	都市基盤	都市計画基礎調査事業	都市計画課	終了	_	_
286	都市基盤	関間千代田線整備事業	道路河川課	継続	_	_
287	都市基盤	森戸橋架替整備事業	道路河川課	継続	_	-
288	都市基盤	河川等維持管理事業	道路河川課	継続	_	_
289	都市基盤	ふるさとの川整備事業(高麗川)	道路河川課	継続	_	_
290	都市基盤	生活道路整備事業	道路河川課	継続	_	-
291	都市基盤	生活道路整備事業(歩道整備事業)	道路河川課	継続	_	_
292	都市基盤	北坂戸地区まちづくり推進事業	北坂戸地区まちづくり推進室	継続		

事系	务事	業名	電子	-入札	運用事	業								整理No.	1	
所	属	名	部	総合	政策部		課財	政課			記入者	町田	純一	内線	245	
 上位	1 施 3	策 名	分野	都市	経営		中	柱 行政	女の情報を	化	小	柱 高度	な行政	な行政サービスの提供		
			年度			年度		>	1,7 12	. –			.,,,,,,			
			年度		10	年度	根拠法	卡 令等								
	T /						者 口區	章害者	□個人	□世帯	□団体	□全で	の人	▼ その他		
	(誰、	対何を対		象 している					_		_				希望する業者	
											、具体的					
											電子入札			&C ₀ /		
						務(建設	2工事、	設計•	調査・測	量、土木	マ施設維持	寺管理の	登録を	希望する	業者が対象)	
_			を行り		_	- 6. 18		- \ + -1\	L 7 1	!= .		,				
事 											. ているか ·効率化を		士士			
務														いて、埼玉	E県の設置する共	
 事	同受	付窓口	1を使	用する	ためのシ	ステム改	修を実	施しまし	た。							
≢ 				区	分			単位		2年度	-1 /	令和3			令和4年度	
業	+15.4					4/1日 46:			美 績((決 算)		予算)	実績	(決算)	計画(予算)	
 ၈		_			実施回数 "	以、保括)	E)	回		3		6		4		
			登録					者		2,467		150		114		
概	指標	∰3)	電子	入札化	牛数			件		94	ļ.	100		86		
要	指標	に対	する達	成度												
	4//>	1	事	業 書	\$			千円		2,228	:	1,058		1,949		
	総事	_			。 国県支出	金・その		千円		۵,۵۵0	•	1,000		891		
	業費		一般	財源				千円		2,228	}	1,058		1,058	0	
	. 堿 貝 剱						人		0.70		0.70		0.70			
	コス	2	人《			 ②		千円 千円		3,476		3,476 4,534		3,476	0	
	۲		総・	事 業	貸 ①	+2		十円	H31·32	5,704 資格審査	R3·4資格		R3·4資	5,425 各審査(追	0	
	把 握			事業	の年度別	削実施内]容		(追加・入		加・定期)					
	1/11	/ */- nc	- L		Г	マラン 必要性	: が高い		食討の余地		□□必要性	生が低い	10			
	必	(着眼 •市長	え 3.ニー:	ズに	【理由】											
	要	対応	してい	るか	平成26年	E9月30日 ・ 電子ス	に閣議	決定さ	れた公共	工事の入 ており ま	.札及び契 た 平成10	約の適正	化を図っ	るための措 れた埼玉県	置に関する指針 k市長会における	
			はある								導入に努				CID X X (C401) S	
					Γ.	☑ 有効性	が高い	I⊒ ⅓	高める余地	あり	□有効性	‡が低い				
	有	(着眼		₩ 田	【理由】						_					
_	効	はあ	うとした るか	2 分未	ハイログル				ハては、電 が図れて		共同システ	ムに加入	.する自?	台体の受付	窓口を埼玉県に	
次	性				電子入村	しについ	ては、入	札行為	やそれに	伴う情報	確認のたる	めの来庁	等の回数	数の大幅減	少により、受注	
		(着眼	占)			「る事務コ 7 効率的			吉びつきま 高める余地		□ 効率的	りではたい				
評	効	• ¬ Z ト	 、業務i .執行で	面等効	【理由】	7 XJ++ 17	Casa	ш"		3 , 7	□ <i>∞</i> 1 + 1) (10/00)				
価	平	るか			令和3年	度現在	、電子	入札共	同シスラ	ムには	埼玉県と	65団体が	多加し	ています	。電子入札共	
	性・民間委託や他事業 との統合・連携が可		影が可							声の事務を ことができ			、心札者1	則にとつても目		
		能か				L(□							_	§了 □休.	止 □廃止	
	総	A 44.		- 14	【課長名				☐ WE\1,			▼ 和至49	C	: 1	正 口焼工	
			の方向 策等			ついても	、入札	契約事	₮務を効響	をよく遂行	行するたと	めに同シ	⁄ステム:	を利用して	こいく予定で	
	価				す。											
	<u> 4</u> –			× 6												
_,			た今後 対善策													
改善善	, J [1-1]	, <u> </u>	, _L ,	, /	r] 実施済	F(由)	п-	·部実施	□検討	,	□ 未実施	г	子の他		
状	状 対応状況(実施内		L	天心》	(+)		叩大心		ידי [┛ 不夫他	L	」(か同				
況			色の理 定等)													
	今後の予定等)															

			1- 1-		<u> </u>			
事系	務事 業 名	契約管理	≣システム運用事業	;			整理No.	2
所	属 名	部 総合	政策部課	財政課		記入者 町田	純一 内線	245
 ⊢ /i	拉施策名	分野 都市	i経堂	山柱 行政	なの情報化	小柱 高度	な行政サービスの	7提供
- '-		年度 平成		111111	C*> 10 TK 10	1111		> DC D7
			根拠	L法令等				
	事業終了	年度 令和						
	対					□団体 □全て	の人 マその他	
	(誰、何をタ	付象としている	るか) (具体的に) 坂戸	市全職員				
			うな状態にするために			、具体的な目標	(数値)など。)	
	業者情報	の適正な管	管理及び契約事務の	効率化を	図ります。			
車	中华恒田	/ 聖 40 击 荥	工工业中南北区 日前	トナ '去 卍 =	トフェ ふに与まし	-1,7 L,)		
争			₹•活動内容など、目的 情報管理を一元的に行い				ナータ細の刧幼安州	の質問も行ってい
務	ます。令和4	年度に実施す	情報管理を一元的に行い する物品・その他の業務に	異する令系	14 C 情報共有をする 15・6年度入札参加	5ことかり肥くり。よ 資格者登録受付事剤	た、合麻の矢形采け 务について、埼玉県の	の官性を11つに・・ の設置する共同受
_	付窓口を使	用するための	Dシステム改修を実施しまし	ンた。				
事		-		*** \T	令和2年度	令和:	3年度	令和4年度
業		区	分	単位	実績(決算)		実績(決算)	計画(予算)
71-	指標①	指名委員	会審議件数	件	454	500	474	
の	指標②	登録業者	数	者	1,211	50	69	
概		入札件数		件	187			
1ሁሌ	ĭ∺¹⊼⊚	/\TLF1 3A		ÎT.	107	۵۵۰	110	
要	指標に対す	する達成度						
	«» (1)	事業	费	千円	3,213	4,542	6,250	
	1110		^貝 [国県支出金・その他)	千円	0,210	1,012	1,745	
	業 源	一般財源		千円	3,213	4,542		0
	書	員数		人	1.20	1.20	1.20	
	•	人件費	<u>.</u>	千円	5,958			0
	ス	総事業	費 ①+②	千円	9,171	10,500	12,208	0
	ト 把	市业			指名委員会14回、	指名委員会13回、 システム改修、R3・4	指名委員会13回、	
	握	争未	の年度別実施内容		資格審查	追加受付	追加受付	
	(着眼	14)	☑ 必要性が高し	ハ □ 楨	食討の余地あり	□必要性が低い		
	必 市民	ニーズに	【理由】					
	要 対応し	しているか	日次で更新される業者 契約案件について、一	情報につ	いて、常に最新情報をよる。	報を共有することが	ぶ可能であり、また名	↑課に分散する
		【関与の必 よあるか	笑 利 条 汁 に つい し、	元的に 日・	埋り ることがり 貼く	こなのシヘノムしょ。	>	
	右 (着眼	点)	☑ 有効性が高し 【理由】	, NE	高める余地あり	□有効性が低い		
_	つ か ・目的	とした効果	【理田】 業者情報の登録、変更	〔から、指名	五通知、入札執行、	. 契約締結、完成格	資査に至るまで一連	の事務を効率的
	性 はある	るか	に管理することが可能	です。また	、ファイル共有シス	ペテムの活用により、	、業者への電子デー	
次			供が可能となり、入札に	- 係る米厅	回数の抑制による	コスト縮減に結び	つきます。	
評	(着眼,		☑ 効率的である	高	高める余地あり	□ 効率的ではない		
	郊 率的に	、業務面等効 執行できてい	【理田】	LI	" 	~ 5.4 & - 11 & 4.0 X	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
価	半 るか		埼玉県の運用する電 タ連携を行うことによ	3子人札ヲ い 効率的	共同シスアム及し ぬか唐却管理が	ド競争人札参加覧 可能りかっていま	脊格甲請受付ン/ オーキャー 指名業	ドテムとのナー
	との統 能か	合・連携が可	来庁の必要なく仕様	書の交付	けを受けることがで	できます。	9 。 かた、1日111 1 11 1 1 11 1 1 11 1 111 1 111 1 111 1 111 1 111 1 111 1	治でもなってい
	nu.v		見直し(□ 改善・				売 □終了 □休.	止 □廃止
	総		【課長名:齊藤秀-			□ 714.76 / □■ 中医小	T L MC 1 L MC -	正 口疣止
		の方向性 (策等)	今後についても、効	_	者管理及び契約	」事務を遂行する	ために同システム	ふを利用してい
	計 (以書 価	(宋 守/	く予定です。					
	į.							
	前回示した							
改	方向性(改	(善策等)						
善			一 中长文(十)		部実施 □検討	中 □ 未実施	i □ その他	
			□ 実施済(中)	ш-	叩天心 山 快歌			
状	対応状況		_	ш-	即失心 口 快下			
	対応状況 容、未実施 今後の予!	拖の理由、	_	Ш-	叩失心 口快点	5. 一 一 一 不 天 ル		

事	務事	業名	航空	写真	撮影	及び地番	図作	成事業					整	達理No.	3
所	属	名	部	総務	部		課意	課税課			記入者	杉本		内線	624
上 1	位 施	策 名	分野	都市	経営		-	中柱 財源	原の安定確何	呆	小柱	自主	財源の確	保	
	事業	(開始	年度	平成	61	年度			地方税法、	坂戸	市税条例、	、坂戸	市都市計	·画税条	:例
			年度		継続		根拠	法令等	固定資産						
	•			±		- □ 高齢	者 🗌	障害者	□個人□□	_		全て(の人	その他	
	(誰.		す 拿 対象とし	象 っている	るか) (具体的に)	坂戸市	†内に所	在する固定	資産	(土地・家居	屋)			
	目標	(対象	東をど	のよう	うな状態	にする	こめに	当該事	業を行ってし	いるか	、具体的な	は目標	(数値)な	ど。)	
	地方	税法第	359条	の規定	による賦	課期日現	生の課種	税客体を迅	A.速かつ的確し	こ把握す	けること、地力	7税法第	5382条の規	定による	法務局からの通知
						に、豕座形 箇正な路線			とにより課税の) 効 準 化	乙及び適止化	[を図り]	ます。また、	用途地以	区·状况類似地区·
▮	= 44	- 10# - 10	/ TI- 45	رئ و طہ 1	·	±- (±- 1°		- <i>+</i>	-	7 4 1.	-1,71,	`			
事 									するために(マテムに取り込む				し、固定資産	税の課税	資料である地番・家屋
務	データ	の前年	中の異動	め修正を	:行い、賦	課期日現在の)地番家	屋図を作成	します。さらに、貝	武課期日	の地番・家屋ラ	ニータと誤	・税台帳デー	タとの照合	を行い、地番家屋現況 写真データや都市計画
 事															こ補正しています。
Ŧ				区	分			単位	令和2年		=1 /		3年度	L ##-\	令和4年度
業	+15.4	ا ن تار				h 巫 図 佐 卍	中米		実績(決		計画(予		実績(シ	,	計画(予算)
၂ ၈	•	標①	机全与	チ具佩第	彰 及 いエ	也番図作成	争耒	千円	1	6,188	1	3,076		13,075	15,591
		標②													
┃概	指	票③			<i>u</i> . b .	2 Meadal	2 mm (s)	-1m -la \ \ \		\ I.I)		
要	指標	に対っ	する達	成度	作成さ 握し、ii	れた貸料 箇正な路線	を現地 泉価を1	調査に混 算出する	fi用するととも ことにより課₹	に、地 見事務の	番凶と航空 の効率化及	チ真にび滴す	こより課税? E化を達成	各体を辻 していこ	∃速かつ正確に把 ます。
			事				, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	千円		6,188		3,076		13,075	
	総事	_				出金・その	他)	千円	1,	5,100	1	3,070		13,073	15,551
	業	• • •	一般				,	千円	1	6,188	1	3,076		13,075	15,591
	費 •		員 梦					人		2.00		2.00		2.00	2.00
		2	人(千円		9,930		9,930		9,930	
	スト		総・	事 業	費 (1)+2		千円		5,118 彭 · 州		3,006		23,005	25,521 航空写真撮影、地
	把 握			事業	の年度	別実施に	内容			龙、路		成、路		乍成、路	番家屋図作成、路線価等の見直し
	姪					√必要性	+が古い	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	緑価等の見り		₩価等の見			1担し	
	必	(着眼	見点) ミニー:	ブー	【理由		E川'同し'	` ∟ 13	支討の未地のり			当氏しい			
	要	対応	してい	るか	課税客	体を的確に	把握し	、課税事務	めめ率化・適	i正化を	図ることによ	り、納税	(者からの信	頼性の研	確保向上に寄与し
	性		対関与 はある	07.25.	ています	0									
		Д ІТ	10.07	,,,											
		(着眼	見点)		【理由	☑ 有効性 】	か高い	<u> </u>	高める余地あり		□ 有効性が	低い			
l –	有効		けとした		法令に	- 基づき賦課						E化を図	ります。また	上、客観的	りな課税の根拠資
١,,,	性	米は	あるか	`	料として	有効に活	用し、納	税者に対	する説明責任	を果たし	しています。				
次 															
評		(着眼. ・コスト	業務	面等効	【理由	☑ 効率的 ▼	である		島める余地あり		□ 効率的で	はない			
価	郊率	るか	執行で		平成25	- 年度から、:	抗空写真	真撮影委詢	托と地番家屋 理	見況図等	等作成委託を	分供せて	、一つの業	者に行れ	っせることにより、効
"	· 性	·民間	委託や(合・連携		率的に位	作業を委託	すること	とが可能と	なると同時に、	コストの	削減にも繋	がってい	ハます。		
		能か	.u Æ1	,5,5											
	総					直し(□縮小 □	統合	」拡充)	✓ 継続	長 □終了	休	:止 □廃止
	合		の方向			名 : 佐藤 ^{課税客体の}			脱を継続して往	テうため	、欠かすこと	のできた	ない事業と	きえていき	ます。また、納税義
	評価	(改書	ま策等)	務者から	5課税に疑	義が生	じた場合の	の客観的な資料のており、今後	斗として	、説明に有効	か活用さ	られています	·. さらに	、全庁で利用されて
	価				v'つ机合	ュ至いGIS(ノ 本 (関)	/ <i>一</i> クとば・	つしわり、守俊	も世年	♥天肥し(√	さまり	o		
			た今後												
改	方向]性(1	女善 策	等)											
善	-	- 417 SE	/ 	: ch		実施》	筝(中)		部実施	検討	ф []	未実施	-	その他	
↓ 状況			(実施 施の理												
			の予定												

事	務事業名	家屋評価	ゴシステム運用事業	:				整理No.	4
所	属 名	部 総務	等部 課	課税課		記入者	堀田 利	n史 内線	267
上	位施策名	分野 都市	ī経営	中柱 財源	原の安定確保	小柱	自主財活	源の確保	
	事業開始	年度 平成	11 年度	I A 44-	地方税法、坂戸	⋾市税条例、	、坂戸市:	都市計画税条	:例
	事業終了	年度 令和	根拠 │ 年度	l法令等					
	交	†	□高齢者□	障害者	□個人 □世帯	□団体] 全ての人	✓ その他	
			るか) (具体的に) 坂戸	市内に所	「在する固定資産	(家屋)			
	目標(対象	えをどのよ	うな状態にするために	当該事	業を行っているか	、具体的な	:目標(数	(値)など。)	
			よる評価事務により、						
	表や家屋 ります。	の間取りを	記載した平面図を電	做的 記 数	がに保管すること	により、保官	・スペース	の解消や行り	7の効率化を図
 事		(取組内容	₹∙活動内容など、目的	かを達成す	するために何をし	ているか)		
	家屋評価		や評点表をシステムに					ることにより、評	『価計算の効率
務	化及び正	確性の確保	呆を図ります。						
事							A === ===		A == . = ==
祁		区	分	単位	令和2年度 実績(決算)	計画(予	令和3年	·	令和4年度 計画(予算)
業		家屋評価	件数	件	523		303	449	324
の	· · · · · ·								
概									
			税額の基となる評価	額を算出	するため、家屋	評価システ.	ムを運用	することにより	、適正な課税事
要	指標に対す	する達成度	務の効率化及び適力	E化を達	成しています。			,	,,
	1110	事 業 第	費	千円	1,541		1,542	1,541	1,542
	Alle		国県支出金・その他)	千円			4 # 40	4 7 44	1 5 10
	弗 ""	一般財源 員 数		千円 人	1,541 1.50		1,542 1.50	1,541 1.50	1,542 1.50
	•	g 数 人 件 費	7	千円	7,448		7,448	7,448	7,448
	ス	総事業		千円	8,989		8,990	8,989	8,990
	ト 把	古 	の年度別実施内容		家屋評価システム 機器等借上料	家屋評価シス機器等借上			家屋評価システム 機器等借上料
	握	尹 未	:の平皮が美心内谷		1% 部 号 旧 工作		11 1984.1	m 4 ll 7 ll	
	. (着眼		☑ 必要性が高(ハ □ 村	食討の余地あり	□必要性が	ばい		
	必 · 市民 要 対応	ピニーズに ているか	【理由】 家屋評価システムに	よろ評価	「事務 <i>に</i> より 評品	h計算の効図	玄化及び	で確性を図る	必要がありま
	性·行政	関与の必	す。また、間合せに						
	要性的	はあるか	必要があります。						
	/羊吁	1 - L \	☑ 有効性が高し	\ <u> </u>	高める余地あり	□ 有効性が	低い		
_	有 (着眼 効 ・目的	えたり Jとした効果	【理由】 ・3年ごとに改正される	田宁咨	・ 京価 北淮 沢 町	(た)が無事	数な行う:	~レができ 温/	年計管の力能
	性はある	るか	管理等、幅広い活用			ン/に計	あて1170	_こ// くさ、旭-	十可异、口似
次									
評	(着眼)	点) 、業務面等効	☑ 効率的である		高める余地あり	□ 効率的で	はない		
ļ _{/π}	郊 率的に	執行できてい		田いるこ	レで 1埔当たりの	り証価にかず	かる時間	が毎綋! ディ	- 夕等細により
価	性 民間	委託や他事業	一括修正や課税シス	ステムとの	でく、水雪にりのデータ連携等、	効率的に課	脱事務を	か短幅し、アーシンできることができ	きます。
	能か	合・連携が可							
	4//>		見直し(口 改善・		□縮小 □統合	□拡充)	✔ 継続	□終了 □休.	止 □廃止
	総 合 今後(の方向性	【課長名:佐藤 佳則		フリマルエー 女公マケーム ロ	ピンティッロ	a <i>수까</i> 차		マ 砂焼の甘
	評 (改善	策等)	家屋の固定資産税をなる評価額を算出						
	価		に繋がると考えます。		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		,/	, = 2	= - + // (9/1)
	前回示した	と今後の							
 改	七白州(3								
善			□実施済(中)		·部実施 □ 検討	対中 □:	未実施	□その他	
┃状	# 다 내 :ㅁ	(宝饰内				-			

事	務事業名	電子甲	申告シ	ノステ	ム運用?	 事業						整理No.	5
所	属 名	部糸	総務部	ß		課課税課			記入者	増山	裕文	内線	276
上化	位 施 策 名	分野者	邹市経	圣営		中柱 財活	源の安定確	雀保	小柱	自主	財源の	確保	
	事業開始	治年度 平	平成	27	年度	根拠法令等	地方税法	去					
	事業終了	在度 令	令和	5	年度	依拠 本 中 可							
		対 象			□高齢者		□個人 □			✓ 全て(
						法人市民税•							
						とめに当該事							
	電子甲音 eLTAX又	ランスアッ 【は光デ	ムの屋 ゴスク	ュ盤をマ イによる	利用した。 カ提出が	国税との連携 義務化された	号の拡充及 ことに伴う	ひ、紿与、地方税の	・公旳年 の電子申	金等に 音利月	⊆保るヌ 目件数	.払報告書 (法人市区	ifについて、 R税・個人住民
						をかつ正確な					14 1	(1-0)	VIDE IED II
事						、目的を達成							
務	電子申告 民税申告						年金等支担	ム報告書	•所得税	確定申	告書テ	[・] ータ等の	受領、法人市
	八沙	関 444 月	킟 圧 ⊤	゚ロい。	女川で11	V·エッ。							
事		Z	,	分		単位	令和2			令和3			令和4年度
業	TF T## (4)				✓ □ □□ /d, ≥			決算)	計画(予		実績	(決算)	計画(予算)
の	指標①	電十年	ョ合ン	ステム	利用件数	数 件		35,395	3	37,000		37,476	37,500
	指標②												
概 	指標③			⇒フ由	生ショニ	ニンテトで細系	当次型 小亞	ム岩 TL イド戸	の口が行り	、 `盎;	ナッポ	細いまま	ナルナ1 <i>ナ</i>
要	指標に対	する達成	支 度 ^甲	巨十十	台ンへノ	るによる課利	1. 貝州ツス	傾及いる	ごりで11 v	/ '、	上な風に	帯が 達成。	きれました。
	1.0	事業	€ 費			千円		8,627		6,264		6,263	6,264
	事財			県支出	金・その			- 00#				2 200	0.004
	弗 ""	一般財員 数				千円 人		8,627 1.00		6,264 1.00		6,263 1.00	6,264 1.00
		貝 剱人件				人 千円		4,965		4,965		4,965	1.00 4,965
	ス		業業	費 ①	+2	千円		13,592	1	1,229		11,228	11,229
	ト 把	事	重業の)年度!	別実施内	1突	用委託料、:	地方税共 月			電子申告 用委託料		電子申告システム運 用委託料
		•	F //			· –	同機構負担						
	(着) 必 ·市]	限点) マニーブ	`ı- [☑ 必 要性 	:が高い	検討の余地を	5D L	必要性た	が低い			
	要 対応	している	か 冒	電子申	告システ	ムの基盤を	利用した国	税との連	携が拡充	さされて	ており、	また、給与	5、公的年金等
		攺関与の ∶はあるカ				F書について 進を図ってい			ディスクに	よる提	出が義	務化され	ており、今後も
			-	_	▽汀底で		高める余地あ	_	□ 有効性が	«'I⊄1\			
		限点)	[」 【理由】		からい 口	高のの ホルの	<i>'</i> ') ∟	ᆜᅧ께エ╜	'' 巫い'			
_	効 田(+	的としたダ :あるか	効 {	電子申	告システ								定申告書等のができ、迅速か
次	性					に祝申告・負≠ 作業に繋がっ			ビ電士ノ	ータし	ペリ収!	J9 QUC	かでき、迅速か
 評	(着眼			[✓ 効率的 ⁻	である	高める余地あ	5D [□効率的で	ごはない			
	幼 率的	ト、業務面等 こ執行でき	ていし	理由】						· · · ·			· · · -0)
価	率 るか 性 ^{民間}	委託や他	事業			目告された資源 こよる入力時							確なデータ入 す。
	Iエ との紀 能か	充合•連携 <i>た</i>	が可	10.5	1 1 14N 5-1 1 -	-0.0/ 1/1.1	H1 < >	-2174 / /	TK471 ~ //	/) T 14.	0.10.1	C (40) 5.	. 7 0
	総					改善•効率化	□縮小[統合]拡充)	✓ 継続	·	冬了 休	止 原止
	合 今後	の方向情	h /		名:佐藤 ルルの堆		塩 ズの由生	:七法レ]	ア A谷	* 電子	由生心	/フテムの	事業は拡充が
	評(改	善策等)	业	必要と	考えます	。なお、負担	.金につきす	ましては、	義務的な	な経費~			事業は拡充が強
	Щ		V	いため、	、令和3年	F度から税務	総務費へ	移替えを	行いまし	た。			
	前回示し												
改	方向性(次善束 🔻	等)							·	_	¬	
善状	対応状況	2(実施区	内		実施済	f(中)	一部実施	検討中	j []	未実施	L	その他	
況													

事	务事 ៖	業名	固定	資産	台帳	管理シス	ヘティ	」 運用事業	業			整理No.	6
所	属	名	部	総務	部		課	課税課		記入者	堀田	和史 内線	267
上1	立施負	策 名	分野	都市	経営			中柱 財源	原の安定確保	小木	主自主則	才源の確保	
	事業	開始	年度	平成	13	年度	根却	処法令等	地方税法、坂戸	市税条例	小、坂戸市	 市都市計画税条	:例
	事業	終了	年度	令和		年度							
	/=#			象		高歯	_		□個人□世帯		□全ての		
									在する固定資産				
									業を行っているか 産税の賦課業系				
	四足	貝圧))	~ 在 电	1 1000	沐 行(ン、凹足貝	/生化學與床来	5 C LL IX 17 -	・フ州平1	1110-114. The	
事									するために何をし			1~上10 田中海	女 14 の 門 当 米
務						ナ化して います。	保仔し	ン、快糸機	能を備えたシス	アムを連用	79 628	だにより、固正賞	座祝の 興課業
事													
				区	分			単位	令和2年度	=1 == / 3	令和3		令和4年度
業	指標	# (1)	固定資	子 産 台 市	長管 理ミ	/ステム運月	日車業	千円	実績(決算) 349	計画(⁻)	ア昇) 350	実績(決算) 349	計画(予算) 1.144
の	指標		四人员	(/	X F Z V	· // 乙足/	11 7 7	1 1 1	340	,	330	343	1,111
概	指標												
113%		_			検索権	機能を備	えたね	後器等借	上を行い、納税郭	&終者から	の問合う	けに活用しました	}-
要	指標	に対っ	する達	成度	IXXXX	/X/11L C ///11	, , , ,	/X III - 1 1 -	T. C. 11. () 111 100 4	2133 11 11 3	· · > F-1 E	2 (4)11/11/2007	
	総	_	事					千円	349)	350	349	1,144
	事業	財源			国県支	出金・その	0他)	千円	2.40	•	250	240	1 144
	業 費		一般					千円 人	349 1.00		350 1.00	349 1.00	1,144 1.00
	· =		人作		•			千円	4,965		4,965		4,965
	ス							111	1,000	,	4,303	4,965	4,303
			総	事 業		1+2		千円	5,314	ļ	5,315	5,314	6,109
	ト 把				費	①+② 隻別実施	内容				5,315		•
	١				費	〕 度別実施 ————		千円	5,314 機器等借上	機器等借」	5,315 上	5,314	6,109 機器等借上、デー
	ト 把 握	(着眼		事業	費の年度	医別実施 ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑		千円	5,314	ļ	5,315 上	5,314	6,109 機器等借上、デー
	ト把握 必要	·市日 対応	見点) ミニーン してい	事業で	費 の年度 【理由 固定〕	度別実施 ☑ 必要 資産台帳	性が高	千円 日	5,314 機器等借上	機器等借」	5,315 上 #	5,314 幾器等借上	6,109 機器等借上、デー 夕電子化業務委託
	ト把握 必要性	·市园 対応 ·行政	見点) ミニーン してい	事業である。	費 の年度 【理由 固定〕	度別実施 ☑必要 Ⅰ】	性が高	千円 日	5,314 機器等借上 食計の余地あり	機器等借」	5,315 上 #	5,314 幾器等借上	6,109 機器等借上、デー 夕電子化業務委託
	ト把握 必要性	·市园 対応 ·行政	見点) ミニース してい 女関与・	事業である。	費 の年度 【理由 固定〕	度別実施 図必要 図を当 図を対しています。	性が高	千円 い □ t システムが	5,314機器等借上 機器等借上 会計の余地あり	機器等借」	5,315 上 オ が低い ニより、納	5,314 幾器等借上	6,109 機器等借上、デー 夕電子化業務委託
	ト把握 必要性 有	·市区 ·市区 ·市区 ·市区 ·西区 ·西区 ·西区 ·西区 ·西区 ·西区 ·西区 ·西	せい	事業であるのかか	費 の年度 【理由 固定	関別実施 ☑必要 ☑必要 ☑ 公要 ☑ 公会 ※ 会 ※ 会 ※ 会 ※ 会 ※ 会 ※ 会 ※ 会	性が高	千円 い □ t システムが	5,314 機器等借上 食計の余地あり	機器等借」	5,315 上 オ が低い こより、納	5,314 幾器等借上	6,109 機器等借上、デー 夕電子化業務委託
_	ト把握 必要性 有効	· 市 好 · 市 区	え点) ミニーン してい 対関与 はある	事業 ズにか必か ・効	費の年月 【理定記 理媒体	を別実施 図必要 は別産ります。 図有効性になります。 図有効性は別ないら電	性が高管理	千円 い □ t システムが い □ t	5,314機器等借上 機器等借上 会計の余地あり	機器等借_ 必要性 ごきることに □ 有効性	5,315 上 が低い こより、納 が低い	5,314 _{機器等借上} 税義務者に対し	6,109 機器等借上、デー タ電子化業務委託
	ト把握 必要性 有効	· 市 好 · 市 区	見点) 見二一に 対関与 はある 見とした	事業 ズにか必か ・効	費 の年原 【理定記 で理定記 で理定記	を別実施 図必要 は別産ります。 図有効性になります。 図有効性は別ないら電	性が高管理	千円 い □ t システムが い □ t	5,314 機器等借上 食計の余地あり から資料を照会で 高める余地あり	機器等借_ 必要性 ごきることに □ 有効性	5,315 上 が低い こより、納 が低い	5,314 _{機器等借上} 税義務者に対し	6,109 機器等借上、デー タ電子化業務委託
- 次	ト把握 必要性 有効性	・ 市対・ 市が ・ 対行性 ・ ・ ・ は ・ ・ は ・ ・ ま ・ は ・ に も に る に る に も に る る に る に る に る に る に る る に る に る に る に る る に る に る に る る る に る る る る に る る る に る る る る る る る る る る る る る	点) 見になる 見いました 見いました 見いました 見いました 見いました しんまいました しんまいまいました しんまいまいました しんまいまいました しんまいまいまいまいました しんまいまいまいまいまいまいまいまいまいまいまいまいまいまいまいまいまいまいまい	事業であるのかのかっかっかっかっかっかった。	費の年月 【理定記 理媒体	を別実施 図必要 は別産ります。 図有効性になります。 図有効性は別ないら電	性が高 管理 ト。 生が高 子媒(千円 い □ t システム い □ t 本化するこ	5,314 機器等借上 食計の余地あり から資料を照会で 高める余地あり	機器等借_ 必要性 きることに 「有効性 速化だけ	5,315 上 が低い こより、納 が低い	5,314 _{機器等借上} 税義務者に対し	6,109 機器等借上、デー タ電子化業務委託
一 次 評	ト把握 必要性 有効性 効	・対・要 (・果 着コ率) おおいま ままま ままま ままま しょう	見にして 見い	事業であるのかのかっかった。	費の年度 理定能 理媒す ままま は 理 は は まままま は まままま は まままま まままま まま	度別実施 図必要 は別 変数 対象を は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	性が高いを	千円 い □ a システムだ い □ a 体化するこ	5,314 機器等借上 食計の余地あり いら資料を照会で 高める余地あり ことで、業務の迅	機器等借_ 必要性 ごきることに 有効性 速化だけ	5,315 上 が低い こより、納 が低い でなく、ほ	5,314 _{機器等借上} 税義務者に対し R管スペースも4	6,109 機器等借上、デー タ電子化業務委託 ン迅速な対応が
	ト把握 必要性 有効性 効率性	・対・要 (・果 着コ率る・民)のでは 関かは 眼外の 間	Reduction	事業であるのか、対し、前さも事業であるのか、対し、前さも事業である。	費の年度 理定能 理媒介。 は正正 は 理 は は は は ま は ま は ま は ま ま ま ま ま ま ま ま	度別実施 図 必要 図 分 図 次 の 対 の が の	性が高いである。	千円い □ tシステムがい □ a体化するこる □ a帳、家屋	5,314 機器等借上 会計の余地あり いら資料を照会で 高める余地あり ことで、業務の迅 高める余地あり	機器等借」 機器等借」 必要性 ごきることに 有効性 速化だけ	5,315 上 が低い こより、納 が低い でなく、伊 ではない	5,314 _{機器等借上} 税義務者に対し R管スペースも4	6,109 機器等借上、デー タ電子化業務委託 ン迅速な対応が
評	ト把握 必要性 有効性 効率性	・対・要 (・果 着コ率る・民)のでは 関かは 眼外の 間		事業であるのか、対し、前さも事業であるのか、対し、前さも事業である。	費の年度 理定能 理媒介。 は正正 は 理 は は は は ま は ま は ま は ま ま ま ま ま ま ま ま	度別実施 図 必要 図 分 図 次 の 対 の が の	性が高いである。	千円い □ tシステムがい □ a体化するこる □ a帳、家屋	5,314 機器等借上 食計の余地あり いら資料を照会で 高める余地あり ことで、業務の迅	機器等借」 機器等借」 必要性 ごきることに 有効性 速化だけ	5,315 上 が低い こより、納 が低い でなく、伊 ではない	5,314 _{機器等借上} 税義務者に対し R管スペースも4	6,109 機器等借上、デー タ電子化業務委託 ン迅速な対応が
評	ト把握 必要性 有効性 効率性	・対・要 (・果 着コ率る・と) 市応政性 間的は 眼入的 間統	Reduction	事業であるのか、対し、前さも事業であるのか、対し、前さも事業である。	費の年間可 【紙ま 【更し 理定能 は集す 理正シ 見	を別実施	性が管は、生が子のなる理である。寄すの書	千円 い □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	5,314 機器等借上 会計の余地あり いら資料を照会で 高める余地あり ことで、業務の迅 高める余地あり	機器等借」 必要性 できることに 有効性 速化だけ 効率的 集体にます。	5,315 上 が低い こより、納 が低い でなく、ほ ではない って管理さ	5,314 _{機器等借上} 税義務者に対し R管スペースも4	6,109 機器等借上、デー タ電子化業務委託 ・迅速な対応が 有効活用ができ 情報を電子化
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総	・対・要(・果(デーンをのようにあります)です。 おいま しょう はいまい 間の はい しょう はい しょう はい しょう はい しょう はい		事 ズるのか 対 等で 事が するのか 対 第一 まが	費の 【	度別実施 実施 要が 対策な 図 か す が で は まか す ら 効 書ム (佐 佐 佐 に 藤	性が管は、生が子ので、名理、改作ので、名理、改作ので、名理、改作ので、名理、改作ので、名理、改作ので、名理、改作ので、名理、公理、公理、公理、公理、公理、公理、公理、公理、公理、公理、公理、公理、公理	千円 い システムだい 体化するこ	5,314 機器等借上 食計の余地あり から資料を照会で 高める余地あり ことで、業務の迅 高める余地あり 評価資料等、紙が 京の利便性が占	機器等借」 機器等借」 必要性	5,315 上 が低い こより、納 が低い ではない ではない って管理さ	5,314 _{機器等借上} 税義務者に対し R管スペースも有 されていた課税 □終了 □休	6,109 機器等借上、データ電子化業務委託 ン迅速な対応が 育効活用ができ 情報を電子化
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評	・対・要 (・果 (・コ率る・民と能 今市応行性 間的は 眼ストルい間紡 後	Reduction	事 ズるのか str 面き buff 引 業 にか必 効 等で 事が 性	費の 【固可 【紙ま 【更し 課税 理媒す 理正 課税 は長い は は 見長 記 まま こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ	E 別 実 ル ・ は に に に に に に に に に に に に に	性、管は、生が、子で、名理、改造、ので、名は、おおいので、名は、これので、名は、これので、名は、これので、名は、これので、名は、これので、名は、これので、名は、これので、名は、これので、名は、これので、	千円	5,314 機器等借上 会計の余地あり いら資料を照会で 高める余地あり ことで、業務の迅 高める余地あり 評価資料等、紙が 京索の利便性が向	機器等借」 機器等借」 ② さる 有効 だけ か にま 充 に	5,315 上 が低い こより、納 が低い ではない ではない こく ではない かっこ	5,314 _{機器等借上} 税義務者に対し 税等でのよう。 されていた課税 「終了」は 社在に至るまでの	6,109 機器等借上、データ電子化業務委託 ・迅速な対応が 有効活用ができ 情報を電子化 ・止 □廃止 ○課税経過を把
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合	・対・要 (・果 (・コ率る・民と能 今市応行性 間的は 眼ストルい間紡 後		事 ズるのか str 面き 世野 (T) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大	費の 【固可 【紙ま 【更し 【納握デ 理定能 理媒す 理正、 課税し、	を別 実施 実施 要がする。 対策では、 対策でして、 は、 対策でして、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	性、管は、生が、子ので、名理・日本の発生の説に、ので、名理・日本の表で、一番の説に、ので、日本の表で、一般の表で、一般の表で、日本の表で、日本の表で、日本の表で、日本の表で、日本の表で、日本の表で、日本の	 千円 い システム い ない 本 ない ない ない ない ない で を検 を を検 ・ 対しの がして で を を を ・ 対しの で を <li li="" を<=""> で を で を で を <l< th=""><th>5,314 機器等借上 (機器等借上 (会計の余地あり) いら資料を照会で 高める余地あり ことで、業務の迅 高める余地あり にとで、業務の迅 になる余地あり 評価資料等、紙が に対する に対す に対する に対する に対する に対する に対する に対す に対す に対す に対す に対す に対す に対す に対す</th><th>機器等借」 機器等借」 できる 有がけい かいにま 充 いにを が表したが、</th><th>5,315 上 が低い こより、納 が低なく、 ではな で はな で なな ない も で なっ で より、 も で なっ ない も で なっ と り る り る り る り る り る り る り る り る り る り</th><th>5,314 _{機器等借上} 税義務者に対し 税義務者に対し は は に を れていた課税 に で の とれていた課税 は とれていた課税 は とれていた課税</th><th>6,109 機器等借上、デーク タ電子化業務委託 一込速な対応が 有効活用ができ 情報を電子化 ・止 □廃止 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</th></l<>	5,314 機器等借上 (機器等借上 (会計の余地あり) いら資料を照会で 高める余地あり ことで、業務の迅 高める余地あり にとで、業務の迅 になる余地あり 評価資料等、紙が に対する に対す に対する に対する に対する に対する に対する に対す に対す に対す に対す に対す に対す に対す に対す	機器等借」 機器等借」 できる 有がけい かいにま 充 いにを が表したが、	5,315 上 が低い こより、納 が低なく、 ではな で はな で なな ない も で なっ で より、 も で なっ ない も で なっ と り る り る り る り る り る り る り る り る り る り	5,314 _{機器等借上} 税義務者に対し 税義務者に対し は は に を れていた課税 に で の とれていた課税 は とれていた課税 は とれていた課税	6,109 機器等借上、デーク タ電子化業務委託 一込速な対応が 有効活用ができ 情報を電子化 ・止 □廃止 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価	・対・要(・果(着・コ率る・民と能)今の市応行性 間的は 眼入りい間統 後書	見己し関は 見りあ 点、執 委合 の策 点二で関あ)とる)業行 や連 方等	事 ズるのか 効 等で 事が 性 **********************************	費の 【固可 【紙ま 【更し 【納握デ 理定能 理媒す 理正、 課税し、	を別 実施 実施 要がする。 対策では、 対策でして、 は、 対策でして、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	性、管は、生が、子ので、名理・日本の発生の説に、ので、名理・日本の表で、一番の説に、ので、日本の表で、一般の表で、一般の表で、日本の表で、日本の表で、日本の表で、日本の表で、日本の表で、日本の表で、日本の	 千円 い システム い ない 本 ない ない ない ない ない で を検 を を検 ・ 対しの がして で を を を ・ 対しの で を <li li="" を<=""> で を で を で を <l< th=""><th>5,314 機器等借上 検討の余地あり いら資料を照会で 高める余地あり ことで、業務の迅 高める余地あり 正とで、業務の迅 高める余地あり 評価資料等、紙が 京本の利便性が占 の発義が生じた場 の発表が生じた場</th><th>機器等借」 機器等借」 できる 有がけい かいにま 充 いにを が表したが、</th><th>5,315 上 が低い こより、納 が低なく、 ではな で はな で なな ない も で なっ で より、 も で なっ ない も で なっ と り る り る り る り る り る り る り る り る り る り</th><th>5,314 _{機器等借上} 税義務者に対し 税義務者に対し は は に を れていた課税 に で の とれていた課税 は とれていた課税 は とれていた課税</th><th>6,109 機器等借上、デーク タ電子化業務委託 一込速な対応が 有効活用ができ 情報を電子化 ・止 □廃止 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</th></l<>	5,314 機器等借上 検討の余地あり いら資料を照会で 高める余地あり ことで、業務の迅 高める余地あり 正とで、業務の迅 高める余地あり 評価資料等、紙が 京本の利便性が占 の発義が生じた場 の発表が生じた場	機器等借」 機器等借」 できる 有がけい かいにま 充 いにを が表したが、	5,315 上 が低い こより、納 が低なく、 ではな で はな で なな ない も で なっ で より、 も で なっ ない も で なっ と り る り る り る り る り る り る り る り る り る り	5,314 _{機器等借上} 税義務者に対し 税義務者に対し は は に を れていた課税 に で の とれていた課税 は とれていた課税 は とれていた課税	6,109 機器等借上、デーク タ電子化業務委託 一込速な対応が 有効活用ができ 情報を電子化 ・止 □廃止 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
評 価	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 回	・対・要 (・果 (着つ率る・と能 今() 一示市応行性 間的は 眼入りい間紙 後き し		事 ズるのか 対 等で 事が 性 の	費の 【 固可 【 紙ま 【 更し 【 納握デ 理定能 理媒す 理正 、 課税し)	を別 実施 実施 要がする。 対策では、 対策でして、 は、 対策でして、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	性、管は、生が、子ので、名理・日本の発生の説に、ので、名理・日本の表で、一番の説に、ので、日本の表で、一般の表で、一般の表で、日本の表で、日本の表で、日本の表で、日本の表で、日本の表で、日本の表で、日本の	 千円 い システム い ない 本 ない ない ない ない ない で を検 を を検 ・ 対しの がして で を を を ・ 対しの で を <li li="" を<=""> で を で を で を <l< th=""><th>5,314 機器等借上 (機器等借上 (会計の余地あり) いら資料を照会で 高める余地あり ことで、業務の迅 高める余地あり にとで、業務の迅 になる余地あり 評価資料等、紙が に対する に対す に対する に対する に対する に対する に対する に対す に対す に対す に対す に対す に対す に対す に対す</th><th>機器等借」 機器等借」 できる 有がけい かいにま 充 いにを が表したが、</th><th>5,315 上 が低い こより、納 が低なく、 ではな で はな で なな ない も で なっ で より、 も で なっ ない も で なっ と り る り る り る り る り る り る り る り る り る り</th><th>5,314 _{機器等借上} 税義務者に対し 税義務者に対し は は に を れていた課税 に で の とれていた課税 は とれていた課税 は とれていた課税</th><th>6,109 機器等借上、デーク タ電子化業務委託 一込速な対応が 有効活用ができ 情報を電子化 ・止 □廃止 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</th></l<>	5,314 機器等借上 (機器等借上 (会計の余地あり) いら資料を照会で 高める余地あり ことで、業務の迅 高める余地あり にとで、業務の迅 になる余地あり 評価資料等、紙が に対する に対す に対する に対する に対する に対する に対する に対す に対す に対す に対す に対す に対す に対す に対す	機器等借」 機器等借」 できる 有がけい かいにま 充 いにを が表したが、	5,315 上 が低い こより、納 が低なく、 ではな で はな で なな ない も で なっ で より、 も で なっ ない も で なっ と り る り る り る り る り る り る り る り る り る り	5,314 _{機器等借上} 税義務者に対し 税義務者に対し は は に を れていた課税 に で の とれていた課税 は とれていた課税 は とれていた課税	6,109 機器等借上、デーク タ電子化業務委託 一込速な対応が 有効活用ができ 情報を電子化 ・止 □廃止 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
評価という。	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前方	・対・要 (・果 信・率る・と能 今() 示性 市応行性 間的は 眼木的が間統 後書 して	Rel Re	事 ズるのか 対 等で 事が 性 の等 業 にか必 効 等で 事が 性 の等	費の 【 固可 【 紙ま 【 更し 【 納握デ 理定能 理媒す 理正 、 課税し)	度別	性、管は、生が、子ので、名理・日本の発生の説に、ので、名理・日本の表で、一番の説に、ので、日本の表で、一般の表で、一般の表で、日本の表で、日本の表で、日本の表で、日本の表で、日本の表で、日本の表で、日本の	千円 い シスト は	5,314 機器等借上 (機器等借上 (会計の余地あり) いら資料を照会で 高める余地あり ことで、業務の迅 高める余地あり にとで、業務の迅 になる余地あり 評価資料等、紙が に対する に対す に対する に対する に対する に対する に対する に対す に対す に対す に対す に対す に対す に対す に対す	機器等借」 (機器等件」 (機器等件」 (表表)	5,315 上 が低い こより、納 が低なく、 ではな で はな で なな ない も で なっ で より、 も で なっ ない も で なっ と り る り る り る り る り る り る り る り る り る り	5,314 _{機器等借上} 税義務者に対し 税義務者に対し は は に を れていた課税 に で の とれていた課税 は とれていた課税 は とれていた課税	6,109 機器等借上、デーク タ電子化業務委託 一込速な対応が 有効活用ができ 情報を電子化 ・止 □廃止 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
評価 改善状	卜把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前方 対	・対・要 (・果 信・平る・と)能 今(さ 示性 状 市応行性 間的は 眼入的が間の紡 後書 して 況	R	事 ズるのか 効 等で 事が 性 の等 内 業 にか必 効 勢い 業可	費の 【 固可 【 紙ま 【 更し 【 納握デ 理定能 理媒す 理正 、 課税し)	度別	性管・生が子の名理の一般に必ずる。現である。寄する。世界のでは、	千円 い シスト は	5,314 機器等借上 検討の余地あり から資料を照会で 高める余地あり ことで、業務の迅 高める余地あり ことで、業務の迅 高める余地あり 三とで、業務の迅 一点が変に、 一般が変に、 一般がで、 一般が、 一般がで、 一般がで、 一般がで、 一がで、 一がで、 一がで、 一がで、 一がで、 一がで、 一がで、 一がで、 一がで、 一がで、 一がで、 一がで、 一がで、 一がで、 一がで、 一が	機器等借」 (機器等件」 (機器等件」 (表表)	5,315 E が低い こより、納 が低い く、 ではない ではない 理。 一去後なっ。 一去後なっ。	5,314 機器等借上 税義務者に対し 税義務者に対し での されていた課税 上を 上を 上を と考える より、 への での 要な事業元年度	6,109 機器等借上、デーク タ電子化業務委託 一込速な対応が 有効活用ができ 情報を電子化 ・止 □廃止 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
評価という。	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前方 対容	・対・要 (・果 信・率の・と能 今() 示性 状未市応行性 間的は 眼へがい間紋 後書 して 況実)	Rel Re	事 ズるのか 対 等で 事が 性 の等 内 業 にか必 効	費の 【 固可 【 紙ま 【 更し 【 納握デ 理定能 理媒す 理正 、 課税し)	度別	性管・生が子の名理の一般に必ずる。現である。寄する。世界のでは、	千円 い シスト は	5,314 機器等借上 検討の余地あり から資料を照会で 高める余地あり ことで、業務の迅 高める余地あり ことで、業務の迅 高める余地あり 三とで、業務の迅 一点が変に、 一般が変に、 一般がで、 一般が、 一般がで、 一般がで、 一般がで、 一がで、 一がで、 一がで、 一がで、 一がで、 一がで、 一がで、 一がで、 一がで、 一がで、 一がで、 一がで、 一がで、 一がで、 一がで、 一が	機器等借」 (機器等件」 (機器等件」 (表表)	5,315 E が低い こより、納 が低い く、 ではない ではない 理。 一去後なっ。 一去後なっ。	5,314 機器等借上 税義務者に対し 税義務者に対し での されていた課税 上を 上を 上を と考える より、 への での 要な事業元年度	6,109 機器等借上、デーク タ電子化業務委託 一込速な対応が 有効活用ができ 情報を電子化 ・止 □廃止 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

争 7.	ガ 尹 禾	石	证明	青寺	コンヒ	د — ×	८1ग	手耒								整理No.	7
所	属	名	部	市民	部			課	市民課			記力	人者	松本	浩一良	内 線	325
上位	立施 策	名分	分野	都市	経営				中柱 民	間活力の	導入		小柱	民間	活力の積	積極的な	活用
	事業開	見始を	F度:	平成	28	} 4	年度			住民基	本台帳法	、住民	基本台	1帳法力	施行令、	住民基本	:台帳法施行規則
	事業終	冬了生	₹度 ·	令和		4	年度	根拟	L法令等	戸籍法	、戸籍法	施行規則	訓、坂	戸市日]鑑条例	等、坂戸	市手数料条例等
	•						高齢	者 [障害者							✓ その他	
	(誰、何	対 『を対』			か)	(具体的	りに)	住民	票等:坂戸	市に住民	民登録をさ	れてい	る市民	民、印銀	監証明:日	7鑑登録	している市民、戸
	日煙(:	対象:	をどの	カよう	か状態	能にす			ぉ:圾尸௱ ニ当該事								
																	 特役所窓口の涯
	雑緩和	コが区	引られ	ます	o												
事									りを達成						2 6 2/2 o m		= 04
務																	(5時)までの時間 237千円でしたが、
	コンビニ	交付	の利用	件数	が、当れ	切見込	んでい	ハた件									3 月にそれぞれ 31
事	117,0	117	_			开口 3	00	ПСС		令 和	12年度			令和3	4年度		令和4年度
業			Ļ	<u>×</u>	分				単位		(決算)	計画	画(予	算)		(決算)	計画(予算)
	指標	1	証明	書等に	コンビ	二交付	寸件数	数	件		1,038	3		2,020		4,762	5,17
の	指標	2															
概	指標(3															
				ь -	指標の	の達成	戈にに	は、マ	イナンバ	バーカート	*の普及	促進に	加え	、コン	ビニ交付	计サービ	ス実施への周急
要	指標に	対す	る達用		徹底る	を図る	必要	見があ	ります。								
	総	1	事業	業	ŧ				千円		327	7		237		559	1,23
					国県支	出金・	その	他)	千円		205	ó		237		559	
	弄		一般月						千円		122	2		0		0	
			数						人					0.02		0.02	0.0
	¬	(2)		- 男							(`		00		00	
	ス	_		⊧ 費 転業		①+(2)		千円		(327			99 336		99 658	_
	スト	_		事業		1)+(2				327 発行 1件	証明書		336 1件		658 Ě行 1件	1,33 証明書発行 1件
	ト 把		総事	事 業		Ü	_	內容	千円	につき1	327 発行 1件 17円の手	7 証明書 につき	117P	336 1件 の手	につき1	658 Ě行 1件 17円の手	1,33
	ト 把 握	¥.np	総事	事 業	費	· 医別実	。 医施内		千円 千円	につき1 数料をす	327 発行 1件 17円の手 支払い	7 証明書 につき 数料を	117円 支払い	336 1件 引の手		658 Ě行 1件 17円の手	1,33 証明書発行 1件 につき117円の言
	ト 握 必・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		総 事 … 点) ニース	事業事業の	費 の年度 【理由	E別実 	ど施 内 と 必要性	上が高(千円 千円	につき1 数料を3 検討の余 均	327 発行 1件 17円の手 支払い 也あり	が 証明書 につき 数料を	117P 支払い 要性か	336 1件 引の手	につき11 数料を支	658 巻行 1件 17円の手 び払い	1,33 証明書発行 1件 につき117円のき 数料を支払い
	ト把握・必要	市民-	総事	事業 事業(こ るか	費 の年度 【理由 _に	を別実 	》 施 内 必要性 少子高	生が高い 高齢化	千円 千円 い ロ: とや生活材	につき1 数料を3 検討の余 地 様式の変化	327 発行 1件 17円の手 支払い 也あり 七が進む	7 証明書 に数料を 山必 : 中で、業	117P 支払い 要性か 巻務時	336 1件 引の手 が低い	につき1: 数料を支 二市役所	658 発行 1件 17円の手 払い	1,33 証明書発行 1件 につき117円のき 数料を支払い
	ト把握 必要性	市民: 対応し 行政	総 事 以 に で い え で い る り 、 で り り り り り り り り り り り り り り り り り	事業 (こかめ)	費 の年度 【理口明書	を別集 図 4 対 対 対 が が が の 取	※施内 必要性 少子高	生が高い 高齢化 ためい	千円 千円 い □; とや生活を こ来庁でき	につき1 数料を3 検討の余 検式 の変化 ない市員	327 発行 1件 17円の手 支払い 也あり とが進む で等の利便	が 証明書きを 数 の でが 単 でが 変 り	117P 支 要性か 巻務れ	336 1件 1の手 が低い 間内に ます。	につき1: 数料を支 : 市役所 また、行!	658 着行 1件 17円の手 に払い に住民票 ササービン	1,33 証明書発行 1件 につき117円のき 数料を支払い
	ト把握 必要性	市民: 対応し 行政	総事	事業 (こか必か)	費 の年度 理口明いて	度別実 図 図 域少取民 も、行	と 施 ク	まが高い 高齢化 ために カー	千円 千円 い □; とや生活を こ来庁でき I CTを利 ビスはマッ	につき1 数料を3 検討の余 様式の変化 まない市長 けした人 イナンバー	327 発行 1件 17円の手 支払い 也あり という という という という という という という という という という	が 証明書きを 必 で が 経 が で が 経 が 深 図 で が 組 湿 に 我 保 の で が 組 の で か 銀 の で か 最 の で か 最 の で か ま で ま で	117円で 支性が 終い 移い を 移い が 後の が もの で	336 1件 1の手 が低い 間内に まりが必か 一助とか	につき1: 数料を支 市 役 所	658 を行 1件 17円の手 に払い に住民票 でいます。	1,33 証明書発行 1件 につき117円のき 数料を支払い の写し等の各種 スの提供の仕方
	ト把握 必要性 が ・ ダ・男	市民: 対応し 行政	総 事 点) スペーク スペーク スペーク スペーク スターク あるか	事 業 にか必 か	費 の年度 【理口明い証明 由源書で明	で 別実	と 施 ク	まが高い 高齢化 ためい 活用や	千円 千円 い □; とや生活を こ来庁でき I CTを利 ビスはマッ	につき1 数料を3 検討の余地 様式の変付 まない市長 月用した人	327 発行 1件 17円の手 支払い 也あり という という という という という という という という という という	が 証明書きを 数料を でが組 でが組	117円で 支性が 終い 移い を 移い が 後の が もの で	336 1件 1の手 が低い 間内に まりが必か 一助とか	につき1: 数料を支 市 役 所	658 を行 1件 17円の手 に払い に住民票 でいます。	1,33 証明書発行 1件 につき117円のき 数料を支払い の写し等の各種 スの提供の仕方
	ト把握 必要性 有効	市成 行性 行性 間 に し に し に し に し に し に し に し に し に し に	総一・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・	事 実 にか必 ***	費の理 口明い証明はは表はとはまとままま <t< th=""><th>を別集</th><th>が</th><th>まが高い 高齢化 た用や けー が高い</th><th>千円 千円 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</th><th>につき1 数料を対 検討の余地 様式の変し がない市人 にたく にないた人 でする余地</th><th>327 発行 1件 17円の手 支払い bあり とが進む と等の利値 に対ったい カードの aあり</th><th>が 証明書きを 単一では代表 では、 ※ 図 2 ・ ※ 図 2 ・ ※ 図 3 ・ ※ 図 4 ・ ※ 図 4 ・ 3 ・ 3 ・ 3 ・ 4 ・ 4 ・ 5 ・ 6 ・ 6 ・ 6 ・ 6 ・ 6 ・ 6 ・ 6 ・ 6 ・ 6</th><th>117P山 支 性が 等らづのよめ は性が</th><th>336 1件 引の手 が 低い 間内に まりが助と が 低い</th><th>につき1: 数料を支 市役所 また、行 ま ま と さ れ な り ま す 。</th><th>658 発行 1件 17円の手 払い に住民票 でいます。</th><th>1,33 証明書発行 1件 につき117円のき 数料を支払い の写し等の各種 スの提供の仕方</th></t<>	を別集	が	まが高い 高齢化 た用や けー が高い	千円 千円 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	につき1 数料を対 検討の余地 様式の変し がない市人 にたく にないた人 でする余地	327 発行 1件 17円の手 支払い bあり とが進む と等の利値 に対ったい カードの aあり	が 証明書きを 単一では代表 では、 ※ 図 2 ・ ※ 図 2 ・ ※ 図 3 ・ ※ 図 4 ・ ※ 図 4 ・ 3 ・ 3 ・ 3 ・ 4 ・ 4 ・ 5 ・ 6 ・ 6 ・ 6 ・ 6 ・ 6 ・ 6 ・ 6 ・ 6 ・ 6	117P山 支 性が 等らづのよめ は性が	336 1件 引の手 が 低い 間内に まりが助と が 低い	につき1: 数料を支 市役所 また、行 ま ま と さ れ な り ま す 。	658 発行 1件 17円の手 払い に住民票 でいます。	1,33 証明書発行 1件 につき117円のき 数料を支払い の写し等の各種 スの提供の仕方
	ト把握 必要性 有効	市民: 対応政制 行性は 着眼	総一・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・	事 業 にか必か 効果	費 の	を別集	が 上海 かり	まが高い 高齢が た用や一 が高い ススト	千円 千円 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	につき1 数料を対 検討の余地 様式の変行 い市人 にたい一 高める余地	327 発行 1件 17円の手 支払い 点あり とが進む と等の利を にカードの まあり	が 証に数 中性の取 中性の取 可能と	117P山 支 性が 等らづのよめ は性が	336 1件 引の手 が 低い 間内に まりが助と が 低い	につき1: 数料を支 市役所 また、行 ま ま と さ れ な り ま す 。	658 発行 1件 17円の手 払い に住民票 でいます。	1,33 証明書発行 1件 につき117円の 数料を支払い の写し等の各種 スの提供の仕方し また、コンビニ
- 次	ト把握 必要性 有効性	市民は行性は着目ある	総 事 点 こ で	事 業 にか必か 効果	費 の 理 L 人証つの	度別集 図	・ たん	まが高い 高た用からかった。 が高い ストル	千円 千円 い	につき1 数料を対 検討の余地 様式の変形 がにた人 にたいー 高める余地 の証明られ	327 発行 1件 17円の 17円が 12 数か 12 数の 12 数 0 12 0 12 0 12 0 12 0 12 0 12 0 12 0 12	が 証に数 中性化・ 中重い取 可 で性化得有	117P 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	336 1件 1の手 が低い 間すがらい にはすがめた した にい こと で	につき1: 数料を支 市役所 また、行 ま ま と さ れ な り ま す 。	658 発行 1件 17円の手 払い に住民票 でいます。	1,33 証明書発行 1件 につき117円の 数料を支払い の写し等の各種 スの提供の仕方し また、コンビニ
一 次 評	ト把握 必要性 有効性	市が行性 着目あ 眼のる 点	総 引 :	事 事 ばるDか 効	費 の 年 度	度別実 図	・ たん	まが高い 高齢が た用や一 が高い ススト	千円 千円 い	につき1 数料を対 検討の余地 様式の変行 い市人 にたい一 高める余地	327 発行 1件 17円の 17円が 12 数か 12 数の 12 数 0 12 0 12 0 12 0 12 0 12 0 12 0 12 0 12	が 証に数 中性の取 中性の取 可能と	117P 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	336 1件 1の手 が低い 間すがらい にはすがめた した にい こと で	につき1: 数料を支 市役所 また、行 ま ま と さ れ な り ま す 。	658 発行 1件 17円の手 払い に住民票 でいます。	1,33 証明書発行 1件 につき117円の 数料を支払い の写し等の各種 スの提供の仕方し また、コンビニ
評	ト把握 必要性 有効性 効	市坊行性 着目あ 眼スに 眼的る 点、味	総 事 点 こ で	事 ようりか 効 (等な) ま 業 業 にか必 果 効い	費の理 人証つのエコれエコれ理 中 油車 油11は 力中 油11は 力中 油11は 力中 油11は 力中 油11は 力中 油11は 力111は 力	度別実 「図」のも、発図」 「対象民行者」 「これ」 「図」	を 上 本 一 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本	島が高い 高た用から た用から はかい これ これ これ これ これ これ これ これ これ これ これ これ これ	千円 千円 い	につき1 数料を対 検討の余地 様式の変ほ 月月ナンバー 高める余地 高める余地	327 発行 1件 17円の 支払い とあり とが 進利 という という という という という という という という という という	が 証に数 □ 中更い取 □ 可。 □ 効	117P 文 性か 終いる のかが 本 的 で	336 1件 の手 の が 低い 間まりが助した こと はない	につき1: 数料を支 に市役所で また、とさす。 、 市民の	658 着行 1件 17円の手 だ払い に住民一 になサーます。 の利便性	1,33 証明書発行 1件 につき117円の言 数料を支払い の写し等の各種 スの提供の仕方に 、また、コンビニュ
	ト把握 必要性 有効性 効率性	市村行民 着目な 着ス的か民民しいは 眼的る 点、味 委	総 点二で関あ)一に与る ・ 大いもの ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	事事 でありか 効 等で事業 業 にか必 果 効い業	費 の 理 「 人証つの	度別集 「別域では、別域では、別域では、発図」には、別域では、発図」には、別域では、別域では、別域では、別域では、別域では、別域では、別域では、別域で	上施一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一	島齢化た用やらか高いか高いたうか。 あることである	千円 千円 い と来 け に い と 来 け に て ス は し で 和 で 和 で れ で れ て れ の れ れ れ の れ れ の れ れ の れ れ れ れ れ れ	につき1 数料を対 検討の余地 様式の変ほ がいた人 にカンバー 高める余地 高める余地	327 発行 1件 17円か とあり とがののらい というので というの というの というの というの というの というの というの というの	「 証に数	117円払	336 1件 の手 の が 低い 間まりが助した こと はない ない 対応	につき1: 数	658 着行 1件 17円の手 で払い に住民一ビン でいます。 の利便性	1,33 証明書発行 1件 につき117円の 数料を支払い の写し等の各種 スの提供の仕方し また、コンビニ
評	ト把握 必要性 有効性 効率性	市村行民 着目な 着ス的か民民しいは 眼的る 点、味 委	総 引 ::	事 じるりか 効 instrance まま 業	費 の	度別集 「図」が、 図」が、 図」が、 取民行者 「ここ」が、 一、	上施一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一	上が高い 高齢のに 所りか高い スコのである である である	千円 千円 い と来 け に い と 来 け に て ス は し で 和 で 和 で れ で れ て れ の れ れ れ の れ れ の れ れ の れ れ れ れ れ れ	につき1 数料を対 検討の余地 様ないたという はいたいたが はいたがる。 が図られ 高める余地 窓口業	327 発行 1件 17円か とあり とがののらい というので というの というの というの というの というの というの というの というの	「 証に数	117円払	336 1件 の手 の が 低い 間まりが助した こと はない ない 対応	につき1: 数	658 着行 1件 17円の手 で払い に住民一ビン でいます。 の利便性	1,33 証明書発行 1件 につき117円の手 数料を支払い の写し等の各種 スの提供の仕方に また、コンビニー
評	ト把握 必要性 有効性 効率性	市が行性 着目あ 眼ス的か民の民しい間は 眼的る 点、幸 委合	総 点二で関あ)一に与る ・ 大いもの ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	事 じるりか 効 instrance まま 業	費の 【人証つの 【コれ 【コ的事 申減書で明 由ビと 由ビが務	度別実 「別域では発図」にも 図 二十年 「二十年」 一十二年	を施力では、 を施力では、 を変する。 をでする。 をでる。 をで。	また は から は から は から は から は から は から から と から こ と いっぱ こ こ と いっぱ こ と と いっぱ こ と こ と いっぱ こ と い こ と いっぱ こ と い こ と いっぱ こ と いっぱ こ と こ と い こ と こ と こ と こ と こ と こ と こ と こ	千円 千円 い と や 生	につき1数料を対象の余地である余地である。 書窓口 の で	327 発行 1件 17円い はあり と等頼ーか のこと あり をあり を で で で い で い の ら に っ の ら で い の ら で い っ の ら っ い っ 。 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	で	117P払 要 終別らび進 対 す を 密とが で 口が で 口が で のが の のが で のが で で のが で	336 1件 の	に数 に	658 着行 1件 17円の手 で払い に住民一ビン でいます。 の利便性	1,33 証明書発行 1件につき117円の言数料を支払い 数料を支払い の写し等の各種スの提供の仕方にまた、コンビニュータの自上が図ら
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総·	市才行性 着目あ 着ス的か民のか ほんこ しょうしょう しょうしょう ほんしき ほんしき ほんしき またい またい またい かんしょう しょう しょう しょう しょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう しょうしょう しょうしょうしょう しょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうし	総 点二で関あ 点とか) 業内 託連 あしい か	事	費 年 理口明い証 理ンる 理ンが務 見長	別 図 別 図 別 図 図 図 図 図	・ と	まが高いに用せがスコーでもこと。 のではこと、一つのでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つ	千 千 円 □ 活で利マー で和 □ 手のよき 化 ここび 本	につき1を対する。 検討の余地 様は用けられる。 様は用けられる。 では、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	327 発行 1件 17円い たあり といがのらい といがのらい ではあり でいますり でいますり でいます。 でいまする。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいまする。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいまする。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいまする。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいまする。 でいます。 でいま。	ず 証に数 □ で性仕得 □ 可。 □ 民る 拡 対 課こ 充 ・	11支 要	336 100	に数 でも15を支 でもたとます。 市た、とさます。 市た、とさます。 になり、	658 を行 1件 17円の手 で払い に住せーます。 の利便性 ればた人	1,33 証明書発行 1件につき117円の言数料を支払い の写し等の各種スの提供の仕方にまた、コンビニーの向上が図ら
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合 (パ・ダ・罗 (バ・は の) (平る) と能 合	市が行性 着目は 着ス的か民のか 今後民・し取は 眼的る ほんに 意絵 のの	総 点二で関あ)一に与る ・ 大いもの ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	事 ばるりか 効 ほきょが 性業 業 にか必 果 効い業可	費 年 理口明い証 理ンる 理ンが務 課和 はつりました 由にが 見長2	夏 別 図 別 図 別 図 別 図 別 図 別 図 別 図 別 図 図 別 二 図 図 1 二 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2) と 施 要 子の活う性 ン 窓 本 付けと と 世件 で は 一路 数 一路 数 一路 数 1 日 の また すい また また また すい また すい また すい また すい また	まが高い。 能があた用サが スコ で	千円 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	に数数の余地 検討の余地 様は用け高のが高書窓す。 度は、一地 を別の市人一地 書のでは、一地 を別のでは、一地 では、一地 をのる。 では、一地 では、一地 では、一地 では、一地 では、一地 では、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は	327 発行 1件 17円 2 あり と は かり と は が の も かり と は 利 ないの で かり で かり で かり で かり で かり で かり で かり で かり	で	11支 要	336 100 低間まり一低 こ は で可 ▼ 交が 対能 継 ると	に数 に数 ですたとます 市た、とさます 市た、とさます になり、	658 267 1件 17円 17 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1,33 証明書発行 1件 につき117円の言数料を支払い の写し等の各種 のの提供のセビニー のの一上が図ら のは、コンビニー の向上が図ら ないで効率的な 、量で、数率的な は、この向上が図ら
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合	市が行性 着目は 着ス的か民のか 今後民・し取は 眼的る ほんに 意絵 のの	総 点二で関あ 点とか) 業々 託・ 方に与る) た	事 ばるりか 効 等で 事が 性業 業 にか必 果 効い 業可	費 の 【人証つの 【コれ 【コ的事 【令後需 理口明い証 理ンる 理ンが務	まり 別はいまでは、 別はいるでは、 別はいるでは、 別はいるでは、 別はいるでは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 の) と	まが高い。 能がある 能がや一に よの でしること きにイン でしること にイン にイン にイン にイン にイン にイン にイン にイン	千円 □ 活で利マー で和 □ ほりま 化 3ph 2ph 3ph 3ph 3ph 3ph 3ph 3ph 3ph 3ph 3ph 3	に数りの余地 検討の余地 様は用け高のが高書窓す。 度にの料める。 変に人一地 書のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	327 発行 1件 17円 10の とあり といいのではあり といいのではあり 発にしますり ではいいでする。 2あり ではいいでする。 ではいいではいいではいいでする。 ではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではい	「 証に数	11支 要	336 100 低間まり一低 こ は で可 ▼ 交有 に 内すが助い と な 対能 継 す率 すると	に数 こま要な 市たとま 市たとま 市でいる。 に数 ではない に数 になる。 に、とま に、とま に、とま に、とま に、とま に、とま に、とま に、とま に、とま に、とま に、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と	658 267 1件 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 1	1,33 証明書発行 1件につき117円の言数料を支払い の写し等の各種スの提供の仕方にまた、コンビニーの向上が図ら
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 (ジ・ダ・男 (ジ・は ジ・率る・1)と能 会()	市が行性 着目な 着コめかえのか 今改民・しばは 眼的る 眼かに 貫統 のぎ	総 点二て関あ 点とか)業行 形達 方策 コー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	事 ばるりか 効 等で 事が 性 業 業 にか必 果 効い 業可	費 の 【人証つの 【コれ 【コ的事 【令後 理口明い証 理ンる 理ンが務 課和国 由ビバ 自長2カ	まり 別はいまでは、 別はいるでは、 別はいるでは、 別はいるでは、 別はいるでは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 の) と	まが高い。 能がある 能がや一に よの でしること きにイン でしること にイン にイン にイン にイン にイン にイン にイン にイン	千円 □ 活で利マー で和 □ ほりま 化 3ph 2ph 3ph 3ph 3ph 3ph 3ph 3ph 3ph 3ph 3ph 3	に数りの余地 検討の余地 様は用け高のが高書窓す。 度にの料める。 変に人一地 書のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	327 発行 1件 17円 10の とあり といいのではあり といいのではあり 発にしますり ではいいでする。 2あり ではいいでする。 ではいいではいいではいいでする。 ではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではい	「 証に数	11支 要	336 100 低間まり一低 こ は で可 ▼ 交有 対能 継 す率する ない だと 続 とは	に数 こま要な 市たとま 市たとま 市でいる。 に数 ではない に数 になる。 に、とま に、とま に、とま に、とま に、とま に、とま に、とま に、とま に、とま に、とま に、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と	658 267 1件 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 1	1,33 証明書発行 1件 につき117円の言数料を支払い の写し等の各種 のの提供のビニー のの提供コンビニー の向上が図ら ないで効率的な 、量で、また、コンビニー をすった。
一	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前回回	市が行性 着目な 着コめかえのか 今改 したい政は 眼的る 眼がに 間統 の善した	総 点二て関あ 点とか)業行 託達 方策 今 (今) では	事 で	費 の 【人証つの 【コれ 【コ的事 【令後需 理口明い証 理ンる 理ンが務	まり 別はいまでは、 別はいるでは、 別はいるでは、 別はいるでは、 別はいるでは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 の) と	まが高い。 能がある 能がや一に よの でしること きにイン でしること にイン にイン にイン にイン にイン にイン にイン にイン	千円 □ 活で利マー で和 □ ほりま 化 3ph 2ph 3ph 3ph 3ph 3ph 3ph 3ph 3ph 3ph 3ph 3	に数りの余地 検討の余地 様は用け高のが高書窓す。 度にの料める。 変に人一地 書のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	327 発行 1件 17円 10の とあり といいのではあり といいのではあり 発にしますり ではいいでする。 2あり ではいいでする。 ではいいではいいではいいでする。 ではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではい	「 証に数	11支 要	336 100 低間まり一低 こ は で可 ▼ 交有 対能 継 す率する ない だと 続 とは	に数 こま要な 市たとま 市たとま 市でいる。 に数 ではない に数 になる。 に、とま に、とま に、とま に、とま に、とま に、とま に、とま に、とま に、とま に、とま に、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と	658 267 1件 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 1	1,33 証明書発行 1件 につき117円の言数料を支払い の写し等の各種 のの提供のビニー のの提供コンビニー の向上が図ら ないで効率的な 、量で、また、コンビニー をすった。
評 価	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 (ジ・ダ・男 (ジ・は ジ・率る・1)と能 会()	市が行性 着目な 着コめかえのか 今改 したい政は 眼的る 眼がに 間統 の善した	総 点二て関あ 点とか)業行 託達 方策 今 (今) では	事 で	費 の 【人証つの 【コれ 【コ的事 【令後需 理口明い証 理ンる 理ンが務	関 別 図 別 図 別 図 別 図 別 図 別 図 別 図 別 図 別 二 図 図 1 二 2 工 2 正 2 年 2 進 高 2 年 3 年 4 年 4 年 4 年 4 年 4 年 4 年 4 年 4 年 4	と	まが 高た用サが スコ で 一 しるこ 改 慎:1/2と	千千円 □ 括で利マ□ で和 □ 彫りま 化 3年かり、 □ ボで利マ□ で和 □ 彫りま 化 3年かり、 □ 一	に数りの余 は 検討の余 変ほ人 → 地 様きな用 イ 高 か 高 書窓 す	327 発行 14 17 (2) (2) (2) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	「	11支 要 終引み進 効 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	336 100 K低 間まり一低 こ は で可 ☑ 交有物 は 内すが助い と な 対能 継 す率率 で	に数	658 267 14 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 1	1,33 証明書発行 1件 につき117円の言数料を支払い の写し等の各種 のの提供のビニー のの提供コンビニー の向上が図ら ないで効率的な 、量で、また、コンビニー をすった。
評価	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前方 対 (デ・ダ・男 (デ・は、デ・車を引と能 会(デーストリー) 一元性 状	市は行性 着目は 着コロか呉のか 今改 しし 気民・し取は 即のる 点、章 観会 の善 しひ 況	総 点二で関あ 点とか)業句 託達 方策 一今善 実 マネクタ た 藤で や携 向等 後策 施	事	費 の 【人証つの 【コれ 【コ的事 【令後需 理口明い証 理ンる 理ンが務	関 別 図 別 図 別 図 別 図 別 図 別 図 別 図 別 図 別 二 図 図 1 二 2 工 2 正 2 年 2 進 高 2 年 3 年 4 年 4 年 4 年 4 年 4 年 4 年 4 年 4 年 4	と	まが高い。 能がある 能がや一に よの でしること きにイン でしること にイン にイン にイン にイン にイン にイン にイン にイン	千千円 □ 括で利マ□ で和 □ 彫りま 化 3年かり、 □ ボで利マ□ で和 □ 彫りま 化 3年かり、 □ 一	に数りの余地 検討の余地 様は用け高のが高書窓す。 度にの料める。 変に人一地 書のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	327 発行 1件 17円 10の とあり といいのではあり といいのではあり 発にしますり ではいいでする。 2あり ではいいでする。 ではいいではいいではいいでする。 ではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではい	「	11支 要 終引み進 効 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	336 100 低間まり一低 こ は で可 ▼ 交有 対能 継 す率する ない だと 続 とは	に数	658 267 1件 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 1	1,33 証明書発行 1件 につき117円の言数料を支払い の写し等の各種 のの提供のビニー のの提供コンビニー の向上が図ら ないで効率的な 、量で、また、コンビニー をすった。
評価	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 同向 同句 でする。 でする。 でする。 のです。 のです。 のです。 のです。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のです。 のです。 のです。 のでで。 のでで。 のでで。 のでで。 のでで。 のでで。 のでで。 のでで。 のでで。 のでで。 のでで。 のでで。 ので	市は行性 着目は 着コロか呉のか 今改 しし 文実民・し取は 即のる 県人に 景統 夜善 た改 に施	総 点二で関あ 点とか)業句 託達 方策 一今善 実の コード・ スその こうしん 務で や携 向う 一後策 施理	事	費 の 【人証つの 【コれ 【コ的事 【令後需 理口明い証 理ンる 理ンが務	関 別 図 別 図 別 図 別 図 別 図 別 図 別 図 別 図 別 二 図 図 1 二 2 工 2 正 2 年 2 進 高 2 年 3 年 4 年 4 年 4 年 4 年 4 年 4 年 4 年 4 年 4	と	まが 高た用サが スコ で 一 しるこ 改 慎:1/2と	千千円 □ 括で利マ□ で和 □ 彫りま 化 3年かり、 □ ボで利マ□ で和 □ 彫りま 化 3年かり、 □ 一	に数りの余 は 検討の余 変ほ人 → 地 様きな用 イ 高 か 高 書窓 す	327 発行 14 17 (2) (2) (2) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	「	11支 要 終引み進 効 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	336 100 K低 間まり一低 こ は で可 ☑ 交有物 は 内すが助い と な 対能 継 す率率 で	に数	658 267 14 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 1	1,33 証明書発行 1件 につき117円の言数料を支払い の写し等の各種 のの提供のビニー のの提供コンビニー の向上が図ら ないで効率的な 、量で、また、コンビニー をすった。

事者	务事業 4	2 文書	共有	システ	ム運用	 事業						Ę	整理No.	8	
所	属	名 部	議会	事務局		課議	会事務	务局		記入者	者 村田	義雄	内線	611	
上化	立施策	名 分野	都市	経営		中	柱行政	数の情報	:化	小	柱 行政记	運営の高	§度化•;	迅速化	
	事業開	始年度	平成	28	年度	根拠法	+ - 全	坂戸市	i議会基z	本条例、	坂戸市デ	゙ジタル彳	亍 政推進	計画	
	事業終	了年度	令和		年度	化炒江	を正さ								
			象		□高齢ネ			_	□世帯		□全ての)人 [√ その他		
	(誰、何る	対象と	している	か) (具	体的に)	坂戸市	議会議	髪員及び	議会事務	务局職員					
											内な目標(-)
														/ステムを活月 員と議会事	
											はその効率			只に成立する	<i>7</i> 7
事	事業概要	要(取刹	且内容	•活動内]容など	、目的を	を達成で	するため	に何をし	ているか) ، ()				
務	タブレッ	ト端末の	の調達	纟、文書:	共有シス	テムの	導入、	並びに	それらの	機器及び	バシステム	の運用	管理を	行います。	
•••															
事				Λ			ᄣᄺ	令和	12年度		令和3	年度		令和4年月	度
業			区	分			単位		(決算)	計画((予算)		決算)	計画(予算	算)
 ၈	指標①				枚(臨時会を含		回		6		4		4		5
0)	指標②		:削減村	文数 (A4-	サイズ換	算)	枚		108,114	:	80,000		112,634	85.	,000
概	指標③)		A mani	~^ ^ \ B	- , , ,	-14 V/ 54 1	·	- 61-) Anha F	→ 	□ / □ → ₽)	` - m'-1.	* - V / vlot -		-t-x,
要	指標に対	対する達									「執行部カ リ減枚数を			こついて、文	書
	総 ①	事					八三 _{日 / 1} 千円		2,729		2,672	- ~ <u>-</u> /-> -	2,671	2	,838
	事財				金・その		千円		*= y *		e,		~ , ~ ·		
	告	· 一般					千円		2,729		2,672		2,671		,838
	. 職	員 う人 (人 千円		0.20 993		0.20 993		0.20 993		0.20 993
	コ (2 ス		件)+(2)		十円 千円		3,722		3,665		3,664		,831
	ト 把	, -								文書共有	システム			文書共有シス	
	握		事業(の年度を	引実施内]容		の運用		の運用		の運用		の運用	
	(着	眼点)		-	☑必要性	が高い	h	検討の余地	しあり	□必要怕	性が低い				
	必 市	民二一	ズに	【理由】 · → 患 ±	H右シス・	テムがれ	総働で	キスタブ	レット繰っ	≠お活田	オストレフ	ヾ 議員:	活動のな	効率化・活性	:11
	性・行	政関与	の必	が図られ	れ、市民	ニーズ	にも対	応してい	います。						.16
	要怕	生はある	らか	•議会と	市執行	部との情	青報共	有等を行	テうことか	ら、行政	関与の必	要性は	あると思	われます。	
	(眼点)		_	✓ 有効性:	が高い		高める余地	あり	□有効性	生が低い				
_	が・目	的とした	こ効	【理由】 ・文書共		テムを導	単入した	たことで、	会議資)	料のペー	-パーレス	化が推	准されま	にした。また、	印
.,	性果	はあるか	,								、業務の				' ''
 次				_			_								
評		眼点) スト、業務	面等効	F 1 3	✓ 効率的	である	 	高める余地	あり	効率的	内ではない				
価	効 率的 率の るか			•本市向						既製のシ	/ステムを	活用して	こおり、ニ	スト及び事業	業
-	性 民	間委託や 統合・連打	他事業 隽が可					できてい				•••			•
	能力								<u> </u>		· 				
	総				[し(∐i 3:石坂			□ 縮小	□ 統合	拡充) ☑ 継続	終	了 体	:止 原企	
		後の方向 :善策等	可性 : \	タブレッ	小端末に	こよる文	書共有							化が推進さ	
	一番	苦果寺							事務負担 継続実施し			た。また、	、議員活	動の効率化	·活
	— — .			工工工工	凶りむく	40 9 V	7 1久 〇	ずれて加		ン (み v .	ソムッ。				
_,	前回示し 方向性														
改善)) I-3 II	· • · · · ·	(17)		□実施済	5(由)	П-	-部実施	□ 検討	, t	□未実施		その他		
状	対応状況			L	一大心内	. √· I= /					山へ大心	Ш	C-7 L		
況	容、未実由、今後														
															l

事	務事業	業 名	会議	録イ	ンター	·ネット公	開事業							整理No.	9
所	属	名	部	議会	事務局	j	課議	会事系	落局		記入	者 村田	義雄	内線	611
	 位 施 頷								め情報	化				サービス	
			年度		17	年度		110				•		行政推進	
			年度		17	年度	根拠法	令等	次) 111	成五 坐/	平木四、	双) · III /	27/10	门以证是	- 印 四
	尹未	₹]	牛皮	つれ		□高齢	各 口腔	宝老	□個人	□₩₩	口団体	☑全て	መ አ	□その他	
	(重生	ダ 何を 対			ふか) (具体的に)						O ± C	<i>,,,</i> ,	L COME	
							W1-11	=+ == :	** + <= -	ナルフム	、 日	5 ナ 、 ロ	/ 米 -/ 大 \ ·	+>15 \	
						態にするた シトで木子									つ迅速に会議
						とで、市具							HE O 14 - 4	- 30 (C \ 7	プルがに互成
事	事業	概要	(取組	内容	·活動	内容など	、目的を	達成	するため	に何をし	ているか	ر 。 <i>(</i>			
丞々	ホーム	ムペー	-ジ上	で本	会議及	なび常任家	季員会 ♂	会議	録を公開	します。					
務															
事									△ 1⊓	0左由		△和	0 左 庄		△和4左曲
業				区	分		į	単位		2年度 (決算)	計画	でか (予算)	3年度 実績	(決算)	令和4年度 計画(予算)
末 	指標	(1)	デー	タ更新	沂			回		7		4		4	5
の	指標	≣ (2)	アクセ	マス件	数			件		35,440)	24,000		12.444	12,000
概		_			<i>></i> ,					00,110		21,000		12,111	12,000
饭	7日1分	K (3)			アクヤ	ス件粉け	会和9	年度1	主績 乃で	合和9年	连計画	からナ恒	に減小	している。	が、データ更新
要	指標	に対す	する達	戓度		刀に行って			人順及し	11 4 11 0 1	及田酉	A DICTE	101000		
	総	1	事	業 3	貴			千円		1,123	}	1,193		1,133	1,213
	事	財	特定見		国県支	出金・その	他) -	千円							
	業費		一般				:	千円		1,123	1	1,193		1,133	1,213
			員 娄					人		0.20		0.20		0.20	0.20
	コス	(2)	人化			1 L 1		千円		993		993		993	
	۲		765 =	事業	貝(1)+2)	_	千円	検索デー	2,116 -タ入力、		2,186 -タ入力、		2,126 -タ入力、	2,206 検索データ入力、
	把 握			事業	の年度	別実施内	容		インター 開、デー		インター 開、デー		インター 開、デー	ネット公 -タ更新	インターネット公開、データ更新
		/ A£ ==				☑必要性	が高い		食討の余地			<u> </u>	pii ()	7 2471	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7
		(着眼 • 市民	!点) !ニー <i>></i>	ČIZ.	【理由		-73 ID] V	Ш1.	×1100/102	,,,,		1177 250			
			てい									要な会議	録を容易	易に、かつ)迅速に取得で
			(関与の まある			うになって な議会情						1性けある	い思わ	れます.	
		Δ I <u>-</u> .		•	그그 가도		,,	_					D C 16.42	400)	
	有	(着眼	(点)		【理由	☑有効性	か高い	LJ ñ	高める余地	めり	□有効怕	生か低い			
 	勿		とした	効果	·ホー	ムページ)迅速に取得で
٠,,	性	はある	יעפ				おり、市	i 民に	対して積	極的に	青報の公	:開がなさ	れ、開	かれた議	会運営が図られ
 次					ていま	9 0									
評		(着眼 /	点) 、業務面	等効	F	✓ 効率的	である	✓ ∄	高める余地	あり	□効率的	的ではない			
価	効:	率的に	執行で	きてい	【理由・インク		を経由し	てサ	ーバトの	インター	- ネット公	· 閏 用 ソフ	トを利目	肛でおり	、コスト及び事
1Ш			を託や他 今・連携			色の両面に						1011/11/2	1 6441	110 (40)	、一川 及しず
	性														
	性	との統 能か	口"建捞												
	性	との統	口。连饬		見	直し〔□	改善∙効率	뚇化	□縮小	□統合	□拡充) 🗸 継続	. □終	₹了 □休	止 □廃止
	性。総	との統 [·] 能か		14	【次長	名:石坂	哲治】								
	性総合評	との統 能か 今後 (の方向 (策等)	14	【 次長 ホーム	- 名:石坂 -ページ」	哲治】 :で会議	録を核	食索・閲覧	覧し、誰も	が必要	な会議録	や容易	に、かつ	止 □廃止迅速に取得でき実施してまいりま
	性総合	との統 能か 今後 (の方向	14	【 次長 ホーム	- 名:石坂 -ページ」	哲治】 :で会議	録を核	食索・閲覧	覧し、誰も	が必要	な会議録	や容易	に、かつ	迅速に取得でき
	性総合評価	との統能か 今後(の方向 (策等)	性	【次長 ホーム るよう!	- 名:石坂 -ページ」	哲治】 :で会議	録を核	食索・閲覧	覧し、誰も	が必要	な会議録	や容易	に、かつ	迅速に取得でき
	性総合評価前回	eの統 今(改 一 一 一 しか	の方向	性 :の	【次長 ホーム るよう!	- 名:石坂 -ページ」	哲治】 :で会議	録を核	食索・閲覧	覧し、誰も	が必要	な会議録	や容易	に、かつ	迅速に取得でき
	性総合評価前方	との統 今後 一示性(改	の方向 策等) 一 一 で 会 後 文善策	性 (の (等)	【次長 ホーム るよう!	- 名:石坂 -ページ」	哲治】 で会議 いることに	録を は、開7 	食索・閲覧	覧し、誰も	が必要こ資する	な会議録	を容易後も事業	に、かつ	迅速に取得でき
善状	性 総合評価 前方 対応	とのか 今改 一示性 状の 一示性 状況	の方向 策等) 一一 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き	性 の (等)	【次長 ホーム るよう!	名:石坂 パージ」 こなってV	哲治】 で会議 いることに	録を は、開7 	検索・閲覧 かれた議	覧し、誰も 会運営!	が必要こ資する	な会議録 ため、今	を容易後も事業	に、かつ業を継続	迅速に取得でき
善	性 総合評価 前方 対容	とのか 今 一 示性 状実 一 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	の方向 策等) 一一 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き	性 の (等)	【次長 ホーム るよう!	名:石坂 パージ」 こなってV	哲治】 で会議 いることに	録を は、開7 	検索・閲覧 かれた議	覧し、誰も 会運営!	が必要こ資する	な会議録 ため、今	を容易後も事業	に、かつ業を継続	迅速に取得でき

17 1	務事業	名 さか	ど市	議会だより発行	宁事業			整理No.	10
所		名 部			課 議会事務	: 局	記入者 黒川	里奈 内線	613
	立施策					・ハ ・加を可能にする情報発信			
<u> </u>					T1120			※ はんでから 世代1	是
		始年度		56 年度	根拠法令等	坂戸市議会広幸	双安貝云規柱		
	争耒終	了年度	令和	年度	老 口 陪审老			7	
	(≣# / ≡		象 「 <i>て</i> い?			□個人 ☑世帯	□団体 □全て	の人 マその他	
				か)(具体的に)					
						美を行っているか		(数値)など。)	
	圾户巾	議会の	店期を	7四く甲氏に向き	制し、議会に対	する理解を得てい	さま す。		
事	事業概	要(取約	日内容	•活動内容など	、目的を達成す	トるために何をし	ているか。)		
)年4回(5/1、8/		行、隔年で号外	1回発行
務	0 70 13					41,300部 (11/1			
事	当初予	算は4,3	814十日	円でしたが、予算	算執行額の確定	定見込みに伴う洞			
			区	分	単位	令和2年度		3年度 	令和4年度
業	+ヒ+亜(-	n ₹% 7=	· 六17 米4-		部	実績(決算) 166,100			計画(予算) 209,000
၈		1) 発行	可数		山	100,100	107,200	103,200	209,000
	指標②								
概	指標③	3)							
要	指標に	対する達	成度	当初の計画ど	おり、概ね達成	されました。			
		о ж	*** =	± .	7 M	0.700	4 170	4 115	4 700
	1,10	① 事 ဗ 焙完		_〔 国県支出金・その	千円 ()他() 千円	3,762	4,158	4,115	4,708
	業派	7 1寸足 京 一般		当宋文山亚"(0.	千円	3,762	4,158	4,115	4,708
	費 ‴				人	1.50	1.50	1.50	1.50
	¬ (2	2) 人	件 費		千円	7,448	7,448	7,448	7,448
	ス	総	事 業	費 ①+②	千円	11,210	11,606		12,156
	ト 把		— AU			議会だよりの編 集、印刷、音訳、			議会だよりの編集 日間 辛記
	握		里垩	の年度別字体に	ᅿᅟᆓ				
	1/全		事 業	の年度別実施に	内容	折込、配布	折込、配布	折込、配布	折込、配布
		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		☑必要性					
	(清 必·市	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ズに	☑必要性	生が高い □ 枸	折込、配布 診討の余地あり	折込、配布 □必要性が低い	折込、配布	折込、配布
	(清 必·清 要 対	5民ニー 応してい	ズに るか	☑必要性 【理由】 ・議会の状況等	性が高い □検 について、市	折込、配布 計の余地あり 民の方へ情報を打	折込、配布 □必要性が低い 是供することによ	折込、配布	折込、配布
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	5民ニー 応してい	ズに るか の必	☑必要性 【理由】 ・議会の状況等 に、議会に対す	生が高い □ 核 をについて、市」 「る理解を深め	折込、配布 診討の余地あり	折込、配布 □必要性が低い 是供することによ と考えます。	折込、配布 り市政への関心を	折込、配布
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	F民ニー. 応してい F政関与	ズに るか の必	☑必要性 【理由】 ・議会の状況等 に、議会に対す ・正確な議会情	性が高い □ 校 について、市 たる理解を深め う報を提供する	折込、配布 計の余地あり 民の方へ情報を打 ていく必要がある ために、行政関与	折込、配布 □必要性が低い 是供することによ と考えます。 →の必要性はある	折込、配布 り市政への関心を	折込、配布
	必要性が	市民二一. 応してい テ政関与 性はある ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ズに るか の必 か	☑必要性 【理由】 ・議会の状況等 に、議会に対す	性が高い □ 校 について、市 たる理解を深め う報を提供する	折込、配布討の余地あり民の方へ情報を打ていく必要がある	折込、配布 □必要性が低い 是供することによ と考えます。	折込、配布 り市政への関心を	折込、配布
_	必要性 有効	「民二一」 「成し関与 で で で で で で で は あ る い に い に い に り に り に り に り に り に り に り に	ズに るか の必 か	図必要性 【理由】 ・議会の状況等に、議会に対す・正確な議会情 ・正確な議会情 「図有効性 【理由】 ・市内の全世帯	#が高い □ 校 #について、市 計る理解を深め 情報を提供する #が高い □ 高 情、公共施設等	折込、配布 注討の余地あり 民の方へ情報を打 ていく必要がある ために、行政関与 ある余地あり への配布のほか	折込、配布 □必要性が低い 是供することによっと考えます。 →の必要性はある □有効性が低い に、議会報告会	折込、配布 り市政への関心を らと思われます。 で資料として活用	折込、配布 を高めるととも しており、議会
_ 	必要性 有効	市民二一. 応してい テ政関与 性はある ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ズに るか の必 か	図必要性 【理由】 ・議会の状況等 に、議会に対す ・正確な議会情 ☑有効性 【理由】 ・市内の全世帯 の状況等につい	生が高い □ 様 について、市. トる理解を深め 育報を提供する が高い □ 高 ・ 、公共施設等 いて、市民の方	折込、配布 注討の余地あり 民の方へ情報を打ていく必要がある ために、行政関与 ある余地あり への配布のほか へ情報を提供す	折込、配布 □必要性が低い 是供することによっと考えます。 →の必要性はある □有効性が低い に、議会報告会	折込、配布 り市政への関心を らと思われます。 で資料として活用	折込、配布 を高めるととも しており、議会
一次	必要性 有効性	下民ニー、 庁民してい テ性はある ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ズに るか の必 か	図必要性 【理由】 ・議会の状況等に、議議会に、議議会議会に ・正確な議会情 「図有効性 【理由】 ・市内の全世帯の状況する理解だ	#が高い □ 様 #について、市 計る理解を深め 情報を提供する #が高い □ 信 が高い □ 信 が高い □ 信 がいて、市民の方 が図られていま	打込、配布 注討の余地あり 民の方へ情報を打 ていく必要がある ために、行政関与 ある余地あり への配布のほか へ情報を提供す す。	折込、配布 □必要性が低い 是供することによった考えます。 →の必要性はある □有効性が低い に、議会報告会なことにより市政	折込、配布 り市政への関心を らと思われます。 で資料として活用	折込、配布 を高めるととも しており、議会
一次評	・ 必要性 有効性 ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・	F R R R E E E E E E E E E E E E E	ズるのか。効果	図必要性 【理由】 ・議会の状況等に、議議会に対す・正確な議会情 ・正確な議会情 「図有効性 【理由】 ・市内の全世帯の状況する理解が に対する理解が	#が高い □ 様 #について、市 計る理解を深め 情報を提供する #が高い □ 信 が高い □ 信 が高い □ 信 がいて、市民の方 が図られていま	折込、配布 注討の余地あり 民の方へ情報を打ていく必要がある ために、行政関与 ある余地あり への配布のほか へ情報を提供す	折込、配布 □必要性が低い 是供することによっと考えます。 →の必要性はある □有効性が低い に、議会報告会	折込、配布 り市政への関心を らと思われます。 で資料として活用	折込、配布 を高めるととも しており、議会
評	必要性 有効性 効	F 応 テ性 い い い に い に い に い に い い に い い の の の の の の の の の の の の の	ズるのか。効果	図必要性 【理由】 ・議会の状況等は、議議会議会に対す・正確な議会情 「図有効性 【理由】 ・市内の全世帯の状況する理解が 「図効率的 【理由】	#が高い □ 様 #について、市」 一る理解を深め 計報を提供する #が高い □ 高 情、公共施設等 いて、市民のよいである □ 高	折込、配布 注討の余地あり 民の方へ情報を打 ていく必要がある ために、行政関与 ある余地あり への配布のほか へ情報を提供す す。	折込、配布 □必要性が低い 是供することによっと考えます。 →の必要性が低い 「有効性が低い」 に、議会報告会でることにより市政 □効率的ではない	折込、配布 の市政への関心を らと思われます。 で資料として活用 への関心が高ま	折込、配布 を高めるととも しており、議会
	必要性 有効性 効率性 パーダー カライ カラ かっぱい かっぱい かっぱい カライ カラ かっぱい あんり かっぱい あんり かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい	F 応 寸性 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ズるのか 立	図必要性 【理由】 ・議会の状況等は、議議会議会に対す・正確な議会情 「図有効性 【理由】 ・市内の全世帯の状況する理解が 「図効率的 【理由】	#が高い □ 様 #について、市」 一る理解を深め 計報を提供する #が高い □ 高 情、公共施設等 いて、市民のよいである □ 高	打込、配布 注討の余地あり 民の方へ情報を打 ていく必要がある ために、行政関与 ある余地あり への配布のほか へ情報を提供す す。	折込、配布 □必要性が低い 是供することによっと考えます。 →の必要性が低い 「有効性が低い」 に、議会報告会でることにより市政 □効率的ではない	折込、配布 の市政への関心を らと思われます。 で資料として活用 への関心が高ま	折込、配布 を高めるととも しており、議会
評	必要性 有効性 効率性 パーダー カライ カラ かっぱい かっぱい かっぱい カライ カラ かっぱい あんり かっぱい あんり かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい	下応う性 手に 手に 手に 手に 手に 手に 手に 手に 手に 手に	ズるのか 立	図必要性 【理由】 ・議会の状況等は、議議会議会に対す・正確な議会情 「図有効性 【理由】 ・市内の全世帯の状況する理解が 「図効率的 【理由】	#が高い □ 様 #について、市」 一る理解を深め 計報を提供する #が高い □ 高 情、公共施設等 いて、市民のよいである □ 高	折込、配布 注討の余地あり 民の方へ情報を打 ていく必要がある ために、行政関与 ある余地あり への配布のほか へ情報を提供す す。	折込、配布 □必要性が低い 是供することによっと考えます。 →の必要性が低い 「有効性が低い」 に、議会報告会でることにより市政 □効率的ではない	折込、配布 の市政への関心を らと思われます。 で資料として活用 への関心が高ま	折込、配布 を高めるととも しており、議会
評	必要性 有効性 効率性 パーダー カーダー カーダー カーダー カーダー カーダー カーダー カーダー	下応う性 手に 手に 手に 手に 手に 手に 手に 手に 手に 手に	ズるのか 立	図必要性 【理由】 ・議議議議議議議議議議議議議議議議議議議議議議議議議議議議議員 図有効性 【理由】の等理財政がする。 図効率的 【理由】 ・無面内容の料 、無面内容の料	生が高い □ 様 について、で では では では では では では では では では で	折込、配布 注討の余地あり 民の方へ情報を打 ていく必要がある ために、行政関与 ある余地あり への配布のほか へ情報を提供す す。	折込、配布 □必要性が低い 是供することによった者の必要性が低い こ、議会報告会である。 ことにより市政 □効率的ではない づくりに努めまし	折込、配布 の市政への関心を らと思われます。 で資料として活用 への関心が高ま。 た。	折込、配布 を高めるととも しており、議会 るとともに、議会
評	必要性 有効性 効率性 総 清 「 率 な 戻 の 能 が ま か ま ま か ま ま の ま か ま ま の ま ま の ま ま の ま ま の ま ま か ま す ま す い ま か い ま す い ま ま ま す い ま ま ま ま	下応う性 い に に に に に に に に に に に に に	ズるのか c 面き 他	図必要性 ・議議に、正確は、主義議議ない。 ・正確は、主義議議ない。 ・正確は、主要をは、主要をは、主要をは、主要をは、主要をは、主要をは、主要をは、主要を	まが高い □ 様 について、である 「 神るを が高い 「 神るを が高い 」 一 神の は である 「 神の は である 「 神の なである 「 神の なである 「 神の である 「 ・ 「 ・ 「 ・ 「 ・ 「 ・ 「 ・ 「 である である 「 ・ 「 である である 「 ・ 「 である で である で である 「 ・ 「 である である である 「 ・ 「 である である である 「 ・ 「 である である である である 「 ・ 「 である である である である である 「 ・ 「 である	折込、配布 注討の余地あり 民の方へ情報を打 ていく必に、行政関与 ために、行政関与 ある余地あり への配布のほか す。 ある余地あり の、効率的な紙面	折込、配布 □必要性が低い 是供することによった。 →の有効性が低い に、ことによりのではない □効率的ではない づくりに努めまし □拡充 □域網	折込、配布 り市政への関心を らと思われます。 で資料として活用 への関心が高ま た。	折込、配布 を高めるととも しており、議会 るとともに、議会
評	必要性 有効性 効率性 総合評 の事件 の事件 の事件 の事が表の形 今代 のまま きんしん かっぱん かっぱん かっぱん かっぱん かっぱん かっぱん かっぱん かっぱ	下応う性 手に 手に 手に 手に 手に 手に 手に 手に 手に 手に	ズるのか っ	図必要性 ・議議に、正確は、主義議議ない。 ・正確は、主義議議ない。 ・正確は、主要をは、主要をは、主要をは、主要をは、主要をは、主要をは、主要をは、主要を	まが高い □ 様 について、である 「 神るを が高い 「 神るを が高い 」 一 神の は である 「 神の は である 「 神の なである 「 神の なである 「 神の である 「 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	折込、配布 注討の余地あり 民の方へ情報を打 ていく必、行政関与 ために、行政関与 ために、行政関与 がる余地あり への配布のほかす。 での高余地あり で、、かる余地あり の、効率的な紙面	折込、配布 □必要性が低い 是供することによった。 →の有効性が低い に、ことによりのではない □効率的ではない づくりに努めまし □拡充 □域網	折込、配布 り市政への関心を らと思われます。 で資料として活用 への関心が高ま た。	折込、配布 を高めるととも しており、議会 るとともに、議会
評	必要性 有効性 効率性 総合パー対・要 ぽ・ほ ぽっぽんほんが 今	下応う性	ズるのか っ	図必要性 ・議議に、正確は、主義議議ない。 ・正確は、主義議議ない。 ・正確は、主要をは、主要をは、主要をは、主要をは、主要をは、主要をは、主要をは、主要を	まが高い □ 様 について、である 「 神るを が高い 「 神るを が高い 」 一 神の は である 「 神の は である 「 神の なである 「 神の なである 「 神の である 「 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	折込、配布 注討の余地あり 民の方へ情報を打 ていく必に、行政関与 ために、行政関与 ある余地あり への配布のほかす。 いる余地あり の、効率的な紙面	折込、配布 □必要性が低い 是供することによった。 →の有効性が低い に、ことによりのではない □効率的ではない づくりに努めまし □拡充 □域網	折込、配布 り市政への関心を らと思われます。 で資料として活用 への関心が高ま た。	折込、配布 を高めるととも しており、議会 るとともに、議会
評	必要性 有効性 効率性 総合評価 パーダイン パーダ パーダ パーダ かっぱん ライン かっぱん ライン かっぱん ライン かっぱん かっぱん かっぱん かっぱん かっぱん かっぱん かっぱん かっぱん	F 応 寸性 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ズるのか 対 等で 事が 性 効い 業可	図必要性 ・議議に、正確は、主義議議ない。 ・正確は、主義議議ない。 ・正確は、主要をは、主要をは、主要をは、主要をは、主要をは、主要をは、主要をは、主要を	まが高い □ 様 について、である 「 神るを が高い 「 神るを が高い 」 一 神の は である 「 神の は である 「 神の なである 「 神の なである 「 神の である 「 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	折込、配布 注討の余地あり 民の方へ情報を打 ていく必に、行政関与 ために、行政関与 ある余地あり への配布のほかす。 いる余地あり の、効率的な紙面	折込、配布 □必要性が低い 是供することによった。 →の有効性が低い に、ことによりのではない □効率的ではない づくりに努めまし □拡充 □域網	折込、配布 り市政への関心を らと思われます。 で資料として活用 への関心が高ま た。	折込、配布 を高めるととも しており、議会 るとともに、議会
価	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	下応う性	ズるのか 対 等で 事が 性 の かい 業可 かい 業可 かい ま かい	図必要性 ・議議に、正確は、主義議議ない。 ・正確は、主義議議ない。 ・正確は、主要をは、主要をは、主要をは、主要をは、主要をは、主要をは、主要をは、主要を	まが高い □ 様 について、である 「 神るを が高い 「 神るを が高い 」 一 神の は である 「 神の は である 「 神の なである 「 神の なである 「 神の である 「 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	折込、配布 注討の余地あり 民の方へ情報を打 ていく必に、行政関与 ために、行政関与 ある余地あり への配布のほかす。 いる余地あり の、効率的な紙面	折込、配布 □必要性が低い 是供することによった。 →の有効性が低い に、ことによりのではない □効率的ではない づくりに努めまし □拡充 □域網	折込、配布 り市政への関心を らと思われます。 で資料として活用 への関心が高ま た。	折込、配布 を高めるととも しており、議会 るとともに、議会
評 価 改	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	Fixing the first state of the fixing that the fixing that the fixing the fixing that the fix	ズるのか 対 等で 事が 性 の かい 業可 かい 業可 かい ま かい	図必要性 ・議に・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	#が高い □検 についてをです。 ここでは、 ではます。 ここでは、 では、	折込、配布 注討の余地あり 民の方といった。 ために、行める余地あり への情報を提供する。 でいる余地あり への情報を提供する。 でいる余地あり の、効率的な紙面 「ある余地あり」 の、効率的な紙面	折込、配布 □必要性が低い 是供することにことではない こことは、ある こことは、ある こことになる こことになる こことになる 一	折込、配布 り市政への関心を らと思われます。 で資料として で資料としが高ま た。 た。 た。	折込、配布 を高めるととも しており、議会 るとともに、議会
評価	必要性 有効性 効率性 総合評価 前方 対信・対・要 覚・は 第二率が長の能 今代 一示性 状	下応う性	ズるのか 対 等で 事が 性 の等 内 のい 業可	図必要性 ・議議に、正確は、主義議議ない。 ・正確は、主義議議ない。 ・正確は、主要をは、主要をは、主要をは、主要をは、主要をは、主要をは、主要をは、主要を	#が高い □検 についてをです。 ここでは、 ではます。 ここでは、 では、	折込、配布 注討の余地あり 民の方へ情報を打 ていく必に、行政関与 ために、行政関与 ある余地あり への配布のほかす。 いる余地あり の、効率的な紙面	折込、配布 □必要性が低い 是供考とによった。 → の有効性が低い に、ことによりのではない づくりに 「対なのではない 」な が対なのではない が対なのではない が対なのではない が対なのではない が対なのではない がなりに がない がない がない がない がない がない がない がな	折込、配布 り市政への関心を らと思われます。 で資料として で資料としが 高ま た。 た。 (*) (折込、配布 を高めるととも しており、議会 るとともに、議会
評価 と と と と と と と と と と と と と と と と と と と	必要性 有効性 効率性 総合評価 前方 対容(パ・・対・)要 (パ・・は (着・)率なより能 今(で) 一示性 状実)	下応う性	ズるのか c	図必要性 ・議に・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	#が高い □検 についてをです。 ここでは、 ではます。 ここでは、 では、	折込、配布 注討の余地あり 民の方といった。 ために、行める余地あり への情報を提供する。 でいる余地あり への情報を提供する。 でいる余地あり の、効率的な紙面 「ある余地あり」 の、効率的な紙面	折込、配布 □必要性が低い 是供することにことではない こことは、ある こことは、ある こことになる こことになる こことになる 一	折込、配布 り市政への関心を らと思われます。 で資料として で資料としが高ま た。 た。 た。	折込、配布 を高めるととも しており、議会 るとともに、議会

事	務 事	業名	議会	ミイン	ターネ	マント中	迷事美	Ě				整理No.	11
所	属	名	部	議会	事務周	司	課	議会事務	务局	記入者	佐川	正和 内線	614
上	立 施	策 名	分野	都市	経営			中柱 市民	参加を可能にする情報発信	言の充実 小:	柱 積極的	的な情報発信	
	事業	(開始	年度	平成	28	3 年月	Ŧ.		坂戸市議会基準	本条例、均	夏戸市デ	ジタル行政推進	計画
			年度			年月	根:	拠法令等					
	7. 1					□高齢		障害者	□個人 □世帯	団体	✓ 全て <i>0</i>)人	
	(誰.			象 している	5か)	(具体的に							
								に出転車	業を行っているか	、目体的	<i>†</i> ⊱日 堙 (粉値)たど)	
									来を17つているル 录画映像をインタ				市内外の多く
								ていきま		1211	/ LA (HO	1// 000000	(1141 121 122
事									するために何をし				
黎									录画映像をインタ				
務	報货	供を	凶りま	7.	なが、こ	公開につ	0612	は、定例を	会・臨時会を問わ	す、すべ	(の本会	議について行り	います。
事									令和2年度		令和3	在由	令和4年度
業				区	分			単位	実績(決算)	計画(平度 実績(決算)	市和4年及 計画(予算)
禾	指	標①	映像	公開	した本	会議日	数	日	28		24	25	
の	指	標②	アク・	セス件	数			件	15,376	;	12,000	13,448	13,000
概		漂(3)		' '					10,010		, - 00	_0,110	10,000
1131	111	ѫ⊍			アクセ	マム性数	におし	ソア 計画	を上回っておりま	:t			
要	指標	に対	する達	成度	, , '	- / 、 安久	1-40 V	く、日四	こユニ ノ へがりみ	. 1 0			
	総	(1)	事	業	貴			千円	1,384	ļ	1,558	1,475	1,616
	事	財				出金・そ	の他)	千円	·		ŕ	,	,
	業費	源	一般	財源				千円	1,384		1,558	1,475	1,616
	•			数				人	0.20		0.20	0.20	0.20
	コス	2		件費				千円	993	}	993	993	993
				串 **	弗	\bigcirc \bigcirc		T III	0.077	,	9 551	9.400	9.000
	۲		総	事 業	費	1)+2		千円	2,377 本会議のライブ・		2,551 ライブ・	2,468 本会議のライブ・	2,609 本会議のライブ・
	ト 把		総			①+② 度別実施	内容		本会議のライブ・ 録画映像のイン	本会議の 録画映像	ライブ・ のイン	本会議のライブ・ 録画映像のイン	本会議のライブ・ 録画映像のイン
	۲					度別実施	-		本会議のライブ・ 録画映像のイン ターネット公開	本会議の録画映像ターネット	ライブ・ のイン 公開	本会議のライブ・	本会議のライブ・
	ト 把 握	 (着明 • 市 F	 艮点)	事業	の年月	度別実施 ☑必要	-		本会議のライブ・ 録画映像のイン	本会議の 録画映像	ライブ・ のイン 公開	本会議のライブ・ 録画映像のイン	本会議のライブ・ 録画映像のイン
	ト把握 必要	·市巨 対応	見点) ミニー. してい	事業ズにるか	の年原 【理由 ·本会	を別実施 ✓必要 は】 議のライ	性が高ブ・録	iv □	本会議のライブ・ 録画映像のイン ターネット公開 食討の余地あり 、一ムページ上で中	本会議の 録画映像 ターネット 必要性 1継(配信)	ライブ・ のイン 公開 が低い することで	本会議のライブ・録画映像のインターネット公開	本会議のライブ・ 録画映像のイン ターネット公開 と迅速に提供する
	ト把握 必要	·市国対応 ・行政	見点) ミニー・ と関与	事業ズにかめ	の年 原 【理由 ・ことが	度別実施 ▽必要 は 議のライ	性が高 ブ・録(。また、	い □ 画映像をホ 、市議会を	本会議のライブ・ 録画映像のイン ターネット公開 会討の余地あり ベームページ上で中 傍聴できない方も	本会議の 録画映像 ターネット 必要性 「必要性」 「継(配信)」 容易に市静	ライブ・ のイン 公開 が低い することで 養会の情幸	本会議のライブ・ 録画映像のイン ターネット公開 、市議会の情報を 最を取得することが	本会議のライブ・ 録画映像のイン ターネット公開 と迅速に提供する
	ト把握 必要	·市国対応 ・行政	見点) ミニー. してい	事業ズにかめ	の年 原 【理由 ・ことが	度別実施 図必要 は 説 の ライで な 議会情	性が高 ブ・録 。 また、 う 報を打	iい □ □ □ □ □ □ 映像をオ、市議会を と供するた	本会議のライブ・ 録画映像のイン ターネット公開 会計の余地あり ベームページ上で中 傍聴できない方もる めに、行政関与の	本会議の 録画映像 ターネット 必要性 小必要性 の必要性がある。 のでも。 のでも。 のでも。 のでも。 のでも。 のでも。 のでも。 のでも	ライブ・ のイン 公開 が低い することで き会の情幸	本会議のライブ・ 録画映像のイン ターネット公開 、市議会の情報を 最を取得することが	本会議のライブ・ 録画映像のイン ターネット公開 と迅速に提供する
	ト把握 必要性	·市区 対応 ·行政 要性	見点) 見二一: してい 女関与る	事業ズにかめ	の年月	度別実施 図必要 は】 議のライ でな議会情 図有効	性が高 ブ・録 。 また、 う 報を打	iい □ □ □ □ □ □ 映像をオ、市議会を と供するた	本会議のライブ・ 録画映像のイン ターネット公開 会討の余地あり ベームページ上で中 傍聴できない方も	本会議の 録画映像 ターネット 必要性 「必要性」 「継(配信)」 容易に市静	ライブ・ のイン 公開 が低い することで き会の情幸	本会議のライブ・ 録画映像のイン ターネット公開 、市議会の情報を 最を取得することが	本会議のライブ・ 録画映像のイン ターネット公開 と迅速に提供する
	ト把握 必要性 有	・対・対・要(・目)	表 に し は は は は 点 に り は 点 し り は 点 し り は る こ で り は る ら る し う し う し う し う し う し う し う し う し う し	事業だるのかった。	の年月では、一旦では、一旦では、一旦では、一旦では、一旦では、一旦では、一旦では、一旦	度別実施 図必要 説のライイでな議会情 図有効	性が高 ブ・録。 また、 まを 対 性が高	iv	本会議のライブ・ 録画映像のイン ターネット公開 会計の余地あり ベームページ上で中 傍聴できない方もる めに、行政関与の	本会議の 録明映像ターネット 必要性 の必要性のである。 のでも。 のでも。 のでも。 のでも。 のでも。 のでも。 のでも。 のでも	ライブ・ のイン 公開 することで き会の情幸 あると思わ	本会議のライブ・録画映像のインターネット公開 、市議会の情報を取得することがれます。	本会議のライブ・録画映像のインターネット公開を迅速に提供するができます。
	ト把握 必要性	・対・対・要(・目)	展点 点二で は は 関 は ある し 関 ある し は あ。 し は あ。 し り は ある。 し り は ある。 し り し り り り り り り り り り り り り り り り り	事業だるのかった。	の年月	度別実施 図必要 イオー	性が高 ブ・銀た、 言報が高 せがごうがて	い □ は 画映像を が、 市議会を 是供するたい □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	本会議のライブ・ 録画映像のイン ターネット公開 会討の余地あり 、一ムページ上で中 傍聴できない方も2 めに、行政関与の 高める余地あり をホームページ上 た、市議会を傍	本会議の 録の ターネット 「必要性」の を対し、 ので一部がより 「でできない」でできない。 「でできない」でできない。	ライブ・ のイン の公開 が低い することで 養会の情報 が低い 配信) す	本会議のライブ・録画映像のインターネット公開 、市議会の情報を取得することがれます。	本会議のライブ・録画映像のインターネット公開を迅速に提供するができます。
一 次	ト把握 必要性 有効	・対・対・要(・目)	表 に し は は は は 点 に り は 点 し り は 点 し り は る こ で り は る ら る し う し う し う し う し う し う し う し う し う し	事業だるのかった。	の年月	度別実施 図必要 イオー	性が高 ブ・銀た、 言報が高 せがごうがて	い □ は 画映像を が、 市議会を 是供するたい □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	本会議のライブ・ 録画映像のイン ターネット公開 会討の余地あり 、一ムページ上で中 傍聴できない方もる めに、行政関与の 高める余地あり	本会議の 録の ターネット 「必要性」の を対し、 ので一部がより 「でできない」でできない。 「でできない」でできない。	ライブ・ のイン の公開 が低い することで 養会の情報 が低い 配信) す	本会議のライブ・録画映像のインターネット公開 、市議会の情報を取得することがれます。	本会議のライブ・録画映像のインターネット公開を迅速に提供するができます。
	ト把握 必要性 有効性	・対・要 (・果 (着) ままず (手)	良元し対は 見りあ 点の しかん しゅう	事業ズにかめかかかかかかかかかったか	の年月	度別実施 図必要 は】 説談でな 図 のうま会 効 ランス 関 でるこ 別 本	性が高 ブ・録と、 すまをす 性が高 く て ど い れ れ い れ れ れ れ れ れ れ れ れ れ れ れ れ れ れ	い □ 本画映像をかれています。 これでは、市議会をおります。 これでは、 □ は、 □	本会議のライブ・ 録画映像のイン ターネット公開 会討の余地あり 、一ムページ上で中 傍聴できない方も2 めに、行政関与の 高める余地あり をホームページ上 た、市議会を傍	本会議の 録の ターネット 「必要性」の を対し、 ので一部がより 「でできない」でできない。 「でできない」でできない。	ライブ・ のイン が低い することで 養会と思わ が低い 配方も容	本会議のライブ・録画映像のインターネット公開 、市議会の情報を取得することがれます。	本会議のライブ・録画映像のインターネット公開を迅速に提供するができます。
評	ト把握 必要性 有効性 効	・対・要 (・果 着コ本)に市応政性 間的は 眼外に	良元し対は 見りあ 点の しかん しゅう	事業ズにかめかかかかかかかかかったか	の年月 理本と正 理本と正 理本とと 理本とと 理本提が 由会が確 由会が確 由会が確 由会が確 由会がを は会がを はるとしまする。	度別実施 図必要 イオ	性が高ブ・録とたす 高 せてどかれ である	い □ は 画映像をか 、市議会を 是供するた い □ で 緑画映像で で で で こ こ こ に は こ に は こ に は こ に に に に に に に に に に に に に	本会議のライブ・ 録画映像のイン ターネット公開 会討の余地あり 、一ムページ上で中 傍聴できない方も名 めに、行政関与の 高める余地あり をホームページ上 また、市議会を傍 営が図られていま	本会議の後夕 一	ライブ・ のイン 開 することで きるとして を あると が低い 配方も ではない ではない	本会議のライブ・録画映像のインターネット公開 、市議会の情報を扱を取得することがれます。 ることで、市議会の情報会易に市議会の情報を	本会議のライブ・録画映像のインターネット公開 を迅速に提供するができます。
	ト把握 必要性 有効性 効	・対・要 (・果 信・率る・日本) (・対・世) 第1年	R 点二で関あ 点二で関あ 点とる 点 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	事 ズるのか 対 第で 事	の 理本と正 理本と正 理本とと 理本とと 理本とと 理本とと 理本とと 理本とと 理本とと 理本とと 理本とと 理本とと 理本とと 理本とと 理本とと に に に に に に に に に に に に に	度別 実施 図必要 イオ情 別のき議 利 別のき議 利 別のきま 利 別のきま 利 別のきま 利 別のきま 利 のうま。 対 の り の り の り の り の り の り の り の り の の の の の の の の の の の の の	性が高 ジャック はいません できません さいかい かいかい かい か	い □ は 画映像を 市議会を を と と は い □ で は い は い は い は い は な に に は に に に に に に に に に に に に に	本会議のライブ・ 録画映像のイン ターネット公開 会討の余地あり 、一ムページ上で中 傍聴できない方もる めに、行政関与の 高める余地あり をホームページ上 また、市議会を傍 営が図られていま	本会員ター 2 継条 2 単 2 を 3 を 3 を 4 を 4 を 5 を 5 を 6 を 6 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7	ライブ・ の公が低い することで するとの では を が低い で で で で で で で ない で ない で ない で が が の の の の の の の の の の の の の	本会議のライブ・ 録画映像のイン ターネット公開 、市議会の情報を 扱を取得することが れます。 ることで、市議会 易に市議会の情 設置されたこと	本会議のライブ・ 録画映像のイン ターネット公開 ・迅速に提供する ができます。 ・の情報を迅速 情報を取得する から、同一の業
評	ト把握 必要性 有効性 効率	・対・要 (・果 信・率る・日本) (・対・世) 第1年	見 己し女は 見りあ 点、本 点二て関あ うしか きる うまで かんか かんか かんか かんか かんか かんか かん かん かん かん かん	事 ズるのか 対 第で 事	の年月 世本と正 世本と正理本提が 世会が確 は会が確 は会ができる。	度別 実施 図必要 イオ情 別のき議 利 別のき議 利 別のきま 利 別のきま 利 別のきま 利 別のきま 利 のうま。 対 の り の り の り の り の り の り の り の り の の の の の の の の の の の の の	性が高 ジャック はいません できません さいかい かいかい かい か	い □ は 画映像を 市議会を を と と は い □ で は い は い は い は い は な に に は に に に に に に に に に に に に に	本会議のライブ・ 録画映像のイン ターネット公開 会討の余地あり 、一ムページ上で中 傍聴できない方も2 めに、行政関与の 高める余地あり をホームページ上 また、図られていま 高める余地あり	本会員ター 2 継条 2 単 2 を 3 を 3 を 4 を 4 を 5 を 5 を 6 を 6 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7	ライブ・ の公が低い することで するとの では を が低い で で で で で で で ない で ない で ない で が が の の の の の の の の の の の の の	本会議のライブ・ 録画映像のイン ターネット公開 、市議会の情報を 扱を取得することが れます。 ることで、市議会 易に市議会の情 設置されたこと	本会議のライブ・ 録画映像のイン ターネット公開 ・迅速に提供する ができます。 ・の情報を迅速 情報を取得する から、同一の業
評	ト把握 必要性 有効性 効率性	・対・要 (・果 着コ率の・との) 着目は 眼外に 間的は 眼外に 間節は	R 点二で関あ 点二で関あ 点とる 点 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	事 ズるのか 対 第で 事	の (す) (す	度別 一	性が一つ。報性が一つとかいいます。 はい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい い	い □	本会議のライブ・ 録画映像のイン ターネット公開 会討の余地あり 、一ムページ上で中 傍聴できない方も2 めに、行政関与の 高める余地あり をホームページ上 また、図られていま 高める余地あり	本録タ 一 本録の 本録の 本録の 本録の 本記の 本記	ライブ・ の公 が低い する会 ない を持た が低い では のと では のでは のでは のでは のでは のでは のでは のでは	本会議のライブ・ 録画映像のインターネット公開 、市議会の情報を 最を取得することだれます。 ることで、市議会 ることで、意会の情報を おれます。	本会議のライブ・ 録画映像のイン ターネット公開 ・迅速に提供する ができます。 ・の情報を迅速 情報を取得する から、同一の業 が図られまし
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総	・対・要(・果(デュ率のよと能力を対す)を対して、またのが、関係が、関係が、関係が、関係が、関係が、関係が、関係が、関係が、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、	見記し対は 見りあ 点、執 委合 かん か	事 ズるのか 対	の 【・こ・ 【・にこ 【・者た 】 理本と正 理本提と 理イと。 次	度 別 図 のき議 図 のき議 図 のき談 図 のき談 図 のきさ 数 の の の の の の の の の の の の の	性が、最大をおいている。 はいかい いっぱい はい	い □ □	本会議のライブ・ 録画映像のイン ターネット公開 食討の余地あり 、一ムペラででである 、一本できない関与の 高める余地あり をホーカで会で、 できない関与の 高める余地あり をホームで会で、 できない関与の こまた、図られていま はた、図られていま こまが図ります。 でできないま のかる余地あり をまた、図ります。 でできないま にないま にないま こまないま こまないま これできないま にないま にないま にないま にないま にないま にないま にないま に	本録タ	ライブ・ アクス が低い する会かが 配っ で と情わ で と情わ で と い で と い で と い が 配っ で と い が 配っ で と い が 配っ で と い が る。 い が 配っ で と い が る。 が 配っ で と 。 の が で と い が で と い が で と 。 の が で は 器減 継続	本会議のライブ・ 録画映像のインターネット公開 、市議会の情報を 根を取得することが れます。 ることで、市議会 を ることで、市議会 を ることで、市議会 を ることで、 「一様	本会議のライブ・ 録画映像のイン ターネット公開 ・迅速に提供する ができます。 ・の情報を迅速 情報を取得する から、同一のまし から、いられまし ・ 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評	・対・要 (・果 (・コ率る・と能 今下上の行性 明白は 眼外に間が 後	R 点二で関あ 点二で関あ 点とる 点 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	事 ズるのか 対	の 【・こ・ 【・にこ 【・者た 【本本と正 理本提と 理イと。 次会 にまれる はない はい 見長会 にない また はん こう	度 別 図 のき議 図 のき議 図 のき談 図 のきさ 対 の の の の の の の の の の の の の	性 ブ・ま報 性 インカ 的 トゥ マブブ が 録たを 高 ・ずてれ あ 総る 善哲録	い 画市供 い 碌ぎた る 進之 ・ 治 画 ま	本会議のライブ・ 録画映像のフィンターネットな開 食討の余地あり (一時に、行っない関係ができない関係ができる。 高める余地あり をホー、「図られていました。」 はた、「図られています。」 では、できないます。 こまた、「図られています。」 「関係を表する。」 「関係を表する。」 「関係を表する。」 「関係を表する。」 「関係を表する。」 「関係を表する。」 「関係を表する。」 「関係を表する。」 「関係を表する。」 「関係を表する。」 「関係を表する。」 「一点では、、「のいます。」 「のいまする。 「のいまする。」 「のいまする。 「のいまなる。 「のいな。 「のいな。 「のいまな。 「のいまな。 「のいな。 「のいな。 「のいまな。 「のいまな。 「のいな。 「	本録タ	ライイン が	本会議のライブ・ 録画映像のインターネット公開 、市議会の情報を 最を取得することが 、市談得することが ることで、、市談会の情報を が事務の対応を とが事務の対応を とがず事務の対応を は、下、、「は、「は、」、「は、」、「は、」、「は、」、「は、」、「は、」、「は	本会議のライブ・ 録画映像のイン ターネット公開 ・迅速に提供する ・できます。 ・の情報を取得する いらいのに ・からいのに ・からいのに ・からいのに ・からいのに ・からいのに ・からいのに ・からいのに ・かられませ ・からいのに ・かられませ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合	・対・要 (・果 (・コ率る・と能 今下上の行性 明白は 眼外に間が 後	R 点二て関あ 点二で関あ 点とる) 一い与る) 大か 87 でも あった。 あった。 あった。 あった。 あった。 あった。 あった。 あった。 あった。 たった。	事 ズるのか 対	の 【・こ・ 【・にこ 【・者た 【本本と正 理本提と 理イと。 次会 にまれる はない はい 見長会 にない また はん こう	度	性 ブ・ま報 性 インカ 的 トゥ マブブ が 録たを 高 ・ずてれ あ 総る 善哲録	い 画市供 い 碌ぎた る 進之 ・ 治 画 ま	本会議のライブ・ 録画映像のイン ターネット公開 食討の余地あり 、一ムペラででである 、一本できない関与の 高める余地あり をホーカで会で、 できない関与の 高める余地あり をホームで会で、 できない関与の こまた、図られていま はた、図られていま こまが図ります。 でできないま のかる余地あり をまた、図ります。 でできないま にないま にないま こまないま こまないま これできないま にないま にないま にないま にないま にないま にないま にないま に	本録タ	ライイン が	本会議のライブ・ 録画映像のインターネット公開 、市議会の情報を 最を取得することが 、市談得することが ることで、、市談会の情報を が事務の対応を とが事務の対応を とがず事務の対応を は、下、、「は、「は、」、「は、」、「は、」、「は、」、「は、」、「は、」、「は	本会議のライブ・ 録画映像のイン ターネット公開 ・迅速に提供する ・できます。 ・の情報を取得する いらいのに ・からいのに ・からいのに ・からいのに ・からいのに ・からいのに ・からいのに ・からいのに ・かられませ ・からいのに ・かられませ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価	・・対・要 (・果 第一本のよと能 今の下下が行性 目的は 眼ス的が間が 後き	RRしなは 艮勺あ 点、t 委合 の	事 ズるのか cv 面き 他隽 句) 業 にか必 効 等で 事が 性	の 【・こ・ 【・にこ 【・者た 【本供 理本と正 理本提と 理イと。 次会を 良長派	度	性 ブ・ま報 性 インカ 的 トゥ マブブ が 録たを 高 ・ずてれ あ 総る 善哲録	い 画市供 い 碌ぎた る 進之 ・ 治 画 ま	本会議のライブ・ 録画映像のフィンターネットな開 食討の余地あり (一時に、行っない関係ができない関係ができる。 高める余地あり をホー、「図られていました。」 はた、「図られています。」 では、できないます。 こまた、「図られています。」 「関係を表する。」 「関係を表する。」 「関係を表する。」 「関係を表する。」 「関係を表する。」 「関係を表する。」 「関係を表する。」 「関係を表する。」 「関係を表する。」 「関係を表する。」 「関係を表する。」 「一点では、、「のいます。」 「のいまする。 「のいまする。」 「のいまする。 「のいまなる。 「のいな。 「のいな。 「のいまな。 「のいまな。 「のいな。 「のいな。 「のいまな。 「のいまな。 「のいな。 「	本録タ	ライイン が	本会議のライブ・ 録画映像のインターネット公開 、市議会の情報を 最を取得することが 、市談得することが ることで、、市談会の情報を が事務の対応を とが事務の対応を とがず事務の対応を は、下、、「は、「は、」、「は、」、「は、」、「は、」、「は、」、「は、」、「は	本会議のライブ・ 録画映像のイン ターネット公開 ・迅速に提供する ・できます。 ・の情報を取得する いらいのに ・からいのに ・からいのに ・からいのに ・からいのに ・からいのに ・からいのに ・からいのに ・かられませ ・からいのに ・かられませ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
評 価	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前	・対・要 (・) 果 (ポーマる・民) 一学 (・) では、 第二字る・民) に、 一学 (・) では、 第二字る・民) に、 一学 (・) では、 第二字 (・) では、 第二	R 点二て関あ 点二で関あ 点とる) 一い与る) 大か 87 でも あった。 あった。 あった。 あった。 あった。 あった。 あった。 あった。 あった。 たった。	事 ズるのか cv 面き 他隽 切) 後 業 にか必 効 等で 事が 性 の	の 【・こ・ 【・にこ 【・者た 【本供 理本と正 理本提と 理イと。 次会を 良長派	度	性 ブ・ま報 性 インカ 的 トゥ マブブ が 録たを 高 ・ずてれ あ 総る 善哲録	い 画市供 い 碌ぎた る 進之 ・ 治 画 ま	本会議のライブ・ 録画映像のフィンターネットな開 食討の余地あり (一時に、行っない関係ができない関係ができる。 高める余地あり をホー、「図られていました。」 はた、「図られています。」 では、できないます。 こまた、「図られています。」 「関係を表する。」 「関係を表する。」 「関係を表する。」 「関係を表する。」 「関係を表する。」 「関係を表する。」 「関係を表する。」 「関係を表する。」 「関係を表する。」 「関係を表する。」 「関係を表する。」 「一点では、、「のいます。」 「のいまする。 「のいまする。」 「のいまする。 「のいまなる。 「のいな。 「のいな。 「のいまな。 「のいまな。 「のいな。 「のいな。 「のいまな。 「のいまな。 「のいな。 「	本録タ	ライイン が	本会議のライブ・ 録画映像のインターネット公開 、市議会の情報を 最を取得することが 、市談得することが ることで、、市談会の情報を が事務の対応を とが事務の対応を とがず事務の対応を は、下、、「は、「は、」、「は、」、「は、」、「は、」、「は、」、「は、」、「は	本会議のライブ・ 録画映像のイン ターネット公開 ・迅速に提供する ・できます。 ・の情報を取得する いらいのに ・からいのに ・からいのに ・からいのに ・からいのに ・からいのに ・からいのに ・からいのに ・かられませ ・からいのに ・かられませ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
評 価 改	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前	・対・要 (・) 果 (ポーマる・民) 一学 (・) では、 第二字る・民) に、 一学 (・) では、 第二字る・民) に、 一学 (・) では、 第二字 (・) では、 第二	RRU	事 ズるのか cv 面き 他隽 切) 後 業 にか必 効 等で 事が 性 の	の 【・こ・ 【・にこ 【・者た 【本供 理本と正 理本提と 理イと。 次会を 良長派	度	性 ブ・ま報 性 インか 的 トす コマブ行 録たを 高 ・すてれ あ 神る 善哲録い	い 画市供 い 碌き	本会議のライブ・ 録画映像のフィンターネットな開 食討の余地あり (一時に、行っない関係ができない関係ができる。 高める余地あり をホー、「図られていました。」 はた、「図られています。」 では、できないます。 こまた、「図られています。」 「関係を表する。」 「関係を表する。」 「関係を表する。」 「関係を表する。」 「関係を表する。」 「関係を表する。」 「関係を表する。」 「関係を表する。」 「関係を表する。」 「関係を表する。」 「関係を表する。」 「一点では、、「のいます。」 「のいまする。 「のいまする。」 「のいまする。 「のいまなる。 「のいな。 「のいな。 「のいまな。 「のいまな。 「のいな。 「のいな。 「のいまな。 「のいまな。 「のいな。 「	本録タ 「終す」 「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「	ライイン が	本会議のライブ・ 録画映像の分開 、市議会の情報を表示を表示す。 、市政することが、 最をすることが、 最をすることが、 ことに市議会の情報を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	本会議のライブ・ 録画映像のイン ターネット公開 ・迅速に提供する ・できます。 ・の情報を取得する いらいのに ・からいのに ・からいのに ・からいのに ・からいのに ・からいのに ・からいのに ・からいのに ・かられませ ・からいのに ・かられませ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
評価	上把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前方 対	・対・要 (・果 (きつ率ること能 今) 一示性 状で下ので性 間白は 眼ス的が関節が 後き して 況	Rさし対は R勺あ 点, ** 、** 、** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	事 ズるのか さい 面き 他携 句)	の 【・こ・ 【・にこ 【・者た 【本供 理本と正 理本提と 理イと。 次会を 良長派	度	性 ブ・ま報 性 インカ 的 トゥ マブブ が 録たを 高 ・ずてれ あ 総る 善哲録	い 画市供 い 碌き	本会議のライブ・ 録のの 最前の余地あり (一) なできない関 高める余地あり を下したが図 高める余地あり を下したが図 高める余地あり を下したが図 高める余地あり を下したが図 高める余地あり を下したが図 高める余地あり を下したが図 高める余地あり 本た、が図 高める余地あり 本た、が図 高いる余地あり 本た、が図 高いる余地あり 本た、が図 高いる余地あり 本た、が図 高いる余地あり 本た、が図 高いる余地あり 本た、が図 高いる余地あり 本た、が図 高いる余地あり 本た、が図 高いる余地あり 本た、が図 高いる余地あり 本た、が図 高いる余地あり 本た、が図 本た、が図 本た、が図 高いる余地あり 本た、が図 本た、が図 本た、が図 本た、が図 本た、が 本た、が 本た、が 本た、が 本た、が 本た、が 本の。 本の。 本の。 本の。 本の。 本の。 本の。 本の。	本録タ 「終す」 「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「	ラクス が 記い で	本会議のライブ・ 録画映像のインターネット公開 、市議会の情報を 最を取得することが 、市談得することが ることで、、市談会の情報を が事務の対応を とが事務の対応を とがず事務の対応を は、下、、「は、「は、」、「は、」、「は、」、「は、」、「は、」、「は、」、「は	本会議のライブ・ 録画映像のイン ターネット公開 ・迅速に提供する ・できます。 ・の情報を取得する いらいのに ・からいのに ・からいのに ・からいのに ・からいのに ・からいのに ・からいのに ・からいのに ・かられませ ・からいのに ・かられませ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
評価という。	上把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前方 対容	・対・要 (・果 (*)・率るよと能 今() 示性 状未 市応行性 間白は 眼ス的が間紡が 後妻 して 況実)	艮引し対は 艮勺あ 点、 文章 のき た女 点二て関あ 点とる)業行 託連 方等 一つ善 一つ 一つ 一つ 一つ 一つ 一つ 一	事 ズるのか さい 面き 他携 可) 後長 医里 にか必 効 等で 事が 性 の等 内	の 【・こ・ 【・にこ 【・者た 【本供 理本と正 理本提と 理イと。 次会を 良長派	度	性 ブ・ま報 性 インか 的 トす コマブ行 録たを 高 ・すてれ あ 神る 善哲録い	い 画市供 い 碌き	本会議のライブ・ 録のの 最前の余地あり (一) なできない関 高める余地あり を下したが図 高める余地あり を下したが図 高める余地あり を下したが図 高める余地あり を下したが図 高める余地あり を下したが図 高める余地あり を下したが図 高める余地あり 本た、が図 高める余地あり 本た、が図 高いる余地あり 本た、が図 高いる余地あり 本た、が図 高いる余地あり 本た、が図 高いる余地あり 本た、が図 高いる余地あり 本た、が図 高いる余地あり 本た、が図 高いる余地あり 本た、が図 高いる余地あり 本た、が図 高いる余地あり 本た、が図 高いる余地あり 本た、が図 本た、が図 本た、が図 高いる余地あり 本た、が図 本た、が図 本た、が図 本た、が図 本た、が 本た、が 本た、が 本た、が 本た、が 本た、が 本の。 本の。 本の。 本の。 本の。 本の。 本の。 本の。	本録タ 「終す」 「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「	ラクス が 記い で	本会議のライブ・ 録画映像の分開 、市議会の情報を表示を表示す。 、市政することが、 最をすることが、 最をすることが、 ことに市議会の情報を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	本会議のライブ・ 録画映像のイン ターネット公開 ・迅速に提供する ・できます。 ・の情報を取得する いらいのに ・からいのに ・からいのに ・からいのに ・からいのに ・からいのに ・からいのに ・からいのに ・かられませ ・からいのに ・かられませ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

車 ¾								
	系事 業 名	広報さか	ど発行事業				整理No.	12
				. I . tom . I . mak				
所	属 名	部 総合	以東部 課	広報広聴	課	記入者 川口	直輝 内線	163
l⊢⊹	拉施策名	分野 都市	終党	山	加を可能にする情報発信	の充実 小灶 各種	進休に ト ろ情報は	県 仕
- '				T11 ~ ~	La		WITH CO. O. IH TKI	EN
	事業開始	年度 平成	29 年度	11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	第6次坂戸市総合	合振興計画		
	重業終了	年度 令和	年度 年度	见法令等				
	尹 未心]	十这 卫和					– –	
	*	*	□局齢者	_ 障害者	□個人 ☑世帯 [□団体 □全で	の人 □その他	
			るか) (具体的に) 市内	全世帯				
	目標(対象	えをどのよう	うな状態にするために	二当該事業	きを行っているか、	. 具体的な目標((数値)など。)	
	一人でも	多くの市民	に手に取ってもらえる	広報紙を	·目指し、発信する	方内容をわかりや	すく、見やすくす	~るよう工夫をす
	るとともに	、記事に関	係する市民のインタロ	ビューなと	を取り入れること	で、市民参加の	広報紙作りを進め	かます。
l								
事	事業概要	(取組内容	・活動内容など、目的	りを達成す	るために何をして	ているか。)		
	市民と市る	を結ぶ重要	な情報媒体として、領	再月1日発	行しています。			
務								
事					A 7			A = : t = t
		区	分	単位	令和2年度	令和3		令和4年度
業			,,	-	実績(決算)	計画(予算)	実績(決算)	計画(予算)
	指標①	広報さかと	ご発行部数	部	505,200	510,000	503,400	510,000
の				•••	,	,0	,	,
١ "	指標②							
概	指標③							
似	当日		Lint 1 - Art VIII North - Love to	1.3. EN. 1-				
要	指揮に並-	する達成度	概ね経過通りの部数	なを発行し	ています。			
女	1日1示1〜入1	りる廷队及						
	w 1	事業		千円	16,358	19,453	15,758	19,829
	11.0						=	
	事 財 業 源		国県支出金・その他)	千円	2,260	2,400	2,540	2,400
	業 費 動	一般財源		千円	14,098	17,053	13,218	17,429
	現 職	員 数		人	3.00	3.00	3.00	3.00
	¬ ②	人件費	}	千円	14,895	14,895	14,895	14,895
	ス	総事業				· ·	•	· ·
		祁 尹 未	費 ①+②	千円	31,253	34,348	30,653	34,724
	-			十円	広報紙編集·発	広報紙編集·発	広報紙編集·発	広報紙編集·発
	ト 把		の年度別実施内容	十円	広報紙編集·発 行、送致·戸別配	広報紙編集·発 行、送致·戸別配	広報紙編集·発 行、送致·戸別配	広報紙編集·発 行、送致·戸別配
	-		の年度別実施内容		広報紙編集·発 行、送致·戸別配 布等	広報紙編集·発 行、送致·戸別配 布等	広報紙編集·発	広報紙編集·発
	ト 把 握 (着眼	事業	の年度別実施内容		広報紙編集·発 行、送致·戸別配 布等	広報紙編集·発 行、送致·戸別配	広報紙編集·発 行、送致·戸別配	広報紙編集·発 行、送致·戸別配
	ト 把 握 (着眼	事業	の年度別実施内容		広報紙編集·発 行、送致·戸別配 布等	広報紙編集·発 行、送致·戸別配 布等	広報紙編集·発 行、送致·戸別配	広報紙編集·発 行、送致·戸別配
	ト 把握 (着眼 ・ 市長	事業 (((((((((((((((((((の年度別実施内容 ☑ 必要性が高 【理由】 令和元年度に実施し	い □ 個	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 討の余地あり 活識調査では、市	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 □ 必要性が低い からの情報を「Д	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 「報さかど」から得	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 事でいると回答
	ト把握・労・対・行の政・・対・行の政・・対・行の政・・対・行の政・・対・行の政・・対・行の政・・対・行の政・・対・行の政・・対・に対しては、対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・	事業	の年度別実施内容 ② 必要性が高 【理由】	い □ 個	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 討の余地あり 活識調査では、市	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 □ 必要性が低い からの情報を「Д	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 「報さかど」から得	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 事でいると回答
	ト把握・労・対・行の政・・対・行の政・・対・行の政・・対・行の政・・対・行の政・・対・行の政・・対・行の政・・対・行の政・・対・に対しては、対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・	事業 見点) ミニーズに しているか	の年度別実施内容 ☑ 必要性が高 【理由】 令和元年度に実施し	い □ 個	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 討の余地あり 活識調査では、市	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 □ 必要性が低い からの情報を「Д	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 「報さかど」から得	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 事でいると回答
	ト把握・労・対・行の政・・対・行の政・・対・行の政・・対・行の政・・対・行の政・・対・行の政・・対・行の政・・対・行の政・・対・に対しては、対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・	事業	の年度別実施内容 ②必要性が高 【理由】 令和元年度に実施しした方が87.5%といす。	い □ 個 した市民 う結果であ	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 討の余地あり 意識調査では、市 らり、市民に一番卓	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 □ 必要性が低い からの情報を「広 す近な情報発信	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 「報さかど」から得	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 事でいると回答
	ト把握・必要性・対・要性・対・で	事業 表点) ほこーズにしているか 以関与の必はあるか	の年度別実施内容 ②必要性が高 【理由】 令和元年度に実施した方が87.5%というす。 ②有効性が高い	い □ 個 した市民 う結果であ	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 討の余地あり 意識調査では、市 らり、市民に一番与	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 □ 必要性が低い からの情報を「Д	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 「報さかど」から得	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 事でいると回答
	ト把握 必要性 右 一部では 一述で 一述で 一述で 一述で 一述で 一述で 一述で 一述で	事業 浸点) ミニーズに しているか 攻関与の必 はあるか	の年度別実施内容 ②必要性が高 【理由】 令和元年度に実施した方が87.5%というす。 ②有効性が高して現場である。	い	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 討の余地あり	広報紙編集・発行、送致・戸別配布等 □必要性が低い からの情報を「広す近な情報発信・□ 有効性が低い	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 「報さかど」から得 ツールとして、必	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 身でいると回答 要性は高いで
_	ト把握 必要性 有効 ・対・要 (・) ・財・要 (・) ・財・要 (・)	事業 浸点) にしているか 以関与のかはあるか 浸点)	の年度別実施内容 ②必要性が高 【理由】 令和元年度に実施した方が87.5%といす。 ②有効性が高は 【理由】 ユニバーサル書体を	い □ 様 した市民意 う結果であ い □ 高 ご使い、可	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 討の余地あり 意識調査では、市 り、市民に一番卓 ある余地あり 読性(読みやすさ	広報紙編集・発行、送致・戸別配布等 □必要性が低い からの情報を「広す」では情報発信 □有効性が低い こ)を重視している	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 、報さかど」から很 ツールとして、必 ます。また、紙面:	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 身でいると回答 要性は高いで 全体をフルカ
	ト把握 必要性 有効 一般	事業 浸点) にしているか 以関与のかはあるか 浸点)	の年度別実施内容 ②必要性が高 【理由】 令和元年度に実施した方が87.5%というす。 ②有効性が高は 【理由】 ユニバーサル書体をラーにして、写真、1	い	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 討の余地あり 意識調査では、市 らり、市民に一番与 ある余地あり 読性(読みやすさ があり、わかりやす	広報紙編集・発行、送致・戸別配布等 □必要性が低い からの情報を「広す近な情報発信・□有効性が低い こ)を重視してい紙面で見るですい紙面	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 ご報さかど」から得 ツールとして、必 ます。また、紙面1 iづくりを意識して	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 身でいると回答 要性は高いで 全体をフルカ こいます。更に
	ト把握 必要性 有効 ・対・要 (・) ・財・要 (・) ・財・要 (・)	事業 浸点) にしているか 以関与のかはあるか 浸点)	の年度別実施内容 ②必要性が高 【理由】 令和元年度に実施した方が87.5%というす。 ②有効性が高い 【理由】 ユニバーサル書体を ラーにして、写真、イ 市民カメラマン、市民	い	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 討の余地あり 意識調査では、市 らり、市民に一番与 ある余地あり 読性(読みやすさ があり、わかりやす	広報紙編集・発行、送致・戸別配布等 □必要性が低い からの情報を「広す近な情報発信・□有効性が低い こ)を重視してい紙面で見るですい紙面	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 ご報さかど」から得 ツールとして、必 ます。また、紙面1 iづくりを意識して	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 身でいると回答 要性は高いで 全体をフルカ こいます。更に
一 次	ト把握 必要性 有効 一般	事業 浸点) にしているか 以関与のかはあるか 浸点)	の年度別実施内容 ②必要性が高 【理由】 令和元年度に実施した方が87.5%というす。 ②有効性が高は 【理由】 ユニバーサル書体をラーにして、写真、1	い	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 討の余地あり 意識調査では、市 らり、市民に一番与 ある余地あり 読性(読みやすさ があり、わかりやす	広報紙編集・発行、送致・戸別配布等 □必要性が低い からの情報を「広す近な情報発信・□有効性が低い こ)を重視してい紙面で見るですい紙面	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 ご報さかど」から得 ツールとして、必 ます。また、紙面1 iづくりを意識して	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 身でいると回答 要性は高いで 全体をフルカ こいます。更に
	ト把握 必要性 有効 一部では 一部で 一部で 一部で 一部で 一部で 一部で 一部で 一部で	事業 展点) に一ズに しているか はあるか はあるか	の年度別実施内容 ②必要性が高 【理由】 令和元年度に実施した方が87.5%というす。 ②有効性が高して、対して、写真、対応民力メラマン、市民カメラマン、市民カメラマン、市民カメラマン、市民カメラマン、市民カメラマン、市民カメラマン、市民カメラマン、市民カメラマン、市民カメラマン、市民カメラマン、市民カメラマン、市民カメラマン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	い □ 様 した市民意 う結果であ い □ 高 ご使い、を だけストを、 広 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 討の余地あり 意識調査では、市 らり、市民に一番与 ある余地あり 読性(読みやすさ があまれたのかりやする が、おかりやする。 説明し、わかりやする。	広報紙編集・発行、送報・戸別配布等 □必要性が低い からの情報を「広ずけるな情報を「広ずけるな情報を「広ずけるない」 すがしている。 「大見と協働し、するない。」 「大見と協働し、するない。」	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 ご報さかど」から得 ツールとして、必 ます。また、紙面1 iづくりを意識して	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 身でいると回答 要性は高いで 全体をフルカ こいます。更に
一 次 評	ト把握 必要性 有効性 な 着市のでは 第一時のでは 第一時のでは 第一時のでは 第一時のでは 第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	事業 展点) ではあるか はあるか はあるか はあるか はあるか はあるか はあるか はあるか はあるか はあるか はあるか はあるか はあるか はあるか	の年度別実施内容 ②必要性が高 【理由】 令和元年度に実施した方が87.5%といっす。 ②有効性が高に 【理由】 ユニバーサル書体を ラーにして、写真、イ市民カメラマン、市民カメラマン、市民カメラマン、市民カメラマン、市民カメラマン、市民カメラマン、市民カメラマン、市民カメラマン、市民カメラマン、市民カメラマン、市民カメラマン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	い □ 様 した市民意 う結果であ い □ 高 ご使い、を だけストを、 広 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 討の余地あり 意識調査では、市 らり、市民に一番与 ある余地あり 読性(読みやすさ が開し、わかりやする 報モニター等の可	広報紙編集・発行、送致・戸別配布等 □必要性が低い からの情報を「広す近な情報発信・□有効性が低い こ)を重視してい紙面で見るですい紙面	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 ご報さかど」から得 ツールとして、必 ます。また、紙面1 iづくりを意識して	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 身でいると回答 要性は高いで 全体をフルカ こいます。更に
評	ト把握 必要性 有効性 効 final final f	事業 浸点) 売二一ズに しているか 関与のか はあるか 見点) みとした効果 るか	の年度別実施内容 ②必要性が高 【理由】 令和元年度に実施した方が87.5%というす。 ②有効性が高して、対した方が87.5%というす。 ②有効性が高して、対して、写真、対します。 □効率的である 【理由】	い	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 詩の余地あり 意識調査では、市 らり、市民に一番与 ある余地あり 読性(読みやすさ み用し、わかりやす 報モニター等の可 ある余地あり	広報紙編集・発行、送致・戸別配布等 □必要性が低い からの情報を「広す」 す効性が低い こうを重視していいる 市民と協働し、いい面 □効率的ではない	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 、報さかど」から得 、ソールとして、必 ます。また、紙面2 うづくりを意識して で、またの紙面イ	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 身でいると回答 要性は高いで 全体をフルカ こいをす。がけて
	ト把握 必要性 有効性 効率 fine のでは fine のかか and のでは fine のかか fine のがかり fine のかか fine のでは fine のでは fine のかか fine のでは fine のでは	事業 展点) にしているかい はあるかい はあるかい はあるかい 点) はあるかい 点) はあるかい 点) はあるかい 点) はあるかい	の年度別実施内容 ②必要性が高 【理由】 令和元年度に実施した方が87.5%というす。 ②有効性が高して、対した方が87.5%というす。 ②有効性が高して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対	い	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 詩の余地あり 意識調査では、市 らり、市民に一番与 ある余地あり 読性(読みやすさ がる余地あり 読用し、わかりやす がる余地あり は、おかりやす がる余地あり に報モニター等の可 がる余地あり	広報紙編集・発行、等	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 一報さかど」から得 で、対一ルとして、必 にす。また、紙面で ででである。 ででである。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 身でいると回答 要性は高いで 全体をフルカ にいを心がけて たいまの、市
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 着市成で性 指目あ all all all all all all all all all al	事業 展点) にしているかい はあるかい はあるかい はあるかい 点) はあるかい 点) はあるかい 点) はあるかい 点) はあるかい	の年度別実施内容 ②必要性が高 【理由】 令和元年度に実施した方が87.5%というす。 ②有効性が高に 【理由】 ユニバーサル書体をラーにして、写真、有市民カメラマン、市民カメラマン、市民カメラマン、市民カメラマン、市民カメラマン、市民カメラマン、市民カメラマン、市民カメラマン、市民カメラマンの関心を深める。	い □ 横 た 市 民 だ が に 大 た 末 早 で い 、 た	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 討の余地あり 意識調査では、市 うり、市民に一番与 ある余地あり 読性(読みやすさる がる余地あり 説明し、わかりやする 報モニター等の可 はある余地あり	広報紙編集・発行、送致・戸別配布等 □必要性が低い からの情報を「位する」を見と協働している。 「おして、いるではない」を見と協働ではない。 「などす効果がある。」ではない。 「などす効果がある。」ではあるではない。 「などす効果がある。」ではあるではない。 「などす効果がある。」ではある。 「などず効果がある。」ではある。 「などず効果がある。」ではある。 「などず効果がある。」ではある。 「などず効果がある。」ではいます。 「などず効果がある。」ではいます。 「などず効果がある。」ではいます。 「などずがまる。」ではいます。 「などずがまる。」ではいます。 「などずがまる。」ではいます。 「などがある。」ではいます。 「ないます。」ではいます。 「ないまする。」ではいます。 「ないまする。」ではいまする。 「ないまするいまする。」ではいまする。 「ないまする。」ではいまする。 「ないまする。」できる。 「ないまする。」 「ないまする	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 ご報さかど」から得 いとして、必 ます。また、紙面で でくりを意紙面で でくり線のの紙面で なく市民に届ける はなれます。また	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 身でいると回答 要性は高いで 全体をフルカ にいを心がけて によりパソコ によりパソコ
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 着市成で性 指目あ all all all all all all all all all al	事業 退品一、ズミンでは は、これでは は、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま	の年度別実施内容 ②必要性が高 【理由】 令和元年度に実施した方が87.5%というす。 ②有効性が高して、対した方が87.5%というす。 ②有効性が高して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対	い □ 横 た 市 民 だ が に 大 た 末 早 で い 、 た	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 討の余地あり 意識調査では、市 うり、市民に一番与 ある余地あり 読性(読みやすさる がる余地あり 説明し、わかりやする 報モニター等の可 はある余地あり	広報紙編集・発行、送致・戸別配布等 □必要性が低い からの情報を「位する」を見と協働している。 「おして、いるではない」を見と協働ではない。 「などす効果がある。」ではない。 「などす効果がある。」ではあるではない。 「などす効果がある。」ではあるではない。 「などす効果がある。」ではある。 「などず効果がある。」ではある。 「などず効果がある。」ではある。 「などず効果がある。」ではある。 「などず効果がある。」ではいます。 「などず効果がある。」ではいます。 「などず効果がある。」ではいます。 「などずがまる。」ではいます。 「などずがまる。」ではいます。 「などずがまる。」ではいます。 「などがある。」ではいます。 「ないます。」ではいます。 「ないまする。」ではいます。 「ないまする。」ではいまする。 「ないまするいまする。」ではいまする。 「ないまする。」ではいまする。 「ないまする。」できる。 「ないまする。」 「ないまする	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 ご報さかど」から得 いとして、必 ます。また、紙面で でくりを意紙面で でくり線のの紙面で なく市民に届ける はなれます。また	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 身でいると回答 要性は高いで 全体をフルカ にいを心がけて によりパソコ によりパソコ
評	ト把握 ・対・要 ・対・要 ・は ・ゴー率る・とと能 が ・対・要 ・は ・ブー率る・とと能 が ・対・要 ・は ・ブー率る・とと能 が ・が ・が ・が ・が ・が ・が ・が ・が ・が	事業 退品一、ズミンでは は、これでは は、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま	の年度別実施内容 ②必要性が高 【理由】 令和元年度に実施した方が87.5%というす。 ②有効性が高した方が87.5%というす。 ②有効性が高して、写真、「一でして、写真、「市民カメラマン、市民カメラマン、市民カメラマン、市民カメラマン、市民カメラマン、市民カメラマン、市民カメラマン、市民カメラマン・である。	い □ 横 た 市 民 だ が に 大 た 末 □ 、 下 た 末 □ 、 下 で か で か で か で か で か で か で か で か で か で	広報紙編集・発行、送致・戸別配布等 詩の余地あり 意識調査では、市場のでは、市場ののでは、市場のの金融を開し、中では、一番がありに、一番がありに、一番がありに、おかりやする。 がる余地ありに、かかりやする。 がる余地ありに、からいるでは、本のでは、本のでは、本のでは、本のでは、からいる余地ありに、なる余地ありに、なる余地ありに、なる余地ありに、なる余地ありに、なる余地ありに、なる余地ありに、なる余地ありに、なる余地ありに、なる余地ありに、なるない。	広報紙編集・発行、等	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 、報さかど」から名 、マールとして、必 ます。また、紙識面で ででであることができる。できることができることができることができる。	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 身でいると回答 要性は高いで 全体をすっかがしまい。 によりパンコとに用のパンコとに見のパンコとによりパンコとによりパンコとによりパンコとによりパンコとによりパンコとによりパンコとによりパンコンによりパンコンによりパンコンによりパンコンによりパンコンによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりに
評	ト把握 ・対・要 ・対・要 ・対・要 ・は ・対・要 ・は ・対・要 ・は ・対・率る・と ・以のか。間紙 ・以のか。間紙	事業 退品一、ズミンでは は、これでは は、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま	の年度別実施内容 ②必要性が高 【理由】 令和元年度に実施した方が87.5%というす。 ②有効性が高に 【理由】 ユニバーサル書体を ラーにして、マン、市民カメラマン、市民カメラマン、市民カメラマン、市民カメラマンである 【理由】 広報さかどの配布を 政への関心を深める 、フソフトによる編集を 見直し(□ 改善・	い □ 横 た 市 民 だ が に 大 た 末 □ 、 下 た 末 □ 、 下 で か で か で か で か で か で か で か で か で か で	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 討の余地あり 意識調査では、市 うり、市民に一番与 ある余地あり 読性(読みやすさる がる余地あり 説明し、わかりやする 報モニター等の可 はある余地あり	広報紙編集・発行、等	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 、報さかど」から名 、マールとして、必 ます。また、紙識面で ででであることができる。できることができることができることができる。	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 身でいると回答 要性は高いで 全体をすっかがしまい。 によりパンコとに用のパンコとに見のパンコとによりパンコとによりパンコとによりパンコとによりパンコとによりパンコとによりパンコとによりパンコンによりパンコンによりパンコンによりパンコンによりパンコンによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりに
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総 着市ので性 単的あ 最小的の 開発のかいでする。 ・対・要 (・は 着口率る・と)的 ・以前のかい。 間が、 では、 がのかい。 には、 がいずいでする。 ・とは、 がいずいでする。 ・とがいる。 ・	事業 展点) ではあるか にではあるか はないのか。 はないのか はないのか はないのか はないのか はないのか はないのか はないのか はないのか はないのか。 はないのか はないのか。 はないのが。	の年度別実施内容 ②必要性が高 【理由】 令和元年度に実施した方が87.5%というす。 ②有効性が高に 【理由】 ユニバーにカメラーにカメラーにカメラーにカメラーである 【理由】 広報への関立を編集を 見直し(、東雄】	い □ 横	広報紙編集・発行、送致・戸別配布等 討の余地あり 意識調査では、市野の余地あり 読がる余地あり 読性(読みやりやする) 売出し、カカりやのでは、おかりやのの多には、おかりやのの多率のでは、おかりをでした。 対している はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	広報紙編集・発行、等 □必要性が低い からの情報を「「原報・受験性が低い」 からの情報を発信 □からの情報を発信 □からの情報を関い こうでは、 こう	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布等 一報さかど」から名 ではないとして、必 ます。また、、 にででは ででは ででは ででは は ででは ででは に に は で で で で	広報紙編集・発 行、等 行、等 子でいる。 子で性はあると回いる でといました。 をかま心がいたいのので は、のので は、のので は、のので は、のので は、のので は、のので は、のので は、のので は、のので は、こので に、こので は、こので は、こので は、こので は、こので は、こので は、こので は、こので は、こので は、こので は、こので に、こので は、こので に、こので は、こので は、こので に に に に に に に に に に に に に に に に に に に
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合 「新市応政性 Hiff あ	事業 退品一、ズミンでは は、これでは は、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま	の年度別実施内容 ②必要性が高 【理由】 令和元が87.5%というす。 ②有効性が高に 【理由】 ユニバレンティン、大ラーにカメラーにカメラーにカメラーにカメラーである 【理由】 広報への関立によるにして、東本とのを深集を 見直して、東スペーレスのである。	い した た に で に で で で で で で で で で で で で で で で	広報紙編集・発 行、送致・戸別配 布 計の余地あり 意識調市民に一番手 がある余地あり 読性(読みかりやする がある余地あり 説明し、ニター等ので は、番手 がある余地あり ご報モニター等ので は、おかりやのう では、かり、 では、一番手 がある余地あり に、おかり、 では、かり、 では、かり、 では、かり、 では、かり、 では、かり、 では、かり、 では、かり、 でいる。 がある余地あり に、かる。 に、かる。 に、かる。 に、か。 に、か。 に、か。 に、か。 に、か。 に、か。 に、か。 に、か	広報紙編集・発 行布 □ 必要性が低い か予近な 情報 では でいる かまで 「位」 からの情 で見と 本的で 方果で は での 効性 に でいまが です がな とこれ で がまれ で は 法 が正 な は は な で がまれ で がまれ で は は な で がまれ で がまれ で がまれ で がまれ で は は な で がまれ で がまれ で は は な で は は な で は は な で がまれ で は は な で は な で は な で がまれ で で がまれ で が で が がまれ で がまれ で がまれ で が で が で が で が で が で が で が で が で が で	広報紙編集・発 行、送報・戸別配 行、等 一、報さかど」で、 をすっとして、 にすっとして、 にすっくりりのでは、 はは、 にはまとがでいる。 にはまとができる。 にはまとができる。 にはまとができる。 にはまとができる。 にはまとができる。 にはまとができる。 にはまとができる。 にはまとができる。 にはまとがない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 とはない。 にはない。 とはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 にはない。 とはない。 とはない。 とはない。 とはない。 とはない。 とはな。 とはない。 とはない。 とはない。 とはない。 とはな。 とはな。 とはな。 とはな。 とはな。 とはな。 とはな。 とはな	広報紙編集・発 行、等 子で、 子でいなは をすると高いいで をするが をするが が り、パック に の に の に い た い た い た い た い た い た い た い た い た い
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評 ・対・要 (・は 着: n率る・と)能 今改 がままれていた。 がままれていた。 ・対・要 により、 ・は、 ・可に、 ・は、 ・可に、 ・のに、。 ・のに、 ・のに、 ・のに、 ・のに、 ・のに、 ・のに、	事 は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	の年度別実施内容 ②必要性が高 ②必要性が高 【理由】 令和元が87.5%というす。 ②有効性が高い 【理由】 ユニーにカメラーで、マン、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	い した た	広報紙編集・発行、送致・戸別配布等 (記載・戸別配布等 (記載) 市民に一番 (記載) 市民に一番 (記載) 市民に一番 (記載) 市民に一番 (記載) 中の (記載)	広報紙編集・発 行布 □ 必要性が低い かようの情情報を発 からの情情報を見い からの情情報を見い で見たを見い で見たとをもいった。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	広報紙編集・発 行、等 行、等 記さかど」が、必 をす。かとして、、 記さいとして、、 記さいとして、、 記さいとして、、 記さいとして、 記さいとして、 記さいとして、 記さいとして、 記さいとして、 記さいとして、 記さいとして、 記さいとして、 にすっている。 にすっで、 にすっている。 にすっている。 にすっている。 にすっている。 にすっている。 にすっている。 にすっている。 にすっている。 にすっている。 にすっている。 にないる。 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、	広報紙編集・発 行、等 子で、等 子で、 子で、 子で、 子で、 子で、 子で、 子で、 子で、 子で、 子で、
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合 「新市応政性 Hiff あ	事 は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	の年度別実施内容 ②必要性が高 【理由】 令和元が87.5%というす。 ②有効性が高に 【理由】 ユニバレンティン、大ラーにカメラーにカメラーにカメラーにカメラーである 【理由】 広報への関立によるにして、東本とのを深集を 見直して、東スペーレスのである。	い した た	広報紙編集・発行、送致・戸別配布等 (記載・戸別配布等 (記載) 市民に一番 (記載) 市民に一番 (記載) 市民に一番 (記載) 市民に一番 (記載) 中の (記載)	広報紙編集・発 行布 □ 必要性が低い かようの情情報を発 からの情情報を見い からの情情報を見い で見たを見い で見たとをもいった。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	広報紙編集・発 行、等 行、等 記さかど」が、必 をす。かとして、、 記さいとして、、 記さいとして、、 記さいとして、、 記さいとして、 記さいとして、 記さいとして、 記さいとして、 記さいとして、 記さいとして、 記さいとして、 記さいとして、 にすっている。 にすっで、 にすっている。 にすっている。 にすっている。 にすっている。 にすっている。 にすっている。 にすっている。 にすっている。 にすっている。 にすっている。 にないる。 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、	広報紙編集・発 行、等 子で、等 子で、 子で、 子で、 子で、 子で、 子で、 子で、 子で、 子で、 子で、
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 (・対・要 (・は 第11率る・と能 今改 間	表記して関する は は は は に に は に に は に に に は に に に に に に に に に に に に に	の年度別実施内容 ②必要性が高 ②必要性が高 【理由】 令和元が87.5%というす。 ②有効性が高い 【理由】 ユニーにカメラーで、マン、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	い した た	広報紙編集・発行、送致・戸別配布等 (記載・戸別配布等 (記載) 市民に一番 (記載) 市民に一番 (記載) 市民に一番 (記載) 市民に一番 (記載) 中の (記載)	広報紙編集・発 行布 □ 必要性が低い かようの情情報を発 からの情情報を見い からの情情報を見い で見たを見い で見たとをもいった。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	広報紙編集・発 行、等 行、等 記さかど」が、必 をす。かとして、、 記さいとして、、 記さいとして、、 記さいとして、、 記さいとして、 記さいとして、 記さいとして、 記さいとして、 記さいとして、 記さいとして、 記さいとして、 記さいとして、 にすっている。 にすっで、 にすっている。 にすっている。 にすっている。 にすっている。 にすっている。 にすっている。 にすっている。 にすっている。 にすっている。 にすっている。 にないる。 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、	広報紙編集・発 行、等 子で、等 子で、 子で、 子で、 子で、 子で、 子で、 子で、 子で、 子で、 子で、
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前間 ままりに対する。 第1日 応び性 第1日 を	Rac Logic Rac	の年度別実施内容 ②必要性が高 ②必要性が高 【理由】 令和元が87.5%というす。 ②有効性が高い 【理由】 ユニーにカメラーで、マン、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	い した た	広報紙編集・発行、送致・戸別配布等 (記載・戸別配布等 (記載) 市民に一番 (記載) 市民に一番 (記載) 市民に一番 (記載) 市民に一番 (記載) 中の (記載)	広報紙編集・発 行布 □ 必要性が低い かようの情情報を発 からの情情報を見い からの情情報を見い で見たを見い で見たとをもいった。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	広報紙編集・発 行、等 行、等 記さかど」が、必 をす。かとして、、 記さいとして、、 記さいとして、、 記さいとして、、 記さいとして、 記さいとして、 記さいとして、 記さいとして、 記さいとして、 記さいとして、 記さいとして、 記さいとして、 にすっている。 にすっで、 にすっている。 にすっている。 にすっている。 にすっている。 にすっている。 にすっている。 にすっている。 にすっている。 にすっている。 にすっている。 にないる。 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、	広報紙編集・発 行、等 子で、等 子で、 子で、 子で、 子で、 子で、 子で、 子で、 子で、 子で、 子で、
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 (・対・要 (・は 第11率る・と能 今改 間	Rac Logic Rac	の年度別実施内容 ②必要性が高 ②必要性が高 【理由】 令和元が87.5%というす。 ②有効性が高い 【理由】 ユニーにカメラーで、マン、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	い した た	広報紙編集・発行、送致・戸別配布等 (記載・戸別配布等 (記載) 市民に一番 (記載) 市民に一番 (記載) 市民に一番 (記載) 市民に一番 (記載) 中の (記載)	広報紙編集・発 行布 □ 必要性が低い かようの情情報を発 からの情情報を見い からの情情報を見い で見たを見い で見たとをもいった。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	広報紙編集・発 行、等 行、等 記さかど」が、必 をす。かとして、、 記さいとして、、 記さいとして、、 記さいとして、、 記さいとして、 記さいとして、 記さいとして、 記さいとして、 記さいとして、 記さいとして、 記さいとして、 記さいとして、 にすっている。 にすっで、 にすっている。 にすっている。 にすっている。 にすっている。 にすっている。 にすっている。 にすっている。 にすっている。 にすっている。 にすっている。 にないる。 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、	広報紙編集・発 行、等 子で、等 子で、 子で、 子で、 子で、 子で、 子で、 子で、 子で、 子で、 子で、
評 価	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前間 ままりに対する。 第1日 応び性 第1日 を	Rac Logic Rac	の年度別実施内容 ②必要性が高した方が87.5%というす。 ②有効性が高した方が87.5%というす。 ②有効性が高して、ターのである 【理由】 ユニーにカメラーで、マン、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	い した たけられ	広報紙編集・発 行、送致・戸別配布 計の余地あり 意識調市民に一番手 がある余地あり 読性(読わかりやのう がある余地あり 読性し、シャー等のでは、番手 がある余地あり では、番手 がある余地あり では、おかりやのう では、おかり等のでは、 では、おかりやのう では、おかりなかりでのう。 会種事業で、 □ 広記記れるに、 では、おいているが、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	広報紙編集・発 行布 □ かま 一	広報紙編集・発 行、等 行、等 記さかど」が、必 にするとして、、 記さいとして、、 記さいとして、、 記さいとして、、 記さいとして、、 記さいとして、 記さいとして、 記さいとして、 記さいとして、 記さいとして、 記さいとして、 記さいとして、 にすることが、 にすることが、 にないとして にないと にないと にないと にないと にないと にないと にないと にないと	広報紙編集・発 行、等 子で、等 子で、 子で、 子で、 子で、 子で、 子で、 子で、 子で、 子で、 子で、
一 一 一	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前間 ままりに対する。 第1日 応び性 第1日 を	思いた。 東京にでは、 はいました。 東京にから、 東ないを	の年度別実施内容 ②必要性が高 ②必要性が高 【理由】 令和元が87.5%というす。 ②有効性が高い 【理由】 ユニーにカメラーで、マン、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	い した たけられ	広報紙編集・発行、送致・戸別配布等 (記載・戸別配布等 (記載) 市民に一番 (記載) 市民に一番 (記載) 市民に一番 (記載) 市民に一番 (記載) 中の (記載)	広報紙編集・発 行布 □ かま 一	広報紙編集・発 行、等 行、等 で、等 で、等 で、等 で、数 で、数 で、数 で、数 で、数 で、数 で、数 で、数 で、数 で、数	広報紙編集・発 行、等 子で、等 子で、 子で、 子で、 子で、 子で、 子で、 子で、 子で、 子で、 子で、
評価 数善	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前方 (・対・要 (・は 着n率acycle の向 回向 間目応び性 間的 眼スト的が間紡 後書 して	展示して関する 点、執 委合 の策 と対 (東京) 一い与る たい 第行 や連 方等 今善 実にか必 第一 や携 向) 後策 施 するい 乗 対い 業可 性 の等 内 また から	の年度別実施内容 ②必要性が高した方が87.5%というす。 ②有効性が高した方が87.5%というす。 ②有効性が高して、ターのである 【理由】 ユニーにカメラーで、マン、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	い した たけられ	広報紙編集・発 行、送致・戸別配布 計の余地あり 意識調市民に一番手 がある余地あり 読性(読わかりやのう がある余地あり 読性し、シャー等のでは、番手 がある余地あり では、番手 がある余地あり では、おかりやのう では、おかり等のでは、 では、おかりやのう では、おかりなかりでのう。 会種事業で、 □ 広記記れるに、 では、おいているが、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	広報紙編集・発 行布 □ かま 一	広報紙編集・発 行、等 行、等 記さかど」が、必 にするとして、、 記さいとして、、 記さいとして、、 記さいとして、、 記さいとして、、 記さいとして、 記さいとして、 記さいとして、 記さいとして、 記さいとして、 記さいとして、 記さいとして、 にすることが、 にすることが、 にないとして にないと にないと にないと にないと にないと にないと にないと にないと	広報紙編集・発 行、等 子で、等 子で、 子で、 子で、 子で、 子で、 子で、 子で、 子で、 子で、 子で、

事系	务事 業	名 ホー	-ムペ	ージ運	用事業								整理No.	13	
所	属	名 部	総合	政策部		課広	報広聴	恵課		記入者	11日	直輝	内線	163	
上 位	立施策	名 分野	都市	経営		中	柱市民	参加を可能に	こする情報発信	信の充実 小	柱 各種婦	某体に。	よる情報技	是供	
	事業開	始年度	平成	27	年度	I To the sale		第6次	坂戸市総	合振興	計画				
	事業終	了年度	令和		年度	根拠法	5 令等								
		対	象		□高齢	者 🔲 🗅	章害者	□個人	□世帯	□団体	✓ 全ての	人	□その他		
	(誰、何			るか) (具	具体的に)										
	目標(対	対象をど	のよう	うな状態	にするた	めに当	該事	業を行っ	ているか	ヽ、具体的	りな目標(数値)フ	など。)		
		!][<i>^</i> /~	でも」	「欲しい	情報」を	素早くだ	かつ的	確に得ら	られるよう	、使いや	すく、見ぐ	やすい	ホームペ	ージを運用	しま
	す。														
 重	車業畑	亜 (町 糾	日内灾	•活動は	つったど	日的な	· 读 成 :	ナスたか	に何たし	ているか	,)				
₹												質の高い	ハサービ	スの提供を行	行っ
務	ていま	す。また	、統一	した運	用ができ	るよう暗	銭員へ:	システム	の操作研	肝修を行っ	っています	。当初]予算は2	,016千円で	こした
 事	が、新		ウイル	ノス感染	症対応の	つための)サー/	バ強化を	さする業務	务委託契	約を追加	締結す	るため、	2,511千円に	こ補
			区	分			単位		12年度 (決算)	計画	令和3 (予算)		(決算)	令和4年 計画(予算	
業	指煙(アク・ 	ヤス件	:松		<i>1</i> ±	‡/年		(太 异) 2,521,093	****	947,958		(太异) ,553,266		#)),339
の	指標(C / 1/1	% ^		'	1/ 1	^	,021,000	,	041,000	~	,000,200	000	,,000
107															
概	指標(3)		生ょマ	カムコル	米パナ1円	ニテナ	> か 同名書	111ヶ本代)	アンフ					
要	指標に	対する達	成度	年々方	グビグ件	奴(よ増	えくれ	つり、順前	引に達成し	している。					
	総(1) 事	業	小			千円		2,016	3	2,511		2,503	2	2,178
	事	_			金・その		千円		120		540		90		540
	毋	原 一般					千円		1,896		1,971		2,413		,638
	. 晍			•			人		1.00		1.00		1.00		1.00
	コ(ス	② 人 级	件 質 事 業)+(2)		千円 千円		4,965 6,981		4,965 7,476		4,965 7,468		1,965 7,143
	۲	秘	尹 未	Į U) T (2)		ТП	ホーム〜				ホームペ	. ,	ホームページ	
	把 握		事業	の年度	引実施内	容		テムの追	運用	テムの運	用	テムの運	用	テムの運用	
		善 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			☑ 必要性	が高い		会討の余5	也あり	□ 必要′	生が低い				
	必·ī	ョ吸点) 市民二一	ズに	【理由】			_			_					
		応してい												、を利用して 々高まって	
		性はある		す。	J_C/13-)	/ / E/	一分	フト日ハロハ	*D47/1*6	よりにか	Δ' (Z VJ9£1;	女圧は十	スロようく	۰۷۰۰
				ı	☑ 有効性	が高い		高める余地	ı あり	□有効性	生が低い				
		着眼点)	. 41 ==	【理由】		.5 E10	٠٠ س	-10,0,10,10	303 3	11721	2.0 130				
-	効 :	目的とし <i>†</i> :あるか	こ効果											方民等がより いていなよ	
次	性			用しや	りい 塚明	配か整つ	たこと	から、ニ	一人に包	iわせにク	メイムリー	よ情報	定供に劣	めていきた	.V \ ₀
	(争	計眼点)		ı	□ 効率的	である		高める余地	ı あり	口动家的	内ではない				
評	₩ .=	ョル M / Iスト、業務 的に執行て		【珊山】	<i>x</i>) /_	Cana	<u> </u>		300)	□ <i>⁄⁄</i> /+⊦	1)(18/80)				
価	率る	か		ホーム・	ページの	バナー	有料.	広告を募	集し、事	業費の見	才源の一部	部として	いるが、	埋まらず空	きが
)ع	の統合・連	他争未 隽が可	生じてい	へるので	、利用和	が増え	るようPR	等に努め	ったい。					
	能	אי		目古	[L(□	과美.처	変ル でんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしゅう かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ	口绘小	口纮△	口並去	一	□ 4⁄2	7 🗆 #	.∟ ⊏க்.∟	
	総				5:東 英		4- 16	□ 桶小	山机口	山加兀	〕 ☑ 継続	山祁	1 LW	止 □廃止	-
		·後の方向 改善策等		台風等	の災害	寺や感								段はホーム	
	価	ДОЖ Т	,						民に常り 用を目指		正確な情	報を伝	えることに	に注力し、引	き
				ルルマイリ	111019	4 1/1)		~ ∨/庄	/11 4 日1	コレ カ ソ o					
		した今征 (改善策													
改善善	ノン 1円 1生	、以当才	₹ 寸 /			r / \	\Box	☆ 7 ; ; ; ; ; 	п ь.=	4 +		_	1 7 O M-		
世代	対応状	:況(実旅	西内		□ 実施済	(中)	Ц -	-部実施	□検討	小十	□ 未実施	L	その他		
況	容、未	実施の理	里由、												
	ゔ伎の	予定等)												

事系	务事	業名	シテ	ィー ^フ	プロモー	ーション	推進事	業						整理No.	14
所	属	名	部	総合	政策部	;	課広	報広聴	总課		記入者	11日	直輝	内線	163
上位	立施:	策 名	分野	都市	経営		中	柱 シテ	イプロモ	ーションの	推進 小	柱 シティ	プロモ	ーションの	の推進
	事業	禁開始	年度	平成	24	年度	AEI Abo S	L A 44-	第6次	坂戸市総	合振興	計画			
	事業	終了	年度	令和		年度	根拠:	去令等							
		×	t	象		□高齢	者 🔲	障害者	□個人	□世帯	□団体	▽ 全ての	0人	□その他	
	(誰、				らか)(具体的に)	本市の	魅力を	市内外	の人々に	情報発信	言します。			
	目標	(対象	象をど	のよう	な状態	にするた	ċめに≧	当該事	業を行っ	ているか	、具体的	的な目標(数値)な	はど。)	
											発信する	うことにより	り、本市	の魅力や	や知名度を向上
	させ	、人卜	10)流	出州i	制と十一	育て世代	の流入	.• 疋仕/	促進を図	切ります。					
事	車業	押亜	(町紅	山内灾	• 活動 [カ突かど	日的2	を達成さ	ナスたか	に何をし	ているか)			
													ランケッ	小、買い!	物バッグ、マス
務	ク、														信を行いまし
事	た。														
, JI				区	分			単位		12年度 (決算)	計画(令和3 (予算)		(決算)	令和4年度 計画(予算)
業	指	票(1)	さかん	ろんグ	`ッズの [,]	作製		種類	大恨	(火井) 6		6	大帜	(八开) 6	们画(F 并 / 5
の		_			`ッズの			円		698,308		000,000		659,188	1,000,000
概		ౣ © 票③	C1/2 ··	2107)/ \ \\)	<i>/</i> L		1,1		030,300	1,	000,000		000,100	1,000,000
恢	扣打	⋇⋑			市民か	心亜望(つ名かい	ったグぃ	ズを中点	こと作制	版売1.	広報 7	ミー ムヘ	ار ان انت	NSでPRを行っ
要	指標	に対	する達	成度	たこと	で、概ね	計画通	りの売し	上げがあ	り、イメー	・ジキャラ	うクターさ	かろんし	こよるPR	ができました。
	総		事					千円		2,303		3,367		2,799	2,665
	事	財			国県支出	出金・その	他)	千円		698		1,000		659	1,000
	業 費		一般					千円		1,605		2,367		2,140	1,665
	•		員					人 千円		1.00 4,965		1.00 4,965		1.00 4,965	1.00 4,965
	コス	2		事業		1)+(2)		千円		7,268		8,332		7,764	•
	├					_			グッズの	作製、販	グッズの亻	乍製、販	グッズの	作製、販	グッズの作製、販
	把 握			事業	の年度	別実施内	内容		売・テレ 放送	土データ	売・テレ± 放送		売・テレ <u>-</u> 放送	上データ	売・テレ玉データ 放送
		(着眼	(古)			☑ 必要性	生が高い	□ ħ	負討の余均	也あり	□必要付	生が低い			
		市	₹=-;		【理由】				1111.	(= d >=)	W 2 44 5 1				6
			してい 対関与		人口凋今住ん	【少を迎え 、でいるil	えるにを TRと本	ったり、5 :市を知	安定的に 」らないī	二行政連行 有外の 人	宮を行り7 々に分か	ためには、 ゝりやすく	、本市の ・ 的確り	D政策や こ情報を	、多くの魅力を 提供し、人口の
	'-		はある							促進を推					,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
		/ ** no	- - \			□ 有効性	が高い	✓ ਜ	島める余地	はあり	□有効性	生が低い			
	有	(着明·目的	え点) りとした	:効果	【理由】	_	· -111 -2	ارا بارا	H.o. I. II	1 - 5.4-6.461	シの坐 (井)	- Lフガサ	31). 1. 171 #		学、人工为
-	効 性	はあ	るか												、様々な手法を て行うことが重
次	'-					えます。	, г. ц / Д	(12	>1.1	110000	۵, ۰	• 4	14 297100	(//E///20	(11)000% 重
===		(着眼	点)			□ 効率的	である	✓ ਜ	島める余地	きあり	□ 効率的	りではない			
評	効	コスト率的に	、業務i 執行で		【理由】		山田ユッ	1 \ 7 T L	T	l l.	T	V	r	じのマダ	on his day a contraction
価	率 性	るか · 民間	委託や何	也事業	石年間を活用	ョルムへ した情報	リ用して 段発信に	いるれ 「努めて	witter、F こいます	'acebook 。令和4 ^生	、Instagr 手5月2日	am、You 引現在、	ube/£∂ Twitter	との丁昇 3,261名、	の伴わないSNS 、Facebook846
	Ί±		合•連携		名、Ins	stagram1	,381名	LINE							ネルは619名の
		13010				登録されて		-	口绘水		□±÷∻ `	\		→ □ ++	🗆 🕏
	総					型し∖ ⊔ 名:東 苺		半1 L	箱小	□ 統合	□ 払尤 .	/ ☑ 極初		1 11	止 □廃止
	合評		の方向 (策等)		ネットワ	フークや対	端末のi								代において、情
	価	(4)	ж т.												訴求力の高い えています。
					小冰山	~ / ~ /	C /貝/型	ロンハー1片	1/11/0/0/	/ ш .г.г.	/ コイ 伯男	がひ]出たし	∠ (v .⊖	124.6万	ん (v '
			た今後 女善策												
改善善	ᄭᄞ	ı ı± (Ç	x 告 來	. ज /		—		_	±n≠+⊬-	□ ⊷=	4 ch			170#	
普 状			(実施			□実施況	育(中)	Ш-	部実施	□検討	中	□ 未実施	L	その他	
況	容、	未実力	を の 理	∄由、											
	ラ俊	マウ	定等)												

車系	タ 車・	坐 夕	フィ	┷ `,,	` — +			E串辛				整理No.	15
	_					一ド取得					· ·		
所	属	名	部	市民	部		課	市民課		記人者	伊東	賢輝 内線	325
上化	立施的	策 名	分野	都市	経営			中柱 行政	女の情報化	小	柱高度	な行政サービスの	の提供
	事業	開始	年度	平成	31	年度			行政手続における	特定の個人を	:識別する7	ための番号の利用等	に関する法律 他
	事業	終了	年度	介 和	5	年度	根扨	见法令等					
	7.						者 「	障害者	□個人 □世帯	□□は	▽ 全ての	○人 □その他	
	(‡ #			象 でいる	<i>t</i> v) (_	_		で置く市民	шшт.	<u> </u>		
									業を行っている				
	個人	番号	カート	ドの取	得につ	ついて啓	発し、	取得促進	生に努め、市民の	り更なる利	便性の同	句上を図ります。	
					1								
事									するために何を				3 3
#												ドの取得促進の	
務												市民課窓口案に	
•					ます。	1 KCIVI	2 IP)	及し木川・		CHICLIC	, J , C	DIC. (1777)	, и год
事	当初	予算	は12,	119 1	一円でし	したが、会	計年	度任用項	職員の増員等に	より2,789	千円を増	曽額補正し、317⁵	千円を流用した
ᄴ	たみ	子 , 乍				ニコベナ			令和2年度		令和3	年度	令和4年度
業				区	分			単位	実績(決算)	計画(-	予算)	実績(決算)	
၈	指标	票(1)	マイ	ナンバ	ニカー	-ド交付村	女数	枚	10,26	9	32,856	14,124	48,696
	+Ŀ+	票②							,		,	ŕ	,
概													
	指標	票③											
要	tic tee	1-54-	する達									受付等により、前	
	1日 1示	:I~X]	りる廷	以反	枚数に	は増加した	きもの	の、目標	とする交付枚数	で達成する	ることは	出来ませんでした	た。
	総	1	事	業	晝			千円	7,34	3	14,591	11,266	24,096
	事				国県支出	出金・その	他)	千円	7,19	8	14,591	11,266	24,096
	業 費	源	一般	財源				千円	14	5	0	0	0
	•	職	員	数				人			0.20	1.00	0.50
	⊐	2		牛 費				千円		0	993	4,965	2,483
												-,	,
	ス		総	事 業	費(1)+2		千円	7,34	3	15,584	16,231	26,579
	۲						力灾		7,34 チラシの作成、啓	3 チラシの作	15,584 成、啓	16,231 チラシの作成、啓	26,579 チラシの作成、啓
						①+②	内容		7,34	3	15,584 成、啓	16,231 チラシの作成、啓 発	26,579
	ト 把	(善服		事業	の年度	☑必要性		千円	7,34 チラシの作成、啓 発	3 チラシの作 発 出張申請る	15,584 成、啓 受付	16,231 チラシの作成、啓 発	26,579 チラシの作成、啓 発
	ト把握 必		見点) ミニー:	事業(<u></u> ズに	の年度 【理由	】 別実施区 ☑必要性 】	上が高(・ 一相	7,34 チラシの作成、啓 発 出張申請受付 食討の余地あり	3 チラシの作 発 出張申請う	15,584 E成、啓 受付 Eが低い	16,231 チラシの作成、啓 発 出張申請受付	26,579 チラシの作成、啓 発 出張申請受付
	ト把握 必要	·市月 対応	見点) ミニー: してい	事業(の年度 【理由 写真作	図 図 図必要性 】 けきの個	生が高い 人番与	千円 い □ t	7,34 チラシの作成、啓 発 出張申請受付 (義討の余地あり は公的な身分証	3	15,584 i成、啓 受付 が低い 活用でる	16,231 チラシの作成、啓 発 出張申請受付	26,579 チラシの作成、啓 発 出張申請受付 生の向上が図ら
	ト把握 必要	·市日 対応 ·行政	え点) ミニー: してい 女関与	事業になるの必	の年度 【理由 写真たれます	図実施に 図必要性 】 計きの個/ つ。また、ご	生が高い 人番り 本事	千円 い □ to まままます。 けっこう	7,34 チラシの作成、啓 発 出張申請受付 検討の余地あり は公的な身分証 受託事務であり	3 チラシの作 発 出張申請を □必要性 明書として 、マイナン	15,584 E成、啓 受付 ごが低い 活用でる バーカー	16,231 チラシの作成、啓 発 出張申請受付 き、市民の利便作	26,579 チラシの作成、啓 発 出張申請受付 生の向上が図ら の整備や普及
	ト把握 必要	·市日 対応 ·行政	見点) ミニー: してい	事業になるの必	の年度 【理由 写真たれます	別実施P 図必要性 】 対きの個/ っまた、 計画的/	生が高い 人番号 本事詞 こ行う	千円 ・ □ t ・ □ t ・ と ・	7,34 チラシの作成、啓 発 出張申請受付 検討の余地あり は公的な身分証 受託事務であり	3 チラシの作 発 出張申請を □必要性 明書として 、マイナン	15,584 E成、啓 受付 ごが低い 活用でる バーカー	16,231 チラシの作成、啓 発 出張申請受付	26,579 チラシの作成、啓 発 出張申請受付 生の向上が図ら の整備や普及
	ト把握 必要性	·市区 対応 ·行政 要性	え点) ミニー: してい 対関ある	事業になるの必	の年度 【理由 写真ます 促進を	E別実施P 図必要性 】 けきの個の でまたい。 で計画的は 図有効性	生が高い 人番号 本事詞 こ行う	・ ・ □ □ 付 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	7,34 チラシの作成、啓 発 出張申請受付 検討の余地あり は公的な身分証 受託事務であり	3 チラシの作 発 出張申請を □必要性 明書として 、マイナン	15,584 F成、啓 受付 が低い 活用でる バーカー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	16,231 チラシの作成、啓 発 出張申請受付 き、市民の利便作	26,579 チラシの作成、啓 発 出張申請受付 生の向上が図ら の整備や普及
	ト把握 必要性 有	•市応政・一方	表 点 に し 関 し 関 あ る し し 関 あ る こ し り は る こ り し う し う し う る う る ら る う る う る う る う る う る う る う る	事業にかめかか	の年度 【理真に進	区別実施F 図必要性 】 対きまたので、 シ計画のは 図有効性 】	上が高い 人番号 本事う こが高い	千円い □ 様けるは法定うよう、マンい □ 積	7,34 チラシの作成、啓発 出張申請受付 食計の余地あり は公的な身分証 受託事務であり イナンバーカート	3 チラシの作 発 出張申請引 一必要性 明書としてン で交付円別 「有効性	15,584 E成、啓 受付 が低い 活用でる バーカー が化い	16,231 チラシの作成、啓発 出張申請受付 と、市民の利便付 ドの交付体制のを策定していまっ	26,579 チラシの作成、啓発 出張申請受付 生の向上が図ら の整備や普及
_	ト把握 必要性 有効	·市応政 • 市応政性 ・計応政性 ・目的	え点) ミニー: してい 対関ある	事業 ズミのか ニカ	の年度 理 真ま進 理 明 は 理 明	図実施P 図必要性 】 計きまあののためい ご計 有効性 】 計算などことができます。	上が高い 大本子 大本子 にが高い で	千円い □ 様けるは法定うよう、マンい □ 積	7,34 チラシの作成、啓発 出張申請受付 食計の余地あり は公的な身分証 受託事務であり イナンバーカート	3 チラシの作 発 出張申請引 一必要性 明書としてン で交付円別 「有効性	15,584 E成、啓 受付 が低い 活用でる バーカー が化い	16,231 チラシの作成、啓 発 出張申請受付 き、市民の利便作	26,579 チラシの作成、啓発 出張申請受付 生の向上が図ら の整備や普及
	ト把握 必要性 有	·市応政 • 市応政性 ・計応政性 ・目的	表 点 点 に し 関 あ る し し し し し し し し し し し し し し し し し し	事業 ズミのか ニカ	の年度 理 真ま進 理 明 は 理 明	区別実施F 図必要性 】 対きまたので、 シ計画のは 図有効性 】	上が高い 大本子 大本子 にが高い で	千円い □ 様けるは法定うよう、マンい □ 積	7,34 チラシの作成、啓発 出張申請受付 食計の余地あり は公的な身分証 受託事務であり イナンバーカート	3 チラシの作 発 出張申請引 一必要性 明書としてン で交付円別 「有効性	15,584 E成、啓 受付 が低い 活用でる バーカー が化い	16,231 チラシの作成、啓発 出張申請受付 と、市民の利便付 ドの交付体制のを策定していまっ	26,579 チラシの作成、啓発 出張申請受付 生の向上が図ら の整備や普及
- 次	ト把握 必要性 有効	・対行要 (・果 ・対行性 手目は	見にしては、 は、一いりもる は、点としるか	事業 ズミのか ニカ	の年度 理 真ま進 理 明 は 理 明	図実施の 図必要性 】 からま画のた的が 図 ついま 図 ついます	上が高い 人本子 大本子 が高い で	千円 ・・ □ to ・・ □	7,34 チラシの作成、啓発 出張申請受付 検討の余地あり は公的な身分証 受託事務であり イナンバーカート あめる余地あり	3 チラシの作 発出張申請引 一必要性 明 書とナナ円 効性 バ交 □有効性 ハント事業に	15,584 E成、啓 受付 が低い 活バー計画 が低い こより、マ	16,231 チラシの作成、啓発 出張申請受付 と、市民の利便付 ドの交付体制のを策定していまっ	26,579 チラシの作成、啓発 出張申請受付 生の向上が図ら の整備や普及
	ト把握 必要性 有効性	・対・要 (・果 着I 市応政性 明的は 眼I	良にしては、 点とる	事業になるのか	の年度 理真ま進 理明上 は 理明上	図実施の 図実施の 図の表面の ののための では、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、の	上が高い 人本子 大本子 が高い で	千円 ・・ □ to ・・ □	7,34 チラシの作成、啓発 出張申請受付 食計の余地あり は公的な身分証 受託事務であり イナンバーカート	3 チラシの作 発 出張申請引 一必要性 明書としてン で交付円別 「有効性	15,584 E成、啓 受付 が低い 活バー計画 が低い こより、マ	16,231 チラシの作成、啓発 出張申請受付 と、市民の利便付 ドの交付体制のを策定していまっ	26,579 チラシの作成、啓発 出張申請受付 生の向上が図ら の整備や普及
一 次 評	ト把握 必要性 有効性 効	・対・要 (・果 着コネ ままま) 着目は 眼外に	良にしては、 点とる	事 ズるのか 効 等で あきて	の年度 理真ま進 理明上 理	図実施「 図・要性」 別・力・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	上が高い 大本これ 本本行う である	千円 ・ □ th	7,34 チラシの作成、啓発 出張申請受付 会計の余地あり は公的な身分証 受託事務であり イナンバーカート 高める余地あり	3 チラシの作 光景 申請 を出張申請 をとして アント事業 に 一 効率 め の	15,584 E成、啓 受付 が低い 活バー計 が低い こより、マ	16,231 チラシの作成、啓 発 出張申請受付 き、市民の利便付 トドの交付体制の を策定していまっ	26,579 チラシの作成、啓 発 出張申請受付 生の向上が図ら の整備や普及 す。
	ト把握 必要性 有効性 効率	・対・要 (・果 着コ率る)市が行性 単的は 眼がられる	見記し関は 見りあ 点、執 点、	事業にからか効のかある。	の	E別実施 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図	上が高い 人本こが高い である は特別である	千円か □ 様が 様は 方、 □ 証け サービス特定財源	7,34 チラシの作成、啓発 出張申請受付 食計の余地あり は公的な身分証 受託事務でカット イナンバーカート ある余地あり な及びマイナポイ	3	15,584 E成、啓 受付 だ低い 活バー計画 だ低い ではない マイナン	16,231 チラシの作成、啓発 出張申請受付 き、市民の利便付 ドの交付体制でを策定していまっ	26,579 チラシの作成、啓 発 出張申請受付 生の向上が図ら ひ整備や普及 す。 ドの取得率は
評	ト把握 必要性 有効性 効率	・対・要 (・果 着コ率る・と) 市応 政性 間的は 眼入的に 間統	見記し関は 見りあ 点、執 点、	事 ズるのか コン 面き 世 で	の	E別実施P 図・	上が高い 人本こが高い である は特別である	千円か □ 様が 様は 方、 □ 証け サービス特定財源	7,34 チラシの作成、啓発 出張申請受付 食計の余地あり は公的な身分証 受託事務でカット イナンバーカート ある余地あり な及びマイナポイ	3	15,584 E成、啓 受付 だ低い 活バー計画 だ低い ではない マイナン	16,231 チラシの作成、啓 発 出張申請受付 き、市民の利便付 トドの交付体制の を策定していまっ	26,579 チラシの作成、啓 発 出張申請受付 生の向上が図ら ひ整備や普及 す。 ドの取得率は
評	ト把握 必要性 有効性 効率	・対・要 (・果 着コ率る・民) 着目は 眼へりい 間の は まんりい 間の は まんりい 間の はんりい 間の はんりい 間の はんりい はんりい はんりい はんりい はんりい はんりい はんりい はんりい	点二て関あ 点二で関あ 点とる が 系で や が 表とる が 系で で も た た た た た り た り た り た り た り た り た り た	事 ズるのか コン 面き 世 で	の年 理真ま進 理明上 理事付要 由作すを 由書し 由業窓で	E別実施 「 図 図 図 図 図 図 図 0 0 0 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	上 大本 大本 で が 高い で で で な は し に に に に に に に に に に に に に	千円か	7,34 チラシの作成、啓 発 出張申請受付 検討の余地あり は公的な身分証 受託シバート 高める余地あり 、及びマイナポー	3	15,584 E成、啓 受付 だが低い 活が低い 活が化い が低い ではない ではない マンから、 マンから、 タン・ スク・ スク・ スク・ スク・ スク・ スク・ スク・ スク・ スク・ スク	16,231 チラシの作成、啓 発 出張申請受付 き、市民の利便付 ドの交付体制で を策定しています イナンバーカー バーカードの取 だ付体制の更な	26,579 チラシの作成、啓 発出張申請受付 生の向上が図ら か整備や普及 ドの取得率は 得増加に伴い、
評	ト把握 必要性 有効性 効率性	・対・要 (・果 着コ率る・と) 市応 政性 間的は 眼入的に 間統	点二て関あ 点二で関あ 点とる が 系で や が 表とる が 系で で も た た た た た り た り た り た り た り た り た り た	事 ズるのか コン 面き 地形 かい 第 でかめ か	の	E別実施P 図実 必 のた画 有 ンい 効 つが。 (は 大本こが で で で で で で で で で で で で で	千円 小	7,34 チラシの作成、啓発 出張申請受付 食計の余地あり は公的な身分証 受託事務でカット イナンバーカート ある余地あり な及びマイナポイ	3	15,584 E成、啓 受付 だが低い 活が低い 活が化い が低い ではない ではない マンから、 マンから、 タン・ スク・ スク・ スク・ スク・ スク・ スク・ スク・ スク・ スク・ スク	16,231 チラシの作成、啓 発 出張申請受付 き、市民の利便付 ドの交付体制で を策定しています イナンバーカー バーカードの取 だ付体制の更な	26,579 チラシの作成、啓 発出張申請受付 生の向上が図ら か整備や普及 ドの取得率は 得増加に伴い、
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総	・対・要(・果(デュ率る・民の能)を対して、関いは、限入に、関係が、関係が、関係が、関係が、関係が、関係が、関係が、関係が、関係が、関係が	点二て関あ 点二で関あ 点とる が 業行 や が まとる が 系で や が り た り た り た り た り た り た り た り た り た り	事 ズるのか コン 面き 世郎が 効	の 【写れ促 【証向 【本交必 【	E別	i	千円 小	7,34 チラシの作成、啓 発 出張申請受付 検討の余地あり は公的な身分であり は公託・バート 高める余地あり に及びマイナポー 高める余地あり により実施された。 に比例して増加	3	15,584 E が低い 活が低い 活が化いが 活が化いが にかい ではない ではない ではない ではない ではない ではない ではない ではない ではない ではない ではない では、 が低い	16,231 チラシの作成、啓 発 出張申請受付 き、市民の利便付 ドの交していまっ イナンバーカー バーカードの取な だ付体制の更な。	26,579 チラシの作成、啓 光田張申請受付 生の向上が図及 なの動情や を変します。 ドの取得率は 得整備強化が は 「廃止
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合	・対・要 (・果 (デューマる・民と能 今市応行性 間的は 眼入りい間統 後	点二て関あ 点二で関あ 点とる が 系で や が 表とる が 系で で も た た た た た り た り た り た り た り た り た り た	· 事 ズるのか つ 面き 世	の 【写れ促 【証向 【本交必 【国 度 由 作すを 由書し 由業落で 見長お	別 図	i	千円 小	7,34 チラシの作成、啓 発出張申請受付 検討の余地あり は公託チン・ は公託チン・ 高める余地あり により実施でオート により関して増加 はば全国民にカート はば全国民にカート	3	15,584 三成、 三成 付 近 が 低 い 活 が 化 化 低 い で か 一 い で マン ・	16,231 チラシの作成、啓 発 出張申請受付 き、市民の利便付 ドの交していまっ イナンバーカー バーカードの取な だ付体制の更な。	26,579 チラシの作成、啓 チラシの作成、啓 光田張申請受付 生のの備や 生の動情や 生の動情や を変 いい はい
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合	・対・要 (・果 (デューマる・民と能 今市応行性 間的は 眼入りい間統 後	点二て関あ 点、執 委合 の 点二で関あ 点とる) 業行 託連 方 方 か	· 事 ズるのか こい 面き 世影 門) 業 にか必 効 等て 事が 性	の 【写れ促 【証向 【本交必 【国活度 田月ま進 理明上 理事付要 見長おに	別	まが 番事行 高 付 で て雑 改 (4 th) も) は) を) に で て) は) を) に) か で) な) か で) か	千円	7,34 チラシの作成、啓 発出張申請受付 検討の余地あり は公託チン・ は公託チン・ 高める余地あり により実施でオート により関して増加 はば全国民にカート はば全国民にカート	3	15,584 三成、 三成 付 近 が 低 い 活 が 化 化 低 い で か 一 い で マン ・	16,231 チラシの作成、啓発 出張申請受付 き、市民の利便付 を第一とででである。 イナンバーカー バ付体制の取な 「は付体的である。」 「は付けなることがある。」 「はいることがある。」 「はいることがなる。」 「はいることがなる。」 「はいることがある。」 「はいることがなる。」 「はいる	26,579 チラシの作成、啓 チラシの作成、啓 光田張申請受付 生のの備や 生の動情や 生の動情 とが普 とが は という。 ドの 取 は に は に は に は に は に は に は に は に は な は は に は な は は は は
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評	・対・要 (・果 (デューマる・民と能 今市応行性 間的は 眼入りい間統 後	点二て関あ 点、執 委合 の 点二で関あ 点とる) 業行 託連 方 方 か	· 事 ズるのか こい 面き 世影 門) 業 にか必 効 等て 事が 性	の 【写れ促 【証向 【本交必 【国活混年 理真ま進 理明上 理事付要 課に動雑度 由作する 由書し 由業落で 見長おにを	関	tが	千円	7,34 チラシの作成、啓 発出張申請受付 会計の余地あり は公託ン 分を は公託ン イナポー は受ける余地あり な及びマイナポー なる余地あり に上例して はば付の整備 での整備強化を でするない。	3	15,584 三成 付 低 い	16,231 チラシの作成、啓発出張申請受付 き、市の定していった イナンバーカー バで付体制の更な は、前のででは、市のでは、市のでは、市のでは、市のではでは、アウンが、アンガーがのでは、アウンが、アンガーがのでは、アウンが、アンジャンのでは、アンでは、アンジャンのでは、アンジャンのでは、アンでは、アンジャンのでは、アンジャンのでは、アンでは、アンでは、アンジャンのでは、アンでは、アンでは、アンでは、アンでは、アンでは、アンでは、アンでは、アン	26,579 チラシの作成、啓 チラシの作成、啓 ・
評	卜把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 回	・対・要 (・果 (*)・率るよと能 今() 示した性 間は 眼ストルで間続か 後妻 し	RUU は 見りあ 点、執 委合 の等 たい	· 事 ズるのか 対 等で 事が 性 の 効い 業可 かん	の 【写れ促 【証向 【本交必 【国活混 マ 年 理真ま進 理明上 理事付要 課に動雑 イ 由 情報 で 見長おにを ナ	別 図 か で	i	千円	7,34 チラシの作成、啓 発出張申請受付 会計の余地あり は公託ンン余地あり は公託ンス余地あり は公託ンス余地あり は公託ンス余地あり はひまかる余地あり にと比例 にでもの整 画での整 画でした。 ははば付の整 での整 画でした。 ははば付の整 にとが、 ははば付の整 にとが、 ははば付い。 ははば付い。 ははば付い。 にはば付い。 にはば付い。 には、 はい、 はい、 には、 はい、 には、 はい、 には、 はい、 には、 には、 はい、 には、 はい、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には	3	15,584 三成 付 低 い	16,231 チラシの作成、啓発出張申請受付 き、市の定していり、アンバーの更になっていりの更ない。 は、前のでは、市のではでは、市のではでは、市のではでは、市のではでは、市のではでは、市のでは、市の	26,579 チラシの作成、啓 チラシの作成、啓 光田張申請受付 生のの備や 生の動情や 生の動情 とが普 とが は という。 ドの 取 は に は に は に は に は に は に は に は に は な は は に は な は は は は
一	卜把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 回	・対・要 (・果 (*)・率るよと能 今() 示した性 間は 眼ストルで間続か 後妻 し	見記し対は 見りあ 点、執 委合 の策 点二で関あ)とる)業行 託連 方等	· 事 ズるのか 対 等で 事が 性 の 効い 業可 かん	の 【写れ促 【証向 【本交必 【国活混 マ 年 理真ま進 理明上 理事付要 課に動雑 イ 由 情報 で 見長おにを ナ	別 図 か で	i	千円	7,34 チラシの作成、啓 発出張申請受付 会計の余地あり は公託ン 分を は公託ン イナポー は受ける余地あり な及びマイナポー なる余地あり に上例して はば付の整備 での整備強化を でするない。	3	15,584 三成 付 低 い	16,231 チラシの作成、啓発出張申請受付 き、市の定していり、アンバーの更になっていりの更ない。 は、前のでは、市のではでは、市のではでは、市のではでは、市のではでは、市のではでは、市のでは、市の	26,579 チラシの作成、啓 チラシの作成、啓 ・
評	卜把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 回	・対・要 (・果 (*)・率るよと能 今() 示した性 間は 眼ストルで間続か 後妻 し	RUU は 見りあ 点、執 委合 の等 たい	· 事 ズるのか 対 等で 事が 性 の 効い 業可 かん	の 【写れ促 【証向 【本交必 【国活混 マ 年 理真ま進 理明上 理事付要 課に動雑 イ 由 情報 で 見長おにを ナ	別 図 か で	まが 本こ が 一 で て雑 改 14 も 1 一 群 は 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1	千円 大	7,34 チラシの作成、啓発出場申請受付 会計の余地あり は公託ン 余地あり は公託ン 余地あり は公託ン 余地あり なみがった。ないまかり ないまかり ないまかり ないまかり ないまかり はいないない。 はば付の整画制 にいない。 はば付の整画制 ははば付の整画制	3	15,584 三成 付 低 い	16,231 チラシの作成、啓発出張申請受付 き、市の定していり、アンバーの更になっていりの更ない。 は、前のでは、市のではでは、市のではでは、市のではでは、市のではでは、市のではでは、市のでは、市の	26,579 チラシの作成、啓 チラシの作成、啓 ・
評 価 改	卜把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前方 対	・対・要 (・果 信コ率ること能 今改 示性 状市が行性 間的は 眼ストル 間続か 後書 して 況		· 事	の 【写れ促 【証向 【本交必 【国活混 マ混年 理真ま進 理明上 理事付要 課に動雑 イ乱 由がする 由書し 由業祭で 見長おにを ナギ	別 図 か で	まが	千円	7,34 チラシの作成、啓 第一	3	15,584 三成 付 低 い だ が 活 が 化 が に が に が に が い で マと か し こ の こ の 図 実 を を の 本 ま を か か し な か か か か か か か か か か か か か か か か	16,231 チラシの作成、啓 発出 張申請受付 き、下の定し で、アウン	26,579 チラシの作成、啓 チラシの作成、啓 ・
評価	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前方 対容	・対・要 (・果 賃1率を見2能 今() 示性 状末市応行性 間的は 眼ストがい間統 後書 して 況実)	Rac L b は R t b a c a c a c a c a c a c a c a c a c a	· 事	の 【写れ促 【証向 【本交必 【国活混 マ混 マ 度 由作する 由書し 由著窓で 見長おにを ナギ げ	別 図 か	th 人本こが - C で て雑 改 14さり 1 一 日 年 6 か こ で て雑 改 1 年 6 か 1 一 日 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日	千円	7,34 チラシの作成、啓 第一	3	15,584 三成 付 低 い だ が 活 が 化 が に が に が に が い で マと か し こ の こ の 図 実 を を の 本 ま を か か し な か か か か か か か か か か か か か か か か	16,231 チラシの作成、啓発出張申請受付 を	26,579 チラシの作成、啓 チラシの作成、啓 ・

事	務事業	3 住民基	本台帳ネッ	トワークシ	ステム	整備事業			整理№.	16
所	属	3 部 市	民部	課 †	5民課		記入者	栗原 美		327
上台	位施策	3 分野都	市経営	4	柱 行政	なの情報化	小村	直高度な行)提供
	事業開	冶年度 平	成 31	年度	法令等	住民基本台帳沒	法 等			
	事業終	了年度 令	和	年度	太下寺					
		対 象		高齢者 🔲	障害者	□個人 □世帯	□団体	□全ての人	✓その他	
	(誰、何る	対象として	いるか) (具体	的に) 坂戸市	で住所	を置く者の住民	記録情報			
						業を行っているか				
						:本台帳法に基へ)行政の合理化!				
						るシステムとして			awe Am)	0 压风盔不口
事	事業概要	要(取組内	容•活動内容	など、目的:	を達成す	するために何をし	ているか。)		
マケケ						バーカードに関				
務	C					国の機関等に対スを実施します。	寸する本人	確認情報は	の提供及び保	護の安定的な
事	建 加 尼			·/ X G (/ / v		ティス からなり。 令和2年度		令和3年	度	令和4年度
業		区	分		単位	実績(決算)	計画(予		友 実績(決算)	計画(予算)
	指標①)								
の	指標②)								
概	指標③)								
要	指標に対	する達成	变							
^	m (1) 事 業	弗		千円	2,453)	2,454	2,453	2,454
	総 ① 事 財		項 原(国県支出金	全・その他)	千円	۵,433	•	2,434	۵,433	2,434
	業源	一般財	•	_ () ()	千円	2,453	}	2,454	2,453	2,454
	費 職	員 数			人	0.10		0.10	0.10	0.10
	コ ② ス	人件			千円	497		497	497	497
	 	総事	業費 ①-	F(Z)	千円	2,950 機器等借上·保守		2,951 :•保守 機器	2,950 景等借上·保守	2,951 機器等借上·保守
	把 握	事	業の年度別	実施内容						
	(差	眼点)	✓	必要性が高い		食討の余地あり	□必要性	が低い		
	必·市	民ニーズに		トンマン・ノニット	7/ ++ 77) - 1- 1- 10 D. E	1 # 1. /. IF \
		たしているが 政関与のが	」 国・地方を込 トワークシ			び安定的な市民 更とかります。	ナービスを	た提供する	にあたり、住身	是基本台帳ネッ
		生はあるか)	111/4 /11/3	20.47476				
			V	有効性が高い	□ⅰ	高める余地あり	□有効性が	が低い		
	~F .⊟	眼点) 的とした効	里 (理由)	W.m.o.z.v	d- 1) - 1 10 144		* 1 - 3 .	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\
-		53か	た 別 的 な	機器の更改 ム運用が可能		・ナンスを行うこと ヒす。	:により、機	器の故障等	等でのトフブル	んはなく、安定し
次	ı±		724 7 17 2	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	10.00	~ / 0				
評		艮点)	🔽	効率的である	□⋷	高める余地あり	□効率的で	ではない		
ш,	効率的	ト、業務面等 に執行できて	い【理田】	± ^ = 0 = 0 = 0	- 1 - 4	Abrille (1) Abrille		. ver en 1	n. ++ > > //	\
価			令 和 元 年 月			貸借(リース)契約 呆守・メンテナンス(
	ー との 能か	統合・連携が	の、不具合	等が発生した	場合の	早期回復及び修繕	喜コストの抑制	制も図られて	ています。	/ 0
	60		見直し	.(□改善・効]率化	□縮小 □統合	□拡充)	✓継続	□終了 □休』	上 □廃止
	総 合 今	後の方向性		柴﨑 慎二				to tota		1 Ho. 1
		善策等)	111171111111111111111111111111111111111			ーカード取得促進が今後とも必要とな				
	価					展させるため、事				
_										
	前回示I	た今後σ								
改		た今後の 改善策等								
改善	方向性	改善策等	;)]実施済(中)		部実施 □検討	寸中 □]未実施	□その他	
	方向性(対応状)		;)]実施済(中)	-	部実施 □検討	dφ □]未実施	□その他	

事系	务事:	業名	地区	集会	所等	整備支援	事業							整理No.	17
所	属	名	部	市民	部		課市	i 民生活	課		記入者	石井	大雅	内線	316
 上位	立施:	策 名	分野	都市	経営		中	柱 地域	コミュニティ	活動の	推進 小柱	コミュ	ニティ泪	動施設	の整備支援
			年度		61	年度					学の交付に				
			年度		01	年度	根拠	去令等						ミュニティ助店	成事業事務処理要領
	7 1						者 口 [障害者	□個人□			コ 全ての	_	□その他	AT AT TO THE IN
	(誰,			象 している	5か) (_	■ T:: 施する市 <i>0</i>		_		
	日輝	(\t) \$	きたど	ω +=							、具体的な			(نان	
															がある地区集会
	所の	整備	を支持	爰し、こ	コミユニ	ティ意識	の高揚	ど活動	の推進を図	図ること	を目的とし	ていま	す。		
۱															
事											ているか。		. /- /1	0 0 41 A	工 +1, 上 +1 + *
務									∮िた好し けし助成し		リを付いま	す。よ/	こ、玉くし	ンの任会	貢献広報事業
_		,,,,,,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		, –			2011	, - /,,,,,	3.70					
事				区	分			単位	令和2			令和3	年度		令和4年度
業									実績()		計画(予		実績((決算)	計画(予算)
ග	• • • •	票①	自治	会加力	入率			%		67.5		71.4		66.8	71.4
"	指相	票②													
概	指相	票③													
要	指標	に対	する達	成度		とやコミュ 爰を継続し				こより、国	自治会加力	(率は)	載少傾□	句にある	ため、自治会へ
	総	_		業				千円		15,773		2,770		22,766	•
	事業	財源			国県支	出金・その	他)	千円		2,756		7,847		7,831	2,856
	費		一般員					千円 人		13,017 0.40	1	4,923 0.40		14,935 0.40	1,989 0.40
				x 件 費				千円		1,986		1,986		1,986	
	ス	Ü		事 業		1+2		千円		17,759		4,756		24,752	
	ト 把			古业	不在由	₹別実施 戍	垃		集会所建設助金、コミュニ		集会所建設費助金、コミュニ		集会所建設		集会所建設費等補助金、コミュニティ助
	握			尹禾	07年度	· 加夫加P	1台		成事業補助	金	成事業補助金	È J	成事業補	助金	成事業補助金
		(着則	見点)			☑ 必要性	が高い	□核	食討の余地あ	ŋ	□必要性が	が低い			
	必要		ミニー: してい	ズに スか	理由	】 ひつささがり	の圣浦	ライレッジ泊	きまる出 コミ	ミューテ	ノ活動の助	几占レが	ス協設	敕借(借	品)に対する助
		·行政	対関与	の必											めに必要なもの
		要性	はある	か	です。										
		/ * 	- L\			☑ 有効性	が高い	□ ≓	高める余地あ	ŋ	□有効性が	『低い			
	有	(着明 •目的	え点) りとした	-効果	理由		& 6¥ 05	Γ	4. u. = .	+ ₩	5/ 12/2 /2 }	n dat	⊬□14 ~	5.让夕任	<i></i>
_	効 性	はあ		_,,,,,,							り美施によ 意識を高ぬ				コミュニティ活す。
次	-					,		,			.2,,.		. , ,,,,,		, 0
評		(着眼				☑ 効率的	である	□ 菺	高める余地あ	ŋ	□ 効率的で	はない			
"'	効		、業務i :執行で		【理由			alle . a	-l- 222		H L bert 1 3	. 61.5			
価	率 性	るか · 民間	委託や	他事業											と上限に助成を 市の実質負担
	1_	との紡 能か	合·連								率性は高い			C & 7 o	机砂人员共压
					見	直し(口	改善∙効	率化	□縮小「	⅂統合「	⊒拡充)	☑ 継続	□終	了 口体	止 □廃止
	総合	△ 丝	の方向	ᆲᄱ		名:庄司	-								
	評		ままり												望は、今後ます こであり、地域の
	価										がいに対し 県と調整し				
	* =	='	t												
74			た今後 女善策												
改善善		\ ¬	,			□実施済	§ (由)	П-	部実施	□検討	П	未実施	_	その他	
状			(実施				13.17		-r-><#6		. Ц	- r 入 / l l	_	C-7 10	
況			施の理 定等)												
	, 13		, ,												

事者	务事 業 名	坂戸駅前	f集会施設管理	里事業			整理No.	18
所	属 名	部 市民	き部	課市民生活	課	記入者 菅原	直紀 内線	312
上化	立施策名	分野 都市	7経営	中柱 地域	コミュニティ活動の推	進 小柱 コミュ	ニティ活動施設	の整備支援
		年度 平成			地方自治法244条	の2第3項		
		年度 令和		根拠法令等	坂戸市立坂戸駅前		2置及び管理に	関する条例
				者 □障害者	□個人□世帯□			od) water i
		対 象 対象としてい _:					_	
					能を行っているか、		(数値)など)	
					上を図るとともに効			また、施設は老
					で利用しやすい施設			
事					けるために何をして			- A 216
務					拿入し、効率化及び 色設、設備等の修綿			
					ভ成、ស m 寺の l l l 等により、7,478千円			013 1 ()
事		-	/ \	22 /T	令和2年度	令和:	3年度	令和4年度
業		区	分	単位	実績(決算)	計画(予算)		計画(予算)
	指標①	利用件数		件	704	1,200	745	1,200
の	指標②	利用人数	•	人	5,682	13,200	5,811	13,200
概	指標③	修繕等件	数	件	1	1	1	1
	+七+冊1-土1	+ 7 ' + + + +			利用件数、人数は			
要	指標に対	する達成度	できる施設運営	営を行うとともに	、施設設備の老朽の	化に対応する	修繕を計画的に	行っています。
	総①		費	千円	7,765	7,478	7,466	6,603
	事 財 業 源		国県支出金・その		7 705	~ A~O	293	
	弗 ""、	一般財源 員 数		千円 人	7,765 0.20	7,478 0.20	7,173 0.20	6,603 0.20
	•	人件費	B	千円	993	993	993	
	ス	総事業		千円	8,758	8,471	8,459	
	ト 把				指定管理委託、駐指			
	握	事業	の年度別実施ロ	为容	車場ラインテープ 子 張替修繕	トイレ床修繕	ナトイレ床修繕	室換気扇修繕
	(着眼	147	□必要付	生が高い 🔽 杉	食討の余地あり 📗	必要性が低い		
	必 ·市国	ミニーズに	【理由】					
	要対応性・行動	しているか	指定管理者制	度を導入し、民 できています	:間企業の活力や柔 一方で、利用者数	に軟な発想を活 はここ数年大き	iかし、利用者本 sた変化がたく	位のサービスを
		はあるか			いく必要があります		27年及1日が74人(1	499 (V)/J(C
			☑ 有効性	‡が高い □ 高	ぶめる余地あり 🗀	有効性が低い		
	有 (着明		【理由】					
-	効 仕事	りとした効果 るか	1日足 生 日 円		的な運営、サービス			
次	性はの		ず。また、施設環境の整備に		は施設利用者に配	慮した修繕等る	を実施し、安全で	利用しやすい
	/★□□	E)			- u - A III + b	1 かあみるはない		
評		、業務面等効		可である 山 声	ぶめる余地あり]効率的ではない		
価	率 るか	執行できてい	指定管理者に	より、民間企業	のノウハウを活かし	た効率的な管	理運営が行われ	ています。ま
	性・民間との統	委託や他事業 合・連携が可			繕等は指定管理者	が早期に実施	iすることで、利用	目者に配慮した
	能か		適切な施設管	埋を付りことか。	でさています。 -			
	総				□縮小 □統合 □	拡充) 🗌 継続	長 □終了 □休	止 □廃止
	合 今後	の方向性	【課長名:庄司 施設の老朽化	_	とめ、適切な施設マ	ネジメントのも、	レに計画的か修繕	並を図ろ必要が
		善策等)			利用していただけ			
	価		行っていきます	0				
	前回示し	た今後の			め、適切な施設マ			善を図る必要が
改	方向性(有ります。また	、施設のより良い	ハ在り方について楢	前が必要だと	:考えます。	
善			□実施	斉(中) □一	部実施 🔽 検討中	□ 未実施	□その他	
状	対応状況	(宝坻内	佐供コーニュー	4 化宁竺皿3	よと連携し、計画的な	な経れ事権1	ています また	サールの トル 白
:0								
況		施の理由、			計進めておりますか			

 	が 尹	* 1	ען נווי	活動	首及	.又]及	. .	=							整理No.	19
所	属	名	部	市民	部			課	市民生活	示課		記入者	石井	大雅	内線	316
上位	上施	策 名	分野	都市	経営				中柱 市巨	足活動の活	性化	小柱	市民	舌動の	普及•啓	発
	事業	集開始	年度	平成	20	0 :	年度			坂戸市市	i 民活動	的支援指針	<u> </u>			
			年度			:	年度	根拟	见法令等	坂戸市振	·案型協	協働事業補	助金石	を付要	細	
								者 [障害者	□個人□			 全ての		□その他	
	(誰.			象 している	うか)	(具体的			_		_				_	
	日垣	i (5,1 4	きたど	Λ ⊦ =				- おに	- 坐該重	業を行って	いるか	目体的力	2日堙/	′ 粉 估 \	けたど)	
																とともに、市民活
										推進する。				~ .	,	,
事										するために						
務																っまた、市民活 の支援及び市
				かる八 発信等					1111Coll1	氏伯男 久	10L-1) 1 1 1 1 1 1	生"度	と占し、	伯男四件	W/ 文版及 U·III
事				_					W /I	令和2	年度		令和3	年度		令和4年度
業				区	分				単位	実績(対		計画(予			責(決算)	
"	指	標①	市民	活動才	を 接施	設の	利用係	牛数	件		16		150		13	150
の	指	標②														
概	指相	票③														
														、また、	中止した	事業があること
要	指標	に対	する達							数は大幅に				_,	-	
	総	1	事	業	ŧ				千円		128		474		353	685
	事	財		財源(国	支県国	出金	・その	他)	千円		0		0		0	
	業費		一般						千円		128		474		353	
	•		員						人工四		0.20		0.20		0.20	0.20
	コス	(2)		件 事 業		1)+	②		千円 千円		993 1,121		993 1,467		993 1,346	
			11402				\ - /				1,161		1,101			
	<u>ا</u>				Э.	0 .	_			市民活動の	H // -	市民活動の			動の普及	市民活動の普及
	把			事業		Ū	。 ミ施内	容		啓発及び支	H // -	啓発及び支	援、さ	啓発及	動の普及	市民活動の普及 啓発及び支援、さ
		/ * * n				· 度別実				啓発及び支 つき賞	で援、さ	啓発及び支 つき賞	援、さ		動の普及	市民活動の普及
	把 握 ———		 艮点) ミニー:	事業		g 要別第 ────	。 実施 戍 坐要性			啓発及び支	で援、さ	啓発及び支	援、さ	啓発及	動の普及	市民活動の普及 啓発及び支援、さ
	把握 必要	·市野対応	ミニー:	事業で	の年 原 【理由 市民	度別第 	必要性 ズが個	きが高い 国別付	い 口 to 比・多様化	啓発及びま つき賞 食討の余地あ ごするに従い	z援、さ <u></u> り ハ、安全	啓発及び支 つき賞 □必要性が 全で安心で	援、さ が低い	啓発及つき賞	動の普及び支援、さ	市民活動の普及 啓発及び支援、さ
	把握 必要	·市 対応 ·行	ミニー: してい 女関与	事業である。	の年 原 【理由 市民	度別第 	必要性 ズが個	きが高い 国別付	い 口 to 比・多様化	啓発及びま つき賞 食討の余地あ	z援、さ <u></u> り ハ、安全	啓発及び支 つき賞 □必要性が 全で安心で	援、さ が低い	啓発及つき賞	動の普及び支援、さ	市民活動の普及 啓発及び支援、さ つき賞
	把握 必要	·市 対応 ·行	ミニー:	事業である。	の年 原 【理由 市民	度別事 図: コ】 ニーン 参加!	必要性 ズが促 こよる	が高い 間別们 が地域	い □ t と・多様化 な社会づく	啓発及びまつき賞 会討の余地あ にするに従い はするに従い	を接、さ り ハ、安全 ハです。	啓発及び支 つき賞 □必要性が 全で安心で	援、さ が低い ごきる 暮	啓発及つき賞	動の普及び支援、さ	市民活動の普及 啓発及び支援、さ つき賞
	把握 必要性	·市县 対応 ·行政 要性	ミニー: してい 対関与 はある	事業である。	の年 【理由 市民	度別事では、日本のは、日本には、日本のでは、日本のでは、日本には、日本には、日本には、日本には、日本には、日本には、日本には、日本に	必要性 ズが個	が高い 間別们 が地域	い □ t と・多様化 な社会づく	啓発及びま つき賞 食討の余地あ ごするに従い	を接、さ り ハ、安全 ハです。	啓発及び支 つき賞 □必要性が 全で安心で	援、さ が低い ごきる 暮	啓発及つき賞	動の普及び支援、さ	市民活動の普及 啓発及び支援、さ つき賞
	把握 必要性 有	·市成 ·市成 ·市成 ·市成 ·市成 ·市成 ·市成 ·市成 ·市成 ·市成	ミニー: し関与 はある したした	事業であるのかのかのかのかのかのかのかののかののかのできます。	の年原 【理由 下 【理由	度別事 マッコン アンドラン アンドラン アンドラン アンドランド アンドウ マイコン マイコン マイコン アンドラン アンドラング アング アンドラング アング アンドラング アンドラング アング アング アング アング アング アング アング アング アング ア	必要性 ズが 個 こよる	が高い 別別付 が高い が高い	い 口 th 化・多様化	啓発度でき つき賞 検討の余地あ こするに従いが不可ク	え接、さ り ハ、安全 べです。	啓発及び支 つき賞 □必要性が 全で安心で □有効性が	援、さが低いできる着が低い	P	動の普及 び支援、さ ・ ・ 維持してい	市民活動の普及 啓発及び支援、さ つき賞
	把握 必要性	·市區 対応 ·行政 要性	ミニー: し関与 はある したした	事業であるのかのかのかの効果	の年月では、東田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	度別事 コニ参 図 新動り	必要性 ズが促こよる 与効性 フェした	が高い地域 が高い が高い が高い	い □ tel 化・多様化	啓発度できまった。 会計の余地あ にするに従いが不可か 高める余地あ ウイルスの	z援、さ り い、です。 り の いです。	啓発及び支 つき賞 □必要性が 全で安心で □有効性が	援、さ が低い ごきる着 が低い 対面形	· 啓 発 賞 - ら し を ジ式で が	動の普及 び支援、さ 維持してい はなく、展	市民活動の普及啓発及び支援、さつき賞
一 次	把握 必要性 有効	·市成 ·市成 ·市成 ·市成 ·市成 ·市成 ·市成 ·市成 ·市成 ·市成	ミニー: し関与 はある したした	事業であるのかのかのかの効果	の年月では、東田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	度別事 図: コンニ コニ コニ コニ コニ コニ コニ コニ コニ コニ コニ コニ コニ コニ	必要性 ズが促こよる 与効性 フェした	が高い地域 が高い が高い が高い	い □ tel 化・多様化	啓発度できまった。 会計の余地あ にするに従いが不可か 高める余地あ ウイルスの	z援、さ り い、です。 り の いです。	啓発及び支 つき賞 □必要性が 全で安心で □有効性が	援、さ が低い ごきる着 が低い 対面形	· 啓 発 賞 - ら し を ジ式で が	動の普及 び支援、さ 維持してい はなく、展	市民活動の普及啓発及び支援、さつき賞 べためには、
	把握 必要性 有効	・対・要 (・は 着目あ 眼	民二一に とし とし とし は 点としか 点としか 点)	事業 ズにかのか か 効果	の年間では、中国の年間では、中国の年間では、中国の日間では、日間では、日間では、日間では、日間では、日間では、日間では、日間では、	度別事 ヨニ参 ヨ活とな コ コ カリて ダ	必要性 ズが促こよる 与効性 フェした	が高い 別別 が高い が高い が高い はがす。	い 口 tel 化・多様化 な社会づく い 口 if 型コロナ 市民の名	啓発度できまった。 会計の余地あ にするに従いが不可か 高める余地あ ウイルスの	を接、さ り いです。 感と進 、 の の の の の の の の の の の の の	啓発及び支 つき賞 □必要性が 全で安心で □有効性が	援、さ が低い ごきる着 が低い 対がりゃ	· 啓 発 賞 - ら し を ジ式で が	動の普及 び支援、さ 維持してい はなく、展	市民活動の普及啓発及び支援、さつき賞 べためには、
評	把握 必要性 有効性 効	・対・要 (・は 着コ本) 眼スト	民 し 関 は し 関 は に し は に し た か) 業 務	事業 ズにかのか か 効果	の年月では、日本開場とは、日本開場とは、日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	度別事 ヨニ参 ヨ活とな ロ ヨ ありて す コ まかりて す	必要性 でよる 対 エしり か か か か か か か か か か	が高い 別別が がはがす。 はがす。	い 口 tel 化・多様化 な社会づく い 口 if で T型コロナ 市民の名	啓発度できませるに従いのが不可から 高める余地あり けくかが不可から では、からない。 では、もない。 とない。 とない。 とない。 では、もない。 とない。 とない。 とない。 とない。 とない。 とない。 と。 とない。 とない	を接、さ り いで り 感進 い の の の の の の の の の の の の の の の の の の	啓発及び支 図・必要性が 全で安心で 「有効性が で防のためのです。 「効率的で	援、さが低い ごきる 着ば低い 対がりゃ	啓発賞 らしを ジ式交流	動の普及 び支援、さ 維持してい はなく、展 を深めるも	市民活動の普及 啓発及び支援、さ つき賞 小くためには、 示会形式での 幾会を提供する
	把握 必要性 有効性 効率	・対・要 (・は 第二率のより) 間にある 眼内的の間	民 し 女 は 点 と か) 業 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	事 業 べるのか 立	の年月の年月日本の一番の年月日本の年月日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	度別 リニ参 日活とな 日活とな 日活とな 日 動りて 対 動りて 対 動りて 対 動りて 対 動りて 対 かりて 対 かり ア	必要性 でよる ちゅう アナカ マの できない かっこう かいこう かいこう かいこう かいこう かいこう かいこう かいこう かい	が 副地 が に は が に は が に に が に が に が に が に が に が に に に に に に に に に に に に に	い	啓発賞 検討の余地あ にするに従いが不可か 高める余地あり ウイルスの た会参加の こするため普及	で 援 り 、で の 、で の 、で の 、で の 、で の 、で の 、で の 、、で の 、、で の 、、、、、、、、、、	啓発度できる。	接、さ が低い ごきる 着 い がはない が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	啓っ で発き で流 実際	動の普及 び支援、さ 維持してい はなく、、 を深めるも	市民活動の普及 啓発及び支援、さつき賞 ハくためには、 示会形式での 幾会を提供する 容につながる働
評	把握 必要性 有効性 効	・対・要 (・は 第二率のより) 間にある 眼内的の間	民 し 関 は 点 し か) 業 行 る 点 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	事 ズるのか 立	の年月の年月日本の一番の年月日本の年月日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	度別 リニ参 日活とな 日活とな 日活とな 日 動りて 対 動りて 対 動りて 対 動りて 対 動りて 対 かりて 対 かり ア	必要性 でよる ちゅう アナカ マの できない かっこう かいこう かいこう かいこう かいこう かいこう かいこう かいこう かい	が 副地 が に は が に は が に に が に が に が に が に が に が に に に に に に に に に に に に に	い	啓発賞 検討の余地あ にするに従いが不可か 高める余地あり ウイルスの た会参加の こするため普及	で 援 り 、で の 、で の 、で の 、で の 、で の 、で の 、で の 、、で の 、、で の 、、、、、、、、、、	啓発度できる。	接、さ が低い ごきる 着 い がはない が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	啓っ で発き で流 実際	動の普及 び支援、さ 維持してい はなく、、 を深めるも	市民活動の普及 啓発及び支援、さ つき賞 小くためには、 示会形式での 幾会を提供する
評	把握 必要性 有効性 効率性	・対・要 (・は (・)率る・との	民 し 女 は 点 と か) 業 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	事 ズるのか 立	の年間では、日本の一には、日本の一には、日本には、日本の一には、日本には、日本には、日本には、日本には、日本には、日本には、日本には、日本	度別事 3 二参 13 活とな 13 活け	必ずなる 対 ではいる かいまれる かいまた かいまた かいまれる かいまれる かいまれる かいまれる かいまれる かいまれる かいまん かいまん しょう	が高い 別別は が高いは がはながす。 がは がすまで 参い情報	い □ tell を 化・多様化 に さ社会づく い □ Tell で 市下民の名 を に を に を に と の と を に と に を に を に を に を に を に を に に を に を に に に に に に に に に に に に に	啓発賞 検討の余地あ にするに従いが不可か 高める余地あり ウイルスの た会参加の こするため普及	で接、さ り 、、で り 感促 り 啓べ ・	啓発賞 □必要性が全で安心で □有効性が ・防ののののですの ・行用催する ・行用である。	「援、さいない」 が低い ごきる 着い がない すいでん すい でん かいがい がい がい がい がい がい かい	Pro	動の普及 び支援、さ 維持してい はなく、、 を深めるも	市民活動の普及 啓発及び支援、さ つき賞 ハくためには、 示会形式での 幾会を提供する 容につながる働いきたいと考えま
評	把握 必要性 有効性 効率性 総	・対・要 (・は (・率る・と能) 一切にでは ままる しょうがい 間がない 間がない はいかい 間がない はいかい 間がない はいかい はいかい はいかい はいかい かいかい かいかい かいかい かい	民 し 文 は し は し は し は し は し は し に に し に に し に に に に に に に に に に に に に	事 ズるのか 立 面き 他	の年 理民民 理民催と 理民が 見長	度 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		が別地がいたまで 別地がいたまで 対情 善き	い 口 校化	P	で 援 り 、で の の の の の の の の の の の の の	啓ったのです。 ・ で	接、さ が低い まま	PR	動の が支援、 維持 はな深 の検 の検 を の検 を の を の を の を の を の を の を の の の の の の の の の の の の の	市民活動の普及 啓発及び支援、さ でのき賞 ハくためには、 示会形式での 幾会を提供する 容につながる働ま できたいと考えま
評	把握 必要性 有効性 効率性	・対・要 (・は ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	民 し 女 は 点 と か) 業 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	事 ズるのか state mate to make the state of the	の	** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **		が別地がにはするが、改善等のは、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対して	い 日本 と・多様化 さ社会づく い 型民 の 型民 の 単 の 単 の 単 の で の で の で の で の で の で の で の で	P	で 接 り いで り 、で り 、で り 、で り 、で り 、で り 、で り 、 や り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り り し り し り し り し り	P	援 (低い 対な は す 等 区 啓発 を を を を を を を を を を を を を を を を を を	Record	動の が支援、 維持 はな深 の検 の検 を の検 を の を の を の を の を の を の を の の の の の の の の の の の の の	市民活動の普及 啓発及び支援、さ つき賞 ハくためには、 示会形式での 幾会を提供する 容につながる働いきたいと考えま
評	把握 必要性 有効性 効率性 総合	・対・要 (・は ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	R こ に 関 は に に に に に に に に に に に に に	事 ズるのか state mate to make the state of the	の	** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **		が別地がにはするが、改善等のは、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対して	い 日本 と・多様化 さ社会づく い 型民 の 型民 の 単 の 単 の 単 の で の で の で の で の で の で の で の で	P	で 接 り いで り 、で り 、で り 、で り 、で り 、で り 、で り 、 や り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り り し り し り し り し り	P	援 (低い 対な は す 等 区 啓発 を を を を を を を を を を を を を を を を を を	Record	動の が支援、 維持 はな深 の検 の検 を の検 を の を の を の を の を の を の を の の の の の の の の の の の の の	市民活動の普及 啓発及び支援、さ でのき賞 ハくためには、 示会形式での 幾会を提供する 容につながる働ま できたいと考えま
評	把握 必要性 有効性 効率性 総合評価	・対・要 (・は 第二率るよと能 今(では、 第二本の)が、関係が、 後書	民し女は 良りる 点、執 委合 の集 一い与る) た	事 ズるのか state material (本) ま こか必 東 効い 業可 性 カン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の	** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **		が別地がにはするが、改善等のは、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対して	い 日本 と・多様化 さ社会づく い 型民 の 型民 の 単 の 単 の 単 の で の で の で の で の で の で の で の で	P	で 接 り いで り 、で り 、で り 、で り 、で り 、で り 、で り 、 や り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り り し り し り し り し り	P	援 (低) 対ないはすい では、き にい 面がいいがいがいがいがい。 発発を発	Record	動の が支援、 維持 はな深 の検 の検 を の検 を の を の を の を の を の を の を の の の の の の の の の の の の の	市民活動の普及 啓発及び支援、さ でのき賞 ハくためには、 示会形式での 幾会を提供する 容につながる働ま できたいと考えま
評 価		・対・要 (・は (・・本る・と能 今() 一示に応性	民し は	事 ズるのか 立 面き 他態 可) を	の	** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **		が別地がにはするが、改善等のは、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対して	い 日本 と・多様化 さ社会づく い 型民 の 型民 の 単 の 単 の 単 の で の で の で の で の で の で の で の で	P	で 接 り いで り 、で り 、で り 、で り 、で り 、で り 、で り 、 や り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り り し り し り し り し り	P	援 (低) 対ないはすい では、き にい 面がいいがいがいがいがい。 発発を発	Record	動の が支援、 維持 はな深 の検 の検 を の検 を の を の を の を の を の を の を の の の の の の の の の の の の の	市民活動の普及 啓発及び支援、さ でのき賞 ハくためには、 示会形式での 幾会を提供する 容につながる働ま できたいと考えま
評 価		・対・要 (・は (・・本る・と能 今() 一示に応性	民し女は 良りる 点、執 委合 の集 一い与る) た	事 ズるのか 立 面き 他態 可) を	の	き 3 二参 3 活とな 3 活力 1 長活工 1 別 2 一		が別地がいたまで、参信、改善等ら、は、一部のは、おいまで、対情、善・臣のは、	い □ to	P	で	啓っ 図	「援」が低 対な は まま ☑ 啓り さ は ず	PRO	動び が が を が を で が 大 が の 検 で の 検 で の 大 の 大 の 大 の し に の の の の の の の の の の の の の	市民活動の普及 啓発及び支援、さ でのき賞 ハくためには、 示会形式での 幾会を提供する 容につながる働ま ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
評 価	把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前方 対	・対・要 (・は (・1・率る・と能 今(一寸性 状形がです 一番目あ 眼内的・間が 後き して 況	民し女は 艮勺る 点/、執 委合 の善 た女 (二て関あ)とか)業行 託連 方策 一今善 実一い与る) た 新で や連 「	事 ズるのか 立 面き 他態 可) 後長 内業 にか必 果 効い 業可 性 の等 内	の	き 3 二参 3 活とな 3 活力 1 長活工 1 別 2 一		が別地がいたまで、参信、改善等ら、は、一部のは、おいまで、対情、善・臣のは、	い □ to	P	で 接 り いで り 、で り 、で り 、で り 、で り 、で り 、で り 、 や り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り り し り し り し り し り	啓っ 図	援 (低) 対ないはすい では、き にい 面がいいがいがいがいがい。 発発を発	PRO	動の が支援、 維持 はな深 の検 の検 を の検 を の を の を の を の を の を の を の の の の の の の の の の の の の	市民活動の普及 啓発及び支援、さ でのき賞 ハくためには、 示会形式での 幾会を提供する 容につながる働ま ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
評価 改善	把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前方 対容	・対・要 (・は (・・する・と能 今(一) 「中 、状未市が行性	民し女は 艮勺る 点、、	事 ズるのか c 面き 他態 可) 後長 心里 業 にか必 果 効い 業可 (の等) 内由	の	き 3 二参 3 活とな 3 活力 1 長活工 1 別 2 一		が別地がいたまで、参信、改善等ら、は、一部のは、おいまで、対情、善・臣のは、	い □ to	P	で	啓っ 図	「援」が低 対な は まま ☑ 啓り さ は ず	PRO	動び が が を が を で が 大 が の 検 で の 検 で の 大 の 大 の 大 の し に の の の の の の の の の の の の の	市民活動の普及 啓発及び支援、さ でのき賞 ハくためには、 示会形式での 幾会を提供する 容につながる働ま ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

事	務事業名 都市交	 流事業					整理No.	20
所	属 名 部 市	民部課	市民生活	課	記入者	石井 大雅	内線	316
上 4	位 施 策 名 分野 都	市経営	中柱 都市	「交流の推進	小柱	都市交流の	推進	
	事業開始年度 平	式 26 年度 _{49.40}	:: 	友好都市提携協	協定(新潟リ	県南魚沼市)		
	事業終了年度 令	和年度	法令等					
	対 象	_	障害者	□個人 □世帯	□団体	☑ 全ての人	□その他	
	(誰、何を対象として)	いるか) (具体的に)						
		くうな状態にするために						ムスが見してい
	他巾町村と久好度の理解と連携を深	係を推進し、文化、教育 めます。	了、云何、	経済など幅広い	分野におり	丁 分父流を進	にて、さらん	よる発展と且い
事		容・活動内容など、目的						
務	友好都市である南 市民の交流を推進	魚沼市の祭り等の都市 il まま	交流イベ	シトに参加するこ	ことで、文化	 スポーツな 	ど幅広い	分野における
	市民の大流と正定	(CA)						
事	区	分	単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度
業	·	17		実績(決算)	計画(予		漬(決算)	計画(予算)
၂		流イベントの参加回数	口	0		1	0	1
	指標②							
概	指標③	新型コロナウイルス原	沈定の!	影郷ルトの名加	ナサノ で	た		
要	指標に対する達成原	材室コロナリイルへ思	条矢症の)	影響により参加し	ません じし	//C ₀		
	総①事業	費	千円	0		26	0	26
	事財特定財源	(国県支出金・その他)	千円	0		0	0	0
	業源 一般財活費 職員数	京	千円	0		26	0.10	26
	いる。職員数コの金人件	書	人 千円	0.10 497		0.10 497	497	0.10 497
	ス 総事		千円	497		523	497	523
	ト 把 <u>事</u>	業の年度別実施内容		県外視察	県外視察	県外視	察	県外視察
	握	未の千皮が天心内谷						
	(着眼点)	☑必要性が高に	\ □核	食討の余地あり	□必要性か	が低い		
	必 ・市民ニーズに 要 対応しているか	【 理由】 太好関係維持発展 <i>0</i>	つために	実施する本事業の	の必要性は	高いと考える	られます。	
	性・行政関与の必 要性はあるか							
	安住はめるか							
	有 (着眼点)	□ 有効性が高い _【理由】	✓ ₽	弱める余地あり	□有効性が	、低い		
—	効・日的とした効	* 新型コロナウイルスの						
 次	性 はめるが	深める場となっており の提供方法も検討す				fを知ってもに	らうために、	市民への情報
	(着眼点)			ある余地あり	□ 効率的で	il++:1\		
評	・コスト、業務面等 効率的に執行できて	✓ 効率的である 効 、【理由】		10.00 14 FR0).)	山初平町で	10/00		
価	半 るか	- 県外倪祭の美施によ	り友好関	係維持発展が図	図られるため	う、効率性は	高いと考え	られます。
	性・民間委託や他事 との統合・連携が 能か							
		見直し(□改善・3	効率化	□縮小 □統合	□拡充)	☑継続 □≦	終了 口休	나 □廃止
	総 合 今後の方向性	【課長名:庄司 圭呂]					
	評 (改善策等)	友好都市との関係維 染状況を踏まえ、交流			、交流を深	めていきます	~。新型コロ	ナウイルス感
	価	N. W. Du C. M. A.	/III = 124 7 c	~ / O				
	前回示した今後の							
 改	方向性(改善策等							
善		-	п-	部実施 □検討		+	その他	
	41 15 5-7 15 1	□ 実施済(中)			T中 山	未実施	COLE	
状況	対応状況(実施内 容、未実施の理由	_	ш		īΨ ∐	木美肔		

事者	务事 🤋	美名	多文	化共	生事	業										整理No.	21
所	属	名	部	市民	部			課	市民生	活課		記力	入者	中島	茉莉	内線	314
上化	立施贸	(名	分野	都市	経営				中柱 国	際交流の	の促進		小柱	外国籍	善市民	との支援	
	事業	開始	作 度	平成	27	7	年度		II								
	事業	終了	年度	令和			年度	根	拠法令等	Ť							
		. 4	时	象			高齢	者	□ 障害者	□個人	□世帯	□団は	本 [全ての	人	✓その他	
	(誰、			プ している	か)	(具体)	的に)	外国	国籍市民								
	目標	(対≨	象をど	のよう	な状況	態に	するカ	ため	に当該事	業を行	っているだ	か、具体	本的な	目標(数值)	など。)	
			民が	安心し	て暮れ	うせる	5よう	に、	日本語教	室を行	ゔボランテ	ィア団ケ	体と協	勇働し、	日本記	語習得のま	支援を行ってい
	ます。																
車	中 举	HII 385	(田元幺	中京	- 洋新	山坎	!ナ> ば		的な法式	t 	めに何をし	アハス	Z do	1			
7															市	为公共協調	没等での配布、
務	ホー.	ムペ	ージィ	への掲	載を行	うつて	こいま	きす。	また、日								の募集を広報
事	等で	行い	、人杉	才確保	にも多	るめて	いま	す。									
				区	分				単位		和2年度 責(決算)	=上元		令和3		責(決算)	令和4年度 計画(予算)
業	指標	≣ (1)	日木	語教	玄盟佐	岩田岩	tr		□	天平	貝(広 昇) 71		画(予	异) 169	天祁	117	169
の	指標			語教					人		258			1,100		336	1,100
4017							X										•
概	fi 愕	₹ ③	<i>かフ、</i>	ンティ			- 凸 ノ	ルフ	人の影響は	ァトル 🛨	39 (古小北京			40	Lt2 ~	39 たため汪重	40 動を行うことがで
要	指標	に対	する達	成度							パング 共産		时共	77.1/1、13日(こくょう	/こ/こびノイ白 隻	かて11 ノークみ (
	総	(1)	事	業					千円		163			164		160	282
	事	財		財源(国		出金	・その	他)	千円								
	業費		一般						千円		163			164		160	282
	•		員						人		0.10			0.10		0.10	0.20
	コス	(2)		件 費 事業		1)+	②		千円 千円		497 660			497 661		497 657	993 1,275
	۲		ИACA							日本語	i教室開催		吾教室		日本語	教室開催	日本語教室開催、
	把 握			事業	の年月	复別3	と 施口	内容									日本語教室ボラン ティア研修開催
		(着目	上)			V	必要性	生が高	5(\	検討の余	<u></u> 地あり	□必	要性が	低い			
	必		を に アニラ		【理由												
			してい b 関 与	るか の必	外国第	籍市. 数否。	民はか	年々	増加して	ており、日 ボランテ	本語教室	図に対する 1な働い	するニ ことの	一ズに	は高ま	ってきてい を行うことに	ます。また、日は効率的である
			はある		と考え			, , ,) G11 2	N1) V)	1/ 四件0	_ [/]// [#/] (*	CA7	日/千四		2117001	3 分十日 (8) 3
						√ 7	有効性	上が高	iv [高める余り	地あり	□ 有:	効性が	低い			
	Ή.	(着則	艮点) りとし <i>†</i>	·_ 六h	【理由	-				-							
_			sicci あるか														引し、また日本の よっていると考え
次	往				ます。		寻(0	_ ') (いく子の	/, (<i>a</i> ⊘/ <i>c</i> ∞/	女心し	ン(土	白りつ	1/_0/0	/) BJ(C/a	らしいると与え
≘क		(着眼	点)			√ ₹	功率的	であ	გ <u></u>	高める余り	地あり	一効	率的で	はない			
評	杰	・コスト	、業務	面等効きてい	【理由		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	, (0)	_		2007	<i></i>	,				
価	率	るか			日本									働する	らことて	、外国籍	市民に効率的
		との統能か	合·連	隽が可	で坐き	晏/よう	又拨/	い油	りること	ンとりも	いると考え	こより。					
		HE/J			見ば	īL(改善	•効率化	□線小	、	□拡充	z) [√継続	□ #	冬了 □休	止
	総	A 14	~ _ _	5 Jul	【課長	'	_				196 🗀		. , [<u>·</u> 142190	ш,	I	<u> </u>
			の方向 §策等														アへの研修を
	価								导スキルの ろめます。		:凶るととも	らに、安	で正し	に教至	.連名	かでさるよ	う、新たなボラ
			, ,		·				. , ,		女室に対す	トるニー	-ズが	高まっ	ている	るため、支	援体制の拡充
	前回:			女仏	を検討	付して	こいく	必要	見があると	考えます	上。また、1	日本語	教室	のボラ			としており、新た
改善	73 [7]	. <u></u> (u	^ _ _ /	、 • T /	なボラ						っていく必		_		,	7.0"	
岩状	対応	状況	(実施	内	支 接		実施》 ひ並		_	一部実施 ト ボラン	<u>✓</u> 検i ティアの‡			未実施 うさらか		」その他 上を図スた	め、日本語指
	容、え	まま	施のヨ	里	導の耳	専門領	家を打	招き.	、ボランラ	ティア向に	けの研修会	会の実	施をう	予定して	ていま	す。また、	ボランティアの
	由、⁴	7後(ハ予え	E寺)	募集	こ関い	してに	は、月	ドホーム~	ページに	て、募集	に特化	した記	記事の	掲載を	を予定して	います。

事系								
	务事 業 4	Z 广舎施設	设等改修事業				整理No.	22
所	属 4	3 部 総合	政策部課	施設管理	課	記入者 小嶋	内線	242
上 15		3 分野 都市		中柱 公共	他 設・インノフの維か	特管理 小柱 公共抗	他設寺の航廃合	
	事業開	冶年度 平成	27 年度 担 期	法令等				
	事業終	了年度 令和	6 年度	(A 1) 1)				
		ч — А	□高齢者□	障害者	□個人 □世帯	□団体 ☑全ての	○人 □その他	
	(誰、何を	対 象 ・対象としてい _・	るか)(具体的に)坂戸	お民及び	(坂戸市職員			
							₩L I+ \	
			うな状態にするために					Dillo de de
	厅 告 建 1	勿及い設備(の老朽化に伴い、計画	肌パキエ≒	▶・修棓寺を仃♡	「打害建物及い設	畑の維持保全を	凶りよう。
_	= ۱۵۳۰ علاد =	E / E / D - L - L	, <u> </u>	- 		-1.71.		
事			・活動内容など、目的	を達成す	「るために何をし	ているか。)		
務		受及び設備 ⁴	等の改修 工事 ・来庁者用駐車	1日 14.51E单	女件.数件字件《	(医)担心大场,依然		
1 323	• エレハ	一ター以修.	上 争 " 米川 有用駐甲	场拟烟	全佣•音佣至的办	《監倪盛父撰修縉		
事					∧	_ ^ ~-	/	A 1- 1
		区	分	単位	令和2年度 宝績(決質)	令和3 計画(予算)		令和4年度 計画(予算)
業	比無金			-11-	実績(決算)		実績(決算)	⋷Ⅰ四(ア昇)
。 の	· · · · -		ター改修工事	基		1	1	
	指標②	来庁者用	駐車場拡張整備	式				
概	指標③	警備室防	災監視盤交換修繕	式				
	16.1		施設や設備等の維持	特保全は	計画的に実施さ	れています。		
要	指標に対	付する達成度						
	総 ①	事業	 書	千円		12,969	11,787	
	1110.		国県支出金・その他)	千円		9,700	11,	
	業源			千円		3,269	11,787	
	費 職	員数		人		0,200	11,101	
) 人 件 費	7	千円				
	ス	総事業		千円		12,969	11,787	
		1.0 3 -11						
	۲					エレベーター改修:		
	把	事業	の年度別実施内容			エレベーター改修		
		事業			>=1.0.Q.iii. † 10	エレベーター改修工事	エレベーター改修	
	把 握 (着	眼点)	☑ 必要性が高い		食計の余地あり	エレベーター改修	エレベーター改修	
	把 握 (着 必·市	眼点) 民ニーズに	☑ 必要性が高し 【理由】	\ □梢		エレベーター 改修 工事	エレベーター改修工事	こたってもり
	把握 (着 必·市 要対,	眼点) 民ニーズに むしているか	☑ 必要性が高い	、 □棹	設備の老朽化に	エレベーター改修 工事 □ 必要性が低い よる故障や一部様	エレベーター改修工事 機能不全が顕著	になっており、
	把握 の要性・対が	眼点) 民ニーズに むしているか	☑必要性が高い 【理由】 本館、新館ともに建物	、 □棹	設備の老朽化に	エレベーター改修 工事 □ 必要性が低い よる故障や一部様	エレベーター改修工事 機能不全が顕著	になっており、
	把握 の要性・対が	眼点) 民ニーズに むしているか 政関与の必	☑必要性が高い 【理由】 本館、新館ともに建物 執務室内の最低限の	・ □ 横 勿及び各)環境を動	設備の老朽化に 整えていくために	エレベーター改修 工事 □必要性が低い よる故障や一部様 も必要不可欠です	エレベーター改修工事 機能不全が顕著	になっており、
	把握 必要性 右	眼点) 民ニーズに むしているか 政関与の必 生はあるか 眼点)	図必要性が高い 【理由】 本館、新館ともに建物 執務室内の最低限の ☑有効性が高い 【理由】	・ □ 横 勿及び各)環境を動	設備の老朽化に	エレベーター改修 工事 □ 必要性が低い よる故障や一部様	エレベーター改修工事 機能不全が顕著	になっており、
	把握 必要性 有効・要 着目	眼点) 民ニーズに ひしているか 政関与の必 生はあるか 眼点) 的とした効果	図必要性が高い 【理由】 本館、新館ともに建物 執務室内の最低限の ☑有効性が高い 【理由】	・ □ 横	設備の老朽化に 整えていくために 5める余地あり	エレベーター改修 工事 □必要性が低い よる故障や一部校 も必要不可欠です	エレベーター改修工事 登能不全が顕著に	
	把握 必要性 有効・要 着目	眼点) 民ニーズに むしているか 政関与の必 生はあるか 眼点)	図必要性が高い 【理由】 本館、新館ともに建り 執務室内の最低限の 図有効性が高い 【理由】	・ □ 横	設備の老朽化に 整えていくために 5める余地あり	エレベーター改修 工事 □必要性が低い よる故障や一部校 も必要不可欠です	エレベーター改修工事 登能不全が顕著に	
	把握 必要性 有効・ 一	眼点) 民ニーズに ひしているか 政関与の必 生はあるか 眼点) 的とした効果	図必要性が高い 【理由】 本館、新館ともに建り 執務室内の最低限の 図有効性が高い 【理由】 施設利用者の利便性	・ □ 横	設備の老朽化に 整えていくために 5める余地あり	エレベーター改修 工事 □必要性が低い よる故障や一部校 も必要不可欠です	エレベーター改修工事 登能不全が顕著に	
	把握 必要性 有効性 一	眼点) 民ニーズに ひしているか 政関与の必 生はあるか 眼点) 的とした効果	図必要性が高い 【理由】 本館、新館ともに建り 執務室内の最低限の 図有効性が高い 【理由】 施設利用者の利便性	□ 横勿及び各○環境を動□ 信はや安全	設備の老朽化に 整えていくために 5める余地あり	エレベーター改修 工事 □必要性が低い よる故障や一部校 も必要不可欠です	エレベーター改修工事 登能不全が顕著に	
	把握 必要性 有効性 対 着目は 着づい であい 着目は 着づい できる おいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいか	眼点) 民二一ズにか政性はあるか はあるか は点した効果 あるか した効果 のも、業務の を対した。	図必要性が高い 【理由】 本館、新館ともに建物 執務室内の最低限の 図有効性が高い 【理由】 施設利用者の利便性 す。	□ 横勿及び各○環境を動□ 信はや安全	設備の老朽化に 整えていくために 5める余地あり 性のために実施	エレベーター改修 工事 □必要性が低い よる故障や一部校 も必要不可欠です □有効性が低い された工事であり、	エレベーター改修工事 登能不全が顕著に	
	把握 必要性 有効性 効率 着目は 着っかっ要 着目は 着っかかか	眼点) 民ニーズに い政はあるか 生はあるか 眼点とした効果 のるか 眼点、業務できている。	図必要性が高い 【理由】 本館、新館ともに建り 執務室内の最低限の 図有効性が高い 【理由】 施設利用者の利便性す。 図効率的である 【理由】 工事については入札	 □ 横	設備の老朽化に整えていくために 5める余地あり 性のために実施 5める余地あり	エレベーター改修 工事 必要性が低い よる故障や一部がある。 も必要不可欠でする 一有効性が低い された工事であり、 一効率的ではない	エレベーター改修 工事 機能不全が顕著に す。	づき実施しま
評	把握 必要性 有効性 効率性 着市が行慄 着目は 着づ率る・	眼民にか必生はあるか 根内ののか 根内ののか 眼的ののか 眼的ののか 眼的ののか 眼的のののか 眼的のののか はあっしたか はい、業行のでも ない。 ないであるが はい、まれている。 はいる。 はいる	図必要性が高い 【理由】 本館、新館ともに建り 執務室内の最低限の 図有効性が高い 【理由】 施設利用者の利便性 す。 図効率的である 【理由】	 □ 横	設備の老朽化に整えていくために 5める余地あり 性のために実施 5める余地あり	エレベーター改修 工事 必要性が低い よる故障や一部がある。 も必要不可欠でする 一有効性が低い された工事であり、 一効率的ではない	エレベーター改修 工事 機能不全が顕著に す。	づき実施しま
評	把握 必要性 有効性 効率性 着市が行慄 着目は 着づ率る・	眼スープでは 根スープでは あった。 はあるか 眼内のか 眼内のか 眼内のか はた、 のか のか のか のか のか のか のか のか のか のか	図必要性が高い 【理由】 本館、新館ともに建り 執務室内の最低限の 図有効性が高い 【理由】 施設利用者の利便性す。 図効率的である 【理由】 工事については入札	 □ 横	設備の老朽化に整えていくために 5める余地あり 性のために実施 5める余地あり	エレベーター改修 工事 必要性が低い よる故障や一部がある。 も必要不可欠でする 一有効性が低い された工事であり、 一効率的ではない	エレベーター改修 工事 機能不全が顕著に す。	づき実施しま
評	把握 必要性 有効性 効率性 着市が行気 着目は 着に座るいと能	眼スープでは 根スープでは あった。 はあるか 眼内のか 眼内のか 眼内のか はた、 のか のか のか のか のか のか のか のか のか のか	図必要性が高い 【理由】 本館、新館ともに建り 執務室内の最低限の 図有効性が高い 【理由】 施設利用者の利便性す。 図効率的である 【理由】 工事については入札	 □ 核 勿及び各 □ 環境を □ 高 ± や安全 □ 高 二方式を 元 。	設備の老朽化に 整えていくために 5める余地あり 性のために実施 5める余地あり 采用しており、機	エレベーター改修 工事 必要性が低い よる故障や一部がある。 も必要不可欠でする 一有効性が低い された工事であり、 一効率的ではない	エレベーター改修工事 機能不全が顕著にます。 、改修計画に基っ	づき実施しま 、 ないを考慮し、改
評	把握 必要性 有効性 効率性 総着市が行性 着目は 着に座るいと能	眼民にいか必生は、これののかい。 根にしていらのかいではある。 は、これではない。 は、これではない。 は、これでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	図必要性が高い 【理由】 本館、新館ともに建り 執務室内の最低限の 図有効性が高い 【理由】 施設利用者の利便性 す。 図効率的である 【理由】 工事については入札 修工事を実施します 見直し(□改善: 【課長名: 小澤 ■	、 □ 様 勿及び各を動 の環境を動 上や安全・ 上方式を持 の の の の の の の の で の で の で の の に の の の の の の の の の の の の の	設備の老朽化に整えていくために 5める余地あり 性のために実施 5める余地あり 采用しており、機 □ 縮小 □ 統合 】	エレベーター改修工事 ②必要性が低い よる故障や一部がある。 「有効性が低い された工事であり、 ③効率的ではない 器の耐用年数やラ	エレベーター改修 工事 機能不全が顕著に す。 、改修計画に基・ ライフサイクルコン 「一終了 □休」	づき実施しま 小を考慮し、改 止 □廃止
評	把握 必要性 有効性 効率性 総合着市が行性 着目は 着に座ること能 今後	眼民に政生は 眼的る RANCIL 間続 (大) にいか必生は あっとか (大) のか (大) では (大) のか (大) では (大) で	図必要性が高い 【理由】 本館、新館ともに建り 執務室内の最低限の 図有効性が高い 【理由】 施設利用者の利便性 す。 図効率的である 【理由】 工事については入札 修工事を実施します 見直し(□改善: 【課長名: 小澤 間 改修工事により、利利	、 □ 核 勿及境を動 はや安全 □ 記 立。	設備の老朽化に整えていくために 5かる余地あり 性のために実施 5かる余地あり 採用しており、機 口縮小 口統合 1 便性・安全性の	エレベーター改修工事 ②必要性が低い よる故障や一部がある必要不可欠でです。 「有効性が低い された工事であり、 ③効率的ではない 器の耐用年数やラー 「拡充) ②継続 ために継続して事	エレベーター改修 工事 機能不全が顕著に す。 、改修計画に基・ ライフサイクルコン □終了 □休 業を進める必要	づき実施しま へいを考慮し、改 止 □廃止 があります。
評	把握 必要性 有効性 効率性 総合着市対行幣 着目は 着に率る・と能 今後	眼民にいか必生は、これののかい。 根にしていらのかいではある。 は、これではない。 は、これではない。 は、これでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	図必要性が高い 【理由】 本館、新館ともに建り 執務室内の最低限の 図有効性が高い 【理由】 施設利用者の利便性 す。 図効率的である 【理由】 工事については入札 修工事を実施します 見直し(□改善: 【課長名: 小澤 ■	、 □ 核 勿及境を動 はや安全 □ 記 立。	設備の老朽化に整えていくために 5かる余地あり 性のために実施 5かる余地あり 採用しており、機 口縮小 口統合 1 便性・安全性の	エレベーター改修工事 ②必要性が低い よる故障や一部がある必要不可欠でです。 「有効性が低い された工事であり、 ③効率的ではない 器の耐用年数やラー 「拡充) ②継続 ために継続して事	エレベーター改修 工事 機能不全が顕著に す。 、改修計画に基・ ライフサイクルコン □終了 □休 業を進める必要	づき実施しま へいを考慮し、改 止 □廃止 があります。
評	把握 必要性 有効性 効率性 総合評 着市対行慄 着目は 着ご率る・と能 今改	眼民に政生は 眼的る RANCIL 間続 (大) にいか必生は あっとか (大) のか (大) では (大) のか (大) では (大) で	図必要性が高い 【理由】 本館、新館ともに建り 執務室内の最低限の 図有効性が高い 【理由】 施設利用者の利便性 す。 図効率的である 【理由】 工事については入札 修工事を実施します 見直し(□改善: 【課長名: 小澤 間 改修工事により、利利	、 □ 核 勿及境を動 はや安全 □ 記 立。	設備の老朽化に整えていくために 5かる余地あり 性のために実施 5かる余地あり 採用しており、機 口縮小 口統合 1 便性・安全性の	エレベーター改修工事 ②必要性が低い よる故障や一部がある必要不可欠でです。 「有効性が低い された工事であり、 ③効率的ではない 器の耐用年数やラー 「拡充) ②継続 ために継続して事	エレベーター改修 工事 機能不全が顕著に す。 、改修計画に基・ ライフサイクルコン □終了 □休 業を進める必要	づき実施しま へいを考慮し、改 止 □廃止 があります。
評	把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前着市が行使 着目は 着い率るいと能 今() 一 同	眼民には対しているのかは、 はいには、 はいののかい はいののかい はいののかい ない はい	図必要性が高い 【理由】 本館、新館ともに建り 執務室内の最低限の 図有効性が高い 【理由】 施設利用者の利便性 す。 図効率的である 【理由】 工事については入札 修工事を実施します 見直し(□改善: 【課長名: 小澤 間 改修工事により、利利	、 □ 核 勿及境を動 はや安全 □ 記 立。	設備の老朽化に整えていくために 5かる余地あり 性のために実施 5かる余地あり 採用しており、機 口縮小 口統合 1 便性・安全性の	エレベーター改修工事 ②必要性が低い よる故障や一部がある必要不可欠でです。 「有効性が低い された工事であり、 ③効率的ではない 器の耐用年数やラー 「拡充) ②継続 ために継続して事	エレベーター改修 工事 機能不全が顕著に す。 、改修計画に基・ ライフサイクルコン □終了 □休 業を進める必要	づき実施しま へいを考慮し、改 止 □廃止 があります。
一	把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前着市が行使 着目は 着い率るいと能 今() 一 同	眼民に政生 眼的る 根外に 間続	図必要性が高い 【理由】 本館、新館ともに建り 執務室内の最低限の 図有効性が高い 【理由】 施設利用者の利便性 す。 図効率的である 【理由】 工事については入札 修工事を実施します 見直し(□改善: 【課長名: 小澤 間 改修工事により、利利	、 □ 核 勿及境を動 はや安全 □ 記 立。	設備の老朽化に整えていくために 5かる余地あり 性のために実施 5かる余地あり 採用しており、機 口縮小 口統合 1 便性・安全性の	エレベーター改修工事 ②必要性が低い よる故障や一部がある必要不可欠でです。 「有効性が低い された工事であり、 ③効率的ではない 器の耐用年数やラー 「拡充) ②継続 ために継続して事	エレベーター改修 工事 機能不全が顕著に す。 、改修計画に基・ ライフサイクルコン □終了 □休 業を進める必要	づき実施しま へいを考慮し、改 止 □廃止 があります。
評価	把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前方 一 一 一 前方です。 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	眼民に政性 眼的る ほんに 間統	図必要性が高い 【理由】 本館、新館ともに建り 執務室内の最低限の 図有効性が高い 【理由】 施設利用者の利便性 す。 図効率的である 【理由】 工事については入札 修工事を実施します 見直し(□改善: 【課長名: 小澤 間 改修工事により、利利	、 □ 様	設備の老朽化に整えていくために 5かる余地あり 性のために実施 5かる余地あり 採用しており、機 口縮小 口統合 1 便性・安全性の	エレベーター改修 工事 □必要性が低い よる故障や一部がある。 □有効性が低い された工事であり、 □効率的ではない 器の耐用年数やラー □拡充) 図継続 ために継続して事語し、事業を計画的	エレベーター改修 工事 機能不全が顕著に す。 、改修計画に基・ ライフサイクルコン □終了 □休 業を進める必要	づき実施しま へいを考慮し、改 止 □廃止 があります。
評価 と と と と と と と と と と と と と と と と と と と	把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前方 対 (・対・要 (・は 第17年の)と能 今(同向 応 清市が行使 着目は 第17年の民のか 谷改 にして 状	眼民に政性 眼的る ほんに 間続 の善 し改 兄(図必要性が高い 【理由】 本館、新館ともに建物 執務室内の最低限の 図有効性が高い 【理由】 施設利用者の利便性 す。 図効率的である 【理由】 工事については入札 とま事を実施します 見直し(□改善: 、一、、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	、 □ 様	設備の老朽化に整えていくために 5.める余地あり 性のために実施 5.める余地あり 採用しており、機 1 1 1 1 ((((((((((エレベーター改修 工事 □必要性が低い よる故障や一部がある。 □有効性が低い された工事であり、 □効率的ではない 器の耐用年数やラー □拡充) 図継続 ために継続して事語し、事業を計画的	エレベーター改修 工事 機能不全が顕著に す。 、改修計画に基・ ライフサイクルコン 一終了	づき実施しま へいを考慮し、改 止 □廃止 があります。
評価	把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前方 対 (・対・要 (・は 第17年の)と能 今(同向 応 清市が行使 着目は 第17年の民のか 谷改 にして 状	眼民に政性 眼的る 限//に 間続 の善 た改 兄・施 ここて関あ らしか ※行 を連 方等 今善 実の ここで のか 効 等で 他携 向り 後策 施理 であめ サイン のか り	図必要性が高い 【理由】 本館、新館ともに建物 執務室内の最低限の 図有効性が高い 【理由】 施設利用者の利便性 す。 図効率的である 【理由】 工事については入札 とま事を実施します 見直し(□改善: 、一、、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	、 □ 様	設備の老朽化に整えていくために 5.める余地あり 性のために実施 5.める余地あり 採用しており、機 1 1 1 1 ((((((((((エレベーター改修 工事 □必要性が低い よる故障や一部がある。 □有効性が低い された工事であり、 □効率的ではない 器の耐用年数やラー □拡充) 図継続 ために継続して事語し、事業を計画的	エレベーター改修 工事 機能不全が顕著に す。 、改修計画に基・ ライフサイクルコン 一終了	づき実施しま へいを考慮し、改 止 □廃止 があります。

市 3	女 市 类 夕	何坦ミュフ	テム等運用事業		~ 1 133 1 3144		整理No.	23
				de ₹kr∋m		= 1 1 + = 4		
所	属 名	部 総務		庶務課		記入者 戸井		215
上 位	拉施策名	分野 都市	経営	中柱 行政	での情報化	小柱 行政	女運営の高度化・式	迅速化
	事業開始	年度 平成	16 年度 根拠	法令等				
	事業終了	年度 令和	年度	: (A) 1)				
	交	† 象	□高齢者□	障害者	□個人 □世帯	□団体 ☑全	ての人 □その他	
		対象としている	るか) (具体的に)					
	目標(対象	えをどのよう	うな状態にするために	当該事業	美を行っているか	、具体的な目標	雲(数値)など。)	
	坂戸市の	例規集をラ	ータベース化するこ	とにより、	職員が個々のパ	ソコンで例規集	を検索することが	
			事務の効率化を図り、	また、例	規集を市のホー	ムページに掲載	することにより、市	民等に対し行
	- '	スの向上を						
事 			・活動内容など、目的				16 Alc 88 2 An 2 2 15 15 1	ロンシャンチンギ
務			・ス化し、条例等の新 市民閲覧用として、「				援配寺を加えた例 ₂	児ンスアムを 導
	/ (() () a	K) 0 &/C\	、中区開発用ことで	11024	一			
事		-	//	224 LL	令和2年度	令 和	13年度	令和4年度
業		区	分	単位	実績(決算)		実績(決算)	計画(予算)
	指標①	データの夏	更新	口	4		4 4	4
の	指標②	ホームペー	ージの更新	口	4	. 4	4	4
概	指標③							
			年4回データを更新	し、市民だ	が坂戸市の最新	の例規を閲覧す	ることができました	-0
要	指標に対す	する達成度	7 2 2 7 7 2 7 7 7 1		307 11 2 200	- 1 1/98 C 1/4 98 7	3227 (233)	-0
	総①	事業	男 見	千円	983	984	983	984
	事 財	特定財源(国県支出金・その他)	千円				
	書	一般財源		千円	983	984	4 983	984
	• ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	員数		人	0.02	0.02		0.02
		人件费		千円	99			99
	スト	総事業	費 ①+②	千円	1,082		3 1,082 † 更新データの送付	1,083
	把 握	事業	の年度別実施内容		文·/// / 少达日	文·例 / / / / / / / / / / / / / / / / / / /		文柳 / / / / / / / / / / / / / / / / / / /
			口以再件以言	. 🗖	\=\			
	(着眼	えん) ニーズに	☑ 必要性が高い 【理由】	' 口છ	食討の余地あり	□必要性が低い		
	要対応し	しているか	例規については、市	民の権利	J·義務、市民生	活に関係する内	容等を規定するも	のであるため、
	性·行政	関与の必	体系的に整理し、職	員や市民	とが容易に閲覧で	できるようにしてお	さくことが必要であ	ることから、例
	要性(はあるか	規をデータベース化	し、ホーム	ムページ等から関	閲覧できるように	することが必要でる	あると考えます。
	/ ¥ □□	. F.\	☑ 有効性が高い	≒□	あめる余地あり	□ 有効性が低い		
_	有 (着眼		【理由】	10 奈 光 1マ	同田の松声ぶる	キファ Lのほふ	中)。 371.7	たけれた問題と
	効はある		データベース化によることができることから					
次	-			- (1) - (1)	102 - 1			31,70
評	(着眼,	点)	☑ 効率的である	口高	あめる余地あり	□ 効率的ではない	١	
 		、業務面等効 執行できてい	/ 理由】					
価	率 るか		令和元年12月から、	サーバを	と借り上げるので	はなく、LGWAN	I-ASPサービスを利	川用することで
	との統	合・連携が可	大幅にコストを節減っに運用できています		でき、改正文の	作成機能等の新	たな機能も追加し	ており、効率的
	能か						D D	
	総		見直し(図 改善・ 【課長名:石川 健語		□稲小 □ 統合	□ 払允) □ 継	続 □終了 □休	止 □廃止
		の方向性	例規システム等運用		2約期間が令和6	6年11月30日ま	でとなっているため	り、それまでは
	評 (改善価	策等)	現状のまま事業を継	続し、契約	約の更新時には	、国通知等の検	索機能等の新たた	
	ІШ		含め、職員の事務の	効率化に	こつながるよう十分	分検討したいと	思います。	
		- A% A						
	前回示した	こう伎の						
改	前回示し# 方向性(改							
改善	方向性(改	(善策等)	□実施済(中)		部実施 □ 検言	寸中 □未実績	布 □その他	
		(実施内	□実施済(中)		部実施 □ 検言	寸中 □ 未実施	布 □その他	

事者	務事業名	選挙啓発					3	整理No.	24
所	属 名	部 総務	部	課 庶務課		記入者 五	工十嵐 正義	内線	216
上1	位施策名	分野 都市	経営	中柱 市民	参加の機会拡大に向けた	取組 小柱 政	(策形成への)参画	
	事業開始	年度 昭和	35 年度	1= U 1 A 65	公職選挙法第6条	ž.			
		年度 令和		根拠法令等					
				者 □障害者	□個人 □世帯 □	□団体 ☑ ⊴	全ての人] その他	
	ダ (誰、何を対	す 象 対象としている	るか)(具体的に)	有権者及び将	来選挙権を有する	ようになる人	を対象にし	ています。	。明るい選挙啓
	日標(対象	きをどのよう			ついては、小・中学 を行っているか、 :				£ 9 .
					台意識の向上を推				Eに行われるよ
	うにします	0							
۱	Alle 100 000	·- ·- · -							
争					るために何をして		ピッカ. \ナ、ヤ	古佳 1 1	温加りた古金
務					てつポスター(明るい 人式等のイベントで				
 事					-ムページなどの積				
争 		区	分	単位	令和2年度		和3年度		令和4年度
業	# I= @				実績(決算)	計画(予算	·	決算)	計画(予算)
၂			物資の貸出し	件	4		5	3	5
	指標②	啓発ポスタ	ター応募者数	人	0	1	100	84	100
概	指標③								
要	指標に対す	する達成度			芯募者数は、令和2				
^					達しており、明るい			発を進め	
		事業	頁 国県支出金・その	千円 他) 千円	Ü		12	7	20
	業源	一般財源	国示文山亚。(0)	千円			12	7	20
	杏	員数		人	0.00		10	0.10	0.10
		人 件 費		千円	0	4	197	497	497
	ス ト	総事業	費 ①+②	千円	0	-	509	504	517
	把	事業	の年度別実施内	内容	模擬選挙物資の貸 居出し、ホームペー 身	募集、模擬選挙	物募集、模拟	疑選挙物	募集、模擬選挙物
	握 					資の貸出し等	資の貸出	し等	資の貸出し等
	(着眼	見点)	✓必要性	≦が高い ∐検	診討の余地あり	☑必要性が低	()		
	が ・市氏 要 対応!	ミニーズに しているか	行政が関与する	ることにより、政	治的中立性のある	啓発ができる	ると考えられ	ます。	
	性 ・行政	対関与の必							
	安性	はあるか							
	_右 (着眼	3占/	☑有効性	が高い □高	ある余地あり	有効性が低し	L1		
l _	か・目的	りとした効	【理由】 ポスターコンク・	ールについてに	は、児童・生徒が選	挙について	老うろ機会り	-ナンり ス:	選作品を展示
	性果は	あるか			こ寄与しています。				
次			明るい選挙の第	長現に向け貢献	けしています。				
評	(着眼)	*************	□効率的	である 📝 意	らめる余地あり [■効率的ではな	はい		
/	効 率的に	、未務面寺幼 :執行できてい	【理田】	の砂型の中を	マタナルのエナナ	₩ファ l - ☆ - r	4.田の白し	ナ、IVI ファ 1	ば 21 声 云よフ
価 	率 るか 性 : 民間:	委託や他事業	おに石い世代と考えられます。	への合発の内名 、	客や方法の工夫を	図ることで、た	以未の円上で	と図ること	こが必要である
	·— との統 能か	合・連携が可							
	40		見直し(🏻	改善•効率化	□縮小 □統合 □	」拡充) ☑:	継続 □終	了	上 □廃止
	総 合 今後	の方向性	【課長名: 石川				on It then		No all dates and a second
		(新等)			上や明るい選挙の 事業を継続する必			いては、	常時行うことが
	価		エス、いハヿ		- / / C / PE/// 7 · 0 / 2 / 2 / 2 / 2 / 2 / 2 / 2 / 2 / 2 /	· 🌣 () () () () ()	, 0		
	前回示した	ト会後の							
改	前回ホロ 方向性(ご								
善			□実施済	*(由)	部実施 □検討中	中□未到	実施 □	その他	
				1 (1)					
	対応状況		山天心	1017	_		_		
	対応状況 容、未実が 今後の予	をの理由、	山天地が		_				

事	務事	業名	平和	行政	事業									整理No.	25
所	属	名	部	総務	部		課原	法務課			記入	者 宇津	江	内線	214
上	位 施	策名	分野	都市	経営			1柱 平和	和行政の	推進	/]	卜柱 平和	意識の	高揚	
	事業	美開始	年度	平成	11	年度	+日 +加;	法令等	坂戸市	7平和都	市宣言				
	事業	終了	年度	令和		年度	仅炒	法卫守							
				象		□高齢者	5	障害者	□個人	□世帯	□団体	✓ 全て	の人	□その他	
	(誰	、何を対	対象とし	ている	らか) (.	具体的に)	全市民	5							
						態にするた									
	世介	唯一	の彼り	暴国と	:して、/!	風化してい	\〈悲'	廖な戦 [・]	争を顧み	メ、仏く巾	民に平	相意識の	高揚を	凶ります。	
事						内容など、									
務															と庁舎及び図書 対しました。
	МН	、废小	しまし	/こ。 J	:/c,/1\	子仪1仪	仁饭及	茶付り/トノ	オイリ_	_ 匹ળ	제조11 v	、小子生	こにりい	一つ て他型	りしました。
事				IJ.	Δ			出片	令利	12年度		令和:	3年度		令和4年度
業				区=4.3%	分	. La-Hell	,	単位	実績	(決算)		(予算)	実績	(決算)	計画(予算)
 の		標①	平和	啓発7	ボスター	ーの応募数		点		(100		147	
		標②	平和写真	パネル・オ	ポスターの展え	示の開催日数/施	設数	∃/施設	:	15/2	2	16/2		24/2	24/2
概	指	標③			च7 ≨n iby	₹ ポッカー!	고 4년/표	ままし 雨式 たっ	1.同で名/	の内質がお	・いナート	たの 中 かた	7、記/七日	コ 1. ボチn 乍 T	真パネルを庁舎及
要	指標	に対っ	する達		び図書館										具ハイルを庁舎及 を図ることができま
	総	1	事		した。 費			千円		6	3	20		14	20
	事	• • •			国県支は	出金・その	他)	千円							
	業 費		一般					千円		0.10		20		0.20	
			員 数		į			人 千円		0.10 497		0.20 993		0.20 993	0.20 993
	ス	٧		事業		1)+2		千円		503	3	1,013		1,007	1,013
	ト把提			事業	の年度	別実施内]容		示、被爆	トラフィー・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・・・・・・・・・・・・・・・	展示、平	和講演会	展示、被	皮爆樹木ア	平和啓発ポスター 展示、平和講演会
_	握					✓ 必要性	・ が 幸 ハ		ギリ二世 検討の余り	- 11-12-12-1	の開催等	^争 性が低い	オキリー	.世の植樹	の開催寺
	必	(着眼 •市月	見点) ミニー:	ズに	【理由】		.//)'同 v ·	1	快 の の 不 が	世のソ	□」业女	当生ルコムい			
	要	対応	してい	るか	戦後7	5年余りか	「経過	し、戦中	中•戦後(の労苦を	知らない	世代が増	曽えてき キュセ 亚ュ	ています	。過去の悲惨な 言を宣誓してお
	ÏΞ		はある			和な社会									
						☑有効性	が高い	ī	高める余地	もあり	□ 有効'	性が低い			
	有	(着眼	見点) りとした	灬	【理由】]							. 24 4		A 311 62 341 .
_	効 性		あるか												こついて学ぶ機会 多くの市民の平和
次						高揚が図									
 評		(着眼				✓ 効率的	である	ī	高める余地	也あり	□ 効率	的ではない			
	効	率的に	、業務i 執行で	面等効 きてい	【理由】]		*	' [aut :	- V. E A :	~\c \) = hn	\/\-	!· ^ =¼-) \		·
 価	率 性	るか •民間	委託や作	也事業	平成22	2年に平和	業」を活	舌用して	小学校~	~被爆樹>	木の植樹	を実施して	いるため	め、コスト配	でいる「被爆樹木 面において効率的
	1-	との統 能か	合∙連携	∮が可	に執行	できたと考 のパネルを	きえてま	おります。	また、平	和写真バ	ペネルの風	展示の際に	は、埼3	E県平和資	資料館から空襲被
	4//					でファイネッショ 直し(□i								冬了 休	:止 □廃止
	総合	今後	の方向	1性	【課長:			 健吾	-	】 ≠n≢æ冷∠	へ 明 促	よいいよ す	TF#n (N)-	上川そのん	ニネの非縁が能
	評		策等		争の記	己憶の風化	匕防止	のため	に必要で	であると考	きえられ、				云承や悲惨な戦 対する意識を啓
	価				発•醸	成するたる	めに事 	「業を実	施してる	まいります 	·				
			た今後												
改]性(3	女善 策	等)											
善状		3状況	(実施	i内		実施済	(中)		-部実施	□検討	讨中	□未実施		その他	
況	容、	未実	施の理	1											
	田、	⇒後(の予定	-寺)											

争す	务事 業	名	ICT•	デー	タ活月	用推進	事業							整理No.	26
所	属	名	部	総合	政策部	13	課	情報政策	策課		記入者	砂川	和宏	内線	172
上化	立施 策	名	分野	都市	経営			中柱 行	政の情報	化	小木	主 行政	運営の	高度化·i	迅速化
	事業問	開始	年度	平成	31	年	专		デジタ	ル社会用		:			
	事業組				6		根	拠法令等	E		用推進基本				
	尹木小	≋ 1	十尺	TJ	U	一高		障害者		世帯	_	ヾ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙ヾ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙	אט	□その他	
	/=#± 1:	文		象 アハス	: - /	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □				I E .ttt.		<u>□</u> ±0	,,,	CONTE	
		F"—	タの活	舌用や	AI·Io	T等の					、具体的 り、市民サ				題の解決に資
						~									
_	事業概	要認	(取組	内容	•活動	内容な	ど、目	的を達成	するため	に何をし	ているか。)			
事															向上や行政課題
務															コボットによる自動 減額となったた
	め、6,6						当てた	クムり。ヨ	177]] 异(3	7,344	1 (U/L//-,		日生建	:四貝四/パィ	成領になった。
事業				区	分			単位		12年度 (決算)	計画(3	令和3 予算)		(決算)	令和4年度 計画(予算)
本	指標	1	AI-C	CR道	用業	務数		業務		()	15		14	18
の	指標	2	RPA	適用剤	業務数			業務		(3	10		15	19
4пт	指標	3	AIチ	ヤット	ボット門	聞い合ね	つせ数	件		38,503	3	53,904		50.935	66.216
概要					各課へ た、AI	へのヒア! チャット	リングや ボットへ	・導入効果 ・の問い合	わせ件数	・ どを行い、 について	AI-OCR•I	RPAによ ュナウイル	レス関連	の自動化を	:図りました。ま わせが増加した
	415	1	事	業		7日71里71	·> [·0]	千円	20 m1 4 . □ 4	12,679		6,691		6,689	8,241
	総	0	•		_	出金・そ	の他)			7,069		0		0	0
		源	一般	財源				千円		5,610)	6,691		6,689	8,241
	費服	戦 .	員 梦	数				人		0.80		1.50		1.50	1.50
		2	人(牛 費				千円		3,972	2	7,448		7,448	7,448
	ス		総	事 業	費	1)+2	ı	千円		16,651		14,139		14,137	
	ト 把 握			事業	の年度	度別実加	拖内容		用、AI-(OCR•RPA	用、AI-OC	R・RPA テキスト	用、AI-0	OCR・RPA テ声テキスト	AIチャットボット・音 声テキスト化システ ム運用、AI-OCR・ RPA拡大
	(着眼	(点)			✓ 必要	要性が高	ζ()	検討の余地	はあり	必要性:	が低い			
	必 · 要 対	市民 小応し	ニー: してい 【関与	るか		ァットボッ									ことが可能となることで、市民
	曼	更性(はある	か	サーヒ	ごスの向	1上や	事務の効	率化が可	能となり	ました。				
	有 ⁽	着眼	(点)		【理由		性が高	lı 🗸	高める余地	あり	□有効性が	が低い			
一 次	~ ~ .]とした あるか		AI-O	CR∜R		箇用業務? ています。		ることで、	業務負荷	の軽減	、人為日	的ミスの防	方止、時間外業
評		着眼,				対率	≦的である	5 ✓	高める余地	あり	□効率的	ではない			
価	率を性と	図的に か 民間		きてい	計4,3	年度は 96時間	の手作	作業時間?	Aの導入し を削減す ぶできると	ることがっ	できました。	/ピュー 適用業	·タ処理 達務数を	!に置き換 :拡大する	えることで、合 ことで、より多く
	総			- I d		直し(:名 : 大:		·効率化 哲也】	□縮小	──統合	✓拡充)	█継続		§了休	止 □廃止
			の方向 策等		務の抗	印制等	を図りる	ます。また	なを拡大す こ、音声テ 事務の効	キスト化	システムの	苛の軽減 活用を	域、人為 促進し	ら的ミスの 、会議録の	防止、時間外業 の作成等に要す
改	前回元 方向性			えり		卯制等? ます。	を図りる	ます。また _	、今後は	音声テキ	テスト化シス		導入し	、さらなる	防止、時間外業 事務の効率化
善状況	対応物容、未 今後 <i>0</i>	実別	色の理	∄由、	制等を	$\overline{CR \cdot RP}$	した。	用業務数			負荷の軽減		的ミスの		間外業務の抑 更する時間の縮

事 剤	系事 業 名	庁内ネッ	トワーク基盤整ん	備事業			整理No.	27
所	属 名	部 総合	政策部	课 情報政策	課	記入者 石原	遊 内線	172
 ⊢/ः	5 体 笙 夕	分野 都市		由#行動	の情報化	小	な行政サービスの	カ掲冊
				中性11以			は行政グーレス	がに氏
	事業開始	年度 平成	27 年度	根拠法令等	坂戸市デジタル	行政推進計画		
	事業終了	年度 令和	6 年度	以泛及口寸	坂戸市情報セキ	ーュリティポリシー	-	
		. 4	□高齢者	□障害者	□個人 □世帯	□団体 ☑全で	の人 □その他	
		対 象 対象としている	— るか) (具体的に)		_ _		_	
			(2011 #21 =7					
			うな状態にするたる					
			や無線LAN等に					
	す。また、速化を図		ットを閲覧できる弱	京児を整備し	、情報収集や市	天からの 間合せ	への対応等、事	第00
	,							
事	事業概要	(取組内容	・活動内容など、	目的を達成す	るために何をし	ているか。)		
747			帯します。また、市民か					
務			事務の効率化を図り、 更に柔軟に対応できる		同上を目指します。	さらに、無線LAN	等に対応したネットリ	ーク環境を整備し、
事			でしたが、通信運搬費		機器借上料の減額の	ため、63,724千円	に補正しています。	
#		区	Λ	単位	令和2年度	令和	3年度	令和4年度
業			分	中位	実績(決算)	計画(予算)	実績(決算)	計画(予算)
	指標①	ネットワー	ク稼働率	%	100.0	99.9	100.0	99.9
の	指標②							
概	指標③							
	16.12E (- 2)	<u> </u>	令和3年度は保守	宇を除くネット	ワーク停止はなく	、稼働率100%	を達成しました。	
要	指標に対	する達成度						
	総①	事業	*	千円	58,227	63,724	63,541	77,444
	事財		≂ 国県支出金・その他		30,221	00,72	00,041	77,111
	AIL	一般財源		千円	58,227	63,724	63,541	77,444
	弗 ""	員数		人	0.20	0.70		0.40
		人件費	<u>.</u>	ス 千円	993	3,476		1,986
	コ(2)ス	総事業		千円	59,220	67,200	· ·	79,430
		総 争 未		TH	39.220	07.200		
	_							•
	ト 把	車業			機器更改、運用			機器・ファイル転送システム更改、
		事業	の年度別実施内容					機器・ファイル転
	把 握 			容				機器・ファイル転 送システム更改、
	把 握 (着II	見点)	の年度別実施内 ② 必要性が	容	機器更改、運用	機器更改、運用		機器・ファイル転 送システム更改、
	把握 《着眼 必 · 市瓦 要 対応	艮点) 民ニーズに しているか	の年度別実施内: ☑必要性が 【理由】 市民からの問合	容 が高い □ 検 せ等に迅速に	機器更改、運用 討の余地あり 二対応できるよう、	機器更改、運用 ②必要性が低い インターネット 3	機器更改、運用	機器・ファイル転送システム更改、選用
	把握 《着眼 的 一	限点) 民ニーズに しているか 女関与の必	の年度別実施内: 「図必要性が 【理由】 市民からの問合・ 化を図り、住民サ	容 が高い □ 様 せ等に迅速に -ービスの向_	機器更改、運用 討の余地あり こ対応できるよう、 上を図っています	機器更改、運用 ②必要性が低い インターネット 。	機器更改、運用	機器・ファイル転送システム更改、運用
	把握 《着眼 的 一	艮点) 民ニーズに しているか	の年度別実施内: 「図必要性が 【理由】 市民からの問合・ 化を図り、住民サ	容 が高い □ 様 せ等に迅速に -ービスの向_	機器更改、運用 討の余地あり こ対応できるよう、 上を図っています	機器更改、運用 ②必要性が低い インターネット 。	機器更改、運用	機器・ファイル転送システム更改、運用
	把握 《着眼 的 一	限点) 民ニーズに しているか 女関与の必	の年度別実施内: ②必要性が 【理由】 市民からの問合・ 化を図り、住民サまた、公衆無線L	容 が高い □ 様 せ等に迅速に -ービスの向_ ANの導入に	機器更改、運用 試の余地あり 二対応できるよう、 上を図っています より、直接の市民	機器更改、運用 ②必要性が低い インターネット この利便性の向	機器更改、運用	機器・ファイル転送システム更改、運用
	把握 必要性 右	艮点) 民ニーズに しているか 女関与の必 はあるか	の年度別実施内: ②必要性が 【理由】 市民からの問合・ 化を図り、住民サまた、公衆無線L ②有効性が	容 が高い □ 様 せ等に迅速に -ービスの向_ ANの導入に	機器更改、運用 試の余地あり 二対応できるよう、 上を図っています より、直接の市民	機器更改、運用 ②必要性が低い インターネット 。	機器更改、運用	機器・ファイル転送システム更改、運用
_	把握 必要性 有効 第一次 第一条	限点) 民ニーズに しているか 女関与の必 はあるか 艮点)	の年度別実施内: ②必要性が 【理由】 市民からの問合・ 化を図り、住民サまた、公衆無線L ②有効性が 【理由】	容 が高い □様 せ等に迅速に -ービスの向_ ANの導入に (高い □ 高	機器更改、運用 討の余地あり 二対応できるよう、 上を図っています より、直接の市民 ある余地あり	機器更改、運用 ②必要性が低い インターネット の利便性の向 □ 有効性が低い	機器更改、運用 環境を整備するこ とを図っています	機器・ファイル転送システム更改、運用
_	把握 必要性 右	限点) 民ニーズに しているか 女関与の必 はあるか 艮点)	の年度別実施内: ②必要性が 【理由】 市民からの問合・化を図り、住民サまた、公衆無線L ②有効性が 【理由】 庁内ネットワーク: 務を行うことが可	容 が高い □様 せ等に迅速に 一ビスの向_ ANの導入に 高い □ 同 基盤を整備す 能となってい	機器更改、運用 対応できるよう、 とを図っていますより、直接の市民 ある余地あり することで、庁内でます。また、イング	機器更改、運用 ②必要性が低い インターネット のの利便性の向 「有効性が低い での情報共有が ターネット利用環	機器更改、運用 環境を整備するこの 上を図っています 可能となり、迅速 環境を整備すること	機器・ファイル転送システム更改、運用とで事務の効率。
- 次	把握 必要性 有効	限点) 民ニーズに しているか 女関与の必 はあるか 艮点)	の年度別実施内: ②必要性が 【理由】 市民からの問合・ 化を図り、住民サまた、公衆無線L ②有効性が 【理由】 庁内ネットワーク:	容 が高い □様 せ等に迅速に 一ビスの向_ ANの導入に 高い □ 同 基盤を整備す 能となってい	機器更改、運用 対応できるよう、 とを図っていますより、直接の市民 ある余地あり することで、庁内でます。また、イング	機器更改、運用 ②必要性が低い インターネット のの利便性の向 「有効性が低い での情報共有が ターネット利用環	機器更改、運用 環境を整備するこの 上を図っています 可能となり、迅速 環境を整備すること	機器・ファイル転送システム更改、運用とで事務の効率。
	把握 必要性 有効性 おりょう おりょう おりまかい ままり おりま おりま かんしょう おいま かんしょう かんしょう はんしょう かんしょう かんしょく かんしょう かんしょく かんしん かんしょく かんしゃ かんしん かんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん	限点) 民ニーズに しているか 対しちるか はあるか 見点した効果 るか	の年度別実施内: ②必要性が 【理由】 市民からの問合・化を図り、住民サまた、公衆無線L ②有効性が 【理由】 庁内ネットワーク: 務を行うことが可容易になり、高度	容 が高い □様 せ等に迅速に 一ビスの向_ ANの導入に 高い □ 高 基盤を整備す 能となっサー	機器更改、運用 対応できるよう、 とを図っていますより、直接の市民 ある余地あり することで、庁内でます。また、イング	機器更改、運用 ②必要性が低い インターネット環 の利便性の向 「有効性が低い での情報共有が ターネット利用環 ととなっています	機器更改、運用 環境を整備すること 上を図っています 可能となり、迅速 環境を整備すること	機器・ファイル転送システム更改、運用とで事務の効率。
一次評	把握 必要性 有効性 語目のでは 第1日のでは 明月のでは ままままます。	根点) 民二一 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	の年度別実施内: ②必要性が 【理由】 市民からの問合・ 化を図り、住民サまた、公衆無線L ②有効性が 【理由】 庁内ネットワーク: 務を行うことが高度 ②効率的で	容 が高い □様 せ等に迅速に 一ビスの向_ ANの導入に 高い □ 高 基盤を整備す 能となっサー	機器更改、運用 対応できるよう、 とを図っていますより、直接の市民 ある余地あり することで、庁内でます。また、イング	機器更改、運用 ②必要性が低い インターネット のの利便性の向 「有効性が低い での情報共有が ターネット利用環	機器更改、運用 環境を整備すること 上を図っています 可能となり、迅速 環境を整備すること	機器・ファイル転送システム更改、運用とで事務の効率。
評	把握 必要性 有効性 効	限点) 民ニーズに しているか はあるか はあるか 見たした か	の年度別実施内: ②必要性が 【理由】 市民からの問合・化を図り、住民サまた、公衆無線L ②有効性が 【理由】 庁内ネットワーク 務を行うことが可容易になり、高度 ②効率的で 【理由】	容 が高い □様 せ等に迅速に 一ビスの向_ ANの導入に 高い □ 高 基盤を整備す 能となっサー まな行政 □ 高	機器更改、運用 記対応できるよう、 とを図っていますより、直接の市民 ある余地あり いることで、庁内でます。また、イング ビスの提供が可能	機器更改、運用 □必要性が低い インターネット の利便性の向 有効性が低い での情報共有が ターネット利用環 ととなっています □効率的ではない	機器更改、運用環境を整備することを図っています可能となり、迅速浸境を整備すること。	機器・ファイル転送システム更改、運用 とで事務の効率 。 かつ安全に事 とで情報収集が
	把握 必要性 有効性 効率性 着目あ 最小的 間 しんの しょう しょう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい	R R R C C C C C C C C C C C C C	の年度別実施内: ②必要性が 【理由】 市民からの問合・ 化を図り、衆無人 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	容 が高い □様 せ等に迅速に 一ビスの向」 ANの導入に 高い □ 基盤を整備する を整でいせい である □ 基盤を整備する。	機器更改、運用 対応できるよう、 とを図って接の市長 がる余地あり たることで、庁内でます。また、が可能 がる余地あり たることで、庁内で がる余地あり	機器更改、運用 □必要性が低い インターネット の利便性の向 有効性が低い ごの情報共有が アーネット はないでいます この情報共有が でいない この情報共有が でいない この情報共有が	機器更改、運用環境を整備することを図っています可能となり、迅速環境を整備することであることであることである。	機器・ファイル転送システム更改、運用 とで事務の効率。 かつ安全に事ごで情報収集が
評	把握 必要性 有効性 効率性 着目あ 最小的 間 しんの しょう しょう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい	根点) 民二一ズに しているか はあるか はあるか 点) 大きなか 点) 条できる。 点) 条できる。	の年度別実施内: ②必要性が 【理由】 市民からの問合ではを図公・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	容 が高い □様 せ等に迅速に 一ビスの向人に ANの導 □ □ 基盤を整でする こを整備でいた。 はななする □ 値 はなるを整備でいた。 はなるを整備でいた。 はなるを整備でいた。 はなるを整備でいた。 はなるを整備でいた。 はなるを整備でいた。 はなるを整備でいた。 はなるを変化でする。 はなるをなるをなるをなるをなるをなる。 はなるをなるをなるをなるをなるをなる。 はなるをなるをなるをなるをなるをなるをなるをなるをなるをなるをなるをなるをなるをな	機器更改、運用 対応の余地あり こ対応できるよう、 とを図でででいった。 はめる余地あり いることで、 デイング ます。また、 が可能 はめる余地あり いることが可能 はめる余地あり たることがで、 たが可能 はかる余地あり たることがで、 たが可能	機器更改、運用 □必要性が低い インターネット時 ○の利便性の向 「有効性が低い ごの情報共有用ますとなった。」 「効率的ではない ごの情報としてが機	機器更改、運用環境を整備することを図っています可能となり、迅速環境を整備することであることであることである。	機器・ファイル転送システム更改、運用 とで事務の効率 。 かつ安全に事 で情報収集が 的に事務を行う 制しています。
評	把握 必要性 有効性 効率性 着目あ 最小的、関係	R R R C C C C C C C C C C C C C	の年度別実施内: ②必要性が 【理由】 市民からの問合・ 化を図分 有効性が また、公 有効性が 【理由】 庁内ネットワーク 務容易になり、高度 ②効率的で 【理由】 庁内ネ可能となった。 に 無線LAN	容が高い □様 せ等に迅速に ーービスの向」 ANの導入に 高い □ 高 基盤を整でいせ きなる □ 電 基盤を整ます。まり はでする □ 高 を整ます。より	機器更改、運用 記すの余地あり こ対応できるよう、 とを図直接の市ち はめる余地あり いることで、 たインバー はある余地あり いることが可能 はある余地あり います。また、が可能 はある余地あり た、事務効率の向	機器更改、運用 □必要性が低い インターネット この利便性の向 有効性が低い ごの情報共有用ますとなっています □効率的ではない ごの情報共生者が機上を図ることが可	機器更改、運用 環境を整備すること 上を図っています 可能となり、迅速 環境を整備すること 。 可能となり、効率に 可能となり、効率に でとなり、効率に ではとなり、効率に でいます	機器・ファイル転送システム更改、運用 とで事務の効率 。 かつ安全に事 で情報収集が 的に事務を行う 制しています。 す。
評	把握 必要性 有効性 効率性 着目あ 眼八郎 間が	R R R C C C C C C C C C C C C C	の年度別実施内: ②必要性が 【理由】 市民からの問合・サまた、公有効性が 【理由】 「行をでいるのでは、 「では、公のでは、 「では、公のでは、 「では、公のでは、 「では、公のでは、 「では、これでは、 「では、これでは、これでは、 「では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	容 が高い □様 せ等に迅速に 一ビスの入 □ □ ANの □ □ in 基盤を整でいます。 を整ます。より を変える □ in はままり、 はままり、 はままり、 できまり、 はままり、 はままり、 はままり、 できまり、 はまり、 はまりもももももももももももももももももももももももももももももももももももも	機器更改、運用 記すの余地あり こ対応できるよう、 とを図直接の市ち はめる余地あり いることで、 たインバー はある余地あり いることが可能 はある余地あり います。また、が可能 はある余地あり た、事務効率の向	機器更改、運用 □必要性が低い インターネット この利便性の向 有効性が低い ごの情報共有用ますとなっています □効率的ではない ごの情報共生者が機上を図ることが可	機器更改、運用 環境を整備すること 上を図っています 可能となり、迅速 環境を整備すること 。 可能となり、効率に でである。	機器・ファイル転送システム更改、運用 とで事務の効率 。 かつ安全に事 で情報収集が 的に事務を行う 制しています。 す。
評	把握 必要性 有効性 効率性 総合着	R R R C C C C C C C C C C C C C	の年度別実施内: 「図必要性が、「図必要性が、「型曲」の問題では、「型面」の自然を、「図をです。」のは、「型面」を表する。」を表する。「型面」を表する。」を表する。	容 が高い	機器更改、運用 討の余地あり 二対応できるよう、 とを図ででででの方法のの方法の方法の方法の方法の方法の方法の方法の方法を表す。 こます。という方式を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	機器更改、運用 ②必要性が低い インターネットでの 「有効性が低い での情報といるです。 の動作をはないです。 の情報といるではないです。 のではないです。 のではないですることとといる。 は充り はないが機能を はないができる。 はないが機能を はないが、機能を はないが、はないが、機能を はないが、機能を はないが、機能を はないが、機能を はないが、はないが、はないが、はないが、はないが、はないが、はないが、はないが、	機器更改、運用 環境を整備すること 上を図っています 可能となり、迅速と 環境を整備すること である。 であること である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。	機器・ファイル転送システム更改、運用 とで事務の効率。 かつ安全に事かで情報収集が 的に事務を行う制しています。 止
評	把握 必要性 有効性 効率性 総合評制 原心で性 着目あ 眼がい間が 会き	R. こしなは はい	の年度別実施内: 「図必要性が、「図必要性が、「関連」のでは、では、「関連」のでは、では、「関連」がある。 「関連」が、では、「関連」が、できる。 「関連」が、できる。 「対象できる。」 「対象できる。 「対象できる。」 「対象できる。 「対象できる。」 「対象できる。」 「対象できる。 「対象できる。」 「対象できる。 「対象できる。」 「はなる。」 「はなる。	容 「である」	機器更改、運用 計の余地あり	機器更改、運用 □必要性が低い インターネットでの一角効性が低い ごの一角効性が低い ごの一方効性が低い ごの一方が環中といるです。 この情ではない でのはない でのはない でのはない ではない ではな	機器更改、運用 環境を整備すること 上を図っています 可能となり、迅速 環境を整備すること 。 可能となり、効率に 可能となり、効率に でとなり、効率に ではとなり、効率に でいます	機器・ファイル転送システム更改、運用 とで事務の効率 のかつ情報収集が 的にしている。 いのを全に集が にまています。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
評	把握 必要性 有効性 効率性 総合着	RRL し 関 は	の年度別実施内: 「図必要性が、「図必要性が、「図必要性が、「理由」のの情報」のの情報を、「図を表する」では、「理内を表する」では、「理内を表する」では、「関係を表する」では、「関係を表する」では、「関係を表する」では、「関係を表する」では、「関係を表する」では、「関係を表する」では、「関係を表する」では、「関係を表する」では、「関係を表する」が、「関係を表する。「関係を表する」が、「関係を表する」が、「関係を表する。」が、「関係を表する。」が、「関係を表する。「関係を表する」が、「関係を表する。」が、「関係を表する。「関係を表する」が、「関係を表する。」が、「し、」は、「しいる。」が、「しいる。」が、「しいる。」は、しいる。」は	容 「「本」では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	機器更改、運用 対の余地あり こ対応図でではのででではのででではのででではのででででででででででででででででででで	機器更改、運用 □必要性が低い インター 体の 向いでの一方効性が低い での一方効性が低い での一方効性が低い での一方効性があること 「の情なることと 「ないないがった。」 ではない ではない ではない ではない ではない ではない ではない ではな	機器更改、運用 環境を整備すること 上を図っています 可能となり、迅速と で変にである。 可能は変質であること 可能となり、用いる。 可能はとなり、用います。 の強器能となっての強やでは、 は、一体では、 での線等の強化を	機器・ファイル転送システム更改、運用 とで事務の効率 。 かつ情報収集が いにして 事務を行う ににて を発収 を持て を発した。 は とともキュリ
評	把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 (・対・要 (・は 第二率ること能 今で) 開手応び性 単角あ 眼スがに関か 後き	RRL L by は Ry a share に かめ は Ry a share に かめ か か か か か か か か か か か か か か か か か	の年度別実施内: 「図必要性が、「図必要性が、「図必要性が、「理由」のの情報」のの情報を、「図を表する。」のは無いでは、「理内を表する。」のは、「理内を表する。」のは、「理内を表する。」のは、「関係を、、「関係を表する。」のは、「関係を表する。」のは、「関係を表する。」のは、「関係を表する。」のは、「関係を表する。」のは、「しきまる。」のは、「しまる。」。」のは、「しまる。」のは、「しまる。」のは、しまる。」のは、「しまる。」。」のは、「しまる。」のは、」。	容 「「本」では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	機器更改、運用 対の余地あり こ対応図でではのででではのででではのででではのででででででででででででででででででで	機器更改、運用 □必要性が低い インター 体の 向いでの一方効性が低い での一方効性が低い での一方効性が低い での一方効性があること 「の情なることと 「ないないがった。」 ではない ではない ではない ではない ではない ではない ではない ではな	機器更改、運用 環境を整備すること ではいますでは、 ではいますででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	機器・ファイル転送システム更改、運用 とで事務の効率 。 かつ情報収集が いにして 事務を行う ににて を発収 を持て を発した。 は とともキュリ
評	把握必要性有効性効率性総合評価前前肢応近性前肢のか見のか今0示前肢に近性前肢のか見のかの	RRL L by は R c l c l by は R c l c l by は R c l c l c l c l c l c l c l c l c l c	の年度別実施内: 「図必要性が、「図必要性が、「図必要性が、「理由」のの情報」のの情報を、「図を表する。」のは無いでは、「理内を表する。」のは、「理内を表する。」のは、「理内を表する。」のは、「関係を、、「関係を表する。」のは、「関係を表する。」のは、「関係を表する。」のは、「関係を表する。」のは、「関係を表する。」のは、「しきまる。」のは、「しまる。」。」のは、「しまる。」のは、「しまる。」のは、しまる。」のは、「しまる。」。」のは、「しまる。」のは、」。	容 「「本」では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	機器更改、運用 対の余地あり こ対応図でではのででではのででではのででではのででででででででででででででででででで	機器更改、運用 □必要性が低い インター 体の 向いでの一方効性が低い での一方効性が低い での一方効性が低い での一方効性があること 「の情なることと 「ないないがった。」 ではない ではない ではない ではない ではない ではない ではない ではな	機器更改、運用 環境を整備すること ではいますでは、 ではいますででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	機器・ファイル転送システム更改、運用 とで事務の効率 。 かつ情報収集が いにして 事務を行う ににて を発収 を持て を発した。 は とともキュリ
評 価	把握必要性有効性効率性総合評価前前肢応近性前肢のか見のか今0示前肢に近性前肢のか見のかの	RRL L by は Ry a share に かめ は Ry a share に かめ か か か か か か か か か か か か か か か か か	の年度別実施内: 「図必要性が、「図必要性が、「図必要性が、「理由」のの情報」のの情報を、「図を表する。」のは無いでは、「理内を表する。」のは、「理内を表する。」のは、「理内を表する。」のは、「関係を、、「関係を表する。」のは、「関係を表する。」のは、「関係を表する。」のは、「関係を表する。」のは、「関係を表する。」のは、「しきまる。」のは、「しまる。」。」のは、「しまる。」のは、「しまる。」のは、しまる。」のは、「しまる。」。」のは、「しまる。」のは、」。	容 「「本」では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	機器更改、運用 対の余地あり こ対応図でではのででではのででではのででではのででででででででででででででででででで	機器更改、運用 □必要性が低い インター 体の 向いでの一方効性が低い での一方効性が低い での一方効性が低い での一方効性があること 「の情なることと 「ないないがった。」 ではない ではない ではない ではない ではない ではない ではない ではな	機器更改、運用 環境を整備すること ではいますでは、 ではいますででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	機器・ファイル転送システム更改、運用 とで事務の効率 。 かつ情報収集が いにして 事務を行う ににて を発収 を持て を発した。 は とともキュリ
評価	把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前方に対・要 着目あ 眼ストハントロルが 後さ しに	RRL L by は Ry る 点、 t 表合 の を た と	の年度別実施内: 「図必要性が、「図必要性が、「図必要性が、「理由」のの情報」のの情報を、「図を表する。」のは無いでは、「理内を表する。」のは、「理内を表する。」のは、「理内を表する。」のは、「関係を、、「関係を表する。」のは、「関係を表する。」のは、「関係を表する。」のは、「関係を表する。」のは、「関係を表する。」のは、「しきまる。」のは、「しまる。」。」のは、「しまる。」のは、「しまる。」のは、しまる。」のは、「しまる。」。」のは、「しまる。」のは、」。	容 「	機器更改、運用 対の余地あり こ対応図でではのででではのででではのででではのででででででででででででででででででで	機器更改、運用 「必要性が低い 「なっとの利便が低い 「なっとの動性が低い 「なっとの動性が低い 「なっとの動性が低い 「なっとなっないではない でなっとなっないではない ではない	機器更改、運用 環境を整備すること ではいます。 ではいますが、迅をである。 ではいるでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	機器・ファイル転送システム更改、運用 とで事務の効率 。 かつ情報収集が いにして 事務を行う ににて を発収 を持て を発した。 はい のの を発して を表して を表して を表して を表して を表して を表して を表して を表
評価	把握必要性有効性効率性総合評価前方対局前上にでは第1率のよと能今0示性状計上にでは間もあ眼ストの、間が後きして況	RRL L by は Ry る 点、t 表合 の を た y に から な に から な な で も ま で も ま で も が で も が で も が 性 の 等 内 の の の の の の の の の の の の の の の の の	の年度別実施内: 「図・必要性が、	容 「	機器更改、運用 対の余地あり こ対を図でいる。からないででの接いでではのができるいででででででででででででででででででででででででででででででででででで	機器更改、運用 「必要性が低い 「なっとの利便が低い 「なっとの動性が低い 「なっとの動性が低い 「なっとの動性が低い 「なっとなっないではない でなっとなっないではない ではない	機器更改、運用 環境を整備すること ではいます。 ではいますが、迅をである。 ではいるでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	機器・ファイル転送システム更改、運用 とで事務の効率 。 かつ情報収集が いにして 事務を行う ににて を発収 を持て を発した。 はい のの を発して を表して を表して を表して を表して を表して を表して を表して を表
評価	把握必要性有効性効率性総合評価前方対局前上にでは第1率のよと能今0示性状計上にでは間もあ眼ストの、間が後きして況	RRL L by は Ry る	の年度別実施内: 「図・必要性が、	容 「	機器更改、運用 対の余地あり こ対を図でいる。からないででの接いでではのができるいででででででででででででででででででででででででででででででででででで	機器更改、運用 「必要性が低い 「なっとの利便が低い 「なっとの動性が低い 「なっとの動性が低い 「なっとの動性が低い 「なっとなっないではない でなっとなっないではない ではない	機器更改、運用 環境を整備すること ではいます。 ではいますが、迅をである。 ではいるでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	機器・ファイル転送システム更改、運用 とで事務の効率 。 かつ情報収集が いにして 事務を行う ににて を発収 を持て を発した。 はい のの を発して を表して を表して を表して を表して を表して を表して を表して を表

事	務事業	名	公共	施設	予約	サービ	ス事業	<u></u>					整理No.	28
所	属	名	部	総合	政策部	ß	課	情報政策	策課		記入	者 本田	内紛	172
上	位 施 策	名	分野	都市	経営			中柱 行	政の情幸	化	/]	注 高度	な行政サービス	の提供
	事業開	開始	年度	平成	27	年	度	160 s.L. A. 66	坂戸市	゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙	/行政推	進計画		
	事業終	を了	年度	令和	6	年	根: 度	拠法令等						
		女	†	5		高	齢者	□ 障害者	□個人	□世帯	□団体	✓ 全て	の人 □その他	
	(誰、何				らか)((具体的)	=)							
	月標(対象	きをど	のよ [:]	5な状態	態にす	るため	に当該事	業を行っ	っているか	、具体的	内な目標	(数値)など。)	
														を設予約・空き状
	況を確	認~	できる	サー	ビスを打	提供し	ます。							
事								的を達成					احمله	
務	巾氏で		ころの	川山上	(V) (C &)), 1/	ター不	ットで施記	文 丁がりか	川肥/よ畑	一段の拡	元を凶り	よ り。	
事														
争				<u>x</u>	分			単位		口2年度			3年度	令和4年度
業									実績	(決算)		(予算)	実績(決算)	計画(予算)
の	指標	_			施設数			施設		17		17		
	指標	_				能施設	送数	施設		17	•	25	17	7 25
概	指標	3	シスラ	テムカ	らの子			%		20.7		25.0		25.0
要	指標に	対す	する達	成度	空き状見しま	†況確詞 □ たぉ	認可能	施設を増	やすたる	り関係部	署に働き	かけまし	た。システムから より計画値に達し	らの予約率は上 ませんでした
						·UICIA-	· · · · ·		くなけってよっ					
		_	事			出金・そ	- の他)	千円 千円		1,779	1	1,780	1,779	5,395
	業	_	一般		-//\	`		千円		1,779		1,780	1,779	5,395
	費 哨	哉.	員 娄	攵				人		0.40		0.40	0.40	0.40
		2	人化			0.0		千円		1,986		1,986	1,986	•
	スト		総	事 業	費(1)+(2))	千円	運用	3,765		3,766	3,765	7,381 運用、空き確認可
	把 握			事業	の年度	別実	施内容		座/11		設追加榜		設追加検討	能施設追加検討、 システム更改
						✓ ıkı	要性が高	EL)	検討の余り	<u> </u>	□必要	性が低い		ンハノム文以
	· 必·	看版 市民	!点) ! ニー <i>></i>	ズに	【理由		X 11.7 10	.,	120107/1/2	20,7		1113 120		
	要対	応し	してい	るか									の確認が可能と	
			(関 与 (まある					上しましア スの向上ア)事務処	埋が簡単	各化されたことに	より、事務の効
	_				7100					, and	□ + ±	de 1877 i s		
			(点)		【理由		効性が高	(·	高める余均	עישיי	□有別	生が低い		
_	効 :		」とした あるか		_	_	トで施	設予約が	可能なが	施設の拡	充を図る	ことにより)、システムの利	用者の増加につ
次	11生	510-0	ינו נהי כע		ながり	、シス・	テムで	の予約率	が増加し	ていきま	す。			
人		_												
評		音眼』 コスト	、業務配	等効	【理由		軽的であ	ර <u> </u>	高める余均	也あり	幼平日	的ではない		
価	効 _率 率 る	か			予約場	犬況に	関する	市民から	の電話に	こよる問合	せが減	少したこと	とにより、窓口事	務の効率化が図
	性・「	民間 の統	を託や他 合・連携	也事業 が可	られま		= +	95) 7	: /r/r=======	フェ 1.1ァト	n 在引:	in the left of	사고 11년 교수 1	. - 1 2.
	能	か			また、	丁介汀	f 報 をン 	ノステムで	官理り	205107	り、果計	事務寺り)効率化も図られ	はいた。
	総							・効率化 哲也 】	縮小	□ 統合	拡充) 🗸 継続	売 □終了 □ 億	床止 □廃止
	合 4		の方向					-	せることは	よりシステ	テムの利	用を促し	、システムからの))予約率を増加
	評(i 価	次 善	策等))				の向上及					,	, ,, , , , , , , , , , , , , , , , , ,
	Щ													
	前回示													
改	方向性	E(改	善策	等)										
善状	対応り	- : -	(宝饰	гb		□実	施済(中)	一部実施	□検討	中	□未実施	□ その他	
沢沢	容、未	実別	色の理	1										
	由、今	後0	り予定	等)										

事系	务事業 4	3 統合	型地	理情報	システ	ム管理	里運用	事業				整理No.	29
所	属	3 部	総合	政策部		課情	青報政策	資課		記入者	石原	遼 内約	泉 172
上 位	立施 策 4	3 分野	都市	経営		4	柱 行政	女の情報	化	小柱	高度	な行政サービス	スの提供
	事業開	冶年度	平成	27	年度	AEI Abo s		地理空	間情報剂	舌用推進基	本法		
	事業終	了年度	令和	6	年度	根拠 》	法令等	坂戸市	デジタル	行政推進	計画		
		対	象		□ 高齢:	者 🔲	障害者	□個人	□世帯	□団体	✓ 全ての)人	1
	(誰、何を			るか) (具	体的に)								
	目標(対	象をど	のよう	な状態	こするだ	こめに	当該事業	業を行っ	ているか	、具体的な	に目標(数値)など。)	
									情報を含	全庁的に共	有し、	有効活用する	ことにより、事務の
	効率化る							ます。 スの向上	を図りす	t .			
車										ァ。 ているか。)		
₹												システムを運	用することにより、
務	政策立刻	案に活.	用しま	す。また									とで、市民サービ
事	スの向」	こに努る	かます	0									
'			区	分			単位		2年度 (決算)	計画(予	令和3	年度 実績(決算)	令和4年度 計画(予算)
業	指標①		洲 図、	データ数			レイヤ	大帜	スチュ 762		960	天根(大 异) 92	
の	指標②		テム利		•		%		63		92	6	,
∔RII	指標③						レイヤ		57		80	80	
概	担信し	地区	17 — 2		データ及			密の更かみ) 93 知、研修及び担当課
要	指標に対	する達	成度	への働き	かけをより)一層行	う必要がる	あります。ナ	也図データ	の公開は、シ	ノステム科	家働に関する庁内	周知を行い、また研
	総(1	事	業	修で公開 費	于順につ	いく記	明しまし <i>に</i> 千円	۲.	11,813	1	1,814	11,81	3 11,814
	事 財		財源([国県支出	金・その	他)	千円				911	91	1 911
	業源費品						千円		11,813	1	0,903	10,90	· ·
	. 順		数此。				人工四		0.80		0.80	0.80	
	コピス)人 総	件 負事業		+2		千円 千円		3,972 15,785		3,972 5,786	3,97 15,78	
	۲	11402					113	システム		システム運		システム運用	システム運用
	把 握		事業	の年度別	川実施内	內容							
	(羊	眼点)		[☑ 必要性	Eが高い		食討の余地		□必要性が	が低い		
	必 市	民二一	ズに	【理由】									
	要対応	いしてい	るか の必	地理情	報シスラ 可能とた	ころにま こります	3いて、 ・ _{また}	様々な地	也図情報 品の公開	を活用する	うことに。	より、業務効率 も民ニーズに「	化や高度な政策 なえることができ
		生はある		ます。	.1 HEC.9	·7 - 7	0 0/01	という生日日	-K V / Z JT.	15 TENY OC		11111 / ()	DV-2C5%, CG
				Г] 有効性	が高い	IJį	高める余地	あり	□ 有効性が	で低い		
	79 -	眼点)	H	【理由】			_				-		
-		的とし <i>†</i> ふるか	こ効果	1111/11/11/11/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/								型地理情報シス]待されます。	ステム(e-マップさ
次	往			13C)&	囲して	4/ <i>1</i> /3/19	用りるこ	.とにより、	川氏り	— L ハ (7)円	上が労	1付さればり。	
===	(着	限点)		г	□効率的	である		島める余地	あり	□ 効率的で	*はない		
評		スト 業務	面等効			(0)0	۱۰ ت	-1070714-13	.,,		. 100.0		
価	一			統合型:								、地図データの	の共有を図ること
	性・ ^氏 との 能か	統合・建	悪ず来 隽が可	により、	アーダリ	ノ里伐	登佣の	り 止 を 区	ることか	期待できま	. 9 .		
	RE/J			目古	し(🏻	改盖•芴	h 窓 化	□綻小	□絲⇔	□垃圾	☑ 继结	□終了 □	休止 □廃止
	総	6 - 1 -	£ 1.1	【課長名	. —			☐ WB√1,	LI INL II		▼ 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神	□ 45 1 □ 1	/ / / / / / /
		もの方向 善策等											図情報を活かした
	価											oことが可能とな ていきます。	りました。今後は、
	*	+ ^ ·	<i>u</i>										
_,	前回示し 方向性(
改善善	>3 1:3 I± \	~ 🗆 /	1 /	ı	□実施泳	\$ (ተነ ነ	п_	部実施	□検討	₊	未実施	□その他	
状	対応状況			l	天心》	9 (+ *)	ш-	마大心		ı⊤ ∐	个天肥		
況	容、未実 今後の ⁻												
	フタリ	ᇨᅲ	/										

事	務 事	業名	パソ	コン領	等管理	運用事	 業						整理No.	30
所	属				政策部			情報政策	課		記入者	三田	颯 内線	175
	立施		分野						なの情報化				運営の高度化・	
_ '			年度		27	年度		112 119	坂戸市デ	ジタルぞ				
			年度			年度	根拠	l法令等	坂戸市情					
	77			_	U	一高齢	者「	障害者	個人			/ 〉 コ全ての	人 その他	
	(誰	タ 、何をえ		象 している	るか) (.	具体的に)								
								·当該重詢	業を行って [いろか	目体的な	日煙(2	数値)など。)	
			_										を行います。	
	また													器等を整備しま
	す。	1子質)+ 1	20.70	0千田~	で1 たが	沿纸	見事及で	ドパソコン/与	2.字答用	田学禾 紅半	SL 2812	コン等借上料の	り減妬のため
					していま		. 1日本工	加貝及し	DO DO DO	N 1 日 日	上寸女儿作	1, / 1/	> 4旧工41	プルス 有員 V フ / こ V フ 、
事	事業	、概要	(取組	内容	•活動[内容など	、目的	りを達成す	するために	何をして	いるか。)		
務														を整備し、管理
		を行 えまっ		。 ま7	こ、ケア	リネットリ	ークキ	アハソコン	機器等の	草吾発生	王時に、辻	速に来	付心を行りことが	できるよう環境
事	C IE	./	, ,						令和2年	F使		令和3	在	令和4年度
業				区	分			単位	実績(決		計画(予		及 実績(決算)	
	指	標①	情報	システ	ム機器隊	章害対応に	時間	分	1	1,980	10	0,800	8,315	8,000
の	指	標②												
概	指	標(3)												
			L 7 \+		職員の	情報シ	ステム	機器活用]技術向上	及びプ!	リンタの入	.替によ	り、障害対応時	間が減少しまし
要	指標	に対	する達	灰皮	た。今	後も障害	発生	時間を減	らすことに。	より、効果	率的に事	務を行	える環境を整備	前します。
	4//	_	事					千円		1,827	123	3,230	122,327	,
	総事	財			国県支出	出金・その)他)	千円		2,814	40		1,054	
	事 業 費		一般員					千円 人		9,013 0.50		3,230 1.00	121,273 1.00	144,142 0.50
	負.		人		,			千円		2,483		4,965	4,965	
	コ	•		事業		1)+2		千円		4,310		8,195	127,292	
	スト								パソコン等管 用		ペソコン等管 Ħ		ペソコン等管理運 用	パソコン等管理運 用
	把 握			事業	の年度	別実施に	内容		/11	H	 128年度リー	·スパソ ŀ	 128年度リースパソ	
	17至									=	コン更新	33	コン更新	
		(着眀	(点)			✓必要性	tが高い	\	食討の余地あり)	必要性が	低い		
		·市县	:—=5		【理由) 東致σ		. 江二. 击	ルを図る	たみ パハ	71/257	プロンターノ	の洋田	はひ曲を司を	でナ カキーリ
	女性	・行政	してい 対関与	るか の必									は必要不可欠 [、] よう管理運用し	
		要性	はある	か										
						☑有効性	が高い	 	あめる余地あり		有効性が	低い		
	有	(着明 •日 €	艮点) りとした	- 効	【理由】			m 1. w	-1 - +-	-	H // NE NE	71 To 150		///
_	効 性		あるか						ことで、 事 を う、パソコン				っています。今 ·います.	後も有効性の
次	'-				1-3.	100 0 100	,,,		.,,	~ ~= >*	, 0, 1, 11,2	./13 = 13	. 5,70	
評		(着眼	点)			✓効率的	である	<u></u>	あめる余地あり			はない		
п	効	コスト率的に	、業務i 執行で	面等効	【理田]								
価	率 性	ຈມາ			クノレ	ツいソー							端末として活用 な運用を行いる	することで、新
	1±	との紡能か	合·連	態が可	/ ⊂ (⊂ p/n	圧せりり	C/1 P	10)— /	へに口むせ	、风竹		V) 7K HA	な座用で110~	x U/C ₀
		NL 73			Bī	直し(「	改善∙	効率化	縮小	統合 [拡充)	✓継続	□終了 □休	:止
	総	A ///	~	- 14	【課長			哲也]	וויטנום	ן ל טלאנון			.正 □凭正
	合評		の方向 景策等											を利用できる機
	価				都等を す。	整備しる	= 9 . 3	また、活月	用する職員(の情報り	ノアフシー	円上を	凶り、効果的な	活用を促進しま
	٠.	, – .	L A 4	" C	/ 0									
_,			た今後 女善策											
改善	75 10	. III (4	, _– ,	• •5 /		□宝标♡	\$ (ተነ ነ	Π_	部実施		, n	未実施	□その他	
状			(実施			□実施》	ョ(ザ)		ᄖᄼᄌᄱ	1天的 牛	·;	小大旭	二つで	
況			拖の理 の予定											
	щ,	/ 汉	· / 1 / N	_ 17 /										

車	み 車 丵 夕	一 床内ポー	-タルサイト管理:	田車業	~		整理No.	31
所		部総合		建用亊未 果 情報政策	±≑⊞	記入者 小出		172
l'''							1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
╠	位施策名			中柱 行政	ての情報化		文運営の高度化・i	也速化
		年度 平成	7	根拠法令等	坂戸市デジタル	行政推進計画		
	事業終了	年度 令和	6 年度		_			
	対			□障害者	□個人 □世帯	□団体 ☑全で	ての人 □その他	
	(誰、何を対	付象としている	るか) (具体的に)					
			うな状態にするため		· · · · · · · ·			
			システムの管理運 WEB会議システ.					
			WED云巌ンヘノ、 ぶら、行政事務のダ			利しい土荷塚コ	へ」における関され	107岁 しい・ヘクイ
 事	事業概要	(取組内容	・活動内容など、	目的を達成す	けるために何をし	ているか。)		
			甚盤として、メール				/ステムの管理・運	囲を行います。
務	電子会議	システムを	導入し、時間と場	所の有効活力	用を行います。			
 事								
		区	分	単位	令和2年度 実績(決算)		13年度 実績(決算)	令和4年度 計画(予算)
業		Web会議シ	⁄ステム利用ライセン	ス ライセンス			天根(太异) 5 5	前四(7 算) 5
し の			ェアの施設予約可能		84			94
low.	71 IX (クルーノリョ	エノの他設予約可能	奴 1 十	84	Ŏ:	9 90	94
概	指標③		Wal 公 学》 ラーコ	利田二 ひい	ノフナ、唯コ 上フー	しゃ 予問来い	でWal 人業ナケ	ネフトニョナルル ユ
要	指標に対す	する達成度	Web会議ンステム した。グループウ				してWeb会議を行だ の効率化を図りま	
	1140.	事業		千円	10,227	•	8,203	8,204
	عللد		国県支出金・その他		2,156		4 0.909	0 904
	弗 ""	一般財源 員 数		千円 人	8,071 0.80	8,20 ⁴ 0.80	•	8,204 0.80
	•	人件費	1	チ円	3,972			3,972
	ス	総事業		千円	14,199	•	· ·	12,176
	ト 把		0 + + DI + + + +	_	システム運用	システム運用	システム運用 、WEB会議システム	システム運用
	握	争耒	の年度別実施内	谷	導入	導入	導入	WED云酸ンヘノム
	(着眼	点)	☑ 必要性た	「高い □ 枚	食討の余地あり	□必要性が低い		
	必 市民	ニーズに	【理由】		·マ たっか +日 一 +166 -415	COLUMNIA NO	3. 数 3. 要不可	
			グループウェアに ています。またW					
			して離れた場所に					Nam (1 C H (1) C
			☑ 有効性が	高い □ 高	あめる余地あり	□ 有効性が低い		
	有(着眼		【理由】	_		_		
-	XЛ (++;	」とした効果 るか	クル· フリエノ に				戦員の効率的な事	
 次	11生		能となっています	。またWEB	云巌ングプムはん	(同工の接触機	会を減らすことが	でき (いよす。
	/¥n=	占)	□ 効率的で	ᇥᇫ	あめる余地あり	□効率的ではない	,	
評	・コスト	、業務面等効	「理由】	ଉଚ ⊈ ⊫	別の分末上のり	山 効率的ではない	•	
価	率るか	執行できてい	グループウェアの	運用は、迅速	な庁内通知や施	設予約等、行政	事務の効率化が図	られています。
	性・氏間との統	を託や他事業 合・連携が可	またWEB会議システます。これらの概				通費の削減等に効 高める余地があると	
	能か							
	総		見直し(口 改 【課長名:大河戸		□縮小 □統合	□拡充)☑継	続 □終了 □休	止 □廃止
	合 今後(の方向性			ステムであるため	可用性を維持	した運用を行いつ	つ、発展的な
	評 (改善 価	策等)	利用方法や他シ					
	IЩ							
	前回示した							
改		(善策等)						
善		/ 中 #-	□ 実施済(中)	部実施 🗌 検討	t中 □ 未実施	布 □その他	
╽状況								
		定等)						

事系								
	务事 業 名	基幹系	系業務システム管	理運用事業			整理No.	32
所	属名	部総	总合政策部	課 情報政策	課	記入者 小林	省吾 内線	173
	拉施策名			Heli III II I	での情報化		運営の高度化・対	
-				中在11以			里百V/同及11-1	
	事業開始		11.1	根拠法令等	坂戸市デジタル	仃奴推進計画		
	事業終了	7年度 合	計 6 年度					
		対 象	□高齢	者 □ 障害者	□個人 □世帯 [□団体 ☑全で	の人 □その他	
	(誰、何を	対象として	いるか) (具体的に)					
	目標(対	象をどの	ような状態にするだ	とめに当該事業	美を行っているか.	、具体的な目標の	(数値)など。)	
			ステムを運用し、市民					
			は、地域情報プラットフ			次な連携を図れる。	ようなシステムを運	用します。
	コンヒニク	とロンヘア	るを運用し、市民の利	可便性同上を図	りより。			
事	事業概要	夏(取組内	羽容・活動内容など.	、目的を達成す	トるために何をし ^っ	ているか。)		
務			テム提供サービス業				運用を行います。	
127	コンヒニ	で証明書	等の発行ができるコン	ノビニ父付シス	アムを連用しよす	0		
事					人和6左左	人工口	左连	人和4左左
علاد		区	分	単位	令和2年度 実績(決算)	令和3 計画(予算)	年度 実績(決算)	令和4年度 計画(予算)
業	指煙①	システ	ム稼働率	%	99.99	99.9	99.7	99.9
の								
	指標②	コンヒニ	二交付利用率	%	2.1	5.0	5.1	8.0
概	指標③							
要	指標に対	する達成	システム稼働率に 度 コンビニ交付利用	ついて、システム『 索が増加』たため	障害が発生したため、 ・ 会後の声役所窓口	計画を下回る結果。	となりました。 脚待できます	
X						未分 分比權級 们 //	別 177 CCより。	
	1110	事業		千円	148,193	147,456	147,455	143,006
	事 財 業 源		源(国県支出金・その		140 100	147 450	1 477 455	140.000
	業 源 費 職	一般財	冰	千円	148,193	147,456	147,455	143,006
		員数人件	弗	人 千円	0.20 993	0.20 993	0.20 993	0.20 993
	コ(2)ス	総事						
			羊 智 (1)+(2)	+14	149 IXD	148 449	148 448	143 999
	۲	140. 4	業 費 ①+②	千円	149,186 システム更改、コン	148,449 運用	148,448 運用	143,999 運用
	ト 把		業 質 ①+② 『業の年度別実施内		システム更改、コンビニ交付システム	•		,
	۲		≨業の年度別実施 戍	內容	システム更改、コン ビニ交付システム 導入、運用	運用		,
	ト 把 握 (着	事	5業の年度別実施内 ☑ 必要性	內容	システム更改、コン ビニ交付システム 導入、運用	•		,
	ト 把握 (着)	事 服点) 民ニーズ(事業の年度別実施内 図必要性 に【理由】	内容	システム更改、コン ビニ交付システム 導入、運用 診討の余地あり	運用 □必要性が低い	運用	運用
	ト 把握 ・ ・ ・ が 対 に ・ 行 に 行	事 眼点) 民ニーズI している 政関与の	「全球の年度別実施内 「図必要性 「全域では、「理由」 「本ででは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	内容 上が高い □ 板 管理や証明書(システム更改、コン ビニ交付システム 導入、運用 歳討の余地あり の発行など、市の	運用 □必要性が低い	運用	運用
	ト 把握 ・ ・ ・ が 対 に ・ 行 に 行	事 眼点) 民ニーズ! にている:	「全球の年度別実施内 「図必要性 「全域では、「理由」 「本ででは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	内容 上が高い □ 板 管理や証明書(システム更改、コン ビニ交付システム 導入、運用 歳討の余地あり の発行など、市の	運用 □必要性が低い	運用	運用
	ト把握 ・対応 ・対応 ・対応・要性	事 眼点) 民ニーズに している。 政関与の にはあるか	「全球の年度別実施内 「図必要性 「全域では、「理由」 「本ででは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	内容 * * * * * * * * * *	システム更改、コン ビニ交付システム 導入、運用 減討の余地あり の発行など、市の 高い業務です。	運用 □必要性が低い	運用	運用
	ト把握 必要性 有	眼点) 民ニーズに ひ関与の はあるか 眼点)	業の年度別実施内 ☑必要性 に 【理由】 か 市民の情報の作 必 関する業務のだ ☑ 有効性	内容 まが高い □ 様 管理や証明書(とめ、必要性の まが高い □ 高	システム更改、コン ビニ交付システム 導入、運用 診討の余地あり の発行など、市の 高い業務です。	運用 □必要性が低い 業務の根幹とな □有効性が低い	運用	運用 グロック グロック グロック で理・運用に
_	ト把握 必要性 有効 ・対行性 着目は	眼点) 民ニーズに ひ関与の はあるか 眼点) もした気	「型必要性では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	内容 Eが高い 管理や証明書に があい 「高い 「高い 「高い 「ステム、かんた	システム更改、コン ビニ交付システム 導入、運用 減討の余地あり の発行など、市の 高い業務です。	運用 □必要性が低い 業務の根幹とな □有効性が低い	運用	運用 グロック グロック グロック で理・運用に
	ト把握 ・対・要 ・ ・対・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	眼点) 民ニーズに ひ関与の はあるか 眼点)	業の年度別実施内 ☑必要性 に 【理由】 か 市民の情報の作 必 関する業務のだ ☑ 有効性	内容 Eが高い 管理や証明書に があい 「高い 「高い 「高い 「ステム、かんた	システム更改、コン ビニ交付システム 導入、運用 診討の余地あり の発行など、市の 高い業務です。	運用 □必要性が低い 業務の根幹とな □有効性が低い	運用	運用 グロック グロック グロック で理・運用に
	ト把握・必要性・有効性・は・対行性・着目が	眼点)民ニーズにはなっている。 取りをはあるかい。 はないない。 はないないない。	■ 業の年度別実施内 図必要性 は理由】 市民の情報の作 関する業務のた 図有効性 は理由】 コンビニ交付シ 性の向上を図っ	内容 上が高い □ 様 管理や証明書に とめ、必要性の が高い □ 高 ステム、かんた っています。	システム更改、コン ビニ交付システム 導入、運用 診討の余地あり の発行など、市の 高い業務です。 あめる余地あり こん窓口システムの	運用 □必要性が低い 業務の根幹とな □有効性が低い の運用により、窓	運用	運用 グロック グロック グロック で理・運用に
一 次 評	ト把握 必要性 有効性 着市が行性 着目は 第1	眼点)民ニーズにないない。 民ニーズのいるがいない。 民ニーズのいるがいる。 民ニーズのいるがいる。	業の年度別実施内 図必要性 は理由】 市民の情報の作 関する業務のた 図有効性 は理由】 コンビニ交付シ 性の向上を図っ	内容 上が高い □ 様 管理や証明書に とめ、必要性の が高い □ 高 ステム、かんた っています。	システム更改、コン ビニ交付システム 導入、運用 診討の余地あり の発行など、市の 高い業務です。 あめる余地あり こん窓口システムの	運用 □必要性が低い 業務の根幹とな □有効性が低い	運用	運用 グロック グロック グロック で理・運用に
評	ト把握 必要性 有効性 効 着市が行性 着目あ	眼点)民ニーズにないない。 民ニーズのいるがいない。 民ニーズのいるがいる。 民ニーズのいるがいる。	本 の 年度別実施内 図 必要性 に	内容 上が高い □ 様 管理や証明書(こめ、必要性の) にが高い □ 高 ステム、かんたっています。	システム更改、コン ビニ交付システム 導入、運用 会計の余地あり の発行など、市の 高い業務です。 ある余地あり こん窓ロシステムの ある余地あり	運用 □必要性が低い 業務の根幹とな □有効性が低い ○運用により、窓 □効率的ではない	運用 る業務システムの 口の混雑緩和及	運用 ・運用に で市民の利便
	ト把握 必要性 有効性 効率性 着市が行性 着目は 第1ス的か尾	眼点) 民二で与るが 眼内であるかい はあるかい ない。 はない はない はない はない はない はない はない はない はない はない	本の年度別実施内 「図必要性 「図必要性 「理由】 市民の情報のた 「図本の性 「関する業務のた 「図本の性 「理由】 「理由】 「中田】 「田】 「田】 「田】 「田】 「田】 「田】 「田】 「	内容 お高い □ 様 管理や証明書(ため、必要性の が高い □ 高 ステム、かんたっています。 である □ 高 ステムをパッケ・	システム更改、コン ビニ交付システム 導入、運用 診討の余地あり の発行など、市の 高い業務です。 5める余地あり こん窓ロシステムの 5める余地あり 一ジとして導入す	運用 □必要性が低い 業務の根幹とな □有効性が低い の運用により、窓 □効率的ではない ることにより、各美	運用 る業務システムの 口の混雑緩和及	運用 ・運用に で市民の利便
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 着市が行性 着目は 第1ス的か尾	眼点) 民二でいる。 政関ののかいではあるかいできる。 は、これであるかいできる。 は、これできる。 は、これできる。	本の年度別実施内 「図必要性 「図必要性 「理由】 市民の情報のため 「図する業務のため」 「対する業務のため」 「理由】 「理由】 「対する。」 「理由】 「対する。」 「対する。 「は、 「は、 「は、 「は、 「は、 「は、 「は、 「は、	内容 お高い □ 様 管理や証明書(ため、必要性の が高い □ 高 ステム、かんたっています。 である □ 高 ステムをパッケ・	システム更改、コン ビニ交付システム 導入、運用 診討の余地あり の発行など、市の 高い業務です。 5める余地あり こん窓ロシステムの 5める余地あり 一ジとして導入す	運用 □必要性が低い 業務の根幹とな □有効性が低い の運用により、窓 □効率的ではない ることにより、各美	運用 る業務システムの 口の混雑緩和及	運用 ・運用に で市民の利便
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 着市が行性 着目抜 着コネのかほのか	眼点) 民二で与るが 眼内であるかい はあるかい ない。 はない はない はない はない はない はない はない はない はない はない	本の年度別実施内 「図必要性 「図必要性 「理由】 市民の情報のため 「図する業務のため」 「対する業務のため」 「理由】 「理由】 「対する。」 「理由】 「対する。」 「対する。 「は、 「は、 「は、 「は、 「は、 「は、 「は、 「は、	内容 お高い	システム更改、コン ビニ交付システム 導入、運用 診討の余地あり の発行など、市の 高い業務です。 5める余地あり こん窓ロシステムの 5める余地あり 一ジとして導入す	運用 □必要性が低い 業務の根幹とな □有効性が低い の運用により、窓 □効率的ではない ることにより、各美	運用る業務システムの口の混雑緩和及業務システムでの	運用 ・運用に び市民の利便
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総着市が行性 着目は 着コネのかほのか	眼 に は に に に に に に に に に に に に に	本 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	内容 Eが高い □ 検 管理や証明書の が高い □ 高 ステム、かんたっています。 である □ 高 ステムをパッケー 化・効率化 面 哲也】	システム更改、コンビニ交付システム 導入、運用 注記の余地あり の発行など、市の高い業務です。 あめる余地あり こん窓ロシステムの あめる余地あり 一ジとして導入するとしています。 「いる合」	運用 □必要性が低い 業務の根幹とな □有効性が低い の運用により、窓 □効率的ではない ることにより、各 □拡充) ☑ 継続	運用 る業務システムの 口の混雑緩和及 業務システムでの	運用 ○管理・運用に ・び市民の利便 ・連携を円滑に ・
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合着市が行性 着目は 第12的かほがか 今後	眼点) 民二で与るが 眼内であるかい はあるかい ない。 はない はない はない はない はない はない はない はない はない はない	本 で	内容 i が高い	システム更改、コンビニ交付システム 導入、運用 注記の余地あり の発行など、市の高い業務です。 あめる余地あり こん窓ロシステムの あめる余地あり 一ジとしています。 「かる余地あり 一ジとしています。」 「かる余地あり の安定した運用を	運用 □必要性が低い 業務の根幹とな □有効性が低い の運用により、窓 □効率的ではない ることにより、各 ■拡充) ☑ 継続 ご行います。また	運用る業務システムの口の混雑緩和及業務システムでの、コンビニ交付シ、コンビニ交付シ	運用 ○管理・運用に ○で市民の利便 ○連携を円滑に 止 □廃止 ハステム、かんた
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合着市が行性 着目は 着コネのかほのか 後	眼民に政は 眼的る 泉トに 表のか きょく や	では、	内容 i が高い	システム更改、コンビニ交付システム 導入、運用 注記の余地あり の発行など、市の高い業務です。 あめる余地あり こん窓ロシステムの あめる余地あり 一ジとして導入するとしています。 「いる合」	運用 □必要性が低い 業務の根幹とな □有効性が低い の運用により、窓 □効率的ではない ることにより、各 ■拡充) ☑ 継続 ご行います。また	運用る業務システムの口の混雑緩和及業務システムでの、コンビニ交付シ、コンビニ交付シ	運用 ○管理・運用に ○で市民の利便 ○連携を円滑に 止 □廃止 ハステム、かんた
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 着市が行性 着目抜 着コ本のかほのか 後改	眼氏に攻は 眼的る 点に 振命 の策 によい かく かん かく かん	本の年度別実施の年度別実施の年度別実施の年度別実施の年度別実施の年度別実施の年間である。 理理には、一世では、一世では、一世では、一世では、一世では、一世では、一世のは、一世のでは、一世のでは、一世のでは、一世のは、一世のでは、一世のは、一世のは、一世のは、一世のは、一世のは、一世のは、一世のは、一世の	内容 i が高い	システム更改、コンビニ交付システム 導入、運用 注記の余地あり の発行など、市の高い業務です。 あめる余地あり こん窓ロシステムの あめる余地あり 一ジとしています。 「かる余地あり 一ジとしています。」 「かる余地あり の安定した運用を	運用 □必要性が低い 業務の根幹とな □有効性が低い の運用により、窓 □効率的ではない ることにより、各 ■拡充) ☑ 継続 ご行います。また	運用る業務システムの口の混雑緩和及業務システムでの、コンビニ交付シ、コンビニ交付シ	運用 ○管理・運用に ○で市民の利便 ○連携を円滑に 止 □廃止 ハステム、かんた
 神 価 	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前着市が行性 着目抜 着コ本のかほのか 後改 示し	眼民に政は は二て関あ に対した にが にが にが にが にが にが にが にが にが にが	本の年度別実施の年度別実施の年度別実施の年度別実施の年度別実施の年度別実施の年間では、現地では、現地では、現地では、現地では、現地では、現地では、現地では、現地	内容 i が高い	システム更改、コンビニ交付システム 導入、運用 注記の余地あり の発行など、市の高い業務です。 あめる余地あり こん窓ロシステムの あめる余地あり 一ジとしています。 「かる余地あり 一ジとしています。」 「かる余地あり の安定した運用を	運用 □必要性が低い 業務の根幹とな □有効性が低い の運用により、窓 □効率的ではない ることにより、各 ■拡充) ☑ 継続 ご行います。また	運用る業務システムの口の混雑緩和及業務システムでの、コンビニ交付シ、コンビニ交付シ	運用 ○管理・運用に ○で市民の利便 ○連携を円滑に 止 □廃止 ハステム、かんた
評 価	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 着市が行性 着目抜 着コ本のかほのか 後改	眼民に政は は二て関あ に対した にが にが にが にが にが にが にが にが にが にが	本の年度別実施内 「は、一、大学では、 は、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一	下容 ・	システム更改、コンビニ交付システム 導入、運用 会計の余地あり の発行など、市の高い業務です。 ある余地あり こん窓ロシステムの ある余地あり こん窓ロシステムの こん窓ロシステムの こん窓ロシステムの このでとしています。 はを図っています。 の安定雑緩和による。	運用 □必要性が低い 業務の根幹とな □有効性が低い の運用により、窓 □効率的ではない ることにより、各 □拡充) ☑継続 ご行に民のストレス ご行に民のストレス	運用 る業務システムの 口の混雑緩和及 に	運用 ○管理・運用に ○で市民の利便 ○連携を円滑に 止 □廃止 ハステム、かんた
評価 と	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前方(・対・要 (・は 着コぬかん) ままった能 今(一 回向 回の) では 第780からほのか 後改 しし(眼民に政は 眼的る 点点に i i i i i i i i i i i i i i i i i i	本 で	下容 ・	システム更改、コンビニ交付システム 導入、運用 注記の余地あり の発行など、市の高い業務です。 あめる余地あり こん窓ロシステムの あめる余地あり 一ジとしています。 「かる余地あり 一ジとしています。」 「かる余地あり の安定した運用を	運用 □必要性が低い 業務の根幹とな □有効性が低い の運用により、窓 □効率的ではない ることにより、各 □拡充) ☑継続 ご行に民のストレス ご行に民のストレス	運用 る業務システムの 口の混雑緩和及 に	運用 ○管理・運用に ○で市民の利便 ○連携を円滑に 止 □廃止 ハステム、かんた
評 価	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前着市が行性 着目抜 着コ本のかほのか 後改 示し	眼民に攻は 眼的る stack of また な に で また な で は また な で また な で か また な で か また な で あ また な で また	本 で	下容 ・	システム更改、コンビニ交付システム 導入、運用 会計の余地あり の発行など、市の高い業務です。 ある余地あり こん窓ロシステムの ある余地あり こん窓ロシステムの こん窓ロシステムの こん窓ロシステムの このでとしています。 はを図っています。 の安定雑緩和による。	運用 □必要性が低い 業務の根幹とな □有効性が低い の運用により、窓 □効率的ではない ることにより、各 □拡充) ☑継続 ご行に民のストレス ご行に民のストレス	運用 る業務システムの 口の混雑緩和及 に	運用 ○管理・運用に ○で市民の利便 ○連携を円滑に 止 □廃止 ハステム、かんた

事	務事業名	情報セニ	_{チュリティ対}	付策事業					整理No.	33
所	属名	部総合	內政策部	課	情報政策	課	記入者	三田 颯	内線	175
上	位施策名	分野 都同	 持経営		中柱 行政	の情報化	小柱 '	情報リテラ	ラシーの向上	
		台年度 平原		年度		坂戸市デジタル				
		7年度 令和	•	・	l法令等	坂戸市情報セキ				
				□高齢者 □	障害者	□個人 □世帯		<u>´</u>]全ての人	√ その他	
		対 象 対象としてい	るか)(具体]++ u u] _ (0)/(
					- N/ =t, 古 :	光ナに - ブ いても		口 +西 / 米ト/	古しまいは、)	
						業を行っているカ 員セキュリティ上 <i>σ</i>				で、市民から
		上を目指		THE IN CO. TAX	へ 'み I日 刊	X C 1 4 7 7 7 1 1 v 2	P MAN DIE	拟貝注こ	小皮がつこ	(11111111111111111111111111111111111111
事	事業概要	更(取組内容	容∙活動内容	容など、目的	りを達成す	するために何をし	ているか。)			
マケ						!・運用体制を整体	備するととも(こ、研修領	等を通じて、暗	践員の情報セ
務	キュリティ	に対する	意識の維持	・向上を図	ります。					
事						人和6左 英		△ ≠=0 <i>/</i> == 5	-	人和4左座
-11/-		区	分		単位	令和2年度 実績(決算)	計画(予算	令和3年月 (2) (2) (3) (4)	₹ ₹績(決算)	令和4年度 計画(予算)
業	指標①	セキュリテ	ィ研修(J-LIS	分)修了率	%	100		100	100	100
の	指標②	ヤキュリテノ	↑研修(総務省	分)修了率	%	100		100	100	100
+AII.					同	4		5	5	5
概	相信の	ヒイユリ	ディ研修の第 会職員の			4 三催分 (1356コー)		•	-	-
要	指標に対	する達成度		.100%の修			へ)、秘伤目:	土惟刀(1	03 4 — A) (7) (ラーーング 柳
	総①	事業			千円	758		734	732	940
	事財		へ (国県支出金	・その他)	千円			,01	102	010
	業源	一般財源	Į.		千円	758		734	732	940
	費職	員 数			人	0.60	0	0.60	0.60	0.60
		人件			千円	2,979		,979	2,979	2,979
	ス ト	総事業	美費 ①-	F(2)	千円	3,737	セキュリティ研	,713	3,711 ュリティ研修 せ	3,919 Zキュリティ研修
	把	事業	美の年度別	実施内容		入退室管理システ	入退室管理シ	ステ 入退	室管理システ ノ	人退室管理システ
			_	7 s 14 1 1 1		ム保守	ム保守	ム保	寸 2	4保守
	(着	限点)	_	必要性が高い	`\	食討の余地あり	必要性が(氐い		
	要対応	ス 民ニーズに にしているか	住民の個	人情報や1	企業の経	営状況等の重要	な情報を保	護するた	め、必要不可	欠な事業にな
	性·行i	敗関与の必								
	安怕	はあるか								
	/₩	ID .F.\		有効性が高い	· ✓ [高める余地あり	□有効性が値	むい		
_	79	限点) 的とした効	【理由】	在の ひっこ	ごいた却 月	告はなく、高度な ^り	生却 わキーロ	ティケ生	大畑田ベキブ	いませぶ
		あるか				ョはなく、高度なり ィ上の脅威に対応				
次				努めます。						, , , , , , , , ,
評	(着眼	(点)	✓	効率的である	□ ⅰ	高める余地あり	□効率的では	はない		
ш	効 率的	ト、業務面等交 こ執行できてい	/ 【注四】	—						
価	率 るか 性 ^{・民間}]委託や他事業		公共団体	が無償で	行っている研修を	と活用するな	ど、経費	削減に努めて	こいます。
		充合・連携が可								
	11070		見直し	.(□改善・	効率化	□縮小 □統合	──	/ 継続	□終了 □休山	- □廃止
	総		【課長名:	-]				
		との方向性 善策等)				イ上の脅威に対し		情報セキ	ュリティ技術等	等の最新動向
			を把握し	、局度な情	報セキュ	リティ体制を確保	します。			
	価									
	前回示し	た今後の改善								
改善	前回示し 方向性(た今後の 改善策等)		7		₩ ₽₩ □∨=		- ch+-	7.00	
改善状	前回示し 方向性(]実施済(中)		部実施 □検討	· - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	₹実施	□その他	
善	前回示し 方向性(対応状況 容、未実	改善策等) 記(実施内]実施済(中)		部実施 □検討	¦中 □≉	₹実施	□その他	

事	務事業	名電子	子申請	システ	ム運用	事業							整理No.	34
所	属			政策部			 報政第	5課		記入者	石原	潦	内線	172
	位施策							、パ 女の情報化	,				サービスの	
_		コ カゴ 開始年度			年度	-	- MI 11 15						ァーロバッ ミに関する	
						根拠》	去令等					/1任/匹守	がに関する	(広伴
	争耒於	咚了年度	令和	6	年度	* 🗀	7±=±			行政推進 フロは		σ .Ι	□ 7.0/h	
	(≣# I=		象してい	7.45)		有 []	埠吉 石	□個人	」一市	団1本	✓ 全て	の人	□その他	
				るか) (具										
								業を行って						
	インタ	ーネットを	を利用	$10^{\circ}, 2^{\circ}$	4時間申	請を行	「つことか	いできるシ	ステムを	連用し、「	市氏の	利便性	の同上を	目指します。
事	事業想	要(取終	日内容	•活動内	容など	. 目的	を達成す	するために	何をして	ているか。)			
												ト自治体	本推進会記	義(埼玉県及び
務				運用しま						• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •				
事														
-			区	分			単位	令和2		=1 == / =		3年度	- (L. Art -)	令和4年度
業		○ #> 7			ーィレー・ム	÷ ∆14.		美績()	決算)	計画(予			(決算)	計画(予算)
၈	指標			可能な行			手続				34		34	36
"	指標	2 アン	ケート	等を含む	申請様式	弌数	手続				140		149	160
概	指標	3 アン	ケート	等を含む	む申請値	丰数	件				7,000		7,524	8,400
要	华趣(-	対する遺	自力量	行政手	続のオン	ノライン	化状沥	この調査を	通じて、	啓発を図	りました	た。また	、システム	を利用した申
安 					同上の	ため、Д		で電子申記	青手続の	周知を行	いまし	た。		
	1110	① 事				1.1.5	千円				213		212	372
	٠			国県支出	金・その)他)	千円				010		010	070
	費崩		財源				千円 人				213 0.40		212 0.40	372 0.40
	•	x 貝 ② 人		<u>,</u>			へ 千円				1,986		1,986	1,986
	コス	$\overline{}$	事業		+2		千円				2,199		2,198	2,358
	<u>۱</u>									システム更				システム更改・運
	把 握		事業	の年度が	別実施内	内容				用				用
		¥nn +\			☑ 必要性	生が高い	□₺	食討の余地	ก็ท	□必要性	が低い			
	· 必·	着眼点) 市民ニー	ズに	【理由】				X1,, Do	•		. ,			
	要対	応してい	るか	電子申	請シスラ									引365日行政手
		行政関与 性はある		続、アン	ノケート	回答等	を行りこ	とが可能	となり、同	「氏サーL	ニスの「	可上が基	明待されま	す。
	-	(1100)	7/3		_									
	- (:	着眼点)		_	有効性	が高い	✓ ਜ	高める余地あ	50	□有効性が	が低い			
l _	75.	目的とした	た効果	【理由】 電子申		テムを沿	用した	·行政手続	アンケ	ート等を	増やす	ことによ	り、更なる	る市民の利便性
	性	はあるか			期待され		1711010	-11100	., , ,	1 17 2	н ()		17 () () (VIII V > 1,100 III
次														
評		着眼点)		_	☑ 効率的	である	<u> </u>	高める余地あ	59	□ 効率的	ではない			
	効率	コスト、業務 的に執行で		【理田】	T 4010	1. 4. 1/	// II				1. w 1		911/VL	
価	率る性が		他事業	埼玉県	及び県I	円目冶 て 弗	体で共田の抑	同連用し 制を実現し	ているシ ていま	ステムで) す	あるたる	め、市か	4単独でシ	ノステム調達す
	ع	の統合・連 か	携が可	. J //// [] (八、貝	\ 1 ^ \ \ 18 11			7 0				
	nc	,,,,		目古	il(🗆	改姜•청	液化	□縮小	□紘仝□	コ 址 奈)	. / 丝丝丝	± □&	x7 □#	止 □廃止
	総				3:大河			□ №841, [▼ 市至市	и " п	≲ı ⊔w	正 口焼止
		う後の方[改善策等		電子申	請シスラ	テムによ	り、行政							ができ、市民
	価	以古水市	• /								-続を耳	対巻く	環境の変	化を注視しつ
				・ノ、黽 つ	丁甲酮刀	小小川	山田代	手続の拡え	山に劣め	ソ より。				
		した今後												
改		(改善)	長等)											
善	44 pt 11	> >□ / ; ; .	- -		□ 実施》	奪(中)		·部実施	□検討	中 [未実施	. [] その他	
╽状況		₹況(実別 実施のヨ												
170)予定等												

事:	務事業	名	職員	研修	• 啓発	事業						整	理No.	35
所	属	名	部	総務	部		課〕	職員課		記入者	中原	季彦	内線	225
 	位施策	名							践力の向上	小柱	職員の	の音識改革		向上と人材育成
_	事業				ш п	年度		1 12 /122/19	地方公務員法		1902	- 15(19(3)(1	70,19,	111107 (11 11)00
	事業組						根拠	l法令等			松	口砂浆士松	事業持	助金交付金要綱
	尹未	运]	十戊	サル		年度 □ 高齢	老 厂	障害者	□個人 □世帯		戦員日 □全ての		デ ザボ 州 その他	切 並 父 刊 並 安 神
	(≣# 4	र्र तरुर		東 アハス	5 1 1) ((具体的に)		」件百名					COLE	
								- vv =+ -+ -	W. + /	. = 4.4.4	I=	/ \L 	* \	
									業を行っている 良い業務遂行や					しています ま
									そのための能力					
	上、知	識の	り蓄積	が、作	主民サ	ービスの	向上は	こつなが	ると考えます。					
事	事業権	既要	(取組	内容	•活動	内容など	、目的	りを達成す	するために何を	しているか。)			
丞々									競員の能力向上					
務	/ 🗀 / 3 3 1					しています 爰します。		た、職員	自己啓発支援事	業を実施し	、職員	目らが意	識改善	を図り、能力・
事	י נון אנ	Z [P].	T	ノリス小口	1亿人]	及しより。			令和2年度		△ 4π0	左曲		△和4年年
業				区	分			単位	実績(決算)	計画(予	令和3 算)	·平及 実績(決	(算)	令和4年度 計画(予算)
未	指標	(1)	研修	実施	数(派i	貴研修含	む)	本	2		50	20,120(12)	35	40
の	指標	_				研修含む		人	61	7	1,250		1,072	1,230
概		_	∠ IIIT	L 300	(VIXE	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	,		01	•	1,200		1,012	1,200
邩亿	指標	9			令和3年	E度おいて!	は、会利	12年度比	較で指標①研修室	布数は175% お	f標②受	·講者数は17	73.4%≻t	増加したが、達成度
要	指標は	対	する達						5.6%と計画を下回。		11100	. III II 99C(0.2)	0.1%	
	総	1)	事	業	ŧ			千円	2,47	1 .	5,599		2,329	4,882
	事	_				出金・その	他)	千円	, ,		,		,	,
	業 費。		一般					千円	2,47	1 .	5,599		2,329	4,882
	. 4		員 数					人	1.10		1.10		1.10	1.10
	コス	(2)	人作			1 1 2		千円	5,46		5,462		5,462	5,462
	۲		邢 =	事 業	(文)	1)+(2)		千円	7,93 講師謝金·研修参		1,061 F修参		7,791 F修参	10,344 講師謝金·研修参
	把 握			事業	の年度	を別実施 の	内容		加負担金·旅費等	加負担金·旅	で費等	加負担金·抗	作費等	加負担金•旅費等
						✓必要性	‡が高し	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	食討の余地あり		(任1)			
	必.	着眼市區	₹点) ! ニース	۸.				1;	大司の示地のグ		1570,			
	要,			ズニ	【理由	1								
				るか	【 理由 本市/	_	人材育	が成のため	かにも市が継続`	で実施してい	くこと	が必要で	す。	
		行政	関与	るか の必	_	_	人材育	が成のため	かにも市が継続	で実施してい	くこと	が必要で	す。	
	5	行政		るか の必	_	・ が求める <i>)</i> _		_				が必要で	す。	
	,	行政 要性(はある	るか の必	本市な	が求める <i>)</i> ✓ 有効性		_	りにも市が継続 高める余地あり	で実施して\ □ 有効性が		が必要で	す。	
_	有(行政 性 着 目 的	(関与(はある (点) (とした	るかめか	本市為	が求める <i>)</i> ☑ 有効性 】	が高い	一層	高める余地あり	□有効性が	低い			は高いと考えま
_	有 ⁽ 効 [!]	行政 性 着 目 的	(関与(はある ((点)	るかめか	本市為	が求める <i>)</i> ☑ 有効性 】	が高い	一層		□有効性が	低い			は高いと考えま
一 次	有 ⁽ 効 [!]	行政 性 着 目 的	(関与(はある (点) (とした	るかめか	本市 <i>t</i>	が求める <i>)</i> ☑ 有効性 】	が高い	一層	高める余地あり	□有効性が	低い			は高いと考えま
少評	有。 勃性 (行性 態的は 制制 ・	(関与(はある) !点しした !あるか	るのかかっかっか	本市が、「理由」である。	が求める/ ②有効性 】	成基ス	▲ □ 副本方針に	高める余地あり	□有効性が	低い ること			は高いと考えま
評	有効性がいる。	行性 もの 着口 眼かに	(関与(まある) (まあ) (まとした) あるか	るのか 効 等でかめ 効い	本市が、「理」では、「理」では、「理」では、「理」では、「理」では、「理」では、「理」では、「理」では、「理」では、「理」が、「理」が、「理」が、「理」が、「理」が、「理」が、「理」が、「理」が	が求める/ ②有効性 】	び基フリである	★方針に	高める余地あり 沿った内容の研 高める余地あり	□ 有効性が 「修を実施す □ 効率的で	低い ること はない	ができ、有	· 効性/	
	有効性 効率性	行性 賭的は 眼外に 間	では は は は は は は は は は は は は は	t るのか	本市が、理理戸、理由では、本土のは、	が求める/ ▽有効性 】 市人材育/ ▽効率的 】 で実施して	が高い 成基フ 」である	・ □ □ ē 本方針に □ ē 研修、彩	高める余地あり 沿った内容の研 高める余地あり の国さいたま人	□ 有効性が「修を実施す□ 効率的でづくり広域道	低い つること はない 連合(自	ができ、有	効性に	/ター) の研修、
評	有効性が効率性	行性 賭的は 眼外に 間	(関与 与る	であのか 一気 あき もば か必	本 【理厅。 里市部 由市	が求める/ 図有効性 】 力人材育/ 別 変変を 上で 五市町共	が高い 成基 ² で ある い研	本方針に 本方針に □ ここ 研修、彩 ※会、民	高める余地あり 沿った内容の研 高める余地あり の国さいたま人	□ 有効性が 「修を実施す □ 効率的で づくり広域退 に派遣する	低い つること はない 連合(自	ができ、有	効性に	
評	有効性が多率性が多率性がある。	行	では は は は は は は は は は は は は は	であのか 一気 あき 也にか必 うかい 業I	本 は理 対 は 理 対 は は は な が は は な が は は な が は な な が は な が は な が は な が は な な が は な な が は な な な な	が求める/ 図有効性 】 力人材育/ 別 変変を 上で 五市町共	が高い 成基ス で ある い研修 は	本方針に □ 高 研修、彩 等会、民 に 保たれて	高める余地あり 沿った内容の研 高める余地あり の国さいたま人間研修機関などでいると考えます	□ 有効性が 「修を実施す □ 効率的で づくり広域退 に派遣する	低い ること はない 草合(等	ができ、有 治人材開 、各研修	効性に	/ター) の研修、 分けして実施し
評	有効性が変性が	行要 着目は 着コミか民のか 眼的は 眼外に 間統	は は は は は は は は は は は は は は	(るのか) 効 等で 事が 対 効い 業可	本理灰す理本西で課表市由下由でする見長	が求める 対析 対方 対方 対方 対方 対かかが があかがが がずががががます。 があかががます。 があかががます。 で丘がた 直、名 ・ 1 ・ 	が高い でいってい でいる。 でいがは、 きだい が高いでは、 きだい。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	本方針に	高める余地あり 沿った内容の研 高める余地あり の国さいたま人 間研修機関など いると考えます □縮小 □統合	□ 有効性が 「修を実施す □ 効率的で づくり広域退に派遣する。 □ 拡充)	低い なことはない	ができ、有 治人材開 、各研修 : □終了	効性/ 引発セン をすみ	/ター)の研修、 分けして実施し 止 □廃止
評	有効性 効率性 総合	「行要 着目果 着コミか民のか 今 政性 眼的は 眼入に 間統 後	では は は は は は は は は は は は は は	であのか	本 【 坂す 【 本西て 【 別まき は の 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	が求める 対対 対対 対対 が 大 	が高い 成基 ² である る る	本方針に	高める余地あり 沿った内容の研 高める余地あり の国さいたま人 間研修機関なます □縮小 □統合 いた研修を実施する	□ 有効性が 「修を実施す □ 効率的で づくり広域追 に、・ □ 拡充) □	低い ること はない (i 等 継続 及)	ができ、有 治人材 活、 	効性! 	/ター)の研修、 分けして実施し 止 □廃止
評	有効性が変性総合	「行要 着目果 着コミか民のか 今 政性 眼的は 眼入に 間統 後	ばま きごあ 点、執 委合 の 関あ うしる) 業行 託・車 方の か	、るのか 対 等で 事が 性 対 対	本 理坂す 理本西で 課き社へ市 由戸。 由市部い 課き社へ	が求 マイス 対 対 大 マイス 対 対 大 マイス 対 の な の 対 の な の は に に に に に に に に に に に に に	が 成 で () 同性 きました な まました あ る () るがは ・ 送力検索 を は ・ 送力検索 を は ・ 送力検索 を かい は ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	本方針に 研多保 効 3 計針を で、民れて が、民れて が、最近である。 が、最近である。 が、表していい。 では、といい。 では、 といいい。 では、 といいい。 では、 といいい。 といいい。 といいい。 といいい。 といいい。 といいい。 といいい。 といい。 といいい。 といいい。 といいい。 といいい。 といいい。 といいい。 といいい。 といいい。 といいい。 といいい。 といいい。 といいい。 といいい。 といいい。 といいい。 といいいい。 といいいい。 といいいい。 といいいい。 といいいいい。 といいいいいいい。 といいいいいい。 といいいいいいいい。 といいいいいいいいいい	高める余地あり 沿った内容の 引かる余地あり の国のを表地あり の国のを表した関 にいるときには、 にならいでは、 になるには、 にならいでは、 にないながられている。 にないながられている。 にないながられている。 にないながられている。 にないながられている。 にないながられている。 にないないない。 にないないないない。 にないないないない。 にないないないないないない。 にないないないないないないない。 にないないないないないないないない。 にないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	□ 有効性が 「修を実施す □ 効率的で づくり広域退 に、	低い ること はない 自子時代	ができ、有 治各 お各 林 修 で 大研 作 作 で で で で で で で で	効性! 発セン なし、 を実施しいて を実施し	
評	有効性 効率性 総合評価	が行っている。 一行性 まいま では またい はいました はいました はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいま	では、	t るのか	本 理坂す 理本西で 課き社へ市 由戸。 由市部い 課き社へ	が求 マイス 対 大 マイス 対 大 マイス 対 大 マイス 対 で で で で で で の な の な の で の に に に に に に に に に に に に に	が 成 で () 同性 きました な まました あ る () るがは ・ 送力検索 を は ・ 送力検索 を は ・ 送力検索 を かい は ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	本方針に 研多保 効 3 計針を で、民れて が、民れて が、最近である。 が、最近である。 が、表していい。 では、といい。 では、 といいい。 では、 といいい。 では、 といいい。 といいい。 といいい。 といいい。 といいい。 といいい。 といいい。 といい。 といいい。 といいい。 といいい。 といいい。 といいい。 といいい。 といいい。 といいい。 といいい。 といいい。 といいい。 といいい。 といいい。 といいい。 といいい。 といいいい。 といいいい。 といいいい。 といいいい。 といいいいい。 といいいいいいい。 といいいいいい。 といいいいいいいい。 といいいいいいいいいい	高める余地あり 沿った内容の 引かる余地あり の国のを表地あり の国のを表した関 にいるときには、 にならいでは、 になるには、 にならいでは、 にないながられている。 にないながられている。 にないながられている。 にないながられている。 にないながられている。 にないながられている。 にないないない。 にないないないない。 にないないないない。 にないないないないないない。 にないないないないないないない。 にないないないないないないないない。 にないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	□ 有効性が 「修を実施す □ 効率的で づくり広域退 に、	低い ること はない 自子時代	ができ、有 治各 お各 林 修 で 大研 作 作 で で で で で で で で	効性! 発セン なし、 を実施しいて を実施し	
価	有効性効率性総合評のでは、	「行性 精目は 眼入的に関係 今改 Industrian は 眼入的に関係 後善 しか	では、 は、 また ・ な また ・ ・ ・ ・ ここ ・ もん ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	(るのか 対 等で 事が 性 の 対	本 理坂す 理本西で 課き社へ市 由戸。 由市部い 課き社へ	が求 マイス 対 対 大 マイス 対 対 大 マイス 対 の な の 対 の な の は に に に に に に に に に に に に に	が 成 で () 同性 きました な まました あ る () るがは ・ 送力検索 を は ・ 送力検索 を は ・ 送力検索 を かい は ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	本方針に 研多保 効 3 計針を で、民れて が、民れて が、最近である。 が、最近である。 が、表していい。 では、といい。 では、 といいい。 では、 といいい。 では、 といいい。 といいい。 といいい。 といいい。 といいい。 といいい。 といいい。 といい。 といいい。 といいい。 といいい。 といいい。 といいい。 といいい。 といいい。 といいい。 といいい。 といいい。 といいい。 といいい。 といいい。 といいい。 といいい。 といいいい。 といいいい。 といいいい。 といいいい。 といいいいい。 といいいいいいい。 といいいいいい。 といいいいいいいい。 といいいいいいいいいい	高める余地あり 沿った内容の 引かる余地あり の国のを表地あり の国のを表した関 にいるときには、 にならいでは、 になるには、 にならいでは、 にないながられている。 にないながられている。 にないながられている。 にないながられている。 にないながられている。 にないながられている。 にないないない。 にないないないない。 にないないないない。 にないないないないないない。 にないないないないないないない。 にないないないないないないないない。 にないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	□ 有効性が 「修を実施す □ 効率的で づくり広域退 に、	低い ること はない 自子時代	ができ、有 治各 お各 林 修 で 大研 作 作 で で で で で で で で	効性! 発セン なし、 を実施しいて を実施し	
評 価	有効性 効率性 総合評価 前	「行性 精目は 眼入的に関係 今改 Industrian は 眼入的に関係 後善 しか	では、 は、 また ・ な また ・ ・ ・ ・ ここ ・ もん ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	(るのか 対 等で 事が 性 の 対	本 理坂す 理本西で 課き社へ市 由戸。 由市部い 課き社へ	が マスティック で	が 成 」で (同性 き 	本方針	高める余地あり 沿った内容の研 沿った内容の研 高める余地あり の国のでは、 の国のでは、 の国のでは、 の国のでは、 の国のでは、 の国のでは、 の高いのでは、 の高いのでは、 の高いのでは、 の高いのでは、 の高いのでは、 の高いのでは、 の高いのでは、 ののでは、	□ 有効性が 「修を実施す □ 効率的で づくり広する。 □ 拡充) □ はとともに、高とともに、高側の力では、できるがです。	低い	ができ、有 治各 林修 ア つ修ま でいます。 一	効性	
評価	有効性 効率性 総合評価 前方 対応 (・) (・) (・) (・) 対応 (・) (・) (・) (・) (・) (・) (・) (・) (・) (・)	。行使 着目果 着口感が民のか 今改 一下生 犬の性 眼的は 眼入りが間統 後善 しつ 沢	ばは、 見りあ 点、執 委合 の策 こ女 ()関あ 点しる)業行 託・ 方等 一今善 実与る)たか 一 務で や掛 「	で るのか	本 理坂す 理本西で 課き社へ市 由戸。 由市部い 課き社へ	が求 マイス 対 対 大 マイス 対 対 大 マイス 対 の な の 対 の な の は に に に に に に に に に に に に に	が 成 」で (同性 き 	本方針	高める余地あり 沿った内容の 引かる余地あり の国のを表地あり の国のを表した関 にいるときには、 にならいでは、 になるには、 にならいでは、 にないながられている。 にないながられている。 にないながられている。 にないながられている。 にないながられている。 にないながられている。 にないないない。 にないないないない。 にないないないない。 にないないないないないない。 にないないないないないないない。 にないないないないないないないない。 にないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	□ 有効性が 「修を実施す □ 効率的で づくり広する。 □ 拡充) □ はとともに、高とともに、高側の力では、できるがです。	低い ること はない 自子時代	ができ、有 治各 お各 林 修 で 大研 作 作 で で で で で で で で	効性	
評価 也善 也	有効性 効率性 総合評価 前方 対応 (・) (・) (・) (・) 対応 (・) 対応 (・) (・) (・) (・) (・) (・) (・) (・) (・) (・)	、行要 着目果 着口唇が民のか 今改 一氏生 犬実の性 眼的は 眼入りが間統 後善 しつ 沢実が	ばは、見りあり、執い委合ので、 これ (色関あり)にも、 第行 託・ 一方等 一字善 実の与る) たか 一 務で、 や博 一 向等 一 後策 施理	で るのか	本 理坂す 理本西で 課き社へ市 由戸。 由市部い 課き社へ	が マスティック で	が 成 」で (同性 き 	本方針	高める余地あり 沿った内容の研 沿った内容の研 高める余地あり の国のでは、 の国のでは、 の国のでは、 の国のでは、 の国のでは、 の国のでは、 の高いのでは、 の高いのでは、 の高いのでは、 の高いのでは、 の高いのでは、 の高いのでは、 の高いのでは、 ののでは、	□ 有効性が 「修を実施す □ 効率的で づくり広する。 □ 拡充) □ はとともに、高とともに、高側の力では、できるがです。	低い	ができ、有 治各 林修 ア つ修ま でいます。 一	効性	

事	務事	業 名	人事約	合与シス	テム運用	事業			整理No.	36
所	属	名	部糸	総務部		課 職員課		記入者 竹島	圭一 内線	224
 ⊢ 4	位 施	筈 名		市経営		中柱 行	政の情報化	小柱 行政证	軍営の高度化・ 近	1.读化
_ '			チェア 1		年度	1 12 13		17 17 17 500		-2210
						根拠法令等	<u> </u>			
	争习	三介令]	年度 令	介和	年度 □ 高齢:	学 □ 陪宝老			\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	
	(≣#		対象にな	こいるか)	(具体的に)		□個人□□世帯□□	」団体 □_全て <i>0.</i>)人 🔽 その他	
							- NIC 1- 4			
							業を行っているか、			主教の社 表 //)
			事官理減を図り		を一元官さ	里り ることで、	各種発令から給与	計算よび総合的	な処理を行い、	事務の効率化と
	/	133	ихсш	, 51 , 0						
事	事業	〔概要	(取組)	内容∙活重	カ内容など	、目的を達成	するために何をして	ているか。)		
							共済データの管理		:一括管理•処理	を行うことで、
務	人員	と経	費の増加	加を抑制	します。					
事										
			×	☑ 分		単位	令和2年度	令和3 計画(予算)		令和4年度
業	<u>+</u> Ŀ	標(1)		4号の亚物県	寺間外勤務時	間数 時間	実績(決算) 61	計画(ア昇) 120	実績(決算) 84	計画(予算) 120
の	•		-	(貝の干均)	寸旧プト到7分吋	印数 时间	01	120	04	120
		標②								
概	指	標③								
要	指標	に対	する達成				更新に伴うデータ確認等 、控除・共済データの管			
^				どおり	進んでいる。					
	総事	(1) H+	事業		₹出金・その	千円 他) 千円	5,974 1,903	6,027 1,468	5,620 1,621	5,925
	業		一般則		(山並・ての	千円 千円	4,071	4,559	3,999	1,570 4,355
	費		員数	1 //水		人	3.00	3.00	3.00	3.00
		(2)	人件	費		千円	14,895	14,895	14,895	14,895
	ス	(2)		費 業費	1)+2					
	ス ト	(2)	総事	業費		千円 千円	14,895 20,869	14,895 20,922	14,895 20,515 ンステム借上料	14,895 20,820 システム修正等委託
	ス	2	総事	業費	①+② 度別実施内	千円 千円	14,895 20,869	14,895 20,922	14,895 20,515 システム借上料	14,895 20,820
	ス ト 把		総事	業費		千円 千円 内容	14,895 20,869	14,895 20,922	14,895 20,515 システム借上料	14,895 20,820 システム修正等委託 料
	スト把握	 (着眼 •市ይ	総事	業費の年の年に【理師	度別実施区	千円 千円 内容	14,895 20,869 システム借上料 ジ 検討の余地あり	14,895 20,922 ンステム借上料	14,895 20,515 システム借上料	14,895 20,820 システム修正等委託 料 システム借上料
	スト把握 必要	(着 ● ・ 市 財 応	総事場点のである。	業の年に、短期	度別実施P 図必要性 由】 間に人事	千円 千円 内容 生が高い □ 異動等の管理	14,895 20,869 システム借上料 検討の余地あり 型、給与・諸手当の行	14,895 20,922 ンステム借上料	14,895 20,515 システム借上料	14,895 20,820 システム修正等委託 料 システム借上料
	スト把握 必要	(着手) (前の) (前の) (前の) (前の) (前の) (前の) (前の) (前の	総事場点のである。	業費の年にから、「これ」では、「これ」に、これ、「これ」に、「これ」に、「これ」に、「これ」に、「これ」に、これ、「これ」に、これ、「これ」に、これ、これ、「これ、これ、これ、これ、こ	度別実施P 図必要性 由】 間に人事	千円 千円 内容	14,895 20,869 システム借上料 検討の余地あり 型、給与・諸手当の行	14,895 20,922 ンステム借上料	14,895 20,515 システム借上料	14,895 20,820 システム修正等委託 料 システム借上料
	スト把握 必要	(着手) (前の) (前の) (前の) (前の) (前の) (前の) (前の) (前の	総 最 点 点 に 大 に に に に に に の に の の の の の の の の の の の の の	業費の年にから、「これ」では、「これ」に、これ、「これ」に、「これ」に、「これ」に、「これ」に、「これ」に、これ、「これ」に、これ、「これ」に、これ、これ、「これ、これ、これ、これ、こ	度別実施の 図必要性 計	千円 千円 内容 生が高い □ 異動等の管理 リ用が必須と	14,895 20,869 システム借上料 検討の余地あり 里、給与・諸手当の行なります。	14,895 20,922 パステム借上料 : 図必要性が低い 管理、控除・共済	14,895 20,515 システム借上料	14,895 20,820 システム修正等委託 料 システム借上料
	スト把握 必要性	・対行性・対行性・影響を	総 ま す だらのか だいし しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう はい	業費の年にからい、「理時の人」	度別実施の 図 必要性 計 間に人事 の でんかん アンステムを がく す 対性 マイカ 性 マイカ 性	千円 千円 内容 生が高い □ 異動等の管理 リ用が必須と	14,895 20,869 システム借上料 検討の余地あり 型、給与・諸手当の行	14,895 20,922 ンステム借上料	14,895 20,515 システム借上料	14,895 20,820 システム修正等委託 料 システム借上料
_	スト把握 必要性 有効	・対・天 (・) ・対・天 (・) ・対・大 で ・ 目的	総 見民し女は 艮尺 しない しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん かんりん かんりん かんりん	業業の年にか必り、現場のは、現場のは、現場のは、現場のは、現場のは、現場のは、現場のは、現場のは	度別実施P 図必要性 対別に人事がである。 「図をするができる。」 「図をするができる。」 「図をするができる。」 「図をするができる。」 「図をするができる。」 「図をするができる。」 「図をするができる。」 「図をするができる。」 「図をする。」	千円 千円 内容 生が高い □ 異動等の管理 川用が必須とない。	14,895 20,869 システム借上料 注 検討の余地あり [理、給与・諸手当の行なります。 高める余地あり [諸手当の管理、控例	14,895 20,922 27ステム借上料 : 一必要性が低い 管理、控除・共済 一有効性が低い ネ・共済データの	14,895 20,515 システム借上料 :データの管理な	14,895 20,820 システム修正等委託 料 システム借上料
	スト把握 必要性 有	・対・天 (・) ・対・天 (・) ・対・大 で ・ 目的	総 ま す だらのか だいし しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう はい	業業の年にか必り、現場のは、現場のは、現場のは、現場のは、現場のは、現場のは、現場のは、現場のは	度別実施P 図必要性 対別に人事がである。 「図をするができる。」 「図をするができる。」 「図をするができる。」 「図をするができる。」 「図をするができる。」 「図をするができる。」 「図をするができる。」 「図をするができる。」 「図をする。」	千円 千円 内容 生が高い □ 異動等の管理 川用が必須とない。	14,895 20,869 システム借上料 検討の余地あり 里、給与・諸手当の行なります。 高める余地あり	14,895 20,922 27ステム借上料 : 一必要性が低い 管理、控除・共済 一有効性が低い ネ・共済データの	14,895 20,515 システム借上料 :データの管理な	14,895 20,820 システム修正等委託 料 システム借上料
	スト把握 必要性 有効	(・対・ででは、) ・ 単の (・) 単の	総 見民し枚は 見りあ ま す ズるのか まったい かいかい かいかい だいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいが	業業の年にか必り、現場のは、現場のは、現場のは、現場のは、現場のは、現場のは、現場のは、現場のは	度別実施P 図必要性 対したのでは、 は、 は	千円 千円 十円 内容 はが高い □ 異動等の領とされる。 が高い □ では、 が高い □ では、 が高い □ では、 が高い □	14,895 20,869 システム借上料 検討の余地あり 里、給与・諸手当の行なります。 高める余地あり 諸手当の管理、控防 と経費の増加を抑制	14,895 20,922 27ステム借上料 : ②必要性が低い 管理、控除・共済 ③有効性が低い ※・共済データの)できています。	14,895 20,515 システム借上料 :データの管理な	14,895 20,820 システム修正等委託 料 システム借上料
一 次 評	スト把握 必要性 有効性 i	(・対・要 (・果 着目は 眼	総 見民し枚は 見りあ ま す ズるのか まったい かいかい かいかい だいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいが	業業の「はから」とは、「はない」とは、「はない」とは、「はない」とは、「はない」とは、「はない」とは、「はない」とは、「はない」とは、「はない」とは、「ない」は、「ない」とは、「ない」とは、「ない」とは、「ない」とは、「ない」とは、「ない」は、「ない」とは、「ない」とは、「ない」とは、「ない」とは、「ない、「ない」とは、「ない」とは、「ない、「ない、「ない」は、「ない」は、「ない、「ない、「ない」は、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない」は、「ない、「ない、「ない」は、「ない、「ない、「ない」は、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、」は、「ない、「ない、「ない、」は、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、」は、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、」は、「ない、」は、「ない、「ない、「ない、」は、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、」は、「ない、「ない、」は、「ない、「ない、」は、「ない、「ない、」は、「ない、「ない、」は、「ない、」は、「ない、」は、「ない、これ、これ、「ない、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、	度別実施P 図必要性 計】に人みを系 図する 図がある 図がある 図がある 図がある 図がある 図がある 図がある ののできる	千円 千円 十円 内容 はが高い □ 異動等の領とされる。 が高い □ では、 が高い □ では、 が高い □ では、 が高い □	14,895 20,869 システム借上料 検討の余地あり 里、給与・諸手当の行なります。 高める余地あり 諸手当の管理、控防 治経費の増加を抑制	14,895 20,922 27ステム借上料 : 一必要性が低い 管理、控除・共済 一有効性が低い ネ・共済データの	14,895 20,515 システム借上料 :データの管理な	14,895 20,820 システム修正等委託 料 システム借上料
評	スト把握 必要性 有効性 効	(・対・要 (・果 着コ本的)	総 見民し数は 限りあ 点) 一いちのか まっこい 見あ かいしんかい たいしんかい たいしんかい たいしん かいまい はい	業業 にか必り 動 等でで	度別実施P 図必要性 は別にテンスを不 図の事ができる。 は、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般で	千円 千円 千円 内容 動等のの質と が高い	14,895 20,869 システム借上料 注 検討の余地あり [理、給与・諸手当の行なります。 高める余地あり [諸手当の管理、控防 と経費の増加を抑制 高める余地あり [14,895 20,922 20,922 20,922 20,035 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20	14,895 20,515 ンステム借上料 データの管理な	14,895 20,820 システム修正等委託 料 システム借上料 とどを行うにあた
	スト把握 必要性 有効性 対	(・対・要 (・果 信コ率の・民) (・対・要 着目は 眼が) 間	RRLLD女は Ryb Ac	業業 である	度別実施アマリン 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	千円 千円 千円 内容 はが高い	14,895 20,869 システム借上料 検討の余地あり 里、給与・諸手当の行なります。 高める余地あり 諸手当の管理、控防 と経費の増加を抑制	14,895 20,922 20,922 20,7374借上料 ②必要性が低い 管理、控除・共済 ③有効性が低い ※・共済データの)できています。 ③効率的ではない ※あようにシステム	14,895 20,515 システム借上料 データの管理な 管理などをシステ	14,895 20,820 システム修正等委託 料 システム借上料 とどを行うにあた テムで一括管
評	スト把握 必要性 有効性 効率	(・対・要 (・果 信コ率の・民) (・対・要 着目は 眼が) 間	総 - RRLLD は	業業 である	度別実施アマリン 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	千円 千円 千円 内容 はが高い	14,895 20,869 システム借上料 注 検討の余地あり [理、給与・諸手当の行 なります。 高める余地あり [諸手当の管理、控防 と経費の増加を抑制 高める余地あり [14,895 20,922 20,922 20,7374借上料 ②必要性が低い 管理、控除・共済 ③有効性が低い ※・共済データの)できています。 ③効率的ではない ※あようにシステム	14,895 20,515 システム借上料 データの管理な 管理などをシステ	14,895 20,820 システム修正等委託 料 システム借上料 とどを行うにあた テムで一括管
評	スト把握 必要性 有効性 効率性	(・対・要 (・果 着コ率の・との) 着市応で性 単角は 眼外に 間筋	RRLLD女は Ryb Ac	業業 にか必り あり 等で 事が 費 の 【短り、 【人理 【令に 理 用 り 理 事・ り 理 和 は	度別実施アマリン 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	千円 千円 千円 内容 はが高い	14,895 20,869 システム借上料 検討の余地あり 理、給与・諸手当の行なります。 高める余地あり 諸手当の管理、控防 上経費の増加を抑制 高める余地あり が図れる運用ができ 例処理を民間委託で	14,895 20,922 20,922 20,7374借上料 ②必要性が低い 管理、控除・共済 ③有効性が低い ※・共済データの)できています。 ③効率的ではない ※あようにシステム	14,895 20,515 20,515 システム借上料 データの管理な 管理などをシステ の更新を行いま なめて検討します	14,895 20,820 システム修正等委託 料 システム借上料 こどを行うにあた テムで一括管 こした。長期的
評	スト把握 必要性 有効性 効率性 総	(・対・要 (・果 信コ率の・と能) 着市応で性 明白は 眼外の 間紙	RRLLD女は Ryd あ 点、	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	度別実施 P	千円 千円 千円 大容 が高い の変須	14,895 20,869 システム借上料 検討の余地あり 理、給与・諸手当の行なります。 高める余地あり 諸手当の管理、控防 ・経費の増加を抑制 高める余地あり が図れる運用ができ が処理を民間委託で	14,895 20,922 20,92 20,92 20,92 20,92 20,92 20,92 20,92 20,92 20,92 20,92 20,92 20,9	14,895 20,515 20,515 277ム借上料 データの管理な 管理などをシステ の更新を行いま なめて検討します	14,895 20,820 システム修正等委託 料 システム借上料 こだを行うにあた テムで一括管 こした。長期的 。
評	スト把握 必要性 有効性 効率性 総合評	(・対・要 (・果 信コ率の・と能 今 着市応で性 明的は 眼外の 間紙	RRLLD女は Ryb Ac	業業の にか必り 第70 第70 費年 理短り 現人理 現令に 課号 要な 理期シ 理事・9 理和は 課号	度 由間ス 由異型 由 3 給 直 表 続 2 を が 2 を が 3 を が 3 を 3 を 3 を 3 を 3 を 3 を 4 1 0 3 2 8 1 1 2 3 2 3 2 3 3 4 1 1 3 2 3 3 2 3 3 3 3 3 4 1 3 3 3 3 4 1 3 3 3 3 4 1 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	千円 千円 千円 下容 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	14,895 20,869 システム借上料 検討の余地あり 理、給与・諸手当の行なります。 高める余地あり 諸手当の管理、控防 ・経費の増加を抑制 高める余地あり が図れる運用ができ が処理を民間委託で ジステムを一元管理	14,895 20,922 20,922 20,922 20,922 20,922 20,922 20,922 20,922 20,922 20,922 20,922 21,83 21,8	14,895 20,515 20,515 277ム借上料 データの管理な 管理などをシステ の更新を行いま なめて検討します	14,895 20,820 システム修正等委託 料 システム借上料 こだを行うにあた テムで一括管 こした。長期的 。
評	スト把握 必要性 有効性 効率性 総合	(・対・要 (・果 信コ率の・と能 今 着市応で性 明的は 眼外の 間紙	RR	業業の にか必り 第70 第70 費年 理短り 現人理 現令に 課号 要な 理期シ 理事・9 理和は 課号	度 由間ス 由異型 由 3 給 直 表 続 2 を が 2 を が 3 を が 3 を 3 を 3 を 3 を 3 を 3 を 4 1 0 3 2 8 1 1 2 3 2 3 2 3 3 4 1 1 3 2 3 3 2 3 3 3 3 3 4 1 3 3 3 3 4 1 3 3 3 3 4 1 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	千円 千円 千円 下容 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	14,895 20,869 システム借上料 検討の余地あり 理、給与・諸手当の行なります。 高める余地あり 諸手当の管理、控防 ・経費の増加を抑制 高める余地あり が図れる運用ができ が処理を民間委託で	14,895 20,922 20,922 20,922 20,922 20,922 20,922 20,922 20,922 20,922 20,922 20,922 21,83 21,8	14,895 20,515 20,515 277ム借上料 データの管理な 管理などをシステ の更新を行いま なめて検討します	14,895 20,820 システム修正等委託 料 システム借上料 こだを行うにあた テムで一括管 こした。長期的 。
評	スト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価	(・対・要 (・果 (・率る・と能 今) 着市応政性 間白は 眼外的 間紡 後き	RC Log to Royal Royal	業業の にか必り 等でます 費年 理短り 現分に 課子の 関知り 理事が 理和は 課子の	度 由間ス 由異型 由 3 給 直 表 続 2 を が 2 を が 3 を が 3 を 3 を 3 を 3 を 3 を 3 を 4 1 0 3 2 8 1 1 2 3 2 3 2 3 3 4 1 1 3 2 3 3 2 3 3 3 3 3 4 1 3 3 3 3 4 1 3 3 3 3 4 1 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	千円 千円 千円 下容 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	14,895 20,869 システム借上料 検討の余地あり 理、給与・諸手当の行なります。 高める余地あり 諸手当の管理、控防 ・経費の増加を抑制 高める余地あり が図れる運用ができ が処理を民間委託で ジステムを一元管理	14,895 20,922 20,922 20,922 20,922 20,922 20,922 20,922 20,922 20,922 20,922 20,922 21,83 21,8	14,895 20,515 20,515 277ム借上料 データの管理な 管理などをシステ の更新を行いま なめて検討します	14,895 20,820 システム修正等委託 料 システム借上料 こだを行うにあた テムで一括管 こした。長期的 。
評 価	スト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前	(・対・要 (・果 (・率る・と能 今() 示市 応 正性	RR	業業の にか必り 等でます 費の (国知り) (国力) 関係 (国力) (国力) 関係 (国力) 関係 (国力) 関係 (国力) 関係 (国力) (国力) (国力)	度 由間ス 由異型 由 3 給 直 表 続 2 を が 2 を が 3 を が 3 を 3 を 3 を 3 を 3 を 3 を 4 1 0 3 2 8 1 1 2 3 2 3 2 3 3 4 1 1 3 2 3 3 2 3 3 3 3 3 4 1 3 3 3 3 4 1 3 3 3 3 4 1 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	千円 千円 千円 下容 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	14,895 20,869 システム借上料 検討の余地あり 理、給与・諸手当の行なります。 高める余地あり 諸手当の管理、控防 ・経費の増加を抑制 高める余地あり が図れる運用ができ が処理を民間委託で ジステムを一元管理	14,895 20,922 20,922 20,922 20,922 20,922 20,922 20,922 20,922 20,922 20,922 20,922 21,83 21,8	14,895 20,515 20,515 277ム借上料 データの管理な 管理などをシステ の更新を行いま なめて検討します	14,895 20,820 システム修正等委託 料 システム借上料 こだを行うにあた テムで一括管 こした。長期的 。
評 価	スト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前	(・対・要 (・果 (・率る・と能 今() 示市 応 正性	RC Log to Royal Royal	業業の にか必り 等でます 費の (国知り) (国力) 関係 (国力) (国力) 関係 (国力) 関係 (国力) 関係 (国力) 関係 (国力) (国力) (国力)	度	千円 十円 中 中 中 中 中 中 中 中 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	14,895 20,869 システム借上料 注 検討の余地あり [理、給与・諸手当の行 なります。 高める余地あり [諸手当の増加を抑制 高める余地あり [が図れる運用ができ が処理を民間委託で 一縮小 □統合 □ ンステムを一一元管理 化と経費の削減を図	14,895 20,922 20,92 20,92 20,92 20,92 20,92 20,92	14,895 20,515 20,515 277ム借上料 データの管理な 管理などをシスラ の更新を行います 「終了」「休. 意発令から給与言	14,895 20,820 システム修正等委託 料 システム借上料 こだを行うにあた テムで一括管 こした。長期的 。
評 価	スト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前方 対	(・対・要 (・果 (・率る・と能 今(一) 大) 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	RR Ly C RR RR RR RR RR RR RR	業業 にか必り 等で事が 生 の等 費年 理短り 工程 工程 工程 工程 事が 理別と 理事が 理和は 課ぎ処	度 由間ス 由異型 由 3 給 直 表 続 2 を が 2 を が 3 を が 3 を 3 を 3 を 3 を 3 を 3 を 4 1 0 3 2 8 1 1 2 3 2 3 2 3 3 4 1 1 3 2 3 3 2 3 3 3 3 3 4 1 3 3 3 3 4 1 3 3 3 3 4 1 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	千円 十円 中 中 中 中 中 中 中 中 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	14,895 20,869 システム借上料 検討の余地あり 理、給与・諸手当の行なります。 高める余地あり 諸手当の管理、控防 ・経費の増加を抑制 高める余地あり が図れる運用ができ が処理を民間委託で ジステムを一元管理	14,895 20,922 20,92 20,92 20,92 20,92 20,92 20,92	14,895 20,515 20,515 277ム借上料 データの管理な 管理などをシステ の更新を行いま なめて検討します	14,895 20,820 システム修正等委託 料 システム借上料 こだを行うにあた テムで一括管 こした。長期的 。
評価	スト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前方 対容	(・対・要 (・果 (・率る・と能 今(一寸性 状実) 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	RR R R R R R R R R	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	度	千円 十円 中 中 中 中 中 中 中 中 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	14,895 20,869 システム借上料 注 検討の余地あり [理、給与・諸手当の行 なります。 高める余地あり [諸手当の増加を抑制 高める余地あり [が図れる運用ができ が処理を民間委託で 一縮小 □統合 □ ンステムを一一元管理 化と経費の削減を図	14,895 20,922 20,92 20,92 20,92 20,92 20,92 20,92	14,895 20,515 20,515 277ム借上料 データの管理な 管理などをシスラ の更新を行います 「終了」「休. 意発令から給与言	14,895 20,820 システム修正等委託 料 システム借上料 こだを行うにあた テムで一括管 こした。長期的 。

事者	务事 業 名	男女共生	三社会促進事業				整理No.	37
所	属名	部 総務	許	课 人権推進	課	7. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2.	内線	371
上 1	立施策名	分野 都市	ī経営	中柱 男女	共同参画の意識づく	り 小柱 男女共同	参画意識の	確立
	事業開始	年度 平成	27 年度		男女共同参画社会	基本法、坂戸市身	男女共同参画	町推進条例 、
	事業終了	年度 令和	; なし 年度	根拠法令等	坂戸市男女共同参	:画基本計画等		
		対 象		□障害者[☑個人 □世帯 □[団体 ②全ての人	□その他	
			るか) (具体的に) 全	市民				
	目標(対象	東をどのよ	うな状態にするた	めに当該事業	美を行っているか、 身	具体的な目標(数値	直)など。)	
	男女が互	いに人権る	や尊重し、固定的力	な性別役割分	・担が解消され、だれ			こ応じた活躍が
	できる男女	女共同社会	の実現を目指し	ます。				
	+ ** 101	/ The #12 at at	コ ソブ 手に ウ ナン (トフエ <i>はにロナしつ</i> !	. 7 /. \		
事					「るために何をしてし 座を通じて男女共同		か回ります /	併みて DU 性
 務	止への啓	発活動と初	皮害者への相談支	援を行います	一。また、第4次坂戸	市男女共同参画	基本計画(前	期計画)を策定
彻	します。(当初予算に	は、3,429千円でし	たが、新型コ	ロナの影響による事	業の中止等により	3,320千円	に補正していま
事		区	分	単位	令和2年度 実績(決算) :	令和3年原 計画(予算) 実	隻 €績(決算)	令和4年度 計画(予算)
業	指標①	男女共同	参画講座への参加	者 人	23	66	40	83
၂ ၈	指標②	女性相談	の実施回数	口	24	24	24	24
low.	指標③							
概	15年に分	よる法式度			を中止したことから、講座 し、新型コロナの影響下			女性相談は、施設
要								
	. –	事業		千円	2,434	3,320	3,272	1,130
	事涯	一般財源	国県支出金・その他	b) 千円 千円	2,434	3,320	3,272	1,130
	耒	員数		人	1.00	1.00	1.00	1.00
	· 2	人件	Ę	千円	4,965	4,965	4,965	4,965
		総事業						
	ス	祁 尹 未	費 ①+②	千円	7,399	8,285	8,237	6,095
	スト				男女共同参画の 男芸 周知啓発、講座の 周知	女共同参画の 男女 印啓発、講座の 周知	共同参画の 啓発、講座の	男女共同参画の 周知啓発、講座の
			を での年度別実施内		男女共同参画の 男女	女共同参画の 男女 知啓発、講座の 周知 崔、女性相談の 開催	共同参画の 啓発、講座の	男女共同参画の 周知啓発、講座の
	ト 把		の年度別実施内	容	男女共同参画の 男男 周知啓発、講座の 周頻 開催、女性相談の 開係 実施、意識調査実 実施	女共同参画の 男女 知啓発、講座の 周知 崔、女性相談の 開催 ・計画策定 実施	共同参画の 啓発、講座の 、女性相談の	男女共同参画の 周知啓発、講座の 開催、女性相談の
	ト 把 握 (着町	事業 	の年度別実施内 ✓ 必要性な	容	男女共同参画の 男男 周知啓発、講座の 周頻 開催、女性相談の 開係 実施、意識調査実 実施	女共同参画の 男女 知啓発、講座の 周知 崔、女性相談の 開催	共同参画の 啓発、講座の 、女性相談の	男女共同参画の 周知啓発、講座の 開催、女性相談の
	ト把握・が着手	事業 要点) ミニーズに しているか	の年度別実施内 図必要性が 【理由】 男女共同参画社会	容 が高い □検 ☆の実現に向け	男女共同参画の 男 男 周知啓発、講座の 周 別 開催、女性相談の 開係 実施、意識調査実 実施 施 討の余地あり	安共同参画の 男女 即啓発、講座の 周知 催、女性相談の 開催 施、計画策定 実施 必要性が低い いますが、固定的が	共同参画の 啓発、講座の 、女性相談の 、計画策定 は性別役割分	男女共同参画の 周知啓発、講座の 開催、女性相談の 実施 担意識等は改善
	ト把握・必要性・対・行政・	事業 	の年度別実施内 図必要性が 【理由】 男女共同参画社会 されていないことが	容 が高い □検 会の実現に向い が市民意識調査	男女共同参画の 男男 月 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	女共同参画の 男女 田啓発、講座の 周知 催、女性相談の 開催 施、計画策定 実施 必要性が低い いますが、固定的が います。また、配偶者	共同参画の 啓発、講座の 、女性相談の 、計画策定 は性別役割分 からの暴力の	男女共同参画の 周知啓発、講座の 開催、女性相談の 実施 担意識等は改善 担意職及び被害
	ト把握・必要性・対・行政・	事業 要点) ミニーズに しているか	の年度別実施内 図必要性が 【理由】 男女共同参画社会 されていないことが	容 が高い □検 会の実現に向い が市民意識調査	男女共同参画の 男 男 周知啓発、講座の 周 別 開催、女性相談の 開係 実施、意識調査実 実施 施 討の余地あり	女共同参画の 男女 田啓発、講座の 周知 催、女性相談の 開催 施、計画策定 実施 必要性が低い いますが、固定的が います。また、配偶者	共同参画の 啓発、講座の 、女性相談の 、計画策定 は性別役割分 からの暴力の	男女共同参画の 周知啓発、講座の 開催、女性相談の 実施 担意識等は改善 担意職及び被害
	ト把握 必要性 がすったで ・対ので ・がので ・がで ・がで ・がで ・がで ・がで ・がで ・がで ・が	事業 表点) ミニーズに かる とこいるの 必 はあるか	の年度別実施内 図必要性が 【理由】 男女共同参画社会 されていないことが 者への支援も重要	容	男女共同参画の 男男 別知啓発、講座の 周知 開催、女性相談の 開催 実施、意識調査実 実施 計の余地あり □	女共同参画の 男女 田啓発、講座の 周知 催、女性相談の 開催 施、計画策定 実施 必要性が低い いますが、固定的が います。また、配偶者	共同参画の 啓発、講座の 、女性相談の 、計画策定 は性別役割分 からの暴力の	男女共同参画の 周知啓発、講座の 開催、女性相談の 実施 担意識等は改善 担意職及び被害
	ト把握 必要性 有効 ・対・要 (・ ・財・のでは ・目	事業 見にいるのかはあるからはあるからない。	○の年度別実施内☑必要性が【理由】男女共同参画社会されていないことが者への支援も重要☑有効性が【理由】	容 が高い □検 会の実現に向い が市民意識調査 課題となってお 高い □高	男女共同参画の 男男 周知啓発、講座の 周頻 開催、女性相談の 開係 実施、意識調査実 実施 討の余地あり 立各種施策を推進して をの結果にも表れてい おり、いずれも行政が はある余地あり	安共同参画の 男女 田啓発、講座の 周知 崔、女性相談の 開催 施、計画策定 実施 必要性が低い いますが、固定的が ます。また、配偶者 進めていく必要があ	共同参画の 啓発、講座の 、女性相談の 、計画策定 は性別役割分 からの暴力の ると考えます。	男女共同参画の 周知啓発、講座の 開催、女性相談の 実施 担意識等は改善 担意識とび被害 。
	ト把握 必要性 有効 ・対・要 (・ ・財・のでは ・目	事業 艮点) 民ニーバのの 比関与のか はあるか 艮点)	の年度別実施内 図必要性が 【理由】 男女共同参画社会されていないことが 者への支援も重要 図有効性が 【理由】 啓発活動等を通じ機運の向上が図ら	容 ぶ高い □検 さの実現に向い が高い □高 で高い □高 て、みんなが何 れると考えます	男女共同参画の 男男 周知啓発、講座の 周月 開催、女性相談の 開催 実施、意識調査実 実施 計の余地あり □ な各種施策を推進している。 をいずれも行政が はめる余地あり □ はめる余地あり □ は性を発揮し多様な生た。 はり、いずれも行政が はある余地あり □	女共同参画の 男女 田啓発、講座の 周知 権、女性相談の 開催 施、計画策定 実施 必要性が低い いますが、固定的が います。また、配偶者 はめていく必要があ 有効性が低い き方ができる男女を る暴力やDVについ	共同参画のの を発、神画座のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	男女共同参画の 周知啓発、講座の 開催、女性相談の 実施 担意識等は改善 担意職等な被害 の実現に向けた ームページ、SNS
一次	ト把握 必要性 有効 一般 一般 一	事業 見にいるのかはあるからはあるからない。	の年度別実施内 図必要性が 【理由】 男女共同参画社会されていないことが 者への支援も重要 図有効性が 【理由】 啓発活動等を通じ機運の向上が図ら	容 ぶ高い □検 さの実現に向い が高い □高 で高い □高 て、みんなが何 れると考えます	男女共同参画の 男男 周知啓発、講座の 周月 開催、女性相談の 開催 実施、意識調査実 実施 討の余地あり 立 す 合種施策を推進している。 おり、いずれも行政が活める余地あり 団性を発揮し多様な生	女共同参画の 男女 田啓発、講座の 周知 権、女性相談の 開催 施、計画策定 実施 必要性が低い いますが、固定的が います。また、配偶者 はめていく必要があ 有効性が低い き方ができる男女を る暴力やDVについ	共同参画のの を発、神画座のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	男女共同参画の 周知啓発、講座の 開催、女性相談の 実施 担意識等は改善 担意職等な被害 の実現に向けた ームページ、SNS
	ト把握 必要性 有効性 着前原 応行性 明的は 意	事業とは、大きなのかでは、またののかでは、これののかでは、またののでは、またののでは、またののでは、またのではでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、また	の年度別実施内 「図必要性が 【理由】 男女共同参画社会 されていないことが 者への支援も重要 「「有効性が 【理由】 啓発活動等を通じ機運の上が機会を 「図ぬ率的で	容 ぶ高い □検 さの実現意識調で、 は高い □高 で、みんなが何 で、みんなが何 れると考えます。 捉えて周知を	男女共同参画の 男男 周知啓発、講座の 周月 開催、女性相談の 開催 実施、意識調査実 実施 討の余地あり 立各種施策を推進している。 こまた、いずれも行政が活動る余地あり はめる余地あり はいる余地あり はいる余地あり はいる余地あり はいる余地あり はいる余地あり はいる余地あり	女共同参画の 男女 田啓発、講座の 周知 権、女性相談の 開催 施、計画策定 実施 必要性が低い いますが、固定的が います。また、配偶者 はめていく必要があ 有効性が低い き方ができる男女を る暴力やDVについ	共同参画のの を発、神画座のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	男女共同参画の周知啓発、講座の開催、女性相談の実施 担意識等は改善 担意識等は改善 で実現に向けた ームページ、SNS
評	ト把握 必要性 有効性 効 着市が・要 着・果 着・1 率 ・ 実 の で	事業というでは、またのでは、またのでは、これでは、またのでは	の年度別実施内 「図必要性が、 「理由】 男女共にない。主とか者への支援も重要 「図有効性が、 「理由】 啓発活動等を通じ機運のなど様々な機 「図効率的で、 「理由】	容 ぶ高い □検 はで、みんなが何れると考えます。 はなる □ 高	男女共同参画の 男男 周知啓発、講座の 周月 開催、女性相談の 開係 実施、意識調査実 ま 討の余地あり ひ各種施策を推進している。 ひる余地あり 団性を発揮し多様な生に対する。 はり、いずれも行政が活める余地あり 団性を発揮し多様な生に対する。 はりる余地あり	女共同参画の 男女 田啓発、講座のの 開業を 必要性が低い でますがた、、配置に のできる男女に る暴力やDVにできる男女に る暴力やDVにない と被害者の支援につる。 効率的ではない	共同参画のの	男女共同参画の 周知啓発、講座の 開催、女性相談の 実施 担意識等は改善 を を で を で と で と で と で と は で と で と で と で と で と で
	ト把握 必要性 有効性 効率性 着市が・要 着・里 着・コ率る・民	事 まこし まこし まこし まこし まこし まこし まこし まこし	の年度別実施内 図必要性が 【理由】 男女共いないをできる。 当れていたででできる。 対していたでできる。 対していたができる。 は	容 「	男女共同参画の 男男 周知啓発、講座の 周月 開催、女性相談の 男子 講施、意識調査実 また。 討の余地あり	安共同参画の 男女 田啓発、講座のの 周知 離、女性画策に 男女性 必要性が低い 固定的が います。まいく必要がある。 有効性が低い き方かやすのではない を表表する。 の事的ではない 女性の様々なない 女性の様々なた。まが をおいました。まが	共同参講画のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	男女共同参画の周知啓発、講座の開催、女性相談の開催、女性相談の実施を登録をは改善を表している。 ・の実現に向けたのまでは、SNSにます。
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 着市が・要 着・里 着・コ率る・民	事 書 表 引 こ に 力 は ま と と と と と と と と と と と と と	の年度別実施内 図必要性が 【理由】 男女共いないをできる。 当れていたででできる。 対していたでできる。 対していたができる。 は	容 「	男女共同参画の 男男 周知啓発、講座の 周月 開催、女性相談の 開催 実施、意識調査実 実施 詩の余地あり □ か各種施策を推進してい をおまにも表れていが はある余地あり □ 国性を発揮し多様な生 に、また、で、暴力防止。 はある余地あり □ 専門カウンセラーがす	安共同参画の 男女 田啓発、講座のの 周知 離、女性画策に 男女性 必要性が低い 固定的が います。まいく必要がある。 有効性が低い き方かやすのではない を表表する。 の事的ではない 女性の様々なない 女性の様々なた。まが をおいました。まが	共同参講画のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	男女共同参画の周知啓発、講座の開催、女性相談の開催、女性相談の実施 担意識等は改善 は改善の実現に向けた一ムページ、SNSよます。
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 着目に応呼性 間角は 眼入的に関かれ	事 まこし まこし まこし まこし まこし まこし まこし まこし	での年度別実施内 「図必要性が、 「理由】 のの要性が、 「理由】 ののでは、 「理由】 ののでは、 「理由】 ののでは、 「理由】 ののでは、 「理由】 ののでは、 「理由】 にいのでは、 「理由】 にいのでは、 「関係できる。 「対策を対策を対策を対策を対策を対策を対策を対象を対策を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	容	男女共同参画の 男男 周知啓発、講座の 周月 開催、女性相談の 男子 講施、意識調査実 また。 討の余地あり	安共同参画の 男女 田啓発、講座のの 周知 離、女性画策に	共同参講画のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	男女共同参画の 周知啓発、講座の 開催、女性相談の 開催、女性相談の までは、 は改善 は改善 は改善 の実現ページ、SNS ます。 る相談を本計画策
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総 着市対・要 第一果 第二率の民と能 明日は 眼入的に間が	事 まこし は は に た に た た た た た た た た た た た た た	の年度別実施内 図必要性が 【理由】 別がよる者へのです。 のも、 のものでは、 ののでは、 のの	容 「	男女共同参画の 男馬 周知啓発、講座の 周月 開催、女性相談の 実施 計の余地あり	安共同参画の 男女知の 男女知の 男女知の 男女知の 男女 男の 男女 男 別 開催 施	共同を講演を 大きな大画画のののののののののののののののののののののののののののののののののの	男女共同参画の 周知整発、講座の 開催、女性相談の 開催、女性相談の ま意みと は改善 は改善 を まれている。 の まれている。 の まれている。 まれてい。 まれている。 まれている。 まれている。 まれてい。 まれている。 まれている。 まれている。 まれている。 まれてい。 まれている。 まれている。 まれてい。 まれてい。 まれてい。 まれてい。 まれて、 まれて、 まれて、 まれて、 まれて。 まれて、 まれて、 まれて、 まれて、 まれて、 まれて、 まれて、 まれて、
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評 着市が行要 着・里 第二率る民と能 今改 を書 しまいが、関係が、後書	事 まこし まこし まこし まこし まこし まこし まこし まこし	での年度別実施内 「図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	容 「	男女共同参画の 男月 周知啓発、講座のの 開展 開展、女性相談の実施 「計の余地あり」	安共同参画の 男女知答、講座ののの 男女知答、講座でののの 男女知 と 大田	共啓 (大)	男女共同参画の 周知等発、講座の 開催、女性相談の 開催、女性相談の 意識及び被害 は被害 は被害 の実現一ジ、SNS にジ、SNS ます。 を実計画 上 を変すると考え
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合 着市対・要 着・果 着・T率のよと能 今	Relation Applies App	での年度別実施内 「図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	容 「	男女共同参画の 男周 周知整発、講座の 周周 開展、女性相談の実施 計の余地あり	安共同参画の 男女知答、講座ののの 男女知答、講座でののの 男女知 と 大田	共啓 (大)	男女共同参画の 周知整発、講座の 開催、女性相談の 開催、女性相談の 意識及び被害 は被害 は被害 の実現一ジ、SNS ます。 を実計画 上 を本計画 を 上 に を を を を を と を を と を と を と を と し 、 を と し 、 を と し 、 と し 、 と し 、 と 、 と し 、 と 、 と 、 と と と と
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評 着市が行要 着・里 第二率る民と能 今改 を書 しまいが、関係が、後書	Relogita Roba 点、執 委合・の策 事 ズるのか か 変で 他携 向う 大い与る たか 面き 他携 向う) ないがある ない まず	での年度別実施内 「図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	容 「	男女共同参画の 男月 周知啓発、講座のの 開展 開展、女性相談の実施 「計の余地あり」	安共同参画の 男女知答、講座ののの 男女知答、講座でののの 男女知 と 大田	共啓 (大)	男女共同参画の 周知整発、講座の 開催、女性相談の 開催、女性相談の 意識及び被害 は被害 は被害 の実現一ジ、SNS ます。 を実計画 上 を本計画 を 上 に を を を を を と を を と を と を と を と し 、 を と し 、 を と し 、 と し 、 と し 、 と 、 と し 、 と 、 と 、 と と と と
価	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 着市対・要 着・果 着・T率る、ELO能 今改 関係の では 関係は 眼ス的が、間続か 後き	Relogit Robb 点、執 委合 の策 たい まこし Robb 点、執 委合 の策 一 大るのか あさ 他携 向う 後 で は か必 めい 等で 事が 性 の かい めい まず せいかい かい かい かい かい かい かい かい かい かい まず しかい かい か	での年度別実施内 「図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	容 「	男女共同参画の 男月 周知啓発、講座のの 開展 開展、女性相談の実施 「計の余地あり」	安共同参画の 男女知答、講座ののの 男女知答、講座でののの 男女知 と 大田	共啓 (大)	男女共同参画の 周知等発、講座の 開催、女性相談の 開催、女性相談の 意識及び被害 は被害 は被害 の実現一ジ、SNS にジ、SNS ます。 を実計画 上 を変すると考え
評価	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前方 着市対・要 着・果 着っ率る・RJC能 今改 示性 明的は 眼入的、間紡 後き して	Reloted By	での年度別実施内 「図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	容 「	男女共同参画の 男月 周知啓発、講座のの 開展 開展、女性相談の実施 「計の余地あり」	安共同参画の 男女知答、講座ののの 男女知答、講座でののの 男女知 と 大田	共啓 (大)	男女共同参画の 周知等発、講座の 開催、女性相談の 開催、女性相談の 意識及び被害 は被害 は被害 の実現一ジ、SNS にジ、SNS ます。 を実計画 上 を変すると考え
評価	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前 着市対・要 着・果 着・コ率る氏と能 今改 示明 Bic Black	Relot Boyon Act	の年度別実施内 「図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	容 「	男女共同参画の 男周用 男 男 男 男 男 男 男 男 男 男 男 男 男 男 男 男 男 男	安共同参画の 男女知俗、 男女 男 別 男	共啓 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	男女共同参画の 周知等発、講座の 開催、女性相談の 開催、女性相談の 意識及び被害 は被害 は被害 の実現一ジ、SNS にジ、SNS ます。 を実計画 上 を変すると考え

事:	務事	集名	人権	啓発	事業									整理No.	38
所	属	名	部	総務	部		課	人権推進	課	į	記入者	西山	絵理	内線	233
 	位施 6								かでででである。 対育・啓発推進と生活						搖
			年度		44	年度		1 12 / //	部落差別の			_		14000	71年
			年度		なし		根拠	法令等	人権教育及	•				7. 注. 往	
	尹未	₩2]	十戊	⊤₩	1よし	一高齢	≠ □	障害者	八雅教 月 及 □個人 □世			1年、E に 7 全ての		□その他	
	(≣#	対価を対		象 でいる	5 <i>t</i> () (具体的に)	в Ц	件百日		.ш. Ш		<u></u> C .	<i>,</i> ,,		
								√/ =± ± ×	W+/	71. 5	= 4.4.4.		₩L I \	4-18)	
									業を行ってい 熱な源み E						解消が図られ
					回感に		エレマリュ	生用牛 乙 前心	戦を休め、P.]作[]印起	見化はしの	りとしん	_00019	かる 定別が	/ 件 付 が 凶 り 4 し
			,	,											
事	事業	概要	(取組	内容	·活動[内容など	、目的	を達成す	するために何	をして	いるか。)			
7	人権	に関	する名	予 種啓	外発用 品	品の作成	•配布	、啓発記	事の広報紙	への掲	載等、同	和問			6様々な人権問
務															による事業、研
事		ツ 円.	正寺(により	2,3/1⊤	一円に佣。	EU	います。)(令和4年度					ど統合しま	
7				区	分			単位	令和2年原 実績(決算		計画(予	令和3 質)		(決算)	令和4年度 計画(予算)
業	指標	(1)	資料	作成	(こころ)	のふれあ	((J	部		000		0,000	人们只	10,000	10,000
りの		_			の配布	-> •0 4 00)	,	鉢	•	360		3,360		3,360	3,360
	1F:18	_							ა,	JUU	•	,,,,,,,,,,		3,300	•
概	拍倒	₹ ③	八惟	1世彰(の実施	おり生せ	オスト	回 - レができ	- (主) た		-			-	12
要	指標	に対っ	する達	成度	可四と	おり実施	4 y O C	_C// CC	こました。						
		(1)	車	業	掛			千円	2	239	•	2,371		2,234	3,267
	総 事	財				出金・その	他)	千円	·	234	•	234		234	234
	業		一般	財源				千円	2,	005	2	2,137		2,000	3,033
	費		員					人	1	.00		1.00		1.00	1.00
	· =	2		件費				千円		965		4,965		4,965	4,965
	ス		総・	事 業	費(1)+2)		千円	. ,	204		7,336	改彩旦.	7,199	8,232 啓発品・資料の作
	ト 把			中本	の年曲	別実施区	b宓		成・配布、研修	会 成	•配布、研	修会	成•配布		成•配布、研修会
	握			尹禾	の千茂	.加天心2	竹台		参加等	参	加等	;	参加等		参加、人権擁護委員による人権相談
		/ * or	3 L \			✓ 必要性	上が高い	□─────────────────────────────────────	食討の余地あり		必要性が	低い			
		(着眼 •市長	。 3.コー: 3.コー:	ズに	【理由]									
	要	対応	してい	るか											り、人権が尊重
	性	・仃以 要性	【関 ク はある	の必らか					・発店動はこれ と考えます。	れまでに	にも増し、	〔里罗	であり	、行政かり	取り組んでいか
					, 4 1) 40						1 	let i s			
	有	(着眼	(点)		【理由	└_」有効性 ¶	か高い		ぶめる余地あり		有効性が	低い			
l —	杰		うとした あるか			_	に活用	できる啓	\$発資料·啓	発品の	作成•配	布は、	人権に	こ関する市	「民に対する 啓
·/	竹王	未は	മാവ	•						ームペー	ージ等イ	ンター	ネット	での情報	発信にも力を入
次 					#L'(V'	きたいと	考えて	います。							
評		(着眼)		面等効	₹ ⊤⊞ 土 `	☑効率的	である	言	あめる余地あり		効率的で	はない			
/#E	<u> </u>	率的に	執行で	きてい	【埋田	】 \$*****/}	見が作	成したむ	のも活用する	らなどコ	ストを加	ラス丁	#4.1	ております	ト。また、職員数
価 	性	・民間	委託や作	他事業	も必要	最小限的	つ状態	で取り組	いい lんでおり効≥	がなこ 一	実施して	いると	ろうこ 考えま	す。	。よた、佩貝奴
		との税 能か	合·連携	秀か 可											
	6//				見ī	直し(🗌	改善・交	协率化	□縮小 ☑ 紛	t合 🗌 i	拡充)[継続	■ 約	咚了 🗌休	止 □廃止
	総 合	会 後	の方向	51性		名:新井	_		What to Late	v. 15	→ (Ida top =0.0 t → taba
			等策等												情報発信等で 人権擁護推進事
	価					含めて事				.v · C ^ j	ル みり。	·440,	13 (T) (1)	戸(又は)	VTEI7世境1出些书
	**=	= -	t	4.D	'										
-,L			た今後 女善策												
改善		、 -3		/		□実施湯	\$ (ተነ ነ		部実施 🗌	検討中		未実施	Г	その他	
状						□天旭》	- (** /		ᄖ소ᄺ	יות אוי	;	小大肥	Ĺ	」で記	
況	容、ラ		色の理												
	ー 由、 *	N 554.													

事	務事	業 名	人権擁	護推進:	事業					整理No.	39
所	属	名	部総	答 部		課 人権推進		記入者	西山 ;	会理 内線	233
上	位 施	策 名	分野 都	市経営		中柱 相談	炎事業の推進	小木	主人権に	関する相談事	業
	事業	美開始	年度 平月	戊 15	年度		人権擁護委員	法			
			年度 令		- 年度	根拠法令等					
	•		対象		□高齢者	皆 □ 障害者	□個人□世帯	□団体	☑全ての。	人 □その他	
	(誰.		り 対象としてい	い るか) (具体的に)						
	目標	€(対≨	象をどの。	くうな状態	態にするた	めに当該事	業を行っているな	い、具体的	な目標(数	数値)など。)	
						しい理解と認	認識を深め、同和	問題をはじ	めとした	あらゆる差別の	解消が図られ
	た人	.権を	尊重する	まちにし	ます。						
事	古地	+ 4AII 786	(Ho & D ch	売。江岳 山	中索45は	日的大法式	ナスナーめに何たし	ナハスか	1		
7							するために何をし 動の推進を図り			510千円でした	・が 新型コロ
務							正しています。)(
事											
			区	分		単位	令和2年度 実績(決算)	計画(予	令和3年 8年)	F度 実績(決算)	令和4年度 計画(予算)
業		標(1)	人権相詞	炎の実施		旦	大根(人并)	- 日四()	12	大順(八升)	可凹(了井)
の		標②) CIE IO	/(*/ // nii		ы			12	10	
概		標③									
饭	1 11	ほじ		新刑二	ココナの影	<i>墾に</i> 上り注	· 局から人権擁護	 	人権和記	&の中止要請か	ぶあったことか
要	指標	に対	する達成原	きら、8月	1、9月は	人権相談を実	を施できませんで	した。)/VIETH	八〇 正女明 //	a) TECEN
	総	1	事 業	費		千円	294	1	465	461	
	事業				出金・その位						_
	業 費		一般財活	京		千円	294	1	465	461	0
	. =		員 数 人 件	書		人 千円	(0	0	0	0
	ス	•	総事		1)+(2)	千円	294		465	461	0
	ト 把		古:	ᄣᄼᄼᇠ		1 to	新型コロナのため 中止			権擁護委員によ 人権相談、啓発	
	握		事 :	乗の年度	別実施内]谷	十	活動		動	
		(着則	(点)		✓ 必要性	が高い □ ホ	検討の余地あり	□必要性	が低い		
			ミニーズに		_	めしする様々	・な人権問題が発	*生1 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.	をに対す	ス関心が直まっ	ています 人族
		·行政	女関与の必				実施は行政として				ていより。八個
		要性	はあるか								
_	有	/ * =	9 		☑ 有効性が	が高い □ 🦳	高める余地あり	□有効性が	が低い		
			りとした効	【理由]				-	↓ 大宏 な在 言在 ♪ ァ ∓田 仓	ながなり 人佐
	効性	•目的		法務力	】 大臣から委	「嘱されている	高める余地あり 5人権擁護委員に も密であることか	よ、人格見	識が高く		
次	劾 性	•目的	りとした効	法務力	】 大臣から委 事件等法務	「嘱されている	5人権擁護委員	よ、人格見	識が高く		
	効 性	・目的果は	かとした効 あるか 点)	法務 侵犯事 えます	】 、 、 、 、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	「嘱されている	5人権擁護委員	よ、人格見	識が高く 談の相割		
評	効性 効・	・目は、着は、また、	りとした効 あるか	法務けるます。	】 大臣から委 事件等法系 - - - - - - - - - - - - -	『嘱されている 务局との連携 である □ 『	5人権擁護委員にも密であることか 高める余地あり	は、人格見 ら、人権相 □ 効率的	識が高く 談の相認 ではない	負とすることは	有効であると考
	効性 効・	・果(・平の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の	りとした効 あるか 点) ※ 業行できて 委託や他事	法侵え、工工権	】 大臣から委 事件等法系 - - - - - - - - - - - - -	『嘱されている 务局との連携 である □ 『	る人権擁護委員にも密であることか	は、人格見 ら、人権相 □ 効率的	識が高く 談の相認 ではない	負とすることは	有効であると考
評	効性 効率	・果(・平の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の	りとした効 あるか 点) 、業務面等 こ執行できて	法侵え、工工権	】 大臣から委 事件等法系 - - - - - - - - - - - - -	『嘱されている 务局との連携 である □ 『	5人権擁護委員にも密であることか 高める余地あり	は、人格見 ら、人権相 □ 効率的	識が高く 談の相認 ではない	負とすることは	有効であると考
評	効性 効率性	・果(・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	りとした効 あるか 点) ※ 業行できて 委託や他事	法 侵 え 理 権 見	】 「臣から委 事件等法務 「 対率的 」 】 目談の実施 直し(□ □	「 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	5人権擁護委員にも密であることか 高める余地あり	は、人格見は ら、人権相 □ 効率的 目談員となる	識が高く 談の相談 ではない ることで効	負とすることは	有効であると考務が行えます。
評	効性 効率性 総	・果(・平る・と能・場が、関係が、関係が、関係が、関係が、関係が、関係が、関係が、関係が、関係が、関係	りとした効 あるか 点) 系 務 育できて 表 、 執 行できて 事 に 連携がで	 	】 「Eから委 事件等法系 「J 効率的 」 】 目談の実施 直し(新井	である □ R をにあたり、人 なき・効率化 仁】	5人権擁護委員に も密であることか 高める余地あり 、権擁護委員が村	は、人格見 は、人格見 ら、人権相 □ 効率的 目談員となる □拡充)	識が高く 談の相談 ではない ることで効 □継続	員とすることは率的な相談業□終了 □休.	有効であると考 務が行えます。 止 □廃止
評	効性 効率性 総合評	・果 (・率る・と能 今	りとした効 あるか 点) ※ 業行できて 委託や他事	 	】 「 上 上 上 上 上 上 上 上 上 大 本 に 一 。 「 の の の の の の の の の の の の の	「 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	る人権擁護委員にも密であることかい 高める余地あり 権擁護委員が村	は、人格見 は、人格相 □ 効率的 目談員となる □ 拡充) 民の人権に	識が高く 談の相談 ではない ることで刻 □ 継続 関する問		有効であると考 務が行えます。 止 □廃止 一歩として非
評	効性 効率性 総合	・果 (・率る・と能 今	りとした効 あるか 点、業務のできて 素行でや地携がで の方向性	 	】 「 上 上 上 上 上 上 上 上 上 一 、 一 、 一 、 一 、 一 、 一 、 一 、 の の の に 新 委 の の の の の の の の の の の の の	「 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	5人権擁護委員にも密であることから 高める余地あり 、権擁護委員が相 「編小」「記統合 談の実施は、市民 して引き続き実施して引き続き実施」	は、人格見 は、人格相 □ 効率的 目談員となる □ 拡充) 民の人権に	識が高く 談の相談 ではない ることで刻 □ 継続 関する問		有効であると考 務が行えます。 止 □廃止 一歩として非
評	効性 効率性 総合評価	・果 (・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	りとした効 あるか 点、業務のできて 素行でや地携がで の方向性	 	】 「 上 上 上 上 上 上 上 上 上 一 、 一 、 一 、 一 、 一 、 一 、 一 、 の の の に 新 委 の の の の の の の の の の の の の	「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	5人権擁護委員にも密であることから 高める余地あり 、権擁護委員が相 「編小」「記統合 談の実施は、市民 して引き続き実施して引き続き実施」	は、人格見 は、人格相 □ 効率的 目談員となる □ 拡充) 民の人権に	識が高く 談の相談 ではない ることで刻 □ 継続 関する問		有効であると考 務が行えます。 止 □廃止 一歩として非
評	効性 効率性 総合評価 前回	・果 (・・率る・と能 今(示のかの) 一条	りとした効 点) 業行 の 新でさ 他携が で も 大 等 で も り で も で も り で も り き う で も り も り も り も り も り も り も り も り も り も	 法侵え	】 「 上 上 上 上 上 上 上 上 上 一 、 一 、 一 、 一 、 一 、 一 、 一 、 の の の に 新 委 の の の の の の の の の の の の の	「 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	5人権擁護委員にも密であることから 高める余地あり 、権擁護委員が相 「編小」「記統合 談の実施は、市民 して引き続き実施して引き続き実施」	は、人格見 は、人格相 □ 効率的 目談員となる □ 拡充) 民の人権に	識が高く 談の相談 ではない ることで刻 □ 継続 関する問		有効であると考 務が行えます。 止 □廃止 一歩として非
評価	効性 効率性 総合評価 前方	・果 信・率る・と能 今(示性)	対としたか 点) 黒、、執 素行 のま 一 大 会 のま 大 会 のま 大 会 で や 機 が に も も も も も も も も も も も も も	 法侵え	】 「 上 上 上 上 上 上 上 上 上 一 、 一 、 一 、 一 、 一 、 一 、 一 、 の の の に 新 委 の の の の の の の の の の の の の	「	5人権擁護委員にも密であることから 高める余地あり 、権擁護委員が相 「編小」「記統合 談の実施は、市民 して引き続き実施して引き続き実施」	は、人格見 は、人権相 □ 効率的 目談員となる □ 拡充) 民の人権に をしていきた	識が高く 談の相談 ではない ることで刻 □ 継続 関する問		有効であると考 務が行えます。 止 □廃止 一歩として非
評 価	効性 効率性 総合評価 前方 対	・果 信・率る・と能 今(一示性 状の) 間が 後き して 況	対としたか 点)業行 所でや地携 向等 大数 会等でも地携 に数 の等 大数 に数 に数 の等 大等 大等 大等 施等 の等 大等 た数 に対 の等 大等 た数 に対 の等 大等 の等 大等 ため の等 大等 ため の等 大等 ため の等 大 の等 大 の等 ため の等 大 の等 ため の等 の等 の等 の等 の等 の等 の等 の等 の等 の等	 法侵え	】 一 上 上 上 上 上 上 上 上 上 十 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	「	5人権擁護委員にも密であることから 高める余地あり、 権擁護委員が相 「一縮小」「ご統合 談の実施は、市民 して引き続き実施 して引き続き	は、人格見 は、人権相 □ 効率的 目談員となる □ 拡充) 民の人権に をしていきた	職が高くではないることで単株はないまたまたまたまた	※員とすることは 率的な相談業 □ 終了 □ 休 題の解決の第 よます。なお、令	有効であると考 務が行えます。 止 □廃止 一歩として非
評 価	効性 効率性 総合評価 前方 対容	・果 (・) 率る・と能 今(示性 状実) には 眼がに間紡 後き して 況実)	対としたか 点) 黒、、執 素行 のま 一 大 会 のま 大 会 のま 大 会 で や 機 が に も も も も も も も も も も も も も	法侵え 【 人 課 権に啓 見長 報 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	】 一 上 上 上 上 上 上 上 上 上 十 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	「	5人権擁護委員にも密であることから 高める余地あり、 権擁護委員が相 「一縮小」「ご統合 談の実施は、市民 して引き続き実施 して引き続き	は、人格見 は、人権相 □ 効率的 目談員となる □ 拡充) 民の人権に をしていきた	職が高くではないることで単株はないまたまたまたまた	※員とすることは 率的な相談業 □ 終了 □ 休 題の解決の第 よます。なお、令	有効であると考 務が行えます。 止 □廃止 一歩として非

						令和	3	年	度事務	事業語	平価シー	· 卜		【様式1】
事務	§ 事 第	名	移住	定住仍	足進事	業							整理No.	40
所	属	名	部	総合政	策部		課	政策企画	可課		記入者	野澤	内線	133
上 位	ī 施 第	名	分野者	都市経	営			中柱 住宅	三(団)地	の連携	小木	主定住支	援に係る連携	
	事業	開始	年度	令和	3	年度	1 8 thi	l法令等	地域少	子化対策	策重点推送	進交付金		
	事業	終了	年度	令和		年度	似双	上本中寺	坂戸市	結婚新生	生活住宅則		補助金交付要	綱
		女				□高齢	者	障害者	□個人	□世帯	□団体	□全てのん	✓ その他	
	(誰、	何を対	まとし	ているか	`) (具	体的に)	坂戸	市結婚新	f生活住	宅購入費	費等補助金	念交付要約	岡の要件を満た	とす世帯
													枚値)など。)	rt 2. 7/2 lenn n. 1.
	治婚?	と機り ナー	こ、本「 小子化	巾に転く対策。	i人する いして	D万を刃 結婚	*聚に 妊娠・	、結婚に ・出産 子	伴り経済 と音てを	での負担を 通じたす	を軽減する 援メニュー	うことで、> -が充実す	告い世代の結婚 「ろことで本市の	盾を後押ししま の魅力を高め、
	本市に	こ移り	り住む	方や、	本市に	住み続	計る	方の増加	を目指	します。		~ / 10/00 /	DCC (//////	>)EED 3 C A1 * > (
事	事業権	既要	(取組)	内容・氵	舌動内	容など	、目的	りを達成す	するため	に何をし	ているか。	,)		
務														系る費用を補助
	するがている		新生活 ※.	文援作 なお、	用旫金 坂戸市	を父付! 5結婚業	ンます F生活	。	「他事業 入費等額	に流用し 助金は、	ルたため、≣ 、 R4 年度か	自初16,000 Pらこども	十円から 3,000 支援課に移管	千円に補正し します。
事		., 0					. —			12年度	, , , , , , ,	令和3年		令和4年度
業			12	<u>x</u>	分			単位		(決算)	計画(予算)	実績(決算)	
	指標	1	支給世帯	#実績/	支給見足	込世帯数の	割合	%				100	80	100
の	指標	2	結婚新生活支	援事業に関す	るアンケートに:	おける「本事業の	認知度」	%				100	75	100
概	指標	3												
 要	指標(こ対す	する達瓦	戊度										
^			事業					千円		0	•	3,000	1,605	92
	総 事	\sim			県支出	金・その)他)	千円		0		2,000	1,003	0
	業 費 ,		一般則					千円		0)	1,000	535	92
	• 1		員数					人				0.20	0.20	0.20
	コス	(2)	人件级量	· 費 『業費	₿ ①	+(2)		千円 千円		0		993 3,993	993 2.598	993 1,085
	۲		小心 于	"木 戶				111		U	補助金の対		,	補助金の支給事務
	把 握		1	事業の	年度別	川実施内	內容				務	務		(こども支援課へ移 管)
		着眼			[☑ 必要性	tが高い	.\	食討の余り	也あり	□必要性	が低い		
			ニーズ している	, <u>,</u> , ,	理由】	ひしゃ ひせいき	- 44 . k .	7. Lu 0. ±		マケルエ氏力	~ /L > * + List	. A .In44.	. #h . III //\)-	41. by 4-4-
	性	行政	関与の)必 ^形									は、若い世代に 必要性は高い。	対する本市へと考えます。
	-	要性(よある た	2,	_	_								_ • • / •
	19 <u> </u>	着眼	!点)]とした?	効果【	_	☑ 有効性	い向い	, <u> </u>	島める余地	טא	□有効性	か低い		
_	効性	はある	るか	補	f助金									て、対象を所
ا . ـ	-			待	身の高く	くない世	:帯に	限定して	いること	からも、マ	有効性が認	忍められま	きす。	
次	뇼.		、業務面		_	7 効率的	である	1	高める余地	あり	□ 効率的	ではない		
評	率	るか	執行でき	4-		生活支:	淫補用	金につ	いてけ	国のなん	寸全制 度る	>活田1.7	*	を受けて実施す
価	11 /	≥の統	委託や他 合・連携:	サネ プ				行が図ら			1 75 (117/20			生文() () ()
	Í	能か			見直	し(□	改善∙	効率化	□縮小	□ 統合	□ 拡充)	☑ 継続	□終了 □休	止 □廃止
	総			[ⅰ∶本多		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			III.	T WE TO		<u> </u>
	合	今後(の方向が										ことは必要性だ	ぶ高く、若い世 、補助制度は
	評 価	(改善	策等)											の魅力を高める
	Щ									分野の政	女策におい	て、魅力	を高める意識を	をもって取り組
					としとわ?	小円人	. じめ′	ると考える	エ 9。					
_,			こ今後 ෭善策											
改善善	73 173 1	_ \ U	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	.1 /	r	□実施泳	\$ (ተነ ነ	п	·部実施	□検討	, ф]未実施	□その他	
状			(実施		L	天心》	ョ (ザ <i>)</i>	ш-	叩大心		ı⊤ ∟	」个天他	ᆸᅋ	
況	容、未今後の		色の理 定等)	由、										
	, ,,,,,,,	- 1.	· 11. /											

古区	女 击 坐 夕	炒스타 교	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				Φ/ IHM。	41
			ī推進事業 ····				整理No.	41
所	属 名	部 総合	政策部課	政策企 画	謀	記入者	村 内線	132
上位	立施 策 名	分野 都市	経営	中柱 行政	て改革の推進	小柱 計	画行政の推進	
	事業開始	年度 平成	31 年度 [5][5]		地方自治法、坂戸	市総合計画策算	定条例、坂戸市総合振り	興計画審議会条例
	事業終了	年度 令和	根拠 年度	法令等	坂戸市市民参加	条例、坂戸市	議会の議決すべき事件	生に関する条例
				障害者	□個人 □世帯		全ての人 □その他	
		す 象 対象としている		,			_	
		5 + 15 A L		가 st 古 *	坐ナ仁 - ナいてか	日比如小口	+m / *h /去 \ + 、 じ	
			うな状態にするために 上基本構想を策定し、					リ て 今ての
			- 盆本情心を承足し、。 つ、現状分析と将来予					として、主ての
							, •	
事	事業概要	(取組内容	・活動内容など、目的	を達成す	けるために何をし	ているか。)		
			14年度を計画期間と				前期基本計画を策	定し、市民と行
務			けとします。また、事業		りに推進するため	、3か年の事	業計画である実施計	十画を策定し、
事	毎年度見	直すローリ	ングシステムを採用し	ます。				
_		区	分	単位	令和2年度		和3年度	令和4年度
業	15 IE ()				実績(決算)		2 1111(1117)	計画(予算)
	指標①		ップ実施回数	旦	0		3	0
の	指標②	市民コメン	小の実施	口	0		0 0	2
概	指標③	庁内検討	会議の実施	口	0		10 10	10
l	15 (m; - 1)	L 2 \+ _L =	令和3年度において	、計画ど	おりワークショッフ	プを開催しまし	た。	
要	指標に対す	する達成度						
	総①	事業	費	千円	558	5,3	5,165	8,040
	事 財		国県支出金・その他)	千円	0		0 0	0
	書	一般財源		千円	558	- ,	343 5,165	
	. 職	員数		人	0.20		00 1.00	1.00
		人件費		千円	993	· ·	965 4,965	4,965
	ス ト	総事業	費 ①+②	千円	1,551	10,3	308 10,130 (素)、基本構想(素案)、	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	把	事業	の年度別実施内容		ワークショップ開催	基本計画(素案	基本計画(素案)	画の策定
	握				準備等	の策定	の策定	
	、(着眼	(点)	☑必要性が高い	↑ □ 核	食討の余地あり	□必要性が低	.l.\	
		ミニーズに	【埋田】 第7次坂戸市総合計	画其未結	集相。前期其未到	・画は 未声の	(行政運営の長期的	1ナンセント
			総合的かつ計画的な					ハヤ1日本! C/キン、
		はあるか				, ,		
			☑ 有効性が高い	口高	あめる余地あり	□ 有効性が低	lı	
	有(着明		【理由】			_		
-	刈井	りとした効果 るか	審議会及びワークショ					に、高校生ワー
次	性 はめ		クショップを通じて、村	水々は思	兄を収集すること	が山米ました	-0	
	/¥n=	E.			547 A 14+6	□ <u>₩</u>	-	
評	(着眼.	、業務而等効	☑ 効率的である 【理由】		らい かっぱん かい	□効率的では	<i>(</i> 41)	
価	刈 率的に 率 るか	執行できてい	策定支援の業務委託	£を行うこ	とで、素案の策策	定を効率的に	行うことができました	o
"		委託や他事業 合・連携が可						
	能か							
	総		見直し(□ 改善・対		□縮小 □統合	□ 拡充) 🗹	継続 □終了 □休	止 □廃止
		の方向性	【課長名:本多 崇 】		· + 1= += +0 - +m+0	1 + ++++	(大学)	= + ※ ᄉ ᆗ 포
	評 (改善	策等)	引き続き、市民の意見基本構想・前期基本				を 議伏し、 男 / 伙 坂	尸巾総合計画
	価		22.1 1172. 1377.22.1	F1 III C /C		J. 7 0		
	前同ニレ	ト会後の						
74	前回示した 方向性(d							
改善	, , , , , , , , ,	_ / · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	□実施済(中)	□	部実施 □ 検討	け中 □未	実施 □ その他	
状	対応状況		□ 天旭湃(甲)	ш	四大池 山伊的	ロイ 日本:	大心 다 전에	
況	容、未実施							
	今後の予	疋寺)						

						令和	3	年	度事務事	業部	平価シ-			【様式1】
事務	务事 業	名	まち	づくり	応援署	序附金 护	推進事	業					整理No.	42
所	属	名	部	総合	政策部		課〕	政策企画	ゴ 課		記入者	者 木村	内線	132
上位	上施 策	名	分野	都市	経営		ı	中柱 財源	原の安定確	保	小	柱自主則	才源の確保	
	事業				20	年度	根拠	法令等	坂戸市ま	ちづく	り応援寄	所条例		
	事業組	佟了	年度	令和		年度				і ш. ш.				
	(≣# 4	対記を対		象 している	(1 ΛΛ) (Ε	■ 局断 具体的に)	有 L] [阿吉石	□個人 □	世帝	□□団体	▽ 全ての)人 □ その他	
					,		- ル ニ	小学中	要 左 欠 っ て	1	. 目体的	h +> 口 += /	数値)など。)	
													致値/なる。/ と推進します。	
													–	
車	車業報	正西	/ 田立 幺日	山灾	. 汗	っつかじ	日砂	た迭ぱっ	するために	何ねし	アハスカ	,)		
 													魅力あるまちづ	くり事業を実施
務	します	。ま	た、1	万円以	以上の智	寄附者に	対し記	射礼品を	送付し、感	謝の意	意を表し	ます。(当	初予算は105,58	
事	か、奇	· 竹 纽	会観刀	当例	見込み	を上凹 つ	>72 <u>C</u> c	とにより14	41,867千円		正してい		左曲	人和4左曲
業				区	分			単位	令和2 ³ 実績(決		計画(令和3 (予算)		令和4年度 計画(予算)
*	指標	1	寄附	金額				千円	(60,529)	70,000	97,442	80,000
の	指標	2	申込	件数				件		2,328	;	3,500	4,139	4,000
概	指標	3												
要	指標(こ対す	よる達	成度	ふるさ	と納税専 成できま	用ポー	ータルサ	イトの増設	や謝礼	L品の新	規開拓を	行ったことで、計	一画していた指
^				業		их сса	(U/L ₀	千円		90,130	1	141,867	141,741	121,215
	事	_				は金•そσ)他)	千円	Ì	0,130		0	0	0
	業	源	一般	財源				千円	(90,130		141,867	•	121,215
	. 4		員数	数 牛 費				人 千円		1.00 4,965		0.80 $3,972$	0.80	$0.80 \\ 3,972$
	コス	(2)		+ 貝 事 業)+(2)		千円	9	4,965 95,095		145,839	3,972 145,713	125,187
	ト 把					_	h r==		寄附金の受	:入、謝	寄附金の	受入、謝	寄附金の受入、謝	寄附金の受入、謝 礼品、受領証明書
	握			争耒(の年度	別実施区	Y谷		等の発送等		等の発送		等の発送等	等の発送等
		着眼				☑ 必要性	生が高し	\	食討の余地あ	ŋ	□ 必要′	性が低い		
	必・要・	市民 けぶり	ニース		【理由】 少子高		進展に	こ伴う税中	又の減少や	、公共	は施設をは	はじめとす	る社会資本の身	更新といった本
	性・	行政		の必	市の課	題解決	こ向け						営を推進する上	
	3	安江	<i>ക്ക</i> ര	יעו		あります								
		着眼			【理由】	☑ 有効性	か高い	, <u> </u>	高める余地あり)	□有効性	生か低い		
-	効 ,	目的 tある	とした	:効果	全国の	寄附者							るさと納税専用が	ポータルサイト
次	性「				及びふ	るさと終	祝符』	典制度を	活用したこ	とは作	対性か	高いと判2	折します。	
≡π	(着眼点	点)			☑ 効率的	である		高める余地あり)	□効率的	的ではない		
評	郑		、業務i 執行で	きてい	【理由】			_						
価		か 民間	を託や作	也事業	更なる	寄附金額 広げるた	頁の拡 - めに	充のため ふろさん	りには、制息 レ納税専用	度につ ポータ	いてより ルサイト	広くPRす を増設し	ることが必要で ^っ ましたが 運営業	す。寄附募集の 美務を一つに集
	2	:の統 [.] Eか	合・連携						図っており		,, , , , , ,	C. HIVO	X072% (X21)	Kiji E 7 (-)K
	4//>				見直	īl(🗆	改善∙₹	効率化	□縮小□	統合	□拡充	〕 ☑ 継続	□終了 □休	止 □廃止
	総合・	今後(の方向	7 /h/H-		名:本多		と判束の	実际をのも	歯妬な	日性)で	ナルカナッ	ナ。また、今後の	国の動向ぬ鉛
		改善	策等)	制改正	等を注							の。また、ティダック 自じて地場産品の	
	価 ———				ていき	ます。								
	前回表													
改美	方向怕	王(改	善策	寺)				_	49-4-14			—	- · ·	
善状	対応物	犬況	実施	内		□ 実施》	筝(中)	□-	部実施	□検討	中	□未実施	□その他	
	容、未今後の	実が	近の理	∄由、										
	フ仮り	J] ⁷ ,	仁 寸)											

							令和	3	年	度事務	務事業 記	平価シ-	<u>-</u> -		【様式1】
事	務	事	業 名	北坂	戸団	地にき	わい再	生事	業					整理No.	43
所		属	名	部	総合	政策部		課』	政策企画	町課		記入	者 野澤	内線	133
上	位	施货	策 名	分野	都市	経営		ı	中柱 住名	芒(団)地	的対策	/]	\柱 住宅([団) 地対策	
		事業	開始	年度	平成	26	年度	+⊟ +bn	法令等	坂戸市	7補助金	等の交付	けに関する熱	規則	
		事業	終了	年度	令和		年度	仅炒	法下守						
			¥	চা 1	象		□高齢	者 🗀	障害者	□個人	□世帯	□団体	✓ 全ての。	人 □その他	
		(誰、	何を対	対象とし	ている	なか) (す	具体的に)								
														数値)など。)	
														発電設備による 活性化に資する	
											グにさ わ		くい地域の	石1生1七に買りる	ここを目引こし
 事											に何をし	_)\ ₀)		
, 		住宅	団地	再生	こ関し	て事業	を実施っ	する大	学に対し	、 当該	事業に要	する経済	費を助成す	ることにより、地	
務														ロン」を運営しる	ます。
事		(当代	刀丁身	皐 (よ 6 ,	8537	一円でし	にか、文	.田兄	込み領に		-	十円に組	正している		^ ~- · - -
भूर					区	分			単位		12年度 (決算)	計画	令和3 ⁵ (予算)	‡	令和4年度 計画(予算)
業		指標	₹ (1)	施設	利用	者数			人	X 12	3,066		12,000	3,165	12,000
の		•					2施設延べ	∃数)	日		153		308	200	308
I 概		指標							-		100	-	550	200	000
						にぎわ	いサロン	の利用	用者数に	1一日平	均15人制	習であり	おおかわ	順調に推移して	いますが、新
要		指標	に対	する達	成度	型コロ	ナウイル	ス感染	验症拡大	の影響	で開所日	数が減り	少し、目標	を達成できません	んでした。
		総	1	事	業	貴			千円		5,912	?	6,840	6,224	6,840
		事				国県支出	出金・その	他)	千円		1,577		2,299	1,627	1,577
		業費		一般					千円		4,335		4,541	4,597	5,263
				員 数人					人 千円		0.03		0.03 149	0.03	0.03 149
		コス	(ェ 貞 事 業		+(2)		千円		6,061		6,989	6,373	6,989
		ا ا								運営に	,				運営に係る事務
		把 握			事業	の年度	別実施内	9容							
			(着目	日白)			☑ 必要性	tが高い	\ 1	検討の余り	也あり	□必要	性が低い		
			・市員	E=-:		【理由】		to NL a	\ 	ح 4ـا بانا		5 	لمال خان		トナの部門のより
							のが出, います。	思敬り	川可上、1	地域コミ	ユニアイの	プ允夫と	いつに、心	双尸駅周辺の名	持有の課題に対
		'-		はある		,	. 31,								
							☑ 有効性	が高い	- - -	高める余地	也あり	□ 有効'	性が低い		
		Ħ	(着則	艮点) りとした	-効里	【理由】		- 411	TI -be	 No.	- □	1 /1 -1 /1 -1 /1 1	2 - 2 - 3 - 16	F3m) - 1// < 4)	2. 2. 1. 37. 2.
-		効 性	はあ		-///	1-347								頁調に推移している。 関レまれている。	ハます。大学を とから、事業の
次		ΙΞ					は高い。				1104064	·/ / /	V) 111 12(10)		27 57 事来"
評			(着眼				☑ 効率的	である	□ 7	高める余地	也あり	□効率	的ではない		
I ¤⊤		効	コスト率的に	、業務i 二執行で	面等効 きてい	【理由】									
価		'T'	るバ			ペ物ル	ルモモに	よる売 f堆l	電収入を	を運営費	かの一部と	:すること **!キ続キ	で、コストi 地域の-	面で効率化を図 ーズに会わせ <i>†</i>	り、運営面で 上事業を展開で
		1±	との統 能か	合·連	馬が可						化します		、地域の一	人(こ日4) ほん	- 事未を成用し
			110.00			見道	īl(🗆	改善・3	効率化	□縮小	□統合	□拡充)「【継続	□終了 □休」	上 □廃止
		総合	۸44	~ +⊄	- h4	【課長	名:本多	崇							
				の方向 事策等										が、現在の利用	
		価					断石漕/ 関係者と					へに俗つ	ルに尹耒内を	容を展開してい	/にめに、渕徐
		# C	=	t	<u> </u>										
٦ــ				た今後 牧善策											
改善			\ 7				□実施湯	李(山)	П-	-部実施	□検討	4中	□未実施	□ その他	
状				(実施				1.1.1.7		ar /////////	_ 1XI		二个人心		
況 				施の理 定等)											
		1100	- J'	~ ' 7 /											

1							令和	3	年月	度事務	事業評	平価シ-	-1-		【様式1】
事	務	事	業 名	広域	連携	推進事	業							整理No.	44
所		属	名	部	総合	政策部		課 政	女策企画	可課		記入者	野澤	内線	133
上	位	施货	策 名	分野	都市	経営		#	柱 広垣	対的な連携	らの強化 かんりゅう かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	公 小	柱広域	事業の推進	
	3	事業	開始	年度	平成	27	年度	相圳	法令等	埼玉県川	越都市	†圏まち・	づくり協詞	義会規約	
	3	事業	終了	年度	令和		年度	112 122 /	Δ 11 11						
			*		象		□高齢	者 🔲	障害者	□個人□	世帯	□団体	✓ 全ての	の人 □その他	
					している	, ,	具体的に)								
														(数値)など。) えた連携により(ナ兄.サービュの
				あ生り		<i>71147</i> (1)	-1+V '、3	夕尔门	9 O114	火而安に メ	<i>ህሥ</i> ር 9 4	ع/ده/ ۱۱	1	んに延伤により[上尺 9 — L 入07
事	-	事業	概要	(取組	内容	•活動内	内容など、	、目的	を達成す	するために	何をし	ているか	·。)		
務														果的な業務処理	里手法について
177	₹)	しまっ	ア。ま	た、川	越都巾	圏まちつ	つくり協	議会と1	筋刀し、圏		ごの仏域行	丁政を雅	進します。	
事					区	分			単位	令和2				3年度	令和4年度
業		4F. 4	. •				口 北 坐/.			実績()			予算)		
၈				公の	施設村	泪互利)	刊有数		人		47,380	1	150,000	52,633	150,000
			#2 #®												
概			#3			新型コ	ロナウイ	ルス咸	染症の	影響に下) 利田	者が減り	〉] 月煙	を達成できません	んでした
要	. :	指標	に対	する達	成度	771	. , , , , ,	* > 10EX	жш.,	N/ E (C.S.)	V (1.47)13	ц <i>№ 19</i> Д <i>У</i>	CHW		0 (0/20
		総恵	_		業		UA 70	۱ ما ۱۱	千円		678		339	507	674
		事 業		行正! 一般		当宗文员	出金・その	(他)	千円 千円		678		339	507	674
		費 •		員数					人		0.30		0.30	0.30	0.30
		⊐	2		牛 費				千円		1,490		1,490	1,490	•
		ス ト		総	事 業	費(1)+2		千円	歩きの担づ	2,168 ⊑≇⊫		1,829	1,997	2,164 施設の相互利用、
		把 握			事業	の年度	別実施内	容容		各種事業	4.个小/ / / ·	施設の作 婚活事業 修会事業	及び研	施設の相互利用、 婚活事業及び研 修会事業幹事	NS活用イベント 事業
			(着眼	(点)			☑ 必要性	上が高い	□ 4	食討の余地は	5 9	□必要性	生が低い		
		必	·市县	3-1-5		【理由】		5 到 田	ナ,宇伝)	国 撮 分	· R.の手	山毎州のロ	台 にめん	- 民担互のお法:	を図ることで、市
		性	•行政		の必					います。	氏の不	可要性の	可工で担	: 民相互の父伽	を図めてて (、 1
			/ * 	- 1			☑ 有効性	が高い	□高	高める余地あ	ŋ	□有効性	生が低い		
_		为热		うとした	:効果	【理由】			布設のホ	日石利田名	>活田1	ている。	レから :	事業の有効性は	- 喜いレ老ラま
次		性	はあ	るか		す。		155(L 1))	正はて、シュ	H TT4.11/11.5	-1H/IJC			ず ★vン 日 別 11 to	川町 とうたみ
 評			(着眼		- # +L		☑ 効率的	である	□ 高	高める余地あ	ŋ	□効率的	りではない		
			率的に	、業務に 執行で		【理由】		ァトルゴ	z#z1 ア	ハフトム	₩347	-	661ァキャク	ニズキアハナナ	
価 		率 性	·民間	委託や信合・連携		谷川町	少連捞(ム リチ	き肥して	v 'a/20),	未伤止	山寺 別 争	けいこもれ	fできています。	
		4//					īl(🗆		本化	□縮小[□統合	□拡充)	☑ 継続	長 □終了 □ 付	正 □廃止
		総 合	今後	の方向	性		名:本多	-	ハスご仕 4	t。由云	: T/+ J.L.	ビフのタタ	***1.**	マー・ブッの牡	ウル手再ベナ
				策等)	自治体	による広	域連	隽は、そ		関に対	付応するが		ミニーズへの対 '効な手段である	応は里安です。 ため、今後も関
	į	前回	示した	た今後	全の										
改	7			女善策											
善		-4 - 4-	ᄮ	/ 	. 		□ 実施済	(中)		部実施	□検討	†中 [□未実施	□その他	
状 況				(美施 徳の理											
				定等)											
状 況	1	交、岩	未実		∄由、										

			וז יון		文子勿子不可			
事者	務事業名	行政改革	推進事業				整理No.	45
所	属 名	部 総合	政策部	課 政策企画	Ĩ課	記入者 松本	内線	133
上 {	位 施 策 名	分野 都市	経営	中柱 行政	で改革の推進	小柱 計画	行政の推進	
	事業開始	年度 平成	27 年度		坂戸市行政改革	5推進審議会条例	列、坂戸市市民参	≽加条例
		年度 令和		根拠法令等				
				者 □障害者	□個人 □世帯	□団体 ☑全で	の人 □その他	
	対 (誰、何を対	す 象 対象としている	るか) (具体的に)					
	日標(対象	きをどのよう	うな状態にするた	-めに当該事業	業を行っているか	. 具体的な日標	(数値)など。)	
		_	· · · · -		上に留まらず、行具			革を念頭にお
	いた行政	システムの	再構築を図ります	广 。				
۱								
事					けるために何をし		, Hu ナ ハロ ト ラ ー l .)	> VL ##1=1 ===
務					アクションプランか ランの改革項目に			
_			進行管理を行い		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		DEC121770 11 201	20 1 1m/C 1 Hr
事		区	分	単位	令和2年度	令和:	3年度	令和4年度
業		_		中世	実績(決算)	計画(予算)	実績(決算)	計画(予算)
_	指標①	審議会の	実施	口	0	4	3	0
の	指標②	市民コメン	小の実施	口	0	1	1	0
概	指標③							
要	お煙に 対す	する達成度			ウイルス感染症技	広大防止及び事	務の効率化を図	るため、予定よ
女			りも回数を減らし					
	1110-	事業		千円 (他) 千円	0	242	107	0
	業 源	特定財源(I 一般財源	国県支出金・その	1個) 千円 千円	0	242	107	0
	弗 ""	員数		人	0.20	0.20	0.20	0.20
	•	人件費		千円	993	993	993	993
	ス	総事業	費 ①+②	千円	993	1,235	1,100	993
	ト 把	事業	の年度別実施内]容	行革アクションプランの進行管理、策		行革アクションプランの進行管理、次	大綱の進行管理
	握	, , , ,			定方針の検討等	期大綱の策定	期大綱の策定	
	、(着眼	(点)	☑必要性	≟が高い □ 核	食討の余地あり	□必要性が低い		
	少 · 市民 要 対応	ニーズに こているか	は理由」 新型コロナウイ	ルス感染症拡充	大等の影響により) . 今後も厳しい[財政状況が続くこ	とが見込まれる
	性 ・行政	マ関与の必			行政運営を図る			
	要性的	はあるか						
	/ ** n=			が合い 口 さ	^ 10	古が歴が低い		
l _	工 (若服	- L	☑ 有効性	か高い 口点	らいる余地あり しょうしょう	□ 有効性が低い		
	71	見点) コとした効果	【理由】			_	かれの字体により	りがふこの辛
	効 ·目的	とした効果	【理由】 庁内検討組織の	のほか、行政改	文革推進審議会0	_	ジントの実施により	、外部からの意
次	动·目的	とした効果	【理由】	のほか、行政改	文革推進審議会0	_	シトの実施により	、外部からの意
	特別ではある	可とした効果 るか ^{点)}	【理由】 庁内検討組織の見を広く取り入る	のほか、行政改れ、大綱を策気	女革推進審議会 <i>0</i> Eしました。	_	シトの実施により	、外部からの意
次評	行効性 ・	るか るか	【理由】 庁内検討組織の見を広く取り入る 「動率的 【理由】	か、行政され、大綱を策気 れ、大綱を策気	文革推進審議会の 定しました。 ある余地あり	□効率的ではない		
	・は 第二本の 対率	でとした効果 るか 点) 、業務面等効 執行できてい	【理由】 庁内検討組織の見を広く取り入る 「動率的 【理由】 行政改革アクシ	のほか、行政され、大綱を策気 である 図 マョンプラン取糸	文革推進審議会の をしました。 ある余地あり 且項目の進行管理	□ 開催や市民コノ □ 効率的ではない 里については、業	務の効率化を図	るため、総合
評	中効性 効率性 ・は 第コ率の民の 服人的が間統	でとした効果 るか 点) 、業務面等効 執行できてい	【理由】 庁内検討組織の見を広く取り入る 「動率的 【理由】 行政改革アクシ	のほか、行政され、大綱を策気 である 図 マョンプラン取糸	文革推進審議会の 定しました。 ある余地あり	□ 開催や市民コノ □ 効率的ではない 里については、業	務の効率化を図	るため、総合
評	中効性 効率性・は ポープ 対応 が できる いっぱん はん が できる いっぱん かい 間紙 かい 間紙 かい しゅう いっぱん かいしゅう いっぱい はんしゅう いまり	された効果 点) 、業務面等効 執行できてい 委託や他事業	【理由】 庁内検討組織の見を広く取り入れ □効率的 【理由】 行政改革アクシ 計画の実施計画	のほか、行政され、大綱を策ない。 である	文革推進審議会の をしました。 あめる余地あり 且項目の進行管理 ていくこととし、総	□ 開催や市民コン □ 効率的ではない 里については、業会計画推進事業	務の効率化を図 きとの統合を検討 	るため、総合 します。
評	中効性 効率性 総のか 眼ス的の間が	は) 、業務面等効 、業務できてい 委託や他事可 を合・連携が可	【理由】 庁内検討組織の見を広く取り入る 「動率的 【理由】 行政改革アクシ	のほか、行政され、大綱を策ないである	文革推進審議会の をしました。 ある余地あり 且項目の進行管理	□ 開催や市民コン □ 効率的ではない 里については、業会計画推進事業	務の効率化を図 きとの統合を検討 	るため、総合 します。
評	中効性 効率性 総合・は 第二率の・と能 今後の しょう かい 間続 今後の かんしん はんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん	した効果 点) 点) 、業務面面等のい 素託や他事がい 委託や機が可能を含む。 の方向性	【理由】 庁内検討組織の見を広く取り入え □効率的 【理由】 行政改革アクシ計画の実施計画 見直し(□ 【課長名:本多 これまでの行政	のほか、行政改れ、大綱を策なれ、大綱を策ないである	文革推進審議会の をしました。あめる余地あり且項目の進行管理 ていくこととし、総□縮小 ☑統合[]政改革アクション	□ 開催や市民コメ □ 効率的ではない 里については、業 :合計画推進事業 □ 拡充) □ 継続 プランについてに	務の効率化を図 さとの統合を検討 ・ □終了 □休 よ、総合振興計画	るため、総合 します。 止 □廃止 i との整合を図
評	中効性 効率性 総合 ・は 第二率のが民のか 今後の	は) 、業務面等効 、業務できてい 委託や他事可 を合・連携が可	【理由】 庁内検討組織の見を広く取り入え □効率的 【理由】 行政の実施計画の実施計画 見直し(本多 これまでのの、別に策	のほか、行政改 れ、大綱を策気 である	 文革推進審議会の をしました。 あめる余地あり 且項目の進行管理 ていくこととし、総 □縮小 ☑統合[] 政改革アクション きましたが、行政さ 	□ 開催や市民コメ □ 効率的ではない 里については、業 合計画推進事業 □ 拡充) □ 継続 プランについてに 牧革は常に取り約	※務の効率化を図 きとの統合を検討 ・ □終了 □休 は、総合振興計画 はなべき事項とし	るため、総合 します。 止 □廃止 i との整合を図
評	中効性 効率性 総合評価・は 第二率る・と能 今改 眼入りの 間統 今改	はした効果 点)、 ・業務で面等でも 一番でも 一本で 一本で 一本で 一本で 一本で 一本で 一本で 一本で	【理由】 庁内検討組織の見を広く取り入え □効率的 【理由】 行政の実施計画の実施計画 見直し(本多 これまでのの、別に策	のほか、行政改 れ、大綱を策気 である	文革推進審議会の をしました。あめる余地あり且項目の進行管理 ていくこととし、総□縮小 ☑統合[]政改革アクション	□ 開催や市民コメ □ 効率的ではない 里については、業 合計画推進事業 □ 拡充) □ 継続 プランについてに 牧革は常に取り約	※務の効率化を図 きとの統合を検討 ・ □終了 □休 は、総合振興計画 はなべき事項とし	るため、総合 します。 止 □廃止 i との整合を図
評 価	「中効性 効率性 総合評価 前の ・は 第コ率る・と能 今改 示いのか しがしている・と と で で しか	Jとした効果 点、 点、 素行で 他 がが 面でで 他 がが で で で で で で で で で で で で で で	【理由】 庁内検討組織の見を広く取り入え □効率的 【理由】 行政の実施計画の実施計画 見直し(本多 これまでのの、別に策	のほか、行政改 れ、大綱を策気 である	 文革推進審議会の をしました。 あめる余地あり 且項目の進行管理 ていくこととし、総 □縮小 ☑統合[] 政改革アクション きましたが、行政さ 	□ 開催や市民コメ □ 効率的ではない 里については、業 合計画推進事業 □ 拡充) □ 継続 プランについてに 牧革は常に取り約	※務の効率化を図 きとの統合を検討 ・ □終了 □休 は、総合振興計画 はなべき事項とし	るため、総合 します。 止 □廃止 i との整合を図
評 価 改	中効性 効率性 総合評価・は 第二率る・と能 今改 眼入りの 間統 今改	Jとした効果 点、 点、 素行で 他 がが 面でで 他 がが で で で で で で で で で で で で で で	【理由】 庁内検討組織の見を広く取り入え □効率的 【理由】 行政の実施計画 見直し(本多 は、一位、本の りつらは現在策定 からは現在策定	のほか、行政党 である 「「である」 「である」 「である」 「「である」 「「である」 「「である」 「「である」 「「な」 「「な」 「「な」 「「な」 「「、対」 「、対」	文革推進審議会の をしました。 ある余地あり 且項目の進行管理 でいくこととし、総 □縮小 ☑統合[〕 政改革アクション きましたが、合し推 会計画と統合し推	□開催や市民コス □効率的ではない 里については、業 合計画推進事業 □拡充) □継続 プランについてに 文革は常に取り 送進していきます。	養の効率化を図 きとの統合を検討 【 □終了 □休 は、総合振興計画 目むべき事項とし	るため、総合 します。 止 □廃止 i との整合を図
評 価	F効性 効率性 総合評価 前方 ・は stime average (in the second of the se	A とした効果 A	【理由】 庁内検討組織の見を広く取り入え □効率的 【理由】 行政の実施計画の実施計画 見直し(本多 これまでのの、別に策	のほか、行政党 である 「「である」 「である」 「である」 「「である」 「「である」 「「である」 「「である」 「「な」 「「な」 「「な」 「「な」 「「、対」 「、対」	 文革推進審議会の をしました。 あめる余地あり 且項目の進行管理 ていくこととし、総 □縮小 ☑統合[] 政改革アクション きましたが、行政さ 	□開催や市民コス □効率的ではない 里については、業 合計画推進事業 □拡充) □継続 プランについてに 文革は常に取り 送進していきます。	務の効率化を図 きとの統合を検討 ・ □終了 □休 は、総合振興計画 目むべき事項とし	るため、総合 します。 止 □廃止 i との整合を図
評価 也善	F効性 効率性 総合評価 前方 ・は stime average (in the second of the se	Jとした	【理由】 庁内検討組織の見を広く取り入え □効率的 【理由】 行政の実施計画 見直し(本多 は、一位、本の りつらは現在策定 からは現在策定	のほか、行政党 である 「「である」 「である」 「である」 「「である」 「「である」 「「である」 「「である」 「「な」 「「な」 「「な」 「「な」 「「、対」 「、対」	文革推進審議会の をしました。 ある余地あり 且項目の進行管理 でいくこととし、総 □縮小 ☑統合[〕 政改革アクション きましたが、合し推 会計画と統合し推	□開催や市民コス □効率的ではない 里については、業 合計画推進事業 □拡充) □継続 プランについてに 文革は常に取り 送進していきます。	養の効率化を図 きとの統合を検討 【 □終了 □休 は、総合振興計画 目むべき事項とし	るため、総合 します。 止 □廃止 i との整合を図

_					- 1 <i>44</i> -4411								
事	務事	業名	産学	官連	携事業							整理No.	46
所	属	名	部	総合	政策部		課政	女策 企画	課	記入者	木村	内線	132
_	14 +左	左 夕	\\	±27 ±	须⇔			-17、年代	いたとて事業の異	· /#:	+ `击/#	車米の米米	
l∸ ˈ	位 施						4	1性 建烷	による事業の推) 小	生 理伤	事業の推進	
	事業	美開始	年度	平成	27	年度	±⊟ +bn :	法令等					
	事業	き終了 しょうしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん か	年度	令和		年度	仅炒	本中寺					
	• •			1. 1.		□高齢	* □	暗宝者	□個人 □世帯	□団休	□全で	の人 🔽 その他	
	/=#			象一八				-					
	(証	、叩を)	付家とし	J (61%	るか)(具	体的に)	企業、	教育機同	對				
	目標	票(対象	東をど	のよう	うな状態に	こするた	めに	当該事業	美を行っているか	、具体的	な目標((数値)など。)	
	活力	Jのあ	る魅力	り的な	まちづく	りを推進	きするだ	ため、多	様かつ高度な知	1識を有す	る企業の	や学校などと連携	통し、刻々と変
	化す	る社	会情勢	勢に対	†応した事	事業展開	を図り	ります。					
事	車業	#	(田7 冬E	山内灾	• 活動内	突かど	日的:	を達成す	「るために何をし	ているか)		
												畿及び専門技術	の奴酔た供さた
務												載及い等門投州 す。また、 PPP /	
"	11377/14				の活用に				川がよ地域化去	ノハクルスで F	11日しよ	9 o A/C, 111/	TTVノ等ノバによ
事	27.1	-VIN 5	₹ 715 /	1X N11	071D/111C	- >	#) /LC	ر د کی ا					
				区	分			単位	令和2年度	=1 == / -	令和3		令和4年度
業									実績(決算)			実績(決算)	計画(予算)
	指	標(1)	産・学	ź•官i	車携協定位	件数(累	計)	件	6	7	68	68	69
の	指:	標②											
ın#													
概	指	標③											
 要	性相	<u> </u>	する達	成座	計画どお	おり順調	に協え	官締結件	=数を伸ばしてレ	ます。			
岁 	扣付	示「一刈	ッる達	以皮									
	総	(1)	事	業	貴			千円	34	ļ	47	30	47
	事	財	特定	財源(国県支出	金・その	他)	千円	()	0	0	0
	業		一般			_ • •		千円	34	l	47	30	47
	費		員 数					人	0.20		0.20	0.20	0.20
			人人					千円	995		993	993	993
ı	コ	2		丁 貝							993	999	000
ı	マ		4/2	車 幸	弗 ①	上 ②						1 099	1 040
	スト		総	事 業	費①	+2		千円	1,02	7	1,040	1,023 産・学・宮連堆協	1,040
	ス ト 把		総				1 宏		1,02	7	1,040 連携協		1,040 産・学・官連携協 定の締結等
	۲		総		費 ① の年度別]容		1,02° 産・学・官連携協	7 産・学・官词	1,040 連携協	産・学・官連携協	産・学・官連携協
	ト 把	/美丽			の年度別			千円	1,02° 産・学・官連携協	7 産・学・官词	1,040 連携協 等	産・学・官連携協	産・学・官連携協
	ト 把 握	 (着明 •市F	3 点)	事業	の年度別	実施内		千円	1,02′ 産・学・官連携協 定の締結等	7 産・学・官i 定の締結等	1,040 連携協 等	産・学・官連携協	産・学・官連携協
	ト把握	·市县	 見点) ミニー:	事業 <u>ズに</u>	の年度別 「 【理由】	∬実施内 ☑必要性	が高い	千円	1,02' 産・学・官連携協 定の締結等 *計の余地あり	が 産・学・官i 定の締結会 □ 必要性	1,040 連携協 等 が低い	産・学・官連携協	産・学・官連携協定の締結等
	ト把握 必要	·市即 対応 ·行政	見点) ミニー: してい 女関与	事業である。	の年度別 「 【理由】	∬実施内 ☑必要性	が高い	千円	1,02' 産・学・官連携協 定の締結等 *計の余地あり	が 産・学・官i 定の締結会 □ 必要性	1,040 連携協 等 が低い	産・学・官連携協定の締結等	産・学・官連携協定の締結等
	ト把握 必要	·市即 対応 ·行政	見点) ミニー: してい	事業である。	の年度別 【理由】 多様な言	∬実施内 ☑必要性	が高い	千円	1,02' 産・学・官連携協 定の締結等 *計の余地あり	が 産・学・官i 定の締結会 □ 必要性	1,040 連携協 等 が低い	産・学・官連携協定の締結等	産・学・官連携協定の締結等
	ト把握 必要	·市即 対応 ·行政	見点) ミニー: してい 女関与	事業である。	の年度別 【理由】 多様な市 います。	小実施内 小要性 一	が高い	千円 口検の対応が	1,02' 産・学・官連携協 定の締結等 試 か余地あり ぶ求められている	7 産・学・官i 定の締結等 □必要性 ら中で、各	1,040 車携協 等 が低い 種分野 [~]	産・学・官連携協定の締結等	産・学・官連携協定の締結等
	ト把握 必要性	·市E 対応 ·行政 要性	表点) ミニー: してい 対関与 はある	事業である。	の年度別 【理由】 多様な計 います。	∬実施内 ☑必要性	が高い	千円 口検の対応が	1,02' 産・学・官連携協 定の締結等 *計の余地あり	が 産・学・官i 定の締結会 □ 必要性	1,040 車携協 等 が低い 種分野 [~]	産・学・官連携協定の締結等	産・学・官連携協定の締結等
_	ト把握 必要性 有	· 市成一要 () 目的	表 点 え こ し 対 は は 点 し し し し し し し し し し し し う こ う し う し う し	事業でいるのか	の年度別 【理由】 多様な計 います。 【理由】	』実施内 ☑ 必要性 市民二一 ☑ 有効性	が高い -ズへ(が高い	千円 □ 様 の対応か	1,02' 産・学・官連携協 定の締結等 計の余地あり ぶ求められている	が 産・学・官i 定の締結等 必要性 の中で、各等	1,040 車携協 等 が低い 種分野~	産・学・官連携協 定の締結等 での産学官連携	産・学・官連携協 定の締結等 が必要とされて
_	ト把握 必要性 有効	•市応 • 行政 • 行性	表 点 え こ し 対 は は 点 し し し し し し し し し し し し う こ う し う し う し	事業でいるのか	の年度別 【理由】 多様す。 【理由】 各分野で	リ実施内 アル要性 対民ニー オ効性 での個別	が高い -ズへ(が高い	千円 □ 様 の対応か	1,02' 産・学・官連携協 定の締結等 計の余地あり ぶ求められている	が 産・学・官i 定の締結等 心要性 の中で、各等	1,040 車携協 等 が低い 種分野~	産・学・官連携協 定の締結等 での産学官連携	産・学・官連携協定の締結等
一次	ト把握 必要性 有効性	· 市成一要 () 目的	表 点 え こ し 対 は は 点 し し し し し し し し し し し し う こ う し う し う し	事業でいるのか	の年度別 【理由】 多様な計 います。 【理由】	リ実施内 アル要性 対民ニー オ効性 での個別	が高い -ズへ(が高い	千円 □ 様 の対応か	1,02' 産・学・官連携協 定の締結等 計の余地あり ぶ求められている	が 産・学・官i 定の締結等 心要性 の中で、各等	1,040 車携協 等 が低い 種分野~	産・学・官連携協 定の締結等 での産学官連携	産・学・官連携協 定の締結等 が必要とされて
	ト把握 必要性 有効性	・市が・行性 ・目はあ ・目あ	良点) 民二で 関本 に関ある は 点と は あいた	事業でいるのか	の年度別 【理由】 「多ます。 【理由】 【理由】 できてい	リ実施内 アル要性 方民ニー オ効性 でいまでいま	が高い -ズへ(が高い 川協定	千円 □ 核 の対応か □ 高 をはじめ	1,02'産・学・官連携協定の締結等 計の余地あり 「求められている」 「ある余地あり 」、包括連携を持	ア 産・学・官さ 定の締結等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1,040 _{車携協} 等 が低い 種分野・ が低い とで多様	産・学・官連携協 定の締結等 での産学官連携	産・学・官連携協 定の締結等 が必要とされて
	ト把握 必要性 有効性	・対・要 (・は 着目あ 眼)	えに関する 点とか 点 () たっぱん はいまた () たっぱん はいまた () たっぱん () たっぱん () たっぱん () たっぱん () かん	事 だるのか 効果 !!	の年度別 【理由】 「 るいます。 【理分子で 【理分子で	リ実施内 アル要性 対民ニー オ効性 での個別	が高い -ズへ(が高い 川協定	千円 □ 核 の対応か □ 高 をはじめ	1,02' 産・学・官連携協 定の締結等 計の余地あり ぶ求められている	が 産・学・官i 定の締結等 心要性 の中で、各等	1,040 _{車携協} 等 が低い 種分野・ が低い とで多様	産・学・官連携協 定の締結等 での産学官連携	産・学・官連携協 定の締結等 が必要とされて
評	ト把握 必要性 有効性 効	・対・要 (・は 第1本的)	えに関する 点とか 点 () たっぱん はいまた () たっぱん はいまた () たっぱん () たっぱん () たっぱん () たっぱん () かん	事 だるのか 効果 !!	の年度別は理様なす。 【理様なす。 【理分うでは、 「理分うでは、 「理分うでは、 「理力」では、 「理力」では、 「理力」では、 「理力」では、 「関わりでは、 「関わり	リ実施内 対象 とこれ かいまか 対象 のでまた 対象 のがまた かいまた かいまた かいまた かいまた かいまた かいまた かいまた かい	が高い が高い 可協定	千円 □ 校 の対応か □ 高 をはじめ	1,02′産・学・官連携協定の締結等 討の余地あり ぶ求められている ある余地あり 、包括連携を打ちめる余地あり	r 産・学・官法 定の締結等 一必要性 の中で、各語 「中で、各語」 中で、各語	1,040 車携協 が低い 種分野・ が低い とで多様	産・学・官連携協 定の締結等 での産学官連携	産・学・官連携協定の締結等 が必要とされて 二対応することが
	ト把握 必要性 有効性 効率	・対・要 (・は 第1本の)		事業であるのか、効果のある。	の年度別は理様なす。 【理様なす。 【理分うでは、 「理分うでは、 「理分うでは、 「理力」では、 「理力」では、 「理力」では、 「理力」では、 「関わりでは、 「関わり	リ実施内 対象 とこれ かいまか 対象 のでまた 対象 のがまた かいまた かいまた かいまた かいまた かいまた かいまた かいまた かい	が高い が高い 可協定	千円 □ 校 の対応か □ 高 をはじめ	1,02′産・学・官連携協定の締結等 討の余地あり ぶ求められている ある余地あり 、包括連携を打ちめる余地あり	r 産・学・官法 定の締結等 一必要性 の中で、各語 「中で、各語」 中で、各語	1,040 車携協 が低い 種分野・ が低い とで多様	産・学・官連携協 定の締結等 での産学官連携	産・学・官連携協定の締結等 が必要とされて 二対応することが
評	ト把握 必要性 有効性 効	・対・要 (・は 第二率の氏の間が)	えに関する 点とか 点 () たっぱん はいまた () たっぱん はいまた () たっぱん () たっぱん () たっぱん () たっぱん () かん	事 ズるのか 対 まで 事で 事で 事で 事で 事で 事で 事で 事で 事で 事	の年度別は理様なす。 【理様なす。 【理分うでは、 「理分うでは、 「理分うでは、 「理力」では、 「理力」では、 「理力」では、 「理力」では、 「関わりでは、 「関わり	リ実施内 対象 とこれ かいまか 対象 のでまた 対象 のがまた かいまた かいまた かいまた かいまた かいまた かいまた かいまた かい	が高い が高い 可協定	千円 □ 校 の対応か □ 高 をはじめ	1,02′産・学・官連携協定の締結等 討の余地あり ぶ求められている ある余地あり 、包括連携を打ちめる余地あり	r 産・学・官法 定の締結等 一必要性 の中で、各語 「中で、各語」 中で、各語	1,040 車携協 が低い 種分野・ が低い とで多様	産・学・官連携協 定の締結等 での産学官連携	産・学・官連携協定の締結等 が必要とされて 二対応することが
評	ト把握 必要性 有効性 効率	・対・要 (・は 第二本の)の 間 まんがい 間 は まんがい まんがい は まんがい まんがい は まんがい まんがい は まんがい まんがい まんがい まんがい まんがい まんがい まんがい まんがい	点 点 に 関 は 点 に 関 あ 点 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	事 ズるのか 対 まで 事で 事で 事で 事で 事で 事で 事で 事で 事で 事	の年度別は理様なす。 【理様なす。 【理分うでは、 「理分うでは、 「理分うでは、 「理力」では、 「理力」では、 「理力」では、 「理力」では、 「関わりでは、 「関わり	リ実施内 対象 とこれ かいまか 対象 のでまた 対象 のがまた かいまた かいまた かいまた かいまた かいまた かいまた かいまた かい	が高い が高い 可協定	千円 □ 校 の対応か □ 高 をはじめ	1,02′産・学・官連携協定の締結等 討の余地あり ぶ求められている ある余地あり 、包括連携を打ちめる余地あり	r 産・学・官法 定の締結等 一必要性 の中で、各語 「中で、各語」 中で、各語	1,040 車携協 が低い 種分野・ が低い とで多様	産・学・官連携協 定の締結等 での産学官連携	産・学・官連携協定の締結等 が必要とされて 二対応することが
評	ト把握 必要性 有効性 効率性	・対・要 (・は 第二率の氏の間が)	点 点 に 関 は 点 に 関 あ 点 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	事 ズるのか 対 まで 事で 事で 事で 事で 事で 事で 事で 事で 事で 事	の年度別 【理様す は 日本 は 日	リ実施内 対象 とこれ かいまか 対象 のでまた 対象 のがまた かいまた かいまた かいまた かいまた かいまた かいまた かいまた かい	が高い ・ズへいが高い が協定 である	千円 □ 核 の対応が □ に で、効率	1,02′ 産・学・官連携協 定の締結等 計の余地あり 「求められている」 がな余地あり のもる余地あり のもる余地あり がある余地あり がある余地あり がある余地あり	r	1,040 車等 が低い 種分野・ が低い を展け がでする。	産・学・官連携協 定の締結等 での産学官連携	産・学・官連携協定の締結等 が必要とされて ご対応することが ています。
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総	・対・要 (・は (・率る・と能) ・対・要 着目あ 眼が、間筋	良己し関は 見りる 点、執 委合・ ・ 本 委合・ を持て や連邦 で と で ま で で ま で で で で で で で で で で で で で	事 ズるのか 立 面き 他馬が 業 にか必 果 効い 業可	の年度別 【理様す は 日本 は 日	リ実施内 特別でいまが、 東のでは、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一	が高いである。	千円 □ 核 の対応が □ に で、効率	1,02′ 産・学・官連携協 定の締結等 計の余地あり 「求められている」 がな余地あり のもる余地あり のもる余地あり がある余地あり がある余地あり がある余地あり	r	1,040 車等 が低い 種分野・ が低い を展け がでする。	産・学・官連携協定の締結等 での産学官連携 での産学官連携	産・学・官連携協定の締結等 が必要とされて ご対応することが ています。
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合	・対・要 (・は (・率る・と能 今下)にで性 間白あ 眼がに間筋	点こて関あ 点、執 (表) (本) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表	事 ズるのか c効 あき 他	の 年度別 「 理様ま 田かす 田かす 田野で 田で 田をす 田野で 田で 田で 田で 田で 田で 田で 田で 田で 田で 田	リ	が高い で る ・	千円 か か たは で、 本 む か ・	1,02′ 産・学・官連携協 定の締結等 計の余地あり ぶ求められている ある余地あり の 包括連携を打ちめる余地あり を的に特色のあ 「ぬる余地あり」 で、産学官連携	r	1,040 車等 が低い 種分い が低い ではない にいを をはない にいを をはない にいを をはない にいを にいを にいを にいる。 にい。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にい。	産・学・官連携協 定の締結等 での産学官連携 な市民ニーズに することができて ロ終了 口休 展が求められま	産・学・官連携協 定の締結等 が必要とされて ご対応することが ています。 止
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評	・対・要 (・は (・率る・と能 今下)にで性 間白あ 眼がに間筋	良己し関は 見りる 点、執 委合・ ・ 本 委合・ を持て や連邦 で と で ま で で ま で で で で で で で で で で で で で	事 ズるのか c効 あき 他	の 年度別 「 理様ま 田かす 田かす 田野で 田で 田をす 田野で 田で 田で 田で 田で 田で 田で 田で 田で 田で 田	リ	が高い で る ・	千円 か か たは で、 本 む か ・	1,02′ 産・学・官連携協 定の締結等 計の余地あり 「求められている」 がなる余地あり のものる余地あり を的に特色のあ 「ぬる余地あり」	r	1,040 車等 が低い 種分い が低い ではない にいを をはない にいを をはない にいを をはない にいを にいを にいを にいる。 にい。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にい。	産・学・官連携協 定の締結等 での産学官連携 な市民ニーズに することができて ロ終了 口休 展が求められま	産・学・官連携協 定の締結等 が必要とされて ご対応することが ています。 止
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合	・対・要 (・は (・率る・と能 今下に近性 間的 眼外に 間紙	点こて関あ 点、執 (表) (本) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表	事 ズるのか c効 あき 他	の 年度別 「 理様ま 田かす 田かす 田野で 田で 田をす 田野で 田で 田で 田で 田で 田で 田で 田で 田で 田で 田	リ	が高い で る ・	千円 か か たは で、 本 む か ・	1,02′ 産・学・官連携協 定の締結等 計の余地あり ぶ求められている ある余地あり の 包括連携を打ちめる余地あり を的に特色のあ 「ぬる余地あり」 で、産学官連携	r	1,040 車等 が低い 種分い が低い ではない にいを をはない にいを をはない にいを をはない にいを にいを にいを にいる。 にい。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にい。	産・学・官連携協 定の締結等 での産学官連携 な市民ニーズに することができて ロ終了 口休 展が求められま	産・学・官連携協 定の締結等 が必要とされて ご対応することが ています。 止
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価	・対・要 (・は (・率る・と能 今) 一方に行性 間的 眼入的 間が 後き	見らし対は 見りる 点、執 委合 の第一 の一い与る) た 務で や連	事 ズるのか stand material が必 第 にか必 果 効い 業可	の 年度別 「 理様ま 田かす 田かす 田野で 田で 田をす 田野で 田で 田で 田で 田で 田で 田で 田で 田で 田で 田	リ	が高い で る ・	千円 か か たは で、 本 む か ・	1,02′ 産・学・官連携協 定の締結等 計の余地あり ぶ求められている ある余地あり の 包括連携を打ちめる余地あり を的に特色のあ 「ぬる余地あり」 で、産学官連携	r	1,040 車等 が低い 種分い が低い ではない にいを をはない にいを をはない にいを をはない にいを にいを にいを にいる。 にい。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にい。	産・学・官連携協 定の締結等 での産学官連携 な市民ニーズに することができて ロ終了 口休 展が求められま	産・学・官連携協 定の締結等 が必要とされて ご対応することが ています。 止
	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前	・対・要 (・は (・本名・と能 今(一示下心で性 単的 眼入的、間が 後き し	R	事 ズるのか stand mate 他態 可) を	の 年度別 「 理様ま 田かす 田かす 田野で 田で 田をす 田野で 田で 田で 田で 田で 田で 田で 田で 田で 田で 田	リ	が高い で る ・	千円 か か たは で、 本 む か ・	1,02′ 産・学・官連携協 定の締結等 計の余地あり ぶ求められている ある余地あり の 包括連携を打ちめる余地あり を的に特色のあ 「ぬる余地あり」 で、産学官連携	r	1,040 車等 が低い 種分い が低い ではない にいを をはない にいを をはない にいを をはない にいを にいを にいを にいる。 にい。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にい。	産・学・官連携協 定の締結等 での産学官連携 な市民ニーズに することができて ロ終了 口休 展が求められま	産・学・官連携協 定の締結等 が必要とされて ご対応することが ています。 止
評 価	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前	・対・要 (・は (・本名・と能 今(一示下心で性 単的 眼入的、間が 後き し	見らし対は 見りる 点、執 委合 の第一 の一い与る) た 務で や連	事 ズるのか stand mate 他態 可) を	の 年度別 「 理様ま 田かす 田かす 田野で 田で 田をす 田野で 田で 田で 田で 田で 田で 田で 田で 田で 田で 田	リ	が高い で る ・	千円 か か たは で、 本 む か ・	1,02′ 産・学・官連携協 定の締結等 計の余地あり ぶ求められている ある余地あり の 包括連携を打ちめる余地あり を的に特色のあ 「ぬる余地あり」 で、産学官連携	r	1,040 車等 が低い 種分い が低い ではない にいを をはない にいを をはない にいを をはない にいを にいを にいを にいる。 にい。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にい。	産・学・官連携協 定の締結等 での産学官連携 な市民ニーズに することができて ロ終了 口休 展が求められま	産・学・官連携協 定の締結等 が必要とされて ご対応することが ています。 止
評 価	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前方	・対・要 (・は (・率る・と能 今(一寸性) 一方性) 一方性 () 一方性) 一方性 () 一方性) 一方性 () 一种 () 一方性 () 一种 () 一	見己し対は 見りる 点、執 委合 の等 た女 点二て関あ 点とか)業行 託・ 方等 一今善 一 一 一 一) 一) 一) 一) 一) 一) 一) 一)	事 ズるのか c 面き 他態 同) 後等 業 にか必 果 効い業可 性 の等	の 年度 理様ま 理分き 田かて 田かて 田かて 田学 見長河の 見長減の は で は は の の の の の の の の の の の の の	リ	が高い で る き * * * * * * * * * * * * * * * * * *	千円 か か な で 本 か で 本 む よ で 本 む よ で 本 む よ で よ な こ な よ で よ な よ	1,02′ 産・学・官連携協 定の締結等 計の余地あり ぶ求められている ある余地あり の 包括連携を打ちめる余地あり を的に特色のあ 「ぬる余地あり」 で、産学官連携	r 産定の 必 で 、	1,040 車等 が低い 種分い が低い ではない にいを をはない にいを をはない にいを をはない にいを にいを にいを にいる。 にい。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にい。	産・学・官連携協定の締結等 での産学官連携 での産学官連携 な市民ニーズに な市民ニーズに なおいます。	産・学・官連携協 定の締結等 が必要とされて ご対応することが ています。 止
評 価	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前方 対	・対・要 (・は (・率る・と能 今(示性 状市が行き 着目あ 眼が)の間が 後き して 況	R	事 ズるのか c 面き 他態 可) 後長 内 業 にか必 果 効い 業可 性 の等 内	の年度別【上上上 <th>リ マ ト</th> <th>が高い で る き * * * * * * * * * * * * * * * * * *</th> <th>千円 か か な で 本 か で 本 む よ で 本 む よ で 本 む よ で よ な こ な よ で よ な よ</th> <th>1,02′ 産・学・官連携協 定の締結等 記すの余地あり ぶ求められている ある余地あり の、包括連携を打ちめる余地あり を的に特色のあ 「は、産業情勢に関する。 で、社会情勢に関</th> <th>r 産定の 必 で 、</th> <th>1,040 車等 が低い が低い が低い が低でする。 ではな展 継続発図 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</th> <th>産・学・官連携協定の締結等 での産学官連携 での産学官連携 な市民ニーズに なすることができる とができる とができる はなすることができる はながられま のはます。</th> <th>産・学・官連携協 定の締結等 が必要とされて ご対応することが ています。 止</th>	リ マ ト	が高い で る き * * * * * * * * * * * * * * * * * *	千円 か か な で 本 か で 本 む よ で 本 む よ で 本 む よ で よ な こ な よ で よ な よ	1,02′ 産・学・官連携協 定の締結等 記すの余地あり ぶ求められている ある余地あり の、包括連携を打ちめる余地あり を的に特色のあ 「は、産業情勢に関する。 で、社会情勢に関	r 産定の 必 で 、	1,040 車等 が低い が低い が低い が低でする。 ではな展 継続発図 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	産・学・官連携協定の締結等 での産学官連携 での産学官連携 な市民ニーズに なすることができる とができる とができる はなすることができる はながられま のはます。	産・学・官連携協 定の締結等 が必要とされて ご対応することが ています。 止
評 価	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前方 対容	・対・要 (・は ぽ・率る・と能 今(示性 状実) 「下応行性 単角あ 眼八郎、間斜 後妻 して 況実)	見己し対は 見りる 点、執 委合 の等 た女 点二て関あ 点とか)業行 託・ 方等 一今善 一 一 一 一) 一) 一) 一) 一) 一) 一) 一)	事 ズるのか c 面き 他態 可) 後長 配理 業 にか必 果 効い 業可 性 の等 内由	の年度別【上上上 <th>リ マ ト</th> <th>が高い で る き * * * * * * * * * * * * * * * * * *</th> <th>千円 か か な で 本 か で 本 む よ で 本 む よ で 本 む よ で よ な こ な よ で よ な よ</th> <th>1,02′ 産・学・官連携協 定の締結等 記すの余地あり ぶ求められている ある余地あり の、包括連携を打ちめる余地あり を的に特色のあ 「は、産業情勢に関する。 で、社会情勢に関</th> <th>r 産定の 必 で 、</th> <th>1,040 車等 が低い が低い が低い が低でする。 ではな展 継続発図 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</th> <th>産・学・官連携協定の締結等 での産学官連携 での産学官連携 な市民ニーズに なすることができる とができる とができる はなすることができる はながられま のはます。</th> <th>産・学・官連携協 定の締結等 が必要とされて ご対応することが ています。 止</th>	リ マ ト	が高い で る き * * * * * * * * * * * * * * * * * *	千円 か か な で 本 か で 本 む よ で 本 む よ で 本 む よ で よ な こ な よ で よ な よ	1,02′ 産・学・官連携協 定の締結等 記すの余地あり ぶ求められている ある余地あり の、包括連携を打ちめる余地あり を的に特色のあ 「は、産業情勢に関する。 で、社会情勢に関	r 産定の 必 で 、	1,040 車等 が低い が低い が低い が低でする。 ではな展 継続発図 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	産・学・官連携協定の締結等 での産学官連携 での産学官連携 な市民ニーズに なすることができる とができる とができる はなすることができる はながられま のはます。	産・学・官連携協 定の締結等 が必要とされて ご対応することが ています。 止

		411 A -1 44			~ 1.33 1.5141				
事 剂	务事 業 名	総合政策	調査研究事業					整理No.	47
所	属 名	部 総合	政策部 課 項	效策企画	課	記入者	野澤	内線	133
 - 4:	立施 策 名	分野 都市	経営	山柱 行献	で改革の推進	小粒	行政証句	近システムの利	1構築
<u> </u>				L4T 115			111241111	10 2 17 21021	11175
		年度 平成	27 年度 根拠	法令等	坂戸市職員提業	E 規正			
	事業終了	年度 令和	年度	, ,_ ,					
	交	† 象	□高齢者□□	障害者	□個人 □世帯	□団体	全ての人	✓ その他	
		」 対象としている	なか) (具体的に) 坂戸市						
	日 堙 (計 4	きたじの トン	5な状態にするために		* 左 仁 っ て い ス か	目体的な	、日 插 (粉)	店 \ ナ> ビー \	
			ける中、当地域の抱え						電帯を図れま
	地力分権す。	が平倍化	の中、ヨ地域の抱ん	の多様な	11 収課題に的作	ミに刈がし、	間系で多	1年的は11政	連呂を凶りよ
	90								
_		/ 	71111 D4	-	- 7 - 1 1 - 1 - 1 - 1				
事			・活動内容など、目的) I I	
務			応する効率的な行政を 務改善提案を職員から						
127			傍以音旋系を喊貝がら しなかったことや、まちづく						
事	が異い人は	1N 702 504	, an	(),,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		11 2 11 2 12 2	•		
		区	分	単位	令和2年度	=1 == / =	令和3年		令和4年度
業					実績(決算)	計画(予		実績(決算)	計画(予算)
	指標①	職員提案	件数	件	10		10	6	10
の	指標②								
∔ Ω17	指標③								
概	担係③		人たっと皮っ 日本い	a (d b.)	。 p = 3+.5-	س. (1 د مار طر			
要	指標に対す	する達成度	令和3年度の提案は 用提案となりました。	が件であり	り、目標を達成で	さませんで	いたか、別	是案された6件	Fの内1件は採
^									
	1110.	事業		千円	73		450	38	450
	事財		国県支出金・その他)	千円					
	業源費品	一般財源		千円	73		450	38	450
	• 職	員 数		人	0.10		0.10	0.10	0.10
	2	人 件 費	•	千円	497		497	497	497
	ス	総事業	費 ①+②	千円	570		947	535	947
	├				職員提案報奨金・				
	把 握	事業	の年度別実施内容		旅費等	旅費等	旅費	(等	旅費等
			✓ 必要性が高い		 診討の余地あり		ζ/ Ε Ι \		
	(着眼	₹点) ₹ニーズに		□ 19	と前の未 地のり	山必安住//	1715/01		
	要対応し	こーへに	地方分権が本格化す	る中、多	様な行政課題に	· 対応1』簡	事素で効率	図的な行政運	営を図ろために
			必要とされています。	0119		-//1//L.O.	11216 6 793 -1	-h7.411 & Œ	<u>педоле</u> »(е
		はあるか	,						
			☑ 有効性が高い	□≠	らめる余地あり	□有効性が	(JEL)		
	左 (着眼	(点)	【理由】		1000水上1007		1500		
l	·目的	とした効果	市政に関する政策立	室及び	事務改善について	て広く職員:	から提案を	を求めることに	より 職員の政
	性はある	るか	策形成能力の向上及						
次									
l	(着眼)	占)	✓ 効率的である	□≢	らめる余地あり	□ 効率的で	1++-11		
評	•¬スト	業務而等効			1000水上1007	□ w+n) C	10,00		
一個	※ 率的に 率 るか	執行できてい	職員提案の全職員に	トス投画	でけ エクセルル	アトス焦計・	システムな	・活田する こと	で生計作業の
ПШ	性 民間	委託や他事業	大幅な効率化を図って	ておりま	す。	CO.0XIII	J 7 1 7 2 1 2	.111/11 / 5000	
	'ー との統 能か	合・連携が可			, 0				
	1,5,4		見直し(□ 改善・交	1. 変ル	□縮小 □統合[□ +☆ ∧ ∣	- 1 40v 4± [□ 49 - □ 4	🗆 🛦
	総		【課長名:本多 崇】	力平化		1145元 /	▼	□11个.	止
		の方向性	多様な行政課題に対	·ì 職員	が老うたアイデ	アを草スァリ	レで 党に	重終改議を育	音識〕を仕事を
		(策等)	行います。また、多く						
	価		., -, 0 , 5 ,		, , , , , , , ,	, _,,,,		-, •, -	
	4								
	前回示した								
改	方向性(改	X 晋 朿 寺)							
善	±1 + 1 h >=	/ 由 #	□実施済(中)		部実施 □検討	·中 🗌	未実施	□ その他	
状況	対応状況 容、未実施								
兀	谷、木夫の								
	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	/							

事》	務事業名	土木積	算システム運	 用事業				整理No.	48
所	属 名	部 都市		課 道路河川	課	記入者	大濵 賢雄	内線	527
上化	立施策名	分野 都同		中柱 行政	女の情報化	小柱	行政運営σ	高度化•芄	R速化
	事業開始	年度 平原	と 29 年月	隻					
		年度 令和		· 根拠法令等					
					□個人 □世帯	□団体	全ての人	□その他	
		対 象 対象としてい	るか)(具体的に		ー している関係者す	ー けべての人:	- が対象です <i>。</i>	_	
					業を行っているか				
					理化を進めコスト				迅速化を目指し
	ます。(道	路河川課	・維持管理課・	区画整理事務所	にて活用。)				
_	Mr Ing	·				- - ,			
事 					するために何をし				
務					る積算業務の迅 ※令和4年度再			新システム	·稼働予定
 事					の確定等により1,				
 		区	分	単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度
業	Ib I= 0			—	実績(決算)			責(決算)	計画(予算)
 ၈		積算シス	テム利用台数	台	11		11	11	11
"	指標②								
概	指標③								
 要	指標に対	する達成度	計画通りに委	託費及び工事費	費の積算を執行し	ました。			
~				~ m	1.000		1 000	1 000	0.001
	140.	事業	育 (国県支出金・そ	千円 の他) 千円	1,839 0		1,362 0	1,362 0	2,001 0
	業 源	一般財源		千円	1,839		1,362	1,362	2,001
	弗	員 数		人	0.20		0.30	0.30	0.30
		人件		千円	993	1	1,490	1,490	1,490
	ス ト	総事業	美費 ①+②	千円	2,832 サーバ等借上料、		2,852	2,852	3,491
	把	事業	美の年度別実施	西内容	埼玉県プログラム	埼玉県プログ	ブラム 埼玉県	プログラム	サーバ借上料、プ
	握			5.44.45 ÷ 1.		使用料	使用料		ログラム使用料
	(着U 必 . 去 B	艮点) 民ニーズに		受性が高い □ 梲	食討の余地あり	□必要性が	はい		
	要 対応	しているか	道路整備の記		事業を円滑かつ適			土木積算	システムを引続
		枚関与の必 はあるか	き活用し、正	確かつ迅速な積	算業務を実施して	ていく必要を	があります。		
	安江	1400,011.		<u> </u>					
	右 (着眼	艮点)	□ □ ^{有效} 【理由】	」性が高い □ 高	らめる余地あり	□ 有効性が	低い		
 	か・目的	りとした効果		効率化、迅速化を	とはじめ、技術職	員の育成や	土木知識の)醸成に寄	与し、市民サー
_ ا	が 性 性	るか	ビスの向上が			. , ,,,,,,,,,		,,	
次									
評	(着眼 ・コスト	点) -、業務面等效		≦的である □ 高	高める余地あり	□ 効率的で	はない		
 #		こ執行できてい	、【理田】	や一般管理専笑	の関連費用が自	動で計質さ	わたり 最楽	5版の単価	に自動で更新
価	性 民間	委託や他事第 合・連携が可	きされたりする	など、迅速かつ家	め率的に積算作業	動で かずさるた	とめ、コスト縮	がなされ	っています。
	能か	[ロ・建捞が刊							
	4//				□縮小 □統合[」拡充)	☑継続 □ 編	終了 🗌 休	止 □廃止
	総 合 今後	の方向性	【課長名:石		田子フはよ、地一	· 正台// 小司	数/共 曲・ナ・コ・	古に金巻つ	-フ と は ヨ(も
	評 (改善	等等)			用するほか、地元 務の効率化を図り		怪佣質を述れ	坐に頼昇う	るため、別さ
	価		= 2 12 12 1		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	. •			
	前回示し	た今後の							
 改		たず後の 枚善策等)							
善			□実が	施済(中) □ー	部実施 □検討	·中 🗆 :	未実施	□ その他	
状況	対応状況 容、未実活		_						
次 	合、不美								

事系	务事 業 名	入西地均	式交流センター運営 [・]	 事業				整理No.	49
所	属 名	部 市民	部課	入西地域	え交流センター	記入者	梅木	雅夫 内線	281-0044
上 位	立施 策 名	分野 都市	ī経営	中柱 地域	コミュニティ活動の	推進 小柱	コミュニ	ニティ活動施設の	の整備支援
	事業開始	年度 平成	27 年度 17 18		坂戸市入西地域	或交流セン	ターの言	2置及び管理に	_関する条例
	事業終了	年度 令和	根拠 □ 年度	法令等					
	交			障害者	□個人 □世帯	□団体	全ての	人 □その他	
		」	るか) (具体的に)						
	目標(対象	きをどのよう	うな状態にするために	当該事業	業を行っているか	、具体的な	目標(装	数値)など。)	
	教室·講座	を通して	教養を育み、心身の傾	健康を増え	進し、市民福祉の	向上を図る	ほか、	参加者同士の	
			深める場所を提供しる そのために、市民の興						
<u> </u>								有の増加を凶!)より。
† 			・活動内容など、目的 か、主催・共催事業と					ています また	人 佐 護 広 • 直
務			など、地域の特性を				刑性し	(V. J. y o J. L.)	八作時生。同
事									
₹		区	分	単位	令和2年度		令和34		令和4年度
業	+15 +1 (17)	_			実績(決算)	計画(予		実績(決算)	計画(予算)
၈	· · · · ·		アンター開館延べ日数	日.	195		359	239	357
			センター利用者数	人	21,712	4	1,424	43,199	•
概	指標③	主催・共作	_ • /•//		24		47	29	52
要	指標に対す	する達成度	新型コロナウイルス感染症 開館日数・事業数は大幅	正の影響に に減少して	より貸館の中止期間 ていますが、ワクチン	別があり、また、 接種会場とな	中止した っていた	:事業があることか ため利用者数は増	ら、計画と比較して 曽加しています。
		事業		千円	415		551	88	1,057
	1110		^貝 国県支出金・その他)	千円	413		250	00	251
	業源	一般財源		千円	415		301	88	806
		員 数		人	3.00		3.00	3.00	3.00
		人件費		千円	14,895		4,895	14,895	14,895
	ス ト	総事業	:費 ①+②	千円	15,310 貸館事業	1: 貸館事業	5,446 4	14,983 f館事業	15,952 貸館事業
	把 握	事業	の年度別実施内容		各種講座開催	各種講座開 体育祭·文化	催 名	・種講座開催 ・ンライン文化祭	各種講座開催
	/*	ı	✓ 必要性が高い	・ 	食計の余地あり	───────		. , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	11 13 24 24 12 24
	(着眼 必 ·市民	[。] ニーズに	【理由】						
			施設の貸し出しや各			相互の交流	の促進	、市民による地	型域活動の推
		(関 す の必 はあるか	進、市民の生涯学習	の又抜い	- 舒子している。				
			☑ 有効性が高い	. 🗆	高める余地あり	□ 有効性が	併八		
	有(着眼		【理由】	· ⊔ -	10707125077		1250.		
–	効 (はち)	」とした効果 るか	山民の紅云参加の水	足進、地域	或のつながりやふ	れあい、交	流を深	める機会を提供	 する場となって
次	性はかる		いる。						
	(着眼,	占)			弱める余地あり	□ 効率的で	1++>1 >		
評	• ¬ z ト	業 務而等効	□ 効率的である 【理由】	<u>V</u> ⊧	可める未地のウ	山 劝举时代	14/461		
価	半 るか_	執行できてい	引き続き利用団体の	増加、魅	力のある事業の	実施等によ	り利用	者の裾野を広げ	げる必要がある。
	ュ との統	委託や他事業 合・連携が可							
	能か			±1 ± 11					
	総		見直し(□改善・ 【課長名:庄司 圭		□縮小 □統合	□ 拡充)	┙継続	□終了 □休	止 □廃止
		の方向性	地域活動の推進、市		豆の交流の場とし	て、一定の	成果を	得ていると思わ	れるが、さらに
	評 (改善価	策等)	自主的な地域活動の	推進を	図るため、市民と	連携して事	業の充	実を図りたい。	
	前回示した								
改	方向性(改	(善束等)		_	<u>—</u>				
善			□ 中状文(土)	П-	部実施 🔲 検討	+m 🗖 .	未実施	□ その他	
- דינ	对広状况	(宝施内	□実施済(中)			ј т Ц	不天心		
状況	対応状況 容、未実施 今後の予	施の理由、	□夫肔済(甲)	_		ı+ <u>Г</u> .	不关心		

事	務事業名	収納率向	上対策事業	ŧ			整理No.	
所	属名	部 総務	治	課納税課		記入者 佐原	冻 内線	255
上1	位施策名	分野 都市	i経営	中柱 財源	の安定確保	小柱 自	主財源の確保	
	事業開始	台年度 平成	12 年	度。原地、土人体	地方税法、坂戸	市税条例		
	事業終了	7年度 令和	年	ん 根拠法令等 度				
		対 象	高	「齢者 □障害者 □	□個人 □世帯	□団体 ☑全	ての人 □その他	
			るか) (具体的)	三) 納税義務者				
	目標(対	象をどのよ [.]	うな状態にす	るために当該事業	美を行っているか	、具体的な目	票(数値)など。)	
							納体制の整備など	どをより一層推進
	市税収組			納繰越分の徴収號 → R5年度96.6%			2% → R5年度7	4.0%
事	11. 12. 17.11			ど、目的を達成す			- /-	
	市税等0)収納率の[句上を図るたる	め、納付機会の拡	充、自動音声電	話催告による終	n税の勧奨、預貯	
務	会サービ	、スの導入及	び確実な納		振替の推奨を行	テいます。(当初]予算は18,402千[
事	忧守朱江	2. 美務安託。	り 請 貝 左 彼 ラ	単により10,073 ↓			50年中	△和4左由
 業		区	分	単位	令和2年度 実績(決算)		口3年度 実績(決算)	令和4年度 計画(予算)
*	指標①	差押債権	受入額	千円	139,064		2 1111(111)	
の	指標②	コンビニ糸	内付件数	件	93,748	114,00	96,215	117,600
概	指標③							
			差押債権受	入額については、	前年対比43,46	1千円・31.25%	の増となりました。	また、コンビニ
要 				ついては、2,467件				
		事業		千円 千円	18,291	18,40	14,729	19,335
	عللد	特定財源(一般財源	国県支出金・そ	その他) 千円 千円	18,291	18,40	2 14,729	19,335
	費職	一般別源		人	0.49	0.47	·	0.47
		人件費	Ì	千円	2,433			
	スト	総事業	費 ①+②	千円 千円	20,724	•		· ·
	把	事業	の年度別実施	布内容	市税等徴収員採用、自動音声電話	告、コンビニ納付	自動音声電話催 、告、コンビニ納付、	
	握	1.50			催告、コンビニ納	ペイジー口座振春	替 ペイジー口座振替	ペイジー口座振替
	(着	眼点)	【理由】	要性が高い 横	討の余地あり	□ 必要性が低い		
	要 対応	民ニーズに しているか	本事業は目				ます。また、各種号	F法を検討する
		政関与の必 Eはあるか	中で、納税を	皆のニーズに配慮	したものを実施し	しています。		
	۷۱-							
	有(着	眼点)	☑有列 【理由】	効性が高い □ 高	ある余地あり	□ 有効性が低い		
l —	効 胃	的とした効 はあるか	自動音声				ビニ納付について	
 次	往	いめるか		慮したもので、一気 申込みが簡便とな			、ペイジー口座振ラ キーナー	替受付サービスは
	/ * * n	. .				_	. •	
評		ト、業務而等効		率的である □高	ある余地あり	□ 効率的ではない	,1	
価	平 るか	に執行できてい	コンビニ納				幹送については、 タ	ト部委託の形態
	とのま	間委託や他事業 統合・連携が可	をとっており	、ともに効率性の	高いものと考えま	す。		
	能か		B = 1 (u/+	
	総		見直し(【課長名:萩	□ 改善·効率化 [野 准】	縮小 □統合 □	拡充) ☑ 継	⊌続	:止
		その方向性 善策等)	本事業が目	自主財源の確保に			く、引き続き実施し	ていくこととしま
	価	古水寸/	す。今後も、	収納率向上につ	ながる納税方法	を検討・導入し	たいと考えます。	
	<u> </u>		木車業がほ	自主財涯の確保に	・ 実 与 〕 て い ろ の	け言うまでむた	く、引き続き実施し	ていくことり ま
		.た今後の 改善策等)					へ、引き脱さ美麗し 倹討していきます。	/ (
改業	73 I-1 I-1 (~ 口水寸/	┌╴╈	施済(中) 🗸 🗗	部実施 □検討	↑中 □未実	施 □その他	
善状	対応状況	兄(実施内					たまえ、費用対効果	是を見極めつ
況	容、未実	施の理	つ、引続き様	食討していきます。	令和2年度には	、納税方法の多	多様化の一環として 処分の早期実施の	てスマートフォン
	田、写俊	のプ疋寺)		-よる納竹に対応し サービスの利用を		十戌 には、(伊州)	アプツ干別夫他(ツに ツ) 関野

事系	务事為	美名	戦没	者遺	族援護	 養事業							整理No.	51
所	属	名	部	福祉	部		課福	祉総系	务課		記入者	1 北村	善 内線	412
上位	立施多	6 名	分野	都市	経営		中	柱 平和	和行政の	推進	小	柱 次世代	への伝承	
	事業	開始	年度	平成	27	年度	Im the sa		戦傷症	 者戦没	者遺族等	接護法		
	事業	終了	年度	令和		年度	根拠沒	5 令等						
		女	t 1	象		□高齢	者 🔲 🛭	章害者	☑個人	□世帯	☑ 団体	□ 全ての。	人 □その他	
	(誰、				か) (具	具体的に)	戦没者	遺族						
	目標	(対象	きをど	のよう	うな状態	にするた	めに当	á該事 :	業を行っ	ているか	、具体的	内な目標(数	枚値)など。)	
	戦没	者を	想霊し	ア和	を祈念	するため	、戦没	者追悼	草行事を	行うととも	に、遺族	会の事業	を支援します。	
事	車 業	概要	(町紅	内灾	•活動力	一変かど	日的友	⊱捧 成・	するため	に何をし	ているか)		
~													千円でしたが、	新型コロナウイ
務													0千円に補正し	
事														
ᅫᄹ				区	分			単位		12年度 (決算)	計画(◆ 令和3年 〔予算〕	F度 実績(決算)	令和4年度 計画(予算)
業	指標	(1)	戦没	者追	卓行事			□	中止	(//)	шы	1 🕸		1
の	指標	_	,,,,,	1.0	, , , ,				, —			- ,		
概	指標													
113/1	1117	. (3)			戦没者	追悼行马	事は、発	F型コロ	コナウイバ	レス威染	症の感染	⊭拡大防止	の観点から中」	止しました。
要	指標	に対っ	する達	成度	1/1/2 11	~ IT-11	J- 100 ()//	1	, , , (,		7T - > VEV > N	1)47 (7)	- 1 6 111111111111111111111111111111111	E 0 5 0 7 C 0
	総	1	事	業	ŧ			千円		174	ļ	100	100	137
	事	• • •			国県支出	Ⅎ金・その		千円						
	業 費		一般					千円		174		100	100	
			員 人 (人 千円		0.40 1,986		0.40 1,986	0.40 1,986	0.40 1,986
	ス	E		事業		+2		-		2,160		2,086	2,086	
	ト 把			Alle						自悼行事 みなるお	戦没者追		没者追悼行事	戦没者追悼行事
	握			爭某	の年度	別実施内]谷		助計画、	退灰云佣	助夫他、	退族芸術 の助		の実施、遺族会補 助
		(着眼	(点)			☑ 必要性	が高い	□ <i>†</i>	検討の余均	也あり	□必要位	生が低い		
		·市民	3:	ズに	【理由】	・お尉雪〕	びまった	<i>治</i> 公	ナスポ曲	め海佐/	2の車業	の古怪は	亚和行政の 権	進に必要な取
	性	· 行政	関与	の必		ると考え		. 17 L / L'N	りつとくか	: \	マツザ未	V/ 又]友(よ、	十和行政切出	正 世 に 必 安 な 収
		要性	はある	か										
		/ ** nc	- L			☑ 有効性	が高い		高める余地	しあり	□有効性	生が低い		
l_		(着眼 ▪目的	えほ) うとした	:効果	【理由】		トス投ぐ	ゝよっまひり	ナステしん	+ 国め	服上の麻	由お炉冊を	とへ 継承 士ス_	一助となるもので
	性	はあ	るか							おいられる		文を扒匹丁	いるをある	別となるものく
次														
評		(着眼)		五生六		□ 効率的	である	√ i	高める余地	しあり	□効率的	内ではない		
<i>Ι</i> π.	効 率	率的に	、業務i .執行で	きてい	【理由】		車につい	ハナル	造 体 4		直齢イレンテ	ト ス 今 昌σ	減少傾向が見	1 こわ ステレか
価	性	· 民間	委託や作	也事業								要がありまっ		FOX 02-52-
		との統 能か	合∙連携	후/)·미										
	総					il(🗹		率化	□縮小	□ 統合	□拡充	〕□継続	□終了 □休	:止 □廃止
	合	今後	の方向	性		名:武田 ::点临行:3	_	ハナル	造 体 4	へかなの音	チ目 空た	会老に 式	曲といる形能に	こだわらず、戦
	評	(改善	策等)										ては、支援を継
	価				続しま	す。								
			た今後											
改	方向	性(改	大善策	等)										
善	÷1 ++	H 20	/ 	.		□ 実施済	F (中)	□-	部実施	□検討	中	□ 未実施	□その他	
状 況	対応容、5													
‴			定等)											

事系	务事 業 名	婚活支援	事業				整理No.	52
所	属 名	部 こども	(健康部 理	こども支持	章 記 記	入者 吉野	内線	423
ᅜ		-		中柱 地坝	福祉活動への支援	小柱 ホブンティ	イノ団体等との	り連携と文援
	事業開始	年度 平成	30 年度 担 切	L法令等				
	事業終了	年度 令和	年度	上本中寺				
	_	. 4	□高齢者□	障害者	□個人 □世帯 □団	体 □全ての人	✓ その他	
		す 象 対象としている	るか)(具体的に)結婚を	た系切士				
			(XII 437 - 7 /\nu /\nu /\nu /\nu				±	
					きを行っているか、具体		直)など。)	
	結婚を望	む独身男な	てに出会いの機会を携	を供するこ	とで、結婚・出産に繋	けていきます。		
۱								
事					るために何をしている			
務					SAITAMA出会いサポー			
127			を連名し、マッナングング	アムを活月	目した婚活支援を展開	し、セミナーや出会	言いの場であ	る婚店1~ントを
事	開催しまっ	9 0						
		区	分	単位	令和2年度	令和3年月		令和4年度
業						-	[績(決算)	計画(予算)
	指標①	イベント参力	I 者	人	0	100	46	50
の	指標②	センターを		人	528	150	543	550
概	指標③	婚姻者数		人	3	5	5	10
1970	11 IX ©	71711 11 39	センターの登録者数		数ともに順調に推移し	ています WFR	-	
要	指標に対	する達成度			'ベントを実施したため			
	(T)	古 业 :	1 1 + + + + + + + + + + + + + + + + + +					
	IIAD2 C	-	貫 国目士山仝 - その他)	千円 千円	386	471	386	471
	٠.١	一般財源	国県支出金・その他)	千円	200	471	200	471
	弗 ""、				386	471	386	471
		員数 ###		人工四	0.05	0.05	0.05	0.05
	コ(2)ス	人件費		千円	248 634	248	248 634	248
	<u>}</u>	総事業	費 (1)+(2)	千円	婚活支援センター 婚活	719 古怪センター 紙汗		719 紙洋支採センター
	把	事業	の年度別実施内容			、婚活イベン 運営		
	握	•			ト開催	ト	崔	·開催
	(着明	(4)	☑ 必要性が高い	ハ □検	討の余地あり 🔲 🛭	要性が低い		
	必 市	ミニーズに	【理由】					
	要対応	しているか	本市の合計特殊出生	上率は令	和2年実績で1.27であ	り、国、県を下回	回る状況が続	いています。結
		X関与の必 はあるか	始を望む独身男女に対策として必要性が		り機会を提供すること シェナ	で、結婚や山座	にも繁かる本	争業は少士化
	XII.	1000000	対象として記安正が	III (, C, 4)	~ A 7 o			
	/ 羊叩	3上\	☑ 有効性が高い	'	「める余地あり	効性が低い		
	有 (着明	ぇはり りとした効果	【理由】	194 > 11	44.11 ~ + +1. H . 11/4	12 1	> -22	
_	効はあ		放始する市民会員も	増え、目	的としていた効果が得	られていると考。	えます。	
次	往							
^`								
評			<u></u>					
	(着眼	、業務而等効	☑ 効率的である	高	「める余地あり 団効	率的ではない		
,	効 率的に	点) 、業務面等効 :執行できてい	【理由】	· 			パラー・エング	カニュの田が五
価	·コスト 効 率的に 率 るか	、業務面等効 ・執行できてい	【理由】 埼玉県及び県内自治	_ 台体が連	_ 隽することで、サテライトヤ	マンターの運営並で	びにマッチングシ を確保できて	ステムの開発及います
価	が 率 るか 性 ・民間 との統	、業務面等効 ・執行できてい	【理由】 埼玉県及び県内自治	_ 台体が連		マンターの運営並で	びにマッチングう を確保できて	ステムの開発及 います。
価	が 率 るか 性・民間	、業務面等効 執行できてい 委託や他事業	【理由】 埼玉県及び県内自治 び運用に係る経費の	ー 台体が連打 O抑制が ^同	ー 携することで、サテライトt J能となり、コスト面・運	zンターの運営並で 運営面で効率性を	を確保できて	います。
価	·コスト 郊 率 を を を を を 能 が	、業務面等効 執行できてい 委託や他事業	【理由】 埼玉県及び県内自治 び運用に係る経費の 見直し(□改善・	ー 台体が連打)抑制が同 効率化	_ 隽することで、サテライトヤ	zンターの運営並で 運営面で効率性を	を確保できて	います。
価	対率性 総合	、業務面等効 執行できてい 委託や他事業 合・連携が可	【理由】 埼玉県及び県内自治 び運用に係る経費の 見直し(□改善・ 【課長名:井田 二	ー 台体が連抜 が制がで 効率化 男	告することで、サテライトt T能となり、コスト面・選 「縮小 □統合 □拡ま	zンターの運営並で で効率性を で) ☑継続 【	を確保できて	います。 Ŀ □廃止
価	効率性 総合評 を登書	、業務面等効 執行できてい 委託や他事業 合・連携が可	【理由】 埼玉県及び県内自治 び運用に係る経費の 見直し(□改善・ 【課長名:井田二 独身男女に出会いの	台体が連 う抑制が可 効率化 男 り機会を提	告することで、サテライトt T能となり、コスト面・選 □縮小 □統合 □拡 】 是供し、結婚・出産へ動	zンターの運営並で で効率性を た) ☑継続 [&げていくために	を確保できて 】終了 □ 休 」 こは、長期的れ	います。 L □廃止 なサービスの提
価	対率性 総合	、業務面等効 執行できてい 委託や他事業 合・連携が可	【理由】 埼玉県及び県内自治 び運用に係る経費の 見直し(□改善・ 【課長名:井田二 独身男女に出会いの	台体が連邦 う抑制が可 効率化 男 り機会を扱 もより多く	告することで、サテライトt T能となり、コスト面・選 「縮小 □統合 □拡ま	zンターの運営並で で効率性を た) ☑継続 [&げていくために	を確保できて 】終了 □ 休 」 こは、長期的れ	います。 L □廃止 なサービスの提
価	効率性 総合評価 総合評価	、業務面等効 執行できてい 委託や他事可 の方向性 等策等)	【理由】 埼玉県及び県内自治 び運用に係る経費の 見直し(□改善・ 【課長名:井田二 独身男女に出会いの 供が必要です。今後	台体が連邦 う抑制が可 効率化 男 り機会を扱 もより多く	告することで、サテライトt T能となり、コスト面・選 □縮小 □統合 □拡 】 是供し、結婚・出産へ動	zンターの運営並で で効率性を た) ☑継続 [&げていくために	を確保できて 】終了 □ 休 」 こは、長期的れ	います。 L □廃止 なサービスの提
	効率性 総合評価 前回 前側 が 後き	、業務面等効い 執行できています。 委託・連携が可の方等に の方等)	【理由】 埼玉県及び県内自治 び運用に係る経費の 見直し(□改善・ 【課長名:井田二 独身男女に出会いの 供が必要です。今後	台体が連邦 う抑制が可 効率化 男 り機会を扱 もより多く	告することで、サテライトt T能となり、コスト面・選 □縮小 □統合 □拡 】 是供し、結婚・出産へ動	zンターの運営並で で効率性を た) ☑継続 [&げていくために	を確保できて 】終了 □ 休 」 こは、長期的れ	います。 L □廃止 なサービスの提
改	効率性 総合評価 総合評価	、業務面等効い 執行できています。 委託・連携が可の方等に の方等)	【理由】 埼玉県及び県内自治 び運用に係る経費の 見直し(□改善・ 【課長名:井田二 独身男女に出会いの 供が必要です。今後 することが必要と考え	台体が連邦 対制が可 効率化 男 り機会を扱 もより多く とます。	巻することで、サテライトt T能となり、コスト面・選 □縮小 □統合 □拡 ま 】 是供し、結婚・出産へま の方が参加しやすくz	zンターの運営並で 運営面で効率性を た) ☑ 継続 [繋げていくために なるよう、婚活イへ	を確保できて 】終了 口休 こは、長期的ないかなどの実	います。 L □廃止 なサービスの提
	効率性 総合評価 前方 ・1率るよと能 今(改 示性 ・2年の 100 100 100 100 100 100 100 100 100 10	、業務の 素務できて 素行でも 事行でも 事行でも 事所できて 事所できて の方等 かき、 大等 大き、 大き、 大き、 大き、 大き、 大き、 大き、 大き、	【理由】 埼玉県及び県内自治 び運用に係る経費の 見直し(□改善・ 【課長名:井田二 独身男女に出会いの 供が必要です。今後	台体が連邦 対制が可 効率化 男 り機会を扱 もより多く とます。	告することで、サテライトt T能となり、コスト面・選 □縮小 □統合 □拡 】 是供し、結婚・出産へ動	zンターの運営並で で効率性を た) ☑継続 [&げていくために	を確保できて 】終了 □ 休 」 こは、長期的れ	います。 L □廃止 なサービスの提
	対率性 総合評価 前方 対に率るにと能 今(3) 示性 状のに	、業行 素行でも 素行でも 地携 のま 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き	【理由】 埼玉県及び県内自治 び運用に係る経費の 見直し(□改善・ 【課長名:井田二 独身男女に出会いの 供が必要です。今後 することが必要と考え	台体が連邦 対制が可 効率化 男 り機会を扱 もより多く とます。	巻することで、サテライトt T能となり、コスト面・選 □縮小 □統合 □拡 ま 】 是供し、結婚・出産へま の方が参加しやすくz	zンターの運営並で 運営面で効率性を た) ☑ 継続 [繋げていくために なるよう、婚活イへ	を確保できて 】終了 口休 こは、長期的ないかなどの実	います。 L □廃止 なサービスの提
	効率性 総合評価 前方 ・1率るよと能 今(改 示性 ・2年の 100 100 100 100 100 100 100 100 100 10	***********************************	【理由】 埼玉県及び県内自治 び運用に係る経費の 見直し(□改善・ 【課長名:井田二 独身男女に出会いの 供が必要です。今後 することが必要と考え	台体が連邦 対制が可 効率化 男 り機会を扱 もより多く とます。	巻することで、サテライトt T能となり、コスト面・選 □縮小 □統合 □拡 ま 】 是供し、結婚・出産へま の方が参加しやすくz	zンターの運営並で 運営面で効率性を た) ☑ 継続 [繋げていくために なるよう、婚活イへ	を確保できて 】終了 口休 こは、長期的ないかなどの実	います。 L □廃止 なサービスの提

	务事 業	1	义进	1女王	他設	(寸定))	尹未					整理No.	53
所	属	名	部	都市	整備	部	課	維持管理	課	記入者	山下 誠司	内線	516
 上 位	拉施策	名	分野	健康	•福祉	上、安全・	安心	中柱 道路	8交通環境の整備	小柱	交通安全於	を 設の整備	Ĵ
	事業開				継		专		道路交通法、道				
	事業終				,,,,,,,	年月	根	拠法令等	交通安全対策基				
	尹禾小	2 1	十尺	עזי נד				□ 障害者	□個人 □世帯		7 全ての人	□その他	
	(誰. 信	文 Tを文		象 .ている	か)				る全ての人		3 ± (0)/(
										日		\ 	
	日標 (5758)	に当該事業	業を行っているか	、具体的な	日標(数個)なと。)	
	火炬す	THX	V 2/1X/1	אם ב א	1HC	۵ 7 0							
事	事業根	要	(取組	内容	•活動	内容な	ど、目	的を達成す	するために何をし	ているか。)		
₹₩			見場診	沙断や	地元	からの要	望等	に伴い、路	面標示、道路反	射鏡、道路	照明灯の設	设置及び修	繕等を実施して
務	います	0											
事									A		^ 		^ ~- ·
NII.				区	分			単位	令和2年度 実績(決算)	計画(予	令和3年度 質) 宝组	漬(決算)	令和4年度 計画(予算)
業	指標	1	区面	總設長	置十 亘	事延長		m	10,534		チュー 大4 5,000	14,971	
の		_					· / -)			1	•		·
	指標	_	火 週	尹以1	十级(,	人身事故	以)	件	218		200	227	200
概	指標	3)			 -√->		>< T = t→	: ; _ ; _ ;	. 1 , 5	-	n la var a e l	to a contract	
要	指標に	対	する達	成度	父迪	事政がは	胃加傾	(同である)	ことから、引き続き	父迪事故の	ソ根絶を目打	旨します。	
		1	由	业 車	ŧ.			7 M	E0 E95	E	0.591	50 000	74.000
	1110	① 財		業 費 財酒(19		₹出金・そ	-の価)	千円 千円	59,525 13,392		9,521 3,000	58,900 13,360	•
	業		一般		ニホメ	(H) W (ر <u>تا</u> (کا	千円	46,133		6,521	45,540	
	書							人	1.80		1.80	1.60	1.80
	_	2	人(件 費				千円	8,937	;	8,937	7,944	8,937
	ス		総	事 業	弗	(1)+(2)		千円	68,462	C	0 150	00 044	02.026
	- 1			* *	負			113	· ·		8,458	66,844	83,036
	ト 把 握					度別実施	西内容	113	区画線、路面標示、道路 反射鏡(新設、修繕、清	区画線、路面標 反射鏡(新設、修	示、道路 区画線、 繕、清 反射鏡(路面標示、道路 新設、修繕、清	区画線、路面標示、道路 反射鏡(新設、修繕、清 掃)、道路照明灯(新設、 修繕)
	把 握		3占)			变别実 放	西 内容 要性が高		区画線、路面標示、道路反射鏡(新設、修繕、清掃)、道路照明灯(新設、	区画線、路面標 反射鏡(新設、修 掃)、道路照明灯	示、道路 区画線、 繕、清 反射鏡((新設、 掃)、道路 修繕)	路面標示、道路 新設、修繕、清	区画線、路面標示、道路 反射鏡(新設、修繕、清 掃)、道路照明灯(新設、
	担握 (市民		事業	の年月	度別実施 ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑	要性が高	高い □ f	区画線、路面標示、道路 反射鏡(新設、修繕、清 掃)、道路照明灯(新設、 修繕) 食計の余地あり	区画線、路面標 反射鏡(新設、修 掃)、道路照明灯 修繕) 必要性が	示、道路 区画線、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	路面標示、道路新設、修繕、清 新設、修繕、清 8照明灯(新設、	区画線、路面標示、道路 反射鏡(新設、修繕、清 掃)、道路照明灯(新設、 修繕)
	把握	市民 応	iニー: してい	事業で	の年月	度別実施 ☑必勢 由】 が安全・	要性が高安心に	ふい □ d	区画線、路面標示、道路 反射鏡(新設、修繕、清 掃)、道路照明灯(新設、 修繕)	区画線、路面標 反射鏡(新設、修 掃)、道路照明灯 修繕) 必要性が	示、道路 区画線、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	路面標示、道路新設、修繕、清 新設、修繕、清 8照明灯(新設、	区画線、路面標示、道路 反射鏡(新設、修繕、清 掃)、道路照明灯(新設、 修繕)
	把握 必要性	市民 打応し 行政	iニー: してい	事業である。	の年月	度別実施 ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑	要性が高安心に	ふい □ d	区画線、路面標示、道路 反射鏡(新設、修繕、清 掃)、道路照明灯(新設、 修繕) 食計の余地あり	区画線、路面標 反射鏡(新設、修 掃)、道路照明灯 修繕) 必要性が	示、道路 区画線、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	路面標示、道路新設、修繕、清 新設、修繕、清 8照明灯(新設、	区画線、路面標示、道路 反射鏡(新設、修繕、清 掃)、道路照明灯(新設、 修繕)
	把握 必要性	市民 打応し 行政	ミニー: してい な関与	事業である。	の年月	変別実施 ☑必要 が安全・ 要性があ	要性が高 安心に らります	高い □ セ ご通行でき	区画線、路面標示、道路 反射鏡衛設、修繕、清 掃、道路照明灯(新設、 修繕) 食計の余地あり る道路環境を作る	区画線、路面標 反射鏡(新設、修 掃)、道路照明灯 修繕)	示、道路 区画線、 議 清 反射鏡() (新設、掃)、道路 修繕) 6 6 6 6 6	路面標示、道路新設、修繕、清 新設、修繕、清 8照明灯(新設、	区画線、路面標示、道路 反射鏡(新設、修繕、清 掃)、道路照明灯(新設、 修繕)
	把握 必要性 有	市成的政性	ミニー: してい は男与 はある	事業であるのか	の年に理由	度別実施 ☑必到 計】 が安全・ 要性があ	要性が高 安心に らります	高い □ セ ご通行でき	区画線、路面標示、道路 反射鏡衛設、修繕、清 掃、道路照明灯(新設、 修繕) 食計の余地あり る道路環境を作る	区画線、路面標 反射鏡(新設、修 掃)、道路照明灯 修繕) 必要性が	示、道路 区画線、 議 清 反射鏡() (新設、掃)、道路 修繕) 6 6 6 6 6	路面標示、道路新設、修繕、清 新設、修繕、清 8照明灯(新設、	区画線、路面標示、道路 反射鏡(新設、修繕、清 掃)、道路照明灯(新設、 修繕)
_	把握 必要性 有効	市成的政性	ミニー: してい 攻関与 はある !!!	事業であるのか	の年に理由を必要は、理由を必要は、理由を必要は、これを必要は、これを必要は、これを対象を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	度別実施 図必要 は 別 が要性が 図 有 の の 現 が の の の の の の の の の の の の の の の の	要性が高安心にあります	SI	区画線、路面標示、道路 反射鏡(新設、修繕、清 掃)、道路照明灯(新設、 修繕) 会計の余地あり る道路環境を作る 高める余地あり	区画線、路面標度 原列線 (路段、 個人 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	示、道路 区画線、 繕 清 反射鏡((新設、 掃)、道路 修繕) 低い 売的に交通会	路面標示、道路 新設、修繕、清 各照明灯(新設、 安全施設の	区画線、路面標示、道路反射鏡(新設、修繕、清掃)、道路照明灯(新設、修繕、清掃)、道路照明灯(新設、修繕)
	把握 必要性 有効	市成的政性	ミニー: してい は男与 はある	事業であるのか	の年に理由を必要は、理由を必要は、理由を必要は、これを必要は、これを必要は、これを対象を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	度別実施 図必要 は 別 が要性が 図 有 の の 現 が の の の の の の の の の の の の の の の の	要性が高安心にあります	SI	区画線、路面標示、道路 反射鏡衛設、修繕、清 掃)、道路照明灯(新設、 修繕) 食計の余地あり る道路環境を作る	区画線、路面標度 原列線 (路段、 個人 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	示、道路 区画線、 繕 清 反射鏡((新設、 掃)、道路 修繕) 低い 売的に交通会	路面標示、道路 新設、修繕、清 各照明灯(新設、 安全施設の	区画線、路面標示、道路反射鏡(新設、修繕、清掃)、道路照明灯(新設、修繕、清掃)、道路照明灯(新設、修繕)
- 次	把握 必要性 有効性	市応の性着目ある。	ミニー: に関与しな はある はあした なとした	事業であるのか	の年に理由を必要は、理由を必要は、理由を必要は、これをとは、これを必要は、これをとは、これをとは、これをとは、これをとは、これをとは、これをとは、これをは、これをとは、これをとは、これをとは、これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、これを	度別実施 図必要 は 別 が要性が 図 有 の の 現 が の の の の の の の の の の の の の の の の	要性が高安心にあります	い □ を た。 い □ 同 や地元から 等の効果と	区画線、路面標示、道路 反射鏡衛設、修繕、清 掃》、道路照明灯(新設、 修繕) 会計の余地あり る道路環境を作る あめる余地あり の要望等に対し よ有効であると考	区画線、路面標 (原)	示、道路 区画線、 繕 清 反射鏡((新設、 掃)、道路 修繕) 低い 売的に交通会 低い	路面標示、道路 新設、修繕、清 各照明灯(新設、 安全施設の	区画線、路面標示、道路反射鏡(新設、修繕、清掃)、道路照明灯(新設、修繕、清掃)、道路照明灯(新設、修繕)
一次評	把握 必要性 有効性	市は行性を着目ある。眼が	ニーン は	事業 ズにかめか - 効果	の年が理由を必ば、理解を必ば、理解を必ば、理解を必ば、理解を対しています。	度別実施 図必別 目別 お妻性がある は別の設 目別の設 目別の設 回別 図 効率	要性が高かります。	い □ を た。 い □ に や地元から 等の効果に	区画線、路面標示、道路 反射鏡衝設、修繕、清 掃》、道路照明灯(新設、 修繕) 会計の余地あり る道路環境を作る あめる余地あり の要望等に対し は有効であると考	区画線、路面標度 原列線 (路段、 個人 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	示、道路 区画線、 繕 清 反射鏡((新設、 掃)、道路 修繕) 低い 売的に交通会 低い	路面標示、道路 新設、修繕、清 各照明灯(新設、 安全施設の	区画線、路面標示、道路反射鏡(新設、修繕、清掃)、道路照明灯(新設、修繕、清掃)、道路照明灯(新設、修繕)
評	把握 必要性 有効性 効	市は行兵性を着目ある。眼内には、東京のは、東京のは、東京のは、東京のは、東京のは、東京のは、東京のは、東京の	ここでは、は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	事業 ズにかめか - 効果	の年 理 は 単 理 も 必 理 雲 灯 理 自 も 必 理 察 灯 理 自	度別実施 図必認 自】 が要性がある 自】の設 目】の設 図効率 自】	要性が高安心にする	SN □ 位 に通行でき い □ 高 や地元から 等の効果に る □ 高	区画線、路面標示、道路 反射鏡(新設、修繕、清 掃)、道路照明灯(新設、修繕) 食計の余地あり る道路環境を作る あめる余地あり の要望等に対し は有効であると考し あめる余地あり	区画線、路面標度 (自身線 海路 (1) (日本) (示、道路 区画線、 議 清 反射鏡((新設、 掃)、道路 低い 売的に交通・ 低い 、路面標示	路面標示、道路 新設、修繕、清 各照明灯(新設、 安全施設の 安全施設の 安全施設の 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 と 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は 、 、 、 、 、 、 、 、 、	区画線、路面標示、道路反射鏡(新設、修繕、清掃)、道路照明灯(新設、修繕、清掃)、道路照明灯(新設、修繕)
	把握 必要性 有効性 効率性	市は行いとのでは、一方は一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では	こして関は、見られています。これは、自られています。	事 業 べるのか 立	の年 理 は 単 理 も 必 理 雲 灯 理 自 も 必 理 察 灯 理 自	度別実施 図必認 自】 が要性がある 自】の設 目】の設 図効率 自】	要性が高安心にする	SN □ 位 に通行でき い □ 高 や地元から 等の効果に る □ 高	区画線、路面標示、道路 反射鏡衛設、修繕、清 掃》、道路照明灯(新設、 修繕) 会計の余地あり る道路環境を作る あめる余地あり の要望等に対し よ有効であると考	区画線、路面標度 (自身線 海路 (1) (日本) (示、道路 区画線、 議 清 反射鏡((新設、 掃)、道路 低い 売的に交通・ 低い 、路面標示	路面標示、道路 新設、修繕、清 各照明灯(新設、 安全施設の 安全施設の 安全施設の 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 と 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は 、 、 、 、 、 、 、 、 、	区画線、路面標示、道路反射鏡(新設、修繕、清掃)、道路照明灯(新設、修繕、清掃)、道路照明灯(新設、修繕)
評	把握 必要性 有効性 効率性	市は行いとのでは、一方は一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では	こしては、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	事 業 べるのか 立	の年 理 は 単 理 も 必 理 雲 灯 理 自 も 必 理 察 灯 理 自	度別実施 図必認 自】 が要性がある 自】の設 目】の設 図効率 自】	要性が高安心にする	SN □ 位 に通行でき い □ 高 や地元から 等の効果に る □ 高	区画線、路面標示、道路 反射鏡(新設、修繕、清 掃)、道路照明灯(新設、修繕) 食計の余地あり る道路環境を作る あめる余地あり の要望等に対し は有効であると考し あめる余地あり	区画線、路面標度 (自身線 海路 (1) (日本) (示、道路 区画線、 議 清 反射鏡((新設、 掃)、道路 低い 売的に交通・ 低い 、路面標示	路面標示、道路 新設、修繕、清 各照明灯(新設、 安全施設の 安全施設の 安全施設の 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 と 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は 、 、 、 、 、 、 、 、 、	区画線、路面標示、道路反射鏡(新設、修繕、清掃)、道路照明灯(新設、修繕、清掃)、道路照明灯(新設、修繕)
評	把握 必要性 有効性 効率性	市庁行兵 着目よ 着ス的か民の民に政性 眼的あ 眼入に間統	こして関は、見られています。これは、自られています。	事 業 べるのか 立	の年に、世界のは、一番のは、一番のは、一番のは、一番のは、一番のは、一番のは、一番のは、一番	度別実施 図必要 目】 分字性がする 目】の設 図、効率 目】の設 目】 の設 目】	要性が高いない。 対性が高い 計算を いき おりま おりま おり	い □ を に通行でき い □ 高 や地元から 等の効果に る □ 高 することに	区画線、路面標示、道路 反射鏡(新設、修繕、清 掃)、道路照明灯(新設、修繕) 食計の余地あり る道路環境を作る あめる余地あり の要望等に対し は有効であると考し あめる余地あり	区画線、路面標 (自) (国) (最) (最) (最) (国) (最) (最) (国) (国) (国) (国) (国) (国) (国) (国) (国) (国	示、道路 区画線、 護清 局 反射鏡((新設、 掃)、道路 低い 売的に交通・ 低い 、路面標示 はない を図っている	路面標示、道路 新設、修繕、清 各照明灯(新設、 安全施設の 安全施設の 安全施設の 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 と 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は 、 、 、 、 、 、 、 、 、	区画線、路面標示、道路 反射鏡(新設、修繕、清 掃)、道路照明灯(新設、修繕) 修繕))整備、修繕等
評	把握 必要性 有効性 効率性 総一(・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	市け行使 着目は 着口的か民のか ほんび性 眼的 眼入り 間統	ミーレ関は	事 ズるのか 立 面き 他馬が まて 事がのか 果 効い 業可	の	まり まが 要 は との は 事が 要 は との は すい まが 要 は との は すい は で は まが	要性が心まが 計画 と	SIN □ を に通行でき にい □ 高 や地元から 等の効果に る □ ることに ・効率化 】	区画線、路面標示、道路 反射鏡(新設、修繕、清 掃)、道路照明灯(新設、修繕) (食舗) (食舗) (会補) (会補) (会補) (会補) (会補) (会補) (会補) (会補	区画線 路面標 leng leng leng leng leng leng leng leng	宗、道路 区画線、 護清 局 原射鏡((新設、 掃)、道路 医低い 売的に 交通 低い はない を図っている	路面標示、道路 新設、修繕、清 路照明灯(新設、 安全施設 の は は な は な と に さ に さ に さ い さ い よ し 、 し は し よ し 、 し よ し 、 し よ し 、 し 、 し 、 し 、 し 、	区画線、路面標示、道路 反射鏡(新設、修繕、清 掃)、道路照明灯(新設、修繕) 修繕) ②整備、修繕等 → 対鏡及び道路照
評	把握 必要性 有効性 効率性 総合	市け行を 着目あ 龍ス的か民のか 冷氏に改性 眼的み 眼入に間統	こして関は、見られています。これは、自られています。	事 ズるのか state mate to make the state of the	の	度 別 学 目との 日補 直長が まから	要性が心ま が 影修 的 活 改 徹にす 高 断繕 あ 用 善	SN □ を に通行でき にい □ で にい 一 で で で で で の か の 対果に る ことに ・ 効率 の る ことに ・ が の が ことに ここが 本 の に の に の に に の に に に の に の に に に の に に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に に に の に の に に の に の に の に の に の に の に に の に の に の に に の に に の に に に 。 に 。 に の に の に 。 に	区画線、路面標示、道路 反射鏡(新設、修繕、清 規)、道路照明灯(新設、修繕、清 掃)、道路照明灯(新設、修繕)	図画線 第	宗、道路 区画線(海) (新 区画線(海) (新 区画線(海) (新 区) (新 E) (新	路面標示、道路 新設、修繕、清 路照明灯(新設、 安全施設 の は は な は な と に さ に さ に さ い さ い よ し 、 し は し よ し 、 し よ し 、 し よ し 、 し 、 し 、 し 、 し 、	区画線、路面標示、道路 反射鏡(新設、修繕、清 掃)、道路照明灯(新設、修繕) 修繕) ②整備、修繕等 → 対鏡及び道路照
評	把握 必要性 有効性 効率性 総合	市け行を 着目あ 龍ス的か民のか 冷氏に改性 眼的み 眼入に間統	こし関は して して して した した した した した した した した した した	事 ズるのか state mate to make the state of the	の	度 別 学 目との 日補 直長が まから	要性が心ま が 影修 的 活 改 徹にす 高 断繕 あ 用 善	SN □ を に通行でき にい □ で にい 一 で で で で で の か の 対果に る ことに ・ 効率 の る ことに ・ が の が ことに ここが 本 の に の に の に に の に に に の に の に に に の に に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に に に の に の に に の に の に の に の に の に の に に の に の に の に に の に に の に に に 。 に 。 に の に の に 。 に	区画線、路面標示、道路 反射鏡(新設、修繕、清 掃)、道路照明灯(新設、修繕) (食舗) (食舗) (会補) (会補) (会補) (会補) (会補) (会補) (会補) (会補	図画線 第	宗、道路 区画線(海) (新 区画線(海) (新 区画線(海) (新 区) (新 E) (新	路面標示、道路 新設、修繕、清 路照明灯(新設、 安全施設 の は は な は な と に さ に さ に さ い さ い よ し 、 し は し よ し 、 し よ し 、 し よ し 、 し 、 し 、 し 、 し 、	区画線、路面標示、道路 反射鏡(新設、修繕、清 掃)、道路照明灯(新設、修繕) 修繕) ②整備、修繕等 → 対鏡及び道路照
評	把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 (・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	市け行性 着目は 着口的か民のか うみ 民心政性 眼的 眼入に間統 後善	こし関は 点とか 点、執 素合 の策 一い与る)、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	事 ズるのか state material (本) ま こか必 東 効い 業可 性 カン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の	度 別 学 目との 日補 直長が まから	要性が心ま が 影修 的 活 改 徹にす 高 断繕 あ 用 善	SN □ を に通行でき にい □ で にい 一 で で で で で の か の 対果に る ことに ・ 効率 の る ことに ・ が の が ことに ここが 本 の に の に の に に の に に に の に の に に に の に に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に に に の に の に に の に の に の に の に の に の に に の に の に の に に の に に の に に に 。 に 。 に の に の に 。 に	区画線、路面標示、道路 反射鏡(新設、修繕、清 規)、道路照明灯(新設、修繕、清 掃)、道路照明灯(新設、修繕)	図画線 第	宗、道路 区画線(海) (新 区画線(海) (新 区画線(海) (新 区) (新 E) (新	路面標示、道路 新設、修繕、清 路照明灯(新設、 安全施設 の は は な は な と に さ に さ に さ い さ い よ し 、 し は し よ し 、 し よ し 、 し よ し 、 し 、 し 、 し 、 し 、	区画線、路面標示、道路 反射鏡(新設、修繕、清 掃)、道路照明灯(新設、修繕) 修繕) ②整備、修繕等 → 対鏡及び道路照
評 価	把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前回 (・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	市坊行使 着目は 着口的か民のか 分改 した 民心政性 眼的 眼外に 間統 後善した	こし関は 見る 点、執 委合 の策 たいりょう 点とか)業計・ 方等 一 今 で か	事 ズるのか 立 面き 他態 可) を	の	度 別 学 目との 日補 直長が まから	要性が心ま が 影修 的 活 改 徹にす 高 断繕 あ 用 善	SN □ を に通行でき にい □ で にい 一 で で で で で の か の 対果に る ことに ・ 効率 の る ことに ・ が の を の も に の に に に の に に の に に に の に に に の に に に の に に に の に に に の に に に に に に に に に に に に に	区画線、路面標示、道路 反射鏡(新設、修繕、清 規)、道路照明灯(新設、修繕、清 掃)、道路照明灯(新設、修繕)	図画線 第	宗、道路 区画線(海) (新 区画線(海) (新 区画線(海) (新 区) (新 E) (新	路面標示、道路 新設、修繕、清 路照明灯(新設、 安全施設 の は は な は な と に さ に さ に さ い さ い よ し 、 し は し よ し 、 し よ し 、 し よ し 、 し 、 し 、 し 、 し 、	区画線、路面標示、道路 反射鏡(新設、修繕、清 掃)、道路照明灯(新設、修繕) 修繕) ②整備、修繕等 → 対鏡及び道路照
評 価	把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 (・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	市坊行使 着目は 着口的か民のか 分改 した 民心政性 眼的 眼外に 間統 後善した	こし関は 見る 点、執 委合 の策 たいりょう 点とか)業計・ 方等 一 今 で か	事 ズるのか 立 面き 他態 可) を	の	ま	要性 安り 性 診修 的 活 改 徹にする 断繕 あ 用 善敬にす	SN □ を にい □ でき にい □ 元 か や が で が で が で で 、 引 で で 、 引 に ・	区画線、路面標示、道路反射鏡(新設、修繕、清掃)、道路照明灯(新設、修繕) (金譜) の余地あり る道路環境を作る あめる余地あり のの要望等に対しますがあると考 あめる余地あり より、財政面での 「一縮小」「一統合「 る道路推進を図って るき続き推進を図って	図画線鏡路照明	示、道路 区画線(海 区画線 (海 京	路面標示、道路 新設、修繕、清 路照明灯(新設、 を全施設 を全施設 を全施設 を全施設の は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	区画線、路面標示、道路 反射鏡(新設、修繕、清 掃)、道路照明灯(新設、修繕) 修繕) ②整備、修繕等 → 対鏡及び道路照
評 価	把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前回 (・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	市村行長 着目は 着写的か民のか 今改 にして民心政性 眼的が 眼入に 間統 後善 しつび	こし関は 見らる 点、執 委合 の等 とす一い与る) た 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	事 ズるのか 立 面き 他態 可) 後等 業 にか必 果 効い業可 性 の等	の	ま	要性が心ま が 影修 的 活 改 徹にす 高 断繕 あ 用 善	SN □ を にい □ でき にい □ 元 か や が で が で が で で 、 引 で で 、 引 に ・	区画線、路面標示、道路 反射鏡(新設、修繕、清 規)、道路照明灯(新設、修繕、清 掃)、道路照明灯(新設、修繕)	図画線鏡路照明	宗、道路 区画線(海) (新) (新) (新) (新) (新) (新) (新) (新) (新) (新	路面標示、道路 新設、修繕、清 路照明灯(新設、 安全施設 の は は な は な と に さ に さ に さ い さ い よ し 、 し は し よ し 、 し よ し 、 し よ し 、 し 、 し 、 し 、 し 、	区画線、路面標示、道路 反射鏡(新設、修繕、清 掃)、道路照明灯(新設、修繕) 修繕) ②整備、修繕等 → 対鏡及び道路照
評価 改善	把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前方回向 (・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	市け行性 着目は 着口的か民のか 今改 一、亡〔 、文実民に政性 眼的み 眼入に 間統 (善しつ) 況 加	こし関は 見らる 点、執 委合 の等 と女 (毎の一い与る) た 一条 実の一一い与る) た 一条 一次	事 ズるのか c 面き 他態 可) 後長 心里 業 にか必 果 効い 業可 (の等) 内由	の	ま	要性 安り 性 診修 的 活 改 徹にする 断繕 あ 用 善敬にす	SN □ を にい □ でき にい □ 元 か や か で か で か で か で か で か で 、 引 が で 、 引 が で 、 引 が で 、 引 が で 、 引 が で い 引 が で い 引 が で い 引 が か で い 引 が か で い 引 が か で い 引 が か で い 引 が か か で い 引 が か か か か か か か か か か か か か か か か か か	区画線、路面標示、道路反射鏡(新設、修繕、清掃)、道路照明灯(新設、修繕) (金譜) の余地あり る道路環境を作る あめる余地あり のの要望等に対しますがあると考 あめる余地あり より、財政面での 「一縮小」「一統合「 る道路推進を図って るき続き推進を図って	図画線鏡路照明	示、道路 区画線(海 区画線 (海 京	路面標示、道路 新設、修繕、清 路照明灯(新設、 を全施設 を全施設 を全施設 を全施設の は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	区画線、路面標示、道路 反射鏡(新設、修繕、清 掃)、道路照明灯(新設、修繕) 修繕) ②整備、修繕等 → 対鏡及び道路照

争 恋	7 7 7	未 1	四口	1)建康	.保険	争未(吗	大性.	球保険 物	持別会計繰出	出金)				整理No.	54
所	属	名	部	市民	部		課	健康保険	(課	記	入者	高沢	幸佳	内線	441
上位	上施:	策 名	分野	健康	•福祉	、安全·安	心	中柱 国民	と健康保険の	安定運営	小柱	財政道	重営の	健全化	
	事業	開始	年度	平成	30) 年度	TO T		国民健康保	:険法					
	事業	終了	年度	令和		年度	根刊	见法令等							
		Ą	时 1	象		□高齢	計 [障害者	☑個人 ☑世	:帯 □団	体 [全ての	人	□その他	
	(誰、		対象とし		か)	(具体的に)	坂戸	市国民健	康保険被保	険者					
	目標	(対	象をど	のよう	な状態	態にする	ために	こ当該事業	業を行っている	るか、具体	本的な	目標(数値)	など。)	
									の安定的な遺						
_		. 10# 11	/ TI- 45	1	'T FL	. eta eta 45 11		<i>L +</i>	느 그 ㅗ ㅗ !ㅡ <i>!</i> ㅡ;	+1 -1.	7 1. \				
事 									するために何い				絽山ま	シケル・ます	一。法定分とし
務															。伝足力とし すてん分等に係
 事									たが、3月補						
丁 				区	分			単位	令和2年月			令和3:			令和4年度
業	ו או	.				ı deri			実績(決算		画(予:		実績	(決算)	
の		票①	法定	外分	ク繰せ	1額		千円	120,	000	80	0,000		80,000	60,000
ຶ		漂②													
概	指相	票③													
要	指標	校ご月	する達						画的に繰出る 、国民健康保						療給付費の波及
~						や保健事	来負						15 <i>0</i> 4		
	総事	① 財	-	業費	-	出金・その	D#1)	千円 千円	606, 263,			1,594 3,081		544,594 266,202	•
	業	• • •	一般		当示义	, ш ж - С С	771007	千円	343,			3,513		278,392	
	費		員 数					人		.08		0.08		0.08	0.08
	⊐	2	人(牛 費				千円		397		397		397	397
	ス		総	事業	曲	\bigcirc \bigcirc		千円	007	010	E 1	1 001		F 4 4 00 1	700 070
			1.0	ず 木	貫	1)+2		十円	607,			1,991	6th -	544,991	·
	ト 把		,,,,				内容	TH	国民健康保険	特 国民的	建康保障	険特 [隶保険特	522,976 国民健康保険特 別会計への繰出
	۲					度別実施			国民健康保険別会計への繰	特 国民的出 別会記	建康保 計への約	検特 ほ 桑出 兄		隶保険特	国民健康保険特
	ト 把 握	(着眼	 艮点)	事業	の年月	度別実施 ☑ 必要			国民健康保険	特 国民的出 別会記	建康保障	検特 ほ 桑出 兄		隶保険特	国民健康保険特
	ト把握必	市		事業	の年度	度別実施 ☑必要 i】	性が高	ທ □ t	国民健康保険別会計への繰	特 国民化 出 別会記 □必	建康保原計への紹 ・要性が	検特 [操出 列 低い	別会計	表保険特 への繰出	国民健康保険特別会計への繰出
	ト把握 必要	·市民対応 ・行政	根点) ミニー: してい 女関与	事業である。	の年月	度別実施 ☑ 必要 ☑ 必要 ☑ 次要 ☑ 次要 ☑ 次要 ☑ 次音営	性が高 険制 業なと	い □ d 要は国民 ごの人が力	国民健康保険別会計への繰 検討の余地あり 皆保険制度だ 日入する保険	特 国民係 出 別会記 □必 が確立され で、職域	建康保 計への約 要性が し、国 り 単位で	検特機出低い民健康	保険にしきな	東保険特 への繰出 は健康保 れない人/	国民健康保険特別会計への繰出
	ト把握 必要	·市民対応 ・行政	見点) ミニー: してい	事業である。	の年月	度別実施 ☑ 必要 ☑ 必要 ☑ 次要 ☑ 次要 ☑ 次要 ☑ 次音営	性が高 険制 業なと	い □ d 要は国民 ごの人が力	国民健康保険別会計への繰 検討の余地あり 皆保険制度だ 日入する保険	特 国民係 出 別会記 □必 が確立され で、職域	建康保 計への約 要性が し、国 り 単位で	検特機出低い民健康	保険にしきな	東保険特 への繰出 は健康保 れない人/	国民健康保険特別会計への繰出
	ト把握 必要	·市民対応 ·行政 要性	R点) 民ニー; してい 女関与 はある	事業である。	の年 暦 【理由 日本いなつで	度別実施 図必要 引入の医育保保(ではない、繰りている。) 図有効性 図有効性	性が高 険制が 業なと 出金	い □ t	国民健康保険別会計への繰 検討の余地あり 皆保険制度だ 日入する保険	特 国民信用 別会記	建康保 計への約 要性が し、国 り 単位で	検特機出低い民健バラで運営	保険にしきな	東保険特 への繰出 は健康保 れない人/	国民健康保険特別会計への繰出
	ト把握 必要性 有	·市応 ·行政 ·行性	展点) Rニーン とこてい と関与る はある R点)	事業でである。か	の年月間は日本になって、日本には、日本になって、日本になって、日本になって、日本には、日本には、日本には、日本には、日本には、日本には、日本には、日本には	度別実施 図必要 の人だおり、有効付	性が高 験制』 業なと 出金 出金	い □ to 度は国民 どの人がが は国民健 い □ a	国民健康保険別会計への繰 検討の余地あり 皆保険制度だ 日入する保険 康保険事業の 高める余地あり	特国民代出 別会記 ロルタンド で、職域の安定的 日有	建康保際 サヘの編 要性が 国に 単な 対性が 効性が	機構 医療機 低い 民党が選び 低い	保険はつため	東保険特 への繰出 よ健康保 れない人。 に必要とる	国民健康保険特別会計への繰出 険の適用を受け 々の受け皿と されています。
	ト把握 必要性 有効	·市応 ·行政 ·行性	表 点 に し と し と し と し と し は あ る に る に る に り は あ る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る	事業でである。か	の年月では日本いっては民国	度別実施 図必要 は 別の人だい 図 有対は は 別様に 関係に は 別様に 関係に は 対象に は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	性が高く験制がませる。出金に生が高います。	い □ to 要は国民 どの人が は国民 は国民健 い □ To の医療保	国民健康保険別会計への繰り会計への無ける。大学の余地あり皆保険制度が日人する保険事業の高める余地あり険よりも高齢を	特 国民信 別会: い確立さればの安定 日 有 者や低所	建康保保 素性 写い 実性が までは 対性が 対性が 者属	験場 低い 民力運 低い 最小営 低い増	(保険) (保険) (大き) (かため)	ま保険特への繰出 よ健康保I れない 要と に 必要と	国民健康保険特別会計への繰出 険の適用を受け 々の受け皿と されています。
	ト把握 必要性 有	· 対行要 (1) 計成	表 点 に し と し と し と し と し は あ る に る に る に り は あ る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る	事業 ズにかめか か	の年月では日本かっては国でのは、日本かっては、日本かっては、日本のではのでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本の	度別実施 図必要 は 別の人だい 図 有対は は 別様に 関係に は 別様に 関係に は 対象に は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	性が高く験制がませる。出金に生が高います。	い □ to 要は国民 どの人が は国民 は国民健 い □ To の医療保	国民健康保険別会計への繰り会計への無ける。大学の余地あり皆保険制度が日人する保険事業の高める余地あり険よりも高齢を	特 国民信 別会: い確立さればの安定 日 有 者や低所	建康保保 素性 写い 実性が までは 対性が 対性が 者属	験場 低い 民力運 低い 最小営 低い増	(保険) (保険) (大き) (かため)	ま保険特への繰出 よ健康保I れない 要と に 必要と	国民健康保険特別会計への繰出 険の適用を受け をの受け皿と されています。
	ト把握 必要性 有効	· 対行要 (1) 計成	根点) 民二で与る はあ。) はとか はたか	事業 ズにかめか か	の年月では日本かっては国でのは、日本かっては、日本かっては、日本のではのでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本の	度別実施 図必察目別の人だの人だの人だの人だの人だいの人だいの人だいの人がは別様は別様は別様はいいた。	性が高い業など出金い生が高いは他の対	い □ to 要は国民が は国民がは は国民では の民では の医療保 な問題をす	国民健康保険別会計への繰り会計への無ける。大学の余地あり皆保険制度が日人する保険事業の高める余地あり険よりも高齢を	特 国民信	建康保保 素性 写い 実性が までは 対性が 対性が 者属	策報 原 低い 民徒バ軍 低い 電別会 電別会	(保険) (保険) (大き) (かため)	ま保険特への繰出 よ健康保I れない 要と に 必要と	国民健康保険特別会計への繰出 険の適用を受け 々の受け皿と されています。
一 次 評	ト把握 必要性 有効	・対・要 (・は 着コス) また。 着目あ 眼れ	根点) 民二で与る はあ。) はとか はたか	事業 ズるのか - 効果 動等	の年月 世本いって 世民あし 世民をして 世	度別実施 図 上 図 上 図 上 図 上 図 原自り、有 保らす 図 は 図 は	性が高い業など出金い生が高いは他の対	い □ to 要は国民が は国民がは は国民では の民では の医療保 な問題をす	国民健康保険別会計への余地あり 皆保険制度が日本の事業の 意がる余地あり 険よりも高い。 国民は、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本の余地あり、日本のでは、日本の余地あり、日本のでは、日本のでは、日本の余地の名は、日本の余地の名は、日本の余地の名は、日本の余地の名は、日本のままり。	特 国民信	建康保保 と	策報 原 低い 民徒が選ば 低い 電別会	(保険) (保険) (大き) (かため)	ま保険特への繰出 よ健康保I れない 要と に 必要と	国民健康保険特別会計への繰出 険の適用を受け 々の受け皿と されています。
	ト把握 必要性 有効性 効率	・対・要 (・は 第7本の) まればい 着日あ 眼ればい	艮点し大 民二で関ある 点、対 は 点とか (本)	事業であるのか 効果 動きているのか まきているのか かまきている かいまき かいしょう かいしょく かいり かいしょく かいしょく かいしょく かいしょく かいしょく かいりん かいしん かいしん しん かいしょく	の 年 理本いっ 世民 あし 世間 で 世間 で に 世間 に に に は に に に に に に に に に に に に に	度別実施 図 実施 図 医やお 図 康とい	性が高り業出生が高いは造りである。県	い □ to 度がは い 国 に 取 国 に の 国 に の 医 題	国民健康保険別会計の余地あり 皆保険の場合を 皆の余地あり 皆保険の多のでは では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	特出 国民会 国民会 国民会 で で 安 ロー で で 安 ロー で 低康 ロー で 国民会 ロー で 国民会 ロー で 国民会 ロー で 国民会 ロー で は 東 の で 国民会 ロー で は 東 の で 国民会 ロー で 国民会 ロー で 国民会 ロー で 国民会 ロー で は で は で は で は で 国民会 ロー で は で は で は で は で は で は ま で は い は に か は い は に か は に は い は に か は に は い は に は い は に は い は に は い は に は い は に は い は に は い は に は い は に は い は に は い は に は い は に は に	建計 要 い単な 効 得呆 率 健康の が 見て政 が 看特 で 康	険巣 低 くれで は を は の は の は り に の は り に り に り に り に り に り に り に り に り に り	明会計 保した 加へ 央会	東保険特への繰出 は健康保保 はない要とないという。 は出は、 と連携を図	国民健康保険特別会計への繰出 険の適用を受け をの受け皿と されています。 対政基盤が脆弱 重要な役割を果
評	ト把握 必要性 有効性 効	・対・要 (・は (・率る・との) 情形 では	艮点し大 民二で関ある 点、対 は 点とか (本)	事 業 にか必 等で 事 数い 業	の 年 理本いつ 世 は で 世 に で に に に に に に に に に に に に に	度別実施 図 実施 図 医やお 図 康とい 図 原自い、有 保らま 効 村の大き	性が高りには当時である。は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	い □ to 度がは い 国 に 取 国 に の 国 に の 医 題	国民健康保険別会計の余地あり 皆保険の場合を 皆の余地あり 皆保険の多のでは では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	特出 国民会 国民会 国民会 で で 安 ロー で で 安 ロー で 低康 ロー で 国民会 ロー で 国民会 ロー で 国民会 ロー で 国民会 ロー で は 東 の で 国民会 ロー で は 東 の で 国民会 ロー で 国民会 ロー で 国民会 ロー で 国民会 ロー で は で は で は で は で 国民会 ロー で は で は で は で は で は で は ま で は い は に か は い は に か は に は い は に か は に は い は に は い は に は い は に は い は に は い は に は い は に は い は に は い は に は い は に は い は に は い は に は に	建計 要 い単な 効 得呆 率 健康の が 見て政 が 看特 で 康	険巣 低 くれで は を は の は の は り に の は り に り に り に り に り に り に り に り に り に り	保険さめ 加十 央会	東保険特への繰出 は健康保保 はない要とないという。 は出は、 と連携を図	国民健康保険特別会計への繰出 険の適用を受け 々の受け皿と されています。 才政基盤が脆弱 重要な役割を果
評	ト把握 必要性 有効性 効率	・対・要 (・は 信・率る・民 ・対行要 着目あ 眼外的が間		事 業 にか必 等で 事 数い 業	の年月世本いては国でたば県同必は本いでは民あし、世人心要には、他要には、一世代のでは、一世代の要には、一世代の要には、一世代の要には、一世代の要には、一世代の一世代の一世代の一世代の一世代の一世代の一世代の一世代の一世代の一世代の	度別実施 図 実施 図	性が高りには当時である。	い □ to	国民健康保険別会計の余地あり 皆保険の余地あり 皆保険る事場の 市場保険がある余地あり 険よりもおり、 を保険事業の では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	特出 国民会 国民会 国民会 国別 立確、定安 国 低康 国民会 国 医根 国民会 国 医根 国 医 で 国 に で またい ここ ここ ここ こここ こここ こここ こここ こここ こここ こここ	建計 要 い単な 効 得呆 率 は効 は	策集 低 民が 低 個 の の の の の の の の の の	明会計 保 保 し た か か 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	ま保険特なの操出はない要はよい要はよいまり、、、は、と連携のいとのについ	国民健康保険特別会計への繰出 険の適用を受け をの受けます。 対政基盤が割を引 す重要な役割を果 図り、事務進める
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総	・対・要(・は(デュ率の・と能)・対・では、関・自動・眼が、間が、間が、間が、間が、間が、間が、間が、間が、間が、間が、間が、関・ない、関・は、対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対	良式し関は 良りる 点、 執 託・連 禁 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	事 ズるのか 立 面き 世帳が 果 効い 業可	の年間 世本いて 世民あし 理、化要 見	度別実施 図 実施 図 といま 図 は 関 といま 図 が は で は が で で で で で で で で で で で で で で で	性が高りには進れている。というででである。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	い □ to は は で は で は で は で で は で で で で で で で で	国民健康保険別会計の余地あり 皆保険の場合を 皆の余地あり 皆保険の多のでは では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	特出 国民会 国民会 国民会 国別 立確、定安 国 低康 国民会 国 医根 国民会 国 医根 国 医 で 国 に で またい ここ ここ ここ こここ こここ こここ こここ こここ こここ こここ	建計 要 い単な 効 得呆 率 は効 は	策集 低 民が 低 個 の の の の の の の の の の	明会計 保 保 し た か か 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	東保険特への繰出 は健康保保 はない要とないという。 は出は、 と連携を図	国民健康保険特別会計への繰出 険の適用を受け をの受けます。 対政基盤が割を引 す重要な役割を果 図り、事務進める
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合	・対・要 (・は 着っ率る・と能 今下応行性 間自あ 眼八り、間が 後	良民し対は 良りる 点、執 (本) 一い与る しいりん かり 業行 にず 方に 方に かり	事 ズるのか 対 新さ 地	の	度別 図	性が、開発出生がは造って、まな。 改哲医の はい ある 県と 善社医	い 度がはい のな 国本 国が健 原題 「	国民健康保険網 (計の余地あり) 皆保・ (場別会計の余地あり) 皆保・ (場別会計の余地あり) 下で、 (場別会計の余地 (場別会計の余地 (場別会計の名) によって、 (まり) (まり) (まり) (まり) (まり) (まり) (まり) (まり)	特出 国別 立職定 位 での 本職定 の の がでの 本職定 の の の の の の の の の の	建計 要 い単な 効 得呆 率 は効 に 国保保の が 見て政 が 看特 で 康化	策集 低 民力運 い の別 な 保が 継 康 様二 い 康二 の 増言 中前 続 保	明会計 保した か な の 会 も し た と た と た の 会 も の の の の り と り る り る り る り る り る り る り る り る り る	東保険出 はない はない はない はない はない はは、 はは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	国民健康保険特別会計への繰出 険のの過けでである。 対政基なでは、 対政基なである。 対政基なである。 対政基なである。 対政基なである。 が割を連める。 において、不可
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総	・対・要 (・は 着っ率る・と能 今下応行性 間自あ 眼八り、間が 後	良式し関は 良りる 点、 執 託・連 禁 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	事 ズるのか 対 新さ 地	の	度 別 ☑ あんて	性が 険業出 生がは造いない まな。 改哲医で まとい 善性医い	い 度がはい のな 国国 効 費が	国民健康保険網 (計の余地あり) 皆以保険 (計の余地あり) 皆以保険 (計画) 保保 (計画) 保保 (計画) (計画) (計画) (計画) (計画) (計画) (計画) (計画)	特出 『	建計 要 い単な 効 得呆 率 は効 に 国費保保の が 見て政 が	策集 低 弐河運 い の別 な 保が 継 康正 原 単	明会計 保した かく かく かく かく かく かく かく の く も の は の は の り の り の り の り の り の り の り の り	東保険 は はない は は は は は は は は は は は は は は は は は は	国民健康保険特別会計への繰出 険ののでいます。 一方ででは、 対重要なというでは、 対重要なというでは、 対域を受けるでいます。 が割をできるが、 が割をできるが、 が割をできるが、 では、 では、 に対の上に、 に対し、
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価	・対・要 (・は 第二率ること能 今の まんが はいかい はいかい はいかい はいかい 後き	見引し対は 見りる 点、気 委合 の等 ニーで関あ いた 一次行 託・ 一方等 一方等	事 ズるのか state である である () ま こか必 果 めい 業可 性 () *********************************	の	度 別 ☑ あんて	性が 険業出 生がは造いない まな。 改哲医で まとい 善性医い	い 度がはい のな 国国 効 費が	国民健康保険網 (計の余地あり) 皆保・ (場別会計の余地あり) 皆保・ (場別会計の余地あり) 下で、 (場別会計の余地 (場別会計の余地 (場別会計の名) によって、 (まり) (まり) (まり) (まり) (まり) (まり) (まり) (まり)	特出 『	建計 要 い単な 効 得呆 率 は効 に 国費保保の が 見て政 が	策集 低 弐河運 い の別 な 保が 継 康正 原 単	明会計 保した かく かく かく かく かく かく かく の く も の は の は の り の り の り の り の り の り の り の り	東保険 は はない は は は は は は は は は は は は は は は は は は	国民健康保険特別会計への繰出 険ののでいます。 一方ででは、 対重要なというでは、 対重要なというでは、 対域を受けるでいます。 が割をできるが、 が割をできるが、 が割をできるが、 では、 では、 に対の上に、 に対し
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 回	・対・要 (・は 第二率るよと能 今改 示したので性 間角あ 眼孔的が間が 後き し	R	事 ズるのか state である である である まま こか必 果 効い 業可 しゅうしゅうしゅう まま かい ます しょう かい まず しょう かい まず しょう しゅうしゅう しゅう	の	度 別 ☑ あんて	性が 険業出 生がは造いない まな。 改哲医で まとい 善性医い	い 度がはい のな 国国 効 費が	国民健康保険網 (計の余地あり) 皆以保険 (計の余地あり) 皆以保険 (計画) 保保 (計画) 保保 (計画) (計画) (計画) (計画) (計画) (計画) (計画) (計画)	特出 『	建計 要 い単な 効 得呆 率 は効 に 国費保保の が 見て政 が	策集 低 弐河運 い の別 な 保が 継 康正 原 単	明会計 保した かく かく かく かく かく かく かく の く も の は の は の り の り の り の り の り の り の り の り	東保険 は はない は は は は は は は は は は は は は は は は は は	国民健康保険特別会計への繰出 険ののでいます。 一方ででは、 対重要なというでは、 対重要なというでは、 対域を受けるでいます。 が割をできるが、 が割をできるが、 が割をできるが、 では、 では、 に対の上に、 に対し
評 価	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 回	・対・要 (・は 第二率るよと能 今改 示したので性 間角あ 眼孔的が間が 後き し	見引し対は 見りる 点、気 委合 の等 ニーで関あ いた 一次行 託・ 一方等 一方等	事 ズるのか state である である である まま こか必 果 効い 業可 しゅうしゅうしゅう まま かい ます しょう かい まず しょう かい まず しょう しゅうしゅう しゅう	の	関別 図 医やお 図 康いま 図 一番 にまれあま 図 まいま 図 上前でが 直を化あま 必 療自り、有 保いま 効 村準り (山進継繰り) は はま は で は 正地展網出	性の業出生がは造って、玉な。 改哲医にの しんしん	い 度がはい のな 国国 効 費がら 国国 対 要が で	国民健康(の) と	特出 がでの 者国 及お た 繰かつ 国別 □ 立職定 □ 低康 □ 国て □ 金 で □ 出しい □ 金 で □ る で	建計 要 い単な 効 得呆 率 は効 き 国費計保の が 見て政 が 屠特 で 康化 【 民の画	策州 低 民沙運 低 層別 は 保が 継 康正・ 康二の 増会 い 中前 続 保化段	明 会計 保した な へ 会 も し た と の 保 や 的 し の の に の の に の の に の の の の の に の の の の	東へ はれに に繰 上の を	国民健康保険特別会計への繰出 険ののでいます。 一方ででは、 対重要なというでは、 対重要なというでは、 対域を受けるでいます。 が割をできるが、 が割をできるが、 が割をできるが、 では、 では、 に対の上に、 に対し
評価 と と と と と と と と と と と と と と と と と と と	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 间向	・対・要 (・は (・) 1 本る・と能 今() 示性 1 まんが、間が 後き し() し()	艮弓し対は 艮勺る 点、執 委合 の等 た女 点二て関あ 点とか)業行 託・ 方等 一今善 一 ク第 一 一 の	事 ズるのか 効 等で 事が 性 の等 業 にか必 果 効い 業可 性 の)	の	度 別 ☑ あんて	性の業出生がは造って、玉な。 改哲医にの しんしん	い 度がはい のな 国国 効 費がら 国国 対 要が で	国民健康(の) と	特出 『	建計 要 い単な 効 得呆 率 は効 き 国費計保の が 見て政 が 屠特 で 康化 【 民の画	策集 低 弐河運 い の別 な 保が 継 康正 原 単	明 会計 保した な へ 会 も し た と の 保 や 的 し の の に の の に の の に の の の の の に の の の の	東保険 は はない は は は は は は は は は は は は は は は は は は	国民健康保険特別会計への繰出 険ののでいます。 一方ででは、 対重要なというでは、 対重要なというでは、 対域を受けるでいます。 が割をできるが、 が割をできるが、 が割をできるが、 では、 では、 に対の上に、 に対し
評 価	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前方 対容	・対・要 (・は (・1・率る・と能 今(一・性 状未)。 一下性 明自あ 龍八的・間紛か 後き して 況実	R	事 ズるのか stand man を で 事が 性 の等 内由 業 にか必 果 効い 業可 し の等 内由 、	の	関別 図 医やお 図 康いま 図 一番 にまれあま 図 まいま 図 上前でが 直を化あま 必 療自り、有 保いま 効 村準り (山進継繰り) は はま は で は 正地展網出	性の業出生がは造って、玉な。 改哲医にの しんしん	い 度がはい のな 国国 効 費がら 国国 対 要が で	国民健康(の) と	特出 がでの 者国 及お た 繰かつ 国別 □ 立職定 □ 低康 □ 国て □ 金 で □ 出しい □ 金 で □ る で	建計 要 い単な 効 得呆 率 は効 き 国費計保の が 見て政 が 屠特 で 康化 【 民の画	策州 低 民沙運 低 層別 は 保が 継 康正・ 康二の 増会 い 中前 続 保化段	明 会計 保した な へ 会 も し た と の 保 や 的 し の の に の の に の の に の の の の の に の の の の	東へ はれに に繰 上の を	国民健康保険特別会計への繰出 険ののでいます。 一方ででは、 対重要なというでは、 対重要なというでは、 対域を受けるでいます。 が割をできるが、 が割をできるが、 が割をできるが、 では、 では、 に対の上に、 に対し

事系	务事	業 名	後期	高齢	者医療事業							整理No.	55
所	属	名	部	市民	部	課	健康保険	(課	記入者	高沢	幸佳	内線	441
 上 位	立 施	策 名	分野	健康	·福祉、安全·5	安心	中柱 国民	と健康保険の安定	運営 小村	主 国民領	建康保 [倹制度改革	への適切な対応
			年度		20 年月	F							諸者医療に関する条例
			7年度		年月	根拠	処法令等	埼玉県後期高齢	者医療広域	連合後 世	田高齢	を とと とと と と と と と と と と と と と と と と と と	する条例、同規則
	7 7	C 1/2]	十尺	ገን የገ			□障害者	□ 個人 □ 世帯				□その他) 3 K P 1 P 1 M R 1
	(誰		対 st 対象とl	象 .ている				・ 及び 65 歳から 7 4				_	能になる士
		–			()()()								は「こめ」の力
								業を行っているか 、実施主体である					△ ∞ の辻 字色 担
								、					
								後期高齢者医療					W.C I
事	事業	概要	(取組	内容	・活動内容なる	·、目的	的を達成す	するために何をし	ているか。)			
<u> </u>								業主体である埼			医療点	域連合へ	療養給付費、
務						割額の	軽減分の	一部を負担しま	す。また、	人間ドッ	クや保	養所施設	どの利用に対し
事	て、	補助	を行い	ます。									
				区	分		単位	令和2年度	=1 == / =	令和3		= / * + /* *	令和4年度
業	+6.	₩	1 88	18 h-	\ ± □1.			実績(決算)			美種	(決算)	
၈		標①		ドック			人	140		180		150	180
ຶ	指	標②	保養	所施記	投利用補助		泊	237	,	1,000		165	1,000
概	指	標③											
要	指揮	■(ニ☆+	する法	成庫	人間ドックの神	前助は	令和2年月	度よりも増加しまし	たが、いっ	ずれの ‡	旨標も	新型コロナ	ウイルス感染
安	1115	ドーン)	りの圧	以反	症の影響を覚	け、計		をしませんでした。					
	総	1	-	業費	-		千円	1,037,198		31,491	1	1,145,536	1,253,625
	事業	財源			国県支出金・そ	の他)	千円	151,402		33,282		159,202	194,328
	費		一般				千円	885,796		98,209		986,334	1,059,297
	·		員				人 千円	3.00 14,895		3.00 14,895		3.00 14,895	3.00 14,895
	コス	2		事業			千円	1,052,093		76,386	1	14,893	
	۲		1170.	T //	A 0.9			後期高齢者医療	後期高齢者	长 療	後期高	齢者医療	後期高齢者医療
	把握			事業(の年度別実施	内容		事務、人間ドック・ 保養所の補助等	事務、人間 保養所の補	ドック・ i助等	事務、) 保養所		事務、人間ドック・ 保養所の補助等
					☑ 必要	性が高	□#	食討の余地あり	□必要性		PN 20171	-> 1111-53 - 4	P(20) 0 11100 4
	ıΣs		艮点) 民ニー:	ブー	【理由】	. 1177 101	v. Ц12	×6100水26000	□ 2. 4	/J 1550.			
	要	対応	してい	るか	急速な高齢化			増加が見込まれ					
	性				, -			度を将来にわた	り持続可能	治なもの	にして	こいくため、	行政が関与し
		安性	はある	ינגט	ていく必要が	めりよ	9 0						
		/ 羊巾	日上)		☑ 有効	性が高い	い □ 層	高める余地あり	□有効性が	が低い			
l _	有		限点) 内とした	∠効果	【理由】	H & \/P	美記妝 訊	手口田は出めまた	ニスト しっこう	※ 田 古 !	松土の	ナジュモ	いもし大字した
	効 性		るか					:利用補助等を行っています。 また					
次	1_				います。		9,7 € 1.2	2 ((DOMINIO	F LI (23/2)	K1117/2	-> 1/2 0/	
===		(着眼	点)		□ 効率	的である	s 🗔 🕫	高める余地あり	□ 効率的 ⁻	ではない			
評	効	・コス	·· ト、業務i こ執行で	面等効	【理由】	H) C 00 0	- ا	10000		C 10.10.0			
価	率	るか		200	後期高齢者0			ており、後期高齢					
	性		委託や 統合・連接	焦が豆				更新時には、業 しや効率化を行					
		能か			と安託りつは	乙、 丁 _							
					見直し〔			□縮小 □統合	□ 拡充)	✔ 継続	: 1	冬了 🗌 休	止 □廃止
	総					10 120 1	밀						
	総合	今後	:の方向	7 // /	【課長名:山地 喜齢者の医療		早すスたメ	りにけ 事業の組	続が必更	でも1	7/2]	真齢者の	人口が増加す
	合 評		:の方向 善策等	可性)	高齢者の医療るに伴い、事	を確何	増しており	うには、事業の継 の、埼玉県後期高	新齢者医療	広域連	合が目	主体となっ	
	合			可性)	高齢者の医療るに伴い、事	を確何	増しており		新齢者医療	広域連	合が目	主体となっ	
	合評価	(改	善策等	可性) ———	高齢者の医療るに伴い、事	を確何	増しており	0、埼玉県後期高	新齢者医療	広域連	合が目	主体となっ	
	合評価 前回	(改)]示し		可性) <u></u> をの	高齢者の医療るに伴い、事	を確何	増しており	0、埼玉県後期高	新齢者医療	広域連	合が目	主体となっ	
改善	合評価 前回	(改)]示し	事策等	可性) <u></u> をの	高齢者の医療 るに伴い、事 医療制度がP	を確 務量も]滑に	増しており運営できる	り、埼玉県後期高 るよう、検討・改善	新齢者医療 していく必	広域連絡要があ	合が言	主体となっ 。	
善状	合評価 前方 対応	(改装 	善策等 た今後 た善策	可性) 後の 長等)	高齢者の医療るに伴い、事	を確 務量も]滑に	増しており運営できる	0、埼玉県後期高	新齢者医療 していく必	広域連	合が言	主体となっ	
善	合評価 前方 対容	(改)]示(i]性(i ;未実	善策等 た今後 改善策	可性 - 後等 - 内由、	高齢者の医療 るに伴い、事 医療制度がP	を確 務量も]滑に	増しており運営できる	り、埼玉県後期高 るよう、検討・改善	新齢者医療 していく必	広域連絡要があ	合が言	主体となっ 。	

	6 争 耒 石	河工工	.建"均本宗建改	区区健康体	険組合補助事業	₹		整理No.	56
所	属 名	部市	民部	課健康保持	倹課	記入者	高沢 幸	佳 内線	441
 上 位	拉施策名	分野 健	康·福祉、安全·罗	安心 中柱 国	民健康保険の安定	運営 小柱	国民健康	保険制度改革	への適切な対応
	事業開始	年度 昭	和 50 年度	F					
	事業終了			1 根拠法令等					
					□個人 □世帯	□ 団 休 □	全ての人	□その他	
	対 (誰、何を対	す 象 対象として			民健康保険組合場				康保険組合坂
				尸支部	w+			+ > 4 - 1	
					業を行っているか と設国民健康保険				健東学な古怪
					E成国氏健康保険 員の健康増進を図		人的小夫》	世している床	医学来で 入仮
	,				, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,				
事	事業概要	(取組内	容・活動内容など	ご、目的を達成	するために何をし	ているか。)		
74	埼玉土建	国民健康	東保険組合坂戸	支部と埼玉県建	建設国民健康保険	組合坂戸	支部の保例	建事業に対し	て支援を行うた
務	め、補助会	金を交付	します。						
事									
		区	分	単位	令和2年度	린교(로	令和3年原		令和4年度
業	比插①	法出入	の士山姫	Ш	実績(決算)	計画(予		₹績(決算)	計画(予算)
၈	指標①	冊別金	の支出額	円	392,750	41	3,000	390,250	413,000
	指標②								
概	指標③								
要	指標に対す	する達成し			ことで、両団体が多	実施してい	る組合員へ	への健康増進	進事業が円滑に
女			114746、健康						
	יטאוי 🔾	事業	費	千円	393		413	390	413
		特定財活	原(国県支出金・そ)		0		0	0	0
	弗 ""	一般別	源	千円 人	393 0.08		413 0.08	390 0.08	413 0.08
		人件	書	千円 千円	397		397	397	397
	ス	総事		千円			810	787	810
			未 19 (1) T(Z)		790		OIU	101	010
	<u>۱</u>				790 補助金申請受付	補助金申請	受付 補助	」金申請受付	補助金申請受付
	把		業の年度別実施		補助金申請受付 補助金交付決定	補助金申請 補助金交付	受付 補助決定 補助]金申請受付]金交付決定	補助金申請受付 補助金交付決定
	把 握 ———————————————————————————————————	事	業の年度別実施	内容	補助金申請受付 補助金交付決定 補助金の交付	補助金申請 補助金交付 補助金の交	受付 補助 対定 補助 付 補助]金申請受付]金交付決定	補助金申請受付
	把 握 (着眼	事 ————————————————————————————————————	業の年度別実施□必要	内容	補助金申請受付 補助金交付決定	補助金申請 補助金交付	受付 補助 対定 補助 付 補助]金申請受付]金交付決定	補助金申請受付 補助金交付決定
	把握 (着眼 水市民 対応)	事 見点) ミニーズに しているが	業の年度別実施 □ 必要 - 【理由】 か、健康の保持・	内容性が高い 🔽	補助金申請受付 補助金交付決定 補助金の交付	補助金申請補助金交付補助金の交極 補助金の交極 一必要性が	受付 補助 決定 補助 付 補助	J金申請受付 J金交付決定 J金の交付	補助金申請受付 補助金交付決定 補助金の交付
	把握 (着眼 水市民 大河 水河 大河	事 見 点) ミニーズ に しているが 女関与の	業の年度別実施 □ 必要 - 【理由】 か、健康の保持・	内容性が高い 🔽	補助金申請受付 補助金交付決定 補助金の交付 検討の余地あり	補助金申請補助金交付補助金の交極 補助金の交極 一必要性が	受付 補助 決定 補助 付 補助	J金申請受付 J金交付決定 J金の交付	補助金申請受付 補助金交付決定 補助金の交付
	把握 (着眼 水市民 大河 水河 大河	事 見点) ミニーズに しているが	業の年度別実施 □必要 - 【理由】 ・ 健康の保持・ ・ す。	内容 性が高い ② 増進の取組み	補助金申請受付 補助金交付決定 補助金の交付 検討の余地あり に対して、市として	補助金申請 補助金の交 補助金の交 □必要性か 支援を行う	受付 補助 決定 補助 付 補助 が低い ことは、市	J金申請受付 J金交付決定 J金の交付	補助金申請受付 補助金交付決定 補助金の交付
	把握 必要性 完成 化	事 退点) ミニーズに しているが 女関与の娘はあるか	業の年度別実施 □必要 : 【理由】 か、健康の保持・ ひす。	内容 性が高い ② 増進の取組み	補助金申請受付 補助金交付決定 補助金の交付 検討の余地あり	補助金申請補助金交付補助金の交極 補助金の交極 一必要性が	受付 補助 決定 補助 付 補助 が低い ことは、市	J金申請受付 J金交付決定 J金の交付	補助金申請受付 補助金交付決定 補助金の交付
	把握 必要性 有	事 退点) ミニーズに しているが 女関与の娘はあるか	業の年度別実施 □必要 □ 以理由 □ 健康の保持・ □ す。 □ 対有効 □ 【理由】	内容 性が高い 図 性が高い □	補助金申請受付 補助金交付決定 補助金の交付 検討の余地あり に対して、市として	補助金申請 補助金の交付 一必要性が 支援を行う	受付 補助 決定 補助 低い ことは、市	度の単語受付 対象を付決定 対象の交付 対象の交付	補助金申請受付 補助金交付決定 補助金の交付 対応していま
_	把握 必要性 右	事 表点) まニーズに しているが はあるか ま点) またした効	業の年度別実施 □必要 □ 以理由 □ 健康の保持・ □ す。 □ 対有効 □ 【理由】	内容 性が高い 図 性が高い □	補助金申請受付 補助金交付決定 補助金の交付 検討の余地あり に対して、市として	補助金申請 補助金の交付 一必要性が 支援を行う	受付 補助 決定 補助 低い ことは、市	度の単語受付 対象を付決定 対象の交付 対象の交付	補助金申請受付 補助金交付決定 補助金の交付 対応していま
	把握 必要性 有効	事 表点) まニーズに しているが はあるか ま点) またした効	業の年度別実施 □ 必要 □ 以理由 】 □ 健康の保持・・ □ す。 □ す。 □ 有効 【理由】 ■ 両団体に補助	内容 性が高い 図 性が高い □	補助金申請受付 補助金交付決定 補助金の交付 検討の余地あり に対して、市として	補助金申請 補助金の交付 一必要性が 支援を行う	受付 補助 決定 補助 低い ことは、市	度の単語受付 対象を付決定 対象の交付 対象の交付	補助金申請受付 補助金交付決定 補助金の交付 対応していま
	把握 必要性 有効性 信前氏にび性 明的な (着)	事 退点) 退二一であた。 は関あるか 退点した効 はあるか	業の年度別実施 □必要 「理由】 ・ 健康の保持・・ ・ す。	内容 性が高い ☑ 増進の取組み 性が高い □ かすることで、団	補助金申請受付 補助金交付決定 補助金の交付 検討の余地あり に対して、市として	補助金申請 補助金の交付 一必要性が 支援を行う	受付 補助受法 補助 (低い) ことは、市 (低い) 対する健 (度の単語受付 対象を付決定 対象の交付 対象の交付	補助金申請受付 補助金交付決定 補助金の交付 対応していま
一 次 評	把握 必要性 有効性 な	事 表点) 表点 ン できる ない はまるかい またした 効 ない かい こう いい こう い	業の年度別実施 □ 必要 □ 以理由】 □ 健康の保持・・・ □ す。 □ 対有効 【理由】 に対す。 □ 対有効 【理由】 に対す。 □ 対象 「理由】	内容 性が高い ☑ 増進の取組み 性が高い □ 力することで、団 的である ☑	補助金申請受付補助金の交付 補助金の交付 検討の余地あり に対して、市として 高める余地あり 引体の行う市内在信	補助金申請付補助金申請付補助金を受のの 変性が 支援を行う □ 有効性が 注組合員に □ 効率的で	受付補助とは、市ではいかける。	度の単語受付 対象の交付 対象の交付 が民ニーズに が ま増進事業が	補助金申請受付 補助金交付決定 補助金の交付 対応していま が円滑に実施さ
	把握 必要性 有効性 効率 finking fine fine fine fine fine fine fine fine	事	業の年度別実施 「世典」 「世康の保持・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	内容 性が高い ☑ 増進の取組み 性が高い □	補助金申請受付補助金の交付 相助金の交付 検討の余地あり に対して、市として 高める余地あり 引体の行う市内在信 高める余地あり	補助金申請付を申交のの 要性が 上組 効率 行う かせが 上組 かを 行う かを 行う かを 行う かを 行う か か か か で か か か で か か か で か か か で か か か で か か か か か で か か か か で か か か か か で か か か か か か か か か か	受けて、補助のでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	金申請受付 金を付決定 金の交付 「民ニーズに」 東増進事業が 数額は異なり	補助金申請受付 補助金交付決定 補助金の交付 対応していま が円滑に実施さ ますが、県内の
評	把握 必要性 有効性 効率性 fin 方にでは fin asa e le l	事	業の年度別実施 「型曲」 「健康の保持・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	内容 性が高い	補助金申請受付補助金の交付 相助金の交付 検討の余地あり に対して、市として 高める余地あり]体の行う市内在信 高める余地あり 人あたり250円の補っています。しかし	補助 金申請付交 ・	受決付にいている。 はないではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいで	金申請受付 金を付決定 金の交付 「民ニーズに」 東増進事業が 数額は異なり	補助金申請受付 補助金交付決定 補助金の交付 対応していま が円滑に実施さ ますが、県内の
評	把握 必要性 有効性 効率性 着目的 眼下にび性 脂的の 眼小に間	事 RAL に は は に に に に に に に に に に に に に	業の年度別実施 「世典」 「世東の保持・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	内容 性が高い ☑ 増進の取組み 性が高い □ かすることで、回 的である ☑ 住でも組助ながら 見極めながら	補助金申請受付補助金の交付 相助金の交付 検討の余地あり に対して、市として 高める余地あり 日体の行う市内在信 高める余地あり 人あたり250円の補っています。しかし 見直す余地がある	補助助金申請付交 □ 支 □ 組 □ 助へと ■ かんと ■ は □ かんと ■ は	受決付にいている。	金申請受付 金を付決定 金の交付 が民ニーズに 東増進事業が 数額は異なり 治体もあるこ	補助金申請受付 補助金交付決定 補助金の交付 対応していま が円滑に実施さ ますが、他の自
評	把握 必要性 有効性 効率性 fin 方にでは fin asa e le l	事 RAL に は は に に に に に に に に に に に に に	業の年度別実施 「型曲」の保持・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	内容 性が高い ☑ 増進の取組み 性が高い □ 力することで、 回 がある ☑ 住でも組動をがら ・見極めながら □ 改善・効率化	補助金申請受付補助金の交付 相助金の交付 検討の余地あり に対して、市として 高める余地あり]体の行う市内在信 高める余地あり 人あたり250円の補っています。しかし	補助助金申請付交 □ 支 □ 組 □ 助へと ■ かんと ■ は □ かんと ■ は	受決付にいている。	金申請受付 金を付決定 金の交付 が民ニーズに 東増進事業が 数額は異なり 治体もあるこ	補助金申請受付 補助金交付決定 補助金の交付 対応していま が円滑に実施さ ますが、他の自
評	把握 必要性 有効性 効率性 総合 fin 方にび性 にいる fin a a a · L v に がしまる i と fin a a i と に がしまった。	事 点に 点に に は 点に に に に に に に に に に に に に に	業の年度別実施 □ 年度別実施 □ 中度別実施 □ 中度別実施 □ 中間の 日間の 日間の 日間の 日間の 日間の 日間の 日間の 日間の 日間の 日	内容 性が高い ② 増進の取組み 性が高い □ かすることで、 のである ② 自でも極めながった。 ことをがらいます。 はでしたがある ② はでしたがある ② はでもあるがある。 ことでもいます。 はでもある。 はでもある。 はでもある。 はでも、 はいます。 はいます。	補助金申請受付補制助金申請受付補制助金申交交付 検討の余地あり に対して、市として 高める余地あり 引体の行う市内在信 高める余地あり 人あたり250円の神しかる 人ってはす余地あり	補補補	受決付 (低) は () は	金申請受付定 金を交付定 日金のの交付 可民ニーズにご ま増進事業が 数額体もあるこ はあるこ はなるこ はなるこ	補助金申請受付 補助金を交交付 対応していま が円滑に実施さ が上 「原止
評	 把握 必要性 有効性 効率性 総合評 が要 は ボー率る・と能 今は 間底にび性 眼内に間続 後さ 	事 RAL RAL RAL RAL RAL RAL RAL RAL	業の年度別実施 □ 年度別実施 □ 中	内容 性が高い 図 単進の取組み	補助金申請受付補助金の交付 相助金の交付 検討の余地あり に対して、市として 高める余地あり 日体の行う市内在信 高める余地あり 人あたり250円の補っています。しかし 見直す余地がある	輔輔補	受決付 低 こ 低 対 は ご き。 図 爰 受決付 低 と い す い い かし 継 す ひ い 、た し え と は おりし 継 る と い な が な い かし 続 と と で で で で で で で で で で で で で で で で で	申請受付定 申請受付定 自金のの交 可民ニー 選 事 増 進事 事 ははも はも はも はも はも はも はも はも	補助金申請受付 補助金を交交付 対応していま が円滑に実施さ が出まから、原止 よから、原止 事業を継続す
評	把握 必要性 有効性 効率性 総合 a fina fina fina fina fina fina fina fin	事 点に 点に に は 点に に に に に に に に に に に に に に	業の年度別実施 □ 大田	内容 性が高い 図 単進の取組み	補助金申請受付補制助金申請受付補制助金申交交付 検討の余地あり に対して、市として 高める余地あり 引体の行う市内在信 高める余地あり 人って直 縮小 口にかる 口に対して こがある。 したり250円のかしる したります。 したいす 組合員の健身	輔輔補	受決付 低 こ 低 対 は ご き。 図 爰 受決付 低 と い す い い かし 継 す ひ い 、た し え と は おりし 継 る と い な が な い かし 続 と と で で で で で で で で で で で で で で で で で	申請受付定 申請受付定 自金のの交 可民ニー 選 事 増 進事 事 ははも はも はも はも はも はも はも はも	補助金申請受付 補助金を交交付 対応していま が円滑に実施さ が出まから、原止 よから、原止 事業を継続す
評	 把握 必要性 有効性 効率性 総合評 が表 手目め、 は、 第二率る・と能 今で のされ のより のより<th>まこしなは 見かる 点、執 委合 の等は 見かる)業行 託・ 方等が あか</th><th>業の年度別実施 「大学の年度別実施 「大学の年度別実施 「大学の年度別実施 「中華」の年度別実施 「中華」の日本ののでは、「大学のでは、「ないは、「ないは、「ないは、「ないは、「ないは、「ないは、「ないは、「ない</th><th>内容 性が高い 図 単進の取組み</th><th>補助金申請受付補制助金申請受付補制助金申交交付 検討の余地あり に対して、市として 高める余地あり 引体の行う市内在信 高める余地あり 人って直 縮小 口にかる 口に対して こがある。 したり250円のかしる したります。 したいす 組合員の健身</th><th>輔輔補</th><th>受決付低 こ 低 対 は ご き。 図 爰 受決付 低 と い す い い かし 継 す ひ い 、た し え と は おりし 継 る と い な が な い かし 続 と と で で で で で で で で で で で で で で で で で</th><th>申請受付定 申請受付定 自金のの交 可民ニー 選 事 増 進事 事 ははも はも はも はも はも はも はも はも</th><th>補助金申請受付 補助金を交交付 対応していま が円滑に実施さ が出まから、原止 よから、原止 事業を継続す</th>	まこしなは 見かる 点、執 委合 の等は 見かる)業行 託・ 方等が あか	業の年度別実施 「大学の年度別実施 「大学の年度別実施 「大学の年度別実施 「中華」の年度別実施 「中華」の日本ののでは、「大学のでは、「ないは、「ないは、「ないは、「ないは、「ないは、「ないは、「ないは、「ない	内容 性が高い 図 単進の取組み	補助金申請受付補制助金申請受付補制助金申交交付 検討の余地あり に対して、市として 高める余地あり 引体の行う市内在信 高める余地あり 人って直 縮小 口にかる 口に対して こがある。 したり250円のかしる したります。 したいす 組合員の健身	輔輔補	受決付 低 こ 低 対 は ご き。 図 爰 受決付 低 と い す い い かし 継 す ひ い 、た し え と は おりし 継 る と い な が な い かし 続 と と で で で で で で で で で で で で で で で で で	申請受付定 申請受付定 自金のの交 可民ニー 選 事 増 進事 事 ははも はも はも はも はも はも はも はも	補助金申請受付 補助金を交交付 対応していま が円滑に実施さ が出まから、原止 よから、原止 事業を継続す
評 価	把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 (・対・要 (・は 着・コ率る・と能 今 c) ・財氏にび性 単的あ 眼入にい間統 後善	Red に	業の年度別実施 □ 年度別実施 □ 中間	内容 性が高い 図 単進の取組み	補助金申請受付補制助金申請受付補制助金申交交付 検討の余地あり に対して、市として 高める余地あり 引体の行う市内在信 高める余地あり 人って直 縮小 口にかる 口に対して こがある。 したり250円のかしる したります。 したいす 組合員の健身	輔輔補	受決付 低 こ 低 対 は ご き。 図 爰 受決付 低 と い す い い かし 継 す ひ い 、た し え と は おりし 継 る と い な が な い かし 続 と と で で で で で で で で で で で で で で で で で	申請受付定 申請受付定 自金のの交 可民ニー 選 事 増 進事 事 ははも はも はも はも はも はも はも はも	補助金申請受付 補助金を交交付 対応していま が円滑に実施さ が出まから、原止 よから、原止 事業を継続す
評価 改善	把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前方 「・対・要 (・は (デーンのか)と能 今(回向 ・対・要 (・は デーン率る・と能 今(同向 ・対・要 (・は デーン率る・と能 今(「では)	Rac L L 関は	業の年度別実施 国	内容 性が高い ☑ 増進の取組み 性が高い □ かすることで、 ☑ かである 自動ながった。 □ はで極いる事也 しまでも。 □ はでも、 □ はでも、 □ はでも、 □ はでも、 □ はでも、 □ はでも、 □ にでも、 □ はでも、 □ にでも、 □ にで	補助金申請受付補制助金申請受付補制助金申交交付 検討の余地あり に対して、市として 高める余地あり 引体の行う市内在信 高める余地あり 人って直 縮小 口にかる 口に対して こがある。 したり250円のかしる したります。 したいす 組合員の健身	輔輔補	受決付 低 こ 低 対 は ご き。 図 爰 受決付 低 と い す い い かし 継 す ひ い 、た し え と は おりし 継 る と い な が な い かし 続 と と で で で で で で で で で で で で で で で で で	申請受付定 申請受付定 自金のの交 可民ニー 選 事 増 進事 事 ははも はも はも はも はも はも はも はも	補助金申請受付 補助金を交交付 対応していま が円滑に実施さ が出まから、原止 よから、原止 事業を継続す
評価 と と と と と と と と と と と と と と と と と と と	 把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前方 対で要 は (ま) コンエーマン・と能 (す) で (す) で<th>Rac L D は R D S</th><th>業の年度別実施 国</th><th>内容 性が高い ☑ 増進の取組み 性が高い □ かすることで、 ☑ かである 自動ながった。 □ はで極いる事也 しまでも。 □ はでも、 □ はでも、 □ はでも、 □ はでも、 □ はでも、 □ はでも、 □ にでも、 □ はでも、 □ にでも、 □ にで</th><th>補助金申請受付補助金申請受付補助金の交付 検討の余地あり に対して、市として 高める余地あり 引体の行う市内在信 高める余地あり 人のたり250円の神 人のこすなっしかある 一記をして 一記をして</th><th>輔輔補</th><th>受決付低 に 低 対 は に と は が は が は か </th><th>電申請受付 電を交付 対金の交付 可とのでで付け では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、</th><th>補助金申請受付 補助金を交交付 対応していま が円滑に実施さ が出まから、原止 よから、原止 事業を継続す</th>	Rac L D は R D S	業の年度別実施 国	内容 性が高い ☑ 増進の取組み 性が高い □ かすることで、 ☑ かである 自動ながった。 □ はで極いる事也 しまでも。 □ はでも、 □ はでも、 □ はでも、 □ はでも、 □ はでも、 □ はでも、 □ にでも、 □ はでも、 □ にでも、 □ にで	補助金申請受付補助金申請受付補助金の交付 検討の余地あり に対して、市として 高める余地あり 引体の行う市内在信 高める余地あり 人のたり250円の神 人のこすなっしかある 一記をして 一記をして	輔輔補	受決付 低 に 低 対 は に と は が は が は か 	電申請受付 電を交付 対金の交付 可とのでで付け では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	補助金申請受付 補助金を交交付 対応していま が円滑に実施さ が出まから、原止 よから、原止 事業を継続す
評価 改善	把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前方 「・対・要 (・は (デーンのか)と能 今(回向 ・対・要 (・は デーン率る・と能 今(同向 ・対・要 (・は デーン率る・と能 今(「では)	Rel Company	業の年度別実施 国	内容 性が高い ☑ 増進の取組み 性が高い □ かすることで、 ☑ かである 自動ながった。 □ はで極いる事也 しまでも。 □ はでも、 □ はでも、 □ はでも、 □ はでも、 □ はでも、 □ はでも、 □ にでも、 □ はでも、 □ にでも、 □ にで	補助金申請受付補助金申請受付補助金の交付 検討の余地あり に対して、市として 高める余地あり 引体の行う市内在信 高める余地あり 人のたり250円の神 人のこすなっしかある 一記をして 一記をして	輔輔補	受決付 低 に 低 対 は に と は が は が は か 	電申請受付 電を交付 対金の交付 可保ニーズに ででででする。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	補助金申請受付 補助金を交交付 対応していま が円滑に実施さ が出まから、原止 よから、原止 事業を継続す

🕶 🤈	務事業名 交通安全	対策推進事業				整理No.	57
所	属 名 部 市民	健康部 課 3	交通対策	課	記入者 別所	雅代 内線	319
	位 施 策 名 分野 健康					安全教育の推進	
l	事業開始年度 平成	31 年度		交通安全対策基		X 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
	事業終了年度 令和	日	法令等	坂戸市交通指導	-	電労に関わる坦日	ıl
	争未於] 牛皮 节机	一			貝の故画及の2 7団体 「才全で	_ , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	ij
	対 象 (誰、何を対象としている] 伴百名 [
			· \/ =+ - \	++ ~ ~ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	日什么大口捶	/ 坐した / ナントシーン	
		うな状態にするために そ全に対する意識を高		· - · · · ·			
	主くの世代の大地タ	(土(これ) がる高級と同	100、心区	な久処争扱の低		0	
事	事業概要(取組内容	・活動内容など、目的	を達成す	てるために何をして	こいるか。)		
致		女育や指導を行うととも					員による児童の
務 	通学路における交通	毎全指導及び交通第	安全教室7	などにより、交通安	そ全思想の普及	を行います。	
事				△和9年帝	△和	0 左 庄	△和4年度
 業	区	分	単位	令和2年度 実績(決算)	計画(予算)	3年度 実績(決算)	令和4年度 計画(予算)
*	活動指標 交通安全	運動の実施回数	口	4	4	4	4
の	活動指標 交通安全	教育の実施回数	口	9	30	27	30
┃概	成果指標 交通安全	教育対象人数	人	1,479	6,000	5.223	6,000
1200		新型コロナウイルス感	, ·	·	•	· ·	· ·
要	指標に対する達成度	全教室の実施回数が					
	総①事業	費	千円	13,103	13,517	13,359	21,130
	عللد	国県支出金・その他)	千円	545	536	538	536
	業 源 一般財源		千円	12,558	12,981	12,821	20,594
	. 職 貝 剱	ı	人工四	1.90	1.90	1.90	1.90
	コ ② 人 件 費 ス 総事業		千円 千円	11,383 24,486	11,383 24,900	11,383 24,742	11,383 32,513
	-	A OIE	111	· ·	之4,500 立哨指導		52,515 立哨指導
	把 事業 握	の年度別実施内容		交通安全教室 5	交通安全教室 交通安全運動	交通安全教室	交通安全教室 交通安全運動
┝	- 握 	の年度別実施内容		交通安全教室 交通安全運動 3	交通安全教室 交通安全運動	交通安全教室	交通安全教室
	握 (着眼点) ・・市民ニーズに	②必要性が高い	\	交通安全教室 グラック 交通安全運動 グラック 計の余地あり [交通安全教室 交通安全運動 ── 必要性が低い	交通安全教室 交通安全運動	交通安全教室 交通安全運動
	握 (着眼点) 必・市民ニーズに 要対応しているか	✓必要性が高い 【理由】 交通事故のない、誰	〜 □検 もが安心	交通安全教室 ダ 交通安全運動 ダ 討の余地あり [して暮らせるまち	を通安全教室を通安全運動必要性が低いづくりを進めるた	交通安全教室 交通安全運動 めには、学校、家	交通安全教室 交通安全運動 ア庭、地域など
	握 (着眼点) 必・市民ニーズに 要対応しているか	☑必要性が高い 【理由】 交通事故のない、誰 における交通安全教	□検もが安心うや交通	交通安全教室 交通安全運動 3 討の余地あり [して暮らせるまちっ 手事故防止に対す	変通安全教室 変通安全運動 □ 必要性が低い づくりを進めるたる意識の高揚/	交通安全教室 交通安全運動 とめには、学校、第 こ取り組むことがっ	交通安全教室 交通安全運動 戻庭、地域など 大切であり、通
	握 (着眼点) 必・市民ニーズに 要対応しているか 性・行政関与の必	図必要性が高い 【理由】 交通事故のない、誰なにおける交通安全教 学時の立哨指導や、	↓ □検もが安心育や交通交通安全	交通安全教室 交通安全運動 3 計の余地あり [して暮らせるまちゃう事故防止に対すす 上団体と連携した思	変通安全教室 変通安全運動 □必要性が低い づくりを進めるたる意識の高揚/ 啓発活動を進め	交通安全教室 交通安全運動 とめには、学校、第 こ取り組むことがっ	交通安全教室 交通安全運動 戻庭、地域など 大切であり、通
	握 (着眼点) 必・市民ニーズに 要対応しているか 性・行政関与の必 要性はあるか	☑必要性が高い 【理由】 交通事故のない、誰 における交通安全教 学時の立哨指導や、 ☑有効性が高い	↓ □検もが安心育や交通交通安全	交通安全教室 交通安全運動 3 計の余地あり [して暮らせるまちゃう事故防止に対すす 上団体と連携した思	変通安全教室 変通安全運動 □ 必要性が低い づくりを進めるたる意識の高揚/	交通安全教室 交通安全運動 とめには、学校、第 こ取り組むことがっ	交通安全教室 交通安全運動 戻庭、地域など 大切であり、通
_	握 (着眼点) ・市民ニーズに 要 対応しているか 性・行政関与の必 要性はあるか (着眼点) ・目はよした効	図必要性が高い 【理由】 交通事故のない、誰 における交通安全教 学時の立哨指導や、 図有効性が高い 【理由】 日々の立哨指導、交	よが安心するでで通安全一高	交通安全教室 交通安全運動 3 計の余地あり [して暮らせるまちゃ 直事故防止に対すす 注団体と連携した居 める余地あり [な室等の交通安全	○通安全教室○必要性が低いづくりを進めるたる意識の高揚が○発活動を進め」有効性が低い指導は、交通	交通安全教室 交通安全運動 とめには、学校、第 こ取り組むことがることが必要です	交通安全教室 交通安全運動 反庭、地域など 大切であり、通
	握 (着眼点) ・市民ニーズに が対応しているか ・行で政関あるか 要性はあるか (着眼点) ・目的とした効 性、目があるか	☑必要性が高い 【理由】 交通事故のない、誰 における交通安全教 学時の立哨指導や、 ☑有効性が高い 【理由】	よが安心するでで通安全一高	交通安全教室 交通安全運動 3 計の余地あり [して暮らせるまちゃ 直事故防止に対すす 注団体と連携した居 める余地あり [な室等の交通安全	○通安全教室○必要性が低いづくりを進めるたる意識の高揚が○発活動を進め」有効性が低い指導は、交通	交通安全教室 交通安全運動 とめには、学校、第 こ取り組むことがることが必要です	交通安全教室 交通安全運動 反庭、地域など 大切であり、通
	握 (着眼点) ・市民ニーズに が対応しているのか 性・行の関するか 有効性 ・目的とした効性 性をもしたが	図必要性が高い 【理由】 交通事故のない、誰かにおける交通安全教学時の立哨指導や、 図有効性が高い 【理由】 日々の立哨指導、交す。また、団体との連	もが安心 育や交通 交通安全 □ 高 ・ 通安全巻 ・ 携により、	交通安全教室 交通安全運動 3 対の余地あり [して暮らせるまちゃ 直事故防止に対すす 注団体と連携した 記 がる余地あり [文室等の交通安全 あらゆる世代への	変通安全教室 変通安全運動 必要性が低い づくりを進めるたる意識の高揚が 啓発活動を進め オ効性が低い 指導は、交通ダカアを発が進んで	交通安全教室 交通安全運動 とめには、学校、第 こ取り組むことがることが必要です	交通安全教室 交通安全運動 反庭、地域など 大切であり、通
	握 (着眼点) ・市応の政はあるか 要性 ・ 一 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	図必要性が高い 【理由】 交通事故のない、誰なにおける交通安全教学時の立哨指導や、 図有効性が高い 【理由】 日々の立哨指導、交す。また、団体との連	もが安心 育や交通 交通安全 □ 高 ・ 通安全巻 ・ 携により、	交通安全教室 交通安全運動 3 対の余地あり [して暮らせるまちゃ 直事故防止に対すす 注団体と連携した 記 がる余地あり [文室等の交通安全 あらゆる世代への	○通安全教室○必要性が低いづくりを進めるたる意識の高揚が○発活動を進め」有効性が低い指導は、交通	交通安全教室 交通安全運動 とめには、学校、第 こ取り組むことがることが必要です	交通安全教室 交通安全運動 反庭、地域など 大切であり、通
評	握 (着眼点) ではなるのか (着眼点) ではなるのか (着眼点) ではなるのか (着眼点) ではなるか (着眼点) ではなるか (着眼点) ではなるか (着眼点) ではない (着眼点) できる (本来のに執行できている。 第70 できている。 第70 できている (本来のに対している。 (本来のに対している。 (本来のに対している。 (本来のに対している。 (本来のに対している。 (本来のに対している。) では、 (本来のになる。) では、 (本来のになる	図必要性が高い 【理由】 交通事故のない、誰なにおける交通安全教学時の立哨指導や、 図有効性が高い 【理由】 日々の立哨指導、交す。また、団体との連	・ □検 もが安心 育や交通 □ □ 安全 通安全 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	交通安全教室 交通安全運動 3 対の余地あり [して暮らせるまちで	交通安全教室 交通安全運動 一必要性が低い づくりを進めるたる意識の高揚い 本発活動を進め 有効性が低い 指導は、交通多の 力格発が進んで の本的ではない	交通安全教室 交通安全運動 かには、学校、家 こ取り組むことがう ることが必要です を全への意識の向 います。	交通安全教室 交通安全運動 反庭、地域など 大切であり、通 。 可上に効果的で
	握 (着雨ない) では、	図必要性が高い 【理由】 交通事故のない、誰なにおける交通安全教学時の立哨指導や、 図有効性が高い 【理由】 日々の立哨指導、交す。また、団体との連 □効率的である 【理由】	もが安心通 育や交通 □ 金 通安全 高 通安より。 ことにより、	交通安全教室 交通安全教室 交通安全運動 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	変通安全教室 図通安全運動 図必要性が低い づくりを進めるたる意識の高き進の 本名意識動を進の表話動を進れ 本名が低い 指導はが低い は路発が進んで 別本的ではない 通安全に対する	交通安全教室 交通安全運動 とめには、学校、第 こ取り組むことがう ることが必要です を全への意識の向 います。	交通安全教室 交通安全運動 反庭、地域など 大切であり、通 。 可上に効果的で
評	握 (着限点) (着限によっていらののかでであるができているののができます。 (着の) (着の) (着の) (着の) (着の) (着の) (着の) (着の)	図必要性が高い 【理由】 交通事故のない、誰能における交通安全教学時の立哨指導や、 ②有効性が高い 【理由】 日々の立哨指導、交す。また、団体との連 □効率的である 【理由】 各団体と連携をとるこ	もが安心通 育や交通 □ 金 通安全 高 通安より。 ことにより、	交通安全教室 交通安全教室 交通安全運動 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	変通安全教室 図通安全運動 図必要性が低い づくりを進めるたる意識の高き進の 本名意識動を進の表話動を進れ 本名が低い 指導はが低い は路発が進んで 別本的ではない 通安全に対する	交通安全教室 交通安全運動 とめには、学校、第 こ取り組むことがう ることが必要です を全への意識の向 います。	交通安全教室 交通安全運動 反庭、地域など 大切であり、通 。 可上に効果的で
評	握 (着雨にか必要性 (着一次である) では、	図必要性が高い 【理由】 交通事故のない、誰がにおける交通安全教学時の立哨指導や、 図有効性が高い 【理由】 日々の立哨指導、交す。また、団体との連 □効率的である 【理由】 各団体と連携をとるこます。また、引き続きな	もが安心通 育を交安	交通安全教室 交通安全教室 交通安全運動 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	変通安全教室 通安全教室 一必要性が低い づくりを進めるたる意識のを進の高進の 外名ではない 本名ではない 一分本的ではない 通安教確保に対する の定数確保に対する	交通安全教室 交通安全運動 とめには、学校、第 こ取り組むことがう ることが必要です を全への意識の向 います。 る意識と関心を高 あます。	交通安全教室 交通安全運動 反庭、地域など 大切であり、通 一。 可上に効果的で
評	握 必要性 有効性 効率性 総合 有効性 が変性 インス のか	図必要性が高い 【理由】 交通事故のない、誰なにおける交通安全教学時の立哨指導や、 図有効性が高い 【理由】 日々の立哨指導、交す。また、団体との連 □効率的である 【理由】 各団体と連携をとるこます。また、引き続きなます。また、引き続きなまた。 見直し(□改善・変し、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	・ はが安心道会 はが安交 は は で で で で で で で で で で で で で で で で で	交通安全教室	で通安全教室 通安全教室 一必要性が低い づくりをで進めるたる でる発活動を進の。 有効性が低い 指啓発が進んで 一分本的ではない 通安全確保に対する の定数確保に対する の定数確保に必要	交通安全教室 交通安全運動	交通安全教室 交通安全運動 反庭、地域など 反はであり、通 一。 可上に効果的で ある効果があり は □廃止
評	握 必要性 有効性 効率性 総合評	図必要性が高い 【理由】 交通事故のない、誰がにおける交通安全教学時の立哨指導や、 図有効性が高い 【理由】 日々の立哨指導、交す。また、団体との連 □効率的である 【理由】 各団体と連携をとるこます。また、引き続きな	はずでである。 はずででする。 はずででする。 はずででする。 はずででする。 はずででする。 はずででする。 はずででする。 はずでできる。 はないでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなで	交通安全教室	変通安全教事 図画安全教事 図画安全運動 図を選手が低い づくり意識動を進め高き 高のではない の本的ではない の本的ではない 通安教権保保に対する の本的ではない の本的ではない の本的ではない の本的ではない の本的ではない の表達のではない の本のではない の本のではない の表達のではない のまたのではない のまたのではない のまたのではない のまたのではない のまたのではない のまたのではない のまたのではない のまたのではない のまたのではない のまたのではない のまたのではない のまたのではない のまたのではない のまたのではない のまたのでものではない のまたのでものではない のまたのでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでもの	交通安全教室 交通安全運動	交通安全教室 交通安全運動 反庭、地域など た切であり、通 っ。 可上に効果的で める効果があり 此 □廃止
評	握 必要性 有効性 効率性 総合 有効性 が変性 インス のか	図必要性が高い 【理由】 交通事故のない、誰等における交通安全や、 図有効性が高い 【理由】 日々の立哨指導、交連 □効率的である 【理由】 日々の主に、団体との連 □効率的である 【理由】 各団体と連携をとるこれ。また、引き続きない。また、引き続きない。 見直し(□ 改善・を) 【課長名:福島 隆明 公乗	はずでである。 はずででする。 はずででする。 はずででする。 はずででする。 はずででする。 はずででする。 はずででする。 はずでできる。 はないでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなで	交通安全教室	変通安全教事 図画安全教事 図画安全運動 図を選手が低い づくり意識動を進め高き 高のではない の本的ではない の本的ではない 通安教権保保に対する の本的ではない の本的ではない の本的ではない の本的ではない の本的ではない の表達のではない の本のではない の本のではない の表達のではない のまたのではない のまたのではない のまたのではない のまたのではない のまたのではない のまたのではない のまたのではない のまたのではない のまたのではない のまたのではない のまたのではない のまたのではない のまたのではない のまたのではない のまたのでものではない のまたのでものではない のまたのでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでもの	交通安全教室 交通安全運動	交通安全教室 交通安全運動 反庭、地域など た切であり、通 っ。 可上に効果的で める効果があり 此 □廃止
評	握 必要性 有効性 効率性 総合評価 イカ性 対応 またい から かった から かった から かった から かった から から かった から	図必要性が高い 【理由】 交通事故のない、誰等における交通安全や、 図有効性が高い 【理由】 日々の立哨指導、交連 □効率的である 【理由】 日々の主に、団体との連 □効率的である 【理由】 各団体と連携をとるこれ。また、引き続きない。また、引き続きない。 見直し(□ 改善・を) 【課長名:福島 隆明 公乗	はずでである。 はずででする。 はずででする。 はずででする。 はずででする。 はずででする。 はずででする。 はずででする。 はずでできる。 はないでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなで	交通安全教室	変通安全教事 図画安全教事 図画安全運動 図を選手が低い づくり意識動を進め高き 高のではない の本的ではない の本的ではない 通安教権保保に対する の本的ではない の本的ではない の本的ではない の本的ではない の本的ではない の表達のではない の本のではない の本のではない の表達のではない のまたのではない のまたのではない のまたのではない のまたのではない のまたのではない のまたのではない のまたのではない のまたのではない のまたのではない のまたのではない のまたのではない のまたのではない のまたのではない のまたのではない のまたのでものではない のまたのでものではない のまたのでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでもの	交通安全教室 交通安全運動	交通安全教室 交通安全運動 反庭、地域など た切であり、通 っ。 可上に効果的で める効果があり 此 □廃止
評 価	握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前方にか必要性 有効性 対率を ・との の	図必要性が高い 【理由】 交通事故のない、誰等における交通安全や、 図有効性が高い 【理由】 日々の立哨指導、交連 □効率的である 【理由】 日々の主に、団体との連 □効率的である 【理由】 各団体と連携をとるこれ。また、引き続きない。また、引き続きない。 見直し(□ 改善・を) 【課長名:福島 隆明 公乗	はずでである。 はずででする。 はずででする。 はずででする。 はずででする。 はずででする。 はずででする。 はずででする。 はずでできる。 はないでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなで	交通安全教室	変通安全教事 図画安全教事 図画安全運動 図を選手が低い づくり意識動を進め高き 高のではない の本的ではない の本的ではない 通安教権保保に対する の本的ではない の本的ではない の本的ではない の本的ではない の本的ではない の表達のではない の本のではない の本のではない の表達のではない のまたのではない のまたのではない のまたのではない のまたのではない のまたのではない のまたのではない のまたのではない のまたのではない のまたのではない のまたのではない のまたのではない のまたのではない のまたのではない のまたのではない のまたのでものではない のまたのでものではない のまたのでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでもの	交通安全教室 交通安全運動	交通安全教室 交通安全運動 反庭、地域など た切であり、通 っ。 可上に効果的で める効果があり 此 □廃止
評価 改善	握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前方にか必要性 有効性 効率性 総合評価 回向 は、対・対・要 (・果 着コーの は、 一、) 一、 り 一、 り 一、 り 一、 り 一、 り 一、 り 一、	図必要性が高い 【理由】 交通事故のない、誰等における交通安全や、 図有効性が高い 【理由】 日々の立哨指導、交連 □効率的である 【理由】 日々の主に、団体との連 □効率的である 【理由】 各団体と連携をとるこれ。また、引き続きない。また、引き続きない。 見直し(□ 改善・を) 【課長名:福島 隆明 公乗	はずでである。 はずででする。 はずででする。 はずででする。 はずででする。 はずででする。 はずででする。 はずででする。 はずでできる。 はないでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなで	交通安全 表面	で通安全 要性が低い ではない ではない では 対に な で 要性が ではない が で はない で はない で な で で な で で で で で で で で で で で で で で	交通安全教室 交通安全運動	交通安全教室 交通安全運動 反庭、地域など た切であり、通 っ。 可上に効果的で める効果があり 此 □廃止
評価	握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前方 対応 は、対・対・要 着目は 眼内のか は、製品にし関め は、とも は、対・で要 着目は 眼かが 間続い 後善 たみ あん。 業 で 地野が で き く で 大で で かま で もず で かま かま で かま かま で もず で かま で かま で もず で かま で もず で かま で かま で かま で もず で もず で かま で もず で かま で もず で もず で もず で もず で かま で もず で もず で もが で もず で もず で もず で もず で もず	図必要性が高い 【理由】 交通事故のない、誰称 でおける交哨指導や、 図有効性が高い 【理由】 日々の立哨指導、の である 【理由】 日々のである 【理由】 各団体と連携をとること 見直し:福島 政権の 【課長名:福気通識で の身を守る意識を 「一	は する でする でする でする でする でする でする でする	交通安全 表面	変通安全 要性が低い ではない では 対に 対 に 対 に 対 に 対 に 対 に 対 に 対 に 対 に 対 に	交通安全教室 交通安全運動	交通安全教室 交通安全運動 反庭、地域など た切であり、通 っ。 可上に効果的で める効果があり 此 □廃止
評価 改善	握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前方 対応 は、対・対・要 着目は 眼内のか 高さいと もいり はいり はいり はいり はいり はいり はいり はいり はいり はいり は	図必要性が高い 【理由】 交通事故のない、誰称 でおける交哨指導や、 図有効性が高い 【理由】 日々の立哨指導、の である 【理由】 日々のである 【理由】 各団体と連携をとること 見直し:福島 政権の 【課長名:福気通識で の身を守る意識を 「一	は する でする でする でする でする でする でする でする	交通安全 表面	で通安全 要性が低い ではない ではない では 対に な で 要性が ではない が で はない で はない で な で で な で で で で で で で で で で で で で で	交通安全教室 交通安全運動	交通安全教室 交通安全運動 反庭、地域など た切であり、通 っ。 可上に効果的で める効果があり 此 □廃止

事系	务事	業 名	放置	自転	車対策推	進事業					整理No.	58
所	属	名	部	市民	健康部	課	交通対策	課	記入者	田中 祥	真 内線	319
上化	立施多	策 名	分野	健康	·福祉、安全	全·安心	中柱 放置	1 自転車対策の推	進 小柱	放置自転	車対策の推	進
				平成		年度		自転車の安全の促				
			年度			十分 根 年度	视法令等	坂戸市自転車放				MEAC (-1)(4) / WILLIAM
	尹木			ተን ጥ			□暗宝者	□個人□世帯□				
	(≣#			象 っている		E 口	周辺の自転	車放置禁止区域	及び路上等	事の公共(の場所に自転	云車を放置して
						17/	る方					
								業を行っているか 車を減少させます				日と <i>(</i> -) ナケ米ケナ、 こと
	年より				1 宗 工 兦 坳	後中心に	(二) 四 四 四 四	年を例グさせより	。(双直日	料単に次	19の書百音	知的 仪 数 を 削
	, 51,	, ,,,,		3 0 /								
事	事業	概要	(取組	内容	•活動内容	など、E	目的を達成す	するために何をし [・]	ているか。))		
7								駅周辺の自転車			いに禁止標識	8、看板、警告
務								自転車の撤去を				
-								(車2000円・原付) 足進を図っています		円)を納入	いただきます	一。また、市営の
事	日転	平湖工				平 斯 平 物		令和2年度		令和3年原	ŧ	令和4年度
業				区	分		単位	実績(決算)			▼ €績(決算)	計画(予算)
	指標	# 1	放置自	自転車	撤去回数(禁	止区域内)	161		96	96	96
の	指標	# 2	警告	書貼作	寸回数(禁山	上区域内) 回	718		359	359	359
概	指桿	≣ (3)	警 告	書貼ん	寸枚数(禁止	上区域内) 枚	3,161	減少	>	3.827	減少
_					放置白転	由台数の	や撤去回数	け全体的に年々注	は小傾向は	あります	-,	**
要	指標	に対す	する達	成度	度より増加	したたと	め、さらなる	対策を講じる必要	があります	0	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	411 000000
	総	_		業			千円	31,689		2,046	21,555	20,870
	事	_	特定	財源(国	国県支出金	・その他)) 千円	213		264	232	238
	業 費	源	一般	財源			千円	31,476	21	,782	21,323	20,632
	貝		員				人	0.50		0.50	0.50	0.50
	_	2		牛 費			千円	2,996	2	2,996	2,996	2,996
	ス		4//									
			称。	事 業	費 ①+	·(<u>2</u>)	千円	34,685		5,042	24,551	23,866
	ト 把				費 ①+ の年度別3	Ü		放置自転車の撤 去及び自転車駐	放置自転車の 去及び自転車	り撤 放置 車駐 去及	自転車の撤 び自転車駐	放置自転車の撤 去及び自転車駐
	ト 把 握	/ * nc			の年度別9	実施内容	3	放置自転車の撤 去及び自転車駐 車場の管理	放置自転車の 去及び自転車 車場の管理	放置放置车基车場	自転車の撤	放置自転車の撤
	ト 把 握	(着眼 •市民	(点)	事業	の年度別領	Ü	3	放置自転車の撤 去及び自転車駐	放置自転車の 去及び自転車	放置放置车基车場	自転車の撤 び自転車駐	放置自転車の撤 去及び自転車駐
	ト把握 必要	·市民対応	見点) ミニー: してい	事業で	の年度別	実施内容 	序 □ 樹	放置自転車の撤 去及び自転車駐 車場の管理 (計の余地あり	放置自転車の 去及び自転車 車場の管理	か 車駐 去及 車場	自転車の撤 び自転車駐 の管理	放置自転車の撤 去及び自転車駐 車場の管理
	ト把握 必要性	·市民対応!	えた) ピニー: してい な関与	事業 ズに るの必	の年度別	実施内容 必要性が おける放	る。 高い □ 横 な置自転車対	放置自転車の撤 去及び自転車駐 車場の管理	放置自転車の 去及び自転車 車場の管理	か 車駐 去及 車場	自転車の撤 び自転車駐 の管理	放置自転車の撤 去及び自転車駐 車場の管理
	ト把握 必要性	·市民対応 対応 ・行政 要性	はある はある	事業 ズに るの必	の年度別 「 【理由】 駅周辺に 要性は高	実施内容 必要性が おけるが いと考え	高い □ 植 な置自転車対 ます。	放置自転車の撤去及び自転車駐車場の管理 計の余地あり 対策は、良好な周	放置自転車の 去及び自転車 車場の管理 必要性が 辺環境の値	D撤 放置 車駐 去及 車場 低い 保持等に引	自転車の撤 び自転車駐 の管理	放置自転車の撤 去及び自転車駐 車場の管理
	ト把握 必要性 有	·市応 ・対行政 ・対行性 ・着眼	は、一次にはは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	事業であるのか	の年度別 「 【理由】 駅周辺に 要性は高	実施内容 必要性が おける放	高い □ 植 な置自転車対 ます。	放置自転車の撤 去及び自転車駐 車場の管理 (計の余地あり	放置自転車の 去及び自転車 車場の管理	D撤 放置 車駐 去及 車場 低い 保持等に引	自転車の撤 び自転車駐 の管理	放置自転車の撤 去及び自転車駐 車場の管理
_	ト把握 必要性 有効	· 市 応 改 子 一	はある はある	事業であるのか、効	の年度別 「型曲」 「型曲」 「型曲」 「型曲」 「型曲」 「型曲」の	実施内容 必要性が おけと あれと 有効性が 自転車 が	高い □ 様	放置自転車の撤去及び自転車駐車場の管理 意計の余地あり 対策は、良好な周 あめる余地あり 域内から放置自車	放置自転車の 去及び自転車 事場の管理 必要性が 辺環境の化 有効性が 云車を無く	の撤 放置 車駐 去及 低い 保持等に にい まために	自転車の撤び自転車駐の管理	放置自転車の撤 去及び自転車駐 車場の管理 行政関与の必
— 次	ト把握 必要性 有効	· 市 応 改 子 一	えた。 はたして関ある はないである。 はないである。 はないである。	事業であるのか、効	の年度別 「型曲」 「型曲」 「型曲」 「型曲」 「型曲」 「型曲」の	実施内容 必要性が おけと あれと 有効性が 自転車 が	高い □ 様	放置自転車の撤去及び自転車駐車場の管理 検討の余地あり 対策は、良好な周	放置自転車の 去及び自転車 事場の管理 必要性が 辺環境の化 有効性が 云車を無く	の撤 放置 車駐 去及 低い 保持等に にい まために	自転車の撤び自転車駐の管理	放置自転車の撤 去及び自転車駐 車場の管理 行政関与の必
	ト把握 必要性 有効性	・対・要 (・果 (着眼)	点) 点二で関あ は 点とる か 点とるか 点)	事業であるのかのかった。	の年度別望 【理由】 【理用別に高 「図」 【理由】の計 【理由】	実施内容 必要性が おけと あれと 有効性が 自転車 が	高い	放置自転車の撤去及び自転車駐車場の管理 意計の余地あり 対策は、良好な周 あめる余地あり 域内から放置自車	放置自転車の 去及び自転車 事場の管理 必要性が 辺環境の化 有効性が 云車を無く	の撤 放置 車駐 去場 低い 保持等に にい また。 はい はい	自転車の撤び自転車駐の管理	放置自転車の撤 去及び自転車駐 車場の管理 行政関与の必
一 次 評	ト把握 必要性 有効性 効	・対・要 (・果 着コス的) (・対・関・	点) 点二で関あ は 点とる か 点とるか 点)	事業であるのかのかった。	の年度別3 【理由】 に高 、	実施内容 必要性が おとする 対対 も 動 を 動 を 動 を 動 を が を が の を が の を が の が の の の の の の の の	高い	放置自転車の撤去及び自転車を取り 主場の管理 検討の余地あり 対策は、良好な周 あめる余地あり 域内から放置自車 であり、一定の効果 あめる余地あり	放置自転車の 去車場の管理 必要性が 辺環境の化 「有効性がいる」を無いるとされるとされる。 「対象率的でした。」	が が が が が が が にい にい にい にい にい にい にい にい にい にい	自転車の撤び自転車取記の管理 資するため、 は、自転車駐	放置自転車の撤 去及び自転車駐 車場の管理 行政関与の必 車場の整備並
評	ト把握 必要性 有効性 効率性	・対・要 (・果 第1本の)に 一下が行性 着目は 眼外に 眼外に	点二で関あ 点、執 委の 点、執 委の かん かん きょう かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん かん かん	事業であるのか、対象である。	の年度別 「 「 、	実施内容がおいた。 を対ける考がです。 を対けるがですがいる。 ないのですが、 を対しては、 を述れては、 を述れては、 を述るは、 を述れては、 を述れては、 を述れては、 を述れては、 を述れては、 を述れては、 を述れては、 を述れては、 を述れては	高い	放置自転車の撤去及び自転車駐車場の管理 論計の余地あり 対策は、良好な周 ある余地あり 域内から放置自車 であり、一定の効果	放置自転車の 去車場の管理 必要性が 辺環境の化 「有効性がいる」を無いるとされるとされる。 「対象率的でした。」	が が が が が が が にい にい にい にい にい にい にい にい にい にい	自転車の撤び自転車取記の管理 資するため、 は、自転車駐	放置自転車の撤 去及び自転車駐 車場の管理 行政関与の必 車場の整備並
	ト把握 必要性 有効性 効率性	・対・要 (・果 第1本の)に 一下が行性 着目は 眼外に 眼外に	点にでは、 は、は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	事業であるのか、対象である。	の年度別3 【理由】 に高 、	実施内容がおいた。 を対ける考がです。 を対けるがですがいる。 ないのですが、 を対しては、 を述れては、 を述れては、 を述るは、 を述れては、 を述れては、 を述れては、 を述れては、 を述れては、 を述れては、 を述れては、 を述れては、 を述れては	高い	放置自転車の撤去及び自転車を取り 主場の管理 検討の余地あり 対策は、良好な周 あめる余地あり 域内から放置自車 であり、一定の効果 あめる余地あり	放置自転車の 去車場の管理 必要性が 辺環境の化 「有効性がいる」を無いるとされるとされる。 「対象率的でした。」	が が が が が が が にい にい にい にい にい にい にい にい にい にい	自転車の撤び自転車取記の管理 資するため、 は、自転車駐	放置自転車の撤 去及び自転車駐 車場の管理 行政関与の必 車場の整備並
評	ト把握 必要性 有効性 効率性	・対・要 (・果 第1本のよう) (・対・要 着目は 最大的が間続いる)	点二で関あ 点、執 委の 点、執 委の かん かん きょう かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん かん かん	事業であるのか、対象である。	の年度別 「 「 、	実施内容 が おい 有 自回 効 放要 はい 有 自 が がき が がき で が がき で が き しょう かい かい が き しょう かい	高い	放置自転車の撤去及び管理 車場の管理 (計の余地あり) 対策は、良好な周 あめる余地あり 域内から放置自車 であり、一定の効果 あめる余地あり 時間帯を把握し、	放置自転車車の 出する とは、 大型の が表現の の要性が ででである。 は、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	が が が が が が が が が が が が が が	自転車の撤び自転車を車を車を車を車を車を車を車を車を車を車を車を車を車を車を車を車を車を車を	放置自転車の撤去及び自転車駐車場の管理 行政関与の必 車場の整備並 及び撤去を行う
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総	・対・要(・果(・コース・と能・力に下のでは、単的は、眼内に、間続かりに、	及二、て関は 点しる 、執 委合・ したい 与る) たか (業合・ や連り) かんか 一条で や連り	事	の年度別3 【理財性 由別に高 図 理転討 回車車が必 理事が必 見直し	実施	高い	放置自転車の撤去及び自転車を取り 主場の管理 検討の余地あり 対策は、良好な周 あめる余地あり 域内から放置自車 であり、一定の効果 あめる余地あり	放置自転車車の 出する とは、 大型の が表現の の要性が ででである。 は、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	が が が が が が が が が が が が が が	自転車の撤び自転車を車を車を車を車を車を車を車を車を車を車を車を車を車を車を車を車を車を車を	放置自転車の撤去及び自転車駐車場の管理 行政関与の必 車場の整備並 及び撤去を行う
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合	・対・要(・果(・コ率る・民と能・今市市の行性・明的は・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	良品としては、最近の大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、	事 だるのか 対 第で 事が 性 が 対 は	の年度別 「国際要のでは、「国際では、国際では、「国際では、国際では、国際では、国際では、国際では、国際では、国際では、国際では、	実施 要 けと 効 転的 率 置と □島は 一 ない が がえ が 車な 的 が考 □島は 全 ■ 全 □島は 一 単 の で きん で か が が が え が 声 撤 む ぎ え で きん で か か か か か か か か か か か か か か か か か か	高い	放置自転車の撤去及の管理 を計の余地あり 対策は、良好な周 あめる余地あり 域内から放置自車 である余地あり 域内からだの効果 がある余地あり 時間帯を把握し、	放去車 U 辺 環 有	が が が が が が が が が が が が が が	自転車の撤 で で で で で で で で で で で で で	放置自転車の撤去及び管理 行政関与の必 車場の整備並 及び撤去を行う 止
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合	・対・要(・果(・コ率る・民と能・今市市の行性・明的は・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	及二、て関は 点しる 、執 委合・ したい 与る) たか (業合・ や連り) かんか 一条で や連り	事 ズるのか cv 面き 地 f 可) 業 にか必 効 等で 事が 性	の年度別別では、日本の日本の年度を関する。 は、日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	実 必 おい 有 自画 効 放要 (福車心内 性 る考 性 車な 的 ず考 □島はに □島はに ○金 一覧 で 一覧 で 一覧 で 一覧 で 一覧 で が がえ が 声撤 む ジえ で で で で かんしょう かんしょう かんしょう	高い 一様 ではます。 ではます。 ではまずる ではまが ではまが ではます。 ではます。 ではます。 ではます。 ではます。 ではますの ではますの ではますの ではますの ではままり ではまままり ではまままままり ではまままままままままままます ではままままままままままままままままままままままままままままままままままま	放置自転車の撤去及び管理 車場の余地あり 対策は、良好な周 あめる余地あり 域内から放置自車 であり、一定の効果 あめる余地あり 時間帯を把握し、	放去車 U 辺 環 有	が が が が が が が が が が が が が が	自転車の撤 で で で で で で で で で で で で で	放置自転車の撤去及び管理 行政関与の必 車場の整備並 及び撤去を行う 止
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評	・対・要(・果(・コ率る・民と能・今市市の行性・明的は・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	良品としては、最近の大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、	事 だるのか か 第で 事が 性 が	の年度別 「国際要 理問性 由別に 理転討 見長自をを ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実施 要 けと 効 転的 率 置と □島はにした いん が がえ が 軽的 率 置と □島はにして かん が がえ が 隆を放い	高い □ 横 文書 す。 高い □ 転車 文 まい □ 言 次書 が 正 上 区 で ある □ 日 や に ます。 善・効率化 を明	放置自転車の撤去及の管理 を計の余地あり 対策は、良好な周 あめる余地あり 域内から定の効果 がある余地あり 域内からをであり、 であり、一様合 にある余地あり 時間帯を把握し、	放置	が を を を を を を を を を を を を を	自転車の撤上 の	放置自転車の撤去及び管理 行政関与の必 車場の整備並 及び撤去を行う 止
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 回	・対・要(・果(・コースのよと能)(今() 一示に対性 期的は、眼入りの間統 後き し	及宗しては、見がある。、執 委合 の策 たい という は、 という 一 に りょう かく 一 一 に う まい かく 一 で かく	事 ズるのか c 面き 他	の年度別別 「国際要」 「国際では、国際では、国際では、国際では、国際では、国際では、国際では、国際では、	実 必 おい 有 自画 効 放要 (福車心続 車 内 性 る考 性 車な 的 が考 □島はにし は □島 で ○ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	高い □横 ではます。 画はます。 一様ではます。 一はではます。 一はではます。 一はではます。 一はではます。 一はではます。 一はではます。 一はではます。 一はではます。 一はではます。 一はではます。 一はではます。 一はではななななななななななななななななななななななななななななななななななな	放置自転車の撤去及の衛駐車の撤去及のの余地あり 対策は、良好な周の余地あり がある余地あり 域内から一定の数ののである。 がある余地あり 域内から一定の数ののである。 は、したである。 は、少のでは、したのである。 は、少のでは、したのである。 は、少のでは、したのである。 は、少のである。 は、少のである。 は、少のである。 は、少のである。 は、少のである。 は、少のである。 は、少のである。 は、少のである。	放置	が を を を を を を を を を を を を を	自転車の撤駐車の撤駐車の管理 するため 東東の事を車を車を車を車を ままままままままままままままままままままままままままままま	放置自転車の撤去車の撤去車の撤去車の管理 行政関与の必 車場の管理 行政関与の必 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 回	・対・要(・果(・コースのよと能)(今() 一示に対性 期的は、眼入りの間統 後き し	及宗しては、見りあれ、執、委合・の策し、一い与る) たか 一 務で や連 方等	事	の年度別別 図 に高 図 の 理問性 田別に 理転討 見長自をを 自中 の 直名・転中継 転心 直名・転中継 転心	実施 要 けと 効 転的 率 置と □島はにし は、内 性 る考 性 車な 的 が考 □島はにし は放 の かえ 改 隆位が なえ が しまかい 全置	高い □横 ではまい 車対 を表す。 □ 医が 単 を ではます。 ■ では、	放置自転車の撤去及の管理 を計の余地あり 対策は、良好な周 あめる余地あり 域内から定の効果 がある余地あり 域内からをであり、 であり、一様合 にある余地あり 時間帯を把握し、	放去車 □ 辺 □ 云 が 効	が を を を を を を を を を を を を を	自転車の 車車車車 車転車 車転車 を 車車 車車 を 車車 を 車車 を 車車 を 車車 を 車車 を 車車 を 車車 を も も も も も も も も も も も も も	放置自転車の撤去車の撤去車の撤去車の管理 行政関与の必 車場の管理 行政関与の必 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
評 価 改	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 回	・対・要(・果(・コースのよと能)(今() 一示に対性 期的は、眼入りの間統 後き し	及宗しては、見がある。、執 委合 の策 たい という は、 という 一 に りょう かく 一 一 に う まい かく 一 で かく	事	の年度 理問性 理問に 理転討 見長自をを 自中と は 出辺、 出車が 夏長自をを 自中と の し名・転中継 転心で	実施 要 けと 効 転的 率 置と □島はにし は、内 性 る考 性 車な 的 が考 □島はにし は放 の かえ 改 隆位が なえ が しまかい 全置	高い	放置自転車の撤去及の衛駐車の撤去及の令地あり 対策は、良好な周 ある余地あり 域内から一定の動産の がある余地あり 域のる余地あり 域のある余地あり 域のある余地あり は、したである。 は、したである時間にである。 は、少のでは、したである。 は、少のでは、したである。 は、からにである。 は、からにである。 は、からにないる。 は、からには、からには、からには、からには、からには、からには、からには、からに	放去車 □ 辺 □ 云	が を を を を を を を を を を を を を	自転車の 車車車車 車転車 車転車 を 車車 車車 を 車車 を 車車 を 車車 を 車車 を 車車 を 車車 を 車車 を も も も も も も も も も も も も も	放置自転車の撤去車の撤去車の撤去車の管理 行政関与の必 車場の管理 行政関与の必 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
評価	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前方回向	・対・要(・果 (・) 平本のよと能 今() 示性・ 一下の大学 一下のよう 一下の大学 一下のよう 一下のよう 一下のよう 一下のよう 一下のより 一下のよう 一下の 一下のよう 一下のよう 一下のよう 一下のより 一下のより 一下のより 一下のより 一下のより 一下のより 一下のより 一下の	良宗しては、見があり、執いまで、中では、自然としては、見いまで、自然で、中では、一、方等 一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、	事 ズるのか c	の 年度 理周性 理周性 理周に 理転討 見長自をを 自中と 告 世の心 しまで の必 しまで でする 警 でする でする でする でする でする でする でする でする	実 必 おい 有 自町 効 放要 (福車心院 車に、実)地 施 要 けと 効 転的 率 置と □島はにし は、自 施付内 性 る考 性 車な 的 が考 □島はにし は、自 施付を が がえ が 直撤 す 彡え ご 酸体が 全置耳 にに	高い	放置自動車の撤駐車の撤駐車を車車車車車車車車車車車車車車車車車車車車車車車車車車車車車車	放去車 U U I I I I I I I I I I I I I I I I I	が 原 の 原 で に に に に に に に に に に に に に	自転車の 車 本 車 車 を 車 車 を 車 車 を 車 車 を 車 車 を 車 車 を 車 車 を 車 車 を も 車 を も を も	放置自転車の撤去車の撤去車の撤去車場の管理 行政関与の必 車場の整備並 及び撤去を行う 上、監禁出を 放置禁去を継続。 放置禁去を継続。
評価 改善状	卜把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前方 対	・対・要(・果 信・平のでは、今で 一示性 状に下ができ 着目は 眼外に間続い 後き して 況	見いしば 見引あ 点、執 委合 の策 だ女 (実) 一い与る) たか 一 務で や連 方等 一 谷策 施	事 ズるのか str 面き 他態 可) 後長 内 業 にか必 効 等で 事が 性 の等 内	の年度 理周性 理周に 理転討 見長 置をる 警を 由辺は 由辺、 由車が 見長 目をを 自中と 告増を こん は 一次 の は 1 の が し 2 転り を で まやし で 図 の で で 1 の が で 1 の が で 1 の が で 1 の が で 1 の か で 1 の	実 必 おい 有 自画 効 放要 (福車心徳 車に、実)し、施 要 けと 効 転的 率 置と □島はにし は、自 施付警内 性 る考 性 車な 的 が考 □島はにし は放転 済付警 が がえ が	高い	放置自動車の撤駐車を制度を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	放去車 団 辺 ロ こと ロ い い で で い い い で で い い い で さ で い い い い で で い い い で で い い い で で い	の 車 低 保 低 けき は な 図 なる と目考 未 で 散去車 に	自転車の 自転車の 車車の 車車の 車車の 車車の 車車の 車車の 車車の	放置 東本車の撤去車の撤去車の管理 行政関与の必 車場の管理 行政関与の必 本本を行う 上 監禁去をがして 放置 なが、 放置 なが、 に かったため、 に 回
評価	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前方 対容	・対・要(・果 信・コ率るよと能 今(一示性 状未) 一下大き 一下大き 一下大き 一下大き 大き して にっぽん しょう	見ぶしては、見があり、執いまで、や連い上では、見いまで、というでは、表で、というで、というで、というで、というで、は、ないで、というでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	事 ズるのか str 面き 地影 可) 後長 内里	の年 (世界) (世界) (世界) (世界) (世界) (世界) (世界) (世界)	実 必 おい 有 自町 効 放要 (福車心院 車に、実別しつの施 要 けと 効 転的 率 置と □島はにし は、自 施貼警で内 性 る考 性 車な 的 が考 □島はにし は、自 施付警で落 が がえ が 直撤 ま 彡え ご覧値ない 全置耳 にに告え	高い	放置自動型車の撤駐車を制度を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	放去車 置及場 必 環 有 車 を あ な の で は に さ 中 別 の の で の の の の の の の の の の の の の	の 車 低 保 低 すう は な	自転車の 自転車の 管すする ま、 転車 の 車車を車車でする ま、 も 車車 の 車車を車を車がいる でする を車の かいる を車の 数が 車及 である がいた。	放置 車車車 を 車車 車
評価 改善状	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前方 対容	・対・要(・果 信・コ率るよと能 今(一示性 状未) 一下大き 一下大き 一下大き 一下大き 大き して にっぽん しょう	見ぶしては、見があり、執いまで、や連い上では、見いまで、というでは、表で、というで、というで、というで、というで、は、ないで、というでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	事 ズるのか str 面き 地影 可) 後長 内里	の	実 必 おい 有 自画 効 放要 (福車心続 車に、実)しいあん た 関 けと 効 転的 率 置と □島はにし は、自 施比警でたり 性 る考 性 車な 的 が考 □島はにし は放転 済付警でり が がえ が す撤 す ジえ 改隆体放い 全置車 にに告えの	高い	放置自動車の撤駐車を制度を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	放去車 U U I Style I St	の 車 低 呆 低 すき は な マコ なる と目考 未 ご 改反 撤駐 い 特 い たまい 放 継 いく 縮転え 実で 置戸 放去車 に に。 自 [め置 しにす。 置 転前	自	放去車 車の撤駐車の撤駐車の管理

事剂	务事 業 名	市民後見	見推進事業					整理No.	59
所	属 名	部 福祉	· i γ··	課 高齢者福	补 課	記入者	成野 克	内線	432
				4.1			,,		102
上 13	立 施 策 名	分野 健康	·福祉、安全·安	い 中柱 局節	者福祉の充実	小柱	地域福祉。	どの連携	
	事業開始	年度 平成	27 年度	15 15 . 1 A 45	老人福祉法				
	車業级フ	年度 令和	年度	根拠法令等	知的障害者福祉	注 特神伊	体及が特別	陪宝老短为	した思する法律
	尹未於」	十戊 下仙							11に関りる伝作
	対	身 象	□高齢	百	□個人 □世帯		全ての人	✓ その他	
	(誰、何を対	対象としている	5か) (具体的に)	20歳以上の市	内在住、在勤、在	E学者			
	日垣(計算	e たじの トi	うな状態にするた	- めに出該重業	たたっているか	目体的な	日 堙 / 粉 / 适) ナンビ)	
			· - · · · -						たまれるかと
			プログログログ できます。 グロス かんり かんり かんり かんしゅう アイス かんり アイス アイス かんりゅう アイス						
	います。	とのように又	援するため、後	兄寺の担い十つ	こして印氏仮兄ノ	い食成及	い週別な行	5期を117だ	-8007又抜を11
١.	, 0	/ / I - -							
事			・活動内容など、						
			座実施と市民後り						
務			援を行います。		,500千円でしただ	が、研修等に	に使う講師	謝金につい	いて執行残を減
l _	額したため	り、1,440千	・円に減額補正し	、ています。)					
事		区	分	単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度
ΑЦЬ		_	,,		実績(決算)	計画(予	算) 実	績(決算)	計画(予算)
業	指標①	市民後見	人養成講座受講	者 人	15		15	12	
_	指標②	市民谷日	人候補者登録数	· 人	10		9	8	9
の	1日1示仏	叩以夜兄	八大冊石豆虾剱		10		IJ	0	9
概	指標③			人					
似			令和2年度に実施し	した基礎編を修了	した方を対象に、実	践編を実施し	ました。12名	が受講し、お	おむね目標を達成
要	指標に対す	する達成度	しました。また、令和		を終える市民後見人	、候補者につい	ハても、8名全	:員が登録を更	更新をし、おおむね
女	①	古 业 :	目標を達成しました 		1 170	f	1 440	1 440	000
	総 ①	事業		千円	1,173		1,440	1,440	960
	事財		国県支出金・その		527		701	504	542
	-110	一般財源		千円	646		739	936	418
	費職	員 数		人	0.30	1	0.30	0.30	0.30
	· 2	人件費	j	千円	1,490	1	1,490	1,490	1,490
	ス	総事業	費 ①+②	千円	2,663	2	2,930	2,930	2,450
	F				市民後見人養成				フォローアップ、成
	把	重業	の年度別実施内	3 宏	講座(基礎編)、	講座(実践編			年後見センター、
	握	7 ~	07十及加久)地下	3.10.	フォローアップ				成年後見相談会
			☑ 必要性		 :討の余地あり	年後見センタ □ 必要性が		1センター	
	(着眼		【理由】	こが同い 口仮	可仍未地的力	□ 必女 压//·	12501		
	少 · 市民	ミニーズに		加加萨宝老	生 地 医 字 老 笠 σ	7. 大工体内分子 4.	カオーハか	十ぶ卍年を	火 日 坐□ 広 ナ、田 沁
			認知症高齢者、		桐仲障舌有 寺り 安心して暮らせる				
		はあるか							まり。また、七 📗
	メエ			加密宝老短加进	おとい 古民谷	日1の呑成	・ 乃ァバ洋 田コ	主業の宝梅	
		ເຯ໙໑ຑ		力障害者福祉法	により、市民後	見人の育成	及び活用	事業の実施	主体は、市にな
		I ຯ ໖໑ຑ,	人福祉法、知的			見人の育成 □ 有効性が		事業の実施	
	右 (着眼	(点)	人福祉法、知的 いませ ☑ 有効性 【理由】	が高い □高	める余地あり	□ 有効性が	低い		主体は、市にな
—	付 动·目的	見点) かとした効果	人福祉法、知的 のまま 図有効性 【理由】 認知症高齢者や	が高い □高 一人暮らし高齢;	める余地あり 者の増加に伴い、	□ 有効性が 成年後見制	低い 度の必要性	は一層高まり	主体は、市になり、その需要はさら
_	分 分 付 数	見点) かとした効果	人福祉法、知的 のます 図有効性 【理由】 認知症高齢者や に見込まれます。	が高い □ 高 一人暮らし高齢 そのため、弁護	める余地あり 者の増加に伴い、 士等の専門職の第	□ 有効性が 成年後見制 第三者後見人	低い 度の必要性 、が足りなくな	は一層高まり	主体は、市にな)、その需要はさら 高されている中
一	付 动·目的	見点) かとした効果	人福祉法、知的 かます 夕有効性 【理由】 認知症高齢者や に見込まれます。 で、専門職後見ノ	が高い □ 高 一人暮らし高齢 そのため、弁護 人以外の市民後	める余地あり 者の増加に伴い、 士等の専門職の第 見人の養成、支援	□ 有効性が 成年後見制 第三者後見人	低い 度の必要性 、が足りなくな	は一層高まり	主体は、市にな)、その需要はさら 高されている中
	対はあた性	見点) ひとした効果 るか	人福祉法、知的 のます 図有効性 【理由】 認知症高齢者や に見込まれます。	が高い □高 一人暮らし高齢 そのため、弁護 人以外の市民後 と図るために有交	める余地あり 者の増加に伴い、 士等の専門職の第 見人の養成、支援 か性があります。	□ 有効性が 成年後見制/ 成三者後見人 体制を構築	低い 度の必要性 、が足りなくな することは、	は一層高まり	主体は、市にな)、その需要はさら 高されている中
次評	有・目的はあった。	見点) りとした効果 るか ^{点)}	人福祉法、知的 かます 夕有効性 【理由】 認知症高齢者や に見込まれます。 で、専門職後見ノ	が高い □高 一人暮らし高齢 そのため、弁護 人以外の市民後 と図るために有郊	める余地あり 者の増加に伴い、 士等の専門職の第 見人の養成、支援	□ 有効性が 成年後見制 第三者後見人	低い 度の必要性 、が足りなくな することは、	は一層高まり	主体は、市にな)、その需要はさら 高されている中
	有効性 ・目的 ・結構を ・満眼が	見点) 対とした効果 るか 点) 、業務面等効	人福祉法、知的 図有効性 【理由】 認知症高齢者やに見込まれます。 で、専門職後見り 促進と権利擁護を 図効率的	が高い □高 一人暮らし高齢 そのため、弁護 人以外の市民後 と図るために有郊	める余地あり 者の増加に伴い、 士等の専門職の第 見人の養成、支援 か性があります。	□ 有効性が 成年後見制/ 成三者後見人 体制を構築	低い 度の必要性 、が足りなくな することは、	は一層高まり	主体は、市にな)、その需要はさら 高されている中
	有効性 効率 が 対率	見点) かとした効果 るか 点) 、業務面等効 執行できてい	人福祉法、知的 のます 図有効性 【理由】 認知症高齢者やにで、専門職利維護を で、専門職利維護を 図効率的 【理由】 国の実施要綱に	が高い □高 一人暮らし高齢 そのため、弁護 人以外の市民後 と図るために有交 である □高 おいて、本事業/	める余地あり 者の増加に伴い、 士等の専門職の第 見人の養成、支援 別性があります。 める余地あり は適切な団体に委	□ 有効性が 成年後見制 第三者後見人 体制を構築 □ 効率的で 託できるとさ	低い 度の必要性、が足りなくだすることは、 はない れているたる	は一層高まりなることが指摘市民の成年行の成年行め、市民後見	主体は、市にな)、その需要はさら 高されている中 炎見制度の利用 推進事業業務を
評	・ は 第二率の民間 が 対 率性	 る点) なか 点) 、業務面等等かい 執行できてい 委託や他事業 	人福祉法、知的 の主命 図有効性 【理由】 認知症高齢者や。 で、専門職後見力 促進と権利擁護を 図効率的 【理由】 国の実施更の 、選別の 、関連の 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	が高い □高 一人暮らし高齢 そのため、中氏後 人以外の市民後 と図るために有交 である □高 おいて、本事業/ をしている社会	める余地あり 者の増加に伴い、 士等の専門職の等 見人の養成、支援 か性があります。 める余地あり は適切な団体に委 国社協議会に委託	□ 有効性が 成年後見制 第三者後見人 体制を構築 □ 効率的で 託できるとさ	低い 度の必要性、が足りなくだすることは、 はない れているたる	は一層高まりなることが指摘市民の成年行の成年行め、市民後見	主体は、市にな)、その需要はさら 高されている中 炎見制度の利用 推進事業業務を
評	・ は 第二率の民間 が 対 率性	見点) かとした効果 るか 点) 、業務面等効 執行できてい	人福祉法、知的 のます 図有効性 【理由】 認知症高齢者やにで、専門職利維護を で、専門職利維護を 図効率的 【理由】 国の実施要綱に	が高い □高 一人暮らし高齢 そのため、中氏後 人以外の市民後 と図るために有交 である □高 おいて、本事業/ をしている社会	める余地あり 者の増加に伴い、 士等の専門職の等 見人の養成、支援 か性があります。 める余地あり は適切な団体に委 国社協議会に委託	□ 有効性が 成年後見制 第三者後見人 体制を構築 □ 効率的で 託できるとさ	低い 度の必要性、が足りなくだすることは、 はない れているたる	は一層高まりなることが指摘市民の成年行の成年行め、市民後見	主体は、市にな)、その需要はさら 高されている中 炎見制度の利用 推進事業業務を
評	有効性 効率性 ・ は 第二率の民の間続	 る点) なか 点) 、業務面等等かい 執行できてい 委託や他事業 	人福祉法、知的 の主命 図有効性 【理由】 認知症高齢者で。 で、専門職後見力 促進と権利擁護を 図効率的 【理由】 国の実施見の後見の 、要的 、関連は 、関連は 、関連は 、関連は 、関連に 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	が高い □高 一人暮らし高齢: そのため、中護 人以外の市民後を図るために有家 である □高 おいて、本事業/ をしている社会ね で効率的である	める余地あり 者の増加に伴い、 士等の専門職の第 見人の養成、支援 が性があります。 める余地あり は適切な団体に委託 は強議会に委託 と考えられます。	□ 有効性が 成年後見制 第三者後見人 体制を構築 □ 効率的で 託できるとさ しています。	低い 度の必要性、が足りなくだってることは、 はない れているため 法人後見と	は一層高まりなることが指摘市民の成年行の成年行り、市民後見の成年行り、市民後見人の	主体は、市にな)、その需要はさら 高されている中 後見制度の利用 推進事業業務を の養成を一体的
評	有効性 効率性 ・ は 第二率の民の間続	 る点) なか 点) 、業務面等等かい 執行できてい 委託や他事業 	人福祉法、知的 のます 「夕有効性 【理由】 認知症患れ後患の で、進と権利擁護を 「夕効率的 【理由】 国の実見見が 国の後見が に選用をすること 見直し(「夕」	が高い □高 一人暮らし高齢。 そのため、市後 と図るために有す。 である □高 おいて、本事業に をしている社会なで効率的である 改善・効率化 [める余地あり 者の増加に伴い、 士等の専門職の等 見人の養成、支援 か性があります。 める余地あり は適切な団体に委 国社協議会に委託	□ 有効性が 成年後見制 第三者後見人 体制を構築 □ 効率的で 託できるとさ しています。	低い 度の必要性、が足りなくだってることは、 はない れているため 法人後見と	は一層高まりなることが指摘市民の成年行の成年行り、市民後見の成年行り、市民後見人の	主体は、市にな)、その需要はさら 高されている中 後見制度の利用 推進事業業務を の養成を一体的
評	日効性 効率性 総ポープ 対応 関ス的が間続か	 る点) なか 点) 、業務面等等かい 執行できてい 委託や他事業 	人福祉法、知的 「知知性」 「知知性」 「知知知知知知知知知知知知知知知, 「知知知知知知知知知知知知知知知知知知	が高い □高 一人暮らし高齢 そのため、市は と図るために である □ 高 おいて、本 をしているで さいているで さいである おいているで なき・効率化 (ブタット)	める余地あり 者の増加に伴い、 士等の専門職の 見人の参ります。 り性があります。 める余地あり は適切な団体に委託 と考えられます。 「統合 「	□有効性が 成年後見制 第三者後見人 体制を構築 □効率的で 託できるとさ しています。	低い 度の必要性、が足りなくな、 することは、 はない れているたと 、 、 、 、 はない	は一層高まり よることが指指 市民の成年行 か、市民後見 か、市民後見人の 終了 □休	主体は、市にな)、その需要はさら 高されている中 後見制度の利用 推進事業業務を の養成を一体的 止 □廃止
評	有効性 効率性 総合評・は 第二率る と能 今改	見点) 力とした効果 点) 、業務面等等効 、、業務できて、 執行できて、業 委託や他事で 会・連携が可	人福祉法、知的 「知知性」 「知知性」 「知知」 「知述 「知述 「知述 「如述 「如述 「知述 「如述 「如述 「知述 「知述 「知述 「知述 「知述	が高い 一人暮らしまきという。 一人のため、市に 一人の外のからのである である はいているである おいているである おいているであるで効率化 洋をで効率化 洋後見センター)	める余地あり 者の増加に伴い、 士等の専成、す。 見人があります。 める余地あり は適切な強強に委託 と考えられます。 「ないないないない。」 ないでである。 はいででは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、こ	□有効性が 成年後見見制 第三者を構築・ □効率的でい 記しています。 □拡充 し、成年 変更し、成年	低い 度の必要性があることは、 はない れているたと 1 継続 □ F後見センタ	は一層高まりなることが指指市民の成年行か、市民後見人の大田後見人の機能である。	主体は、市にな)、その需要はさら 高されている中 後見制度の利用 推進事業業務を の養成を一体的 止 □廃止 実を図るととも
評	有効性 効率性 総合 場よりが間続 今後	見点) 力とした効果 点)、業務であるか 点)、業務である。 、業務でもでいる。 、業務でできている。 、業額にいきでいる。 では、までは、までは、までは、までは、までは、までは、までは、までは、までは、ま	人福祉法、 有効性 【理由】 高にで促 理由】 高い で促 理由】 高い で促 理 の	が高い □高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 点	める余地あり 者の増加に伴い、 士等の専門職の 見人の参ります。 り性があります。 める余地あり は適切な団体に委託 と考えられます。 「統合 「	□ 有効性が 成年後後見見人 第三十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	低い 度の必要性ない。 はない はない れ法 継続 してい後 見成年を たい として	は一層高まり よることが指指 市民の成年行 か、市民後見人の 終了	主体は、市にな 、その需要はさら 高されている中 後見制度の利用 ・推進事業業務を の養成を一体的 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
評	有効性 効率性 総合評・は 第二率る と能 今改	見点) 力とした効果 点)、業務であるか 点)、業務である。 、業務でもでいる。 、業務でできている。 、業額にいきでいる。 では、までは、までは、までは、までは、までは、までは、までは、までは、までは、ま	人福祉法、 有効性 「図有効性 「理由」 高にで促進 で促進 の で で で で で で で で で で で で で で で で で で	が高い □高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 点	める余地あり 者の増加に伴い、 士等の専成、す。 見人があります。 める余地あり は適切談会はます。 は近数になる。 は近数になる。 はいるないでは、ないでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	□ 有効性が 成年後後見見人 第三十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	低い 度の必要性ない。 はない はない れ法 継続 してい後 見成年を たい として	は一層高まり よることが指指 市民の成年行 か、市民後見人の 終了	主体は、市にな 、その需要はさら 高されている中 後見制度の利用 ・推進事業業務を の養成を一体的 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
評	有効性 効率性 総合評価 一一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	(点)(点)(点)(表)(表)(表)(表)(本)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)(表)	人福祉法、 有効性 「図有効性 「理由」 高にで促進 で促進 の で で で で で で で で で で で で で で で で で で	が高い □高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 点	める余地あり 者の増加に伴い、 士等の専成、す。 見人があります。 める余地あり は適切談会はます。 は近数になる。 は近数になる。 はいるないでは、ないでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	□ 有効性が 成年後後見見人 第三十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	低い 度の必要性ない。 はない はない れ法 継続 してい後 見成年を たい として	は一層高まり よることが指指 市民の成年行 か、市民後見人の 終了	主体は、市にな 、その需要はさら 高されている中 後見制度の利用 ・推進事業業務を の養成を一体的 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
 評 価 	有効性 効率性 総合評・は 第二率る と能 今改	は、は、は、は、は、は、は、り、り、ります。りまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。<th>人福祉法、 有効性 「図有効性 「理由」 高にで促進 で促進 の で で で で で で で で で で で で で で で で で で</th><th>が高い □高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 点</th><th>める余地あり 者の増加に伴い、 士等の専成、す。 見人があります。 める余地あり は適切談会はます。 は近数になる。 は近数になる。 はいるないでは、ないでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は</th><th>□ 有効性が 成年後後見見人 第三十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十</th><th>低い 度の必要性ない。 はない はない れ法 継続 してい後 見成年を たい として として として として として として として として として として</th><th>は一層高まり よることが指指 市民の成年行 か、市民後見人の 終了</th><th>主体は、市にな 、その需要はさら 高されている中 後見制度の利用 ・推進事業業務を の養成を一体的 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</th>	人福祉法、 有効性 「図有効性 「理由」 高にで促進 で促進 の で で で で で で で で で で で で で で で で で で	が高い □高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 点	める余地あり 者の増加に伴い、 士等の専成、す。 見人があります。 める余地あり は適切談会はます。 は近数になる。 は近数になる。 はいるないでは、ないでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	□ 有効性が 成年後後見見人 第三十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	低い 度の必要性ない。 はない はない れ法 継続 してい後 見成年を たい として	は一層高まり よることが指指 市民の成年行 か、市民後見人の 終了	主体は、市にな 、その需要はさら 高されている中 後見制度の利用 ・推進事業業務を の養成を一体的 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
評 価 改	有効性 効率性 総合評価 前の 眼外の間統 今改 示のである。と能 今改 示している。	は、は、は、は、は、は、は、り、り、ります。りまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまず。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。からまずる。<th>人福士 ② 有効性 【理由】 高れる (型 中) 高いで促 (型 中) 高いので (型 地) で (型 地) で (型 地) で (型 地) を (型)</th><th>が高い □ 高 高・ 高・ 高・ 高・ 高・ 高・ 高・ 一人のため、 一人の外のからか である 本さいのかった。 本さいして本 である 本さである。 本である。 本で、 本で、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、</th><th>める余地あり 者の増加に伴い、 まつりでであります。 見人があります。 かる余地あり は通知議会れます。 は一般でである。 は一般では一。 は一般では一。 は一。 は一。 は一。 は一。 は一。 は一。 は一。 は一。 と一。 と一。 と一。 と一。 と一。 と一。 と一。 と一。 と一。 と</th><th>□ 有効性が 成年者後後構築 でいまするます ここ 拡 更まするます。</th><th>低い 度の必要性ない があることはない れ法 継続 □ を</th><th>は一層高まり は一層が指揮 か、市民の成年 を か、下民 を ア 一 機の で で で で で で で で で で で の で で で で の で で で で の に の に</th><th>主体は、市にな 、その需要はさら 高されている中 後見制度の利用 ・推進事業業務を の養成を一体的 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</th>	人福士 ② 有効性 【理由】 高れる (型 中) 高いで促 (型 中) 高いので (型 地) で (型 地) で (型 地) で (型 地) を (型)	が高い □ 高 高・ 高・ 高・ 高・ 高・ 高・ 高・ 一人のため、 一人の外のからか である 本さいのかった。 本さいして本 である 本さである。 本である。 本で、 本で、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、	める余地あり 者の増加に伴い、 まつりでであります。 見人があります。 かる余地あり は通知議会れます。 は一般でである。 は一般では一。 は一般では一。 は一。 は一。 は一。 は一。 は一。 は一。 は一。 は一。 と一。 と一。 と一。 と一。 と一。 と一。 と一。 と一。 と一。 と	□ 有効性が 成年者後後構築 でいまするます ここ 拡 更まするます。	低い 度の必要性ない があることはない れ法 継続 □ を	は一層高まり は一層が指揮 か、市民の成年 を か、下民 を ア 一 機の で で で で で で で で で で で の で で で で の で で で で の に の に	主体は、市にな 、その需要はさら 高されている中 後見制度の利用 ・推進事業業務を の養成を一体的 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
評価 と と と と と と と と と と と と と と と と と と と	有効性 効率性 総合評価 前方 ・は	根点) 点) 点) 業務でで他がが 高) 業務でで他がが中地がでいた。 一方等) 一方等) 一方等) 一方等) 一方等) 一方等) 一方等) 一方等) 一方等) 一方等)	人福祉法、 有効性 「図有効性 「理由」 高にで促進 で促進 の で で で で で で で で で で で で で で で で で で	が高い □ 高 高い □ 高 幕らし、高 着い 高 ものため、市に □ 高 かっため □ 本 いしてある □ 本 るで か をで か な きで か な きで か な きで か な で あ る で い で り の で い の の の の の の の の の の の の の り の り の り の	める余地あり 者の増加に伴い、 まつりでであります。 見人があります。 かる余地あり は通知議会れます。 は一般でである。 は一般では一。 は一般では一。 は一。 は一。 は一。 は一。 は一。 は一。 は一。 は一。 と一。 と一。 と一。 と一。 と一。 と一。 と一。 と一。 と一。 と	□ 有効性が 成年者後後構築 でいまするます ここ 拡 更まするます。	低い 度の必要性ない。 はない はない れ法 継続 してい後 見成年を たい として	は一層高まり よることが指指 市民の成年行 か、市民後見人の 終了	主体は、市にな 、その需要はさら 高されている中 後見制度の利用 ・推進事業業務を の養成を一体的 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
評価	有効性 効率性 総合評価 前方 対e la	RALL た効果 A SAL	人福士 ② 有効性 【理由】 高れる (型 中) 高いで促 (型 中) 高いので (型 地) で (型 地) で (型 地) で (型 地) を (型)	が高い □ 高 高・ 高・ 高・ 高・ 高・ 高・ 高・ 一人のため、 一人の外のからか である 本さいのかった。 本さいして本 である 本さである。 本である。 本で、 本で、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、	める余地あり 者の増加に伴い、 まつりでであります。 見人があります。 かる余地あり は通知議会れます。 は一般でである。 は一般では一。 は一般では一。 は一。 は一。 は一。 は一。 は一。 は一。 は一。 は一。 と一。 と一。 と一。 と一。 と一。 と一。 と一。 と一。 と一。 と	□ 有効性が 成年者後後構築 でいまするます ここ 拡 更まするます。	低い 度の必要性ない があることはない れ法 継続 □ を	は一層高まり は一層が指揮 か、市民の成年 を か、下民 を ア 一 機の で で で で で で で で で で で の で で で で の で で で で の に の に	主体は、市にな 、その需要はさら 高されている中 後見制度の利用 ・推進事業業務を の養成を一体的 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

事系	务事	業名	老人	、クラ:	ブ活重	力支援事	業					整理No.	60
所	属	名	部	福祉	部		課	高齢者福	祉課	記入者	水村	健太郎 内線	432
 上 位	立施的	策名	分野	健康	•福祉	、安全•安	心口	中柱 高断	る者福祉の充実	小柱	高齢	者福祉サービス	の推進
	事業	開始	年度	昭和	45	年度			老人福祉法、	坂戸市補助	金等の	交付に関する規	見則
				令和		年度	根拠	法令等				支援事業補助金	
	, ,						者 □	障害者	□個人□世帯		□ 全ての		
	(誰、	文 何を対		象 している	か)	(具体的に)	単位を	老人クラフ	ー ブ、老人クラブi	— 事合会		_	
									美を行っている:		〕日樗(数値)など。)	
												活動へ参加する	ことにより、健康
	維持	•増進	が図	られま	す。								
	<u>ــــــــــــــــــــــــــــــــــــ</u>	in ===	/ T- //		\T =1	<u> </u>	- +L		L7 L U 17-4	7 /.	`		
事 									けるために何を で東業の健康維			贡盐. 六法重 类	なた中歩子ファも
務												貝臥・父孤事業。 です。令和3年度	等を実施するにあ ま当初予算は
事	6,023	3千円	でした	こが、幸	执行残	を減額した	たことに	こより、5,5	66千円となって	います。			
" 				区	分			単位	令和2年度		令和3		令和4年度
業	נו שוג	.			/,				実績(決算)	計画(予		実績(決算)	計画(予算)
၈			クラン					クラブ		.0	40	39	
		票②	会員	数				人	3,10	2	3,220	2,908	3,080
概	指標	∰3											
 要	指標	に対す	する達	成度					老人クラブが1 おいて減少傾向			ことから、クラブ教	数が1団体減少
^						り、云貝	奴も古			_		E E00	£ 007
	総事	財		業 費 財源(1		出金・その)他)	千円 千円	5,81 54		5,566 511	5,566 511	•
	業		一般		- / / /	. ш.ж. С ч.		千円	5,26	-	5,055	5,055	_
	費 •	職	員 梦	数				人	0.1)	0.10	0.10	0.10
	⊐	2		件 費				千円	49		497	497	
	スト		総	事 業	費	1)+2		千円	6,30		6,063	6,063	6,394 単位老人クラブ育
	· 把 握			事業	の年度	₹別実施戍	内容			成費、老人	クラブ	単位をパクノノ 育成費、老人クラブ連合会育成費	
	7/王					☑必要性	#が高い	\	建口云月灰質 食討の余地あり	一 必要性	-	建日云月	建口云 月 以 頁
	必	(着眼 •市長	えた) ユニー:	ズに	【理由		1.73 ID] V	L 12	(8100)(1200)		7 1250		
	要	対応	してい	るか	老人	クラブの会	員の	方は、各	種行事・事業に	熱心に取組	んでお	3り、高齢者の健	康増進の面か
			て関与 はある						。また、地域文語 対する期待が高			ービスとして、老	人グフブ か行り
					VC/23			_			_		
	有	(着眼			【理由	☑ 有効性 □】	こい向い		あめる余地あり	□ 有効性が	い仏い		
–	効	目的はある		≥効果	老人	クラブ活動				動等を行うこ	とで、雨	高齢者の健康増	進を図ることが
次	性	140)	9 <i>1</i> 1.		できる	ため、有	効性が	が高いと	考えます。				
^		=								-			
評	杰	(着眼. ・コスト	坐	面等効	【理由		ヷ゚゙ゟ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙る	✓ ह	らい かっぱん かい	□ 効率的で	ばない		
価	举	るか		200	老人社	福祉法に						ゞ担うべき領域Φ	
"	性	・民間との統	委託や 合・連携	他事業 隽が可	等に~	ついては見	以 政負	は担も考慮	彰しつつ、委託	等により事務	の効率	3化も見込まれま	きす。
		能か											
	総					直し〔□			□縮小 □統合	・□ 拡充)	☑ 継続	□終了 □休	:止 □廃止
	合		の方向			:名:福島 クラブ活動			身の生きがいっ	づくりや健康	増進に	必要であると共	に、地域で支え
	評 価	(改善	策等)					月待できると考え				, _ ,, ., .,
	Щ												
			た今後										
改	方向	性(改	大善 策	等)									
善状	钟序	44:10	(実施	巾		□実施法	育(中)		部実施 □検	討中	未実施	□ その他	
八 況			(夫 加 をの理										
			定等)										

事系	务事	業名	高齢	者生	きがい対策事	業					整理No.	61
所	属	名	部	福祉	部	課 高齢	者福	祉課	記入者	古内	秀美 内線	432
上位	1 施 5	策 名	分野	健康	·福祉、安全·安	心 中柱	生き	がいづくりの支援	小柱	参加機	会と交流活動	の充実
	事業	開始	年度	平成	年度	根拠法令	> 笙	老人福祉法、坂	戸市補助	金等の交	で付に関する麸	見則、
	事業	終了	年度	令和	年度	似观众) 1)	坂戸市ふれあい	入浴券交	付事業第	実施要綱	
	,-,,	*		象				□個人 □世帯	□団体	全ての人	人 □その他	
			対象とし		(50)7-43107							
								きを行っているか たきりにさせない				
	17 尹	未切	天心な	生地し	(同即日·分)健康	は日底し	′、′仗/	1597159 6121.	(140/4V)	旭州切り	土地を囚りより	0
事	事業	概要	(取組	内容	活動内容など、	目的を遺	を成す	るために何をし	ているか。)		
	高齢	者の生	ヒきがい	ハづく)と健康の増進を国	図るとともに	1、相2	互の友愛を深める?	ため、ゲート	ボール大		
務								者の外出を促進す 〈感染症拡大防止〈				
事					れあい入浴券利	用者数につ	ついて	は想定より少なか・ 令和2年度			に減額補正して	
業				区	分	単	位	実績(決算)	計画(予		- 反 実績(決算)	計画(予算)
^	指標	# 1	各種	事業	参加者数	J		9		11	11	833
の	指標	#2	ふれ	あいフ	人浴事業申請者	数		1,628		3,500	1,590	3,500
概	指標	#3										
要	指標	1.74	する達					i止のため、ゲートz i大幅に少なくなっ				
 		_			外出を控える傾向]があった7	ため、	申請者数が前年月	度を下回って	こおります	n	
	総事	① B±	•	業費	~	千 他) 千		1,503		1,981	1,648	2,790
	業	財 源	行正! 一般		国県支出金・その	他) 干		1,503		1,981	1,648	2,790
	費		員 数				(0.30		0.30	0.30	0.30
	_	2	人(千		1,490		1,490	1,490	·
	スト		総	事 業	費 ①+②	千		2,993 各事業の準備等、		3,471 儘空 久	3,138	·
	把握			事業	の年度別実施内]容		るれあい入浴券の 交付		俗券の ふ		
		(着眼	1年/		☑ 必要性	· が高い	□検	討の余地あり	□必要性が			2177777
	必	•市瓦	;— 二 5	ズに	[理由]	w.1 ±+ 3.1.	π². /er	H.) 2520	→	**** ~ 	ta a a vandul	, 1 - 1 , 1 - 1 > .1-
								且んでおり、高齢 は今後利用者の				
			はある		業であると考え		J- //C1	G 7 (C) 13/13 (1 · · ·	174W 70%	_0<,, 0<,	10) (1 1 2 1	> 10 Int 4
					☑ 有効性	が高い	□高	ある余地あり	□有効性が	低い		
	Ή	(着眼 •目的	艮点) りとした	-効果	【理由】	て 古 歩 七	<i>∞ b</i> ±.1	中国がよう 回り よ	上面云).1. 115 1	サッシェッ 用	ナ 1 月 44 - 1 - ファ 1.
_	効 性	はあ		-,,,,,,,				康増進を図り、ま るため、有効性が			朱の発表の場	を提供すること
次												
評		(着眼		— <i>h/r</i> →L	☑ 効率的	である	□高	がる余地あり	□ 効率的で	はない		
l	効	率的に	、業務に 執行で	自寺郊 きてい	【理由】	*1 +4 ++	44.2	中帯の海岸を図	ナルカナ	<u>.</u>		
価	率 性	•民間	委託や何		関係団体と連携	らし、幼学	ዚ ገ ∖℃⊹	事業の運営を図	つ(おりよ)	9 0		
		との統 能か	:合∙連掛	表が 可								
	4/1				見直し(🔲	改善•効率	化	□縮小 ☑ 統合[□拡充)	□継続	□終了 □休	:止 □廃止
	総合	今後	の方向	性	【課長名:福島	_	#1		노노 / 그 ㅋㅋ	e »h. rt: al	トンロチ かいりょくい	と、本点細菌につ
	評		策等	\				oいては、新型コロ [、] 1年度より長寿の祝				
	価				から高齢者生きか				-			
	前回	示した	 た今後	きの								
改			女善策									
善	41 4	ᄺ	/ [-	□実施済	·(中) 【	<u></u>	部実施 □検討	ф 🗆	未実施	□その他	
状況			(実施 施の理									
"			定等)									

事系	务事 業	名	老人衫	畐祉·	センター	·運営管理	事業				整理No.	62
所	属	名	部福	事祉:	部	課	高齢者福	祉課	記入者	阿部敬太	内線	433
上位	立施 策	名分	分野 倭	ま康・	福祉、安	全·安心	中柱 生き	がいづくりの支	援 小柱	参加機会。	と交流活動の	充実
	事業開]始年	₽度 꾁	P成	18	年度根均	処法令等	坂戸市公の施	設に係る指	定管理者の	指定手続等	に関する条例
	事業終	圣 了年	F度 令	內和		年度	延 仏 T 寺	坂戸市老人福	祉センター	の設置及び	管理に関する	る条例
		対	象	-				□個人 □世帯		□全ての人	□その他	
								センターを利用				
								きを行っているか 理者制度を利				ないサービスの
	向上を			711		'目生医百'	在、1日尺日	生日 即反で小	用して大旭	9 2000	ソ、同国四石田	
事 								るために何を			、、、 ケギ	Ф [В 3- ТВ (П)
務								て、健康の増進 コロナウイルス原				
 事	どから	, 41,	172千	円に	減額補工	Eしていま	す。)					
			×	<u> </u>	分		単位	令和2年度 実績(決算)	計画(予	令和3年度		令和4年度 計画(予算)
業	指標(1) ‡	台定管	押書	子の導入		施設数		1 四 (子 2	⁷ 异/ 夫 2	績(決算) 2	計画(丁昇) 2
の	指標(刊用者		1.545		人	13,25		13,000	18,458	18,000
概	指標(3713 E	1 30			,	10,20		10,000	10, 100	10,000
要	指標に	対す	る達成	き								
	440	_	事 業			11 >	千円	38,38	0 4	11,172	32,413	50,647
			₹定財 −般財		国県支出会	を・その他)	千円 千円	38,38	n /	11,172	32,413	50,647
	費崩		数数	1 ///			人	0.30		0.30	0.30	0.30
		2 /	人件				千円	1,49		1,490	1,490	1,490
	ス ト		総事	業	費 ①-	F(2)	千円	39,87	0 4	12,662	33,903	52,137
	把 握		事	業(の年度別	実施内容						
		着眼兒	Ε١		V	一	iv	 :討の余地あり	□ 必要性/	 が低い		
	必 ·ī	市民	ニーズ	1=	【理由】							
								延伸を図ること 里運営について				
			あるか			VIШ IШ С V	, ., <u>.</u> ,	<u> </u>) QCC1 03	X 1 C 7/25	, 0
	,.	¥	L		V	有効性が高	い □高	める余地あり	□ 有効性が	が低い		
l_		着眼点 目的と	点) とした交		【理由】 版百古》	an as — L	けい ンター	が管理運営を	行っておりま	ヒナーフタット	カナ利田老し	の年齢が近い
	性性	ある	か					か自生達者できめ細かなサー			/ は小川田田 こい	77千四17770
次												
評	_	§眼点 コスト、	坐	等効」		効率的である	る □高	める余地あり	□ 効率的で	ごはない		
価	効率	的に対	行でき	てい	【理由】 指定管理	見者制度とし	して、シルノ	バー人材センタ	一が施設の)管理•運営	を行い、サー	ビスの向上に
""	性	民間委	託や他 ³ ・連携が	事業 バ可	努めてま	いりました。	。今後にお	いても指定管理	里者制度を終	継続して行く	くことが妥当と	考えます。
	能	か				/ -						
	総					.(□改善 :福島 洋;	-	□縮小 □統合	□ 拡充)	☑ 継続	終了 □ 休止	」 □ 廃止
		後の 改善領	方向性 第等)	生	高齢化が	進む中、	老人福祉セ	ンターの役割		重要となって	まいります。	今後において
	価	~ = 2	₹ ¶/	7	も老人福	祉センター	-の活用促	進に努めてまい	ります。			
	*	1 4	A.44 ·	Φ.								
⊒ F-	前回示 方向性											
改善					Г]実施済(中) =	部実施 □検	討中	未実施	□その他	
状	対応状				_							
況	容、未 今後の			д,								

事系	条事 業 名	要介護高		事業	~			整理No.	63
,, 所	属名	部福祉		課 高齢者福	补課	記入者	古内 秀美	 内線	432
			•福祉、安全•安/					上サービスの	
- -		年度 平成			坂戸市緊急時道				71EXE
		年度 令和		根拠法令等	坂戸市高齢者記				
	争未於亅	平及 令和	年度 ☑ 高齢者	医	圾戶川商即有前□個人 □世帯		ーロ クサッ 全ての人	来夫畑安神 □その他	· (
	•	対 象 対象としている					主(の人		
			(30)11431-7		る介護が必要なる			b. 18 \	
					業を行っているか 是供することにより				今の強促 介
					ではすることにより				
	実施しま			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		14 14 14 14 14	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		, ,,,,
事	事業概要	(取組内容	・活動内容など、	目的を達成す	けるために何をし	ているか。)			
74					高齢者移送支援サー				
 務					れあい収集事業、I 引者が増加したため				
事					かったため、3月補	正において13	.980千円に		ています。)
علاد		区	分	単位	令和2年度 実績(決算)		↑和3年度 ፲) 宝績	責(決算)	令和4年度 計画(予算)
業	指標①	事業数		事業	9	пыстя	F7 文 明	9	10
の	指標②	利用者総	*\	人	580		600	631	2,200
1011		作1月1日 心	女义.	X	380		000	031	۵,200
棋	指標③		木重業は0重業が7	こなり こりごりょ	利用対象者が異なる	ため指揮け合か	木の利田老料	アテーキー た	利田老粉にへ
要	指標に対	する達成度	いて、緊急時通報シ	ノステム事業の利]用者が想定より少な	:くなりましたが、	移送支援サ	ービス事業・	紙おむつ等給付
	総①	事業		美事業の利用者だ 千円	が増加したため、目標 12,494		<u>-</u> . 980	12,545	15,623
	事財		へ 国県支出金・その [、]		6,075		935	3,760	5,011
	業源	一般財源		千円	6,419	9,	045	8,785	10,612
	費 · 職	員 数		人	1.00	1	.00	1.00	1.00
		人件费		千円	5,991	· ·	991	5,991	5,991
	スト	総事業	費 ①+②	千円	18,485 全9事業の実施		971	18,536	21,614
	把 握	事業	の年度別実施内	容	王3甲末0天旭	主が来の大川	他 <u>土</u> りずっ	米の天旭 ・	土10 事未の天旭
			☑ 必要性	が高い 口 橋	食討の余地あり	──必要性が促	FI.\		
	(着即 必 ・市員	^{艮点)} ピニーズに			C1107/(1207)		30		
	要 対応	しているか	在宅生活をする		よ高齢者等とその				
		対関与の必 はあるか	援もしています。		税世帯を対象とす す	る事業や扶	助費からの	り支出もある	るため、行政の
	J II	1000 070	<u></u>						
	左 (着即	見点)	☑ 有効性: 【理由】	か高い □ 層	弱める余地あり	□ 有効性が低	£()		
 	か・目的	りとした効果		で護者等の生	活の質の向上や流	経済的負担の	の軽減、そ	の介護者の)精神的•経済
١.,	性はあ	るか			るため、有効性の	の高い事業で	であり、今後	€、高齢化≥	をに比例して利
 次			用者の増加が見	込まれます。					
評	(着眼	点) 、業務面等効	☑ 効率的	である □ 高	らめる余地あり	□ 効率的では	ない		
/ =		執行できてい	【理由】 0.重業由7重業2	な民間に 禾託	することにより、亥	h家的にサー	-ビスが掲出	せさわ てい	⊧ -}-
 価	性 ·民間	委託や他事業	3年末17年末6	2以同(C女正	7 DECKERY, X	0 -1 11(⊂)			↓ 9 0
	能か	合・連携が可							
	4/1		見直し(口	改善•効率化	□縮小 ☑ 統合[□拡充) □	】継続 □ 紀	終了 🗌 休」	上 □廃止
	総 合 今後	の方向性	【課長名:福島		ا علم المالية	land and the arm	- ^ -++		· 155.)
		等策等)			高齢者人口が増加 受であると考えます				
	価				長高齢者生活支援			111 TK/V 1.	ナション
	前同ニー	た公公の							
74	前回示し 方向性(d								
改善善			☑ 実施済	:(由)	部実施 □ 検討	中 口未	·宝旃 「	□その他	
状	対応状況		凶 大心겨	\T/ 山	品 人名				
況	容、未実施	施の理由、 定等)							
	1201	~ ¬ √ /							

事系	务事 業 名	高齢者福	証サービス事業					整理No.	64
所	属 名	部 福祉	部課	高齢者福	祉課	記入者 古	内 秀美	内線	432
上位	立施 策 名	分野 健康	·福祉、安全·安心	中柱 高齢	者福祉の充実	小柱 高	齢者福祉	サービスの)推進
	事業開始	年度 平成	18 年度	+ ^ #					
	事業終了	年度 令和	板拠 年度	法令等					
	Ż.	寸 象			□個人□世帯			□その他	
		対象としている	るか) (具体的に) ①長! 交付	寿の祝い	(99歳)。②高齢	者救急情報力	ード配布。	。③市民バ	ス特別乗車証
	目標(対象	東をどのよう	うな状態にするために	当該事業	美を行っているか	、具体的な目	標(数値)	など。)	
	全ての高齢	令者がいつま	でも健康で、生きがいを	対ち続け	ながら生活できる。	よう支援します。			
 事	事業概要	(取組内容	・活動内容など、目的	を達成す	tるために何をし	ているか。)			
			歳(白寿)の方の誕生祝				记布(救急時	寺に必要な や	青報を記入し、1
務			1枚は携帯することで救 別乗車証交付(70 歳以上						
事			が年度途中で減少した		千円に減額補正し	ています。)		りつ尹未力。	
ᄽ		区	分	単位	令和2年度 実績(決算)		和3年度) 宝績	(決算)	令和4年度 計画(予算)
業	指標①	実施事業	数	事業	3		3	3	11111111
の	指標②	実施した対	対象者・配布者	人	1,322	1,1	37	1.133	
概	指標③	発行延人		人	1,164	•		1.116	
11476		×=117, =	長寿の祝いは対象となる	方に直接確		であり、高齢者救	急情報カー	-, ド配布につい	いては、対象者の
要	指標に対		方に直接郵送による配布 行延人数は利用意向を料	をしている	ため、達成できてい	ると考えられます	。また、市民	バス特別乗	車証交付に係る発
	総①	事 業 3		千円	425		.04	373	(19402)
	事財業源		国県支出金・その他)	千円					
	弗 ""	一般財源		千円	425		.04	373	0
		員 数 人 件 費	.	人 千円	0.20 993		20 193	0.20 993	0
	ス	総事業		千円	1,418			1,366	0
	ト 把				長寿の祝い、救急	長寿の祝い、救	急長寿の	兄い、救急	
	握	争某	の年度別実施内容		情報カード、市民 バス特別乗車証				
	(着則	(点)	☑ 必要性が高し	\	食討の余地あり	□必要性が低	い		
	必 市	ミニーズに	【理由】 長寿の祝いは99歳に	- ts> 20 to	ナナが田とりテナッケ	コハナフ古光っ	3/三元をみぎ目目	リトナッツi	再件ぶより子
			す。高齢者救急情報						
	要性	はあるか	り、今後も継続してい	く必要が	あります。				
	/ 3 ¢ ni	- L\	☑ 有効性が高い	高□	あめる余地あり	□有効性が低い	۸,		
_	有 (着明	え点) りとした効果	【理由】	との字法。	ぶニタカルエナン	¥フロ+ の1~	マナーナ	t. 古樂之	北 名桂却 4.
	効はあ		長寿の祝いは高齢者ド配布事業は救急時					に、同断有	教念情報ガー
次				.,,,,,	. —				
評	(着眼		☑ 効率的である	□高	あめる余地あり	□効率的ではな	まい		
	郊 率的に	、業務面等効 二執行できてい	【理田】	00年)~4	12 by + 0 37 4	ロケナル本材	**********	マンマ 古男	4
価	率 るか 性・民間	委託や他事業	長寿の祝い事業は、ら、委託等には適され			日を印か但接	お祝いし	(いる事業	きじめることか
	·- との新 能か	合・連携が可			· · · · · · · · ·				
	6/1		見直し(□ 改善・	効率化	□縮小 ☑ 統合	□ 拡充) □ :	継続 🔲 🛭	冬了 🔲 休」	上 □廃止
	総 合 今後	の方向性	【課長名:福島 洋流		日本の知いし	+ >	壬士 元	古北人士、仏 さ	27) \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
	評 (改善	等等)	他事業と類似している移管し、救急情報						
	価		事業は他事業と統合						
	前回示し	<u></u>							
改	方向性(3								
善			□実施済(中)		部実施 □検討	中 日未乳	実施 [] その他	
状況	対応状況 容、未実力								
<i>//</i> L	今後の予								

事系	务事 業:	2 老人	\福祉	施設入所事:	業					整	理No.	65
所	属 :	名 部	福祉	部	課高	齢者福	並課	記入者	水村	健太郎	内線	432
 上 位	立施 策:	名 分野	健康	·福祉、安全·第	さい 中	柱 高齢	命者福祉の充実	小柱	高齢	者福祉サ	ービスの	の推進
	事業開	始年度	平成	年度			坂戸市老人福祉	上施設等の	入所領	等の措置に	こ関する	5規則
	事業終			年度	根拠法	长 令等	坂戸市老人保護				,,,,	2//2/(3
	子木സ		ווייים ו			宣害者	□個人□世帯		1 全て(その他	
	(誰、何	対 F対象と	象 している		OE 유니		齢者で、環境上					することが困難
					な万	عادلة الم	業を行っているか	目体的な	· 🗕 🟣 /	*** /古 \ <i>+</i> > し	.	
							ム等に措置し、心					10ます。
	,				- X , X -	, • .	7, 7, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1,	zi i carri		, <u>11,1</u>	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	4,50,70
事	事業概	要(取約	且内容	・活動内容など	:、目的を	達成す	けるために何をし	ているか。)			
務							養護老人ホーム等					
127	でしたか	、9月4	用止とし	. (措直人所对	心件数が	1兄込み	ょより多かったことし	こより、4,07	3十円(ご増観補Ⅱ	EUKV	います。)
事							令和2年度		令和3	生 由		令和4年度
業			区	分		単位	実績(決算)	計画(予		·牛皮 実績(決	:算)	計画(予算)
*	指標①	措置	是人数			人	5		3		10	14
の	指標②)										
概	指標③											
114/1	10112	,										
要	指標に対	対する達	虚成度									
	総 ①	事	業	\$		千円	1,997		4,073		3,327	5,433
	事助	特定	財源(国県支出金・その	の他)	千円	1,250		574		1,709	
	業調費品					千円	747		3,499		1,618	5,433
	• 堰					人	0.30		0.30		0.30	0.30
	コ ② ス		件費			千円	1,490		1,490		1,490	1,490
	<u>}</u>	祁心	事 業	費 ①+②		千円	3,487 高齢者の養護老	高齢者の養	5,563 護老	高齢者の養	4,817 護老	6,923 高齢者の養護老
	把 握		事業	の年度別実施	内容		人ホーム等への措			人ホーム等 置		人ホーム等への措 置
				口心画	性が高い		<u>単</u> >計の合地をD	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	:/Œ1.\	<u> E.</u>		<u>H.</u>
	(着 必 • †	眼点)	ブー	【理由】	エル・同い	19	食討の余地あり	□ 必 安注//	,177C,			
	要対	むしてい	るか		の規定に	こ基づく	くため、行政の関	与は必要で	です。			
	性 • 行											
	安	生はある	יעפ									
	 - (差	眼点)			性が高い	高	らいる余地あり これである。	□有効性が	低い			
l _	/h · E	的とした	た効果	【理由】 晋倍上•怒泫	上の理由	で家庭	E で生活することだ	が困難か喜	齢考え	> 掛罟すど	ンレルナ	喜齢者自身
	性は	あるか					安定が図れ、高齢					
次												
評		眼点)		☑ 効率	的である	高	高める余地あり	□ 効率的で	はない			
	刘 率的	スト、業務 コに執行で	面等効できてい	【理由】		, 	11. W 1. 10		- }) haha	LL III 1. 2 - 1 . 1
価	一挙 るか	1		高齢者が心身 効率的です。	どもに安	定した	生活を送ることが	できるため	、養護	老人ホー	ム等へ	・措置することは
	エ との 能が	統合・建	携が可	<i>γ</i> η - μη (_{7 0}								
	,,,,,,			見直し(7改善∙効	率化	□縮小 □統合[□拡充)	ノ 継続	□終了	□⅍	止 □廃止
	総	6 - 1 -	- 1.1	【課長名:福島		T-10			<u>▼</u>	,	PN.	
	-	後の方厄 ∶善策等		老人福祉法等	に基づく	(事業の	りため、本事業の	継続は必要	更です	0		
	価	- A - T	,									
	前回示											
改	前回示											
善	方向性	(改善)	(等)	□実施	済(中)	-	部実施 □検討	· 中 □	未実施	□₹	の他	
	方向性	(改善第 兄(実施 変施の現	後等) 施内 理由、	□実施	済(中)	<u> </u>	部実施 □ 検討	r + □	未実施	□ ₹	の他	

事剂	务事	業 名	介護	保険	事業(介護	保険特別	別会計総	操出金)			整理No.	66
所	属	名	部	福祉	部	課「	高齢者福	祉課	記入者	小澤	泰裕 内線	494
上位	立施負	策 名	分野	健康	•福祉、安全•	安心	中柱 介護	保険の充実	小柱	介護係	R険サービスの 打	 進
	事業	開始	年度	平成	12 年	度归加		介護保険法				
	事業	終了	年度	令和	年	根拠 度	法令等	坂戸市高齢者神	畐祉計画・ク	广護保障))))))))))))))	
		女	† ‡	象	高	齢者 🔲	障害者	□個人 □世帯	□団体	全ての	人 □その他	
	(誰、				か) (具体的)	.) 原則6	65歳以上	この市民が対象で	です。			
								美を行っているか				
	介護るもの			基づく	介護保険給	寸事業及	び地域	支援事業を展開	し、もって地	域包括	舌ケアシステムを	深化・推進す
	Φ0.	, ,	0									
事	事業	概要	(取組	内容	・活動内容な	ど、目的	を達成す	「るために何をし	ているか。)		
務								支援事業を展開	し、もって地	1域包括	舌ケアシステムを	深化・推進す
加								定繰出金です。 等予算の増額に	(半い1.024	.933壬	円に補正)	
事	(- 1)	., ,				() 10		令和2年度		令和34		令和4年度
業				区	分		単位	実績(決算)	計画(予		実績(決算)	計画(予算)
	指標	# 1	保険	給付	費繰出金		千円	760,868	75	5,955	761,081	810,971
の	指標	# 2	地域	支援	事業費繰出金	È	千円	58,072	6	4,438	61,436	66,408
概	指標	#3										
要	指標	に対っ	する達	成度	介護保険法	等法令に	ニ基づき、	適切に事業を居	展開しました	0		
	総	1	事	業	.		千円	1,029,279	1 024	4,647	1,024,932	1,083,398
	事	財			、 国県支出金・そ	(の他)	千円	57,551		6,773	60,205	58,489
	業 費		一般				千円	971,728	96′	7,874	964,727	1,024,909
	•		員数				人	20.00		0.00	20.00	20.00
	コス	2		牛 費 車 業			千円	119,820		9,820	119,820	119,820
	۲		総・	事 業	費 ①+②		千円	1,149,099 介護保険事業等		4,467 業等 <i>f</i>	1,144,752 ↑護保険事業等	1,203,218 介護保険事業等
	把 握			事業	の年度別実施	色内容		の実施	の実施			の実施
		(着眼	(点)			要性が高い	\	討の余地あり	□必要性が	低い		
	必	・市Б	! =-:		【理由】	で字みと	わた审当	とに依て帰山合っ	ジャストル	沙須い	わっていま す	
			してい ෭関与		刀碳体灰伝	て足めら	40に す 未	羊に係る繰出金 で	(a)(a)(ca)	火火へ	なつていまり。	
		要性	はある	か								
		/ ** nc	. ⊢\			か性が高い	□高	がる余地あり	□有効性が	低い		
l _	有 効	(着眼 •目的		_効果	【理由】 介華母除制	亩/ 汁₩幅	おおばケー	アシステムの根草	た切ら制度	・である	ため 右効です	
	性	はあ	るか		刀 曖 体 医叩	文/よ地場	X C3107 /	/ ノハ / 四0万以至	Fで1旦ノ町/文		7. (47)、(47)((4	0
次												
評		(着眼.	点) · 、業務ī	而 笙		⊠的である	高	らめる余地あり	□ 効率的で	はない		
 			、未がに 執行で		【理由】 緑出金の土	知分が命	、	生に規定された?	土宝編出仝	です		
 価	性	·民間	委託や(合・連携		米山並り八	コレンナル・ノー	受坏坏1	AICMLE CAUICI	乙尺林山玉	C 9 o		
		能か	口 · 注13	2/1.H]								
	総				, , , , ,	□改善・		□縮小 □統合	□拡充)┃	✔ 継続	□終了 □休	止 □廃止
	合		の方向		【課長名:着	量島 洋	欠】					
	評 価	(改善	策等)								
	Щ											
			た今後									
改	万冋	性(改	女善 策	(寺)							_	
善状	対応	状況	(実施	内	□ 実	施済(中)		部実施 🗌 検討	†中 🔲 :	未実施	□その他	
況	容、表	未実	色の理	∄由、								
	今後	の予	定等)									

1 1 1	& 車 堂 夕 低 所 得 :	者利用者負担金補助	力事業			整理No.	67
所	属名部福祥		カイ 高齢者福	うしき田	記入者 小澤		Ψ.
						保険サービスの	
L 1.		康·福祉、安全·安心	中性が設				
	事業開始年度 平原	根拟	见法令等			補助金交付要綱	
	事業終了年度 令和	_	7 mais palso also			系る利用者負担額の軽 	減に関する助成要綱
	対 象	_		□個人□世帯	_	の人 マその他	
		るか) (具体的に) 利用					
		うな状態にするために					
	店宅サービスの利力	用者負担を補助するこ	とにより、	介護保険の週切	な連名を図りよう	0	
	事業概要(取組内容	容・活動内容など、目的	りを達成す	けるために何をし	ているか。)		
事		護等利用者負担助成					
務		の方が訪問介護サーI 用者負担額軽減補助		用した場合、利用	者負担を補助し	ます。	
_		用有貝担領軽減補助 ビス利用を促進するた		者負担減免をした	·社会福祉法人	等に対し、助成し	<i>、</i> ます。
事				A			A
業	区	分	単位	令和2年度 実績(決算)	令和 計画(予算)	3年度 実績(決算)	令和4年度 計画(予算)
၂	指標(1) 低所得者語	方問介護利用者負担助成	千円	人様(ハチ)	21		21
0)	指標② 社会福祉		千円		40		40
概	指標③	山口八年城市功立	1 1 1		40		40
要	相保多	実績無(対象者無の	たみ)				
女	指標に対する達成度	大順無(別家有無り	(1CQ)				
	総①事業	費	千円		61		61
	事 財 特定財源	(国県支出金・その他)	千円		45		45
	業 源 一般財源	1	千円		16		16
	. 職 貝 剱	# -	人	1.00	1.00	1.00	1.00
	コ ② 人 件 き	雪	千円	5,991	5,991	5,991	5,991
	~						6.052
	ス総事業		千円	5,991 低所得者利用者	6,052 低所得者利用者	5,991 低所得者利用者	低所得者利用者
	ス 総事 i			5,991 低所得者利用者	6,052 低所得者利用者	5,991	低所得者利用者
	ス 総事 ト 把 事 握	養 ①+②	千円	5,991 低所得者利用者	6,052 低所得者利用者	5,991 低所得者利用者	低所得者利用者
	ス 総事 ト 把 事	巻費 ①+② 巻の年度別実施内容	千円	5,991 低所得者利用者 負担金補助事業	6,052 低所得者利用者 負担金補助事業	5,991 低所得者利用者	低所得者利用者
	ス 総 事 第 把 事 第 握 (着眼点) 必 ·市民ニーズに 要 対応しているか	業費 ①+② 業の年度別実施内容 ☑必要性が高い 【理由】 ここ数年実績は無い	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5,991 低所得者利用者 負担金補助事業 診討の余地あり	6,052 低所得者利用者 負担金補助事業	5,991 低所得者利用者 負担金補助事業	低所得者利用者 負担金補助事業
	ス 総事 第 把 事	業費 ①+② 業の年度別実施内容 ☑必要性が高い 【理由】 ここ数年実績は無い	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5,991 低所得者利用者 負担金補助事業 診討の余地あり	6,052 低所得者利用者 負担金補助事業	5,991 低所得者利用者 負担金補助事業	低所得者利用者 負担金補助事業
	スト 把握 (着眼点) ・市民ニーズに 対応しているか 性・行政関与の必	業費 ①+② 業の年度別実施内容 ☑必要性が高い 【理由】 ここ数年実績は無い	・・・□様が、高齢	5,991 低所得者利用者 負担金補助事業 試計の余地あり 者人口の増加に	6,052 低所得者利用者 負担金補助事業 □必要性が低い 伴い、対象者の:	5,991 低所得者利用者 負担金補助事業	低所得者利用者 負担金補助事業
	スト把握	業費 ①+② 業の年度別実施内容 ☑必要性が高い 【理由】 ここ数年実績は無い ☑有効性が高い	・・・□様が、高齢	5,991 低所得者利用者 負担金補助事業 診討の余地あり	6,052 低所得者利用者 負担金補助事業	5,991 低所得者利用者 負担金補助事業	低所得者利用者 負担金補助事業
	スト把握	業費 ①+② 業の年度別実施内容 ☑必要性が高い 【理由】 ここ数年実績は無い ☑有効性が高い	・ □様が、高齢	5,991 低所得者利用者 負担金補助事業 試計の余地あり 者人口の増加に	6,052 低所得者利用者 負担金補助事業 □必要性が低い 伴い、対象者の語	5,991 低所得者利用者 負担金補助事業 増加が見込まれる	低所得者利用者負担金補助事業
	スト把握 必要性 有効 (・対の必要性 を	養費 ①+② 業の年度別実施内容 図必要性が高い 【理由】 ここ数年実績は無い 図有効性が高い	・ □様が、高齢	5,991 低所得者利用者 負担金補助事業 試計の余地あり 者人口の増加に	6,052 低所得者利用者 負担金補助事業 □必要性が低い 伴い、対象者の語	5,991 低所得者利用者 負担金補助事業 増加が見込まれる	低所得者利用者負担金補助事業
- 次 -	スト把握	を 費 ①+② をの年度別実施内容 図必要性が高い 【理由】 ここ数年実績は無い 図有効性が高い 【理由】 利用者負担の軽減打	千円 一様 が、高齢 一種 産	5,991 低所得者利用者 負担金補助事業 試計の余地あり 者人口の増加に ある余地あり ごることにより、介記	6,052 低所得者利用者 負担金補助事業 □必要性が低い 伴い、対象者の語 □有効性が低い 護サービスの継続	5,991 低所得者利用者 負担金補助事業 増加が見込まれる	低所得者利用者負担金補助事業
一 次 評	スト把握 必要性 有効性 (着市応政は 息にか必 が 対 にか必 が 対 が で 要 (大田山 (田田山) (田田田田田田田田田田	千円 一様 が、高齢 一種 産	5,991 低所得者利用者 負担金補助事業 試計の余地あり 者人口の増加に	6,052 低所得者利用者 負担金補助事業 □必要性が低い 伴い、対象者の語	5,991 低所得者利用者 負担金補助事業 増加が見込まれる	低所得者利用者負担金補助事業
	来事事 事事	大 費 ①+②	千円 一様が、高齢 一章 講覧	5,991 低所得者利用者 負担金補助事業 試討の余地あり 者人口の増加に ぶめる余地あり ごることにより、介情	6,052 低所得者利用者 負担金補助事業 □必要性が低い 伴い、対象者の語 □有効性が低い 護サービスの継続	5,991 低所得者利用者 負担金補助事業 増加が見込まれる	低所得者利用者負担金補助事業
評	本事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事が表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表	大 費 ①+② 本 の 年度別実施内容 図必要性が高い 【理由】 ここ数年実績は無い 図有効性が高い 【理由】 利用者負担の軽減打 図効率的である 【理由】 コスト面においては見	千円 一様が、高齢 一章 講覧	5,991 低所得者利用者 負担金補助事業 試討の余地あり 者人口の増加に ぶめる余地あり ごることにより、介情	6,052 低所得者利用者 負担金補助事業 □必要性が低い 伴い、対象者の語 □有効性が低い 護サービスの継続	5,991 低所得者利用者 負担金補助事業 増加が見込まれる	低所得者利用者負担金補助事業
評	スト把握 必要性 有効性 効率性 ボースト把握 必要性 有効性 した ・対行性 眼的る ・対行性 眼的る ・対行性 眼的る ・素行 を表した ・変をしまる。 ・ のか ・ のが ・ のが	大 費 ①+② 本の年度別実施内容 ②必要性が高い 【理由】 ここ数年実績は無い ②有効性が高い 【理由】 利用者負担の軽減対 ②効率的である 【理由】 コスト面においては関	千円が、高齢措置を講じは源を県を	5,991 低所得者利用者 負担金補助事業 試計の余地あり 者人口の増加に ぶめる余地あり ごることにより、介記 がある余地あり 調助金で3/4賄っ	6,052 低所得者利用者 負担金補助事業 □必要性が低い 伴い、対象者の語 □有効性が低い 護サービスの継続 □効率的ではない ているため効率	5,991 低所得者利用者 負担金補助事業 増加が見込まれる 続的利用の促進。	低所得者利用者 負担金補助事業 ます。 が図られます。
評	スト把握 必要性 有効性 効率性 総	を 費 ①+② ※の年度別実施内容 図必要性が高い 【理由】 ここ数年実績は無い 図有効性が高い 【理由】 利用者負担の軽減打 図効率的である 【理由】 コスト面においては関 見直し □改善・	千円 ハ	5,991 低所得者利用者 負担金補助事業 試討の余地あり 者人口の増加に ぶめる余地あり ごることにより、介情	6,052 低所得者利用者 負担金補助事業 □必要性が低い 伴い、対象者の語 □有効性が低い 護サービスの継続 □効率的ではない ているため効率	5,991 低所得者利用者 負担金補助事業 増加が見込まれる 続的利用の促進。 的といえます。	低所得者利用者 負担金補助事業 ます。 が図られます。
評	スト把握 必要性 有効性 効率性 総合 ・対・要 (・対・要 (・は 第77年) を	大 費 ①+② 本の年度別実施内容 ②必要性が高い 【理由】 ここ数年実績は無い ②有効性が高い 【理由】 利用者負担の軽減対 ②効率的である 【理由】 コスト面においては関	千円 ハ	5,991 低所得者利用者 負担金補助事業 試計の余地あり 者人口の増加に ぶめる余地あり ごることにより、介記 がある余地あり 調助金で3/4賄っ	6,052 低所得者利用者 負担金補助事業 □必要性が低い 伴い、対象者の語 □有効性が低い 護サービスの継続 □効率的ではない ているため効率	5,991 低所得者利用者 負担金補助事業 増加が見込まれる 続的利用の促進。 的といえます。	低所得者利用者 負担金補助事業 ます。 が図られます。
評	スト把握 必要性 有効性 効率性 総	を 費 ①+② ※の年度別実施内容 図必要性が高い 【理由】 ここ数年実績は無い 図有効性が高い 【理由】 利用者負担の軽減打 図効率的である 【理由】 コスト面においては関 見直し □改善・	千円 ハ	5,991 低所得者利用者 負担金補助事業 試計の余地あり 者人口の増加に ぶめる余地あり ごることにより、介記 がある余地あり 調助金で3/4賄っ	6,052 低所得者利用者 負担金補助事業 □必要性が低い 伴い、対象者の語 □有効性が低い 護サービスの継続 □効率的ではない ているため効率	5,991 低所得者利用者 負担金補助事業 増加が見込まれる 続的利用の促進。 的といえます。	低所得者利用者 負担金補助事業 ます。 が図られます。
評	スト把握 必要性 有効性 効率性 総合評 事 事 にか必	を 費 ①+② ※の年度別実施内容 図必要性が高い 【理由】 ここ数年実績は無い 図有効性が高い 【理由】 利用者負担の軽減打 図効率的である 【理由】 コスト面においては関 見直し □改善・	千円 ハ	5,991 低所得者利用者 負担金補助事業 試計の余地あり 者人口の増加に ぶめる余地あり ごることにより、介記 がある余地あり 調助金で3/4賄っ	6,052 低所得者利用者 負担金補助事業 □必要性が低い 伴い、対象者の語 □有効性が低い 護サービスの継続 □効率的ではない ているため効率	5,991 低所得者利用者 負担金補助事業 増加が見込まれる 続的利用の促進。 的といえます。	低所得者利用者 負担金補助事業 ます。 が図られます。
評	スト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前頭 は	を 費 ①+② ※の年度別実施内容 図必要性が高い 【理由】 ここ数年実績は無い 図有効性が高い 【理由】 利用者負担の軽減打 図効率的である 【理由】 コスト面においては関 見直し □改善・	千円 ハ	5,991 低所得者利用者 負担金補助事業 試計の余地あり 者人口の増加に ぶめる余地あり ごることにより、介記 がある余地あり 調助金で3/4賄っ	6,052 低所得者利用者 負担金補助事業 □必要性が低い 伴い、対象者の語 □有効性が低い 護サービスの継続 □効率的ではない ているため効率	5,991 低所得者利用者 負担金補助事業 増加が見込まれる 続的利用の促進。 的といえます。	低所得者利用者 負担金補助事業 ます。 が図られます。
評 価	スト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価	大きでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	千円 い が、	5,991 低所得者利用事業 注討の余地あり 者人口の増加に あめる余地あり こることにより、介情 ある余地あり にある余地あり にある余地あり 補助金で3/4賄っ	6,052 低所得者利用者 負担金補助事業 □必要性が低い 伴い、対象者の語 □有効性が低い 護サービスの継続 □効率的ではない ているため効率 □拡充) □継続	5,991 低所得者利用者 負担金補助事業 増加が見込まれる 続的利用の促進。	低所得者利用者 負担金補助事業 ます。 が図られます。
評価 と と と と と と と と と と と と と と と と と と と	スト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前方 にか必	を 費 ①+② ※の年度別実施内容 図必要性が高い 【理由】 ここ数年実績は無い 図有効性が高い 【理由】 利用者負担の軽減打 図効率的である 【理由】 コスト面においては関 見直し □改善・	千円 い が、	5,991 低所得者利用者 負担金補助事業 試計の余地あり 者人口の増加に ぶめる余地あり ごることにより、介記 がある余地あり 調助金で3/4賄っ	6,052 低所得者利用者 負担金補助事業 □必要性が低い 伴い、対象者の語 □有効性が低い 獲サービスの継続 □効率的ではない ているため効率 □拡充) □継続	5,991 低所得者利用者 負担金補助事業 増加が見込まれる 続的利用の促進。	低所得者利用者 負担金補助事業 ます。 が図られます。
評 価	スト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前頭 は	大きの年度別実施内容 「図必要性が高い。」 「理由】 ここ数年実績は無い 「対する対性が高い。」 「理由】 「対する対性が高い。」 「理由】 「図効率的である。」 「理由】 「コストローはおいてはまり。」 「関長名:福島」 「実施済(中)	千円 い が、	5,991 低所得者利用事業 注討の余地あり 者人口の増加に あめる余地あり こることにより、介情 ある余地あり にある余地あり にある余地あり 補助金で3/4賄っ	6,052 低所得者利用者 負担金補助事業 □必要性が低い 伴い、対象者の語 □有効性が低い 護サービスの継続 □効率的ではない ているため効率 □拡充) □継続	5,991 低所得者利用者 負担金補助事業 増加が見込まれる 続的利用の促進。	低所得者利用者 負担金補助事業 ます。 が図られます。

* 1	務事業	名 児童	セン	ター講り	座等開係	崖事業						惠	を理No.	68
所	属:	名 部	福祉	部		課 子	育て支	援課		記入	者 鈴木		内線	283-4378
 ⊢ 1	位 施 策 :	名 分野	健康	•福祉 :	安全•安/	··· [5] 中#	‡ 多様な	ニーズに対応	した子育て支	援の充実 /	小柱 地域	子ども・子		で援事業の充実
	事業開			IIII 1777 / 2	年度	_					量及び管理			
						根拠法	令等	沙) 111	ユンし里」	おりり以自	■次 ① 目 2	生に関す	つ木内	
	事業終	「 年度	令和		年度	e							7 = - 10	
			象		□」高齢者			☑個人				の人 L	その他	
	(誰、何る	を対象と	している	か) (厚	具体的に) 1	18歳未活	満の児	童とその	保護者					
											的な目標			
														テいます。また、
	十百 〇	又抜拠	思	えとしく、	ナ育(~1⊠ €1;1;	木護白	ど又抜	9 5226	に十百	てし易い	界児の登	洲で打	いより。
事	中米加	क्त / प न ४	마하하	エチュ	h sto + < 12		` * + + -	+7+ W	ルタナ	ブ レフ・	4 、 \			
 	事業概											りわます~	つりさどの	の各種イベント、
務	乳幼児向	句け事業	长、小学	生向け	事業などる									の保護者を支援
-	するため	の事業	の充実	を図って	ています。									
事			ਹ	Л		è	単位	令和	2年度		令和:	3年度		令和4年度
業			区	分		-	₽₩	実績	(決算)	計画	(予算)	実績(え	決算)	計画(予算)
	指標①	年間	事業	回数			口		1,104	ļ	2,300		1,368	2,30
の	指標②	年間	利用	者数			人		27,790)	80,000		42,854	80,00
概	指標③													
1-50	n pre			令和3年	F度は新	型コロラ	トウイル	レス感染	症対策(のため、	約4か月1	こわたり児	見童セン	ターが臨時休
要	指標に対	対する遺	成度								標を達成			
	総 ①	事	業	ŧ		=	千円		519)	932		657	93
	事」				金・その	他) -	千円							
	業調	系 一般	財源			=	千円		519		932		657	93
	. 職						人		4.30		4.30		4.30	4.30
)人					千円		21,350		21,350		21,350	
	スト	総	事 業	費 ①)+(2)	-	千円	夕 紙 排 🖒	21,869		22,282 座等事業		22,007	
	· 把 握		事業	の年度	別実施内	容		各種講座 の開催(J 育士含む	職員:保		職員:保	行性神座 の開催(職 育士含む)	員:保	各種講座等事業 の開催(職員:保 育士含む)
_					✓必要性	が立い		食計の余地			 性が低い	月上百亿/		H T D O /
	(着 必・ ま	ま眼点)				い。回り、	13	と可い示地	ω).)	必安	エルルだい			
	要対	· R – —	ブー											
		えスティッグ 民ニー 応してい	るか	【理由】 少子高質	齢化が進	行し、少	子化対	策が重要	要課題とた	よっている	5中、子育	て支援事	業の重要	要性が増してお _.
	性・行	応してい 放関与	るかの必	【理由】 少子高値 り、高い	齢化が進 市民ニー	ズに応え	えている	ると考えま	す。児童	の健全で	育成として	の遊びの鳥	展開につ	ついては、民間企
	性・行	応してい	るかの必	【理由】 少子高値 り、高い	齢化が進 市民ニー	ズに応え	えている	ると考えま	す。児童	の健全で	育成として	の遊びの鳥	展開につ	要性が増してお ついては、民間企 下は懸念されま
	性・行要性	応してい が政関与性はある	るかの必	【理由】 少子高値 り、でも でも す。	齢化が進 市民ニー 可能であり ✓ 有効性 :	ズに応え 、行政関	えている 関与の』 	ると考えま	す。児童 必ずしも	で健全す ありません	育成として	の遊びの鳥	展開につ	ついては、民間企
	性・行要性	応してい	るかの必るか	【理由】 少り、業す。 でも でも でも でも でも でも でも でも でも でも でも でも でも	齢化が進 市民ニー 可能であり ✓ 有効性	ズに応え 、行政関 が 高い	さている 関与の』 □ 高	ると考えま 必要性は §める余地	す。児童 必ずしも あり	では全ず ありません 一有効	育成として んが、営利 性が低い	の遊びの見目的による	展開にて る質の低	ついては、民間企 下は懸念されま
_	性 有効 有効 用	応してい が政関与性はある	かの必めか	【理由】 少り、業す 【理子高い で ・ 田由】 に 理童セン	齢化が進 市民ニー 可能であり マ 有効性 ンターは年	ズに応え、 、行政関 が高い 三齢も地:	えている 関与の』 □ こ 域もさる	ると考えま 必要性は 高める余地 まざまなり	す。児童 必ずしも。 あり 豊童が集る	tの健全す ありません 有効 まり、遊び	育成としているが、営利 性 が低い 「を通じて」	の遊びの原 目的による 異年齢との	展開にて る質の低)交流が	ついては、民間企
一次	性 要 (着)	応してい す政関与 性はある ました。 ました。 ました。	かの必めか	【理由】 少り、業す 【理音で成の で 、 に に に に に に に に に に に に に	齢化が進 市民であり す 有 効性 ンタ 家 は や)、	ズに応え 、行政関 が高い 手齢も地: 学校なと	さている 国与の 加	3と考えま 込要性は 5める余地 まざまな児 或の仲間	す。児童 必ずしも あり ・ 登が集 だけでは	tの健全する。 ありません 有効 まり、遊びき	育成としている。 が、営利 性が低い がを通じている。 ない、社会	の遊びの原 目的による 異年齢との 会体験がで	展開にて る質の低) 交流が できる場	ついては、民間企 下は懸念されま できる貴重な施
	性 有効性	応してい す政関与 性はある ました。 ました。 ました。	かの必めか	【理由】 少り業す 【理童で成の は で成の で は で は で は で る で る で 。 で 。 で 。 で 。 で 。 で る の の る の る の る の る の る の る の る の る の	齢化が進っています。 市民であり す 有 効性 シターはや ランタに貢献 ために貢献	ズに応え 、行 が高い E 齢も地: 学校ない ましてい	えている 関与の』 域もされるとった。	ると考えま 公要性は 系める余地 まざまな児 或の中。ま えます。ま	す。児童 必ずしも あり 登 がで、子 育 だ、、子	では全でありません (の健全でありません) 有効 まり、験ではままれる (できれる) はいまれる (できれん) はいまん) はいまれる (できれん) はいまれる (できれん) はいまれる (できれん) はいまれる (できれん) はいまん) はいまれる (できれん) はいまん) はいまれる (育成としている。 が、営利 性が低い がを通じている。 ない、社会	の遊びの原 目的による 異年齢との 会体験がで	展開にて る質の低) 交流が できる場	ついては、民間企 下は懸念されま できる貴重な施 で、児童の健全
一次評	性 有効性 部	応して す で で で で で で で で で で で に に に に に に に に に に に に に	か必かかったかかのかかったかかかったかかかったかかったかかったかかったかったからからなった。	理由 ・	齢化に が進一が に 有効性 シタ家に か なめ なめ なめ なめ なめ なめ なめ なめ なめ なめ ない なめ ない ない ない ない ない ない ない ない ない ない ない ない ない	ズに応え 、行 が高い E 齢も地: 学校ない ましてい	えている 関与の』 域もされるとった。	3と考えま 込要性は 5める余地 まざまな児 或の仲間	す。児童 必ずしも あり 登 がで、子 育 だ、、子	では全でありません (の健全でありません) 有効 まり、験ではままれる (できれる) はいまれる (できれん) はいまん) はいまれる (できれん) はいまれる (できれん) はいまれる (できれん) はいまれる (できれん) はいまん) はいまれる (できれん) はいまん) はいまれる (育成としているが、営利性が低い 性が低い がを通じていきない、社会ない、社会ない、社会ない。	の遊びの原 目的による 異年齢との 会体験がで	展開にて る質の低) 交流が できる場	ついては、民間企 下は懸念されま できる貴重な施 で、児童の健全
	・・要 着・果 着:率るか	応していた すい すい はは はは はは はは はは はは は、 は、 も、 は、 も、 も、 ない。 といる。 とい。 といる。 とい。 といる。 とい。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 とい。 といる。 とい。 と。	か必かか 動物が 動物が 動物が 動物が 動物が 動物が 動物が 動物が	【理かり業す 【児設育す 【常期由】 画品には 理童で成。 理動 世間で成。 理動職	能市が が上の が上の が上の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大	ズ 、 が 高 い	で は で に で に に に に に に に に に に に に に	Sと考えま	す。 見も あり 計がでチ がだた、 あり まだけ、子 ることで、	to 健全 i / () () () () () () () () () (育成として利性が低い ドを強い、注意では、 ドをない、 ドをない、 ではない ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の遊びの見目的による 関年齢との 会体験ができる 大手をできまする	展開にへ低 の交流場で かできるして います。	ついては、民間企 下は懸念されま できる貴重な施 で、児童の健全 も貢献していま 近隣では狭山
評	・・要 着り果 着り か変性	応す性 ・ し ・ し ・ し ・ し ・ し ・ し ・ し ・ し	へるか め	理 中の業す 埋 児設育す 埋 常市 世童で成。 理童で成。 理動戦 、 世動戦	 	ズ、 が E 学	で で で で で で で し で で し で の と し 職 離 質 で で の と し 職 に し に し に し に し に し に し に し に し に に し に し に し に に し に に に に に に に に に に に に に	Sと考えは あめる余 は まずのま まがのま まがのま まがまか まがまか まがます。 まがままがままがます。 まがままがままがまます。 まがままがままがまます。 まがままがままがまます。 まがままがままがままがまます。 まがままがままがままがまます。 まがままがままがままがままがままます。 まがままがままがままがまままがまままままままままままままままままままままま	す。 見も あり 計でで、 発性で、 もい 集に はで、 もい とで、 を を もい と もい と もい と もい と もい もい で もい もい で もい で もい もい で もい もい で もい もい で もい もい もい もい もい もい もい もい もい もい	to の健全で、 はあり 一 有 か ができずる 一 有 か ができずる 一 本 で できずる 一 大 を できずる 一 大 を 一 大 を 一 大 を 一 大 を 一 大 を ・ ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	育んが、 性が低い 性が低い ドをな保護者 的ではない をないます。 はない をないないないない。 をないないないない。 をないないないないない。 をはないないないないないない。 をはないないないないないないない。	の遊びの見 目的による 異年齢との 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 、 大 、 大 、 大 、 大	展開にへ低 の交流を か交流を が場として います。 いの検討	ついては、民間企 下は懸念されまできる貴重な施で、児童の健全 で、児献していま 近隣では狭山 よ十分考えられま
評	・・要 着田果 着田舎の民	応す性 ・ し ・ し ・ し ・ し ・ し ・ し ・ し ・ し	へるか め	(理少り、業す (型別で) では、 理単で成。 理単で成。 理動 (が) により (重動) (はず) (はず) (はず) (はず) (はず) (はず) (はず) (はず	齢市所 マーノ、た マー 員島戸 が二あり 性 ク家に 率 減の産	ズ、 が 手学	で写 域でる 用童はいの 高さ地方 ■ ものと ■ 職館、 ■ 員でプ	Sと考性 あめる まずのま まがのま まがのま まがのま のま のま のま のま のま のま のま のま のま	す。 す。 見も がで子 がで子 と制空 と制空 と も の の の の の の の の の の の の の	で の は の は は は は は は は は は は は は は	育んが、 性が低い ドをな保 的ではない できな保 的ではない できない をない をない をない をない をない をない をない をない をない を	の遊びの見 目的による 異年齢との 支援・ 力抑え託がる でへる でへん	展質のできまして低いない。 が場てではまける。 ないでもまける。	ついては、民間企 下は懸念されまできる貴重な施で、児童の健全 で、見献していま 近隣では狭山 は十分考えられまります。
評	・・要 着り果 着り か変性	応す性 ・ し ・ し ・ し ・ し ・ し ・ し ・ し ・ し	へるか め	(理少り、業す (型児設育す (関末) で。 理童で成。 理勤、が 見まれる (国数) (関係) (国数) (関係) (国数) (国数) (国数) (国数) (国数) (国数) (国数) (国数	齢市所 マ ノ)、た マ 員島戸 で 1 し で は 中 で か は や で で か 減 の で で で で で で で で で で で で で で で で で で	ズ、 が E学武 で 、 部を A E E 学武 で 、 部を A E E E E E E E E E E E E E E E E E E	で写 域でる 用童はいの 高さ地方 ■ ものと ■ 職館、 ■ 員でプ	Sと考性 あめる まずのま まがのま まがのま まがのま のま のま のま のま のま のま のま のま のま	す。 す。 見も がで子 がで子 と制空 と制空 と も の の の の の の の の の の の の の	で の は の は は は は は は は は は は は は は	育んが、 性が低い 性が低い ドをな保護者 的ではない をないます。 はない をないないないない。 をないないないない。 をないないないないない。 をはないないないないないない。 をはないないないないないないない。	の遊びの見 目的による 異年齢との 支援・ 力抑え託がる でへる でへん	展質のできまして低いない。 が場てではまける。 ないでもまける。	ついては、民間企 下は懸念されまできる貴重な施 で、児童の健全 も貢献していま 近隣では狭山 よ十分考えられまります。
評	・・要 着 単 効率性 総合・要 着 単 着 ご率か 民のが 今	応す性 ・ は ・ し関は ・ し関する ・ にします。 ・ は、 ・ は、 ・ は、 ・ は、 ・ また。 ・ は、 ・ に、 ・ だい。 ・ でい。 ・ で、 ・	Noのか	理 少り業す U 児設育す U 常市す U 別で成。 U 関立で成。 U 関立 U を U U U U U U U U U U	一 齢市所 い に 大 に に 大 の が に の は の は の は の の の の の の の の の の の の の	ズ、 が E学武 で 、部々 文 本 に行 高 齢校で る 再の一 ・ ま の	です 域でる 用童は 本化いの 高 さ地考 高 員でプ	Sと あめる ます あめる まがのま あめる まかのま ・	す。 す。 す。 ががで子 と制空 統合 を を を を を を を を を を を を を	to b b l f m f m f m f m f m f m f m f m f m f	育んが 性が低い だきな保 的 ローてハーン とし営 い できな保 では ない できない できない できない できない できない できない できない で	の遊的による 異年齢との 異年験する 一次では、 一次では、 一次では、 一次では、 でへいる。 でへいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい	展留 () では () では () でもとして () でもとして () でもとして () でもがあって () では () でもない	ついては、民間企 下は懸念されまできる貴重な施 で、見献していま が真献していま 近隣では狭山 は十分考えられまります。
評	・ 要 着 単 効率性 総合評・ 要 着 単 第 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	応す性 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	Noのか	理 少り業す 理 児設育す 理 常市す 課 理 子高で。 理 童で成。 理勤、が 課 童育 は は は は は は は は	上	ズ、 が E学武 で 、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	です	S と あ め ざ の ま め の ま か が ま か が ま か が が が が が が が が が が が が	す。す。 す。 ずが がで子 と制空 統 と制空 ・ 統 ・ と 制 ・ で を を を を し し し し し し り る り る り る り る し る し る し る	to b は b は c f が b に f が b に f が b に f が c f	育ん 性が低い できる () () () () () () () ()	の 目 の 目 の 目 の 日 に し に に に に に に に に に に に に に	展留 () で 場 () で 場 () で 場 () で 場 () で は (ついては、民間企 下は懸念されまできる貴重な施で、児童の健全 で、見献していま 近隣では狭山 は十分考えられまります。
評	・・要 着 単 効率性 総合・要 着 単 着 ご率か 民のが 今	応す性 ・ は ・ し関は ・ し関する ・ にします。 ・ は、 ・ は、 ・ は、 ・ は、 ・ また。 ・ は、 ・ に、 ・ だい。 ・ でい。 ・ で、 ・	Noのか	理 少り業す 理 児設育す 関 常市す 課 理 子高で。 理 童で成。 理 勤、が 課 童 は は は は は は は は	上	ズ、 が E学武 で 、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	です	S と あ め ざ の ま め の ま か が ま か が ま か が が が が が が が が が が が が	す。す。 す。 ずが がで子 と制空 統 と制空 ・ 統 ・ と 制 ・ で を を を を し し し し し し り る り る り る り る し る し る し る	to b は b は c f が b に f が b に f が b に f が c f	育ん 性が低い できる () () () () () () () ()	の 目 の 目 の 目 の 日 に し に に に に に に に に に に に に に	展留 () で 場 () で 場 () で 場 () で 場 () で は (いては、民間企までは、民間企まできる貴重なを全までで、貢献していまが、 近隣では狭山よります。 には、民間企まででは、大田のでで、大田のでは、民間企まが、大田のでは、民間企まが、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、民間企業には、大田のでは、大田のでは、民間企業には、大田のでは、民間企業には、大田のでは、民間企業には、大田のでは、民間企業には、大田のでは、民間企業には、大田のでは、民間企業には、大田のでは、民間企業には、大田のでは、民間企業には、民間には、民間には、民間には、民間には、民間には、民間には、民間には、民間
評	・ 要 着 単 効率性 総合評・ 要 着 単 第 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	応す性 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	NAのか	理 少り業す 理 児設育す 理 常市す 課 理 子高で。 理 童で成。 理勤、が 課 童育 は は は は は は は は	上	ズ、 が E学武 で 、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	です	S と あ め ざ の ま め の ま か が ま か が ま か が が が が が が が が が が が が	す。す。 す。 ずが がで子 と制空 統 と制空 ・ 統 ・ と 制 ・ で を を を を し し し し し し り る り る り る り る し る し る し る	to b は b は c f が b に f が b に f が b に f が c f	育ん 性が低い できる () () () () () () () ()	の 目 の 目 の 目 の 日 に し に に に に に に に に に に に に に	展留 () で 場 () で 場 () で 場 () で 場 () で は (いては、民間企までは、民間企まできる貴重なを全までで、貢献していまが、 近隣では狭山よります。 には、民間企まででは、大田のでで、大田のでは、民間企まが、大田のでは、民間企まが、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、民間企業には、大田のでは、大田のでは、民間企業には、大田のでは、民間企業には、大田のでは、民間企業には、大田のでは、民間企業には、大田のでは、民間企業には、大田のでは、民間企業には、大田のでは、民間企業には、大田のでは、民間企業には、民間には、民間には、民間には、民間には、民間には、民間には、民間には、民間
評 価	・・要 着日果 着ごぬか民のお 今は	応す性 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	NAのか	理 少り業す 理 児設育す 理 常市す 課 理 子高で。 理 童で成。 理勤、が 課 童育 は は は は は は は は	上	ズ、 が E学武 で 、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	です	S と あ め ざ の ま め の ま か が ま か が ま か が が が が が が が が が が が が	す。す。 す。 ずが がで子 と制空 統 と制空 ・ 統 ・ と 制 ・ で を を を を し し し し し し り る り る り る り る し る し る し る	to b は b は c f が b に f が b に f が b に f が c f	育ん 性が低い できる () () () () () () () ()	の 目 の 目 の 目 の 日 に し に に に に に に に に に に に に に	展留 () で 場 () で 場 () で 場 () で 場 () で は (いては、民間企までは、民間企まできる貴重なを全までで、貢献していまが、 近隣では狭山よります。 には、民間企まででは、大田のでで、大田のでは、民間企まが、大田のでは、民間企まが、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、民間企業には、大田のでは、大田のでは、民間企業には、大田のでは、民間企業には、大田のでは、民間企業には、大田のでは、民間企業には、大田のでは、民間企業には、大田のでは、民間企業には、大田のでは、民間企業には、大田のでは、民間企業には、民間には、民間には、民間には、民間には、民間には、民間には、民間には、民間
評価	性 有効性 効率性 総合評価 前方・要 着目果 着ineaneseの能 今は 同向	応す性 いは 眼スり、間紙、後善し(ひは) はは しん、執 まら の策 たみき たりしん 祭行 や連 方等 一个善	Noのか	理 少り業す 理 児設育す 理 常市す 課 理 子高で。 理 童で成。 理勤、が 課 童育 は は は は は は は は	上	ズ、 が E学 t で 、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	です 域がる 用童は MA てあ	S と あ め ざ の ま め の ま か が ま か が ま か が が が が が が が が が が が が	す。す。 す。 ずが がで子 と制空 統 と制空 ・ 統 ・ と 制 ・ で を を を を し し し し し し り る り る り る り る し る し る し る	であり	育ん 性が低い できる () () () () () () () ()	の目 異合支 力間検 て育 でへ必 7 割後	展留 () で 場 () で 場 () で 場 () で 場 () で は (いては、民間企までは、民間企まできる貴重なを全までで、貢献していまが、 近隣では狭山よります。 には、民間企まででは、大田のでで、大田のでは、民間企まが、大田のでは、民間企まが、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、民間企業には、大田のでは、大田のでは、民間企業には、大田のでは、民間企業には、大田のでは、民間企業には、大田のでは、民間企業には、大田のでは、民間企業には、大田のでは、民間企業には、大田のでは、民間企業には、大田のでは、民間企業には、民間には、民間には、民間には、民間には、民間には、民間には、民間には、民間
評 価 改善状	性 有効性 効率性 総合評価 前方 対・要 着E果 着ineanesの能 今は 同向 応収 下性 状	応す性 いま 眼スりに間続い 後善しの 況です して いちん いまれる いまれる の策 たみ にも 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ	No. のか	理 少り業す 理 児設育す 理 常市す 課 理 子高で。 理 童で成。 理勤、が 課 童育 は は は は は は は は	静市前 ソ	ズ、 が E学 t で 、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	です 域がる 用童は MA てあ	S が ま	す。す。す。す。す。す。す。す。す。す。す。す。す。す。す。す。す。す。す。	であり	育ん 性がをない 的 コてハ) 社今成が、低い じ社者を い 極民で 全後 でも こく 会後 でも	の目 異合支 力間検 て育 でへ必 7 割後	展る ので場 いの要	いては、民間企までは、民間企まできる貴重なを全までで、貢献していまが、 近隣では狭山よります。 には、民間企まででは、大田のでで、大田のでは、民間企まが、大田のでは、民間企まが、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、民間企業には、大田のでは、大田のでは、民間企業には、大田のでは、民間企業には、大田のでは、民間企業には、大田のでは、民間企業には、大田のでは、民間企業には、大田のでは、民間企業には、大田のでは、民間企業には、大田のでは、民間企業には、民間には、民間には、民間には、民間には、民間には、民間には、民間には、民間
評 価 改善	性 有効性 効率性 総合評価 前方 対・要 着E果 着inmankeのが 今は 示性 状	応す性にいいては、眼スリン、間紙が、後、善しく、況にして関するが、点とは、気を、ない、気を、大きなが、にあるが、大きなが、でき、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きな	No. のか	理 少り業す 理 児設育す 理 常市す 課 理 子高で。 理 童で成。 理勤、が 課 童育 は は は は は は は は	静市前 ソ	ズ、 が E学 t で 、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	です 域がる 用童は MA てあ	S が ま	す。す。す。す。す。す。す。す。す。す。す。す。す。す。す。す。す。す。す。	であり	育ん 性がをない 的 コてハ) 社今成が、低い じ社者を い 極民で 全後 でも こく 会後 でも	の目 異合支 力間検 て育 でへ必 7 割後	展る ので場 いの要	いては、民間企までは、民間企まできる貴重なを全までで、貢献していまが、 近隣では狭山よります。 には、民間企まででは、大田のでで、大田のでは、民間企まが、大田のでは、民間企まが、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、民間企業には、大田のでは、大田のでは、民間企業には、大田のでは、民間企業には、大田のでは、民間企業には、大田のでは、民間企業には、大田のでは、民間企業には、大田のでは、民間企業には、大田のでは、民間企業には、大田のでは、民間企業には、民間には、民間には、民間には、民間には、民間には、民間には、民間には、民間

事 7:	8 事 業 名	عے	も医療	聚費支	松爭某						整理No.	69
所	属 名	部	こども	健康	部	課	こども支持	爰課	記入者	友田	内線	424
 上 位	拉施 策 名	分野	健康	•福祉、	安全•安	٠Ţ/	中柱 親子	の健康支援と医療の	り確保 小村	小児園	医療の充実	
	事業開始							坂戸市こども医				
	事業終了			10	年度	根	処法令等	M) HI CC OE	M 94 -> 2011	4(= X)	0 0 0 0 1	
						∗者 「	□障害者	□個人 □世帯	□団体	口 全ての)人 「 その他	
	(誰、何を		象 .ている	5 <i>t</i> v) (でのこどもを監護				
				,							*L /+ \	
								業を行っているか とにより、こどもの				ボ学の奴次的
	負担の軽				の不受石	I (CX	ボロッるー	21249, 2280)	床度♥月刊 ₋	上二十四年		受付り/注/月口
事	事業概要	(取組	内容	•活動	内容など	、目的	的を達成す	するために何をし	ているか。)		
7/-			でのこ	どもの	保険診療	そ分に	係る医療	費の一部負担金	:部分と、フ	、院に係	る食事療養費の	01/2を保護者
務	に支給し	ます。										
事												
			区	分			単位	令和2年度 実績(決算)	計画(予	令和3 (質)	年度 実績(決算)	令和4年度 計画(予算)
業	指標①	ァ じォ	一层层	費支約	△ <i>∤</i> 仕米左		件	天根(大 异) 127,247		ィ 昇 り 34,117	夫根(沃昇) 138,864	184,117
の								•			•	
	指標②	284	5医療	質文》	台額		千円	237,458	30)1,561	266,951	301,561
概	指標③											
要	指標に対	する達	成度)影響により通院 護者が減ったため				和3年度は前年
~					とへ(連)	元全打						0.4.0.000
	1140. —	-	業		யுக் உச	\ /Ib\\	千円	244,916		1,608	275,150	312,960
	4114	行正. 一般		当宗又	出金・その	71世)	千円 千円	23,826 221,090		32,792 78,816	30,524 244,626	33,149 279,811
	費 職	員					人	1.00	۵۱	1.00	1.00	1.00
		人		•			千円	4,965		4,965	4,965	4,965
	ス	総	事 業		1)+2		千円	249,881	31	6,573	280,115	317,925
	-	総	事 業	費(.		249,881 こども医療費の支	こども医療犯	費の支 こ	こども医療費の支	
		総	事 業	費(①+② 5別実施に	内容		249,881		費の支 こ	· ·	
	ト 把 握		事 業	費(千円	249,881 こども医療費の支	こども医療犯	費の支 え	こども医療費の支	
	ト 把握 (着E 必・市]	退点) 第二一:	事業事業	費 の年度 の年度 【理由	□ 必要t	生が高	千円	249,881 こども医療費の支 給 食討の余地あり	こども医療系 給	費の支 3	こども医療費の支 給	こども医療費の支 給
	ト把握・市が対応	艮点) 民ニー: してい	事業事業である。	費 の年度 の年度 【理由	□ 必要t	生が高	千円	249,881 こども医療費の支 給	こども医療系 給	費の支 3	こども医療費の支 給	こども医療費の支 給
	ト 把握 ・ ・ 対 が ・ 対 に が う た 行 に う た う た う た う た う た う た う た う た う た う	艮点) 民ニー: してい	事 事 業 にか必	費 の年度 の年度 【理由	□ 必要t	生が高	千円	249,881 こども医療費の支 給 食討の余地あり	こども医療系 給	費の支 3	こども医療費の支 給	こども医療費の支 給
	ト 把握 ・ ・ 対 が ・ 対 に が う た 行 に う た う た う た う た う た う た う た う た う た う	した。 民二一、 してい 女関与	事 事 業 にか必	費 の年度 の年度 【理由	別実施に 図必要性 】	生が高	千円 口材	249,881 こども医療費の支 給 食計の余地あり している制度であ	こども医療系統 一必要性が ることから	費の支 ごが低い 、必要性	こども医療費の支 給	こども医療費の支 給
	ト把握・前が対抗・対抗・要性・では、	した。 民二一、 してい 女関与	事 事 業 にか必	費 (の年度 に理由 に果内で	図必要性 】 】 ・ベてので	生が高	千円 口材	249,881 こども医療費の支 給 食討の余地あり	こども医療系 給	費の支 ごが低い 、必要性	こども医療費の支 給	こども医療費の支 給
	ト把握 必要性 有効 ・対・要 着目	根点) 民二一に は関ある はある は点した	事 事 業 だるのか なのか	費 (の年度 【理由 【理内で 【理由	図必要性 】 】 ・べてので	生が高	千円 い 口 村で実施 い 口	249,881 こども医療費の支 給 食計の余地あり している制度であ	こども医療系 必要性 が ることから	が低い、必要性が低い	とども医療費の支 治 生は高いものと考	こども医療費の支給 会 うえます。
	ト把握 必要性 有効 ・対・要 着目	展点) 民二一だ し関与 はある 根点)	事 事 業 だるのか なのか	費 の年度 【理内で 【理内で 日本成2	図 必要性 図 必要性 計べてので 図 有効性 】 4年10月	生が高	千円 い □ [†] 村で実施 い □ ^π 対象児童	249,881 こども医療費の支 給 食討の余地あり している制度であ 高める余地あり	こども医療系 一必要性 ることから 一有効性 までから中	で低い 、必要性 学校卒	とども医療費の支 治 生は高いものと考	こども医療費の支給 会 うえます。
一次	ト把握 必要性 有効 ・対行性 着目は	根点) 民二一に は関ある はある は点した	事 事 業 だるのか なのか	費 の年度 【理内で 【理内で 日本成2	図 必要性 図 必要性 計べてので 図 有効性 】 4年10月	生が高	千円 い □ [†] 村で実施 い □ ^π 対象児童	249,881 こども医療費の支 給 会計の余地あり している制度であ 高める余地あり を小学校就学前さ	こども医療系 一必要性 ることから 一有効性 までから中	で低い 、必要性 学校卒	とども医療費の支 治 生は高いものと考	こども医療費の支給 会 うえます。
一 次 評	ト把握 必要性 有効性 着前が行性 着目あ	 良民二で はは はは はは 点し は は に は は に は は に は に は は に は に に に に に に に に に に に に に	事 事 ま ま ま こか必 か り カ り り り り り り り り り り り り り り り り り	費 の年度 で	図 必要性 図 必要性 プ 有効性 】 4年10月 負担の軽:	生が高	千円 い □ ⁴ 村で実施 い □ ³ 対象児童 こどもの保	249,881 こども医療費の支 給 会計の余地あり している制度であ 高める余地あり を小学校就学前さ	こども医療系 一必要性 ることから 一有効性 までから中	で低い 、必要性 が低い 学校卒 。	とども医療費の支 治 生は高いものと考	こども医療費の支給 会 うえます。
評	ト把握 必要性 有効性 効 着市が行性 着目は 第1本的 また的 第1本的	根点) 民二一に とし は は は は は は は は は は た い た り は は は は は は は は は は た い た い た い た い た い	事 事 ズるのか c	費 の年度 理中内 田成2 田本 田田 1 田本 1 田本 1 田本 1 田本 1 田本 1 田本 1	図 必要性 図 必要性 】 すべてのは 別 有効性 】 4年10月 負担の軽さ	生が高いいる。	千円 い 口 材 村で実施 対象児童 こどもの保	249,881 こども医療費の支 給 会討の余地あり している制度であ 高める余地あり を小学校就学前。 保健の向上を図っ	こども医療系 必要性 あることから 有効性 まできました 効率的	が低い、必要性が低い、学校卒	とも医療費の支給 生は高いものと考 業までに拡大し	こども医療費の支給 含えます。 、保護者の経
	ト把握 必要性 有効性 効率性 着市応行性 着目あ 第1本的か間 服ス的か間 第1本のか間	良式し致は 良二で関あ 点上で関あ 点とか ・業執 託で の表した。	事 事 ズるのか d	費の年度の年度 理内 田成2 田本 田成2 田本 、	 図実施の 図必要性 プイカック 1 (2) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	生が高いまからかった。	千円 い	249,881 こども医療費の支 給 会計の余地あり している制度であ 高める余地あり を小学校就学前さ 保健の向上を図っ 高める余地あり 指定医療機関に	こども 図 必要 性があること 対 からし 対 できる 対 できな 対 できる 対 できな 対 できな 対 対 できな 対 できな 対 できな 対 できな 対 対 対 できな 対 できな 対 できな 対 対 対 できな 対 対 対 できな 対	で低い が低い が低い 学。 ではない ではない	とども医療費の支給 生は高いものと考 業までに拡大し	こども医療費の支 給 デえます。 、保護者の経 (付)を実施して
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 着市応行性 着目あ 第1本的か間 服ス的か間 第1本のか間	艮式し女は 良内る 点、 は 点とか 魚、 、	事 事 ズるのか d	費の年度の年度 理内 田成2 田本 田成2 田本 、	 図実施の 図を要性 プログライン (1) (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2	生が高いまからかった。	千円 い	249,881 こども医療費の支 給 会討の余地あり している制度であ 高める余地あり を小学校就学前。 保健の向上を図っ	こども 図 必要 性があること 対 からし 対 できる 対 できな 対 できる 対 できな 対 できな 対 対 できな 対 できな 対 できな 対 できな 対 対 対 できな 対 できな 対 できな 対 対 対 できな 対 対 対 できな 対	で低い が低い が低い 学。 ではない ではない	とども医療費の支給 生は高いものと考 業までに拡大し	こども医療費の支 給 デえます。 、保護者の経 (付)を実施して
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 着市応行性 着目あ 第7率る・と能	良式し致は 良二で関あ 点上で関あ 点とか ・業執 託で の表した。	事 事 ズるのか d	費の年度 理内 理成的 理在まま 由22	図 実施 「	生が高いか減めである。当年	千円 い	249,881 こども医療費の支 給 会討の余地あり している制度であ 高める余地あり を小学校就学前に 決健の向上を図っ 高める余地あり 指定医療機関に より、現物給付の	こども 公要性 あること 対からし までき 効 てが明 のでき、県 でき	で低い が低い が低い 学。 ではない 以内全域 に に に に に に に に に に に に に	とども医療費の支給 生は高いものと考 業までに拡大し、 無料化(現物給 へ拡大するため、	こども医療費の支給 会えます。 、保護者の経 付)を実施して、より利便性が
評	ト把握 ・対・要 ・対・要 ・対・要 ・は ・対・要 ・対・要 ・対・要 ・は ・対・要 ・は ・対・要 ・は ・対・要 ・は ・は ・は ・は ・とも ・とも ・とも ・とも ・とも ・とも ・とも ・とも	艮式しなは 艮内る 点、執 託・連 また かり かり かり かり かり かり かり かり かり かい かり かい	事 事 ズるのか d 面き 他	費の年度 理内 理成的 理在まま 由22	E別実施F 図 実施 P 図 が で	生が高いか減りである。島年の第一日の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本	千円 い	249,881 こども医療費の支 給 会計の余地あり している制度であ 高める余地あり を小学校就学前さ 保健の向上を図っ 高める余地あり 指定医療機関に	こども 公要性 あること 対からし までき 効 てが明 のでき、県 でき	で低い が低い が低い 学。 ではない 以内全域 に に に に に に に に に に に に に	とども医療費の支給 生は高いものと考 業までに拡大し、 無料化(現物給 へ拡大するため、	こども医療費の支給 会えます。 、保護者の経 付)を実施して、より利便性が
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合 着市応行性 着目は 第1率るよと能 今 展表的か提高が 後	艮式しなは 艮内る 点、執 託車 方の かり 一い与る りしか かり 業行 ・ です 一方 です かまり こうしょう かまり こうしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう しょうしょう かいしょう しょうしょう しょうしょう はいしょう しょうしょう しょう	事 事 ズるのか さ 面き 他態 甲業 業 にか必 果 効い 業可	費の 【県 理政府 理現い高 課療 由なり 由なり 由なり 由なり は長輩	 別実施 図実施 図よび 図よび (す) (す)<th>生が 市 生が か減 で ケロ 改二額 高 らや ある 島年 善 が</th><th>千円 □ t</th><th>249,881 こども医療費の支 会計の余地あり している制度であ 高める余地あり を小学校就学前さ 会健の向上を図っ 高める余地あり 指定医療機関に より、現物給付の 「備向にあることか</th><th>こども ■ こと すからし お範 は 医療</th><th>では、 が低い要性が、 が低い要性がない。 ないは、 は、口全継続のの</th><th>上ども医療費の支 会 生は高いものと考 業までに拡大し、 無料化(現物給 へ拡大するため、 一終了 一体、 適正受診につい</th><th>こども医療費の支 給 デえます。 、保護者の経 (付)を実施して、 より利便性が 止 □廃止 いて広報やホー</th>	生が 市 生が か減 で ケロ 改二額 高 らや ある 島年 善 が	千円 □ t	249,881 こども医療費の支 会計の余地あり している制度であ 高める余地あり を小学校就学前さ 会健の向上を図っ 高める余地あり 指定医療機関に より、現物給付の 「備向にあることか	こども ■ こと すからし お範 は 医療	では、 が低い要性が、 が低い要性がない。 ないは、 は、口全継続のの	上ども医療費の支 会 生は高いものと考 業までに拡大し、 無料化(現物給 へ拡大するため、 一終了 一体 、 適正受診につい	こども医療費の支 給 デえます。 、保護者の経 (付)を実施して、 より利便性が 止 □廃止 いて広報やホー
評	ト把握 ・対・要 着市が行性 着目は 第1maのかと能 今 様子のかに を を を を を を を を を を を を を	艮式しなは 艮内る 点、執 託・連 また かり かり かり かり かり かり かり かり かり かい かり かい	事 事 ズるのか さ 面き 他態 甲業 業 にか必 果 効い 業可	費の 【県 理政府 理理以高 課療ペーロ は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	関 実 ル で 大 で 大 で 大 で 大 で 大 の で 大 の で 大 の の の が の の の が の の の の の の の の の の の の の	生が 市 生が か減 で ケロ 改 H 額 重	千円 い 村 い がこ 医の	249,881 こども医療費の支 給 会計の余地あり している制度であ 高める余地あり を小学校就学前で を健の向上を図っ 高める余地あり 指定医療機関にの 「動る余地あり はかした対したが 「向に協力をお願	こども ■ こと すからし お範 は 医療	では、 が低い要性が、 が低い要性がない。 ないは、 は、口全継続のの	上ども医療費の支 会 生は高いものと考 業までに拡大し、 無料化(現物給 へ拡大するため、 一終了 一体 、 適正受診につい	こども医療費の支 給 デえます。 、保護者の経 (付)を実施して、 より利便性が 止 □廃止 いて広報やホー
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価着市が行性 着目あ 第ス的か間線か 後で	艮式しなは 艮内る 点/式 委合 の善 点二て関あ)とか)業行 託・ 方等 一い与る) た 務で や連	事 事 ズるのか c 面き 他隽 句) 業 業 にか必 果 効い業可	費の 【 理内 理成的 理在まま 見 療べる 由 2 を は 単元 すり 見 長 引 こ ア の こ で の こ の の の こ の の の の の の の の の の の	E別実施 「 図実施 「 図」 「 図」 「 図」 「 1 「 1 「 1 「 1 「 2 「 3 「 4 「 4 」 「 4 」 「 4 」 「 5 」 「 6 」 「 7 」 「 8 を 6) 「 9 を 9 で 9 で 1 の に で 9 で 9 で 1 の に で 9 で 1 の に で と 1 の に で と 1 の に で と 1 の に で と 2 で 3 で こ で と 4 で こ と で と 4 で こ と で と 5 で こ で と 6 で こ で と 7 で こ で と 7 で こ で と 8 で こ で と 9 で こ で で と 9 で こ で で こ で で と 9 で こ で で こ で で で と 9 で で こ で で で で で で で で で で で で で で で で	生 市 まが か減 で ケ4 改 H 額 1 とで ある 島年 善 が こて	千円 □ t	249,881 こども医療費の支給 会計の余地あり している制度である余地あり を小学校就学前ではの一上を図った。 高める余地あり を中の向上を図った。 「はいる・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	こと	で低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いが低いがが低いががががががががががががががががが<th>上ども医療費の支 会 生は高いものと考 業までに拡大し、 無料化(現物給)、 無料大するため、 一終了 □休. 適正受診怪我や、 こどもの怪我や</th><th>こども医療費の支給 会えます。 (保護者の経 付)を実施して よりを利便性が 止 「廃止 いて病気の予防に</th>	上ども医療費の支 会 生は高いものと考 業までに拡大し、 無料化(現物給)、 無料大するため、 一終了 □休. 適正受診怪我や、 こどもの怪我や	こども医療費の支給 会えます。 (保護者の経 付)を実施して よりを利便性が 止 「廃止 いて病気の予防に
評	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前回 着市が行性 着目あ 第ス的か関係が 後 し	R式しなは 艮内る 点/ 元 委合 の等 た 大 大 大 大 大 大 大 大	事 事 ズるのか st mate 他隽 可) 後 業 業 にか必 果 効い業可	費の 【県 【平済 【現い高 【医ム係 医 理内 理成的 理在まま 見療家へる 療物 由、すり 見長弱し 居 を	関実施F 図実施 F 図	** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	千円 □ t	249,881 こども医療費の支 給 会計の余地あり している制度であ 高める余地あり を小学校就学前で表 はのの一上を図っ あめる余地あり 指定現物給付の 「縮小」はあ力をお願 は対したあることお願 に対しなっ に対したるない。 いて広報やホー	こと	では、では、では、では、では、な、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、<th>上ども医療費の支 会 生は高いものと考 業までに拡大し 無料大するため、 無料大するを図して、 でに対し、 でにがしいが、 でにがしいが、 でにがしいが、 でにがしいが、 でにがしいが、 でにがしいが、 でにがしいが、 でにがしいが、 でにがいが、 でにがいが、 でにがいが、 でにがいが、 でにがいが、 でにがいが、 でにがいが、 でにがいが、 でにがが、 でにがが、 でにがが、 でにがが、 でにがが、 でいがが、 でいが、 でいが、 でいが、 でいが、 にがが、 にがが、 でいがが、 にがが、 にがが、 にがが、</th><th>こども医療費の支 給 デえます。 (保護者の経 付)を利便性 に気気の お原性 に対象の は、 に対象の は、 に対象の は、 に対象の に対。 に対象の に対 に対 に対 に対 に に に に に に に に に に に に に</th>	上ども医療費の支 会 生は高いものと考 業までに拡大し 無料大するため、 無料大するを図して、 でに対し、 でにがしいが、 でにがしいが、 でにがしいが、 でにがしいが、 でにがしいが、 でにがしいが、 でにがしいが、 でにがしいが、 でにがいが、 でにがいが、 でにがいが、 でにがいが、 でにがいが、 でにがいが、 でにがいが、 でにがいが、 でにがが、 でにがが、 でにがが、 でにがが、 でにがが、 でいがが、 でいが、 でいが、 でいが、 でいが、 にがが、 にがが、 でいがが、 にがが、 にがが、 にがが、	こども医療費の支 給 デえます。 (保護者の経 付)を利便性 に気気の お原性 に対象の は、 に対象の は、 に対象の は、 に対象の に対。 に対象の に対 に対 に対 に対 に に に に に に に に に に に に に
評 価	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価着市が行性 着目あ 第ス的か間線か 後で	R式しなは 艮内る 点/ 元 委合 の等 た 大 大 大 大 大 大 大 大	事 事 ズるのか st mate 他隽 可) 後 業 業 にか必 果 効い業可	費の 【県 【平済 【現い高 【医ム係 医 理内 理成的 理在まま 見療家へる 療物 由、すり 見長弱し 居 を	別 図	生が 市 はが か減 で ケロ 改 : 額重と 適 、 高 らや ある 島年 善 がじてと 正こ	千円 □ t	249,881 こども医療費の支 会計の余地あり している制度であ 高める余地あり を小学校就学前で を健の向上を図った。 高める余地あり 指定、現物給付の 「傾対しあることが順いである。 は次で病気のである。 は、いで病気のである。 は、いで病気のである。 は、いて病気のである。 は、いてれば、いてれば、いてれば、いてれば、いてれば、いてれば、いてれば、いてれば	こ給 □ る □ でき	費の (K) (M)	とども医療費の支 とは高いものとき 業までに拡大し、 無料化(現物め、 一体、 でに変しのします。 では、こどもの怪我や では、こどものときます。	こども医療費の支 給 デえます。 (保護者の経 付)を利便性 に気気の お原性 に対象の は、 に対象の は、 に対象の は、 に対象の に対。 に対象の に対 に対 に対 に対 に に に に に に に に に に に に に
評価	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前方 着市坑行性 着目あ 第7mmのか 後改 示性	艮式しなば 艮内る 点、t 委合 の善 たな 点二て関あ 点とか)業符 託・ 方策 一今善 一 一)一) 一) 一) 一) 一) 一) 一) 一) 一	事 事 ズるのか c 面き 他隽 同) 後長 業 業 にか必 果 効い業可 性 の等	費の 【県 理政済 理現い高 課度ム係 医し 理内 由及貨 由、すり 見長輩へる 療び	別 図	生が 市 はが か減 で ケロ は 中額重せ 適く、 斉(す) を ある 島年 善 がじては 正こ 中	千円 □ t	249,881 こども医療費の支 会計の余地あり している制度であ 高める余地あり を小学の向上を図った。 高める余地あり を健のの主を関 に関 に関 に関 に対す。 に対す。 に対す。 に対 に対 に対 に対 に対 に対 に対 に対 に対 に	こ給 □ る □ まて □ お範 □ らい □ な原 □ か	費の MK 必 WK 学。 WK A MK 型 と を併 実 い 変 い 数 WK が 私域 続 のに じせ 施	上ども医療費の支 注は高いものと考 業までに拡大し、 無料化するため、 一個正どもの怪我や で保護でではあいる。 で保護ではあった。 で保護ではあった。 で保護ではあった。 で保護ではあった。 で保護ではあった。 ではないる。 ではない。 ではないる。 ではないる。 ではないる。 ではないる。 ではない。 ではなな。 ではなな。 ではなな。 ではなな。 ではななな。 ではなな。 ではなな。 ではなな。 ではなな。 ではなな。 ではななな。 でなな。 でななな。 でなな。 でななな。	こども医療費の支 給 デえます。 (保護者の経 (付)を利便性 (よりを利便性が) (上) 「廃止 」 「広気のお願い」 (協力をお願い」。
評 価	ト把握 必要性 有効性 効率性 総合評価 前回 着市が行性 着目あ 第ス的か関係が 後 し	艮式しなば 艮内る 点、t 委合 の善 たな (施 点二て関あ 点とか)業符 託・ 方策 今善 実の)一い与る) た 務で や連	事 事 ズるのか さ 面き 他隽 同) 後長 厄里 業 業 にか必 果 効い業可 し 一〇等 内由	費の 【県 【平済 【現い高 【医ム係 医し こ 理内 理成的 理在まま 見長輩」 居 様い も	別 図	生が 市 はが か減 で ケロ は 中額重せ 適 、 斉ィ病 町 高 らや ある 島年 善 がてて 正こ 中気	千円 □ to	249,881 こども医療費の支 会計の余地あり している制度であ 高める余地あり を小学校就学前で を健の向上を図った。 高める余地あり 指定、現物給付の 「傾対しあることが順いである。 は次で病気のである。 は、いで病気のである。 は、いで病気のである。 は、いて病気のである。 は、いてれば、いてれば、いてれば、いてれば、いてれば、いてれば、いてれば、いてれば	こ給 □ る □ まて □ お範 □ らい □ は 中や B を 要 か 効 らし 率 てが 充 医て □ ら	費の MK 必 WK 学。 WK A MK 型 と を併 実 い 変 い 数 WK が 私域 続 のに じせ 施	上ども医療費の支 注は高いものと考 業までに拡大し、 無料化するため、 一個正どもの怪我や で保護でではあいる。 で保護ではあった。 で保護ではあった。 で保護ではあった。 で保護ではあった。 で保護ではあった。 ではないる。 ではない。 ではないる。 ではないる。 ではないる。 ではないる。 ではない。 ではなな。 ではなな。 ではなな。 ではなな。 ではななな。 ではなな。 ではなな。 ではなな。 ではなな。 ではなな。 ではななな。 でなな。 でななな。 でなな。 でななな。	こども医療費の支 給 デえます。 (保護者の経 (付)を利便性 (よりを利便性が) (上) 「廃止 」 「広気のお願い」 (協力をお願い」。

事	 務 事 業 名	児童相談	 ķ事業				整理No.	70
所	属 名	部 こども	も健康部	果こども支援	誤	記入者 橋本	内線	482
上	位施策名	分野 健康	·福祉、安全·安心	中柱 多様な=	-ーズに対応した子育て支援	愛の充実 小柱 相談	事業の充実	
		年度 昭和	52 年度				厚生省事務次官证	角達により設置)
	•	年度 令和	,	1. 根据:1. 是:1. 是:1. 是:1. 是:1. 是:1. 是:1. 是:1. 是			」及び家庭児童相	
			□高齢者					
	ダ (誰、何を対		るか)(具体的に)児					
			うな状態にするたる			、具体的な目標	(数値)など。)	
	家庭児童	相談員及で	び社会福祉主事を					等相談者の不
	安や負担	の軽減を図	図ります。					
由	# ** 101 #	/ TE 40 +5 t	マスキャウャル	⊓ <i>₩+</i> /± - 	-74 41-17+1			
事			₹・活動内容など、 ¢児童の養育と養育				宏庭旧音和談員	ヨレ社 今垣 加士
務			が重め食育で食育 養務を行います。	月に財産して	光生りる问題の	群仏を囚るにめ、	多庭児里怕飲戶	見て江云畑江土
事			· · · · · · · · · · · · · · ·					
#		区	分	単位	令和2年度		3年度	令和4年度
業					実績(決算)	計画(予算)	実績(決算)	計画(予算)
の	· · · · ·	相談業務		日	246	242	242	240
		相談対応	件数	件	4,358	4,000	3,658	4,000
概	指標③		中国製化コートロー・コーン	ýNy deta ⊃. Ler∈	WILE CHERT	囲しの生地 にい		T # 0 # 1 1 = ~
要	指標に対す	する達成度	相談に対しては、軽減が図られたと	継続した相談 ・考えます	炎対心や関係機) 関との連携など (こより、相談者の	个女や負担の
		事業		千円	8.726	9,207	8,775	9,607
	1.5		員 国県支出金・その他		22	396	394	3,228
	4114	一般財源		千円	8,704	8,811	8,381	6,379
	. 職	員数		人	2.00	2.00	2.00	2.00
	コ2ス	人件費		千円	9,930	9,930	9,930	9,930
	۲	総事業	: 費 ①+②	千円	18,656 家庭児童相談	19,137 家庭児童相談	18,705 家庭児童相談	19,537 家庭児童相談
	把 握	事業	の年度別実施内容	容		業務		業務
		3上\	✓ 必要性か	「高い □検	 討の余地あり			
	必 市民	ユーズに	【理由】				he > > 1 = =de > 1 + 2	
		しているか 対関与の必	子育ての孤立化によ い、子どもの養育環境	る不安や、子ど 気の改善を図って	もの発育・発達の遅ね ています。	れ等を心配する保護	者からの相談に対し	て助言・指導を行
		はあるか	また、児童福祉法に対	規定された市町	村業務であるため、	実施する必要性があ	ります。	
			▽ 有効性が	高い □高	める余地あり	□ 有効性が低い		
	有(着眼		【理由】					
 	刻 _{田 (十}	りとした効 あるか	相談業務を通じて、リ	見童虐待防止・!	早期発見の一助とな	っています。		
次	性							
===	(着眼)	点)	□効率的で	ある 「ノ 喜	める余地あり	□効率的ではない		
評	・コスト	・、業務面等効 ・、業務面等効 :執行できてい	/ _理 山】		0707.2007			
価	率 るか		他機関の支援につな化することがあります。					
	」エ との統		であると考えます。ま					
	能か		あると考えます。 見直し(□ 改	羊. 热衷ル 「	□烷小 □ 绘△「	→	■ □ 数フ □ +	.L □ ob.,L
	総		【課長名:井田		」縮小 」統合	ガムノし / □▽ 和土村	₹ □終了 □休	止 []廃止
		の方向性 [策等]	子育てに関連して発 軽減のみならず、児童	生する様々な問				
	価	1 A 47	軽 傾のみならり、児皇とと考えます。	単三な月 成	に対し里安な役割を	7担の(いると考えり)	10、争果を継続 夫肔	りることは里安なこ
	*							
	前回示した							
ᄀᄸ	万同性(2							
改盖	方向性(改	X 音水寺/	□ 由#:>:/	н) □- ±	収字体 □☆キ	.h □±+++	☐ Z∧₩	
協善 状	対応状況	(実施内	□ 実施済(中)	邸実施 □ 検討	中 □未実施	□その他	
善	対応状況	(実施内 施の理	□ 実施済(中) 🗌 — f	邸実施 □ 検討	中 □未実施	□その他	

事	務事業名	つどいの)広場事業					整理No.	71
所	属 名	部 こど	も健康部課	こども支持	爰課	記入者	樋田	内線	483
 上・	位施策名	分野 健身	·福祉、安全·安心	中柱 多様な	ニーズに対応した子育て支持	愛の充実 小柱	地域子ども	・子育て支持	爰事業の充実
	事業開始		7 年度		児童福祉法				
	事業終了		根拠	法令等	子ども・子育て	支援法			
				障害者	□個人 ☑世帯		全ての人	□その他	
	対 (誰、何を対		るか) (具体的に) 乳幼り	-	<u> </u>				
			うな状態にするために			. 目体的 <i>t</i> :	5日堙(粉枯	') ナンビ)	
			フな状態にするために に立ち寄り、交流や情						負担の軽減、
			あいにより地域で安心					, , , , , , ,	71.12 × 12171
事			₿・活動内容など、目的						
 務			立ち寄れる「つどいの広り]でしたが、つどいの広場						
			一円に補正しています。	00年11週	来中vy 牌八次 O 才	外生ロレアク	「ルハ心未」	a N M IL M R V	グに砂日勤水住
事		_		W 11	令和2年度		令和3年度		令和4年度
業		区	分	単位	実績(決算)	計画(予		績(決算)	計画(予算)
	指標①	開館日数	ζ	日	119)	240	158	240
の	指標②	延利用者	数(2施設)	人	4,009	1	2,000	5,329	12,000
概	指標③								
	#F 1== + 1 =	L -7 \+ _1\ _4	コロナウイルス感染抗	太大防止の	のため、施設の体	木館や利用	人数を配慮	こした運営を行	テったため、指
要 	指標に対す	する 達成 茂	標に対する比較はで	きません	でした。				
	1110. —	事 業		千円	5,119		6,861	6,636	6,572
	عللد		(国県支出金・その他)	千円	3,356		4,820	4,460	4,382
	書 ""	一般財源	Į.	千円	1,763		2,041	2,176	2,190
		員 数 人 件 鄧	\$	人 千円	0.10 497	,	0.10 497	0.10 497	0.10 497
	コ(2) ス	総事業		千円	5,616		7,358	7,133	7,069
	ا اس				つどいの広場2施	つどいの広想	場2施 つどV	いの広場2施 ~	つどいの広場2施
	把 握	事業	美の年度別実施内容 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん		設の運営	設の運営	設の追	車営 前	设の運営
	(着眼	(占)	☑ 必要性が高い	\ □ 核	討の余地あり	□必要性が	が低い		
	必 市民	ニーズに							alle total and the second
			子育て中の保護者に 供を行う場を設けるこ						業等の情報提
		はあるか		-C14、月	元來発と同工で	C 2/20/10	光女なこと	ニケヘムリ。	
			☑ 有効性が高い		らめる余地あり	□ 有効性が	低い		
	有(着眼		【理中】	ш	,000,000		,50		
–	効 けあ	」とした効果 るか	旭畝を竹利用りる刀	も多く、信	保護者の交流や	情報交換、	気軽な相談	その場として有	す効に利用さ
 次	性	J.C	れていると考えます。						
	/ 14 nm	د ر			ゖ゚ゟ゙゙゙゙゙゚゚ゕ゚゚゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚ゕ゚゚゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙	ᄆᇸᇴᄱᅩ	il++-1 \		
評			☑ 効率的である □ 【理由】		ある余地あり	□ 効率的で	はない		
価	半 るか_		保育士の配直や情報制						
	性・民間を	を託や他事業 合・連携が可	でいると考えます。また ビスの向上を図るととも	、令和3年 に 増量に	度から、坂戸つど て伴い補助全の対	いの広場の付 象施設とかっ	保育士を常聞 ったことで 一	寺1名から2名に ・般財源の削減	に増員をし、サー まに繋がってい
	能か		ます。			水池灰 こなっ	7/2020	WX 21 10V A > 11 102	がに 発がっ フ くく
	総		見直し(□改善・3 【課長名:井田 二男		□縮小 □統合	□拡充)	☑ 継続 □	終了 □休山	- □廃止
	合 今後(の方向性	子育で中の保護者に		軽に相談や交流	気のできる場	景、子育てに	関連する事	業等の情報提
	評 (改善 価	策等)	供を行う場を設けるこ	とは、子	育ての不安や負				
	ІШ		り、事業の継続は必要	要である。	と考えます。				
	前回示した								
改	方向性(改	(善策等)							
善	符序作品	(宝坛山	□実施済(中)		部実施 □検討	中 🗆	未実施	□その他	
╽状									
້	今後の予								

事	務事	業名	子育	て世	代包扣	舌支援推	進事	業(基	大型)				整	理No.	72
所	属	名	部	こども	健康	部	課	こども支	援課		記入者	町田		内線	483
ا £ ۰	位 施	策 名	分野	健康	·福祉、	安全•安	心口	中柱 多様な	ニーズに対応	こした子育て支持	援の充実 //\:	柱 地域	子ども・子	・育て支	援事業の充実
	事業	(開始	年度	平成	27	年度			子ども	子育てき	支援法				
	事業	終了	年度	介和		年度	根拠	! 法令等			支援利用]	支援員訂	2置規則		
	, ,,					□高齢	者	障害者		世帯		□ 全て		その他	
	(誰			象 ノている	るか) (具体的に)	児童7	- 及びそσ	—)保護者						
										ているか	、 旦体的	か日煙	(数値)な	(يشل	
															と円滑に利用で
	きる	よう、忄	青報収	集と	提供を	行い、必	要に原	さじて窓	口等関	系各所へ	の連絡調	整や助	言などの	支援を	行います。
事 											ているか			Mr. I I	
務						どもの預)提供、即					用など、日	とどもに	関する日	常的な(悩みやニーズを
	PLIC	, 2013		C V 'a	/1月 十 以 V		10,4		Z G 1 V	A 7 0					
事				区	分			単位	令利	12年度		令和:	3年度		令和4年度
業		_							実績	(決算)			実績(シ	,	計画(予算)
_ ا	指	標①	相談	開設	日数			日		149		168		138	168
の 	指	標②	相談	件数				件数		321		300		446	300
概	指	漂③													
要	指標	(こ対:	する達	成度	専門性者タオケ	の高い相談 す。 会和3年	経員を配 E度 <i>け</i>	置するこの新型コロ	とで、誰も ナウイルス	が気軽に相 の関係もあ	談できる体 り、相談員/	制を整えの配置が	ることで、効 できない日オ	果的な相ばありまり	談業務を行えたと た。
🗸						7 ₀ 1/ HO-	一尺は、						CGGVIA		
	総事	_	事			出金・その	Ш	千円 千円		2,040		2,143		1,981 1.626	2,163
	業	• • •	一般		当宗又:	山並•で0.	기민)	千円		1,393 647		1,791 352		355	1,807 356
	費		員数					人		0.20		0.20		0.20	0.20
			人作					千円		993		993		993	993
	ス		総	事 業	費(1)+2		千円		3,033		3,136		2,974	3,156
	ト 把			事業	の年度	別実施に	内容		る情報技	是供及び相	る情報提供		る情報提供		子育て支援に関する情報提供及び相
_	握						4.12 	. –	談・助言		談・助言	1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	談·助言		談・助言
	必	(着眼	(点)	ブリー	【理由	✓ 必要性	Eか高い	` ∐≀	食討の余均	也あり	必要的	Eが低い			
	要	対応	してい	るか	子ども	及びその	保護	者等が	自らの課	題•状況	に応じ、参	多様な施	設や子育	ずて支援	受サービスを適
	性		対関与 はある												根提供や助言
		女江	1400) /3 ·	寺によ	り 他 設 へ	771	ヒスを円	(一个リ)	けいてる!	つ又抜す	9-519	、必要性》	うしいこ	考えます。
	<u>+</u>	(着明	(4)		f im ch	<u>✓</u> 有効性 ¶	が高い	- LI	高める余地	はあり	፟ 有効性	が低い			
l _	有効	・目的	りとした		【理由 専門∂		を配置	む、利月	者の相	談やニー	-ズを聴き	、個々の	り状況に応	ちじた信	青報提供や助言
١.,	性	果は	あるか	`							と考えま		- / () = (- /-	u 0,011	110000000
 次															
評		(着眼	点) · 、業務同	百筀劲	7 -m 1	☑ 効率的 •	である	□ ī	高める余地	あり	□効率的	ではない			
 	効率		執行で		【理由		日う二:	杏で古墳	経課内に	北該聯 員	まる配置し	ており	相談昌り	油堆な	行い、効率的
価	性	·民間	委託や作	也事業	に適り	別な教育	保育	ョ (又) 施設やは	と味りに	·ヨ吸楓』 ·育て支援	要事業等を	と円滑に	利用でき	き助言	等を行えている
		との紙能か	:合·連携	きかり	と考え	ます。									
	445					直し(□ 縮小	□統合	□ 拡充)	✓ 継続	長 □終了	休	止 原止
	総合	今後	の方向	性		名:井田			7. 女 ナ 士・	空気 中で	37 古町村	· ぶ 数 去 . <i>i</i>	で 女 歩 乳 め	地域ので	子育て支援事業に
	評		策等		ついて	需要量を見	込み、	供給体制	を計画的は	こ整備してい	いく仕組みり	になってレ	ます。 その	一方で、	保護者が自らの状
	価										ごはないこと のと考えます		別の状況に	心じて適	切なサービスを円
	前同]示L:	た今後	éσ							. ==-/	-			
 改			女善策												
善						□ 実施:	斉(中)		·部実施	□ 検討	t中 [一未実施		その他	
↓ 状 況			(実施 施の理												
)			他の項の予定												

事	務事業	名	ファミ	ミリー	・サポ	ート・セ	ンター	-運営事	業				整理No.	73
所	属	名	部	こども	健康部	ß	課	こども支	援課		記入者	石川	内線	482
 上	位 施 策	名	分野	健康	·福祉、	安全·安	心口	中柱 多様な	ニーズに対応	した子育て支持	暖の充実 小村	t 地域	子ども・子育て支	[援事業の充実
	事業開	見始:	年度	平成	12	年度			子ども	子育て支	援法			
	事業終	冬了:	年度	令和		年度	根拠	!法令等	坂戸市	ファミリー	-・サポート	・セン	ター事業実施要	綱
		対	} \$	₽						✓世帯				
	(誰、何			-	(か) (点	具体的に)	利用分	会員:0歳/	から小学に	6年生まで	の児童を有	すする保 20年1	R護者 以上で、育児の援	曲を行いたい 古
	目標(対象	きをど	のよう	5な状態								(数値)など。)	93.6-13.6-7.6-7.7
										員)からなる	る会員組織	で育児	見の援助活動を行	うことにより、子
	育て世	帝())負担	(/)軽	人 ひり	児童の借	強化(グ)	句上を図	ります。					
 事	車業報	平田	/ 田元 幺日	内灾	. 汗	カ灾かど	日砂	たきむ	ナスたか	いに何たし	ているか。)		
Ŧ													かどファミリー・サ	ポート・センター
務								を行いま		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		,	, , ,	
 事														
علاد				区	分			単位		12年度 (決算)	計画(予		3年度 実績(決算)	令和4年度 計画(予算)
業	指標	1)	会員	数(協	力会員	į)		人	入帜	81	пес	85	2 1111(11 121)	
の	指標	2	会員	数(利	用会員	1)		人		314		320	345	350
┃ ┃ 概	指標	_			.,,,,	•		件		942		1,000		
		Ü			援助件	数及び	会員数		を達成っ		できました	-	1,000	1,100
要	指標に	対す	「る達	成度										
	1.0	_	事					千円		3,894		5,014		
	عللد				国県支出	出金•その)他)	千円		1,866		3,066		•
	書		一般. 員 数					千円 人		2,028 0.10		1,948 0.10	1,947 0.10	1,935 0.10
			人人					千円		497		497	497	
	ス	_	総	事 業	費()+2		千円		4,391		5,511	5,510	
	ト 把			車業	の年度	別実施ロ	力灾						ファミリー・サポー ト・センターの業務	
	握			尹木		711 - X 1161	. 1 .		委託によ		委託による		委託による運営	委託による運営
	. (着眼	点)		7 ⊤⊞ ⇔ `	☑ 必要f □	生が高い	۱ <u> </u>	検討の余地	もあり	□必要性が	が低い		
	必・要す	市民 t広し	;ニー> .てい	ズに るか	【理由】 年々増	I 加する	多様な	保育二、	ーズに対	し、保育	の補完とし	ての行	殳割が大きい本 写	事業は、市民
	性・	行政	関与(の必	ニーズ	に対応	するた	めに効り	果的な事	業と考え	ます。			, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
	3	そ1生1	はある	731										
	- (着眼	!占)			☑ 有効性 □	が高い		高める余地	あり	□有効性が	が低い		
l	· ·	目的	とした		【理由】 仕事と		可立で	きる環境	整備、変	変動的•変	ご則的な保	音需要	要の補完など多様	様な保育ニーズ
_ ا	性	₹I\$ 8	あるか								と考えます			0.11.13
次 														
評		着眼点コスト.	₹) 、業務配	5等効		☑ 効率的 •	である	i	高める余地	あり	□ 効率的で	ごはない		
 価	効 _率 率 る		執行で	きてい	【理由】 平成30		らセン	ター運営	営の経験	が豊富な	:NPO法 <i>/</i>	への	業務委託を行った	たことで、運営の
"	性	民間委	を託や作 合・連携		強化と	事務のタ	勋率化	が図られ	1ました。	また、令	和3年度か	ら、病	i児・病後児の預	かりや宿泊を伴
		か			り損かい	リ、早期 -	*攸間						に実施いたしま	-
	総					重し(∟ 名:井田			縮小	□ 統合 □	_/ 拡充)	✓ 継続	売 □終了 □休	:止 原止
			の方向						ーズに対	けする補完	三事業とし	て、市上	ミニーズに対応	するための重要
	評 (価	以 晋	策等)										ます。また、低所	行得者世帯にも
					小川川し	勿くなる	より、社	NJ用科金	が一般児	に関しい	検討を行い	*より。)	
	前回和方向性													
改善善	/J [+] [:	(ښا∟	八二八	· *1 /			文/宀\		·部実施	□検討	ŀmt □	1±##	i	
状						」	斉(中)		叩天心	∐ (快刮	· + ∟	未実施	」 □ てい他	
況	容、未由、今													
	ш 、7	皮U	ノアル	寸 /										

事	務事	業名	児童	虐待	防止事	業								整理No.	74
所	属	名	部	こどは	健康部	K	課	こども支払	爰課		記入者	香 橋本		内線	482
	位 施									トろ子どもと家庭					方止対策の充実
<u> </u>			カゴ 年度		16	チェック 年度	_	1 12			見童虐待の				3 <u>11</u> /1 /K -> /1 /C
			年度		10		根抄	心法令等		子育で		// 9/ IL. 7		7 214 14	
	尹未	三下空]	牛皮	市和		年度 高齢	* [障害者	_	ナョ () 世帯		√全で	ω i	□その他	
	(= #			象 でいる	((□□ 同町 具体的に)	18 _	_ 牌古日		Ш⊯т	<u> </u>	Ľ ± C	<i>"</i> 人	□ ての他	
								こ当該事業							士伝え、桜、朱)子
															支援を推進しま O社会の実現を
		しま		(- / ()	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	/E 13 D3 =	L. (-)	~ , , Ф ·Ц)	001170	()	=11% %	(, _ 0/.	- JN V	<u>«што</u> р	
事	事業	概要	(取組	内容	•活動内	内容など	、目的	的を達成す	するため	に何をし	ているか	١,)			
	児童	虐待	等のリン	スクの	高い家庭	宝に対し、	関係	機関と連携	嶲・調整し	、適切な	支援・対応	むを図りま			児童対策地域協
 務	議会	研修:	会や児	童虐	诗防止律	可頭キャン	/ペ <u>ー</u>	ンを実施し	ノ、児童虐	言待の防」	止に関する	る意識の	高揚を	図ります。	
事									A T-	a 		A 7-	. 		A
ᅫᇨ				区	分			単位		2年度 (決算)	計画(3年度 宝紀	責(決算)	令和4年度 計画(予算)
業		標(1)	要保護児	己童対策均	也域協議会実	実務者会議開	崔回数	回	入根	4		4	∠ 4:	4	4
の	•	標②	研修:	会(要	対協構	成機関対	+象)	回		4		4		4	4
 概		_	7112	- ()	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	成機関対	3 - 7	同		-	-	1		1	1
1496) H1	ѫ⊍	明修	厶 (女					実務者4	会議を盟	催]。	工 保護児童	音の滴	切か支援』	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
要	指標	に対	する達	成度										り止としまし	
	総	1	事	業	貴			千円		1,257	,	1,466		1,279	2,281
	事	財	特定	財源(国県支出	金・その	他)	千円		606	;	362		342	748
	業費		一般					千円		651		1,104		937	1,533
	•		員数					人		1.00		1.00		1.00	1.00
	コス	(2)	人	牛 費 事 業				千円		4,965		4,965		4,965	4,965
	١		形态 -	尹 未	其)+2		千円	児童虐待	6,222 ∳等への	, 児童虐待	6,431 等への	児童虐	6,244 待等への	7,246 児童虐待等への
	把 握			事業	の年度	別実施に	内容		対応及び 止啓発		対応及び 止啓発	虐待防	対応及 止啓発		対応及び虐待防 止啓発
		(着則	(14.5			✓ 必要!	生が高い	い □核	対の余地	あり		生が低い			
	必	- 市日	- - - 5	ズに	【理由】	= 1 1/2		幸長はる時	a.r ⊢uller:	7% P 7 ~ 1°	+ IS ~ IS 'S	and a second) % J L 244)) - , , 1 	. 1. 1.
	安 性	対応・行る	してい 対関与	るか の必	児童虐待	5等の通告	f受理.	、要保護児	重対策地域	或協議会の	り設置等が	市町村の	事務とし	に高いと考え て関係法令	で規定されていま
	İ		はある					り、児童相談 、虐待事案						たに規定され	い、近年、事案送致
						▽右効性			ある余地	, - , .	_	まが低い	6/0		
	有	(着目		- L	【理由】				,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	.,,		2.0 13.0			
-	効		りとした あるか					議会を組織 待の防止策				応協議する	ることは、	児童虐待の	予防、早期発見、
 次	性				入版(C)	21.4 W . J ()	L = E / E	11 02 67 11.34	(000)	n (w) 5 C	7/24/0				
		(着眼	占 /			▽ 効率的	17:±2		高める余地	±n	□ 热衷的	りではない			
評	効	・コスト	灬/ 、業務i ニ執行で		【理由】) C 00/0		ののの水池	כינע	w+"	3 (10/00)			
価	率	るか					育、医	療その他の	の関係機	関と連携	することで	、効率的	で効果	いかな対応な	が図れていると考
	性	との統	会・連携		えます。要保護		近地域	協議会の	事務局と	して、対応	に記録など	:個人情報	最を扱う	うことから、月	民間委託等は適さ
		能か				きえます。	小羊.	ᄴᇴᄱ	(⇔ .i.	┌┤ॗॗॗॗॗॗॗॗ	□ +÷ * \	\	. □ •	% ヲ □ μ	.L
	総					重し(□ 名:井田			□□稲小	□机管	□ 拡充)	/ ☑ 継続	ŧ ∐ ŧ	終了 休	止
	合評		の方向 s策等		児童虐待	寺の防止及	び支		を担う子ど	もたちの福	福祉向上の2	ため、必要	性が非	常に高いこと	から継続実施して
	価	(4)	3 X VI	,	要保護児		口、児童					応業務の均	曽加が考	きえられること	から、職員の技能
					の向上と	:関係機関	との更	「なる連携強	能化が必要	であると考	えます。				
	七点		た今後 女善策												
改善善) I 🛨 (G	人古尔	ज ि			÷ /ᆚ丶		如中长	<u> </u>	4m- 「		ı	ロスのル	
晋 状		状況	(実施	内		□ 実施》	斉(中)	□-	部実施	検診	ካ 	未実施		その他	
況	容、	未実	施の理	፟፟፟፟፟											
	出、	ラ 伎(の予定	- 寺)											

事	務事業々	3 言語	発達	遅滞児支援事	事業					整理No.	75
所	属	3 部	こども	健康部	課こど	も支援	課	記入者 町	↑⊞	内線	483
上台	位施策。	3 分野	健康	·福祉、安全·安	心 中柱	専門的な	支援を必要とする子どもと家庭へ	の支援 小柱 障	5害児施第	その充実 かんしょう かんしょう かんしょう かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ	
	事業開	冶年度	昭和	56 年度	III lbn s.t.	A 44	児童福祉法				
	事業終	了年度	令和	年度	根拠法金	分等	坂戸市家庭児童	[相談室設置	要綱		
		対 象	þ	□高齢	者 □障	害者	☑個人 □世帯 □	□団体 □ 🖺	全ての人	□その他	
	(誰、何る			か) (具体的に)	心身の発	育発達	幸に遅れ等がみ	られる児童と	その保護	者	
	目標(対	象をどの	のよう	な状態にする	ために当詞	該事業	を行っているか	、具体的な目	標(数値)など。)	
							護者に、専門スク	タッフによる相	目談指導を	:行い、児童	重のより良い成
		ビ文援し	八川印	寺に保護者の7	ト女等を戦	全滅し	(いさます。				
事	事業概.	更(取組	内宓	・活動内容など	〕日的を	達成す	っ るために何をし	ているか。)			
							をに遅れ等がみら		その保護者	皆を対象に、	、手遊び・課題
務						る指導	動言等も行って	います。小牛	学生にな	った児童に	こついても必要
事	にかいして	.継続相	一談に	てフォローして	います。		A 1=0 ===		T=0 /= ==		A T- 1
業		- 1	区	分	単	位	令和2年度 実績(決算)	令 計画(予算	`和3年度) 実約	責(決算)	令和4年度 計画(予算)
木	指標①	グルー	ープ指	『 導教室開催回	回数	回	65		81	41	84
の	指標②	グルー	ープ指	a 導教室延参力	口数 人	数	674	g	950	381	950
概	指標③)								501	
-	+15 +西 / - →	ユーナフ '去					つため、一部の勢	女室を中止とし	たが、概	ね予定どお	りの回数を開
要	指標にメ	する達	队	催できており、	達成できた	とと考り	えます。				
	1.0	•	業			-円	1,518	1,6	862	1,251	1,862
	٠.١	「特定!! 「一般!		国県支出金・その		- 円 - 円	0 1,518	1 6	0 862	0 1,251	0 1,862
	費 職	, 一				人	0.20	0.5		0.20	0.20
		入人				-円	993	9.1.	993	993	993
	ス	総章	事業	費 ①+②	Ŧ	円	2,511	2,6		2,244	2,855
	ト 把	:	事業の	の年度別実施ロ	力容		言語発達遅滞児グ ループ指導教室の				
	握		7-70				実施	実施	実施		実施
	. (着	眼点)	_0.	✓必要↑	生が高い	検	討の余地あり	□必要性が低	い		
	要 対原	民ニース	るか	教室参加するこ	とで言語発	達への	の刺激・対人関係の	の向上を促し、	保護者が	児への望まし	しい接し方を学
	性・行	政関与(生はある	の必	ぶ機会となってい	ハます。児:	童の成	長や子育てに関 長発達の支援と	する不安等に~	ついて、専	門的なスタッ	·フによる相談指
	安门	±はめる	Ŋ,				及元座の久扱の	↑ で	サックキェルスで	111261.2	7 0
	→ (着	眼点)		✓ 有効性	まが高い	一高	める余地あり	□有効性が低し	,1		
_	か・目	的とした	:効	【理由】 教室の参加に	より、言語	発達や	や基本的な生活	習慣の定着、	コミュニク	ーション能	力の向上等の
	性果	はあるか		成長が見られる	ます。また		的なスタッフによ				
次				が図れたと考え	こます。						
評		限点) スト、業務面	5等効	□効率的	りである	✓高	める余地あり	□効率的ではた	まい		
価	効 _{率的} 率 るか	に執行で	きてい	【理田】 心身の発育発	達に遅れ	等が見	見られる児童に関	する相談がよ	曽加傾向	にあり、教旨	さ への参加の
Щ	性 ·民	間委託や他 統合・連携	事業	受入れが困難	となる場合	かあり	ります。教室参加				
	能力		,,,,	を検討していく	必要があ	ると考	えます。				
	総			見直し(□	='	化	□縮小 □統合[」拡充) ✓	継続	終了 【休】	上 □廃止
	合 今往	後の方向	性	【課長名:井田 教室では児の		だけで	なく、保護者支	援も行ってお	り、地域は	こおける子習	育て支援の充
	評(改価	善策等)					れ、事業の継続				, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
	ІЩ										
	前回示										
改業	方向性	以善策	寺)	_				. —			
善状	対応状況	兄(実施	内	□ 実施:	斉(中)	一音	『実施 □ 検討	中	実施	□ その他	
況	容、未多	軽施の理 しんりょう かんしょう かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ	1								
	由、今後	が予定	寺)								

事系	务事:	業名	母子	家庭	等自立支援事	業					整理No.	76
所	属	名	部	こども	健康部	課	ども支持	爰課	記入者	藤島	内線	422
 上 位	立施:	策名	分野	健康	·福祉、安全·安	心 中	中柱 専門的な	★支援を必要とする子どもと家	庭への支援 小柱	ひとり親	家庭等の自立	Z支援の推進
			年度		20 年度			母子及び父子				
			年度		年度	根拠:	法令等	坂戸市母子家			東給付金等支	給要綱等
	7. >/					者□	障害者	□個人□世帯				14 × 111 11
	(誰、	タ 何を対		象 こている	- か) (具体的に)	配偶者	のない女	子で現に児童(2	0歳未満)を持	夫養してい	るもの(母子家	庭の母)及び 配 の父)
	日煙	(対象	きをど	ω ⊦ >				で規に児童(20歳 を行っている か				の父)
								験、職業能力の				こあるため、資
	格取	得や	就業等	等にカ	かる相談事業	を行うこ	ことで雇用	用の安定及び就	職の促進を	図ります		
l	士士							進給付金等の 申			3,800十円に増	間額補止してい
事								けるために何をし				
務								生活を送ることだ :納税が見込まれ		こなります	。また、所得	の同上か見込
_		, , , ,	=1/120	. , —	17 -> 17(->1 30 -> 1)	~ C/I	PE///26 3 . 04	71700	000 / 6			
事				区	分		単位	令和2年度		令和3年	度	令和4年度
業								実績(決算)	計画(予		実績(決算)	計画(予算)
_	指標	票①	高等職	浅業訓 網	様促進給付金の支給	金額	円	3,454,000	5,778,0	00	6,817,000	11,696,000
の	指标	票②	自立	支援教	育給付金の支給	金額	円	209,800	480,00	0	181,700	480,000
概	指標	#3	高等学校	卒業程度認	忍定試験合格支援給付金の支	合金額	円	0	150,00	0	0	150,000
要	指標	1547	する達					的安定等のため	に給付される	ら ものでま	らり、養成機関	での修了に際
女	יעניםנ				し大きく寄与し	ともの。						
	総 事	_		業	₹ 国県支出金・そ <i>0</i>	л ин)	千円 千円	11,814		9,104	12,863	15,179
	業	財 源	行正! 一般		当宗又田金・での	1世)	千円	2,907 8,907		5,600 3,504	5,507 7,356	10,056 5,123
	費		員数				人	1.20		1.20	1.20	1.20
		2		牛 費			千円	5,958	3	5,958	5,958	5,958
	ス		総	事 業	費 ①+②		千円	17,772		5,062	18,821	21,137
	ト 把 握			事業	の年度別実施区	內容		高等職業訓練、教育訓練給付金、自 立支援相談等	(高等職業訓 育訓練給付金 立支援相談	金、自 育詞	等職業訓練、教 訓練給付金、自 支援相談等	高等職業訓練、教 育訓練給付金、自 立支援相談等
	1/王				☑ 必要性	Ŀが喜い		立文版作版等 を討の余地あり	□ 必要性が		又1友111 欧守	立义16/11 欧守
	ıΣ	(着眼 •市長	! :ニース ・	ズに	【理由】	L/J D] V ·	ш ¹³	というがたのう		, 157.0 .		
	要	対応	してい	るか	母子家庭の母			えるために十分				
	性		て関与(はある					た本事業は、必 及び第31条の				
		×11.	<i></i>	7.5							/紀女// な//よ	7 0
	有	(着眼	(点)		☑ 有効性 【理由】	か高い		ぶめる余地あり	□ 有効性が	低い		
–	効		とした	:効果		生かし	して就業	することで、安富	どした生活を	送ること	ができるように	なります。また、
 次	性	はあ	อมง		所得の向上が	見込ま	れ、児童	扶養手当等の	失助費の減	少と継続	的な納税が見	込まれます。
🖔												
評	**	(着眼)・コスト	業務⋷	面等効	☑ 効率的 【理由】	である	□高	ぶめる余地あり	□ 効率的で	はない		
価	郊率	率的に るか	執行で			ら母子	父子自:	立支援相談員を	設置し、より)効果的/	な自立支援を	行うことができて
"	性	・民間:	委託や作合・連携	也事業 もが可	いると考えます	0						
		能か	,	• •								
	総				見直し(□			□縮小 □統合	□拡充)	☑ 継続	□終了 □休	止 □廃止
	合		の方向]性	【課長名:井田ひとの親家庭の			安定及び就職の	の促進を図れ	らための言	重要な事業で	あると老うられ
		(改善	策等)		ることから継続					J1CVJVJ <u>E</u>	主文なず木(37.0C37C340
	価											
	前回	示した	と今後	きの								
改			善策									
善	111	.115.5-	/ 		☑ 実施》	筝(中)	□ -i	部実施 □検	討中 🔲 :	未実施	□その他	
状況			(実施 もの理									
<i>)</i> ,,			定等)									

事:	務事	業名	子ど	もの	貧困対	対策推進	基事業	ŧ						整理No.	77
所	属	名	部	こども	健康	部	課	こども支	接課		記入	.者 石川		内線	482
┃ ┃上・	位 施	策 名	分野	健康	•福祉	、安全•第	心	中柱 専門師	的な支援を必要	とする子どもと家庭	近への支援 /	小柱 子ど	もの貧困	対策の	推進
			年度		30				子ども			進に関す			
			生度 (, · · 久 年度	根拠	処法令等		の貧困に			O IZIT		
	7.4					一高的				一世帯	_		の人	√ その他	
	(誰			象 っている	うか)	(具体的に)	_								
											い 目休	的な目標	(数值):	たど)	
															こある子どもが傾
	やか	に育	成され	いる環	境の暫	整備を図	ります	0							
۱											_				
事 										かに何をし			的士松。	0100t	を中心に対策を推
務	進しる	ます。ま	た、ひ	とり親る	家庭等										を中心に対象を推 し、相談や助言を行
 事		適切な	支援に	つなげ	ます。										
				区	分			単位		口2年度			3年度		令和4年度
業		<i>.</i>				r			実績	(決算)		」 (予算)		(決算)	計画(予算)
၂ ၈		標①			教室数			か所		12		16		16	
		標②	学習	支援	教室参	加児童	数	人		103	3	115		88	11
概	指	標③			,,, 	L. 1-2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		f			- 1:	, , ,	:		
 要	指標	に対	する達	成度						ンケート訓 しまいまし		、参加者	に好評る	を受けてい	いるところです
	<i>61</i> .\	1	事				双八八 、	千円		20,052	-	21,710		21,610	91 71
	総 事	財				出金・その	の他)	千円		11,277		13,800		14,714	-
	業		一般		-//~		, ,	千円		8,775		7,910		6,896	
	費 •	職	員 梦	汝				人		0.20		0.20		0.20	0.20
	_	2	人(0.0		千円		993		993		993	999
	スト		総	事 業	費	1)+2)		千円	計画の	21,045 進行管理		22,703 進行管理	計画の進	22,603	22,70 3 計画の進行管理
	把 握			事業	の年月	度別実施	内容			援教室の		援教室の	学習支持		学習支援教室の開催
_	1/王					✓ 必要	性が高	L) 🗆	検討の余	州 あり		 要性が低い	用性		
	必	(着眼 •市目	艮点) 民二一:	ズに	【理由			v	120107	-600	20.3	Z 11/1 12/0 ·			
	要	対応	してい	るか											になり、社会的
	性		X関ラ はある												多様な主体によ :考えます。
					Q.C.1)	√∫有効⁴					_		× 1±10/	-1,	2 37250 7 8
	有	(着風			【理由		土小,回り	, Ц	高める余り	世のワ	□有郑	1性が低い			
–	効		りとした あるか		学習	支援教室									配置による教
 次	性	≯ 16	(A) (A)			畐祉の連 着実に進				る関連事	業の推	進等によ	り、子ど	もたちを	支援する体制整
		/ >/ no	L \		用 (よ /							- 46			
評		・コスト	、業務	面等効	【理由	☑ 効率Ⅰ a 】	りじめる) [高める余块	也めり	□ 幼卒	色的ではない			
┃価	半	るか	執行で		学習	支援教室				のあるNI	O法人	に委託す	ることで	、効果的	、効率的な教室
	性	民間	委託や(:合・連携	也事業 表が可	運営	が行えて	いると	考えます	۲。						
		能か					_								
	総					,直し(_		縮小	□ 統合	拡充) 継統		₹了 □休	∴止
	合		の方向						子どもた	ちの未来	を応援	することは	、子ども	たちへの	支援のみなら
	評価	(改善	善策等)											と考えます。
	Щ														
			た今後												
改	方向]性(こ	收善策	等)											
善状	₩ ₩	沙米等	(実施	内		□ 実施	済(中)		一部実施	□検討	讨中	□未実施	į	その他	
1 <u>八</u> 況	容、	未実	施の理	፟፟፟፟፟፟፟፟											
	由、	今後	の予定	[等)											

						• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		
事系	务事 業 名	児童手当	筝 等支給事業				整理No.	78
所	属 名	部 こども	(健康部 理	こども支持	管課	記入者 宇佐	美内線	423
上位	立施策名	分野 健康	·福祉、安全·安心	中柱 多様な	ニーズに対応した子育て支払	愛の充実 小柱 地域	:子ども・子育て支	.援事業の充実
	事業開始	年度 平成	24 年度	^	児童手当法			
	車業級フ	年度 令和	根拠 年度	见法令等	児童手当法施行	テ会		
	尹木 心]	十尺 7仙		7 P + + 1				
	文		_		□個人 □世帯		の人 マその他	
	(誰、何を対	付象としている	るか)(具体的に)中学	修了まで	の児童を養育す	る親等		
	日煙(対象	きをどのよう	うな状態にするために	一当該事当	巻を行っているか	具体的な日標	(数値)など。)	
			重を養育する親等に対					の健全か育成
			子することを目的として		コピス州がるこ	CICALINE	*> IT社 6 IE//Li	Z * / (E T / A F) / A
	人〇只只	*> \1\1\1\c\b	A) DECEMPTED.					
		/ 		L _L \+ _B				
事			・活動内容など、目的					
致			の健やかな成長に資す					
務			額 10,000円又は15,00 ステム改修対応等が必要					125,757十円でし
事	たが、伝以	正によるシン	ヘノム以修刈心寺が必え	安となりにた	こ∅1,42 0,377 円	に増強無正して	'より。	
7		ਹ	Л	単位	令和2年度	令和	3年度	令和4年度
業		区	分	甲四	実績(決算)	計画(予算)	実績(決算)	計画(予算)
^	指標①	児童手当	等支給金額	千円	1,427,080	1,423,875	1,373,675	1,385,840
の	15 1年 ①							
	指標②							
概	指標③							
			該当する親等全員に	こ対して支	こ給ができていま	す。		
要	指標に対す	する達成度				. •		
	m (1)	事業	弗	千円	1,430,553	1,428,377	1,377,818	1,386,540
	1,10			千円				
	Alle		国県支出金・その他)		1,206,369			
	弗 ""、	一般財源		千円	224,184	•	•	·
		員数 ##		人	0.70	0.70		0.70
		人件費		千円	3,476	•	·	3,476
	ス	総事業	費 ①+②	千円	1,434,029			
	ト 把	→ .114.	~ 		児童手当の支給	児童手当の支給	児童手当の支給	児童手当の支給
	握	争某	の年度別実施内容					
			☑ 必要性が高い	\ □±	 診討の余地あり	□ 必要性が低い		
	(着眼	は、		, Ц19	(的の未述の)	□必安压心区い		
	要対応し	ニーズに	法律で定められてい	ス重業で	あるため 心悪	生け喜いものと考	うられます	
		関与の必	公中でためられりてい	0 + X C	ののにの、石・女」	Titelial (000C)	72.540470	
		はあるか						
	左 (着眼	1占)	☑ 有効性が高い	, □ □	らめる余地あり	□有効性が低い		
	有 自 日 的	はいた効果	【理由】	≓) → ½++ 1-×	11	+ »// // T		- del 660 - 1.13
-	効はある	るか	児童の健やかな成長	えに負する	らものであるため. *** とれませ	、中字修了までの	り児童を養育する	親等に対して
次	性はめ		支給することは有効	Cめのと*	5んり4lよ9。			
^								
評	(着眼)	All 26 - 66 -	☑ 効率的である	高	らめる余地あり	□ 効率的ではない		
	効率的に	、業務面等効 執行できてい	【理由】					
価	半 るか		RPA(パソコン操作を	・ソフトウェ	アが代替して自	動化するシステ	ム)を活用して児」	童手当システム
	性・氏間をの統	委託や他事業 合・連携が可	上のデータを検索し			印刷等において	外部委託を行った	とりする等、人為
	能か		的な手間の削減に努	うめていま	きず。			
	*		見直し(口 改善・	効率化	□縮小 □統合	□ 拡充) 🔽 継糸	売 □終了 □休	止 □廃止
	総		【課長名: 井田 二	_				
		の方向性	次世代の社会を担う		全な育成及び資	資の向上に資	することに必要な	事業であること
		策等)	から、引続き支給して					
	価							
	*	A // ~						
	前回示した							
改	方向性(改	(晋東寺)						
善	11-1-1		□実施済(中)		部実施 🗌 検討	付 □ 未実施	■ その他	
状	対応状況							
況	容、未実が 今後の予							
	フルタリア	ᄯᆍ						

事系	务事 業 4	1 児童	扶養	手当支給事業					整理No.	79
所	属 4	3 部	こども)健康部 課	こども支援		記入者	大野	内線	424
 上 位	立施策组	3 分野	健康	·福祉、安全·安心	中柱 専門的な	:支援を必要とする子どもと家庭	への支援 小柱	ひとり親家	ア庭等の自立	工支援の推進
	事業開			14 年度		児童扶養手当法				
	事業終			杭	拠法令等	,, , , , , , , , , , , , , , , , ,				
	3- XC (I/C			□高齢者	□障害者[□個人 □世帯	□団体□□	全ての人	✓その他	
	(誰、何を		象 している	か) (具体的に) 父	又は母と生	計を同じくしてい 一定の障害がある	ない児童を	育成してい	る方や、児	童を育成してい
	日梅(分	多をど	ω ±=	る/ うな状態にするため	火火は母に− ハニ当該重 業	一定の障害がある	る万のつち、 目休的か	所得が制 日標(数値	限額内の万	
				どによって父又は						を育成している
				言書がある家庭(以			ます。)の生	三活の安定	と自立の促	進に寄与する
_				手当を支給し、児童			- - 1			
事				・活動内容など、目					シケッケウ	=+ (0 01 I)
務	ひとり税までの別	豕姓寺 【童、ま	た一気	っ、所得が制限額内 定の障害がある場合	かりカに士言 今は20歳に	目を又描しまり。 なるまでの児童?	児里とは、I をいいます。	る成になっ	のだ年の年度	(3月31日)
事				92千円でしたが、児					減額補正して	ています。
李 			区	分	単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度
業	1F 1= @	10 3				実績(決算)			(決算)	計画(予算)
 ၈			· 祆養	手当支給額	千円	299,058	322	2,714	289,672	319,983
"	指標②									
概	指標③									
要	指標に対	する達	成度	該当する親等全員	員に対して支	に給ができていま	す。			
^				集	7 M	200 550	200	. 000	200 000	220 241
	総 ① 事 財	事 特定		₹ 国県支出金・その他	千円) 千円	300,556 100,668		5,006 7,571	290,880 97,834	320,241 106,660
	業 源				/ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	199,888		7,435	193,046	213,581
	費 職	員	数		人	0.70	(0.70	0.70	0.70
		人			千円	3,476		3,476	3,476	3,476
	ス ト	総	事 業	費 ①+②	千円	304,032 児童扶養手当の		3,482	294,356	323,717 児童扶養手当の
	· 把 握		事業	の年度別実施内容		支給	支給	支給		支給
		眼点)		☑ 必要性が	高い □検	 試討の余地あり		 低い		
	必·市	民二一.								
	要 対原性 ·行			法律で定められて	いる事業で	あるため、必要性	生は高いもの	りと考えられ	れます。	
		以関す								
				☑ 有効性が高	ない 口点	がる余地あり		低い		
		眼点)		【理由】	-3v 🗀 11-	10707(-207)		150		
-	効 は	的とした 5るか	:効果	17 14 13 14 17 17 14 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15			を受給されて	ている方の	一部も受給	対象となり、対
次	性は			象者家庭の生活の	川可上に奇力	チしています。				
	/ 羊 F	艮点)		ᄆᇸᇶᇄᇧ		がる余地あり	□ 効率的で	I+ <i>†</i> ~I \		
評	÷.⊐2	に無が い、業務に に執行で		□ 効率的であ 【理由】	୬୦ 🔽 🖪	1070 米上607		10/00		
価	率 るか			令和元年度の法律	津改正により	、年6回の支給と	なったため	、事務の生	負担が増加し	<i>、</i> ています。
	iエ との	闘委託や∙ 統合・連打								
	能か				* +1 +- //.			-	7.45	. 💂 .
	総			見直し(□ 改語 【課長名:井田 二		□縮小 □統合		☑継続 L	」終「 □ 休.	止
		後の方向 美生学		ひとり親家庭等の		に必要な事業で	あることから	ら、引続き	支給していき	ます。
	一曲	善策等	,							
	前回示し									
改	方向性(以善味	(寺)	_						
善状	対応状況	元(実施	内	□ 実施済(□	Þ) □- i	部実施 □検討	t中 🔲 🤊	未実施	□その他	
況	容、未実	施の理	∄由、							
	今後の	7定等)							

事系	务事 業 4	といとい	ノ親え	家庭等医療費支給	事業				整理No.	80
所	属	名部	こども	健康部課	こども支持	爰課	記入者	友田	内線	424
 上位	立施 策 4	名 分野	健康・	·福祉、安全·安心	中柱 専門的な	よ支援を必要とする子どもと家庭	とこの支援 小柱	ひとり親	家庭等の自立	工支援の推進
	事業開:	始年度:	平成	5 年度		坂戸市ひとり親	家庭等の医	療費の	支給に関する	条例
		了年度		根拠 年度	法令等					
	, ,,,,,,			口 高齢者 口	障害者	□個人 □世帯	□団体□	全ての人	、	
	(誰、何る	対 象 E対象とし		か) (具体的に) 18歳	こなったな	日間ス 日間第 年の年度末を迎 斉及び児童	えるまでの児	見童を育	てているひとり	親家庭等の
	日標(対	象をどの	のよう	は、タ な状態にするために	、	ョ及∪児里 ἔを行っているか	・具体的な	日標(数	(値)など。)	
				医療費の一部を支給						、福祉の増進を
	図ります	0								
_	Alle Inst				1. sale 15		- .			
事				・活動内容など、目的					学 本 土 エッ ドF	主然の印除 熱
務				度末を迎えるまでのり 金部分と、入院に係				耳、 又、	食目有及い穴	1里寺の休阪的
 事										
李 		F	区	分	単位	令和2年度		令和3年		令和4年度
業	lb 1= 0					実績(決算)	計画(予算		実績(決算)	計画(予算)
<u></u>				E等医療費支給件数	件	16,670		3,065	17,719	23,065
の 	指標②) ひとり	親家	庭等医療費支給額	千円	41,849	50),634	46,719	50,634
概	指標③)								
 要	指標に対	対する達成		令和2年度はコロナウ度に比べて通院を控						和3年度は前年
^									· ·	7.1 007
	総 ① 事 財)事 第 5 特定的		₹ 国県支出金・その他)	千円 千円	42,709 18,370		,850 2,495	47,673 20,584	51,887 22,495
	業源			当宋文山亚"(07他)	千円	24,339		,355	27,089	29,392
	費 職				人	1.00		1.00	1.00	1.00
) 人 件	+ 費		千円	4,965	4	,965	4,965	4,965
	ス ト	総事	事業	費 ①+②	千円	47,674		5,815	52,638	56,852
	把 握	į	事業の	の年度別実施内容		ひとり親家庭等医 療費の支給				のどり親家庭等医 療費の支給
				☑ 必要性が高い	\	<u></u> €討の余地あり		低い		
		·眼点) i民ニース	ぐに	【理由】						
	要対応	むしている	るか	県内すべての市町村	けで実施し	している制度であ	ることから、	必要性	は高いものと考	きえます。
		·政関与の 生はある								
				☑ 有効性が高い		ぶめる余地あり	□有効性が	III.		
		眼点)		【理由】		がの未地のソ	口有効性が	広い		
–	効 告	的とした あるか	効果	平成28年1月より、坂					物給付(窓口払	いの廃止)を行
次	性は	N.010.		い、ひとり親家庭の親	見等の経済	済的負担の軽減	を図ってきま	ました。		
^				—		+		14		
評	• 73	眼点) スト、業務面	等効	□効率的である【理由】		ぶめる余地あり	□ 効率的では	まない		
価	一 半 るか			現在、坂戸・鶴ヶ島医						
"	性 '尽	間委託や他 統合・連携		いますが、令和5年1	月1日よ	り、現物給付の筆	6囲が県内会	全域へ拡	大するため、	より利便性が高
	能か	`		まります。						
	総			見直し(□改善・3		□縮小 □統合	□拡充)。	☑ 継続	□終了 □休.	止 □廃止
	合 今往	後の方向	性	【課長名: 井田 二 医療費の支給額が年		傾向にあることか	ら、医療機関	型への派	質正受診につい	って広報やホー
	評 (改 価	(善策等)		ムページ等を通じて	保護者に	対し協力をお願				
	Щ			係る啓発も併せて進	めていき	ます。				
	前回示し									
改	方向性	(改善策	等)							
善	÷+ +÷ -1.b ×	ロ / + + + -	ф	□ 実施済(中)		部実施 □検討	中 🗆 🤊	未実施	□その他	
 況	対応状注 容、未実									
‴	今後の		,							

± 7	ь ± ж ь	フナート	·#u+ra+**		~ 1 13 1 1 1 1		±6.700 N	04
 事	务事 莱 名	子育て短	期支援事業				整理No.	81
所	属 名	部 こども	は健康部課ご	こども支持	受課	記入者 樋	□ 内線	483
上位	立施策名	分野 健康	•福祉、安全•安心 🕝	上村 多様な	ニーズに対応した子育て支持	暖の充実 小柱 地は	或子ども・子育て支	援事業の充実
		年度 平成		' '-	子ども・子育て		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	1/2/01/2019
			根拠	法令等	, - 5 , 1,			
	事業終了	年度 令和	年度		坂戸市子育で知	豆期入所生活接	助事業実施要綱	
	×	対 象	□高齢者□□	障害者	□個人 □世帯	□団体 □全	ての人 □その他	
		対象としている	るか) (具体的に) 2歳以	上の児童	重及びその保護	者		
	日煙(計多	きた どの ト-	5な状態にするために	4 該重署	きた行っているか	. 目体的た日料	■ (粉値) オテン レ゙)	
			也の理由により家庭に					に、旧音義雑
			置い 建田により 家庭に 養が適切に行うことがて					
		社の向上を			X(C40)	列的少及 日 次0	が設と行うことに	5八儿主人()
車	中希福里	(胚组由家	・活動内容など、目的	た法式は	ころもみに何もし	ナ ハスか 〉		
#							##1.よ、 よ-1日 人 か	シェ 旧本主無
務			也の理由により家庭にえ 養が適切に行うことがて					
"	旭以守り	ル里の下門	受い ¹ 1回 97(C11 / CC/) ¹ (この心心		別的の後月及し	い休暖で11√より。	
事					A 100 F #	A 1		△ 10 4 /=
		区	分	単位	令和2年度 実績(決算)	令木 計画(予算)	13年度 安集/決策)	令和4年度 計画(予算)
業	± ± 4	4.1 田 田 米4.		П			2 1111(11 121)	
۱	指標①	利用日数		日	6	ა გ	0 10	80
の	指標②	実施箇所	数	箇所	1		1 1	1
概	指標③							
""			コロナウイルス感染拉	大防止の	かため 施設の付	大館や利用 人数	rを配慮した運営な	シ行ったため 指
要	指標に対	する達成度	標に対する比較はで			LEED (4.41/11)/639	で記念の心を音で	- 11 2/C/Co2(1A
	** (1)	事業		千円	33	44	0 55	435
	総ります。		₹ 国県支出金・その他)	千円	18			
	業源	一般財源	国东文山亚·(O)他/	千円	15	~ -		145
	書 ""	員数		人	0.10	0.10		0.10
	•	人件費	<u>,</u>	へ 千円	497			
	コ ② ス	総事業		千円	530			
	ĥ	秘 尹 未	其 UTC	T17	子育て短期入所	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	子育て短期入所	子育て短期入所
	把	事業	の年度別実施内容		生活援助の受付	生活援助の受付	生活援助の受付	生活援助の受付
	握				け及び利用調整	け及び利用調整	け及び利用調整	け及び利用調整
	(着則	(点)	☑ 必要性が高い · -	□検	討の余地あり	□必要性が低い		
		ミニーズに	【理由】	min III v		A 6660	/P *#* - //> 2	
			保護者による養育がないない。					
		X関与の必 はあるか	び保護する施設を提事業となります。	供する刑	」及は、必要なこ	とじめると有える	より。また、自該刑	及は、伝足の
	7 11	1000 070	チ木になりより。					
	右 (着則	3 上 /	☑ 有効性が高い	一高	「める余地あり	□有効性が低い		
	79	え品) りとした効果	【理由】	41 22 22 4		「山口」。 東ル パマー	1.1. 4.2. ++1.1-14	т.61. — , , , , , , , ,
_	効はあ		児童相談等のケース 考えます。	対心の生	つぐ当該制度の	可用に繋がるこ	とも多く、有効に活	明されていると
次	1±		つんより 。					
					= 4 1.16	— +		
評	(着眼 ・コスト	、業務而等効	□効率的である		がる余地あり	□ 効率的ではない	,1	
,	郊 率的に	執行できてい	【理由】	山日の巫	まれけ行 - ナか	カナルノ ボーナ	ヲー. づたとせる	9华土港の旧
価	率 るか 性・民間	委託や他事業	現在、2歳未満の乳気童の受入れに関して、	別先の支. ・継続し、	八46は11つしわ て受えれ施設へ	りませんか、川 佐頼Lていく必	式ー一人をふまん、 亜があろレ老うす	、2 威木個の先 ま
	Iエ との紡 能か	合・連携が可	主シスノののに対して	, MEMILO	(文)(40)歴版		ダル のうしいったよ) 0
	HE/J'		目击! / 口元学士	oh vito 112			ω± □ω= □···	🗖 🗕
	総		見直し(日改善・対		□ 縮小 □ 統合	□ 払允) ☑ 秘	続 □終了 □休	:止 □ 廃止
	合 今後	の方向性	【課長名:井田 二男 核家族化やひとり親!	_	カルマタン 伊金	の養育を促業	その代わりに担うと	ろ方がいたい
		善策等)	ケースが多くなると考					J/J /J-V 1/4 V
	価		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	,, • •			· / 0	
	*	L A /// -						
	前回示し:							
改	方向性(3	X 告 农 守 /						
善	## ! # \# \#	(+ + +	□実施済(中)		部実施 🗌 検討	中 □ 未実	施 □その他	
状況	対応状況 容 未実力	(美施内 施の理由、						
ווו	今後の予							

事	務事業	美名	誕生	祝い	メモリ	アル事詞	ŧ							整理No.	82
所	属	名	部	市民	部		課	市民課			記入	者 山﨑」	卓也	内線	329
 上・	位 施 訇	6 名	分野	健康	·福祉、	安全·安	心	中柱 多様な	にニーズに対応	だした子育て支	で援の充実 /]	柱 幼児類	期の教育	ず・保育の	提供体制の確保
	事業	開始	年度	令和	3	年度			坂戸市	 誕生祝	い品贈呈	要綱			
			年度			年度	根拠	L法令等		,,	,				
	1.210					□高齢	者「	障害者	□個人	□世帯	□団体	□全ての	0人	√ その他	
	(誰、	ダ 何を対		艮 こている	らか) (具体的に)	_								
											5、目体的	内な目標の	(数値):	たど)	
												見の健々			念します。
	また、	祝い	品とし	って「さ	きかろん	レグッズ」	を贈り	呈するこ	とにより、	坂戸市	で生まれ	たことへの	喜びを	と感じても	らうとともに、坂
	戸市	<u>への</u>	愛着を	と深め	てもら	うことでオ	ま市の	少子高的	齢化対策	浸及び子	育て支援	策の充実	ミを図り	ます。	
事											しているた				
┃ ┃ 務												もに、出生 の出生届			長を祈念します。
	当初一											しています		<i>,</i>	
事				_					介 和	12年度		令和3	年度		令和4年度
業				区	分			単位		(決算)	計画	(予算)		(決算)	計画(予算)
		(1)	出生	数				人				600		507	600
の	指標	2	誕生	祝い。	品贈呈	人数		人				600		507	600
┃概	指標	(3)													
_	16.17		I. = \-		出生児	見に対し、	て指標	冥どおり 該	延生祝い	品を贈呈	呈しました	.0			
要	指標	こ対で	する達	灰皮											
	総	_	事					千円				1,800		1,735	2,021
	事 業	• • •			国県支出	出金・その	他)	千円			0	0		0	0
	書		一般! 員 数					千円 人		(0	1,800 0.10		1,735 0.10	2,021 0.10
	•		貝					ス 千円		(0	497		497	497
	ス	E				1)+(2)		千円			0	2,297		2,232	2,518
	ト 把														誕生祝い品の作製
	握			事 某	の年度	別実施に	内容				カリンラ) の作成	ル出生届	オリンフ の作成	ル田生油	及い贈呈
		(着眼	14)			✓ 必要!	生が高い	ب ر	検討の余均	<u></u> 也あり	□ 必要′	性が低い			
	必	•市民	<u>:</u> ニース	ズに	【理由]				-1-11					
	安性	対応し •行政	してい _て 関与の	るか の必	年々出	は生数が が子音	以下で て⇒≴	する中、行 発策の充	丁政が積 生のたる	∮極的に か必要性	出生に対:は高いと	し祝怠を :考えます	表すこ	とは、本司	万の少子高齢化
			はある		V1 /K //	(O 1 H		≪ / R √ / ∫ L	13007100	ソルタロ	19 HI C	,7/L&)	0		
						√有効性	が高い	\	高める余地	ı.あり	□ 有効怕	生が低い			
		(着眼		÷L	【理由]									
-	XXI]とした あるか						_ , , , ,				いただ	いており	、本市で生まれ
 次	1生				122	への各り	と変え	官を係め	(11/2/	こりるもの	りと考えま	590			
		(着眼)	占)			☑ 効率的	フェキス		高める余地	ı±n	□ 热葱色	的ではない			
評	**	・コスト	灬/ 、業務証 執行でi		【理由) C 0) O		可りの示地	(0).7		13 (19/96)			
価	率	るか			出生届	受領時									は不要であり、
	•	との稅	委託やft 合・連携	也 事 業 影が可	受付、	審査等の	り事務	ぎがないか	ため、効	率的に業	美務執行"	できている	5ものと	考えます	0
	Ī	能か				.	_, _,								
	総					直し(縮小	□ 統合	∐)☑継続		了休	止
			の方向		出生世	帯の生活す	で援及で	び市内の消							業」を実施しており
	評 価	(以書	策等)												ただくため、「さか 曽呈に対し、多くの
	limi										たいと考え		. , ,, ,,	ee · c N	=: : + = 1 2 12
			と今後												
改		性(改	大善策	等)											
善状		壮 ;□	(実体	内		□ 実施》	斉(中)		部実施	□検	討中	□未実施		その他	
1 <u>八</u> 況	容、オ	ト実 がんきょう かんしょう かんしょう かんしょ かんしょ かんしょ しょう かんしょ しょう しょう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅ	色の理												
	由、全	∲後0	り予定	等)											

	<u></u>								
事 巻	系事 業 名	4 不妊治療	寮費等助成事業					整理No.	83
所	属	名 部 こど	も健康部 課 市		センター	記入者	大井 弘子	内線	284-1621
│ ⊢ 代	方施 策 4	R 分野 健月	·福祉、安全·安心 ·	中柱 积子	・保健の推進	小柱	不妊治療費	助成事業	の推進
- -				1 17 17 1				77 PX T X	◆> 1EYE
		始年度 平成	根拠	法令等	坂戸市不妊治療				
	事業終	了年度 令和	年度 年度		坂戸市早期不好	E検査費助原	戈金交付要	綱	
		対 象	□高齢者	障害者	□個人 ☑世帯	□団体□	全ての人	□その他	
	(誰、何を	対象としてい	るか) (具体的に) 不妊治	台療等を	受けている夫婦				
	日桓(対	多をどのよ	うな状態にするために	当該 事業	を行っているか	旦体的な目	日煙(数値)が	(نظرتهٔ	
			青の不妊治療等は自由						る夫婦の経済的
			こあります。この経済的						
	出産・子	育てに至る	切れ目ない支援を充実	させ、少	子化対策の推進	を図ります。			
	事業概要	更(取組内容	丞・活動内容など、目的	を達成す	るために何をして	ているか。)			
事			合、夫婦一組につき一回						
			景合、夫婦一組につき一年					成していま	す。また、男性不
務			、特定不妊治療とは別に 二場合、夫婦一組につき-						
 -			- 場合、大婦一組につきー 当初の見込みより支出額は					・予算額は	5.742千円です。
事			1,265千円から1,715千円				. ,,	JI HOKTON	- / / 1 4 5 / 0
業				単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度
	a				実績(決算)	計画(予算		責(決算)	計画(予算)
の	指標①	7 不妊検査	費助成件数	人	31		35	30	35
概	指標②	不妊治療	費助成件数	人	42		31	68	50
""	指標③	不育症検	查費助成件数	人	3		3	5	3
要	均煙に 🌣	対する達成度	不妊治療費、不育症	検査費は	は助成件数が増力	『しました。 7	「妊検査費の	の助成件数	枚は維持してい
	_		ます。						
	総		費	千円	3,997		,742	5,678	5,775
	事財		(国県支出金・その他)	千円	1,053		,715	1,572	2,015
	-++-	一般財源	Į.	千円	2,944		,027	4,106	3,760
	7150		±	人 千円	1.00		1.00	1.00	1.00
) 人 件			5,991		,991	5,991	5,991
	ス	総 争 ま	養 ①+②	千円	9,988		,733 5	11,669	11,766 早期不妊検査費助
	ト 把	古业	* 0 左		成、不妊治療費助	成、不妊治療	費助 成、不如	£治療費助	成、不妊治療費助
	握	争习	美の年度別実施内容		成、不育症検査費 助成	成、不育症検助成	查費 成、不育 助成	育症検査費	成、不育症検査費 助成
			✓ 必要性が高い		対の余地あり				切成
		眼点) 民ニーズに	【理由】	· ⊔1×	割の未地のグ		<u> </u>		
			令和3年度に不妊治	療を受け	た夫婦が支払っ	た費用の平:	均は 415.63	7円でした。	。このように不妊
	性・行	政関与の必	治療等には高額な医	療費がか	いかります。不妊 液	台療費の助用			
	安恒	生はあるか	的な負担の軽減に大	きく役立	っていると考えま	す。			
			☑有効性が高い	□高	める余地あり	□有効性が値	氐い		
	79 . 🗗	眼点) 的とした効	【理由】						
l _	※川 田 /	おあるか	経済的な負担が大き						
	性		な意義があります。治せることになります。	療件数等	身か増加すれば、	出生数の増	別につなか	*り、少于1	と対策を推進さ
次			せることになりまり。						
評		眼点)	✓効率的である	□高	ある余地あり	□効率的では	はない		
"	効 率的	スト、業務面等ダ ルに執行できてい	・令和3年度に不妊治	皮弗田式	主要の由語があ	った老のうた	- 沙皮関析	い時の事の	年齢の亚均は2
価		明禾式とかはする	6歳でした。治療の結	原 更 好 版 果 好 娠	、	時の妻の年	ラ、旧原 囲 州 齢 は 30 歳 代	1時の安の 1後半であ	午酬の平均は 3 ろ者が多く 高
	ات کی	統合・連携が可	齢出産となります。この	のため、対	壬娠中、また出産	後も関係機	関、専門職	種との連携	髪を取りながら支
	能力	\	援することが必要とな	ります。					
	6/1		見直し(□改善・対	効率化	☑縮小 □統合 │	□拡充) [□継続 □ 組	冬了 🔲休	止 □廃止
	総 合 今	後の方向性	【課長名: 有田 さま	_					
		善策等)	不妊で悩んでいる夫妻 も意義のあることです						
	価		め、その制度に合われ			生1月7月1日7月	い、ては、区が	京体展の地	型用 となりにに
	<u> </u>	+ A //: -	, c > 1012, C = 1 42 (- ~ m W					
改		た今後の 改善策等)							
善					如宝饰 □ 怜号		- 中佐 「	コスの仏	
状		兄(実施内 『施の理由、	□実施済(中)	<u> П</u> –і	部実施 □検討	+ □3	卡実施 [その他	
況	今後の								

事系	务事	業 名	成人	、健康	教育	•相談事	業							整理No.	84
所	属	名	部	こども	健康	部	課「	 下民健	モセンター	-	記入者	横田	英花	内線	049-284-1621
上位	立 施	策 名	分野	健康	•福祉	、安全·安	心中	柱 成力	(保健の	推進	小柱	生活	習慣病	等の予防	の推進
	事業	開始	年 度	昭和	58	8 年度	+== +hn :	+	健康増	進法、食	育基本法	、第2点	火坂戸	市健康な	まちづくり計画
	事業	終了	年度	令和		年度	恨拠:	法令等							
		¥	চা :	象		□高齢	者 🔲	障害者	☑ 個人	✓ 世帯	□団体 []全で	の人	□その他	
	(誰.				か)	(具体的に)	市民の	方を対	象としたん	建康講團	至、健康相	談等を	:実施し	ています。	>
	目標	(対	象をど	のよう	な状態	態にするが	こめに	当該事	業を行って	ているか	、具体的な	ほ目標	(数値)	など。)	
								に各種	保健事業	きを積極	的に活用っ	するとい	いう意識	戦を持った	市民を増やし、
	保烶	仃虭	(/)美	饯石を	/增加	させます。									
事	車業	概要	(取組	内灾	活動	内容など	日的	を達成す	するため!	こ何をし	ているか。)			
-													議病予!	坊講演会、	食事教室を
務	行っ	てい	ます。	健康村											教室の規模縮
事	小し	て開作	催しま	した。											
- J ILE				区	分			単位	令和2 実績(計画(予	令和3 (質)		責(決算)	令和4年度 計画(予算)
業	指	票(1)	教室	の開作	崔回娄	女		□	入順(58		65	入心	38	65
の	指	票②		の参加				人		3,001		4,000		2,976	4,000
概		票 ③	-1X-L	>> /-	У Р Ц Д	~		/ (0,001		1,000		2,010	1,000
113/1	111	ѫ⋓			咸染-	予防対策	のため	規模縮	小しての:	実施や闘	開催中止の	ため.	開催回	可数·参加:	者数ともに下
要	指標	に対	する達												ていきます。
	総	1	事	業	ŧ			千円		478		519		365	493
	事	財			国県支	出金・その)他)	千円		82		136		230	155
	業 費		一般					千円		396		383		135	338
	•		員	^汉 件 費				人 千円		0.90 5,392		0.90 5,392		0.90 5,392	0.90 5,392
	コス	2		事業		(1) + (2)		千円		5,870		5,911		5,757	5,885
	ا س					0 0			健康教育	、健康	健康教育、個	建康相		育、健康相	健康教育、健康相
	把 握			事業	の年月	度別実施に	内容		相談、訪	問指導	談、訪問指導	导	談、訪問	尚指导	談、訪問指導
		(着目	月点)			☑ 必要怕	生が高い	□ ħ	負討の余地	あり	□必要性が	が低い			
		市	₹=—:		【理由		トファー	H.:	ケナ.) ナリ	V 1	ないよと 1.	のったも	. <i>4</i> .) 、	き悪み悪ま	本土 唐
															です。健康で おいて、行政の
			はある			が必要で						,			, , , , ,
						☑ 有効性	上が高い	□ 7	高める余地を	あり	□ 有効性か	低い			
	有	(着則 •日的	艮点) りとし <i>た</i>	-効果	【理由		>≠ ਹਹ LE	• ~ =1. >/	- 18 		o 64. H) =	·	~ *** **** ~	<u>↓ </u>	# C 22 (B) ~ V# / E
_	効 性	はあ				店及び生 与していま		の改善	か凶られ	、巾氏() 健康につ	(\ C ())意識[可上及び物	建康習慣の獲得
次	'-				(— HJ	, , , ,	• / 0								
評		(着眼				□効率的	つである	✓ 7	高める余地を	あり	□ 効率的で	<u>:</u> はない			
"	効	率的に			【理由		tom to								
価	率 性	るか · 民間	委託や	他事業	感染ありま	予防対策 : す	の観点	からオン	ンラインで	で健康	教育及び村	目談の	実施に	こついて研	究する余地が
	ΙI	との紡 能か	i合·連拉	隽が可	W) J A	- 7 0									
					見	.直し(🗆	改善∙欬	协率化	□ 縮小	□ 統合	□拡充)	✓ 継続	F. □#	悠了 口休	止 □廃止
	総合	公 继	ው ተ ር	- 1/H-		- 名: 有E		34]						
	評		の方向 §策等)		健診結果 施していき		療費等	を分析し	、地域の	つ特性を踏	まえた	上で努	か果的な健	康教育や相談
	価				と天	通して いさ	ムソ。								
	** 등	- L	た今後	<u>κ</u>											
⊒ ! -			に写る 牧善策												
改善						□実施法	吝(中)	П-	·部実施	□検討	t ⊕ □	未実施	Г	□ その他	
状			(実施					_			- · ·	- 1~"			
況			施の理 定等)												

事	務事	業名	地域	医療	助成事業	<u> </u>					整理No.	85
所	属	名	部	こども	健康部	課	市民健康	モセンター	記入者	野本	綾子 内線	284-1621
上,	位 施	策 名	分野	健康	•福祉、安	全·安心	中柱 医痨	(体制の充実	小柱	医療関	関係団体との連	携
	事第	美開始	年度	平成	27	年度						
			'年度			根 年度	処法令等					
	•						障害者	□個人 □世帯 [団体	☑全ての	人 ☑その他	
	(誰				か)(具体	めに)一般	社団法人	坂戸鶴ヶ島医師	会			
	目標	(対	象をど	のよう	な状態に	するために	こ当該事	業を行っているか	、具体的な	:目標(数値)など。)	
	地域	医療	従事	者の確	産保と地域	保健医療	の充実を	図り、市民が安心	して暮らせ	る医療	体制を整えま	す。
事	击出	± +AII 785	(H o ≪D	山坎	二年動力の	\$ <i>+</i> >じ ロ	いた '去 ぱ-	ナスナータークナー	ナハスム	`		
7								するために何をし 月学校の運営を行			T法人坂戸鶴/	・鳥医師会に対
務					助成を行い			11 K v Æ l e l i	200	/100 11111		/ш/Ей Д (С/)
事												
				区	分		単位	令和2年度 実績(決算)	計画(予	令和34	年度 実績(決算)	令和4年度
業		標(1)	管内	部特	索		%	天根(太 异) 81	司四(了	异) 70	天根(大 昇) 87	計画(予算) 7 70
の	•	標②	⊟ L 1/	49L4B4-	-		70	01		70	0.	70
1 рп												
概		標③			を業生の	多くが垢っ	可能ヶ色に	医師会管内医療機	埋金小脚	しており) 抽械医療体	制の敷備に実
要	指標	に対	する達	成度	与してい	ます。	一個少四亿	四大百八万次(次		C (40)		「門の正開に引
	総	1	事	業	ŧ		千円	6,182		3,135	6,135	6,060
	事				国県支出金	・その他)	千円	424		424	424	424
	業 費		一般				千円	5,758		5,711	5,711	· ·
			員 数人				人 千円	0.003 18	0	.003	0.003	
	コス	2		↑ 貝 事業		-(2)	千円	6,200		16 3,153	6,153	
	١					Ü		一般社団法人坂	一般社団法。	人坂 -	一般社団法人坂	一般社団法人坂
	把 握			事業	の年度別	実施内容		戸鶴ヶ島医師会へ の助成	戸鶴ヶ島医師 の助成		¬鶴ヶ島医師会へ ⊃助成	・ 戸鶴ヶ島医師会へ の助成
		(善日	 艮点)		√	必要性が高	い <u></u> 日	食討の余地あり	──必要性が	低い		
		·市县	えニース	` -	【理由】		+637	3)- 11-14) T # HT ~	~L/□	V = 10 3	~ ~ ~ **
						医療を充 めには必要		こめに、地域で働く ごす。	〈看護師の	確保が	必要であり、そ	この看護師を育
	1.1		はある		147 DIC	· / (=(0,2_)	('& J ' /C '					
					✓	有効性が高い	,\	高める余地あり	□有効性が	低い		
	有	(着眼	艮点) 内とした	- ਨੀ ₁	【理由】							
_	効 性		あるか		看護専門れていま		くの卒業生	_{生が、} 管内医療機	関に就職し	しており)、地域保健医	療の充実が図ら
次					AUCV &	7 0						
評		(着眼	点)		~	効率的である	5 □ Ē	高める余地あり	□ 効率的で	はない		
Та	効		、業務配 こ執行で		【理由】							
価	率 性	るか • 民間	委託や低	也事業				師会の運営する看 生が就職すること			営費を補助す	ることにより、管
	Ιエ	との紛 能か	· 連携	が可	Y 1 区 7 R 1 R	(国)、マルタ	イの午来	エが別載すること	.W- C	.490		
					見直し	.(□改善·	·効率化	□縮小 □統合「	」拡充) [✓ 継続	□終了 □位	★止 □廃止
	総合	△ 继	Λ±⊏	1 /k#-		有田 さお						
	評		の方向 善策等)			医療を充	実及び看	護師の育成をのた	こめにも継続	続して	事業を行ってい	く必要がありま
	価				す。							
	₩ .	1=1	七人公	<u>م</u>								
⊒ŀ-			た今後 改善策									
改善	-	,				実施済(中)	Π-	部実施	ф П	未実施	一その他	
状			(実施		<u> </u>	」 ヘルビリ ハ(デ)	Ш			><#		
況			施の理 の予定									
	щ	, IX	-	_ \T /								

事系	务事 業 名	乳幼児優	建診事業					整理No.	86
所	属 名	部 こど	も健康部調	市民健康	センター	記入者	佐野 満	前香 内線	284-1621
上位	立施策名	分野 健康	·福祉、安全·安心	中柱 母子	保健の推進	小柱	健診・フォ	ロー体制の	充実
	事業開始	年度 平成	6 年度 #	製拠法令等	①母子保健法	②児童虐待	寺防止法	③発達障害	者支援法
	事業終了	年度 令和	年度	KIZIZ II T	④子ども・子育 [*]	て支援法			
	Ž	対 象			√個人 □世帯	□団体	全ての人	──その他	
	(誰、何を	対象としてい	るか)(具体的に)乳	幼児と保護	者等				
			うな状態にするため てに至る切れ目のな						な無めにませ
			ごし、安心して出産				(20/CV)	2巻しる甲氏な	と増やしまり。
	•乳幼児	朝の異常の	早期発見と発育・	発達を確認し	、保護者が安	いして育児は	こ取り組め	るよう支援し	ます。
	事業概要	(取組内容	Ŗ・活動内容など、[目的を達成す	するために何をし	ているか。)		
			付、妊婦健康診査、	新生児聴覚	覚スクリーニング:	検査、産婦	健康診査、	乳幼児健康	診査(3か月
			歳児歯科、3歳児) 千円でしたが、乳幼	 伊健診医師	5胡째が新刑った	7ナウイルス	成沈 廿 大	は 止のために	■診を由止した~
事			定よりも下回ったこ						
務	増額補正	しました。	これらに伴い、最終	の予算額は	60,432千円とな	ります。			
事					A =		A =		A =
業		区	分	単位	令和2年度 実績(決算)		令和3年度 質) <u>生</u>	₹ !績(決算)	令和4年度 計画(予算)
	指標①	乳幼児健	診受診者数	人	2,322		بر 2,596	1,943	2,403
の		乳幼児健		%	89	•	91	87	90
概	指標③	40-917 LIVE	-WXW+	/0	00		31	07	50
要	1日1示③		乳幼児健診は市具	早に定差して	ており 喜い受診		ています	会和3年度/	ナ新刑コロナウ
安			イルス感染拡大防	近のため8	月の健診を中止	としました。	また、市民	健康センター	ーの工事により、
	指標に対	する達成度	10月・11月の健調	診も中止とし 畑 本のか 出	、前後の月に対	象者を振り	替えて実施	をしました。 受	:診率の低下に
			ついては、コロナヤ たためと考えられ						
	m (1)	事業		千円	63,984		0,432	55,740	69,157
	総助		ス 国県支出金・その他〕		1,600		1,600	816	2,681
	業源	一般財源		千円	62,384	58	8,832	54,924	66,476
		員数:::::		人	6.10		6.10	6.10	6.10
		人 件 身 総 事 業		千円 千円	36,545 100.529		6,545 6,977	36,545 92,285	36,545 105,702
	ス ト	心 尹 未	· 貝 UTZ	TD	日00,329		*		
	把	事業	の年度別実施内容	\$	付、妊婦健康診查、乳幼児健診、	付、妊婦健身等、乳幼児優			寸、妊婦健康診査 等、乳幼児健診、母
	握				母子保健推進員	母子保健推定			子保健推進員活動
	(着目	艮点)	✓必要性が	高い □検	討の余地あり	□必要性が	低い		
	必·市	民ニーズに	【理由】 すべての子どもが	、心身ともに	に健やかに育つ。	よう、妊娠期	からの健康	東管理、乳幼	児健診等で切
	安 对心 件 ·行政	しているか 女関与の必	れ目のない支援を	行うための	事業を行政が実	施すること	は適切です	ト。また、疾症	f、障害、虐待等
		はあるか	を早期発見、対応 す。	し、必要時	には専門機関に	つなげるな	ど、子育て	支援としても	重要な事業で
			ッ゚。 ▽ 有効性が高	51. □ 5	ぬる今歩 もり		III.		
		艮点)	【理由】	ョル	める余地あり	□ 有効性が	広い		
l _	※刈 申け	りとした効 あるか	適正な時期に健認						
	性		おり、対象者のうな 種が関わっており				忍をできてい	ハます。また、	健診には多職
次	(着眼	点)	□効率的であ		める余地あり	ッとす。 □効率的で(はない		
評	効 率的に	、業務面等効 に執行できてい		رمانے 67	0707125077		S.O.V		
	半 るか	委託や他事業	健診の実施時間						
価		た合・連携が可	するために従事者 率的に健診を実施						
	HE/J		見直し(□改善		□縮小 □統合		_	□終了 □休山	
			【課長名: 有田	さおり 】					
	総合 今後	の方向性	医療機関で受診で問などを今後も実						
		野海 (東美)	年度からは市町村						
	価		開始、また、新生						
			費用の一部公費を得得を引きます。						が年児への虐
	前回示し	た今後の	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	* / / III / IVE / AN	~ _	- HP5	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	.,105/0	
改善善	方向性(改善策等)							
状	対応状況		□実施済(中	ョ)	邸実施 □検討	中 □	未実施	□その他	
況	容、未実	他の埋							

事系	条事 業 名	子育て世	代包括支援推進事	業(母子	-保健型)		整理№.	87
所		部こども			センター	記入者 松井		284-1621
			·福祉、安全·安心				で支援の推進	201 1021
— I								- ∕ -
		年度 平成	根拠	L 法令等	①	② 冗里虐付の	防止等に関する法	5年
	争耒終「	年度 令和		70* == +				
		す 象	_	_	☑個人 ☑世帯	団体 全で	の人 上その他	
			るか)(具体的に)出産行					
		_	うな状態にするために) /
			期にわたるまでの母ヲ 炎支援などを行います		育児に関する様	々な悩み等に円	滑に対応するたる	め、保健師等の
			期にわたるまでの切れ		・支援体制を構築	築するため、子	育て支援課等関係	系各課及び関係
	機関とのi	車携を図り	ます。					
			・活動内容など、目的					
車	・妊娠届と 施します。		との面接を行い、体調	間や心理	状態等を把握し	、状況に応じて	訪問や電話等で	込要な支援を実
7			目的に連絡調整会議を	と実施し、	支援の必要性や	ウカ ウカシを検討し、	情報の共有化を	図っています。
務			の各種教室(パパマー	マ講座、圏	准乳食講習会、希	見子教室、保育	園児の歯科指導、	乳幼児相談、
車			施しています。 千円でしたが、新型コ	ロナウイ	ルス咸沈症扩大	防止のために重	『業を由止』をこり	かにより 健康数
₹			刃の見込みを下回った					
業	金の370	千円を合わ	oせ、6,625千円に補	正してい	ます。			
၈		区	分	単位	令和2年度		3年度	令和4年度
"	+ Ŀ + = ①	妊娠届出	<i>₩</i> /-	件	実績(決算) 549		実績(決算) 501	計画(予算) 600
概	74 134	/ ш/// ш ј	,,,,			600	501	
-		姓贩庙出	時の妊婦との面接数	件	545	600	501	600
要	指標③							
	指標に対	する達成度	全妊婦に体調等を批	型握するプ	アンケート及び面	接を実施するな	ど適切な支援を	行えています。
	•	± ₩ ;	#	- 7 m	F 00F	0.00		0.504
	祁	事業	質 国県支出金・その他)	千円 千円	5,665 2,283	*	*	8,594 4,009
		一般財源	国宗文山並・ての他)	千円	3,382			4,009
	alth	員数		人	2.00	2.00	,	2.00
		人件費	Ì	千円	11,982	11,982	2 11,982	11,982
	コス	総事業	費 ①+②	千円	17,647			20,576
	ト 把				妊娠届出時面接 相談支援	妊娠届出時面接 相談支援	妊娠届出時面接 相談支援	妊娠届出時面接 相談支援
	握	事業	の年度別実施内容		産後ケア事業等実	産後ケア事業等実	産後ケア事業等実	産後ケア事業等実
			✓必要性が高い		施 討の余地あり	施 一必要性が低い	施	施
	、(着則	(点)	【理由】		(100)(200)			
		ミニーズに しているか	妊娠期から子育て期					
	性 "行政	対関与の必	に実施することで、日 産後ケア事業、産前					
	要性	はあるか	係る不安等の軽減が			り丁月く匹代の	球ペイー・人にメ	対心し、自分にに
			▽有効性が高い	□声	ある余地あり	□有効性が低い		
	有(着明		【理由】		107071207	□ H 20 IT 10 IS 0 ·		
	別 里什	りとした効 あるか	保健師、助産師等が					
—	性		び関係機関と連携を	図ること	で、母子保健や	育児に関する様	々な悩み等に速っ	やかに対応する
次			ことができています。		- W 7 A 14 + N	□効率的ではない		
^	(着眼	点) · 、業務面等効	✓効率的である 【押山】		ある余地あり	□ 効率的ではない		
評	※ 率的に	、未務面等別 :執行できてい	専門職の助産師を会					
価	率 るか 性 ^{:民間}	委託や他事業	正規職員の事務負担	旦の軽減	につながっている	るので、効率的な	な運営ができてい	ます。
ПЩ	'土 との統 能か	合・連携が可	市民健康センター隣を主とし、妊娠中のア					
			—		_			_
			見直し(改善・3 【課長名:有田 さお		□縮小 □統合	<u> √ </u> 拡充)	続 □終了 □休.	止
	総		産前産後サポート事		後ケア事業、坂	戸市の子育て支	接サービスなどに	こついて、母子
	合 今後	の方向性	健康手帳交付時の記	面談や、ノ	パパママ講座、乳	L幼児全戸訪問		
	評(改割 価	詩(等)	れぞれのサービスに 産後ケア事業につい				し歩乳敷供につい	ングの細軟体が
	ТЩ		どの体制整備を行い					
			に拡大します。来年					
	前回示し							
改美	方向性(3	女善策等)						
善状	対応状況		□実施済(中)	;	部実施 □検討	中 二未実施	団 ₹の他	
況	容、未実施	施の理						
	田、戸俊(の予定等)						

事	務事	業 名	成人	、健診	事業								整理No.	88
所	属	名	部	こども	健康部		課「	市民健康	センター	記入者	市川	純子	内線	284-1621
	位 施				•福祉、安	全•宏	ils E	14 成人	、保健の推進	小林	★ 健診	(給診)	・フォロー	・体制の充実
				昭和		年度	_	1111 /2/27	健康増進法、原					子品がクロス
					36		根拠	法令等						10 HA
	争弟	:終了	牛皮	令和		年度		lo	がん予防重点				_	の指針
			时 :	象	l	高齢			✓個人 □世帯 診スナ 20 造じたの		□全て ぶん ke		───その他 幸以上	その他は40歳以
	(誰.	、何を	対象とし	している	るか)(具作	本的に)	上の計		砂(よん0成以上∨	7.女性 、 目 4	けん仮	砂(より)	成丛上、	C V 71匹(よ40成火人
	目標	(対	象をど	のよう	うな状態に	こするか	こめに	当該事業	美を行っている か	、具体的な	よ目標	(数値)	など。)	
				の受診	参を通じて	、がん	•心疾	患・脳血	管疾患等の生活	舌習慣病の	予防、	疾病の)早期発見	及び早期治療
	につ	なげ	ます。											
									トるために何をし					
									ん検診、乳がん					. 肝炎ウイルス
									至を実施し、市民 とや受診券発送					類! すた健診
事									めのシステム委託					
7/-	でし				円に補正									
務									A		A ==			A
事				区	分			単位	令和2年度 実績(決算)	計画(予		3年度	責(決算)	令和4年度 計画(予算)
	+6+	 (1)	中地	定快	機関延べ	/ 米ケ		件					. ()	
業						什奴			217		210		210	
١	指	票②	受診	:者数				人	12,110)	15,000		13,529	15,000
の	指	∰ ③												
概	+E-1#	— 4.4.	ナフキ						影響により受診す	皆数が減少	してい	ます。	引き続き、	市民への周知
l		{I~XJ	する達		啓発に多	らめてい	きまっ	す。						
要		1	事	業	費			千円	57,723	3 (37,510		64,255	66,627
		財	特定	財源(国県支出会	金・その	他)	千円	6,301	l	7,043		6,034	7,692
	総		一般					千円	51,422	2 (60,467		58,221	58,935
	事業		員					人	2.50		2.50		2.50	2.50
	費	2		件費				千円	12,413		12,413		12,413	
			総	事 業	費 ①	+2		千円	70,136		79,923		76,668	
	コス								生活保護受給者等の健康診査、肝	生活保護受 等の健康診			護受給者 康診査、肝	生活保護受給者等の健康診査、肝
	۲								炎ウイルス検診、	炎ウイルス	倹診、	炎ウイバ	レス検診、	炎ウイルス検診、
	把			事業	の年度別	実施内	內容		がん検診、(肺・胃 大腸・子宮頸・	・ がん検診、 大腸・子宮3		がん検		がん検診、(肺・胃・ 大腸・子宮頸・
	握											乳)、結	核検診、骨	乳)、結核検診、骨
									密度検診、かん検 診推進事業	密度模診、 診推進事業		密度快 診推進		密度検診、がん検診推進事業
		(着則	3日)		Ī,	必要性	が高い		討の余地あり	必要性が	が低い			
	必	市	——		【理由】									
	要		してい						あり、3人に1人がが					
	生		対関与 はある						早期発見・早期治療				(1) 診か必要	です。市民の生活
						有効性	が立い		める余地あり	有効性が	ζ/# ι \			
	有	(着則	(点)		【理由】] [1 [1]	い。同い		める未述めり		1.1 17 .0 ,			
_	効		りとした		多くの人が									関する正しい知識
次	Lat	果は	あるか	`					へただくための対策 一根子学 国知政					を診券へのがん検 さすためには更なる
^					啓発が必要		7京7汶 美	しいかヘク	79小守、问知石	光(これり私ん)	((', x)) //・文巾	夕日 奴で増い	こりためには丈なる
評		(着眼		五 华 丛	✓	効率的	である	□高	ある余地あり	□ 効率的で	はない			
価	効	率的に	、業務 執行で	曲寺別	【理由】	_								
ТЩ	率性	るか • 尺 間	委託や	他事業					診と内視鏡による個 健康診査等の健康					- ていまナ
	11±	との紡	合·連						医尿砂質等の健康でを図り、実施体制の			きるより、	効学化を凶・	うています。
	総	能か			目古口	,([小羊 . ☆	カ 家 ル	□縮小 □統合	□拡充)	√ 継約	売 □糸	冬了	止
	合	今後	の方向	5件	【課長名:		いっっ Iさおり]				,	ĭ I IV	шж.ш
	評		等策等		肺がん検討	%は集団	検診の		であるが、受診者の	利便性の向_	上のため	、坂鶴医	医師会とも協	議を進め、集団検
	価				診と個別権	診を併	用して言	Eいります。						
	前回	 示し	た今後											
改			女善策											
善善					Г	実施済	等 (中)	 	部実施 √検詞	寸中 □	未実施	į	その他	
状			(実施		_		/					. լ		
況			色の理											
	ゔ伎	ツブ	定等)										

事系	务事	業 名	後期	高齢す	当医療事業(健康診	査)					整理No.	89
所	属	名	部	こども依	建康部	課市	民健康	センター	記入者	荒巻	優	内線	284-1621
上位	立 施	策 名	分野	健康·神	福祉、安全•安	心中	柱 成人	、保健の推進	小柏	健診(検診)・フォロー(体制の充実
	事業	(開始	年度	平成	20 年度	根拠法	· ^ #=	高齢者の医療の	の確保に関	する法	律		
	事業	終了	年度	令和	年度	恨拠法	令寺						
		¥	h 1	象	✓ 高齢	者 🔲 🗈	害者	□個人 □世帯	□団体	□ 全ての	人	□その他	
	(誰.				(具体的に)	後期高	齢者医	療制度加入者					
			_					業を行っているか					
					見し、重症化を	子防し	、早期の	の治療につなげ	ることで、图	医療費∅)抑制	とQOL(生	活の質)の向
	上を	'日指	します	0									
事	車業	概要	(取紙	内宓∙	活動内容など	日的を	達成す	けるために何をし	ているか。)			
務								和2年度より追			関にま	おいて実施	します。検査内
127								·血圧測定·身体					
事	・当っす。	別丁身	早52,5	89十円	でしたか、印か	刺製本質	ずにごり	ハて想定より安保	11 でイドカス で	さににぬ), 52,	,214十円に	.佣止していま
業	, 0			区	分		単位	令和2年度		令和3			令和4年度
	いてエ	ᄣᄺ						実績(決算)			実統	責(決算)	計画(予算)
の					象者数		人	13,949		4,200		14,191	15,500
概	成果	指標	健康	診査受		/→ 1/~ 11 ·π	% == * ~ !	34.8		33.2	. 2 17	33.5	36.0
 要	指標	に対	する達					月1日~10月31 の、前年の受診					いては、年度
조	総	1	事	業費			千円	50,355		2,214	. н 1	49,240	57,852
	事	財			県支出金・その		千円	41,872		6,988		41,034	46,247
	業費		一般				千円	8,483	3	5,226		8,206	11,605
			員				人	1.00		1.00		1.00	1.00
	コス	2		件 費 事 業 費	1 1)+(2)		千円 千円	5,991 56,346		5,991 8,205		5,991 55,231	5,991 63,843
	۲						111	健康診査	健康診査		健康診		健康診査
	把 握			事業の	年度別実施[内容							
		(着腓	3日)		☑ 必要付	生が高い	□梢	食討の余地あり	□必要性	が低い			
		市	E=-:		理由】	4 24 ± .15	18 fmr 23	#A Lybu da		- m ##n	v/		→ ++n ++,) ~ 6+, r+ =\
			してい 対関与		生活習慣病は 『を受診するこ』			進行するため、疾 病	丙の早期発り	見・早期	治療の	ためには、	正期的に健康診
	ΙŢ		はある					する法律において	て義務づけら	っれてい	るため	、行政の関与	与は必要です。
					□有効性	±が高い	☑禬	らい おいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま しゅう かいま しゅう はい しゅう かいま しゅう	□ 有効性が	が低い			
	有	(着眼	艮点) りとし <i>た</i>	_ ***	理由】								
_	効 性	はあ		•				り、疾病の早期 更なる周知啓発を			つなな	がりますのて	で、受診率向上
次	ΙI				27CV2 (A)	XXICE:	D5 C , 3	C, 4, 9) H VH, D 20 V	7.纪安(;	0			
評		(着眼	点)		☑ 効率的	りである	□高	あめる余地あり	□ 効率的で	ばない			
PT	効	率的に	、業務i 二執行で	きてい	理由】								
価	率 性	るか • 民間	委託や		令和2年度か D向上を図っ [~]			師会(毛呂·越生	地区)と契	約し、受	を診者	の利便性の	の向上と受診率
	ΙI	との統 能か	合·連拉	隽が可	7円上で囚 7	(0						
					見直し(□	改善∙効	率化	□縮小 □統合	□拡充)	☑ 継続	Пя	終了 □休」	上 □廃止
	総	公 经	Λ±⊏	7 小什	課長名∶有田	さおり】		_					
	_		の方向	リリエ .	コロナ畑で画	診率がは	氐下して	ており、必要性に	ついての原	各発を終	売けま	す。	
	合 評		等策等)	コロノ間で文								
			等策等)	コロノ侗(文								
	評 価	(改善)	コログ侗(文								
-J.h	評価	(改善 示し:	善策等 た今後 女善策) <u></u> 後の	コログ個で支								
改善	評価	(改善 示し:	<u></u> た今後) <u></u> 後の	□実施:	斉(中)		部実施 □ 検記		未実施		□ その他	
善状	評価 前方 対応	(改善 一一 示し: 性(di 状況	 た今後 女善策 (実施) 後の (等)		斉(中)		部実施 □ 検詰	4中 □	未実施		□その他	
善	評価 前方 対容	(改善 示し; 性(d 状況 未実力	 た今後 女善策) 後の き等) 直内 理由、		斉(中)		部実施 □ 検詰	† ቀ □	未実施	ı	□ その他	

事	務 事	業名	自殺	対策	推進	事業										整理No		90
所	属	名	部	こども	健康	部	ā	果市	民健康	ミセンタ ・	_	記。	入者	小鹿	野史昭	引 内:	線	284-1621
上1	立 施	策 名	分野	健康	•福祉	:、安全	·安心	中:	柱 精神	申保健の	推進		小柱	自殺	予防の	推進		
	事業	美開始	年度	平成	30	0 全	F度 .			自殺対	策基本	法						
			年度			左	す F度	根拠法	令等	坂戸市	iいのち	支える	自殺対	计策計	·画			
									宇者		□世帯			 全で			也	
	(誰			象 している	5か)	(具体的)(こ)											
	日樗	[(対急	ラケビ	のよう	な状	能にす	るたる	めに当	的事	業を行っ	ているた	ハ. 旦 (本的な	日標	(数値)	など。)		
	「誰	も自殺	とに追	い込ま	まれる	ことの	ないま	ち」の	実現を	を目指し	、自殺対	策を終	総合的	に推	進しま	す。		
	【坂	戸市い	いのち	支える	5自殺	対策	計画目	標値	】: 自刹	设死亡率	の減少	18.1	平成2	27年)	→14.2	2(令和5	年)	
 事	事業	概要	(取組	内容	·活動	内容机	など、	目的を	達成で	するため	に何をし	ている	るか。)				
ず 	「坂	戸市い	いのち	支える	る自殺	対策詞	計画」	を平成	31年3	3月に策	定し、自	殺対領	6計画	審議				の関係機関と
務																		市民や市職
 事	貝、	休健-	争業に	_/汚イン	つ号[り城と	刈家さ	こし、ク	- F74		養成講图	坐を夫 。	他し八			-労めま	9 0	
				区	分				単位		12年度 (決算)	<u></u> =1 :	画(予		3年度 宝ණ	責(決算)		令和4年度 計画(予算)
業	指	標①	白殺	计等量	上画宝	議会等	色の盟	/	同	天祖		ан 2	四()	异) 2	天羽	艮(太异)	2	可四(了异)
၂ ၈						ついての			%		•	-		-		1(90
			クート	7	, _{(C})	JV 1 C 0.	ル生件』	艾	70		99	ฮ		90		1(00	90
概	指	標③			宏祥 /	△ 小胆 /	(鬼)ァト	い目に	₩ 目目 1.1	1.4 1ヶ白 ※	ル 歩 佐 ナ、+	#`#1 ~	アレ、ノモ	- H D -	14 / 14 € 20 €	かいこのと	ムナ	1 + ++
要	指標	票に対	する達	成度	番譲 ゲート	云の角1、キーパ	催によ 『一養』	り圏係 [。] 龙につ	機関と いては	こもに目れ、さわやれ	ダ刈 東でか い相談員:	世進し 等に対	し、動き	三級がっ	共理認識 により目	臧か凶り 自殺対策	れま を支	した。また、 ごえる人材の育
	総			業	成なな	ナレノキ レ			千円		700			511			31	506
	事	_	-	-	-	出金・	その化		· 千円		37			222)2	216
	業 費	源	一般	財源					千円		329	9		289		25	59	290
	貝		員数						人		0.30			0.30		0.3		0.30
	コっ	2	人《			1 1 (9)	<u> </u>		千円		1,79			1,797		1,79		1,797
	スト		総	事 業	貫	1)+(2)		千円	審議会	2,49′ 開催、事業			2,308 事業	審議会	2,25 開催、事		2,303 審議会開催、事業
	把 握			事業	の年月	度別実	施内	容		調査、ク	ートキー 龙講座	調査、		キー	調査、		· i	間査、ゲートキー ペー養成講座
	7/土					ش [ج]	シ要性が	ですい	П±	食討の余り			要性が		八食	以畔庄		* 食以神庄
	ıΣ	(着則 • 市 ₱	見点) ミニー:	ズに	【理由		· 女 上/s	, ibio.	Ш 1.	X 0 1 0 7 // 2	5000	□ %	·女 II./J	150.				
	要	対応	してい	るか	地域	の状況												れた自殺対
	性		奴関与 はある			本法第 要があ			こ地方	公共団	体の責務	きとして	明記	されて	おり、	国や県と	:協.	力して推進す
					נים אינהיי					-u-z-A-u	.± n		±1.44-12	er.				
	有	(着則	艮点)		【理由		効性が	、高い	✓ #	高める余地	きあり	□有	効性が	低い				
	効		りとした	≟効果			は、精神	中保領	は的な	見点だけ	ナではな<	く、社会	☆・ 経済	斉的な	視点を	と含む包	括	的な取組が必
-	性	はあ	るか							いても、柞	様々な分	野の旅	施策や	組織	が密接	に連携	した	支援体制のも
次		/ ¥ m	- E-\		と推び	進する	_ <i>E7</i> ,33	里安(C 9 .									
	効		、業務		7 TO _		率的で	ある	i	高める余地	はあり	□効	率的で	はない				
評	率	るか	執行で			-	上画の	第定7	ひで推	進につい	ハては	関係科	後関か	らかろ	白殺女	+ 策計画	i審	議会及び庁内
価	性		委託や住合・連携								員会等						т	W2/X0/11/
		能か			B	直し(, 盖・効:	蒸 化	口绽小	□ 統合	口坎	⊱) I	1 公平 幺	<u> </u>	ぬっ 口	/± ı	- □廃止
						: 直し、 長名 : 有			+ 10	☐ WE\1,	i)/L 🗀	V 1/A)	ر ا ا		ü Ш	ks 1	ΝЩ	- □ 焼皿
	総	A 44		_ 1.0														状況です。ま
	合 評		の方向 §策等															ころの相談窓 より一層周知
	価	, , , ,			を図っ	ってい	くようき	努めま	す。									
											正しい知 進に引き				:、「ゲー	ートキー	ノペー	-」の役割を担
	前同]示L:	た今後	έD	ノノヘや	カマノ 目。	以てま	ュレし	口权刈	パツが	近に力し	がしさら	ヮ゙゙゙゙゙゙゚゚゙゙゙゙゙゙゙゚゚゙゚゚゙゙゙゙゙゙゙゚゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙	У o				
改			火善策															
善状	対応	状況	(実施	内		口事	尾施済((中)		·部実施	□検	討中		未実施		□ その他		
	容、	未実	施の理	∄由、														
	一方传	ひか	定等)															

車系	な 車 丵 夕	予防控制	 実施事業					整理No.	91
事』 所		部 こど		== 古兄母事	センター	=1 1 +4	野本 綾		
								内 線	204-1021
上 1.			·福祉、安全·安/	口 中性 悠栄		小柱			
		年度 平成		根拠法令等	予防接種法等				
	事 業終了	年度 令和			¬/m .		74701	70/14	
		対 象 対象としている	5.h) (8.4.h)	予防接種法等で	□個人 □世帯 ご定める定期予防 ・どものインフルエ	接種対象者、	、坂戸市が	☑ その他 各助成金交付	対要綱で定める風
			うな状態にするた	めに当該事業	業を行っているか	、具体的な	目標(数値		
	予防接種	法に基づく気 Sことにより	宮期予防接種及び 感染予防、発病予	定期接種対象 防 重症化予防	者を除く風しんワク よと威塾症の萬延	クチン、子ども 予防を図りす	っのインフル ÷ま	エンザの接種	重費用の助成等
	また、乳幼	児の予防接	種が複雑化してい	るため、予防接				接種情報提供	システムを運用
			保護者の負担軽》 *・活動内容など、		けるために何をし	ているか。)		
事			た対象者に定期					方を図ります。	予防接種情報
務	提供シスラ	「ムを運用し	、種類が多く複雑47年4月1日生ま	な乳幼児期の予	予防接種のスケジ:	ュール管理に	「係る保護者」	音の負担軽減	えを図ります。 昭和
נכני	す。令和3	年度は、新	型コロナウイルスワ	クチンが予防接	接種法に基づく臨 ・	寺接種に位置	置付けられ、	接種を実施	
事	算は616,1	20千円でし	たが、新型コロナワ	7クチン接種事業	業等により1,690,8	77千円に補	正しています	た。	
業		区	分	単位	令和2年度 実績(決算)		令和3年度 算) 実	ξ 績(決算)	令和4年度 計画(予算)
の	指標①	定期接種	接種者延べ人数	. 人	36,591	29	9,492	32,266	30,888
 概	指標②	風しん抗体	本検査受診者数	人	787		614	917	759
似	指標③	任意接種	助成件数	件	7,274		40	5,495	40
要	比插一头	十九年中	昭和41年4月2日	から昭和47年	4月1日生まれの	男性を対象と	した、風しん	し抗体検査及	び予防接種は
	指標に対	9 る達队度	前年度より15%堆	自加しています。	なお、本事業はR	4年度から3年	年間延長し	ます。	
		事業		千円	324,650),877	1,160,415	
	事 業 源	特定財源(一般財源	国県支出金・その		27,333		9,526	948,133	
	書 ""	一般知识員数		千円 人	297,317 2.00		1,351 3.00	212,282 6.00	,
		人件費	ì	千円	11,982		7,973	17,973	
	ス	総事業		千円	335,759		3,850	1,178,388	·
	ト 把	中央	の年度別字抜け			定期予防接利		予防接種の 及び任意接	定期予防接種の 実施及び任意接
	握	争未	の年度別実施内	日谷	種費用の助成等	種費用の助用			種費用の助成等
	(着目	艮点)	✓ 必要性	が高い □検	討の余地あり	□必要性が	低い		
	必·市月	ミニーズに	【理由】	シャッボはあび	シムカッパナ)ガナ	マルナッチ	· * · * # =	てゴムシ声	*
			感染のおそれがまた、予防接種						
		はあるか	3.12 () [7.13]	M1-010 1 101	X 12.00.11 1,110	1177777	J (,C:,),	, , , , , ,	,
			▽有効性	が高い □高	がる余地あり	□ 有効性が	低い		
	79 . 🗀 6	艮点) りとした効	【理由】						
-		あるか			より、感染のおそ 新型コロナウイル				
次	IΞ		化、まん延の予				(C\$34.66		主工及び里址
=च	(着眼	点)	√効率的	である □高	ある余地あり	✓ 効率的で(はない		
評		、業務面等効 こ執行できてい			10,0,1,1,0,0,1				
価	半 るか		定期接種においっけ医と相談しな		療機関及び相互				
	'土 との紂	音・連携が可	ステムを運用する	ことにより、保護	を を を を と と に と に と に と に と に と に に	g。また、アド 図れています	の後性へクす よ。	ノユールを目	動作成 (さる)
	能か		見直し(□	近美. 効変ル		□ ++- - /	/ 6N/6±	167 🗆 4	
	総		【課長名:有田		□ 縮小 □ 統合	114元 / [和丕书冗	」終了 □休	止
		の方向性 §策等)	感染のおそれか	ぶある疾病の発	性及びまん延を				
	価	3 水寸 /	接種法に基づくがあります。	予防接種の第	尾施は市町村の記	義務であるた	ため、継続	して事業を行	行っていく必要
			いつのソより。						
	前回示し								
改	力问性(0	汝善策等)	<u> </u>			—	<u> </u>	□ - -··	
善状	対応状況	(実施内	□実施済	(中)	部実施検討	: 口 中1	未実施	□ その他	
況	容、未実	施の理							
	由、今後	の予定等)							

事系	务事 業	名	歯科	口腔	保健推定	<u></u> 進事業					整理No.	92
所	属	名	部	こども	健康部	課	市民健康	センター	記入者	市川 :	純子 内線	284-1621
上位	立施 策	名	分野	健康	•福祉、安	全·安心	中柱 医療	体制の充実	小柱	医療関	係団体との連打	焦
	事業閉	月始:	年度	平成	30	年度	**	健康増進法、カ	ぶん対策基準	本法		
	事業絲	を了:	年度	令和		セスタイプ イスタイプ イスタイプ イスター イスター イスター イスター イスター イスター イスター イスター	法令等	第2次坂戸市傾	まなまちつ	づくり計画	ΞÍ	
		対	复	ŧ.		高齢者	障害者	☑個人 □世帯	□団体] 全ての.	人 □その他	
	(誰、何	「を対	象とし	ている	か) (具体	ぬに) 市内	生住の40	·50·60·70歳の	方			
								きを行っているか				
		市市						て味わい、元気 に基づき、歯科!				
事	事業根	要(取組	内容	•活動内容	字など、目的	を達成す	るために何をし	ているか。)		
₹⁄z								生事業費に対す.				
務	補正理円に洞					一円でしたが	、コロナ	渦による受診者 6	り見込みが	想定より)下回ったこと等	ミにより2,099千
事	1 11(-1)	VIIX I	штс	<i>-</i>				令和2年度		令和3年	F 	令和4年度
業				区	分		単位	実績(決算)	計画(予		実績(決算)	計画(予算)
	指標	1	成人的	歯科質	建康診査の	実施期間	月	6	1	8	8	8
の	指標	2	成人	歯科値	建康診查	受診率	%	4	:	4	4	5
概	指標	3										
要	指標に	. 첫 경	⁻ る達	成度								
~					Ł		→ m	1 044		0.000	1.050	0.700
	440	_	事 特定目			☆・その他)	千円 千円	1,844 1,007		2,099 1,502	1,953 1,027	2,588 1,432
	業		一般!				千円	837		597	926	1,156
	費		員 数				人	1.05		1.10	1.10	1.10
		2	人作				千円	5,213		5,462	5,462	5,462
	ス ト		総	事 業	費①+	F(<u>2</u>)	千円	7,057 歯科口腔保健推	歯科口腔保	7,561 健推 様	7,415 計科口腔保健推	8,050 歯科口腔保健推
	把 握			事業	の年度別	実施内容		進事業に対する補助			事業に対する補	
		着眼	占)		V	必要性が高い	\	討の余地あり	□必要性が	<u> </u>		
	必 .	市民			【理由】	U. NE & NZ 10	r IET -	o (tt.		71.70	1	パツレニー
	要対性・	す応し 行政	ている 関与の	るか ひ必	市民目らい知識を	生涯を通じ身に着けら	た歯と口 れるような	の健康づくりに関 な取組みの推進し	関心を持ち、 こ. 行政の ⁵	<i>それそ</i> 支援・関	れのフイフステ 与が必要と考え	ーシごとに止し ます。
			はある		7.1.7	7, (– , L , 7, 7	,, • • • • • •	() I have	-(1190 2)	/ 1/2 //J	717 22 37	20170
						有効性が高い	√ ☑ 涫	ある余地あり	□有効性が	低い		
	Ħ	着眼 日的	点) とした	か里	【理由】	14			.		terit day) y	
-		はある		. <i>M</i> .*)、むし歯・歯周タ タ発が必要です。		見、早期	明治療につなが	りますので、受
次	ΙΞ				157	· · · / C · · · · · · · · · · · · · · ·	(-0) H VH (C					
 評	(着眼点	ā)		v	効率的である	□高	がる余地あり	□ 効率的で	はない		
I PT	郊 率	コスト、 的に	、業務配 執行で	きてい	【理由】							
価	半る	か			坂戸鶴ヶの推進を	島歯科医師図っていき	i会等と連 まま	携し、歯科口腔	保健に関す	する支援	体制を整え、よ	り一層の施策
	ع	の統領か	合·連携	が可	√71正元で	M J CV G	5 70					
					見直し	.(□ 改善・	効率化	□縮小 □統合	□拡充)	☑ 継続	□終了 □休.	止 □廃止
	総 合 4	× 144 /1	の方向	ıl /-	【課長名:	有田さお	IJ]				
			プカド 策等)		歯科口腔	推進計画の)推進を図	図るため、事業の	継続が必要	要です。		
	価											
	前回疗	- +	.	· M								
과	前凹 ^刀 方向性											
改善善					Г]実施済(中)		部実施 □検討	j 中 □	未実施	□その他	
状	対応物				_		_					
況	容、未 今後 <i>0</i>			ш,								

事	務事訓	業名	公的	病院	等救	急医		支援事	業						整理No.	93
所	属	名	部	こども	健康	部	課	市民健	康セ	ンター		記入者	野本	綾子	内線	284-1621
上	位施領	策 名	分野	健康	•福祉	:、安全	:•安心	中柱 医	医療体	制の充	定実	小	柱医療	関係団]体との連打	携
			年度		2	-	F度 根	拠法令等	等	別交付	寸税等に	こ関する	省令等			
	事業	終了	年度	令和			手度 高齢者	障害者		<i>!</i> ∓ 1. [一世帯	┌╴╗┟		n 1	□その他	
	(誰、	ダ 何を対		東 こている	らか)			□ 障害を ∃及び夜		_			_			
								ことは								
								助するこ			_					
 事	事業	概要	(取組	内容	活重	₩内容:	ナンビ E	的を達成	おする	くために	「何をし	ているか)			
· 務	市内													削強化を	と図ります。	
事					Λ.			ж (т		令和2	年度		令和3	年度		令和4年度
業				区	分	الالا مدا	- \	単位	Ĺ		決算)		予算)		責(決算)	計画(予算)
の		_	参加:	病院の	の受託	诊者数	増	人			1,851		3,151		2,281	2,501
概	指標															
	10.19				後日	回答										
要 	指標		する達			<u> </u>										
	総 事	_	事			-山仝.	その他)	千円			30,000		30,000		30,000	30,000
	業	• • •	特定第 一般		当 宗文	(田亚。	ての他)	千円			30,000		30,000		30,000	30,000
	-	職	員 娄	女				人			0.04		0.04		0.04	0.04
	コス	(2)	人《総	牛 費 事業		1)+(2)	千円 千円			240 30.240		240 30,240		240 30.240	240 30,240
	ハ ト 把						_		参	加医療	幾関へ	参加医療の運営費	機関へ		療機関へ	参加医療機関へ の運営費等の補助
	握			事業	の年!	支別美 ———	施内容	} 	V)	理占有 🤻	寺の無助 	の連占負	等の無助	(ソ)連合:	質寺の無助	の連呂貝寺が冊別
	.57	(着眼	(点)		r in d		必要性が高	高い	検討	の余地あ	50		生が低い			
	要	対応		るか	事業	を継続			加医	療機関	が二次	救急医療	寮の安定	的な遺	運営のため)、必要不可欠
			対関与 (はある		な事	業とな	っており	ります。								
						▽≉	「効性が高	Ξ(,)	「高め	る余地あ	.n	□右効性	生が低い			
	Ή.	(着眼 • 日的	艮点) りとした	- かh	【理由	b]						_				
_	効 性	果は	あるか	נעג	毎年	約3,00)0人の点	患者が当	事業	により、	救急医	療を受	診してお	り、有る	効性の高い	*事業となりま
次					, 0											
評		(着眼)	点) · 、業務面	面等効	7 TO -1		率的であ	i3 [高め	る余地あ	ŋ	□効率的	りではない			
価	率	率的に るか	執行で	きてい	【理由 本市》		助先医纲	寮機関とと	ともに	事務を返	恵やかに	すすめ、	補助金の	交付等	₽を行ってレ゙	います。
·	性	との統	委託や(f 合・連携													
		能か			Ę	■甫Ⅰ 、(▽改建	善・効率化		縮小「	□統合「	□拡充())「無続	: □#	終了 □休	止
	総合	会後	の方向	1件	【課長	長名: 4	田さ	おり】						_		
	評		めカ い き 策等)													の安定的な運 い、交付率は
	価							の補助の							· .	
			た今後													
改善		性(改	枚善策	.等)			5++- × 		±п=	Þ+ /c	☐ +>=+	. — Г		Г	70/4	
状	対応		(実施			∟J∌	実施済(中	1) L	一部写	€旭	∐ 検討	₩ [未実施	L]その他	
況			拖の理 の予定													

事系	务事 業 名	未熟児養	養育医療給付事業	ŧ				整理No.	94
所	属 名	部 こど	も健康部	市民健康セ	ンター	記入者	桒田 夏季	内線	284-1621
 上 fi	立施策名	分野 健康	康·福祉、安全·安心	中柱 母子係	保健の推進	小柱	子育て支持	受の推進	
	事業開始	年度 平成	t 25 年度	(I	日子保健法	②児童福	祉法		
		年度 令和	木	見拠法令等	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	0,1	,		
			□高齢者	□ 障害者 🗸	個人 世帯	団体	全ての人	√その他	
		対 象 対象としてい			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			_	
			·うな状態にするため			・旦体的な	日樗(数值)など。)	
			している未熟児に関			() (11 11 11 11 11 11 11		/ · & C ₀ /	
	•退院後も	ご家族で	安心して生活できる	らよう地域の保	健師等が支援	します。			
			宮・活動内容など、目			ているか。)		
事			1週間を目安に医療 養者様と電話等で保			また 必事	専門医療料	* 関 生 と 連 :	集し退院支援を
務	行います。	0						WIN 11 CVE)40 Z N L X X L
			生活を送れるよう、					如の日につ	. トル十川梅玉バ
事			,008千円でしたが、 5,863千円に補正し						
業	THE CO				令和2年度	100,100	令和3年度		令和4年度
		区	分	単位	実績(決算)	計画(予		績(決算)	計画(予算)
の	指標①	未熟児養	養育医療受給者数	人	27		25	28	30
概	指標②								
	指標③								
要	ちゅう かっちょう	する達成度	指標以上の申請は	はなかったので	で計画通り医療	給付するこ	ことができまし	た。	
	1.0	事業		千円	6,348		5,863	4,692	6,008
		特定財源 一般財源	(国県支出金・その他 。	1) 千円 千円	1,575		4,200	5,880	4,500
	弗 ""	一般知為員 数	R	人	4,773 1.00		1,663 1.00	-1,188 1.00	1,508 1.00
	•	人件多	事	千円	5,991		5,991	5,991	5,991
	ス	総事業		千円	12,339		1,854	10,683	11,999
	ト 把	古 业	*の左座別字振力2		・熟児養育医療 ・の給付 保健師	未熟児養育	医療 未熟児		未熟児養育医療 費の給付、保健師
	握	争才	その年度別実施内 容				*健師 負の船 建指導 等によ		等による保健指導
	(着即	見点)	✓必要性が	高い 検討	の余地あり	□必要性が	で低い		
	必·市国	ミニーズに	【理由】	ウムされてい	フ古光〜 土計	1月1ヶ27 画	小羊去広告	典の処仏ナ	たいまよ 旧
			母子保健法により院後も安心して生						
		はあるか	要です。	.,,	10000,		.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	711 17 11-12	(0),//
			▽有効性が	高い □高め	る余地あり	□有効性が	低い		
	有(着明	艮点) 勺とした効	【理由】						
-		あるか	出生直後の発育。ことで安心して必						
次	江		談を受けることに					- こック圧175 \	、
 ≡ਜ਼	(着眼	点)	✓ 効率的で	ある □高め	る余地あり	効率的で	はない		
評		、業務面等効 こ執行できてい	_	,					
価	率 るか		医療給付は国民						仏いすることなく
	.— との紡	安武や他争り で合・連携が可	・退院ができるので	事務手続さを	軽減し、効率よ	く医療給作	すかできてい	ます。	
	能か			* ***/-	16± , □6+ ∧ [¬		<i>4</i> 5 → □ 11	
	総		見直し(」」改章 【課長名:有田 さ]縮小 □統合 [<u> </u>	終了休.	止
		の方向性 §策等)	申請時に地区担		面談することでえ	退院後も相	談しやすい	環境を作っ	ております。ま
	一曲	3 水 寸 /	た、必要時病院と	連携を取りなる	がら支援を継続	していきま	す。		
	前回示し								
改	方向性(收善策等)							
善			□ = #:文 / s	±\	実施 □検討	.њ. П	未実施	その他	
11.47			実施済(「	中) □□一部 9	天心 代的	T !!	不夫旭		
 沢	対応状況			世)	关心 □快的	Ψ []	不关心		
状 況 		施の理由、		#) □□====	关心 □投的	Ψ []	不关心		

事	務事	業名	坂戸	飯能	地区	病院群	輪番制	事業						整理No.	95
所	属	名	部	こども	健康	部	課	市民健	康センタ	_	記入者	赤坂	彩香	内線	284-1621
上	位 施	策名	分野	健康	•福祉	、安全•5	安心	中柱 医	療体制の	充実	小柱	医療園	関係団	体との連打	货
	事	業開如	台年度	平成	19	9 年度	₹ 1 8+b	l法令等	坂戸市	 方補助金等	等の交付に	関する	規則等	호 #	
	事	業終.	了年度	令和		年度	仅炒	达不可有	F						
				象		一高		障害者		□世帯		✓ 全て <i>0.</i>		✓その他	
											急医療の受				
	対象治療	東地区 景を必	の市町要とす	の救急	急医療 救急!	体制を確患者の治	保する 寮にあた	ため、坂 こることに	戸・飯能:	地区内の症	療体制の充	番方式に	こより、化	木日及び夜	間における入院 は 7,767 千円でし
事	事	業概 要	更(取約	且内容	•活動	内容なの	ビ、目的	りを達成	なするため	かに何をし	ているか。)			
 務	坂戸	市、作品に	飯能市	、鶴ヶ川 番号書	島市、 笠を補	日高市、 計画 住	毛呂山	町、越生 鱼医療な	町及び鳩 本制を確保	島山町の第 Blます	二次救急医	療体制	(病院郡	詳輪番制療	i院)の事業を行
事	J/r;	P) L (C /	O CE	壬白 貝	4. C.111	150 C , IL			수 내가 그 나타 \	下しより 。					
				区	分			単位		口2年度		令和3			令和4年度
業		·##(1)	会 hr			人类粉油			実績	〔決算〕 15.719	計画(予		実績	(決算)	計画(予算)
の		(標U) (標2)		17円1元(//又彰	⁸ 者数増		人		15,713	۷	2,229		17,558	16,494
┃ 概															
		標③			後日	回答									
要 	指	票に対	する達	成度		ши									
	総	_	事				- 11 >	千円		7,766		1,045		31,044	31,045
	事 業	• • •	特定一般		国県支	出金・そ	の他)	千円 千円		7,766		3,286 7,759		23,286 7,758	23,279 7,766
	費		JIX					人		0.005		0.600		0.600	0.60
	_	2	人					千円		30		3,595		3,595	3,595
	スト		総	事 業	費	1)+2		千円		7,796		4,640 油 m	電光 弗魯	34,639	34,640 運営費等の補助、
	把握			事業	の年月	度別実施	内容								幹事市に係る事務
\vdash	1/王	(羊	眼点)			✓必要	性が高い	, ι	検討の余り	<u></u> 也あり		低い			
	要	·市 対応 ·行	民ニー	るか の必	事業	を継続し			加医療機 おります。		(救急を安)	定的に	運営で	きなくなる	おそれがあり、
						☑有効	性が高い	\	高める余均	也あり	□有効性が	低い			
	有		眼点) 的とし <i>†</i>	- 効	【理由	-	しの申	±.25.1/	中米に	-10 -14 -A-1	を 歯 ナ 巫 訟	.1 43	n ±	気料の古り	、事業しないも
次		田 1-	たあるか		ず。	V) • ~ <u> </u>	八ળ忠	名が3	事果によ	、ツ、狄思に	医原で 文彰	ししわ	り、行う	幼生の高い	い事業となりま
評		(着り ・コス		面等効	F ⊤⊞ →	☑効率	的である		高める余均	也あり	□効率的で	はない			
価	効率性	率的 るか ・民間	に執行で 間委託や 統合・連打	きてい他事業	事務に	∃】 C係る幹∃	事を参力	旧市町が	2年ごとに	こ交代で実	施することで	で事務の)効率化	どを図ってい	ます。
	総合評価	今後	もの方向 善策等)	【課長事業・大きぐ	く欠くばれ	ョ さお ない場 いりでな	り】 合、参え く、生命	ー 加医療機 かの危機	銭関が二次 に直結す		わない。 な事業	ー おそれ となり	ー があり、市 ます。 医師	止 □廃止 民の利便性を ñより、負担金
改	+		ル た 会 改善第												
□ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	· 対 が 容、	5状》 未実	記(実施 の予定 の予定	也内里		□実施	[済(中)		一部実施	□検討	t中 🗌	未実施] その他	

事	務事	業名	坂戸	鶴ヶ	島医的	师会立 作	木日急	息患診療	所運営	補助事業	ŧ			整理No.	96
所	属	名	部	こども	は健康	部	課	市民健康	東センタ-	_	記入者	小島	直樹	内線	284-1621
上台	位 施	策 名	分野	健康	·福祉	、安全·፺	とい	中柱 医疣	寮体制の	充実	小	主医療	関係団 [,]	体との連打	集
	事美	業開始	年度	平成	29	9 年度	₹ +0+	hŋ 나 ᄉᄷ	坂戸鶴ヶ島	医師会立休日:	急患診療所及び	が眼科在宅当	番医制の運	営並びに運営す	費補助金に関する協定書
	事美	業終了	年度	令和		年度	₹	処法令等							
		\$	时 拿	象		高	齡者	障害者	☑個人	世帯	団体	✓ 全て	の人	その他	
	(誰	、何を			か) ((具体的に) 坂戸	市及び鶴	ヶ島市に	おける初期	明救急医療	体制の約	維持及で	ド確保	
											、具体的				·
		「鶴ヶ島 を提供			下日急息	悬診療所	を運営	することで	、迅速か	つ適切な	初期救急	医療を行	い、市国	きが安心し	て暮らせる医療
	in one.	1 (- 1/- 1/	105,	' 0											
事	車場	+ 柚 亜	/ Hn ≰E	山穴	- 汗動	中家か	13 日白	かた 達成・	ナスため	に何をし	ているか。)			
	休日												の運営を	〉行ってい	る一般社団法人
務	坂戸	「鶴ヶ島	易医師	会に対		お島市と									営費赤字補填によ
事		0,000	ТҺ	.佣业.(∠ (v ·a	£9°									
 業				区	分			単位		2年度 (決算)	計画(-	令和3 予算)		(決算)	令和4年度 計画(予算)
*		標①	休日:	急患診	診療所 ⋅	の受診者	f数増	人	△13 €	1,257		2,000	∠ 1×	2,873	1,870
の	指	標②		_		-				•		•		•	
概		標(3)													
要			±	rt-								禍による	マスク	の着用や	手洗いやうが
女	指標	票に対っ				≒指の消	毒など	で予防交	効果が考え	えられま	す。				
	総恵	_	事			···	- //la \	千円		15,360		10,080		10,080	13,881
	事 業	財源			国県文	出金・そ	の他)	千円 千円		15,360		10,080		10,080	13,881
	費	费 職 員 数 コ ② 人 件 費					人		0.15		0.08		0.15	0.08	
							千円		899		479		899	479	
	スト		総	事 業	費(1)+2		千円	でおり	16,259	運営費等の	10,559	Y平兴弗5	10,979	14,360 運営費等の補助
	把			事業	の年度	度別実施	内容		協定書一		理 呂負 守。		者数の漏	載少に伴う	連呂貨寺の無助
_	握					一心声	性が高	·	事務	L to N	必要性		補正予算	4作成	
	必	(着明 •市月		ズに	【理由		:川土川 (同)	רי <u>∟</u> ו	検討の余地	עיסש	□ 必女口	かたい			
	要	対応	してい	るか	事業を	を継続し				療所の運	営に重大	な支障	が生じる	5可能性/	があるため、必
	性		X関与 はある		要个「	引欠な事	業とプ	よっており	ぼす。						
						▽有効	性が高(ω Π ;	高める余地	あり	有効性	が低い			
	有	(着眼		⊹ L	【理由		11/J D) 4	,, m.	同いる小心	(0,0)		/J. 1520 ·			
-	効		りとした あるか												息患診療所を開
次	性				設しく	、わり、ロ	1氏い)	力が女心	しく春り	せるため	に、有効	生の向v	*争未く	:/よりより。	
評		(着眼	点)			√ 効率	的である		高める余地	あり	効率的	ではない			
	効	率的に	、業務記 執行で		【理田]					···		· »/ ,	: (= 1 1	
価	率 性	るか •民間	委託や何	也事業	運営の)ノウハウ	等はす	でに持っ	ている医	師会が連7	営すること	で効率よ	く運営カ	行われて	いる。
	II		合·連携												
	411				見	.直し(改善·	•効率化	縮小	統合	拡充)	√ 継続	終	了休	止 廃止
	総合	今後	の方向	1性		名:有田			コ.28/ 4 - ロ.	5. 由 3.人店	:=::::↓.≾. 田	-++>	・ムマム	フトムシャ	^ 十只の利価
	評		ま策等												り、市民の利便 が生じており、
	価										で付を求				
	前回	3示し	た今後												
改	方向	句性(3	女善策	等)											
善状	ಕ್ಷಗ	5状況	(宝妆	: rtn		実护	透済(中)		一部実施	検討	t中	未実施		その他	
仏		未実施													
		後の予													

事者	务事業	名	献血	推進	事業									整理No.	97
所	属	名	部	こども	健康部		課す	「民健原	東センター		記入者	赤坂	彩香	内線	284-1621
上化	立施策	名	分野	健康	•福祉、多	g全·安	心 中	柱 保修	建・医療の	充実	小柱	地域	医療体育	制の充実	
	事業	開始:	年度	平成	27	年度	+FI +hn :	法令等	安全なば	□液製剤	の安定供	給の確	[保に関	引する法律	ţ
	事業組	終了:	年度	令和		年度	仅拠)	太 下 守							
		対				□高齢	者 🔲	障害者	□個人 [世帯	□団体□	」全て の	り人の問にあ	√ その他 ト☆ レー セタ ナュ	したことのある方
			象とし				に戻る								U1222V181/3/1
											、具体的な くことにより				松 生士
		∟X·J	9 OII	:UV ';	加畝をも	ため、より)多(0.	ノ人(二角	ДШ. (⊂ Мі ∕ .) V 1/2/2	ヘーとにより	/ 、Ш. 1 12	、設用い	作を日	拍しより。
 事	事業権	要 要 ((取組	内容	-活動内	容など、	日的:	を達成	するために	こ何をし	ているか。)			
	血液を	安定	定して	供給	および硝	全保する	ため、	埼玉県	赤十字血	液センク	ターと連携	し、献ロ		理解を深る	めるための啓発
務	活動を	と実力	をしま	す。ま	た、献」	血にご協	易力いた	ただいか	た方に対す	つる記念	品の贈呈	を行い	ます。		
事									令和2	午		令和3	在		令和4年度
業				区	分			単位	実績(計画(予			(決算)	計画(予算)
	指標	1	献血	者数				人		700		750		756	700
の	指標	2	実施	日数				日		27		23		36	20
概	指標	3	実施					カ所		22		14		22	10
要	指標は	こ対す	トる達ん		献血を等実績			事業数に	は変わらず	だったか	び、実施日	数が増	えたた	め、前年	度より協力者数
	総	1	事			У -Д./У	J/C ₀	千円		310		110		97	110
	事	_			、 国県支出	金・その	他)	千円		64		64		64	64
	巷		一般!					千円		246		46		33	46
	. 4		員 数 人 4					人 千円		0.05 300		0.05 300		0.05 300	0.05 300
	コス	2		事業				千円		610		410		397	410
	ト 把								献血協力。		献血協力の 啓発活動等		献血協力 啓発活動		献血協力の周知・ 啓発活動等
	握			争耒(の平度が	刊美 他 /	Y谷		石无伯勒	77	石无伯勒 子		石 元 旧 男	0.4	位元伯勒 守
		着眼			•	☑ 必要性	iが高い		検討の余地な	あり	□必要性が	が低い			
			ニース		【理由】 輸血用」	血液製液	割は品	質保持	の期間が	短く、安	:定して供給	合するが	こめにに	は原料とな	る血液の確保
	性・	行政	関与の	の必	が不可	欠となり	ます。そ	そのたと							知・啓発するこ
	ž	安性	はある	ינק	とは重要 <u>-</u>	_									
	有 (着眼	点)		L 【理由】	☑ 有効性	が高い	Ыī	高める余地を	50	□ 有効性が	低い			
—	効 ,		とした	効果		血液製液	剃の原	料となる	る血液を供	は給でき	ます。				
 次	性「	<i>ው የአን</i> ኅ	۷,۷												
	(着眼点	5)		г	ᄀᇸᇴᄽ	マキュ	[7]:	高める余地あ	:n	□ 効率的で	-i++-i \			
評		コスト	坐	等効	【理由】	」効率的	i Coso	N I	可ひる ボュビび)·)	口初午时代	. 10/00			
価	平る	らか	長託や化		年間計	画の作品	战手順	を簡略	化する余量	地があり	ます。				
	اعت کا		合•連携												
		L 73			見直	し(🏻	改善•效	小 率化	□縮小「	□統合「	□拡充)	☑継続	□終	了 □休」	止 □廃止
	総合・	△绛♂	の方向	1性	【課長名	ι:有田	さおり]							
	評((策等)												ており、輸血用 和啓発活動を
	価				続けてい				- V()14 C 5	,,,,,,,,,	113772071	-100, C	2.00		16.11 Julia 257 C
	前回右	示し <i>た</i>	と今後	の											
改	方向性														
善	구:t c 4	4	(ф	ĺ] 実施泳	筝(中)		部実施	□検討	ф 🗆	未実施		その他	
状況	対応物容、未	実施	近の理												
	今後0	り予り	定等)												